

練馬区高齢者基礎調査 報告書

- ・高齢者一般調査
- ・介護保険サービス利用者調査
- ・介護保険サービス未利用者調査
- ・これから高齢期を迎える方の調査（一般）
- ・これから高齢期を迎える方の調査（要介護）
- ・介護保険サービス事業者調査

平成 17 年（2005 年） 3 月
練馬区

は　じ　め　に

練馬区では、高齢者が生き生きと暮らせるまちを目指して、平成 15（2003）年 3 月に介護保険事業計画を包含した高齢者保健福祉計画を策定し、高齢者に対する支援、保健福祉に関する基盤整備などの方針を定め、施策を展開してきました。

しかし、高齢者を取り巻く状況は急速に変化しています。平成 17（2005）年 1 月現在、区の 65 歳以上の人口は約 11 万 7 千人、区人口に占める割合（高齢化率）は約 17.1% となり、平成 15（2003）年 1 月から 0.8 ポイント上昇しています。今後、戦後のベビーブーム時代に生まれたいわゆる「団塊の世代」と呼ばれる方が高齢期を迎え、10 年後の 65 歳以上人口は約 14 万 9 千人、高齢化率は約 21.1% になると予想しています。

この高齢化率の上昇に加えて、75 歳以上の後期高齢者、ひとり暮らしまたは高齢者のみの世帯や認知症高齢者の増加などに対応するための取り組みが急務となっています。

また、介護保険制度は予防重視型システムへの転換や新たなサービス体系の確立など制度全般の見直しが行われており、改正後の制度は、平成 18（2006）年 4 月から施行されることとなっています。

以上のような状況を踏まえ、区では平成 18（2006）年度を計画の始期とする新たな高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に着手しています。この高齢者基礎調査は、計画策定の基礎資料とするため、区内にお住まいの 65 歳以上の高齢者およびこれから高齢期を迎える 55～64 歳の方から健康・生きがい・介護状況などの生活実態やご意見・ご要望を、また、介護サービス事業者からは事業内容や今後の事業展開などをお伺いしたものです。調査結果を十分に分析・活用した上で、今後の状況変化を見通した計画を策定し、高齢者の皆様が住みなれた練馬区で、安心して暮らし続けられるよう、施策運営に努めてまいります。

調査に際し、回答をお寄せいただいた区民の皆様、介護サービス事業者の皆様に心からお礼申し上げます。

平成 17（2005）年 3 月

練馬区長　　志　村　豊　志　郎

目 次

I 調査の概要

1 調査目的	1
2 調査方法	1
3 調査対象	2
4 調査期間	2
5 回収状況	3
6 調査結果の見方	3

II 調査結果

1 高齢者一般調査

＜調査結果の概要＞	5
＜調査結果から得られた主な課題＞	5
（1）回答者について	6
（2）住居について	12
（3）健康・医療について	15
（4）食事について	26
（5）転倒について	31
（6）就労状況と収入について	36
（7）生きがい・社会参加意識について	43
（8）日常生活について	48
（9）介護保険の認定について	54
（10）高齢者の介護経験について	58
（11）在宅支援サービスの利用状況について	61
（12）保健福祉施策について	63
（13）介護保険制度について	67

2 介護保険サービス利用者調査

＜調査結果の概要＞	71
＜調査結果から得られた主な課題＞	72
（1）回答者について	73
（2）住居について	81
（3）介護保険制度について	86
（4）健康状態について	90
（5）食事について	92
（6）外出とつきあいについて	97
（7）介護保険について	103
（8）医療について	114

(9) 介護者について	118
(10) 介護の状況について	120
(11) 認知症（痴ほう）の状況について	133
3 介護保険サービス未利用者調査	
<調査結果の概要>	137
<調査結果から得られた主な課題>	137
(1) 回答者について	138
(2) 住居について	147
(3) 介護保険制度について	152
(4) 健康状態について	157
(5) 食事について	159
(6) 外出とつきあいについて	164
(7) 介護保険について	170
(8) 医療について	176
(9) 介護者について	180
(10) 介護の状況について	182
(11) 認知症（痴ほう）の状況について	192
4 これから高齢期を迎える方の調査（一般）	
<調査結果の概要>	197
<調査結果から得られた主な課題>	197
(1) 回答者について	198
(2) 住居について	200
(3) 健康・医療について	206
(4) 就労状況について	216
(5) 生きがい・社会参加意識について	224
(6) 高齢者の介護経験について	233
(7) 介護保険制度について	237
(8) 日常生活について	239
(9) 保健福祉施策について	242
5 これから高齢期を迎える方の調査（要介護）	
<調査結果の概要>	247
<調査結果から得られた主な課題>	247
(1) 回答者について	248
(2) 住居について	249
(3) 健康・医療について	251
(4) 就労状況について	257
(5) 生きがい・社会参加意識について	260
(6) 高齢者の介護経験について	264

（７）介護保険制度について	265
（８）日常生活について	266
（９）保健福祉施策について	268
（１０）要介護状態について	269
6 介護保険サービス事業者調査	
＜調査結果の概要＞	281
＜調査結果から得られた主な課題＞	281
（１）組織・機関について	282
（２）居宅介護支援事業について	288
（３）訪問介護について	291
（４）通所介護について	293
（５）通所リハビリテーションについて	296
（６）介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、 特定施設入所者生活介護について	298
（７）認知症（痴ほう）対応型共同生活介護について	301
（８）苦情処理等について	302
（９）サービスの質の向上について	306
（１０）地域とのかかわりについて	307
（１１）その他について	310

I 調査の概要

1 調査目的

平成 18 年度を計画の始期とする練馬区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のための基礎資料を得ることを目的とし、以下の各調査を実施した。

① 高齢者一般調査	健康、生きがい、社会参加、介護予防等に関する実態や意向を把握するための基礎資料を得ることを目的とする。
② 介護保険サービス利用者調査（介護サービス利用者調査）	介護保険サービスの利用状況・利用意向等の把握により、今後の介護保険サービスの需要の動向を把握するための基礎資料を得ることを目的とする。
③ 介護保険サービス未利用者調査（要介護認定者調査）	介護保険サービスの未利用者の生活実態、自立度を把握するとともに、未利用の理由を把握することで、適切なサービス提供のあり方を把握する基礎資料を得ることを目的とする。
④ これから高齢期を迎える方の調査＜一般＞	高齢者の保健福祉施策の 10 年後を見据え、健康、生きがい、社会参加等に関する実態や意向を把握するとともに、今後の介護予防施策に向けた取り組みのための基礎資料を得ることを目的とする。
⑤ これから高齢期を迎える方の調査＜要介護＞	これから高齢期を迎える要介護認定者の生活実態や意識意向を把握するとともに、今後の介護施策に向けた取り組みのための基礎資料を得ることを目的とする。
⑥ 介護保険サービス事業者調査（介護サービス事業所調査）	事業展開の現状と今後、介護保険制度の見直し等に関する要望等を把握する基礎資料を得ることを目的とする。

＊（ ）内は、調査票に使用した調査名称である。

2 調査方法

各調査ともに、郵送法（郵送配布－郵送回収）で実施した。

3 調査対象

①高齢者一般調査	住民基本台帳から介護保険の認定を受けている方を含む 65 歳以上の方を無作為に 3,000 人抽出した。 (ただし調査④⑤の該当者を除く。)
②介護保険サービス利用者調査 (介護サービス利用者調査)	介護保険の認定を受けており、かつ介護保険サービスを利用している 65 歳以上の方を無作為に 3,000 人抽出した。 (ただし、調査①の該当者を除く。)
③介護保険サービス未利用者調査 (要介護認定者調査)	介護保険の認定を受けているが、介護保険サービスを利用していない 65 歳以上の方を無作為に 1,500 人抽出した。 (ただし、調査①の該当者を除く。)
④これから高齢期を迎える方の調査<一般>	住民基本台帳から介護保険の認定を受けていない 55～64 歳の方を無作為に 1,000 人抽出した。
⑤これから高齢期を迎える方の調査<要介護>	介護保険の認定を受けており、かつ介護保険サービスを利用している 55～64 歳の方を無作為に 200 人抽出した。
⑥介護保険サービス事業者調査 (介護サービス事業所調査)	区の介護保険被保険者に介護保険サービスを提供している区内の 416 事業者を対象とした。 居宅介護支援事業者 157 訪問介護事業者 148 通所介護事業者 57 通所リハビリテーション事業者 11 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム) 15 介護老人保健施設 6 介護療養型医療施設 5 特定施設入所者生活介護事業者 10 認知症対応型共同生活介護事業者 7

4 調査期間

①高齢者一般調査	平成 16 年 11 月 19 日～12 月 9 日
②介護保険サービス利用者調査 (介護サービス利用者調査)	平成 16 年 11 月 19 日～12 月 9 日
③介護保険サービス未利用者調査 (要介護認定者調査)	平成 16 年 11 月 19 日～12 月 9 日
④これから高齢期を迎える方の調査<一般>	平成 16 年 11 月 19 日～12 月 9 日
⑤これから高齢期を迎える方の調査<要介護>	平成 16 年 11 月 19 日～12 月 9 日
⑥介護保険サービス事業者調査 (介護サービス事業所調査)	平成 17 年 2 月 8 日～2 月 16 日

5 回収状況

	有効回収数	有効回収率
①高齢者一般調査	2,246	74.9%
②介護保険サービス利用者調査（介護サービス利用者調査）	1,960	65.3%
③介護保険サービス未利用者調査（要介護認定者調査）	904	60.3%
④これから高齢期を迎える方の調査＜一般＞	619	61.9%
⑤これから高齢期を迎える方の調査＜要介護＞	93	46.5%
⑥介護保険サービス事業者調査（介護サービス事業所調査）	271	65.1%

6 調査結果の見方

【数値等について】

- 調査結果のグラフの数値は、回答率（％：パーセント）で表示している。（％）の母数は、その質問項目に該当する回答者の総数であり、その数は「サンプル数」で示している。介護保険サービス事業者調査については、（％）とともに実数（事業者数）を表記している。
- 調査結果の数表で2段書きしている場合は、上段が人数、下段が（％）である。
- （％）の数値は、小数点第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示している。このため各回答の数値の合計が必ずしも100.0%とならない場合がある。
- 回答は、単数回答（○は1つ）と複数回答（あてはまるものすべてに○等）の2種類がある。複数回答設問の場合、その回答割合（％）の合計は100.0%を超える場合がある。
- 設問項目の後に、全体的な傾向についての分析結果を記載している。
- 必要に応じて、男女別や年齢別、要介護度別、居住地区別等の傾向について分析している。なおこれらの分析において、例えば男女別の場合、性別無回答については数表に表記していない。そのため、男性のサンプル数と女性のサンプル数の合計は全体のサンプル数の合計と一致していない。年齢別など他の分析についても表記は同様である。
- 高齢者一般調査においては、調査結果の経年比較を行っている項目がある。経年比較の数表は、「全体」でサンプル数を表し、各選択肢は（％）で表記している。
- 図表やコメント部分での回答の選択肢は、簡略化して表現している場合がある。正式な回答の選択肢は、別冊の調査票を参照のこと。

【報告書で用いている用語の定義について】

① 年齢

- 「前期高齢者」は「65～74 歳」、「後期高齢者」は「75 歳以上」の年齢層である。

② 居住地区

- 居住地区の分類は次のとおりである。

練馬	旭丘1～2丁目、向山1～4丁目、小竹町1～2丁目、栄町、桜台1～6丁目、豊玉上1～2丁目、豊玉北1～6丁目、豊玉中1～4丁目、豊玉南1～3丁目、中村1～3丁目、中村北1～4丁目、中村南1～3丁目、貫井1～5丁目、練馬1～4丁目、羽沢1～3丁目
光が丘	旭町1～3丁目、春日町1～6丁目、北町1～8丁目、田柄1～5丁目、高松1～6丁目、土支田1～4丁目、錦1～2丁目、早宮1～4丁目、氷川台1～4丁目、平和台1～4丁目、光が丘1～7丁目
石神井	上石神井1～4丁目、上石神井南町、下石神井1～6丁目、石神井台1～8丁目、石神井町1～8丁目、関町北1～5丁目、関町東1～2丁目、関町南1～4丁目、高野台1～5丁目、立野町、富士見台1～4丁目、南田中1～5丁目、谷原1～6丁目、三原台1～3丁目
大泉	大泉学園1～9丁目、大泉町1～6丁目、東大泉1～7丁目、西大泉1～6丁目、西大泉町、南大泉1～6丁目

【「痴ほう」の表現について】

- 調査時点においては「痴ほう」という言葉を使用したか、その後「痴ほう」に代わり「認知症」を用いることとなったため、本報告書においては「認知症（痴ほう）」という表現に改めた。したがって、別冊の調査票では「痴ほう」という表現になっている。

II 調查結果

1 高齡者一般調査

1 高齢者一般調査

<調査結果の概要>

《回答者（高齢者一般）の状況について》

- ◆ 世帯構成については、単身世帯が15.9%、夫婦のみの世帯は40.4%であり、過去3回の調査と比較して単身世帯、夫婦のみの世帯の割合が高くなっている。【問5 P.9】

《住居・健康・医療等について》

- ◆ 住居形態は、「一戸建ての持ち家」（69.4%）、「分譲マンション」（8.5%）をあわせると約8割が持ち家と回答している。【問7 P.12～13】
- ◆ 自分が要介護状態になった場合、希望する介護は、「自宅で介護保険や在宅支援サービス等を利用し暮らしたい」（36.3%）、「自宅で家族介護を中心に暮らしたい」（21.0%）をあわせると約6割が自宅での生活を希望している。【問35 P.57～58】
- ◆ 現在、健康であると考えている人は、単身世帯では38.2%であり、全体の51.3%と比較してやや低くなっている。【問10 P.15】
- ◆ 健康について知りたいことは、「認知症（痴呆）の予防」（28.5%）、「がんや糖尿病等の生活習慣病の予防」（25.6%）、「栄養・食生活」（24.4%）が主なものである。【問14 P.20～21】
- ◆ 単身世帯では、毎日食事を3食とる人は74.4%で、他の世帯と比べて低く、また、肉や魚、乳製品をとる頻度も低い。【問18 P.26・問19 P.27・問20 P.27】
- ◆ 過去1年間に転倒もしくは転倒しそうになった人は59.2%、そのうち、約1割の人が介護や介助が必要となっており、また、転倒場所としては、家では「庭・外回り」（33.8%）、家の外では「道路・歩道」（54.1%）の割合が最も高い。【問24 P.31・問24-3 P.34～35・問24-4 P.35】

《就労状況・生きがい・社会参加意識等について》

- ◆ 現在仕事についている人は26%、ついていない人は68.9%であり、仕事についている理由は、「生活費を得るため」「健康のため」「生きがいを得るため」「持っている技術や資格を生かすため」が主なものである。【問25 P.36・問25-2 P.38】
- ◆ 社会活動に参加している割合は、「町会・自治体活動」（6.9%）、「ボランティア活動」（6.4%）、「老人クラブ活動」（3.9%）であり、「活動はしていない」は58.9%である。【問31 P.45】

《保健福祉施策について》

- ◆ 健康や保健福祉に関する情報源は、「テレビ・ラジオ」（44.5%）、「ねりま区報」（41.5%）、「新聞」（38.7%）の割合が高い。一方、「インターネット」は2.0%と低い。【問40 P.64～65】

<調査結果から得られた主な課題>

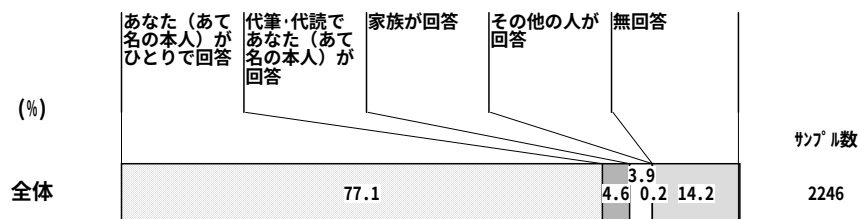
- ◇ 単身世帯および夫婦のみの世帯が増加している。特にひとり暮らしの高齢者は、食事に偏りがあり、健康であると自覚している比率も低く、食生活・健康面での支援が課題である。
- ◇ 健康について知りたいことは、認知症の予防についてが最も高く、適切な情報提供が課題である。
- ◇ 転倒により1割の人が介護や介助が必要となっており、バリアフリー（福祉）のまちづくりも視野に入れた、転倒予防対策が課題となっている。
- ◇ 約8割の持ち家割合と約6割の居宅生活希望割合を踏まえた、居宅重視の取り組みが課題となっている。

(1) 回答者について

① 調査票の回答者

問1 この調査票を回答される方を教えてください。(○は1つ)

調査票の回答者は「あなたがひとりで回答」が77.1%を占める。

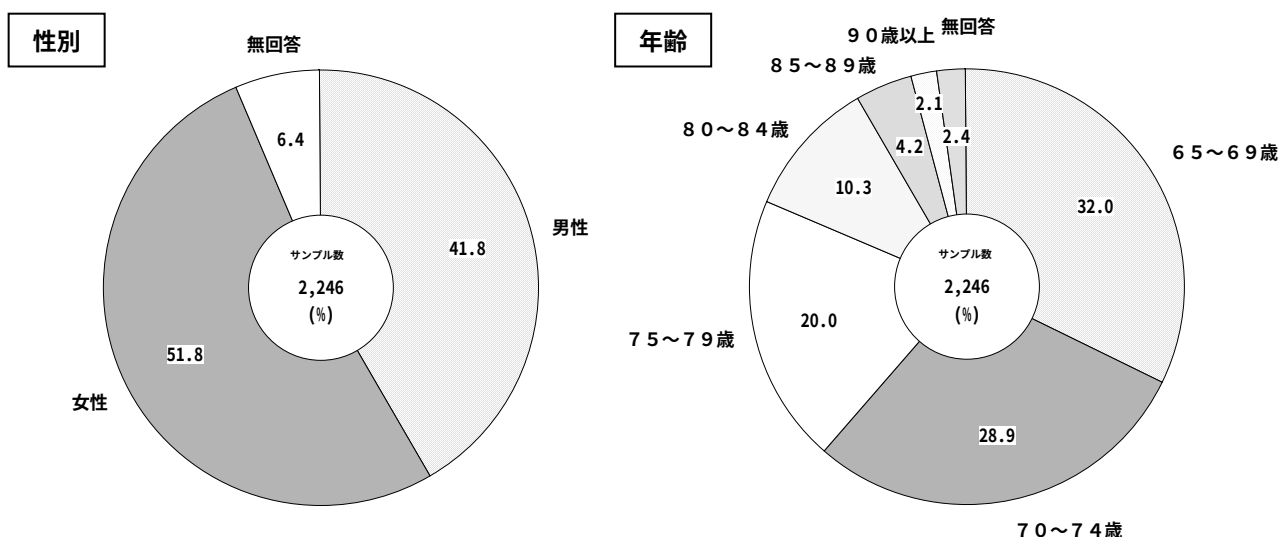


② 性別・年齢

問2 あなた（あて名のご本人）の性別と、平成16年11月1日現在の満年齢はいくつですか。(○はそれぞれ1つずつ)

調査回答者の性別は「男性」が41.8%、「女性」が51.8%である。

年齢は前期高齢者（65～74歳）が60.9%で、後期高齢者（75歳以上）が36.6%である。



《経年比較》

過去3回の調査と比較すると、性別については、過去の調査と比較して無回答の割合が高くなっている。年齢については、平成13年および平成8年と比較すると、75歳以上の後期高齢者の割合がやや高くなっている。

	全体	男性	女性	無回答
平成16年	2246	41.8	51.8	6.4
平成13年	2463	45.4	53.4	1.2
平成8年	3223	43.7	55.6	0.7
平成4年	2526	45.1	54.9	0.0

(%)
ただし、「全体」はサンプル数

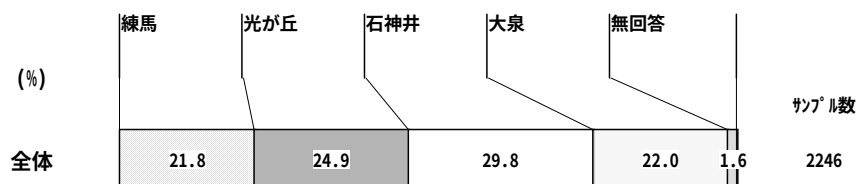
	全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	無回答
平成16年	2246	32.0	28.9	20.0	10.3	4.2	2.1	2.4
平成13年	2463	35.0	29.1	19.0	15.9	—	—	1.0
平成8年	3223	38.9	27.3	16.4	16.6	—	—	0.8
平成4年	2526	36.9	26.1	19.0	18.0	—	—	0.0

*平成4年、8年、13年は、選択肢が「80歳以上」である

③居住地区

問3 あなた(あて名のご本人)のお住まいはどちらですか。また何丁目かもお答えください。(○は1つずつ)

調査回答者の居住地区は、「石神井地区」(29.8%)、「光が丘地区」(24.9%)、「大泉地区」(22.0%)、「練馬地区」(21.8%)となっている。



<男女別・年齢別・世帯構成別の比較>

		全体	練馬	光が丘	石神井	大泉	無回答	
全体		2246	489	560	669	493	35	上段：実数 下段：%
		100.0	21.8	24.9	29.8	22.0	1.6	
男女別	男性	939	205	255	276	196	7	
		100.0	21.8	27.2	29.4	20.9	0.7	
女性		1163	256	281	346	271	9	
		100.0	22.0	24.2	29.8	23.3	0.8	
年齢別	前期高齢者 (65歳～74歳)	1368	270	368	399	322	9	
		100.0	19.7	26.9	29.2	23.5	0.7	
	後期高齢者 (75歳以上)	824	207	182	260	163	12	
		100.0	25.1	22.1	31.6	19.8	1.5	
世帯構成別	単身世帯	356	97	81	101	70	7	
		100.0	27.2	22.8	28.4	19.7	2.0	
	夫婦のみの世帯	907	195	227	279	201	5	
		100.0	21.5	25.0	30.8	22.2	0.6	
その他の世帯		880	176	232	266	196	10	
		100.0	20.0	26.4	30.2	22.3	1.1	

<経年比較>

	全体	練馬	光が丘	石神井	大泉	無回答
平成16年	2246	21.8	24.9	29.8	22.0	1.6
平成13年	2463	22.8	25.6	30.7	20.9	0.0
平成8年	3223	24.4	24.5	30.7	20.3	0.0
平成4年	2526	26.1	22.6	31.9	19.4	0.0

(%)

ただし、「全体」はサンプル数

④現在の住居での居住年数

問4 現在のお住まいでの、あなた(あて名のご本人)の居住年数を教えてください。

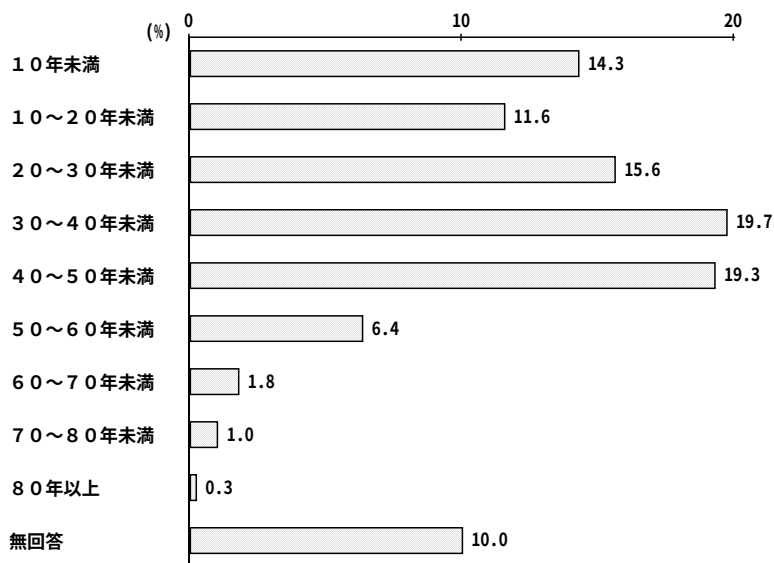
現在の住居での居住年数は、居住年数が「30～40 年未満」(19.7%)、「40～50 年未満」(19.3%)、「20～30 年未満」(15.6%)とあわせると 54.6%となり、比較的居住期間が長い方が5割を超えている。

＜年齢別の傾向＞

前期高齢者は「30～40 年未満」、後期高齢者は「40～50 年未満」が最も割合が高い。

＜居住地区別の傾向＞

練馬地区と光が丘地区は「40～50 年未満」、石神井地区と大泉地区は「30～40 年未満」が最も割合が高い。



＜年齢別・居住地区別の比較＞

	全体	10年未満	10～20年未満	20～30年未満	30～40年未満	40～50年未満	50～60年未満	60～70年未満	70～80年未満	80年以上	無回答	平均
全体	2246	321	260	351	443	434	143	40	23	6	225	29.7年
	100.0	14.3	11.6	15.6	19.7	19.3	6.4	1.8	1.0	0.3	10.0	
年齢別												
前期高齢者 (65歳～74歳)	1368	210	168	257	310	233	40	18	10	0	122	27.6年
	100.0	15.4	12.3	18.8	22.7	17.0	2.9	1.3	0.7	0.0	8.9	
後期高齢者 (75歳以上)	824	103	89	91	130	190	101	22	13	6	79	33.3年
	100.0	12.5	10.8	11.0	15.8	23.1	12.3	2.7	1.6	0.7	9.6	
居住地区別												
練馬	489	70	43	72	68	92	56	17	10	4	57	32.6年
	100.0	14.3	8.8	14.7	13.9	18.8	11.5	3.5	2.0	0.8	11.7	
光が丘	560	91	87	77	92	121	21	10	4	0	57	27.7年
	100.0	16.3	15.5	13.8	16.4	21.6	3.8	1.8	0.7	0.0	10.2	
石神井	669	102	67	105	139	128	54	8	5	0	61	29.7年
	100.0	15.2	10.0	15.7	20.8	19.1	8.1	1.2	0.7	0.0	9.1	
大泉	493	53	60	93	141	89	10	5	3	2	37	29.2年
	100.0	10.8	12.2	18.9	28.6	18.1	2.0	1.0	0.6	0.4	7.5	

上段：実数
下段：%

⑤世帯構成

問5 あなた(あて名のご本人)の現在の世帯構成を次の中から教えてください。2世帯住宅などにお住まいの方は、別世帯の方も含めて同じ世帯とお考えください。(○は1つ)

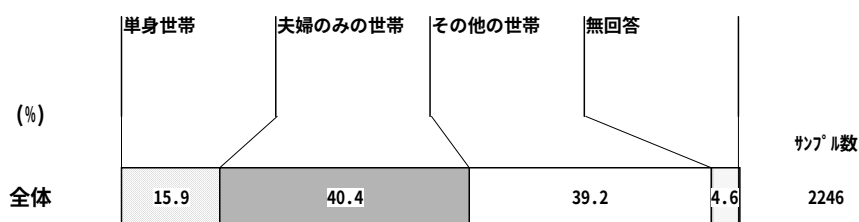
現在の世帯構成は「単身世帯」が15.9%、「夫婦のみの世帯」が40.4%であり、この両方で56.3%を占める。

＜男女別の傾向＞

「単身世帯」の割合は、男性が8.3%であるのに対し、女性では22.3%と高い。

＜年齢別の傾向＞

前期高齢者では「夫婦のみの世帯」が44.8%、「単身世帯」が12.4%となっている。これに対し、後期高齢者では「夫婦のみの世帯」が33.6%と減少している一方、「単身世帯」が21.6%と増加している。



＜男女別・年齢別・居住地区別の比較＞

	全体	単身世帯	夫婦のみの世帯	その他の世帯	無回答	
全体	2246 100.0	356 15.9	907 40.4	880 39.2	103 4.6	上段：実数 下段：%
男女別						
男性	939 100.0	78 8.3	481 51.2	354 37.7	26 2.8	
女性	1163 100.0	259 22.3	365 31.4	478 41.1	61 5.2	
年齢別						
前期高齢者 (65歳～74歳)	1368 100.0	169 12.4	613 44.8	542 39.6	44 3.2	
後期高齢者 (75歳以上)	824 100.0	178 21.6	277 33.6	321 39.0	48 5.8	
居住地区別						
練馬	489 100.0	97 19.8	195 39.9	176 36.0	21 4.3	
光が丘	560 100.0	81 14.5	227 40.5	232 41.4	20 3.6	
石神井	669 100.0	101 15.1	279 41.7	266 39.8	23 3.4	
大泉	493 100.0	70 14.2	201 40.8	196 39.8	26 5.3	

＜経年比較＞

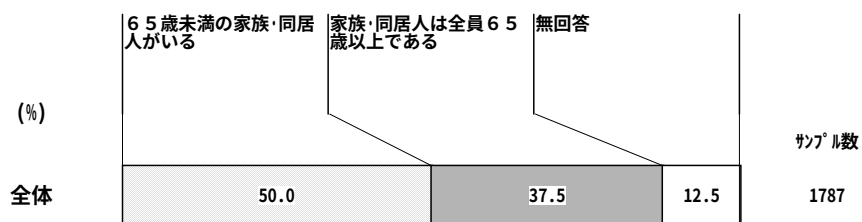
単身世帯および夫婦のみの世帯とも徐々に割合が高くなっている。平成16年では、この二つの世帯が占める割合が、初めて5割を超えた。

	全体	単身世帯	夫婦のみの世帯	その他の世帯	無回答	(%)
平成16年	2246	15.9	40.4	39.2	4.6	ただし、「全体」はサンプル数
平成13年	2463	10.8	36.3	48.3	4.7	
平成8年	3223	10.2	28.7	57.6	3.5	
平成4年	2526	9.2	26.5	61.4	2.9	

⑥65 歳未満の同居者の有無（問 5－1）

問 5－1 あなた（あて名のご本人）の世帯に、65 歳未満の方はいらっしゃいますか。（○は1つ）

2 人以上世帯の同居者の状況をみると、「65 歳未満の家族・同居人がいる」のは 50.0%で、37.5%は「家族・同居人は全員 65 歳以上である」。



<年齢別・世帯構成別の比較>

	全体	65歳未満 の家族・ 同居人が いる	家族・同 居人は全 員65歳以 上である	無回答	
全体	1787 100.0	893 50.0	670 37.5	224 12.5	上段：実数 下段：%
年齢別					
前期高齢者 (65歳～74歳)	1155 100.0	599 51.9	425 36.8	131 11.3	
後期高齢者 (75歳以上)	598 100.0	277 46.3	236 39.5	85 14.2	
世帯構成					
夫婦のみの世帯	907 100.0	147 16.2	611 67.4	149 16.4	
その他の世帯	880 100.0	746 84.8	59 6.7	75 8.5	

⑦平日の昼間の在宅者（問6）

問6 平日の昼間、ご自宅にあなた（あて名のご本人）以外に、どなたかいらっしゃいますか。（○は1つ）

平日の昼間に家に「いつも誰かがいる」が36.2%、「誰かがいることが多い」が30.8%である。「自分ひとりのことが多い」は17.4%、「いつも自分ひとりである」は12.7%であり、あわせて30.1%である。

＜男女別の傾向＞

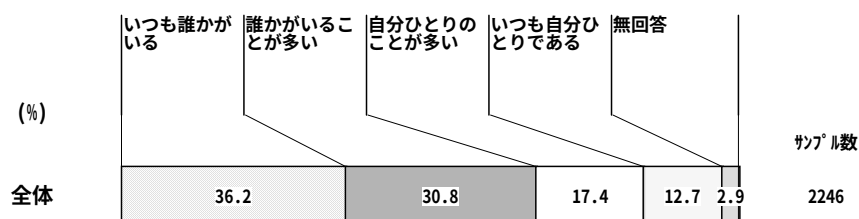
「自分ひとりのことが多い」と「いつも自分ひとりである」をあわせた割合は、男性が15.7%であるのに対し、女性は41.1%と高い。

＜年齢別の傾向＞

全体の傾向と大きな違いはみられない。

＜世帯構成別の傾向＞

単身世帯では「自分ひとりのことが多い」と「いつも自分ひとりである」をあわせた割合が87.4%となっている。



＜男女別・年齢別・世帯構成別の比較＞

	全体	いつも誰かがいる	誰かがいることが多い	自分ひとりのことが多い	いつも自分ひとりである	無回答
全体	2246 100.0	814 36.2	691 30.8	390 17.4	285 12.7	66 2.9
男女別						
男性	939 100.0	403 42.9	354 37.7	83 8.8	65 6.9	34 3.6
女性	1163 100.0	366 31.5	299 25.7	271 23.3	207 17.8	20 1.7
年齢別						
前期高齢者 (65歳～74歳)	1368 100.0	495 36.2	442 32.3	235 17.2	156 11.4	40 2.9
後期高齢者 (75歳以上)	824 100.0	300 36.4	236 28.6	145 17.6	126 15.3	17 2.1
世帯構成別						
単身世帯	356 100.0	16 4.5	20 5.6	95 26.7	216 60.7	9 2.5
夫婦のみの世帯	907 100.0	389 42.9	354 39.0	115 12.7	20 2.2	29 3.2
その他の世帯	880 100.0	367 41.7	300 34.1	156 17.7	42 4.8	15 1.7

上段：実数
下段：%

(2) 住居について

① 住居形態（問7）

問7 あなた（あて名のご本人）のお住まいは、次のうちのどれにあてはまりますか。（○は1つ）

住居形態は「一戸建ての持ち家」の割合が 69.4%で最も高く、「分譲マンション」（8.5%）をあわせた『持ち家率』は 77.9%で約 8 割である。

＜年齢別の傾向＞

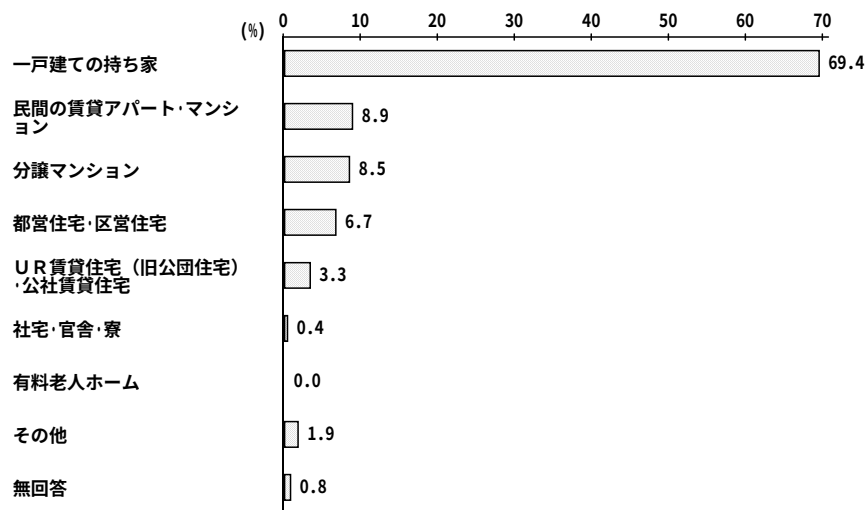
全体の傾向と大きな違いはみられない。

＜世帯構成別の傾向＞

夫婦のみの世帯とその他の世帯では、「一戸建ての持ち家」がそれぞれ 71.0%、79.8%となっているが、単身世帯では 40.4%である。

＜居住地区別の傾向＞

いずれの地区でも「一戸建ての持ち家」の割合が最も高いが、特に大泉地区では 86.0%と高くなっている。練馬地区では「一戸建ての持ち家」（65.2%）に次いで、「分譲マンション」が 15.5%、「民間の賃貸アパート・マンション」が 13.1%と高く、光が丘地区と石神井地区では、「都営住宅・区営住宅」の割合が、それぞれ 10.2%と 10.3%と他地区と比較して高いのが特徴である。



＜年齢別・世帯構成別・居住地区別の比較＞

	全体	一戸建ての持ち家	民間の賃貸アパート・マンション	分譲マンション	都営住宅・区営住宅	UR賃貸住宅(旧公団住宅)・公社賃貸住宅	社宅・官舎・寮	有料老人ホーム	その他	無回答
全体	2246 100.0	1559 69.4	200 8.9	192 8.5	151 6.7	75 3.3	9 0.4	0 0.0	42 1.9	18 0.8
年齢別										
前期高齢者(65歳～74歳)	1368 100.0	946 69.2	130 9.5	125 9.1	85 6.2	49 3.6	7 0.5	0 0.0	20 1.5	6 0.4
後期高齢者(75歳以上)	824 100.0	586 71.1	62 7.5	63 7.6	65 7.9	22 2.7	2 0.2	0 0.0	20 2.4	4 0.5
世帯構成別										
単身世帯	356 100.0	144 40.4	84 23.6	46 12.9	48 13.5	18 5.1	2 0.6	0 0.0	11 3.1	3 0.8
夫婦のみの世帯	907 100.0	644 71.0	63 6.9	89 9.8	62 6.8	28 3.1	4 0.4	0 0.0	14 1.5	3 0.3
その他の世帯	880 100.0	702 79.8	43 4.9	54 6.1	36 4.1	26 3.0	3 0.3	0 0.0	14 1.6	2 0.2
居住地区別										
練馬	489 100.0	319 65.2	64 13.1	76 15.5	11 2.2	5 1.0	2 0.4	0 0.0	9 1.8	3 0.6
光が丘	560 100.0	340 60.7	39 7.0	51 9.1	57 10.2	55 9.8	3 0.5	0 0.0	11 2.0	4 0.7
石神井	669 100.0	461 68.9	58 8.7	53 7.9	69 10.3	6 0.9	3 0.4	0 0.0	17 2.5	2 0.3
大泉	493 100.0	424 86.0	33 6.7	12 2.4	10 2.0	7 1.4	1 0.2	0 0.0	5 1.0	1 0.2

上段：実数
下段：%

＜経年比較＞

これまでの調査結果と比較すると、「一戸建ての持ち家」の割合が低下し、「分譲マンション」や「UR賃貸住宅・公社賃貸住宅」の割合が高くなっている。

	全体	一戸建ての持ち家	民間の賃貸アパート・マンション	分譲マンション	都営住宅・区営住宅	UR賃貸住宅(旧公団住宅)・公社賃貸住宅	社宅・官舎・寮	有料老人ホーム	その他	無回答
平成16年	2246	69.4	8.9	8.5	6.7	3.3	0.4	0.0	1.9	0.8
平成13年	2463	73.0	7.0	7.6	7.5	2.4	0.2	—	1.1	1.1
平成8年	3223	75.0	6.7	5.9	7.4	2.0	0.4	—	1.5	1.1
平成4年	2516	75.8	7.1	5.3	7.4	1.6	0.5	—	0.9	1.4

(%)
ただし「全体」は
サンプル数

*「有料老人ホーム」は平成16年からの選択肢。

②住居の工夫（問8、複数回答）

問8 あなた(あて名のご本人)のお住まいは、現在次のような工夫をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

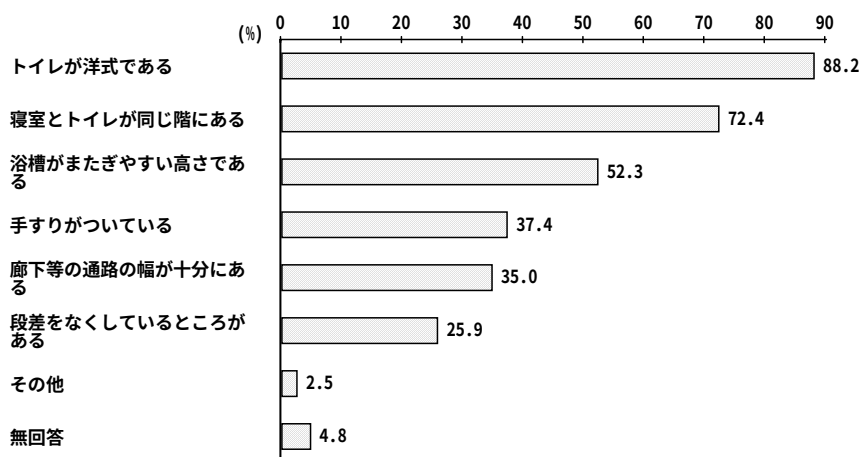
住居で工夫している主な点は、「トイレが洋式である」(88.2%)、「寝室とトイレが同じ階にある」(72.4%)、「浴槽がまたぎやすい高さである」(52.3%)である。

＜年齢別の傾向＞

後期高齢者のほうが前期高齢者よりも工夫している割合が高い。

＜住居形態別の傾向＞

民間の賃貸アパートでは他の住居形態と比較して工夫している割合が低い。



＜年齢別・住居形態別の比較＞

	全体	トイレが洋式である	寝室とトイレが同じ階にある	浴槽がまたぎやすい高さである	手すりがついている	廊下等の通路の幅が十分にある	段差をなくしているところがある	その他	無回答
全体	2246	1981	1626	1174	840	786	581	57	108
	100.0	88.2	72.4	52.3	37.4	35.0	25.9	2.5	4.8
年齢別									
前期高齢者 (65歳～74歳)	1368	1195	944	697	461	411	333	33	73
	100.0	87.4	69.0	51.0	33.7	30.0	24.3	2.4	5.3
後期高齢者 (75歳以上)	824	748	651	458	370	354	238	22	26
	100.0	90.8	79.0	55.6	44.9	43.0	28.9	2.7	3.2
住居形態別									
一戸建ての持ち家	1559	1426	1151	934	699	588	414	29	43
	100.0	91.5	73.8	59.9	44.8	37.7	26.6	1.9	2.8
分譲マンション	192	176	157	92	28	73	62	5	7
	100.0	91.7	81.8	47.9	14.6	38.0	32.3	2.6	3.6
民間の賃貸アパート・マンション	200	129	126	43	16	39	18	12	29
	100.0	64.5	63.0	21.5	8.0	19.5	9.0	6.0	14.5
都営住宅・区営住宅	151	137	102	46	58	37	41	8	8
	100.0	90.7	67.5	30.5	38.4	24.5	27.2	5.3	5.3
UR賃貸住宅(旧公団住宅)・公社賃貸住宅	75	69	55	32	17	28	32	0	5
	100.0	92.0	73.3	42.7	22.7	37.3	42.7	0.0	6.7
社宅・官舎・寮	9	7	5	6	3	4	3	0	1
	100.0	77.8	55.6	66.7	33.3	44.4	33.3	0.0	11.1
その他	42	30	24	17	14	14	8	3	5
	100.0	71.4	57.1	40.5	33.3	33.3	19.0	7.1	11.9

上段：実数
下段：%

③住居の改修希望場所（問9、複数回答）

問9 今後、あなた（あて名のご本人）のお住まいのなかで、改修をしたいところがありますか。（あてはまるものすべてに○）

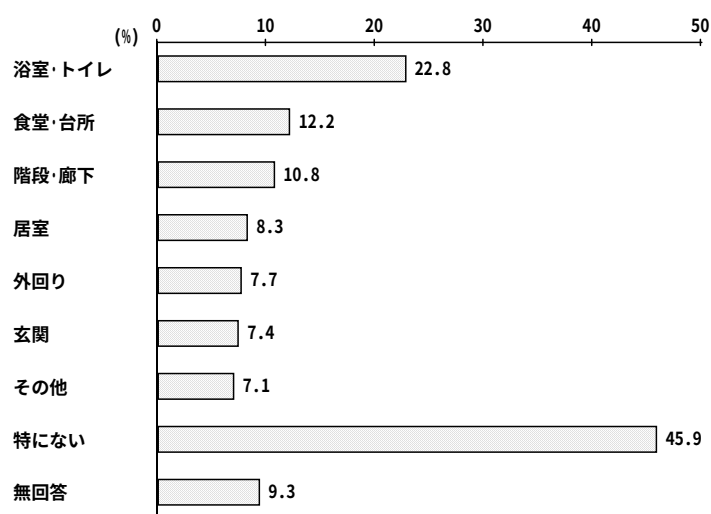
住居の改修希望場所については、「特にない」が45.9%で最も割合が高い。次いで「浴室・トイレ」（22.8%）、「食堂・台所」（12.2%）、「階段・廊下」（10.8%）の順になっている。

＜年齢別の傾向＞

前期高齢者では後期高齢者と比較して「浴室・トイレ」と「食堂・台所」の改修を希望する割合が高い。

＜住居形態別の傾向＞

いずれも「浴室・トイレ」の改修希望が最も高い。また一戸建ての持ち家では、他の住居形態と比較して改修希望場所を具体的にあげている割合が高くなっている。



＜年齢別・住居形態別の比較＞

	全体	浴室・トイレ	食堂・台所	階段・廊下	居室	外回り	玄関	その他	特にない	無回答
全体	2246	512	273	243	186	173	167	159	1032	210
	100.0	22.8	12.2	10.8	8.3	7.7	7.4	7.1	45.9	9.3
年齢別										
前期高齢者 (65歳～74歳)	1368	340	196	159	121	111	99	103	601	113
	100.0	24.9	14.3	11.6	8.8	8.1	7.2	7.5	43.9	8.3
後期高齢者 (75歳以上)	824	161	72	78	61	56	64	55	413	82
	100.0	19.5	8.7	9.5	7.4	6.8	7.8	6.7	50.1	10.0
住居形態別										
一戸建ての持ち家	1559	363	233	218	157	162	145	105	681	114
	100.0	23.3	14.9	14.0	10.1	10.4	9.3	6.7	43.7	7.3
分譲マンション	192	38	14	3	10	0	5	8	120	11
	100.0	19.8	7.3	1.6	5.2	0.0	2.6	4.2	62.5	5.7
民間の賃貸アパート・マンション	200	40	9	12	3	6	6	23	95	32
	100.0	20.0	4.5	6.0	1.5	3.0	3.0	11.5	47.5	16.0
都営住宅・区営住宅	151	46	7	3	6	1	6	10	68	23
	100.0	30.5	4.6	2.0	4.0	0.7	4.0	6.6	45.0	15.2
UR賃貸住宅 (旧公団住宅)・公社賃貸住宅	75	18	7	5	7	2	3	5	41	8
	100.0	24.0	9.3	6.7	9.3	2.7	4.0	6.7	54.7	10.7
社宅・官舎・寮	9	2	0	0	0	0	0	0	5	2
	100.0	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	55.6	22.2
その他	42	4	3	2	3	2	2	6	19	8
	100.0	9.5	7.1	4.8	7.1	4.8	4.8	14.3	45.2	19.0

上段：実数
下段：%

(3) 健康・医療について

①健康状態（問 10）

問 10 あなた（あて名のご本人）の、現在の健康状態はいかがですか。（○は1つ）

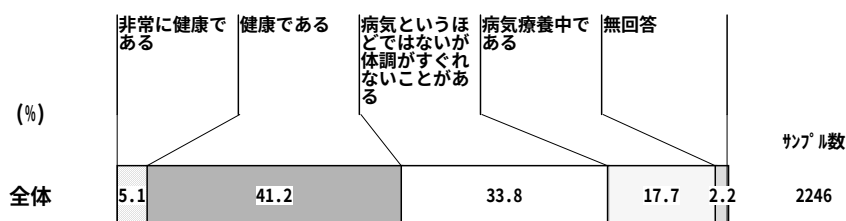
現在の健康状態について「非常に健康である」が 5.1%で、「健康である」をあわせると 46.3%が健康と回答している。「病気というほどではないが体調がすぐれないことがある」は 33.8%、「病気療養中である」は 17.7%みられる。

＜＜年齢別の傾向＞＞

前期高齢者では「非常に健康である」と「健康である」を合わせた割合が 52.7%であるのに対し、後期高齢者では 36.5%とやや低い値となっている。

＜＜世帯構成別の傾向＞＞

「非常に健康である」と「健康である」を合わせた割合は、単身世帯では 38.2%で夫婦のみの世帯やその他の世帯と比較して低くなっている。



＜年齢別・世帯構成別の比較＞

	全体	非常に健康である	健康である	病気というほどではないが体調がすぐれないことがある	病気療養中である	無回答	
全体	2246 100.0	115 5.1	925 41.2	759 33.8	398 17.7	49 2.2	上段：実数 下段：%
年齢別							
前期高齢者 (65歳～74歳)	1368 100.0	89 6.5	632 46.2	421 30.8	206 15.1	20 1.5	
後期高齢者 (75歳以上)	824 100.0	25 3.0	276 33.5	321 39.0	179 21.7	23 2.8	
世帯構成別							
単身世帯	356 100.0	17 4.8	119 33.4	124 34.8	82 23.0	14 3.9	
夫婦のみの世帯	907 100.0	49 5.4	387 42.7	310 34.2	146 16.1	15 1.7	
その他の世帯	880 100.0	46 5.2	391 44.4	282 32.0	148 16.8	13 1.5	

＜＜経年比較＞＞

平成 13 年と比較すると、平成 16 年は「非常に健康である」および「健康である」割合が低下し、逆に「病気というほどではないが体調がすぐれないことがある」が 10.6 ポイント上昇している。

	全体	非常に健康である	健康である	病気というほどではないが体調がすぐれないことがある	病気療養中である	無回答	(%) ただし、「全体」はサンプル数
平成16年	2246	5.1	41.2	33.8	17.7	2.2	
平成13年	2463	6.5	49.7	23.2	18.2	2.4	

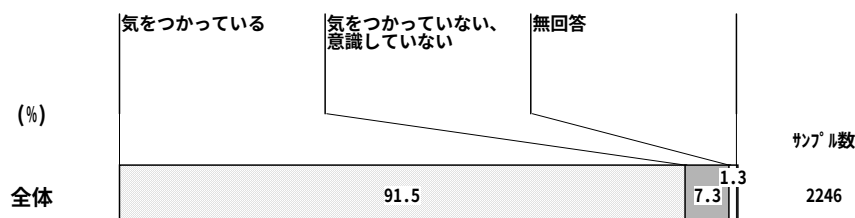
② 普段の健康管理状況（問 11）

問 11 あなた（あて名のご本人）は、ふだん健康に気がついていますか。（○は1つ）

普段から健康に「気がついている」は 91.5% で大多数を占め、健康に「気がついていない、意識していない」は 7.3% である。

＜男女別・年齢別・世帯構成別の傾向＞

全体の傾向と大きな違いはみられない。



＜男女別・年齢別・世帯構成別の比較＞

	全体	気がつ か つ て い る	気がつ か つ て い ない、意 識 し て い ない	無回答	
全体	2246 100.0	2054 91.5	163 7.3	29 1.3	上段：実数 下段：%
男女別					
男性	939 100.0	861 91.7	68 7.2	10 1.1	
女性	1163 100.0	1060 91.1	85 7.3	18 1.5	
年齢別					
前期高齢者 (65歳～74歳)	1368 100.0	1252 91.5	102 7.5	14 1.0	
後期高齢者 (75歳以上)	824 100.0	750 91.0	60 7.3	14 1.7	
世帯構成別					
単身世帯	356 100.0	327 91.9	23 6.5	6 1.7	
夫婦のみの世帯	907 100.0	845 93.2	53 5.8	9 1.0	
その他の世帯	880 100.0	792 90.0	82 9.3	6 0.7	

＜経年比較＞

平成 13 年と比較して、平成 16 年では健康に「気がついている」割合が 6.8 ポイント上昇し、91.5% となっている。

	全体	気がつ か つ て い る	気がつ か つ て い ない、意 識 し て い ない	無回答	(%) ただし、「全体」はサンプル数
平成16年	2246	91.5	7.3	1.3	
平成13年	2463	84.7	9.0	6.3	

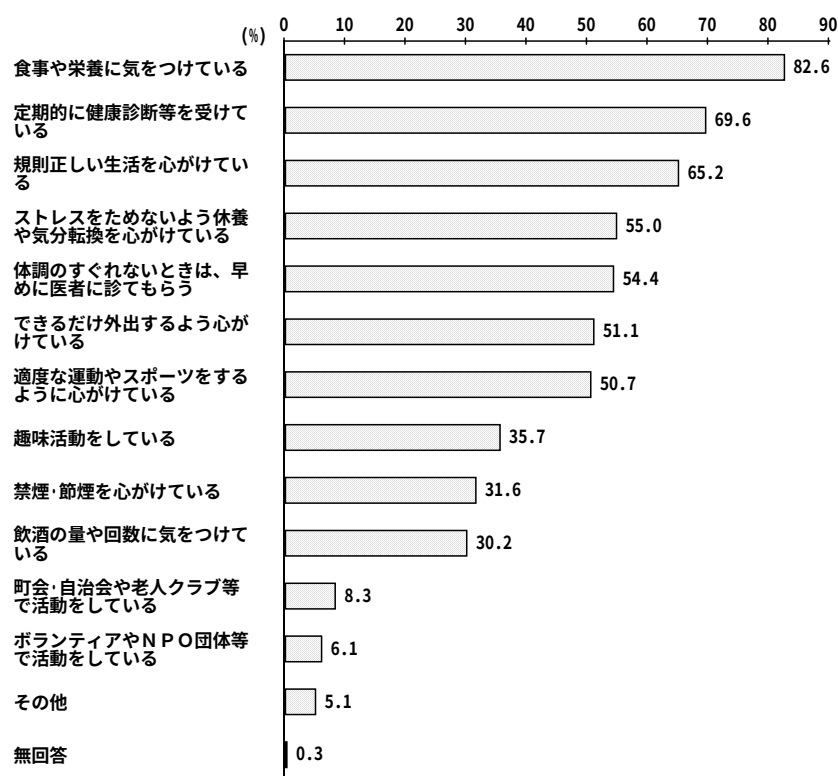
③特に健康に気をつけていること（問 11－1）

問 11－1 特に健康に気をつけていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

健康に気をつけていると回答した人に特に健康に気をつけていることをたずねたところ、「食事や栄養に気をつけている」が 82.6%で最も高く、次いで「定期的に健康診断等を受けている」（69.6%）、「規則正しい生活を心がけている」（65.2%）、「ストレスをためないよう休養や気分転換を心がけている」（55.0%）、「体調のすぐれないときは、早めに医者に診てもらう」（54.4%）、「できるだけ外出するよう心がけている」（51.1%）、「適度な運動やスポーツをするように心がけている」（50.7%）が上位にあげられている。

＜年齢別の傾向＞

前期高齢者では「ストレスをためないよう休養や気分転換を心がけている」「適度な運動やスポーツをするように心がけている」「趣味活動をしている」など、積極的な活動により健康維持を図る割合が後期高齢者よりも高い。後期高齢者では、「定期的に健康診断等を受けている」「体調のすぐれないときは、早めに医者に診てもらう」といった健康管理に関する項目の割合が高い。



＜年齢別の比較＞

上段：実数
下段：%

	全体	食事や栄養に気をつけている	定期的に健康診断等を受けている	規則正しい生活を心がけている	ストレスをためないよう休養や気分転換を心がけている	体調のすぐれないときは、早めに医者に診てもらう	できるだけ外出するよう心がけている	適度な運動やスポーツをするように心がけている	趣味活動をしている	禁煙・節煙を心がけている	飲酒の量や回数に気をつけている	町会・自治会や老人クラブ等で活動をしている	ボランティアやNPO団体等で活動をしている	その他	無回答
全体	2054 100.0	1697 82.6	1429 69.6	1339 65.2	1129 55.0	1117 54.4	1050 51.1	1042 50.7	734 35.7	649 31.6	621 30.2	171 8.3	126 6.1	105 5.1	7 0.3
前期高齢者 (65歳～74歳)	1252 100.0	1052 84.0	856 68.4	803 64.1	720 57.5	633 50.6	654 52.2	687 54.9	494 39.5	420 33.5	411 32.8	104 8.3	85 6.8	58 4.6	4 0.3
後期高齢者 (75歳以上)	750 100.0	603 80.4	542 72.3	507 67.6	387 51.6	458 61.1	374 49.9	332 44.3	228 30.4	221 29.5	197 26.3	65 8.7	40 5.3	45 6.0	3 0.4

＜経年比較＞

平成 13 年と比較すると、平成 16 年は割合が高くなった項目が多い。平成 13 年よりも割合が低下した項目は、「体調のすぐれないときは、早めに医者に診てもらう」（2.7 ポイント低下）、「適度な運動やスポーツをするように心がけている」（12.2 ポイント低下）である。

	全体	食事や栄養に気をつけている	定期的に健康診断等を受けている	規則正しい生活を心がけている	ストレスをためないよう休養や気分転換を心がけている	体調のすぐれないときは、早めに医者に診てもらう	できるだけ外出するよう心がけている	適度な運動やスポーツをするように心がけている	趣味活動をしている	禁煙・節煙を心がけている	飲酒の量や回数に気をつけている	町会・自治会や老人クラブ等で活動をしている	ボランティアや NPO 団体等で活動をしている	その他	無回答
平成16年	2054	82.6	69.6	65.2	55.0	54.4	51.1	50.7	35.7	31.6	30.2	8.3	6.1	5.1	0.3
平成13年	2086	77.9	66.0	56.4	48.3	57.1	41.0	62.9	—	22.9	23.6	—	—	6.0	0.8

＊「－」は平成 13 年調査にはない選択肢。

(%)
ただし、「全体」はサンプル数

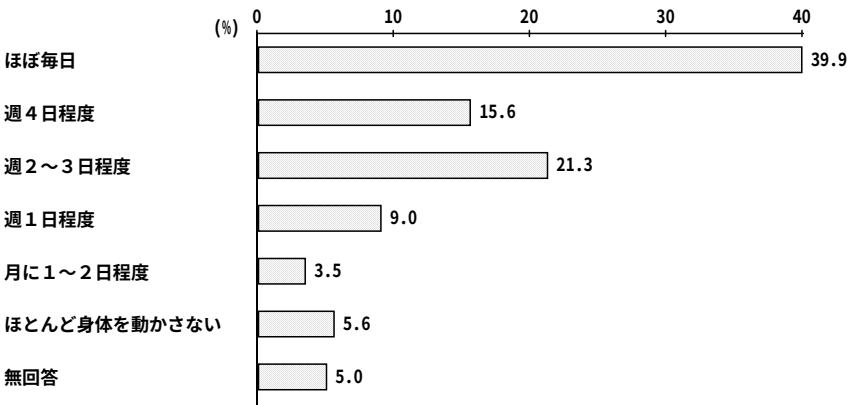
④健康のために身体を動かす頻度（問 12）

問 12 あなた（あて名のご本人）が、健康のために身体を動かす（体操や散歩など）頻度はどのくらいですか。（○は1つ）

健康のために身体を動かす頻度は、「ほぼ毎日」が 39.9%、「週 4 日程度」が 15.6%など、週 1 回以上身体を動かす合計は 85.8%で、9 割弱となっている。

＜男女別・年齢別の傾向＞

全体の傾向と大きな違いはみられない。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	ほぼ毎日	週4日程度	週2～3日程度	週1日程度	月に1～2日程度	ほとんど身体を動かさない	無回答
全体	2246 100.0	897 39.9	350 15.6	479 21.3	203 9.0	78 3.5	126 5.6	113 5.0
男女別								
男性	939 100.0	406 43.2	150 16.0	183 19.5	76 8.1	35 3.7	60 6.4	29 3.1
女性	1163 100.0	424 36.5	186 16.0	271 23.3	112 9.6	37 3.2	60 5.2	73 6.3
年齢別								
前期高齢者 (65歳～74歳)	1368 100.0	543 39.7	236 17.3	297 21.7	121 8.8	44 3.2	67 4.9	60 4.4
後期高齢者 (75歳以上)	824 100.0	333 40.4	106 12.9	172 20.9	79 9.6	32 3.9	56 6.8	46 5.6

上段：実数
下段：%

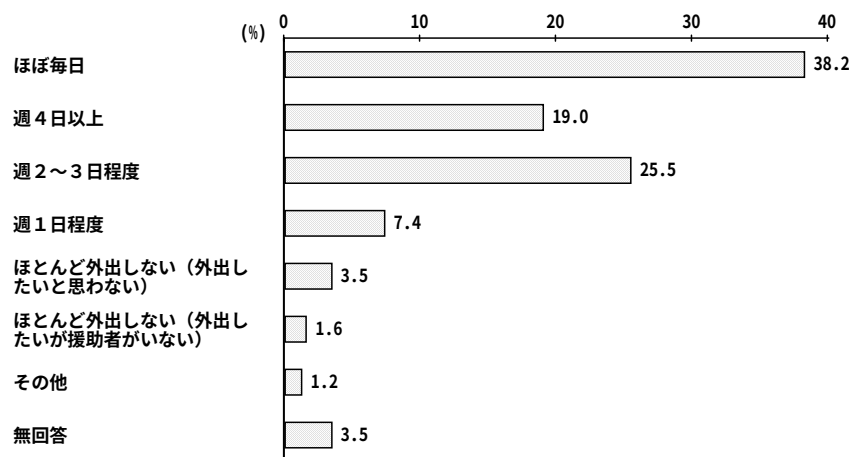
⑤外出頻度（問 13）

問 13 あなた（あて名のご本人）は通常、どのくらいの頻度で外出しますか。（○は1つ）

外出頻度は「ほぼ毎日」が 38.2%、「週 4 日以上」が 19.0%で、週 4 日以上外出する人の合計は 57.2%である。

＜年齢別の傾向＞

週 4 日以上外出する合計は、前期高齢者が 62.9%であるのに対し、後期高齢者では 48.2%と 5 割を割っている。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	ほぼ毎日	週 4 日以上	週 2～3 日程度	週 1 日程度	ほとんど外出しない (外出したいと思わない)	ほとんど外出しない (外出したいが援助者がいない)	その他	無回答	
全体	2246 100.0	859 38.2	427 19.0	572 25.5	166 7.4	79 3.5	37 1.6	28 1.2	78 3.5	上段：実数 下段：%
男女別										
男性	939 100.0	388 41.3	187 19.9	219 23.3	65 6.9	28 3.0	11 1.2	15 1.6	26 2.8	
女性	1163 100.0	407 35.0	218 18.7	325 27.9	88 7.6	46 4.0	25 2.1	12 1.0	42 3.6	
年齢別										
前期高齢者 (65歳～74歳)	1368 100.0	574 42.0	286 20.9	321 23.5	93 6.8	34 2.5	8 0.6	13 1.0	39 2.9	
後期高齢者 (75歳以上)	824 100.0	263 31.9	134 16.3	236 28.6	72 8.7	44 5.3	29 3.5	15 1.8	31 3.8	

＜経年比較＞

「ほぼ毎日」外出する、「週 4 日以上」外出する割合はあまり変化はないが、平成 16 年では「週 2～3 日程度」外出の割合がやや高くなっている。

	全体	ほぼ毎日	週 4 日以上	週 2～3 日程度	週 1 日程度	ほとんど外出しない (外出したいと思わない)	ほとんど外出しない (外出したいが援助者がいない)	その他	無回答
平成16年	2246	38.2	19.0	25.5	7.4	3.5	1.6	1.2	3.5
平成13年	2463	37.1	18.3	22.5	10.1	5.6	1.4	—	5.1

* 「その他」は平成 13 年調査にはない選択肢。

(%)
ただし、「全体」はサンプル数

⑥健康について知りたいこと（問 14、3 つまで回答）

問 14 健康について知りたいことはありますか。（○は3つまで）

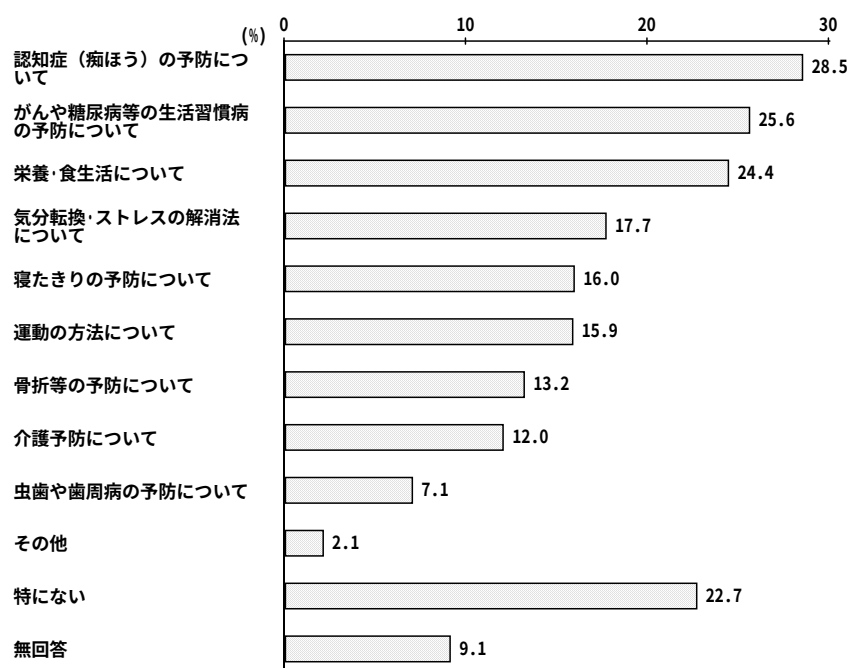
健康について知りたいことは、「認知症（痴ほう）の予防について」（28.5%）、「がんや糖尿病等の生活習慣病の予防について」（25.6%）、「栄養・食生活について」（24.4%）が上位3項目となっている。一方、健康について知りたいことが「特にない」も22.7%となっている。

＜男女別の傾向＞

男性は「がんや糖尿病等の生活習慣病の予防について」、女性は「認知症（痴ほう）の予防について」が最も高くなっている。

＜年齢別の傾向＞

前期・後期高齢者ともに上位3項目の割合が高いが、これらに加えて前期高齢者では「気分転換・ストレスの解消法について」が18.8%、「運動の方法について」が16.7%となっている。後期高齢者では「寝たきりの予防について」が19.7%、「骨折等の予防について」が17.1%であり、要介護状態の予防についての関心が高い。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	認知症（痴ほう）の予防について	がんや糖尿病等の生活習慣病の予防について	栄養・食生活について	気分転換・ストレスの解消法について	寝たきりの予防について	運動の方法について	骨折等の予防について	介護予防について	虫歯や歯周病の予防について	その他	特にない	無回答
全体	2246	641	575	549	397	359	356	297	270	159	48	510	205
男女別	100.0	28.5	25.6	24.4	17.7	16.0	15.9	13.2	12.0	7.1	2.1	22.7	9.1
男性	939	237	297	259	168	135	157	77	136	77	19	219	65
女性	1163	372	250	264	203	207	180	199	120	82	2.0	23.3	6.9
	100.0	32.0	21.5	22.7	17.5	17.8	15.5	17.1	10.3	6.5	2.2	21.8	10.4
年齢別	1368	409	403	321	257	191	228	149	170	103	26	301	117
前期高齢者 (65歳～74歳)	100.0	29.9	29.5	23.5	18.8	14.0	16.7	10.9	12.4	7.5	1.9	22.0	8.6
後期高齢者 (75歳以上)	824	219	158	212	136	162	118	141	95	52	22	195	82
	100.0	26.6	19.2	25.7	16.5	19.7	14.3	17.1	11.5	6.3	2.7	23.7	10.0

上段：実数
下段：%

＜＜経年比較＞＞

平成 13 年と比較して平成 16 年は各項目について割合が高くなっている。一方、健康について知りたいことが「特にない」割合が 4.9 ポイント低下している。

	全体	認知症（痴呆）の予防について	がんや糖尿病等の生活習慣病の予防について	栄養・食生活について	気分転換・ストレスの解消法について	寝たきりの予防について	運動の方法について	骨折等の予防について	介護予防について	虫歯や歯周病の予防について	その他	特にない	無回答
平成16年	2246	28.5	25.6	24.4	17.7	16.0	15.9	13.2	12.0	7.1	2.1	22.7	9.1
平成13年	2463	22.9	22.3	20.7	13.2	13.8	14.3	11.6	—	6.7	2.0	27.6	16.4

* 「介護予防について」は平成 13 年調査にはない選択肢。

(%)

ただし、「全体」はサンプル数

⑦傷病の有無（問 15、複数回答）

問 15 あなた（あて名のご本人）は現在、次にあげた病気やケガなどがありますか。（あてはまるものすべてに○）

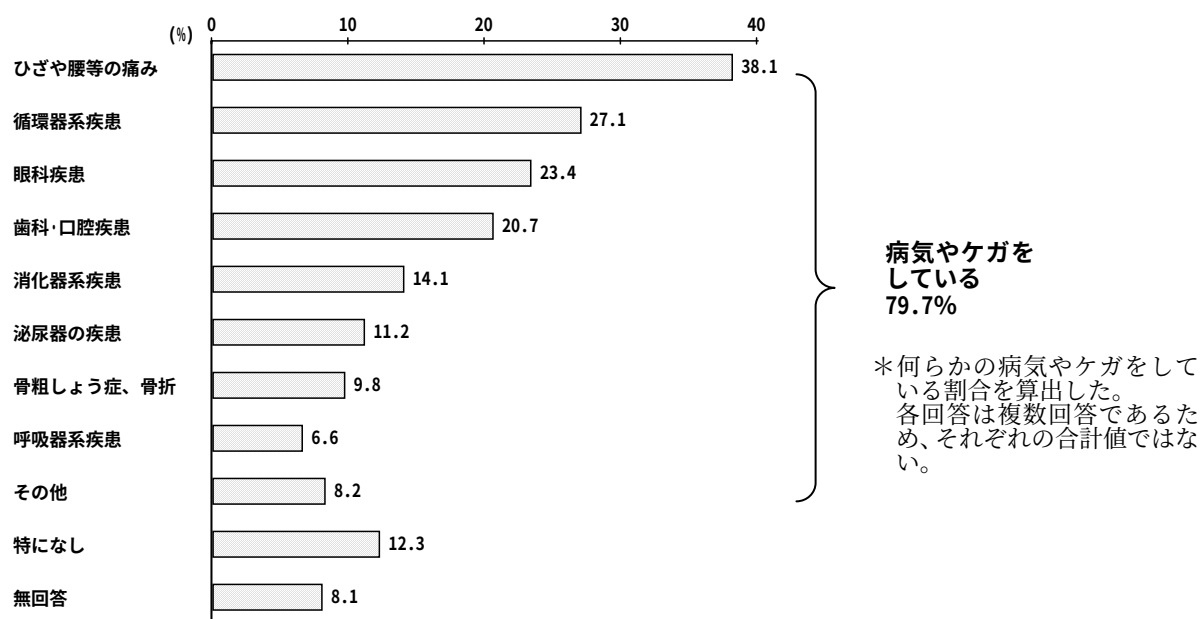
病気やケガなどについてたずねたところ、「ひざや腰等の痛み」（38.1%）、「循環器系疾患」（27.1%）、「眼科疾患」（23.4%）、「歯科・口腔疾患」（20.7%）が上位となった。病気やケガなどがある人の割合は79.7%である。

＜男女別の傾向＞

男性では上位の項目に加えて「泌尿器の疾患」が18.8%、「消化器系疾患」が17.0%で高く、女性では「骨粗しょう症、骨折」が15.2%で高い。

＜年齢別の傾向＞

後期高齢者では、特に「ひざや腰等の痛み」（43.4%）、「循環器系疾患」（32.3%）、「眼科疾患」（28.9%）が高い。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	のひざや腰等	患循環器系疾患	眼科疾患	疾患科・口腔	患消化器系疾患	患泌尿器の疾患	症骨、粗しょう骨折	患呼吸器系疾患	その他	特になし	無回答	
全体	2246	856	608	525	464	316	252	219	148	185	276	181	上段：実数
	100.0	38.1	27.1	23.4	20.7	14.1	11.2	9.8	6.6	8.2	12.3	8.1	下段：%
男女別	939	297	280	211	220	160	177	26	83	83	120	57	
男性	100.0	31.6	29.8	22.5	23.4	17.0	18.8	2.8	8.8	8.8	12.8	6.1	
女性	1163	510	300	294	214	141	64	177	50	91	138	104	
	100.0	43.9	25.8	25.3	18.4	12.1	5.5	15.2	4.3	7.8	11.9	8.9	
年齢別	1368	481	332	275	282	174	132	106	78	110	200	107	
前期高齢者 (65歳～74歳)	100.0	35.2	24.3	20.1	20.6	12.7	9.6	7.7	5.7	8.0	14.6	7.8	
後期高齢者 (75歳以上)	824	358	266	238	169	137	112	107	68	66	72	66	
	100.0	43.4	32.3	28.9	20.5	16.6	13.6	13.0	8.3	8.0	8.7	8.0	

⑧通院状況（問 15－1）

問 15－1 治療のために病院や診療所、医院などに通院していますか。（○は1つ）

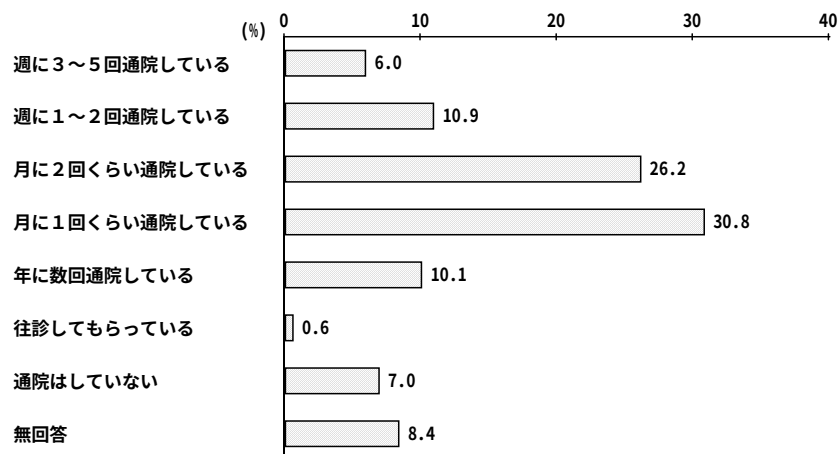
現在、病気やケガをしている人の通院状況をみると、月に1回以上の通院が約7割を占める。また「往診をしてもらっている」は0.6%と割合が低かった。一方、医療機関を受診していない人（通院はしていない）は7.0%である。

＜男女別の傾向＞

男性、女性ともに「月1回くらい通院している」割合が最も高い。

＜年齢別の傾向＞

月に1回以上の通院は、前期高齢者が70.3%で後期高齢者が79.0%である。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	週に3～5回通院している	週に1～2回通院している	月に2回くらい通院している	月に1回くらい通院している	年に数回通院している	往診してもらっている	通院はしていない	無回答
全体	1789 100.0	107 6.0	195 10.9	469 26.2	551 30.8	180 10.1	11 0.6	125 7.0	151 8.4
男女別									
男性	762 100.0	31 4.1	54 7.1	192 25.2	271 35.6	88 11.5	3 0.4	53 7.0	70 9.2
女性	921 100.0	67 7.3	130 14.1	246 26.7	253 27.5	80 8.7	8 0.9	65 7.1	72 7.8
年齢別									
前期高齢者 (65歳～74歳)	1061 100.0	53 5.0	114 10.7	246 23.2	333 31.4	117 11.0	1 0.1	92 8.7	105 9.9
後期高齢者 (75歳以上)	686 100.0	47 6.9	75 10.9	219 31.9	201 29.3	61 8.9	10 1.5	30 4.4	43 6.3

上段：実数
下段：%

＜経年比較＞

病気やケガのある人の受診頻度は、平成16年は平成13年以前と比較して「月に2回くらい通院している」割合が低下し、「月に1回くらい通院している」割合が高くなっている。

	全体	週に3～5回通院している	週に1～2回通院している	月に2回くらい通院している	月に1回くらい通院している	年に数回通院している	往診してもらっている	通院はしていない	無回答
平成16年	1789	6.0	10.9	26.2	30.8	10.1	0.6	7.0	8.4
平成13年	2092	6.3	8.9	34.2	26.5	9.4	1.1	9.6	4.0
平成8年	2654	7.4	15.1	33.2	22.9	8.4	—	10.1	2.9
平成4年	1991	7.1	14.6	35.9	19.7	8.6	—	9.3	4.9

* 「往診してもらっている」は平成4年、8年にはない選択肢。

(%)

ただし、「全体」はサンプル数

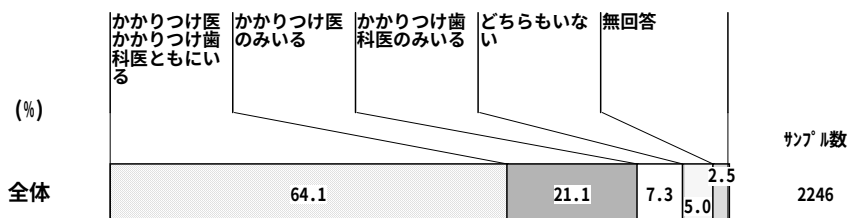
⑨かかりつけ医、かかりつけ歯科医の有無（問 16）

問 16 あなた（あて名のご本人）には、かかりつけ医（診療所）、かかりつけ歯科医（診療所）がいますか。（○は1つ）

「かかりつけ医、かかりつけ歯科医ともにいる」が64.1%を占め、「かかりつけ医のみいる」が21.1%、「かかりつけ歯科医のみいる」が7.3%である。「どちらもいない」は5.0%である。

＜年齢別の傾向＞

かかりつけ医のいる人の割合は、前期高齢者の82.7%と比べ、後期高齢者が89.5%とやや高くなっている。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	かかりつけ医、かかりつけ歯科医ともにいる	かかりつけ医のみいる	かかりつけ歯科医のみいる	どちらもいない	無回答	
全体	2246 100.0	1440 64.1	473 21.1	165 7.3	112 5.0	56 2.5	上段：実数 下段：%
男女別							
男性	939 100.0	597 63.6	195 20.8	72 7.7	55 5.9	20 2.1	
女性	1163 100.0	754 64.8	247 21.2	80 6.9	51 4.4	31 2.7	
年齢別							
前期高齢者 (65歳～74歳)	1368 100.0	877 64.1	255 18.6	130 9.5	75 5.5	31 2.3	
後期高齢者 (75歳以上)	824 100.0	527 64.0	210 25.5	32 3.9	34 4.1	21 2.5	

＜経年比較＞

平成13年と比較して、平成16年は「かかりつけ医、かかりつけ歯科医ともにいる」が5ポイント上昇している。

	全体	かかりつけ医、かかりつけ歯科医ともにいる	かかりつけ医のみいる	かかりつけ歯科医のみいる	どちらもいない	無回答	
平成16年	2246	64.1	21.1	7.3	5.0	2.5	(%)
平成13年	2463	59.1	23.3	7.4	7.0	3.2	ただし、「全体」はサンプル数

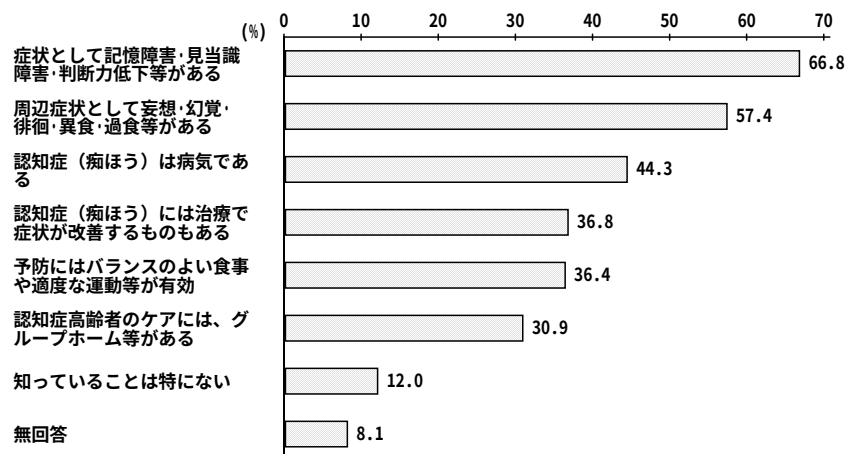
⑩認知症（痴ほう）についての認知状況（問 17、複数回答）

問 17 あなた（あて名のご本人）は痴ほうについて、どの程度ご存知ですか。（知っていることすべてに○）

認知症（痴ほう）について知っていることは、「主たる症状として、記憶障害・見当識障害・判断力低下等がある」（66.8%）と「周辺症状として、妄想・幻覚・徘徊・異食・過食等がある」（57.4%）など、症状について 50%以上に認知されている。次いで「認知症（痴ほう）は病気である」（44.3%）、「認知症（痴ほう）には治療で症状が改善するものもある」（36.8%）、「予防にはバランスのよい食事、適度な運動・休養が有効といわれている」（36.4%）など治療や予防についての項目が続いているが、いずれも 50%を下回る。また認知症高齢者のグループホームについては 30.9%が知っている。

＜年齢別の傾向＞

前期高齢者のほうが知っている割合が高い。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	断害症 力・状 低下見 等として ある障 害・記 憶・判 障	食想周 ・・辺 過幻症 覚状と 等・あ 徘徊・ 異妄	病認 気知 で症 ある 痴 ほう う） は	すは認 る治知 も療症 のでも あ症痴 が状ほう う改う 善に	運よ防 動い食 等には が事や 有やバ 効ラ 適度 スな	ムに認 等は知 が症 あ高 る齢 グの ルケ ーア ーの	に知 ない てい るこ とは 特	無 回 答	上段：実数 下段：%
全体	2246 100.0	1500 66.8	1289 57.4	996 44.3	826 36.8	818 36.4	693 30.9	269 12.0	182 8.1	
男女別										
男性	939 100.0	624 66.5	519 55.3	442 47.1	301 32.1	330 35.1	249 26.5	129 13.7	59 6.3	
女性	1163 100.0	801 68.9	709 61.0	510 43.9	493 42.4	442 38.0	409 35.2	114 9.8	101 8.7	
年齢別										
前期高齢者 (65歳～74歳)	1368 100.0	947 69.2	845 61.8	626 45.8	534 39.0	516 37.7	464 33.9	156 11.4	86 6.3	
後期高齢者 (75歳以上)	824 100.0	531 64.4	425 51.6	348 42.2	281 34.1	287 34.8	217 26.3	107 13.0	84 10.2	

(4) 食事について

① 食事の摂取状況 (問 18)

問 18 あなた(あて名のご本人)はふだん毎日3食の食事をとっていますか。(○は1つ)

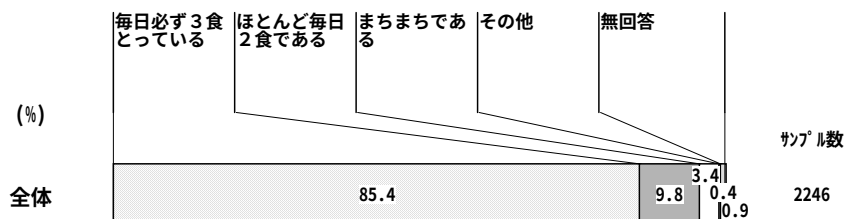
ふだんの食事について、「毎日必ず3食とっている」が85.4%を占める。「ほとんど毎日2食である」は9.8%、「まちまちである」は3.4%である。

≪男女別・年齢別の傾向≫

全体の傾向と大きな違いはみられない。

≪世帯構成別の傾向≫

単身世帯では「毎日必ず3食とっている」が74.4%で他の世帯構成より低くなっている。一方、「ほとんど毎日2食である」が17.4%と他の世帯構成よりも高くなっている。



<男女別・年齢別・世帯構成別の比較>

	全体	毎日必ず3食とっている	ほとんど毎日2食である	まちまちである	その他	無回答	
全体	2246 100.0	1919 85.4	221 9.8	77 3.4	8 0.4	21 0.9	上段：実数 下段：%
男女別							
男性	939 100.0	806 85.8	93 9.9	29 3.1	3 0.3	8 0.9	
女性	1163 100.0	987 84.9	113 9.7	45 3.9	5 0.4	13 1.1	
年齢別							
前期高齢者 (65歳～74歳)	1368 100.0	1171 85.6	133 9.7	49 3.6	5 0.4	10 0.7	
後期高齢者 (75歳以上)	824 100.0	701 85.1	84 10.2	25 3.0	3 0.4	11 1.3	
世帯構成別							
単身世帯	356 100.0	265 74.4	62 17.4	22 6.2	3 0.8	4 1.1	
夫婦のみの世帯	907 100.0	809 89.2	70 7.7	19 2.1	3 0.3	6 0.7	
その他の世帯	880 100.0	760 86.4	82 9.3	29 3.3	2 0.2	7 0.8	

②肉や魚を食べる頻度（問 19）

問 19 あなた（あて名のご本人）が肉や魚を食べるのは、週に何回程度ですか。（○は1つ）

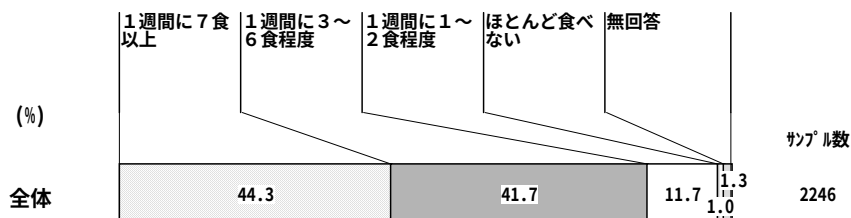
肉や魚を食べる頻度が「1週間に7食以上」が44.3%、「1週間に3～6食程度」が41.7%で、あわせて86.0%である。「1週間に1～2食程度」が11.7%、「ほとんど食べない」が1.0%である。

＜年齢別の傾向＞

全体の傾向と大きな違いはみられない。

＜世帯構成別の傾向＞

単身世帯では1週間に3食以上食べる割合が78.9%で、他の世帯構成よりも低い。



＜年齢別・世帯構成別の比較＞

	全体	1週間に7食以上	1週間に3～6食程度	1週間に1～2食程度	ほとんど食べない	無回答	
全体	2246	996	936	262	23	29	上段：実数
	100.0	44.3	41.7	11.7	1.0	1.3	下段：%
年齢別							
前期高齢者 (65歳～74歳)	1368	631	567	145	15	10	
	100.0	46.1	41.4	10.6	1.1	0.7	
後期高齢者 (75歳以上)	824	346	344	108	8	18	
	100.0	42.0	41.7	13.1	1.0	2.2	
世帯構成別							
単身世帯	356	142	139	64	4	7	
	100.0	39.9	39.0	18.0	1.1	2.0	
夫婦のみの世帯	907	404	383	103	9	8	
	100.0	44.5	42.2	11.4	1.0	0.9	
その他の世帯	880	409	376	75	10	10	
	100.0	46.5	42.7	8.5	1.1	1.1	

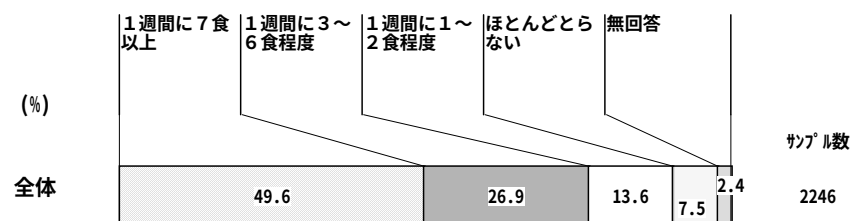
③乳製品をとる頻度（問 20）

問 20 あなた（あて名のご本人）が乳製品をとるのは、週に何回程度ですか。（○は1つ）

乳製品をとる頻度は「1週間に7食以上」が49.6%、「1週間に3～6食程度」が26.9%で、あわせて76.5%である。「1週間に1～2食程度」が13.6%、「ほとんどとらない」が7.5%である。

＜年齢別・世帯構成別の傾向＞

全体の傾向と大きな違いはみられない。



＜年齢別・世帯構成別の比較＞

	全体	1週間に7食以上	1週間に3～6食程度	1週間に1～2食程度	ほとんどとらない	無回答	
全体	2246	1114	604	305	168	55	上段：実数
	100.0	49.6	26.9	13.6	7.5	2.4	下段：%
年齢別							
前期高齢者 (65歳～74歳)	1368	649	386	191	125	17	
	100.0	47.4	28.2	14.0	9.1	1.2	
後期高齢者 (75歳以上)	824	444	204	104	38	34	
	100.0	53.9	24.8	12.6	4.6	4.1	
世帯構成別							
単身世帯	356	180	89	49	27	11	
	100.0	50.6	25.0	13.8	7.6	3.1	
夫婦のみの世帯	907	471	239	104	70	23	
	100.0	51.9	26.4	11.5	7.7	2.5	
その他の世帯	880	423	246	135	63	13	
	100.0	48.1	28.0	15.3	7.2	1.5	

④外食・配食の利用状況（問 21、3 つまで回答）

問 21 あなた（あて名のご本人）は、ふだんの食事について主にどのようにしていますか。（○は3つ以内）

ふだんの食事については、「いつも自分で調理する」が 48.1%、「自分は調理しないが家族が調理してくれる」が 42.3%である。「外食を利用する」は 16.1%、「コンビニエンスストア等の弁当を利用する」は 10.7%、「配食を利用する」は 2.1%である。

＜男女別の傾向＞

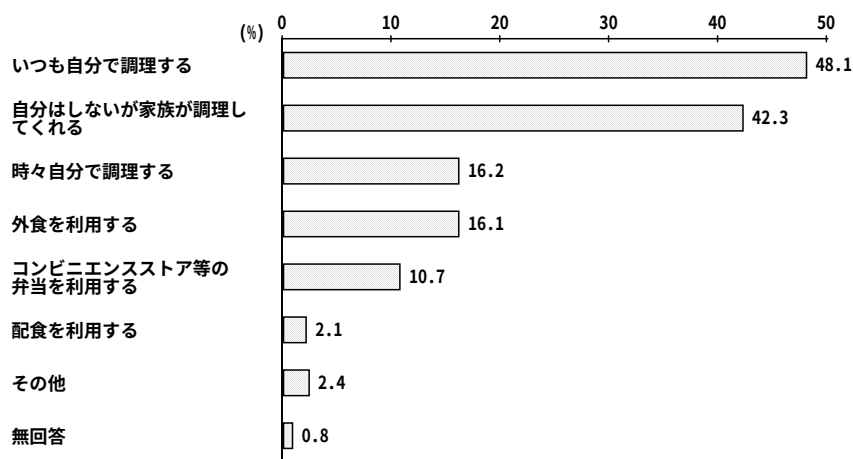
女性は「いつも自分で調理する」割合が 77.6%と高く、男性は「自分は調理しないが家族が調理してくれる」割合が 76.8%で高い。

＜年齢別の傾向＞

前期高齢者では「いつも自分で調理する」割合が 50.6%で最も高く、後期高齢者では「自分は調理しないが家族が調理してくれる」が 45.4%で最も高い。

＜世帯構成別の傾向＞

夫婦のみの世帯とその他の世帯では「自分は調理しないが家族が調理してくれる」割合が最も高い。単身世帯では「いつも自分で調理する」が 75.6%で最も高い。また「外食を利用する」が 25.0%、「コンビニエンスストア等の弁当を利用する」が 17.1%で、他の世帯構成よりも高くなっている。



＜男女別・年齢別・世帯構成別の比較＞

	全体	いつも自分で調理する	自分は調理しないが家族が調理してくれる	時々自分で調理する	外食を利用する	コンビニエンスストア等の弁当を利用する	配食を利用する	その他	無回答
全体	2246 100.0	1081 48.1	950 42.3	364 16.2	362 16.1	241 10.7	48 2.1	55 2.4	19 0.8
男女別									
男性	939 100.0	122 13.0	721 76.8	191 20.3	169 18.0	117 12.5	21 2.2	12 1.3	9 1.0
女性	1163 100.0	902 77.6	166 14.3	142 12.2	169 14.5	108 9.3	25 2.1	41 3.5	10 0.9
年齢別									
前期高齢者 (65歳～74歳)	1368 100.0	692 50.6	556 40.6	230 16.8	235 17.2	133 9.7	12 0.9	29 2.1	7 0.5
後期高齢者 (75歳以上)	824 100.0	361 43.8	374 45.4	122 14.8	115 14.0	103 12.5	35 4.2	26 3.2	12 1.5
世帯構成別									
単身世帯	356 100.0	269 75.6	13 3.7	61 17.1	89 25.0	61 17.1	17 4.8	20 5.6	3 0.8
夫婦のみの世帯	907 100.0	379 41.8	456 50.3	127 14.0	157 17.3	94 10.4	23 2.5	9 1.0	9 1.0
その他の世帯	880 100.0	379 43.1	441 50.1	156 17.7	100 11.4	73 8.3	7 0.8	24 2.7	5 0.6

上段：実数
下段：%

⑤主に食事を一緒にする人（問 22）

問 22 あなた（あて名のご本人）は、食事を主にどなたとられていますか。（○は1つ）

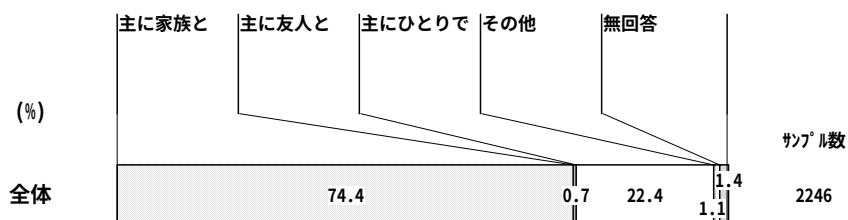
食事を「主に家族と」一緒にする人が74.4%である一方、「主にひとりで」とる人が22.4%みられる。

＜年齢別の傾向＞

前期・後期高齢者ともに「主に家族と」の割合が最も高いが、後期高齢者ではその割合が66.4%と前期高齢者（79.2%）よりも低く、「主にひとりで」の割合が29.6%と高い。

＜世帯構成別の傾向＞

単身世帯では「主にひとりで」の割合が89.6%を占め、夫婦のみの世帯（4.3%）、その他の世帯（13.8%）と大きな違いをみせている。



＜年齢別・世帯構成別の比較＞

	全体	主に家族と	主に友人と	主にひとりで	その他	無回答
全体	2246 100.0	1671 74.4	16 0.7	503 22.4	24 1.1	32 1.4
年齢別						
前期高齢者 (65歳～74歳)	1368 100.0	1084 79.2	11 0.8	248 18.1	13 1.0	12 0.9
後期高齢者 (75歳以上)	824 100.0	547 66.4	4 0.5	244 29.6	11 1.3	18 2.2
世帯構成別						
単身世帯	356 100.0	10 2.8	8 2.2	319 89.6	8 2.2	11 3.1
夫婦のみの世帯	907 100.0	855 94.3	3 0.3	39 4.3	2 0.2	8 0.9
その他の世帯	880 100.0	735 83.5	3 0.3	121 13.8	12 1.4	9 1.0

上段：実数
下段：%

⑥食事を楽しいと感じるか（問 23）

問 23 あなた（あて名のご本人）は、食事をするのが楽しいと感じますか。（○は1つ）

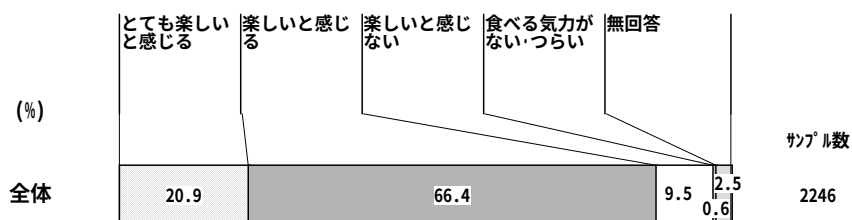
ふだんの食事を「とても楽しいと感じる」は20.9%で、「楽しいと感じる」とあわせると87.3%である。「楽しいと感じない」は9.5%、「食べる気力がない・つらい」は0.6%である。

＜年齢別の傾向＞

「とても楽しいと感じる」と「楽しいと感じる」をあわせた割合は、前期高齢者が90.1%であるのに対し、後期高齢者は83.0%である。

＜世帯構成別の傾向＞

「とても楽しいと感じる」と「楽しいと感じる」をあわせた割合は、単身世帯では75.8%で、他の世帯構成よりも低い。



＜年齢別・世帯構成別の比較＞

	全体	とても楽しいと感じる	楽しいと感じる	楽しいと感じない	食べる気力がない・つらい	無回答
全体	2246	470	1492	214	13	57
	100.0	20.9	66.4	9.5	0.6	2.5
年齢別						
前期高齢者 (65歳～74歳)	1368	316	917	106	6	23
	100.0	23.1	67.0	7.7	0.4	1.7
後期高齢者 (75歳以上)	824	142	542	101	7	32
	100.0	17.2	65.8	12.3	0.8	3.9
世帯構成別						
単身世帯	356	46	224	72	6	8
	100.0	12.9	62.9	20.2	1.7	2.2
夫婦のみの世帯	907	207	609	60	6	25
	100.0	22.8	67.1	6.6	0.7	2.8
その他の世帯	880	189	603	69	1	18
	100.0	21.5	68.5	7.8	0.1	2.0

上段：実数
下段：%

(5) 転倒について

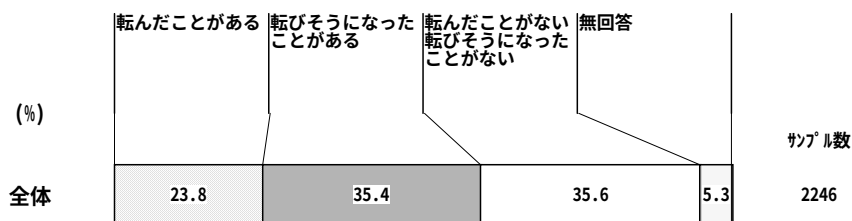
① 1年以内の転倒経験（問 24）

問 24 あなた（あて名のご本人）は、この1年間（昨年（平成 15 年）11 月以降）に転んだ（または転びそうになった）ことはありますか。（○は1つ）

過去 1 年間の転倒経験者は 23.8%で、「転びそうになったことがある」は 35.4%である。

＜年齢別の傾向＞

転倒経験者は前期高齢者が 19.9%、後期高齢者が 29.5%で後期高齢者の割合が高い。



＜年齢別の比較＞

	全体	転んだこと がある	転びそう になったこ とがある	転んだこと がない、 転びそう になったこ とがない	無回答
全体	2246 100.0	534 23.8	794 35.4	799 35.6	119 5.3
前期高齢者 (65歳～74歳)	1368 100.0	272 19.9	498 36.4	536 39.2	62 4.5
後期高齢者 (75歳以上)	824 100.0	243 29.5	285 34.6	249 30.2	47 5.7

上段：実数
下段：%

②転倒もしくは転倒しそうになったことによるケガの状況（問 24－１、複数回答）

問 24－１ あなた（あて名のご本人）は、転んで（転びそうになって）ケガをしましたか。（あてはまるものすべてに○）

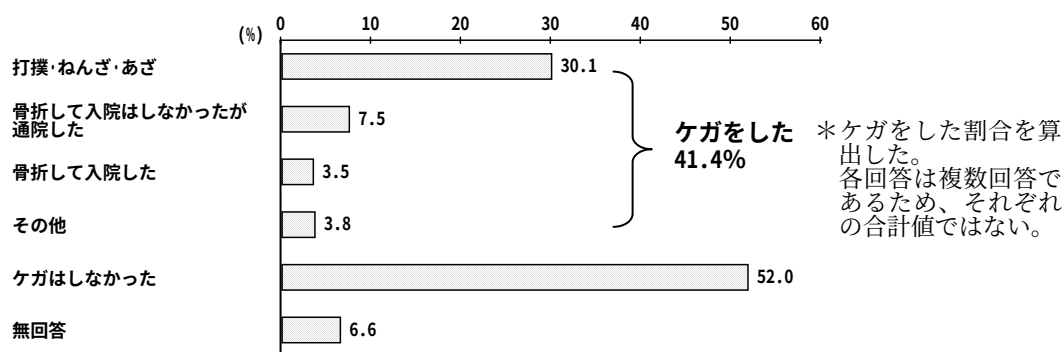
転倒もしくは転倒しそうになったことでケガをした人は 41.4%である。「打撲・ねんざ・あざ」が 30.1%、「骨折して通院」が 7.5%、「骨折して入院」が 3.5%、「その他」が 3.8%である。

＜男女別の傾向＞

女性のほうがケガをした割合が高く、女性では「打撲・ねんざ・あざ」が 34.2%、骨折が通院と入院をあわせて 13.1%である。

＜年齢別の傾向＞

後期高齢者のほうがケガをした割合が高く、「打撲・ねんざ・あざ」が 33.0%、骨折が通院と入院をあわせて 14.2%である。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	打撲・ねんざ・あざ	骨折して入院はしなかったが通院した	骨折して入院した	その他	ケガはしなかった	無回答
全体	1328 100.0	400 30.1	100 7.5	47 3.5	50 3.8	690 52.0	88 6.6
男女別							
男性	505 100.0	119 23.6	22 4.4	16 3.2	21 4.2	307 60.8	31 6.1
女性	739 100.0	253 34.2	72 9.7	25 3.4	27 3.7	342 46.3	50 6.8
年齢別							
前期高齢者 (65歳～74歳)	770 100.0	220 28.6	51 6.6	18 2.3	28 3.6	440 57.1	39 5.1
後期高齢者 (75歳以上)	528 100.0	174 33.0	48 9.1	27 5.1	21 4.0	232 43.9	46 8.7

上段：実数
下段：%

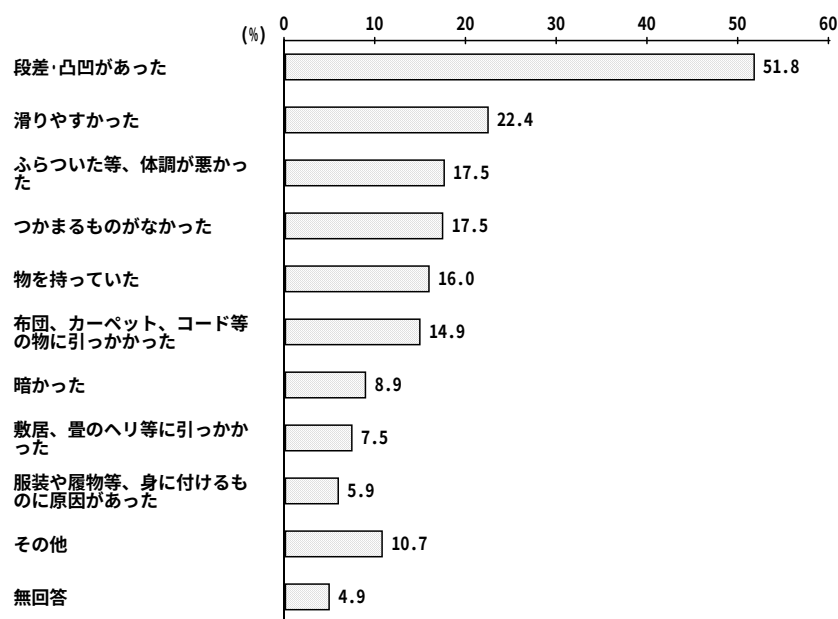
③転倒もしくは転倒しそうになった原因（問 24－2、複数回答）

問 24－2 あなた（あて名のご本人）が、転んだ（転びそうになった）原因として、次のうちにあてはまるものに○をつけてください。（あてはまるものすべてに○）

転倒もしくは転倒しそうになった原因は「段差・凸凹があった」が51.8%で最も割合が高い。次いで「滑りやすかった」（22.4%）、「ふらついた等、体調が悪かった」（17.5%）、「つかまるものがなかった」（17.5%）、「物を持っていた」（16.0%）、「布団、カーペット、コード等の物に引っかかった」（14.9%）と続いている。

＜年齢別の傾向＞

前期・後期高齢者ともに「段差・凸凹があった」が最も割合が高い。後期高齢者は前期高齢者と比較すると、「つかまるものがなかった」（22.9%）、「ふらついた等、体調が悪かった」（22.2%）の割合が高い。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	段差・凸凹があった	滑りやすかった	ふらついた等、体調が悪かった	つかまるものがなかった	物を持っていた	布団、カーペット、コード等の物に引っかかった	暗かった	敷居、畳のヘリ等に引っかかった	服装や履物等、身に付けるものに原因があった	その他	無回答
全体	1328	688	298	233	232	212	198	118	99	79	142	65
	100.0	51.8	22.4	17.5	17.5	16.0	14.9	8.9	7.5	5.9	10.7	4.9
男女別												
男性	505	282	119	91	88	66	58	51	42	24	46	20
	100.0	55.8	23.6	18.0	17.4	13.1	11.5	10.1	8.3	4.8	9.1	4.0
女性	739	374	160	123	127	134	133	58	51	51	89	41
	100.0	50.6	21.7	16.6	17.2	18.1	18.0	7.8	6.9	6.9	12.0	5.5
年齢別												
前期高齢者 (65歳～74歳)	770	442	181	109	105	124	107	74	52	48	87	37
	100.0	57.4	23.5	14.2	13.6	16.1	13.9	9.6	6.8	6.2	11.3	4.8
後期高齢者 (75歳以上)	528	238	112	117	121	82	89	39	44	28	52	27
	100.0	45.1	21.2	22.2	22.9	15.5	16.9	7.4	8.3	5.3	9.8	5.1

上段：実数
下段：%

④転倒もしくは転倒しそうになった場所（問 24－3、複数回答）

問 24－3 あなた（あて名のご本人）が、転んだ（転びそうになった）場所はどこですか。

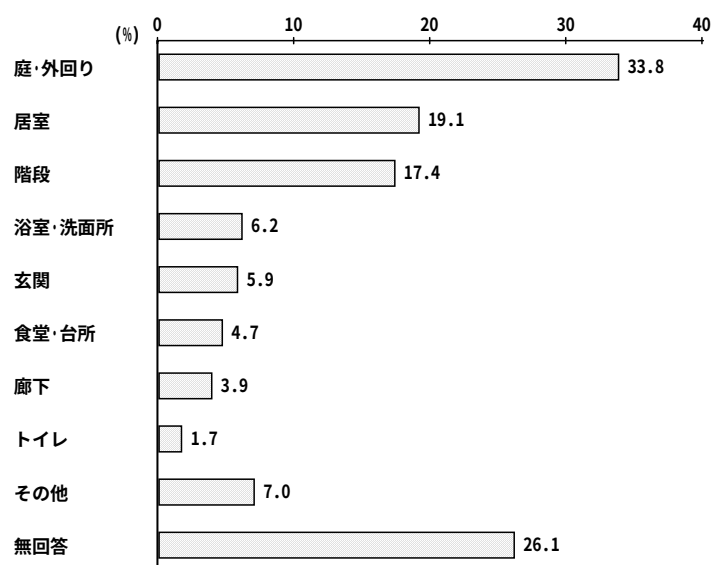
- ① 家の中（庭先などの敷地内を含む）の「具体的な場所」（あてはまるものすべてに○）
- ② 家の外「具体的な場所」（あてはまるものすべてに○）

ア．家の中

転倒もしくは転倒しそうになった家の中の主な場所は「庭・外回り」（33.8%）、「居室」（19.1%）、「階段」（17.4%）である。

＜年齢別の傾向＞

前期・後期高齢者ともに「庭・外回り」が最も割合が高い。後期高齢者では「居室」の割合が24.6%で前期高齢者（15.5%）よりも高くなっているが、反面、「階段」が14.6%と前期高齢者（19.2%）よりも低い値となっている。



＜年齢別の比較＞

	全体	庭・外回り	居室	階段	浴室・洗面所	玄関	食堂・台所	廊下	トイレ	その他	無回答
全体	1328 100.0	449 33.8	254 19.1	231 17.4	82 6.2	78 5.9	62 4.7	52 3.9	23 1.7	93 7.0	347 26.1
前期高齢者 (65歳～74歳)	770 100.0	257 33.4	119 15.5	148 19.2	46 6.0	42 5.5	32 4.2	23 3.0	8 1.0	54 7.0	218 28.3
後期高齢者 (75歳以上)	528 100.0	183 34.7	130 24.6	77 14.6	32 6.1	35 6.6	29 5.5	28 5.3	15 2.8	37 7.0	120 22.7

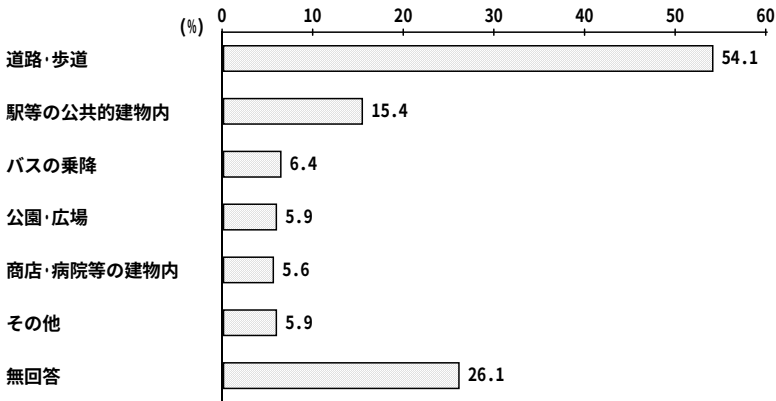
上段：実数
下段：%

イ. 家の外

転倒もしくは転倒しそうになった家の外の主な場所は「道路・歩道」(54.1%)、「駅等の公共的建物内」(15.4%)である。

《年齢別の傾向》

前期・後期高齢者ともに「道路・歩道」が最も割合が高い。前期高齢者では「駅等の公共的建物内」の割合が17.7%で後期高齢者よりも高い。



<年齢別の比較>

	全体	道路・歩道	駅等の公共的建物内	バスの乗降	公園・広場	商店・病院等の建物内	その他	無回答
全体	1328	719	204	85	78	74	79	346
	100.0	54.1	15.4	6.4	5.9	5.6	5.9	26.1
年齢別								
前期高齢者 (65歳～74歳)	770	427	136	45	58	42	56	170
	100.0	55.5	17.7	5.8	7.5	5.5	7.3	22.1
後期高齢者 (75歳以上)	528	276	67	39	20	31	22	166
	100.0	52.3	12.7	7.4	3.8	5.9	4.2	31.4

上段：実数
下段：%

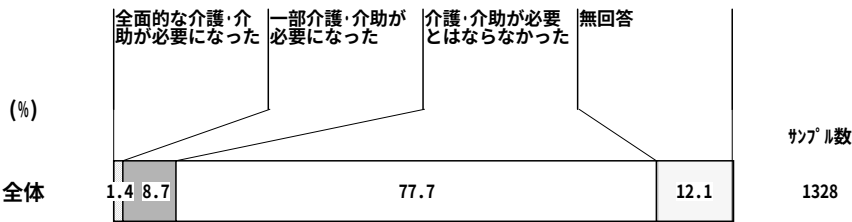
⑤ 転倒もしくは転倒しそうになった結果として介護・介助が必要になったか（問 24-4）

問 24-4 あなた（あて名のご本人）は転んだ（転びそうになった）結果、介護や介助が必要になりましたか。
(○は1つ)

転倒もしくは転倒しそうになったことで、「全面的な介護・介助が必要になった」が1.4%、「一部介護・介助が必要になった」が8.7%で、介助が必要になった人はあわせて10.1%である。

《年齢別の傾向》

介助が必要になった人の割合は、前期高齢者が6.9%で、後期高齢者が14.9%である。



<年齢別の比較>

	全体	全面的な介護・介助が必要になった	一部介護・介助が必要になった	介護・介助が不要となった	無回答
全体	1328	19	116	1032	161
	100.0	1.4	8.7	77.7	12.1
年齢別					
前期高齢者 (65歳～74歳)	770	11	42	635	82
	100.0	1.4	5.5	82.5	10.6
後期高齢者 (75歳以上)	528	8	71	376	73
	100.0	1.5	13.4	71.2	13.8

上段：実数
下段：%

(6) 就労状況と収入について

①就労状況（問 25）

問 25 あなた（あて名のご本人）は現在、収入のある仕事についていますか。（○は1つ）

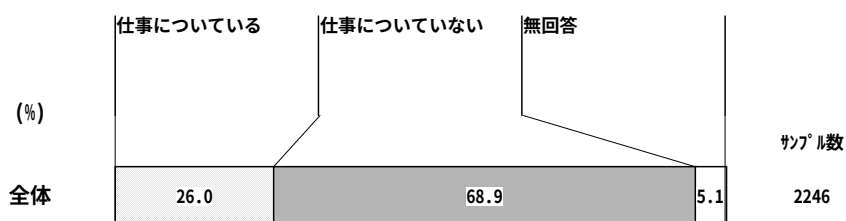
収入のある「仕事についている」が 26.0%で、「仕事についていない」が 68.9%である。

≪男女別の傾向≫

「仕事についている」割合は、男性が 37.2%、女性が 16.7%である。

≪年齢別の傾向≫

「仕事についている」割合は、前期高齢者が 34.2%、後期高齢者が 12.1%である。



<男女別・年齢別の比較>

	全体	仕事についている	仕事についていない	無回答
全体	2246 100.0	584 26.0	1548 68.9	114 5.1
男女別				
男性	939 100.0	349 37.2	554 59.0	36 3.8
女性	1163 100.0	194 16.7	903 77.6	66 5.7
年齢別				
前期高齢者 (65歳～74歳)	1368 100.0	468 34.2	857 62.6	43 3.1
後期高齢者 (75歳以上)	824 100.0	100 12.1	662 80.3	62 7.5

上段：実数
下段：%

≪経年比較≫

「仕事についている」割合は、これまでの調査と比較して特徴的な変化はみられない。

	全体	仕事についている	仕事についていない	無回答
平成16年	2246	26.0	68.9	5.1
平成13年	2463	25.5	69.4	5.1
平成8年	3223	24.9	71.4	3.7
平成4年	2516	26.9	62.7	10.5

(%)
ただし、「全体」はサンプル数

②就労形態（問 25－1）

問 25－1 あなた（あて名のご本人）の就労形態は、次のうちのどれですか。（○は1つ）

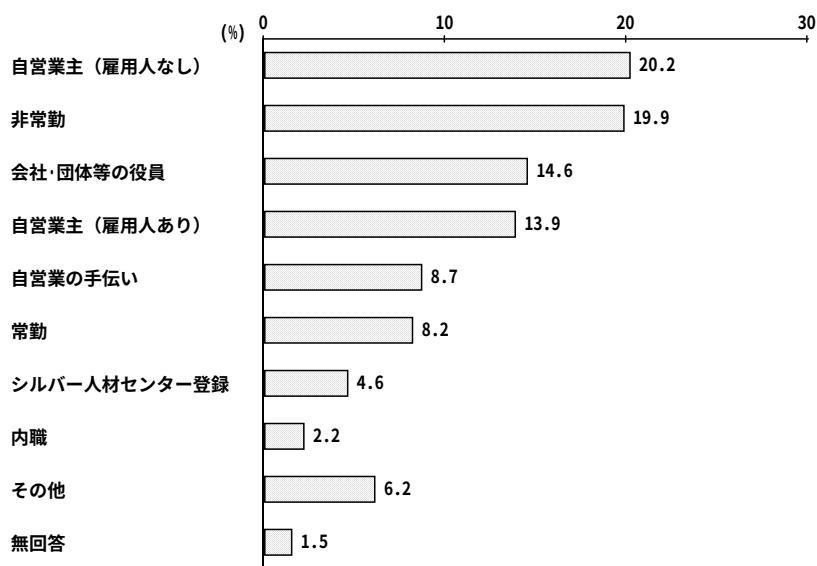
仕事についている人の就労形態をみると、「自営業主（雇用人なし）」（20.2%）、「非常勤」（19.9%）、「会社・団体等の役員」（14.6%）、「自営業主（雇用人あり）」（13.9%）が主なものである。

＜男女別の傾向＞

男性では「自営業主（雇用人なし）」（24.6%）、「自営業主（雇用人あり）」（17.5%）、「会社・団体等の役員」（16.6%）など、経営側に立つ人の割合が高い。女性では「非常勤」（28.4%）、「自営業の手伝い」（19.6%）の割合が高い。

＜年齢別の傾向＞

前期高齢者では「非常勤」（21.4%）、「自営業主（雇用人なし）」（19.7%）の割合が高く、後期高齢者では「会社・団体等の役員」（29.0%）、「自営業主（雇用人なし）」（20.0%）の割合が高い。「常勤」は前期高齢者では 10.0%であるが、後期高齢者では 1.0%と低い。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	自営業主 (雇用人なし)	非常勤	会社・団体等の役員	自営業主 (雇用人あり)	自営業の手伝い	常勤	シルバー人材センター登録	内職	その他	無回答
全体	584 100.0	118 20.2	116 19.9	85 14.6	81 13.9	51 8.7	48 8.2	27 4.6	13 2.2	36 6.2	9 1.5
男女別											
男性	349 100.0	86 24.6	53 15.2	58 16.6	61 17.5	13 3.7	38 10.9	20 5.7	4 1.1	11 3.2	5 1.4
女性	194 100.0	25 12.9	55 28.4	16 8.2	14 7.2	38 19.6	9 4.6	4 2.1	9 4.6	21 10.8	3 1.5
年齢別											
前期高齢者 (65歳～74歳)	468 100.0	92 19.7	100 21.4	54 11.5	66 14.1	43 9.2	47 10.0	23 4.9	11 2.4	26 5.6	6 1.3
後期高齢者 (75歳以上)	100 100.0	20 20.0	11 11.0	29 29.0	13 13.0	8 8.0	1 1.0	4 4.0	2 2.0	9 9.0	3 3.0

上段：実数
下段：%

＜経年比較＞

平成 16 年の就労形態は、これまでの調査と比較して「非常勤」の割合が高くなっている。また平成 8 年は「常勤」の割合が 14.3%であったが、平成 13 年、平成 16 年は 1 割以下となっている。

	全体	自営業主 (雇用人なし)	非常勤	会社・団体等の役員	自営業主 (雇用人あり)	自営業の手伝い	常勤	シルバー人材センター登録	内職	その他	無回答
平成16年	584	20.2	19.9	14.6	13.9	8.7	8.2	4.6	2.2	6.2	1.5
平成13年	628	20.4	14.6	15.3	12.4	8.4	9.4	4.1	1.8	8.6	4.9
平成8年	802	20.3	12.3	14.1	12.3	8.4	14.3	3.4	2.6	7.0	5.2

(%)
ただし、「全体」はサンプル数

③就労理由（問 25－2、複数回答）

問 25－2 仕事についている理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

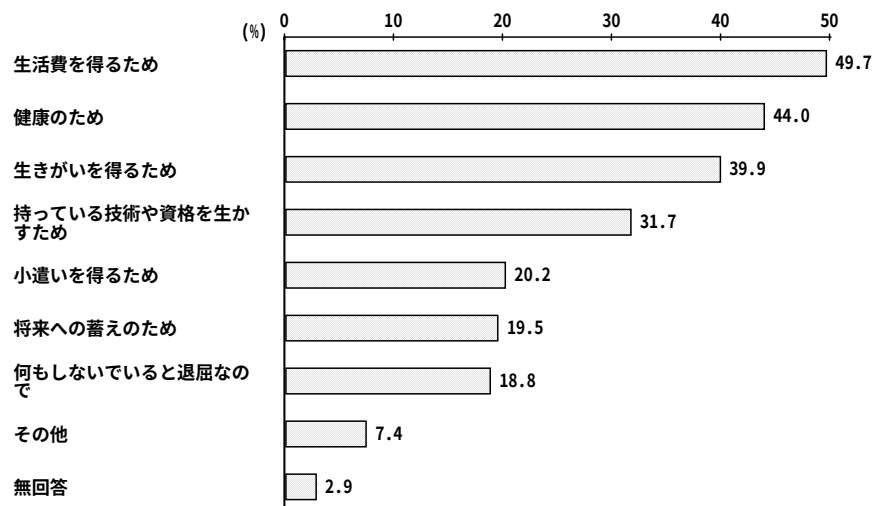
就労理由は、「生活費を得るため」が49.7%で最も高く、次いで「健康のため」(44.0%)、「生きがいを得るため」(39.9%)、「持っている技術や資格を生かすため」(31.7%)が上位項目となっている。

《男女別の傾向》

男性は「生活費を得るため」が53.6%で最も高く、女性は「健康のため」が46.4%で最も高い。

《年齢別の傾向》

前期高齢者は全体の傾向と同様であるが、後期高齢者では「生活費を得るため」の割合が29.0%と低く、「生きがいを得るため」(44.0%)、「健康のため」(39.0%)、「持っている技術や資格を生かすため」(36.0%)が主な理由である。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	生活費を得るため	健康のため	生きがいを得るため	持っている技術や資格を生かすため	小遣いを得るため	将来への蓄えのため	何もしないでいると退屈なので	その他	無回答
全体	584 100.0	290 49.7	257 44.0	233 39.9	185 31.7	118 20.2	114 19.5	110 18.8	43 7.4	17 2.9
男	349 100.0	187 53.6	146 41.8	140 40.1	126 36.1	74 21.2	81 23.2	66 18.9	26 7.4	5 1.4
女	194 100.0	87 44.8	90 46.4	78 40.2	45 23.2	35 18.0	27 13.9	39 20.1	12 6.2	10 5.2
前期高齢者 (65歳～74歳)	468 100.0	252 53.8	210 44.9	184 39.3	143 30.6	110 23.5	99 21.2	91 19.4	32 6.8	10 2.1
後期高齢者 (75歳以上)	100 100.0	29 29.0	39 39.0	44 44.0	36 36.0	7 7.0	12 12.0	16 16.0	10 10.0	6 6.0

上段：実数
下段：%

《経年比較》

就労理由は「生活費を得るため」が平成13年、平成16年ともに50%弱で最も高くなっている。平成16年は「健康のため」や「生きがいを得るため」「持っている技術や資格を生かすため」などを理由とする割合が高くなっている。

	全体	生活費を得るため	健康のため	生きがいを得るため	持っている技術や資格を生かすため	小遣いを得るため	将来への蓄えのため	何もしないでいると退屈なので	その他	無回答
平成16年	584	49.7	44.0	39.9	31.7	20.2	19.5	18.8	7.4	2.9
平成13年	628	49.2	37.3	33.3	26.1	14.5	15.6	13.4	7.3	8.0

(%)
ただし、「全体」はサンプル数

④非就労者が就労する場合の理由（問 25－3、複数回答）

問 25－3 あなた（あて名のご本人）が仕事につくとしたら、それはどのような理由からですか。（あてはまるものすべてに○）

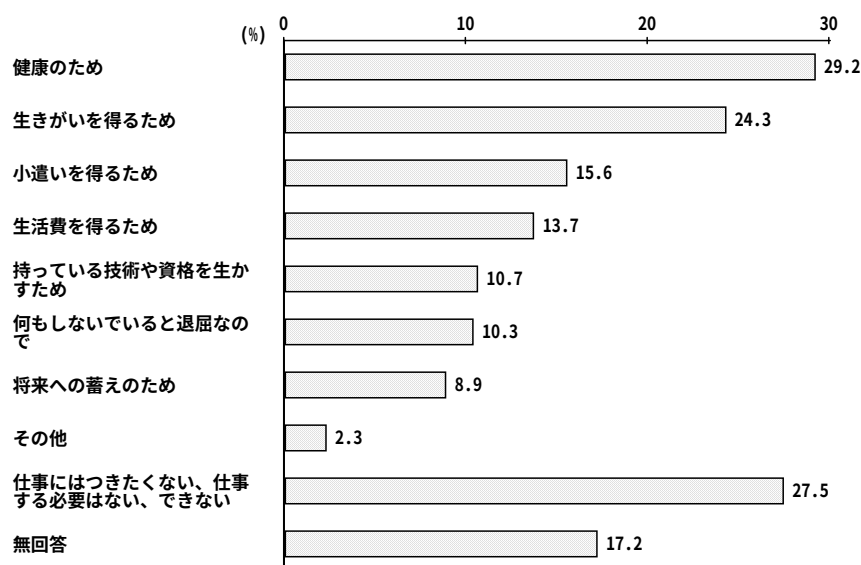
現在仕事をしていない人が仕事につく場合の理由をみると、「健康のため」（29.2%）、「生きがいを得るため」（24.3%）が主なものである。「仕事にはつきたくない、仕事をする必要はない、できない」は 27.5%である。

＜男女別の傾向＞

男女とも「健康のため」と「生きがいを得るため」の回答割合が高い。

＜年齢別の傾向＞

「仕事にはつきたくない、仕事をする必要はない、できない」と回答した割合は、前期高齢者（21.0%）と比べ、後期高齢者では 35.6%と大幅に高くなっている。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	健康のため	生きがいを得るため	小遣いを得るため	生活費を得るため	持っている技術や資格を生かすため	何もしないでいると退屈なので	将来への蓄えのため	その他	仕事にはつきたくない、仕事をする必要はない、できない	無回答
全体	1548 100.0	452 29.2	376 24.3	241 15.6	212 13.7	165 10.7	160 10.3	137 8.9	35 2.3	425 27.5	267 17.2
男女別											
男性	554 100.0	198 35.7	147 26.5	120 21.7	91 16.4	80 14.4	90 16.2	51 9.2	10 1.8	137 24.7	69 12.5
女性	903 100.0	239 26.5	218 24.1	115 12.7	112 12.4	78 8.6	64 7.1	78 8.6	25 2.8	256 28.3	175 19.4
年齢別											
前期高齢者 (65歳～74歳)	857 100.0	297 34.7	245 28.6	185 21.6	144 16.8	113 13.2	96 11.2	95 11.1	17 2.0	180 21.0	113 13.2
後期高齢者 (75歳以上)	662 100.0	150 22.7	125 18.9	55 8.3	64 9.7	49 7.4	60 9.1	37 5.6	18 2.7	236 35.6	145 21.9

上段：実数
下段：%

＜経年比較＞

平成 8 年、平成 13 年と比較して平成 16 年は、「仕事にはつきたくない、仕事をする必要はない、できない」の割合が低下してきている。仕事につく場合の理由として「健康のため」「生きがいを得るため」「小遣いを得るため」「生活費を得るため」などの割合が高くなっている。

	全体	健康のため	生きがいを得るため	小遣いを得るため	生活費を得るため	持っている技術や資格を生かすため	何もしないでいると退屈なので	将来への蓄えのため	その他	仕事にはつきたくない、仕事をする必要はない、できない	無回答
平成16年	1548	29.2	24.3	15.6	13.7	10.7	10.3	8.9	2.3	27.5	17.2
平成13年	1710	20.1	17.3	9.0	10.5	7.8	7.3	7.8	1.2	37.4	23.3
平成8年	2302	20.2	15.1	7.0	8.0	5.0	5.2	6.2	2.7	53.5	10.6

(%)

ただし、「全体」はサンプル数

⑤就労継続を希望する年齢・就労していた年齢（問 26）

問 26 あなた（あて名のご本人）は、何歳ぐらいまで働きたいですか。または働いていましたか。

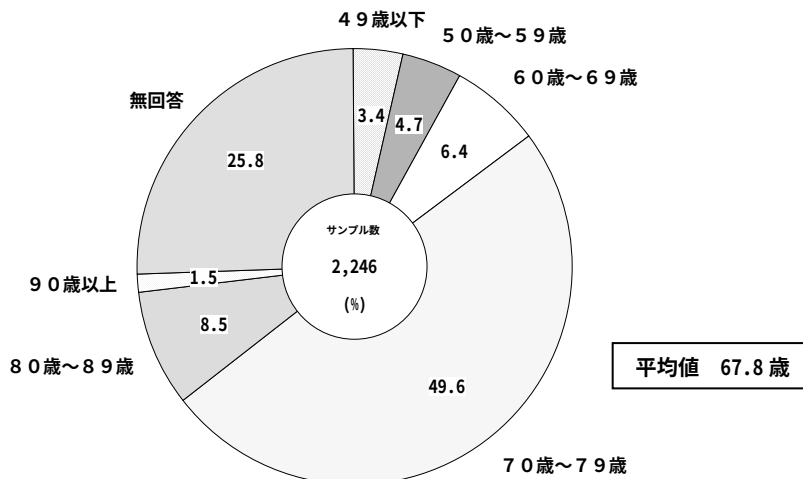
働き続けたい年齢は、「70～79 歳」ぐらいまでが 49.6%で最も割合が高い。また 80 歳以上までという回答も 1 割（80～89 歳：8.5%、90 歳以上：1.5%）あった。平均は 67.8 歳である。

＜男女別の傾向＞

平均値をみると、男性は 71.7 歳、女性は 63.5 歳である。

＜年齢別の傾向＞

平均値をみると、前期高齢者は 67.4 歳、後期高齢者は 68.7 歳である。



＜男女別・年齢別・就労状況別の比較＞

	全体	49歳以下	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳	90歳以上	無回答	平均
全体	2246	76	106	144	1115	191	34	580	67.8歳
	100.0	3.4	4.7	6.4	49.6	8.5	1.5	25.8	
男女別									
男性	939	1	12	44	611	130	19	122	71.7歳
	100.0	0.1	1.3	4.7	65.1	13.8	2.0	13.0	
女性	1163	71	91	94	443	48	9	407	63.5歳
	100.0	6.1	7.8	8.1	38.1	4.1	0.8	35.0	
年齢別									
前期高齢者 (65歳～74歳)	1368	45	70	100	785	98	14	256	67.4歳
	100.0	3.3	5.1	7.3	57.4	7.2	1.0	18.7	
後期高齢者 (75歳以上)	824	29	34	43	309	89	18	302	68.7歳
	100.0	3.5	4.1	5.2	37.5	10.8	2.2	36.7	
就労状況									
仕事についている	584	2	3	0	347	122	22	88	74.8歳
	100.0	0.3	0.5	0.0	59.4	20.9	3.8	15.1	
仕事についていない	1548	73	101	141	736	66	12	419	64.8歳
	100.0	4.7	6.5	9.1	47.5	4.3	0.8	27.1	

上段：実数
下段：%

⑥本人と配偶者の税込み年収（問 27）

問 27 あなた（あて名のご本人）と配偶者の税込みの年収（年金を含む）の合計は、年間どの位ですか。（○は1つ）

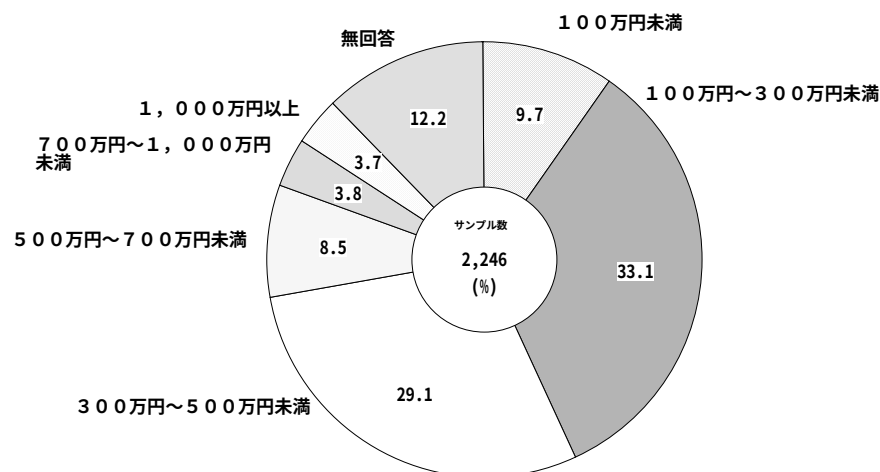
上位3項目は「100万円～300万円未満」（33.1%）、「300万円～500万円未満」（29.1%）、「100万円～300万円未満」（9.7%）である

＜年齢別の傾向＞

300万円未満の割合は前期高齢者が41.3%、後期高齢者が45.4%である。

＜世帯構成別の傾向＞

単身世帯では300万円未満の割合が64.6%で、他の世帯構成よりも高い。



＜男女別・年齢別・就労状況別の比較＞

	全体	100万円未満	100万円～300万円未満	300万円～500万円未満	500万円～700万円未満	700万円～1,000万円未満	1,000万円以上	無回答	
全体	2246	217	743	654	190	86	83	273	上段：実数
	100.0	9.7	33.1	29.1	8.5	3.8	3.7	12.2	下段：%
年齢別									
前期高齢者 (65歳～74歳)	1368	113	451	422	142	67	54	119	
	100.0	8.3	33.0	30.8	10.4	4.9	3.9	8.7	
後期高齢者 (75歳以上)	824	99	275	219	46	16	28	141	
	100.0	12.0	33.4	26.6	5.6	1.9	3.4	17.1	
世帯構成別									
単身世帯	356	61	169	33	5	3	2	83	
	100.0	17.1	47.5	9.3	1.4	0.8	0.6	23.3	
夫婦のみの世帯	907	43	261	345	109	47	38	64	
	100.0	4.7	28.8	38.0	12.0	5.2	4.2	7.1	
その他の世帯	880	99	281	259	72	33	41	95	
	100.0	11.3	31.9	29.4	8.2	3.8	4.7	10.8	
就労状況									
仕事についている	584	56	156	147	80	50	60	35	
	100.0	9.6	26.7	25.2	13.7	8.6	10.3	6.0	
仕事についていない	1548	149	558	489	109	35	22	186	
	100.0	9.6	36.0	31.6	7.0	2.3	1.4	12.0	

＜経年比較＞

平成16年は、「700万円～1,000万円未満」と「1,000万円以上」の割合が減少し、「300～500万円未満」が増加している。

	全体	100万円未満	100万円～300万円未満	300万円～500万円未満	500万円～700万円未満	700万円～1,000万円未満	1,000万円以上	無回答
平成16年	2246	9.7	33.1	29.1	8.5	3.8	3.7	12.2
平成13年	2463	9.9	32.3	27.2	7.8	5.0	4.0	13.8
平成8年	3223	9.7	32.7	25.8	8.7	4.6	4.5	14.1
平成4年	2516	11.8	35.6	20.9	7.5	4.0	5.2	14.9

(%)
ただし、「全体」はサンプル数

⑦本人と配偶者の収入源（問 28、複数回答）

問 28 あなた（あて名のご本人）と配偶者の収入源についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

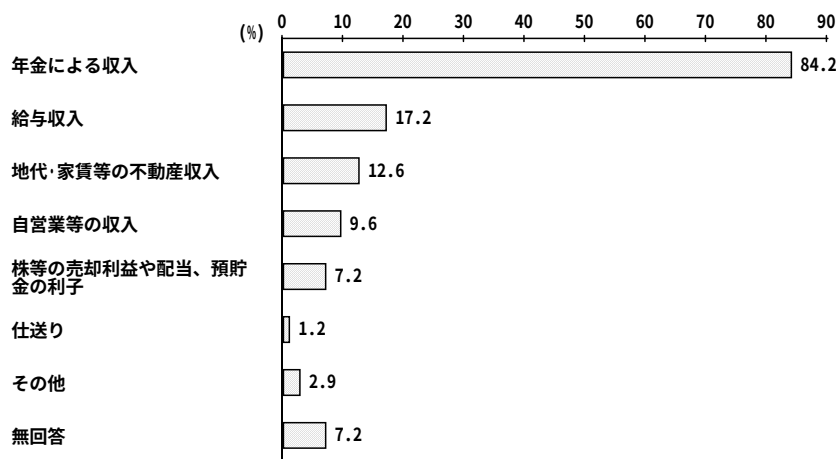
本人と配偶者の収入源をみると、「年金による収入」をあげる割合が 84.2%で最も高く、他の項目はいずれも 2 割に満たない回答である。

＜年齢別の傾向＞

前期・後期高齢者ともに「年金による収入」が最も高い。

＜世帯構成別の傾向＞

いずれの世帯構成でも「年金による収入」と回答した割合が最も高い。



＜年齢別・世帯構成別の比較＞

	全体	年金による収入	給与収入	地代・家賃等の不動産収入	自営業等の収入	株等の売却利益や配当、預貯金の利子	仕送り	その他	無回答
全体	2246 100.0	1892 84.2	387 17.2	284 12.6	215 9.6	161 7.2	27 1.2	66 2.9	161 7.2
年齢別									
前期高齢者 (65歳～74歳)	1368 100.0	1160 84.8	322 23.5	172 12.6	176 12.9	104 7.6	12 0.9	44 3.2	72 5.3
後期高齢者 (75歳以上)	824 100.0	692 84.0	59 7.2	108 13.1	32 3.9	55 6.7	15 1.8	20 2.4	83 10.1
世帯構成別									
単身世帯	356 100.0	273 76.7	31 8.7	25 7.0	10 2.8	19 5.3	10 2.8	16 4.5	59 16.6
夫婦のみの世帯	907 100.0	800 88.2	185 20.4	123 13.6	102 11.2	85 9.4	6 0.7	25 2.8	28 3.1
その他の世帯	880 100.0	749 85.1	158 18.0	127 14.4	93 10.6	52 5.9	9 1.0	22 2.5	55 6.3

上段：実数
下段：%

(7) 生きがい・社会参加意識について

①現在の生活の満足度（問 29）

問 29 あなた（あて名のご本人）は、現在の生活に満足していますか。（○は1つ）

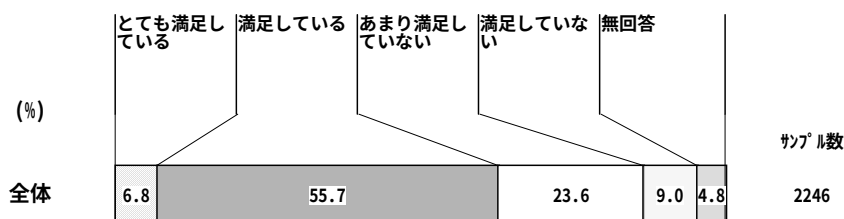
現在の生活に「満足している」は 55.7%で最も高い。「とても満足している」（6.8%）をあわせると 62.5%となり、約 6 割が生活に満足していると回答している。反対に生活に満足していないとの回答は、「あまり満足していない」が 23.6%、「満足していない」が 9.0%で、約 3 割である。

＜年齢別の傾向＞

全体の傾向と大きな違いはみられない。

＜世帯構成別の傾向＞

「とても満足している」と「満足している」をあわせた割合は、単身世帯では 51.4%で他の世帯構成よりも低い。



＜年齢別・世帯構成別の比較＞

	全体	とても満足している	満足している	あまり満足していない	満足していない	無回答
全体	2246	152	1252	531	203	108
	100.0	6.8	55.7	23.6	9.0	4.8
年齢別						
前期高齢者 (65歳～74歳)	1368	87	755	348	128	50
	100.0	6.4	55.2	25.4	9.4	3.7
後期高齢者 (75歳以上)	824	60	477	169	65	53
	100.0	7.3	57.9	20.5	7.9	6.4
世帯構成別						
単身世帯	356	15	168	97	51	25
	100.0	4.2	47.2	27.2	14.3	7.0
夫婦のみの世帯	907	67	542	199	62	37
	100.0	7.4	59.8	21.9	6.8	4.1
その他の世帯	880	64	497	211	76	32
	100.0	7.3	56.5	24.0	8.6	3.6

上段：実数
下段：%

＜経年比較＞

「とても満足している」と「満足している」の割合が低下傾向にある反面、「あまり満足していない」は増加傾向にある。

	全体	とても満足している	満足している	あまり満足していない	満足していない	無回答
平成16年	2246	6.8	55.7	23.6	9.0	4.8
平成13年	2463	8.2	62.4	16.5	9.1	3.8
平成8年	3223	12.6	62.9	14.9	6.9	2.8

(%)
ただし、「全体」はサンプル数

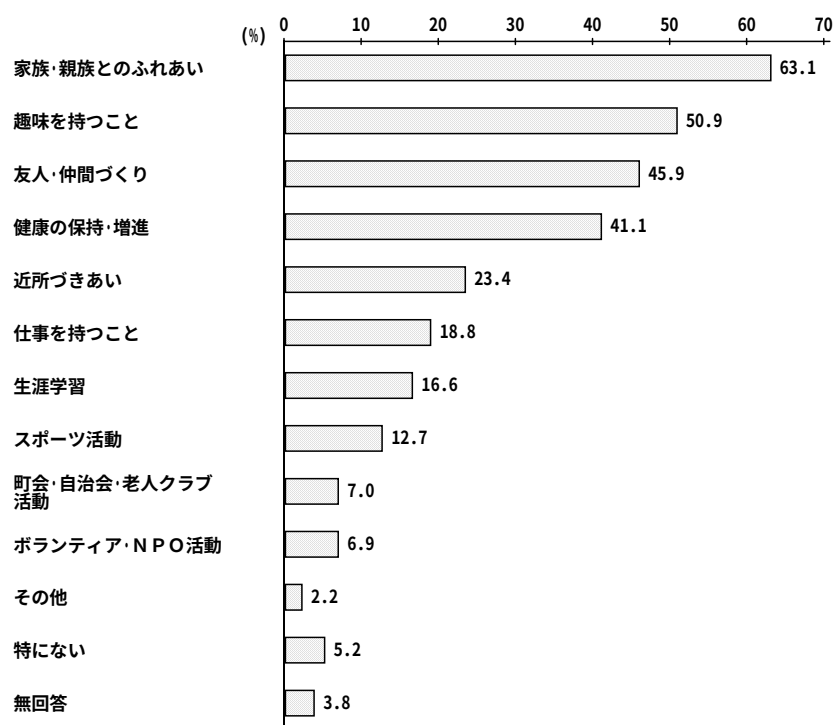
②生きがい（問 30、複数回答）

問 30 あなた（あて名のご本人）にとっての生きがいについてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

生きがいとしては「家族・親族とのふれあい」をあげる割合が最も高く 63.1%である。次いで「趣味を持つこと」（50.9%）、「友人・仲間づくり」（45.9%）、「健康の保持・増進」（41.1%）が主なものである。

＜年齢別の傾向＞

前期高齢者では後期高齢者と比較して「仕事を持つこと」（24.6%）と「スポーツ活動」（16.2%）の割合が高い。



＜年齢別・世帯構成別の比較＞

	全体	家族・親族とのふれあい	趣味を持つこと	友人・仲間づくり	健康の保持・増進	近所づきあい	仕事を持つこと	生涯学習	スポーツ活動	町会・自治会・老人クラブ活動	ボランティア・NPO活動	その他	特にない	無回答
全体	2246 100.0	1418 63.1	1143 50.9	1031 45.9	924 41.1	526 23.4	423 18.8	373 16.6	285 12.7	158 7.0	155 6.9	50 2.2	116 5.2	86 3.8
年齢別														
前期高齢者 (65歳～74歳)	1368 100.0	877 64.1	772 56.4	688 50.3	595 43.5	312 22.8	336 24.6	235 17.2	221 16.2	92 6.7	112 8.2	21 1.5	47 3.4	33 2.4
後期高齢者 (75歳以上)	824 100.0	512 62.1	352 42.7	324 39.3	306 37.1	204 24.8	77 9.3	129 15.7	61 7.4	63 7.6	40 4.9	27 3.3	67 8.1	49 5.9
世帯構成別														
単身世帯	356 100.0	165 46.3	166 46.6	183 51.4	138 38.8	74 20.8	58 16.3	69 19.4	27 7.6	28 7.9	26 7.3	13 3.7	27 7.6	16 4.5
夫婦のみの世帯	907 100.0	612 67.5	506 55.8	409 45.1	401 44.2	220 24.3	185 20.4	160 17.6	147 16.2	60 6.6	65 7.2	20 2.2	27 3.0	30 3.3
その他の世帯	880 100.0	586 66.6	431 49.0	394 44.8	340 38.6	203 23.1	163 18.5	132 15.0	101 11.5	57 6.5	59 6.7	17 1.9	57 6.5	25 2.8

上段：実数
下段：%

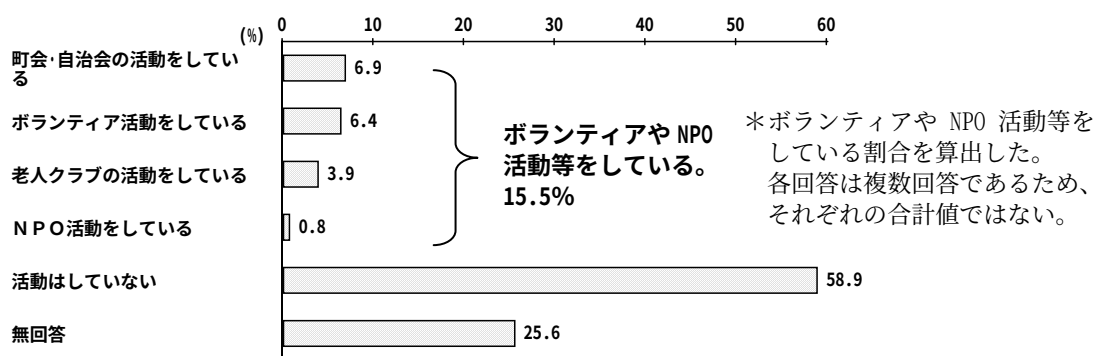
③町会・自治会・ボランティア・NPO活動の参加状況（問 31、複数回答）

問 31 あなた（あて名のご本人）は、現在、町会・自治会やボランティア・NPO活動を行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

現在、「町会・自治会の活動をしている」が6.9%、「ボランティア活動をしている」が6.4%、「老人クラブの活動をしている」が3.9%、「NPO活動をしている」が0.8%あり、「活動はしていない」は58.9%である。また無回答が25.6%あった。

＜男女別・年齢別の傾向＞

全体の傾向と大きな違いはみられない。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	町会・自治会の活動をしている	ボランティア活動をしている	老人クラブの活動をしている	NPO活動をしている	活動はしていない	無回答
全体	2246 100.0	154 6.9	143 6.4	88 3.9	17 0.8	1322 58.9	574 25.6
男女別							
男性	939 100.0	78 8.3	70 7.5	36 3.8	6 0.6	604 64.3	172 18.3
女性	1163 100.0	68 5.8	67 5.8	48 4.1	11 0.9	648 55.7	344 29.6
年齢別							
前期高齢者 (65歳～74歳)	1368 100.0	118 8.6	107 7.8	42 3.1	14 1.0	810 59.2	312 22.8
後期高齢者 (75歳以上)	824 100.0	35 4.2	36 4.4	46 5.6	2 0.2	489 59.3	233 28.3

上段：実数
下段：%

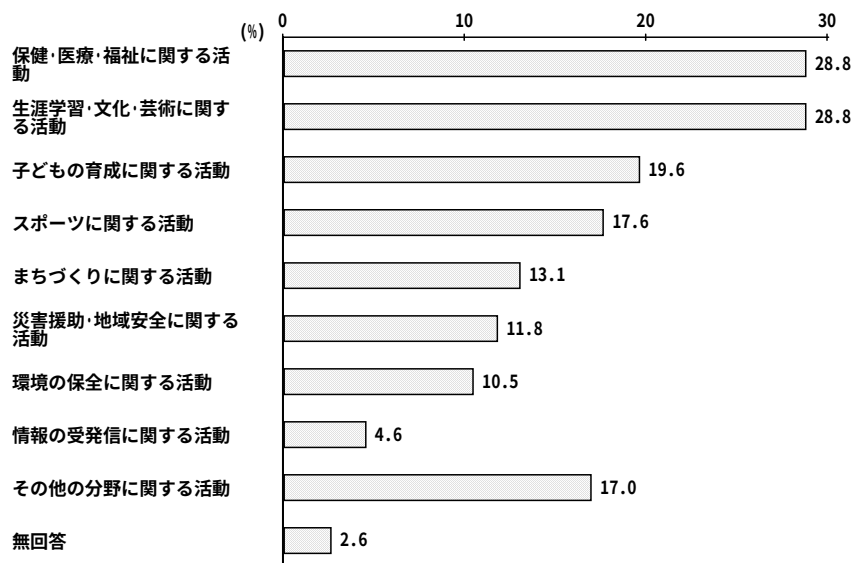
④ボランティア・NPO活動の活動分野（問 31－１、複数回答）

問 31－１ あなた（あて名のご本人）は、どのような分野で活動をしていますか。（あてはまるものすべてに○）

ボランティアやNPO活動をしている人の活動分野は、「保健・医療・福祉に関する活動」、「生涯学習・文化・芸術に関する活動」がともに 28.8%で最も割合が高い。

＜男女別の傾向＞

男性は「生涯学習・文化・芸術に関する活動」（33.3%）、「スポーツに関する活動」（22.7%）、「まちづくりに関する活動」（20.0%）が上位を占め、女性は「保健・医療・福祉に関する活動」（40.3%）、「生涯学習・文化・芸術に関する活動」（23.6%）、「子どもの育成に関する活動」（20.8%）の割合が高い。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	保健・医療・福祉に関する活動	生涯学習・文化・芸術に関する活動	子どもの育成に関する活動	スポーツに関する活動	まちづくりに関する活動	災害援助・地域安全に関する活動	環境の保全に関する活動	情報の受発信に関する活動	その他の分野に関する活動	無回答
全体	153 100.0	44 28.8	44 28.8	30 19.6	27 17.6	20 13.1	18 11.8	16 10.5	7 4.6	26 17.0	4 2.6
男女別											
男性	75 100.0	13 17.3	25 33.3	14 18.7	17 22.7	15 20.0	9 12.0	12 16.0	5 6.7	11 14.7	1 1.3
女性	72 100.0	29 40.3	17 23.6	15 20.8	7 9.7	5 6.9	8 11.1	4 5.6	1 1.4	13 18.1	3 4.2
年齢別											
前期高齢者 (65歳～74歳)	115 100.0	31 27.0	31 27.0	26 22.6	21 18.3	15 13.0	13 11.3	11 9.6	6 5.2	20 17.4	4 3.5
後期高齢者 (75歳以上)	37 100.0	13 35.1	13 35.1	4 10.8	6 16.2	5 13.5	4 10.8	5 13.5	1 2.7	6 16.2	0 0.0

上段：実数
下段：%

⑤ ボランティア・NPO活動に取り組むためのきっかけ（問 31－2、複数回答）

問 31－2 あなた（あて名のご本人）は、どのようなきっかけがあれば、ボランティア・NPO活動に取り組むと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

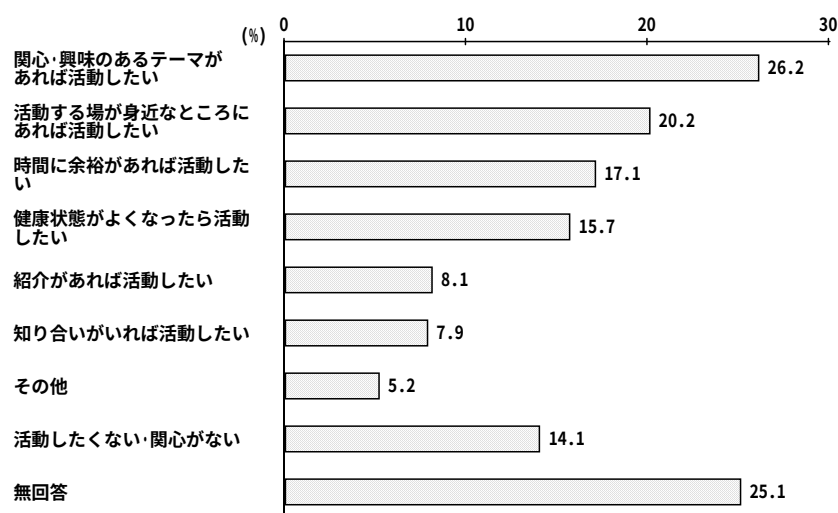
ボランティアやNPO活動をしていない人が活動に取り組むために必要なきっかけは、「関心・興味のあるテーマがあれば活動したい」（26.2%）が最も高く、次いで「活動する場が身近なところがあれば活動したい」（20.2%）、「時間に余裕があれば活動したい」（17.1%）、「健康状態がよくなったら活動したい」（15.7%）との回答が順に続いている。「活動したくない・関心がない」は14.1%である。また無回答が25.1%あった。

＜男女別の傾向＞

男性では「関心・興味のあるテーマがあれば活動したい」（32.2%）と「時間に余裕があれば活動したい」（20.1%）などが女性よりも高い割合である。

＜年齢別の傾向＞

前期高齢者のほうが何らかのきっかけがあれば活動したいとの回答割合が全体的に高い。後期高齢者では「活動したくない・関心がない」割合が18.9%と高くなっている。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	関心・興味のあるテーマがあれば活動したい	活動する場が身近なところがあれば活動したい	時間に余裕があれば活動したい	健康状態がよくなったら活動したい	紹介があれば活動したい	知り合いがいれば活動したい	その他	活動したくない・関心がない	無回答
全体	1548 100.0	405 26.2	312 20.2	265 17.1	243 15.7	126 8.1	122 7.9	80 5.2	218 14.1	389 25.1
男女別										
男性	708 100.0	228 32.2	157 22.2	142 20.1	97 13.7	73 10.3	60 8.5	21 3.0	86 12.1	164 23.2
女性	758 100.0	159 21.0	140 18.5	110 14.5	129 17.0	49 6.5	57 7.5	52 6.9	120 15.8	209 27.6
年齢別										
前期高齢者 (65歳～74歳)	963 100.0	292 30.3	233 24.2	213 22.1	142 14.7	96 10.0	92 9.6	29 3.0	106 11.0	228 23.7
後期高齢者 (75歳以上)	561 100.0	109 19.4	72 12.8	47 8.4	97 17.3	29 5.2	29 5.2	50 8.9	106 18.9	158 28.2

上段：実数
下段：%

(8) 日常生活について

① 日常生活での自立状況 (問 32)

問 32 次のことについて、あなた(あて名のご本人)はご自分でできますか。

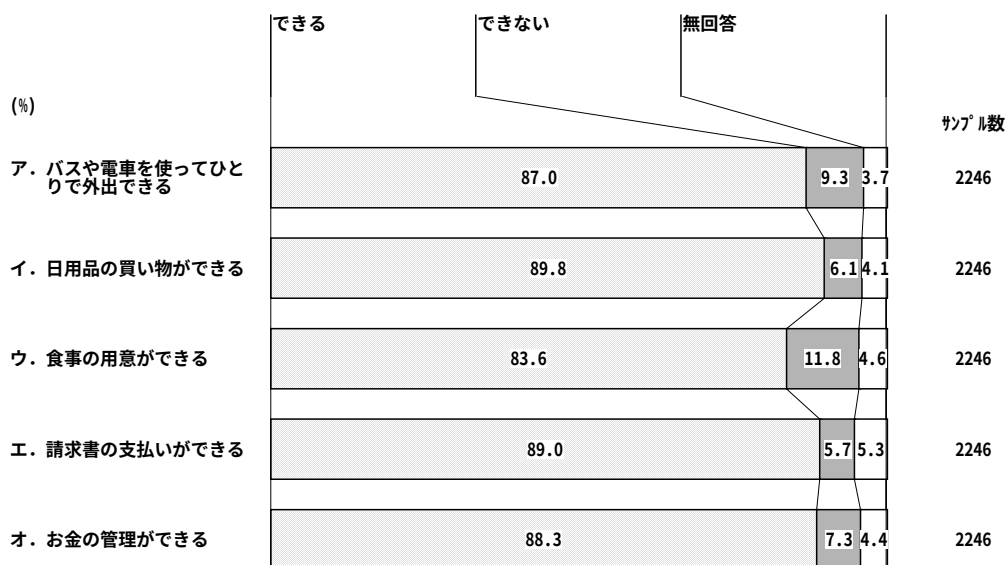
日常生活の自立状況については、各項目で 80%を超える人が「できる」と回答している。

＜男女別の傾向＞

男性は「バスや電車を使ってひとりで外出できる」割合が女性と比べて高い(91.5%)が、「食事の用意ができる」は 76.1%で低い。

＜年齢別の傾向＞

前期高齢者では「食事の用意ができる」が 89.0%であるほかは、「できる」と回答した割合が 90%を超える。後期高齢者は前期高齢者と比較して「できる」割合が低く、特に「バスや電車を使ってひとりで外出できる」が 75.4%、「食事の用意ができる」が 74.4%となっている。



＜男女別の比較＞

	男性				女性				
	全体	できる	できない	無回答	全体	できる	できない	無回答	
ア. バスや電車を使ってひとりで外出できる	939	859	54	26	1163	976	141	46	上段：実数 下段：%
	100.0	91.5	5.8	2.8	100.0	83.9	12.1	4.0	
イ. 日用品の買い物ができる	939	862	43	34	1163	1033	86	44	
	100.0	91.8	4.6	3.6	100.0	88.8	7.4	3.8	
ウ. 食事の用意ができる	939	715	171	53	1163	1045	79	39	
	100.0	76.1	18.2	5.6	100.0	89.9	6.8	3.4	
エ. 請求書の支払いができる	939	848	47	44	1163	1034	71	58	
	100.0	90.3	5.0	4.7	100.0	88.9	6.1	5.0	
オ. お金の管理ができる	939	826	75	38	1163	1036	79	48	
	100.0	88.0	8.0	4.0	100.0	89.1	6.8	4.1	

＜年齢別の比較＞

	前期高齢者 (65～74歳)				後期高齢者 (75歳以上)				
	全体	できる	できない	無回答	全体	できる	できない	無回答	
ア. バスや電車を使ってひとりで外出できる	1368	1286	53	29	824	621	153	50	上段：実数 下段：%
	100.0	94.0	3.9	2.1	100.0	75.4	18.6	6.1	
イ. 日用品の買い物ができる	1368	1289	41	38	824	680	96	48	
	100.0	94.2	3.0	2.8	100.0	82.5	11.7	5.8	
ウ. 食事の用意ができる	1368	1217	107	44	824	613	155	56	
	100.0	89.0	7.8	3.2	100.0	74.4	18.8	6.8	
エ. 請求書の支払いができる	1368	1276	40	52	824	678	86	60	
	100.0	93.3	2.9	3.8	100.0	82.3	10.4	7.3	
オ. お金の管理ができる	1368	1258	69	41	824	679	93	52	
	100.0	92.0	5.0	3.0	100.0	82.4	11.3	6.3	

《自立状況の分析》

ア. バスや電車を使ってひとりで外出できる
 イ. 日用品の買い物ができる
 ウ. 食事の用意ができる
 エ. 請求書の支払いができる
 オ. お金の管理ができる

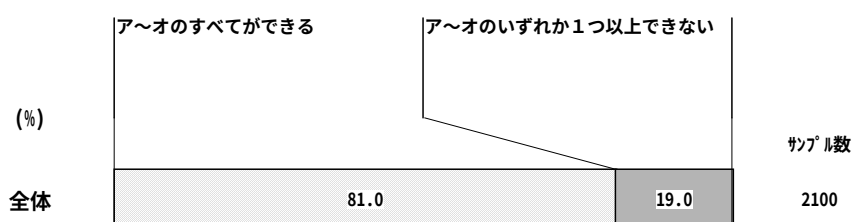


これら5項目について全て回答のある2,100人を
 「すべてできる」と
 「いずれか1つ以上できない」
 に分類した。

「ア～オのすべてができる」が81.0%で、「ア～オのいずれか1つ以上できない」が19.0%となった。

《年齢別の傾向》

「ア～オのいずれか1つ以上できない」は、前期高齢者が12.4%であるのに対し、後期高齢者では31.2%と高くなっている。



<年齢別の比較>

		全体	ア～オの すべてが できる	ア～オの いずれか 1つ以上 できない
年 齢 別	全体	2100 100.0	1700 81.0	400 19.0
	前期高齢者	1307 100.0	1145 87.6	162 12.4
	後期高齢者	746 100.0	513 68.8	233 31.2

上段：実数
 下段：%

②外出の際の主な交通手段（問 32－1、2 つまで回答）

問 32－1 あなた（あて名のご本人）は、外出する際、主にどのような手段を使っていますか。（○は2つまで）

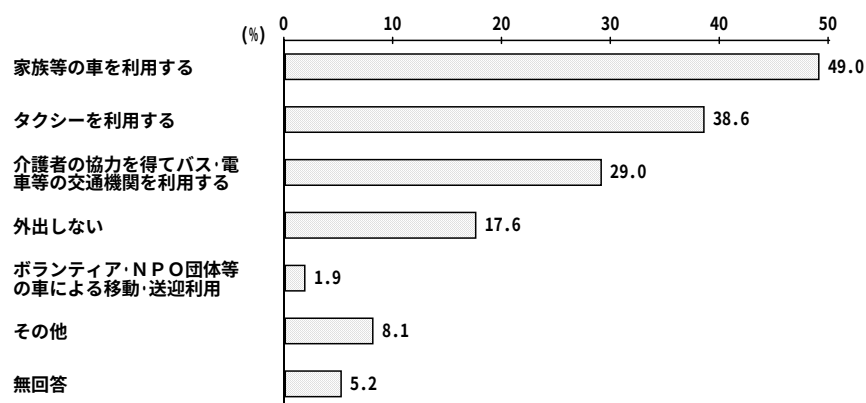
バスや電車を使ってひとりで外出できない人の主な交通手段は、「家族等の車を利用する」が49.0%で最も高い。「タクシーを利用する」は38.6%、「介護者の協力を得てバス・電車等の交通機関を利用する」は29.0%である。「外出しない」は17.6%である。

＜年齢別の傾向＞

全体の傾向と大きな違いはみられない。

＜世帯構成別の傾向＞

単身世帯と夫婦のみの世帯では、「タクシーを利用する」がそれぞれ59.4%、48.1%で最も高いが、「その他の世帯」では「家族等の車を利用する」が55.0%と最も高い。



＜年齢別・世帯構成別の比較＞

	全体	家族等の車を利用する	タクシーを利用する	介護者の協力を得てバス・電車等の交通機関を利用する	ボランティア・NPO団体等の車による移動・送迎利用	外出しない	その他	無回答	
全体	210 100.0	103 49.0	81 38.6	61 29.0	4 1.9	37 17.6	17 8.1	11 5.2	上段：実数 下段：%
年齢別									
前期高齢者 (65歳～74歳)	53 100.0	27 50.9	19 35.8	15 28.3	1 1.9	9 17.0	6 11.3	1 1.9	
後期高齢者 (75歳以上)	153 100.0	73 47.7	60 39.2	45 29.4	3 2.0	27 17.6	10 6.5	10 6.5	
世帯構成別									
単身世帯	32 100.0	13 40.6	19 59.4	9 28.1	1 3.1	3 9.4	5 15.6	1 3.1	
夫婦のみの世帯	54 100.0	23 42.6	26 48.1	20 37.0	0 0.0	10 18.5	1 1.9	2 3.7	
その他の世帯	109 100.0	60 55.0	31 28.4	29 26.6	2 1.8	23 21.1	9 8.3	6 5.5	

③不安や悩み事（問 33、複数回答）

問 33 現在のあなた（あて名のご本人）は、次のような不安や悩みごとがありますか。（あてはまるものすべてに○）

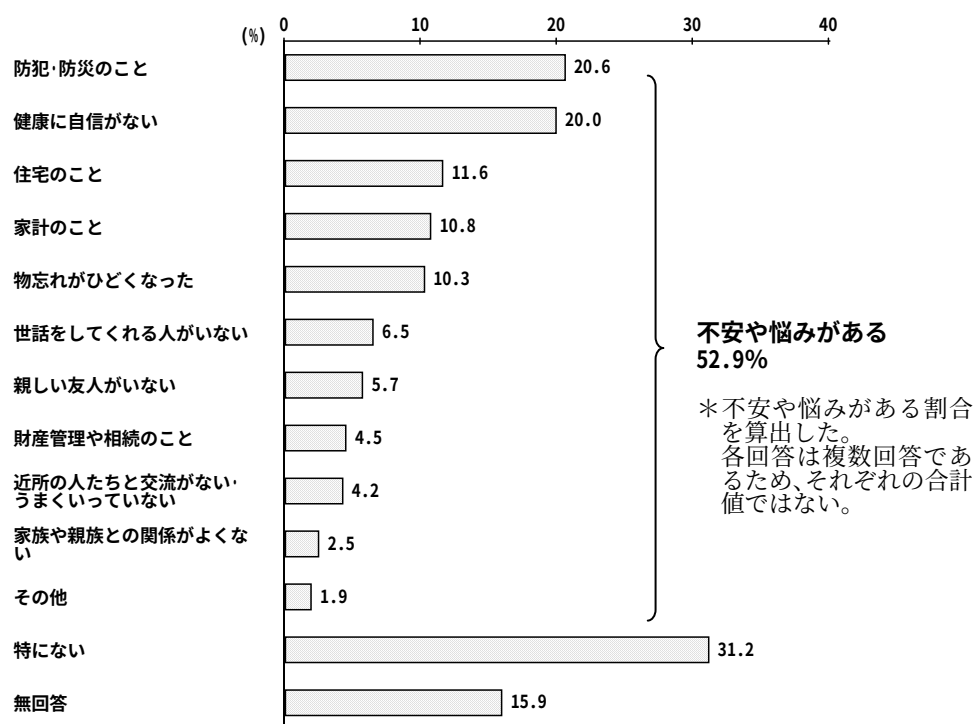
不安や悩み事がある人は 52.9%である。具体的には「防犯・防災のこと」（20.6%）、「健康に自信がない」（20.0%）、「住宅のこと」（11.6%）、「家計のこと」（10.8%）、「物忘れがひどくなった」（10.3%）が主なものである。また、「特にない」という回答も約3割あった。

《年齢別の傾向》

前期高齢者では「防犯・防災のこと」（21.6%）、「健康に自信がない」（18.9%）、「住宅のこと」（13.5%）、「家計のこと」（13.2%）が主な悩みや不安であり、後期高齢者は「健康に自信がない」（22.3%）、「防犯・防災のこと」（19.7%）、「物忘れがひどくなった」（15.2%）が主なものである。

《世帯構成別の傾向》

単身世帯では「防犯・防災のこと」「健康に自信がない」「住宅のこと」などについて他の世帯構成よりも高い。また「世話をしてくれる人がいない」割合が 15.4%で高い。



＜年齢別・世帯構成別の比較＞

	全体	防犯・防災のこと	健康に自信がない	住宅のこと	家計のこと	物忘れがひどくなった	世話をしてくれる人がいない	親しい友人がいない	財産管理や相続のこと	近所の人たちと交流がうまくいっていない	家族や親族との関係がよい	その他	特にない	無回答
全体	2246 100.0	462 20.6	449 20.0	260 11.6	242 10.8	232 10.3	146 6.5	129 5.7	102 4.5	95 4.2	56 2.5	43 1.9	700 31.2	357 15.9
年齢別														
前期高齢者 (65歳～74歳)	1368 100.0	295 21.6	258 18.9	184 13.5	180 13.2	103 7.5	86 6.3	80 5.8	64 4.7	59 4.3	39 2.9	28 2.0	456 33.3	193 14.1
後期高齢者 (75歳以上)	824 100.0	162 19.7	184 22.3	69 8.4	54 6.6	125 15.2	60 7.3	45 5.5	37 4.5	33 4.0	15 1.8	15 1.8	233 28.3	147 17.8
世帯構成別														
単身世帯	356 100.0	88 24.7	83 23.3	61 17.1	44 12.4	38 10.7	55 15.4	30 8.4	13 3.7	23 6.5	11 3.1	5 1.4	70 19.7	60 16.9
夫婦のみの世帯	907 100.0	207 22.8	173 19.1	117 12.9	96 10.6	89 9.8	53 5.8	57 6.3	46 5.1	36 4.0	18 2.0	15 1.7	298 32.9	123 13.6
その他の世帯	880 100.0	149 16.9	178 20.2	67 7.6	92 10.5	91 10.3	29 3.3	35 4.0	37 4.2	30 3.4	24 2.7	22 2.5	317 36.0	140 15.9

上段：実数
下段：%

《経年比較》

平成 16 年では新たに「防犯・防災のこと」を項目として追加したところ最も割合が高かった。なお、「特にない」が平成 13 年と比べて 17.4 ポイント減少している。

	全体	防犯・ 防災のこと	健康に 自信がない	住宅のこと	家計のこと	物忘れが ひどくなった	世話を してくれる人 がない	親しい友人 がいない	財産管理 や相続のこと	近所の人 たちと交流が ない・うまく いっていない	家族や親 族との関係が よくない	その他	特にな い	無回 答
平成16年	2246	20.6	20.0	11.6	10.8	10.3	6.5	5.7	4.5	4.2	2.5	1.9	31.2	15.9
平成13年	2463	—	15.9	7.2	9.3	10.8	4.5	3.8	3.1	4.3	1.1	1.9	48.6	15.5
平成8年	3223	—	24.4	10.1	7.4	14.7	6.6	5.6	4.5	6.3	2.1	2.6	41.5	11.0
平成4年	2516	—	14.1	5.4	3.5	—	4.3	3.1	4.9	3.3	1.0	1.6	58.9	13.4

＊「—」は各調査年で設定していない選択肢。

(%)

ただし、「全体」はサンプル数

④不安や悩み事の相談先（問 33－１、複数回答）

問 33－１ あなた（あて名のご本人）は、不安や悩みごとは誰に相談していますか。（あてはまるものすべてに○）

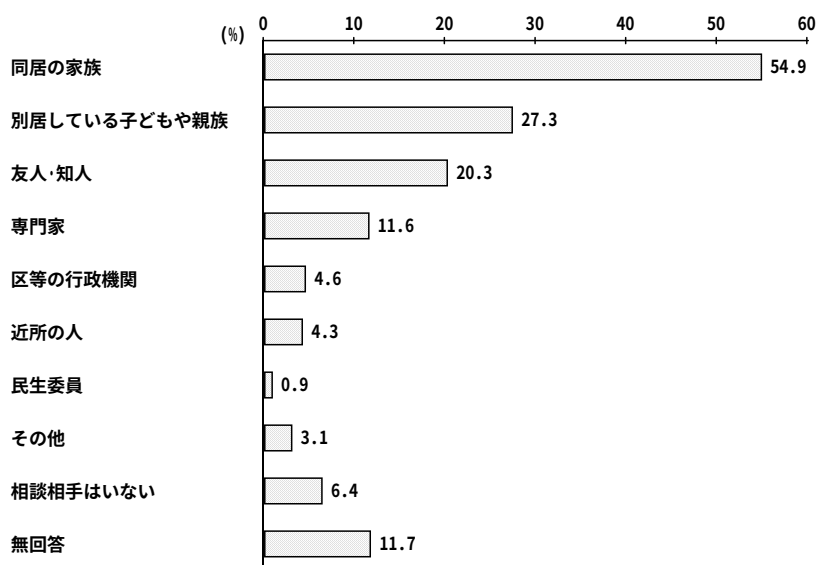
不安や悩み事がある人の相談先は、「同居の家族」が 54.9%で最も高い。次いで「別居している子どもや親族」（27.3%）、「友人・知人」（20.3%）の割合が高い。

＜年齢別の傾向＞

前期・後期高齢者ともに「同居の家族」の割合が最も高い。次いで「別居している子どもや親族」の割合が高いが、特に後期高齢者では 32.2%と高くなっている。「友人・知人」は前期高齢者が 22.8%であるのに対し、後期高齢者は 16.9%である。

＜世帯構成別の傾向＞

単身世帯では「別居している子どもや親族」（44.2%）と「友人・知人」（33.6%）の割合が高い。



＜年齢別・世帯構成別の比較＞

	全体	同居の家族	別居している子どもや親族	友人・知人	専門家	区等の行政機関	近所の人	民生委員	その他	相談相手はいない	無回答	
全体	1189	653	325	241	138	55	51	11	37	76	139	上段：実数
	100.0	54.9	27.3	20.3	11.6	4.6	4.3	0.9	3.1	6.4	11.7	下段：%
年齢別												
前期高齢者 (65歳～74歳)	719	411	175	164	85	38	33	5	22	50	82	
	100.0	57.2	24.3	22.8	11.8	5.3	4.6	0.7	3.1	7.0	11.4	
後期高齢者 (75歳以上)	444	231	143	75	53	16	17	5	14	22	53	
	100.0	52.0	32.2	16.9	11.9	3.6	3.8	1.1	3.2	5.0	11.9	
世帯構成別												
単身世帯	226	5	100	76	23	20	17	5	9	31	28	
	100.0	2.2	44.2	33.6	10.2	8.8	7.5	2.2	4.0	13.7	12.4	
夫婦のみの世帯	486	320	127	79	55	22	16	1	17	21	62	
	100.0	65.8	26.1	16.3	11.3	4.5	3.3	0.2	3.5	4.3	12.8	
その他の世帯	423	298	84	75	52	12	14	3	9	21	44	
	100.0	70.4	19.9	17.7	12.3	2.8	3.3	0.7	2.1	5.0	10.4	

＜経年比較＞

平成 13 年と平成 16 年で相談先に大きな違いはみられない。

	全体	同居の家族	別居している子どもや親族	友人・知人	専門家	区等の行政機関	近所の人	民生委員	その他	相談相手はいない	無回答
平成16年	1189	54.9	27.3	20.3	11.6	4.6	4.3	0.9	3.1	6.4	11.7
平成13年	883	58.0	31.9	19.6	11.6	4.3	4.1	1.5	2.9	7.4	6.9

(%)
ただし、「全体」はサンプル数

(9) 介護保険の認定について

① 要介護認定の申請（問 34）

問 34 あなた（あて名のご本人）は、要介護認定の申請をされていますか。（○は1つ）

要介護認定の申請状況は、「申請を行った」が 11.6%で、82.0%は「申請していない」。

＜年齢別の傾向＞

「申請を行った」は前期高齢者では 5.2%であるが、後期高齢者では 21.8%と高くなっている。



＜年齢別の比較＞

		全体	申請を行った	申請していない	無回答	上段：実数 下段：%
全体		2246	260	1842	144	
		100.0	11.6	82.0	6.4	
年齢別	前期高齢者 (65歳～74歳)	1368	71	1219	78	
		100.0	5.2	89.1	5.7	
後期高齢者 (75歳以上)	後期高齢者	824	180	587	57	
		100.0	21.8	71.2	6.9	

＜経年比較＞

平成 13 年の「申請を行った」は 8.9%であったが、平成 16 年は 11.6%である。

	全体	申請を行った	申請していない	無回答	(%)
平成16年	2246	11.6	82.0	6.4	ただし、「全体」はサンプル数
平成13年	2463	8.9	81.0	10.1	

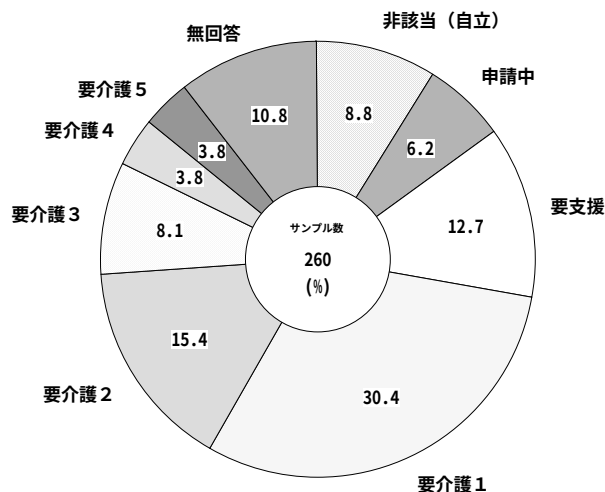
②要介護度（問 34－1）

問 34－1 要介護認定の申請結果は、次のうちどれですか。（○は1つ）

申請者の申請結果は、「要支援」が 12.7%、「要介護 1」が 30.4%で、要支援と要介護 1があわせて 43.1%を占める。「要介護 2」が 15.4%、「要介護 3」が 8.1%、「要介護 4」が 3.8%、「要介護 5」が 3.8%である。「非該当（自立）」は 8.8%である。

＜年齢別の傾向＞

後期高齢者で「要介護 1」（32.8%）と「要介護 2」（17.2%）の割合が、前期高齢者よりも高い。



＜年齢別の比較＞

	全体	非該当 (自立)	申請中	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
全体	260 100.0	23 8.8	16 6.2	33 12.7	79 30.4	40 15.4	21 8.1	10 3.8	10 3.8	28 10.8
前期高齢者 (65歳～74歳)	71 100.0	8 11.3	5 7.0	9 12.7	17 23.9	8 11.3	5 7.0	2 2.8	3 4.2	14 19.7
後期高齢者 (75歳以上)	180 100.0	14 7.8	11 6.1	23 12.8	59 32.8	31 17.2	15 8.3	8 4.4	7 3.9	12 6.7

上段：実数
下段：%

＜経年比較＞

要介護認定申請者の申請結果は、平成 13 年は「非該当（自立）」の割合が 24.7%と高かったが、平成 16 年では 8.8%と低くなっている。平成 16 年では「要介護 1」が 30.4%と高くなっている。

	全体	非該当 (自立)	申請中	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
平成16年	260	8.8	6.2	12.7	30.4	15.4	8.1	3.8	3.8	10.8
平成13年	219	24.7	5.0	10.0	18.3	13.2	5.9	5.9	6.4	10.5

(%)

ただし、「全体」はサンプル数

③要介護認定を申請していない主な理由（問 34－2）

問 34－2 要介護認定の申請をしていない主な理由は何ですか。（○は1つ）

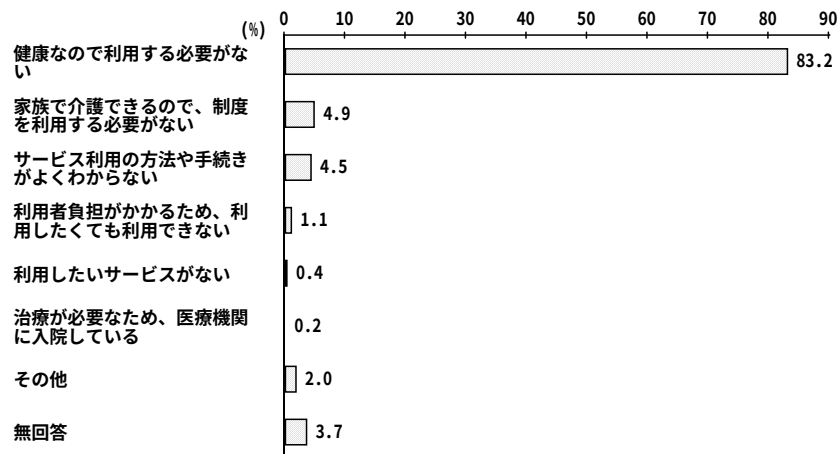
要介護認定を申請していない主な理由は、「健康なので利用する必要がない」（83.2％）である。「サービス利用の方法や手続きがよくわからない」は4.5％、「利用者負担がかかるため利用したくても利用できない」は1.1％、「利用したいサービスがない」は0.4％である。

＜年齢別の傾向＞

前期高齢者のほうが「健康なので利用する必要がない」（87.0％）の割合が高い。

＜世帯構成別の傾向＞

いずれの世帯構成においても「健康なので利用する必要がない」が最も高いが、単身世帯では次いで「サービス利用の方法や手続きがよくわからない」（10.5％）となっている。



＜年齢別・世帯構成別の比較＞

	全体	健康な ので利用 する必要 がない	家族で介 護でき るので、制 度を利用 する必要 がない	サービス 利用の方 法や手続 きがよく わから ない	利用者負 担がかか るため、利 用したく ても利用 できな い	利用した いサービ スがない	治療が必 要なため、 医療機関 に入院し ている	その他	無回答	
全体	1842 100.0	1533 83.2	90 4.9	82 4.5	21 1.1	8 0.4	4 0.2	36 2.0	68 3.7	上段：実数 下段：%
年齢別										
前期高齢者 (65歳～74歳)	1219 100.0	1060 87.0	42 3.4	40 3.3	17 1.4	2 0.2	2 0.2	24 2.0	32 2.6	
後期高齢者 (75歳以上)	587 100.0	445 75.8	45 7.7	40 6.8	4 0.7	5 0.9	2 0.3	11 1.9	35 6.0	
世帯構成別										
単身世帯	267 100.0	208 77.9	5 1.9	28 10.5	2 0.7	1 0.4	1 0.4	8 3.0	14 5.2	
夫婦のみの世帯	779 100.0	669 85.9	41 5.3	21 2.7	7 0.9	0 0.0	2 0.3	19 2.4	20 2.6	
その他の世帯	723 100.0	605 83.7	37 5.1	30 4.1	9 1.2	5 0.7	0 0.0	9 1.2	28 3.9	

＜経年比較＞

要介護認定を申請していない理由の各項目について、目立った経年変化はみられない。

	全体	健康な ので利用 する必要 がない	家族で介 護でき るので、制 度を利用 する必要 がない	サービス 利用の方 法や手続 きがよく わから ない	利用者負 担がかか るため、利 用したく ても利用 できな い	利用した いサービ スがない	治療が必 要なため、 医療機関 に入院し ている	その他	無回答
平成16年	1842	83.2	4.9	4.5	1.1	0.4	0.2	2.0	3.7
平成13年	1996	82.4	5.8	3.2	1.5	0.7	0.9	1.4	4.3

(%)

ただし、「全体」はサンプル数

④自身の希望する介護（問 35）

問 35 あなた（あて名のご本人）が日常生活をおくる上で介護が必要になった場合、どのようにしたいと思いますか。現在、介護を受けている方も、今後の希望をお答えください。（○は1つ）

自分が要介護状態になった場合に希望する介護は、「自宅で介護保険サービスや在宅支援サービス等を利用して暮らしたい」が 36.3%で最も高く、次いで「自宅で家族介護を中心に暮らしたい」が 21.0%となっており、自宅での生活を希望する人が 57.3%を占める。特別養護老人ホームや病院、有料老人ホーム等の施設への入所（入院）意向はあわせて 22.2%である。

＜年齢別の傾向＞

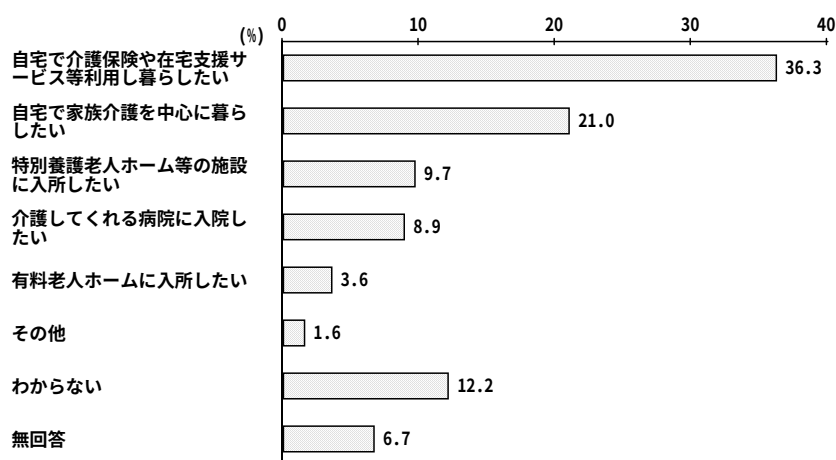
全体の傾向と大きな違いはみられない。

＜世帯構成別の傾向＞

施設等への入所（入院）意向は、単身世帯が 28.4%、夫婦のみの世帯が 23.8%、その他の世帯が 17.8%である。

＜介護経験別の傾向＞

現在高齢者を介護している人は自宅での生活を希望する割合が 66.1%で高くなっている。



＜年齢別・世帯構成別の比較＞

	全体	自宅で介護保険サービス等利用し暮らしたい	自宅で家族介護を中心に暮らしたい	特別養護老人ホーム等の施設に入所したい	介護してくれる病院に入院したい	有料老人ホームに入所したい	その他	わからない	無回答	
全体	2246	816	472	218	200	80	35	274	151	上段：実数
	100.0	36.3	21.0	9.7	8.9	3.6	1.6	12.2	6.7	下段：%
年齢別										
前期高齢者 (65歳～74歳)	1368	512	273	135	120	48	21	183	76	
	100.0	37.4	20.0	9.9	8.8	3.5	1.5	13.4	5.6	
後期高齢者 (75歳以上)	824	291	189	78	76	31	14	83	62	
	100.0	35.3	22.9	9.5	9.2	3.8	1.7	10.1	7.5	
世帯構成別										
単身世帯	356	124	31	46	42	13	8	60	32	
	100.0	34.8	8.7	12.9	11.8	3.7	2.2	16.9	9.0	
夫婦のみの世帯	907	327	194	98	82	36	18	100	52	
	100.0	36.1	21.4	10.8	9.0	4.0	2.0	11.0	5.7	
その他の世帯	880	340	220	60	67	30	7	106	50	
	100.0	38.6	25.0	6.8	7.6	3.4	0.8	12.0	5.7	
介護経験別										
現在介護をしている	115	50	26	11	9	5	2	10	2	
	100.0	43.5	22.6	9.6	7.8	4.3	1.7	8.7	1.7	
以前は介護をしていたが現在はしていない	513	200	95	53	58	28	13	52	14	
	100.0	39.0	18.5	10.3	11.3	5.5	2.5	10.1	2.7	
今まで介護をしたことはない	1332	519	306	135	119	37	16	176	24	
	100.0	39.0	23.0	10.1	8.9	2.8	1.2	13.2	1.8	

＜経年比較＞

平成 13 年と比較して平成 16 年は、「自宅で介護保険や在宅支援サービス等を利用したい」の割合が上昇し、「自宅で家族介護を中心に暮らしたい」の割合が低下している。

	全体	自宅で家族介護を中心に暮らしたい	自宅で介護保険や在宅支援サービス等利用し暮らしたい	特別養護老人ホーム等の施設に入所したい	介護してくれる病院に入院したい	有料老人ホームに入所したい	その他	わからない	無回答
平成16年	2246	21.0	36.3	9.7	8.9	3.6	1.6	12.2	6.7
平成13年	2463	34.8	31.2	12.2	—	—	1.3	15.0	5.5

* 「—」は平成 13 年調査にはない選択肢。

(%)
ただし、「全体」はサンプル数

(10) 高齢者の介護経験について

① 高齢者の介護経験（問 36）

問 36 あなた（あて名のご本人）は、高齢者の介護をした経験はありますか。（○は1つ）

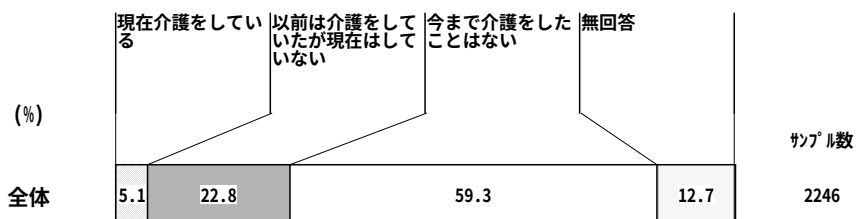
高齢者を「現在介護している」は 5.1%で、「以前は介護をしていたが現在はしていない」をあわせた介護経験者は 27.9%である。

＜男女別の傾向＞

男性の介護経験者が 18.0%であるのに対し、女性は 36.7%と高い。

＜年齢別の傾向＞

全体の傾向と大きな違いはみられない。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	現在介護をしている	以前は介護をしていたが現在はしていない	今まで介護をしたことはない	無回答
全体	2246 100.0	115 5.1	513 22.8	1332 59.3	286 12.7
男女別					
男性	939 100.0	44 4.7	125 13.3	662 70.5	108 11.5
女性	1163 100.0	66 5.7	361 31.0	598 51.4	138 11.9
年齢別					
前期高齢者 (65歳～74歳)	1368 100.0	73 5.3	326 23.8	820 59.9	149 10.9
後期高齢者 (75歳以上)	824 100.0	38 4.6	175 21.2	489 59.3	122 14.8

上段：実数
下段：%

②高齢者介護で困ったこと（問 36－1、複数回答）

問 36－1 介護をしていて、どのようなことが困りましたか。（あてはまるものすべてに○）

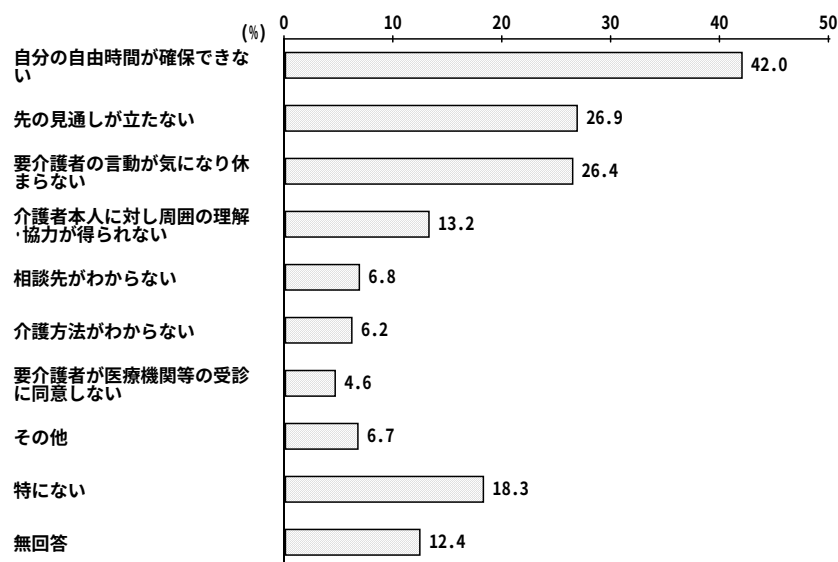
介護経験者が高齢者介護で困ったことは、「自分の自由時間が確保できない」（42.0%）、「先の見通しが立たない」（26.9%）、「要介護者の言動が気になり休まらない」（26.4%）が上位3項目である。

＜男女別の傾向＞

女性では上位3項目に加えて「介護者本人対して周囲の理解・協力が得られない」が16.4%で高い。

＜年齢別の傾向＞

前期高齢者では上位3項目に加えて「介護者本人対して周囲の理解・協力が得られない」が15.8%で高い。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	自分の自由時間が確保できない	先の見通しが立たない	要介護者の言動が気になり休まらない	介護者本人対して周囲の理解・協力が得られない	相談先がわからない	介護方法がわからない	要介護者が医療機関等の受診に同意しない	その他	特にない	無回答
全体	628 100.0	264 42.0	169 26.9	166 26.4	83 13.2	43 6.8	39 6.2	29 4.6	42 6.7	115 18.3	78 12.4
男女別											
男性	169 100.0	66 39.1	50 29.6	34 20.1	11 6.5	10 5.9	12 7.1	6 3.6	11 6.5	36 21.3	21 12.4
女性	427 100.0	189 44.3	117 27.4	123 28.8	70 16.4	31 7.3	27 6.3	22 5.2	30 7.0	72 16.9	48 11.2
年齢別											
前期高齢者 (65歳～74歳)	399 100.0	168 42.1	118 29.6	105 26.3	63 15.8	30 7.5	22 5.5	20 5.0	28 7.0	74 18.5	40 10.0
後期高齢者 (75歳以上)	213 100.0	90 42.3	51 23.9	56 26.3	20 9.4	13 6.1	17 8.0	8 3.8	14 6.6	36 16.9	35 16.4

上段：実数
下段：%

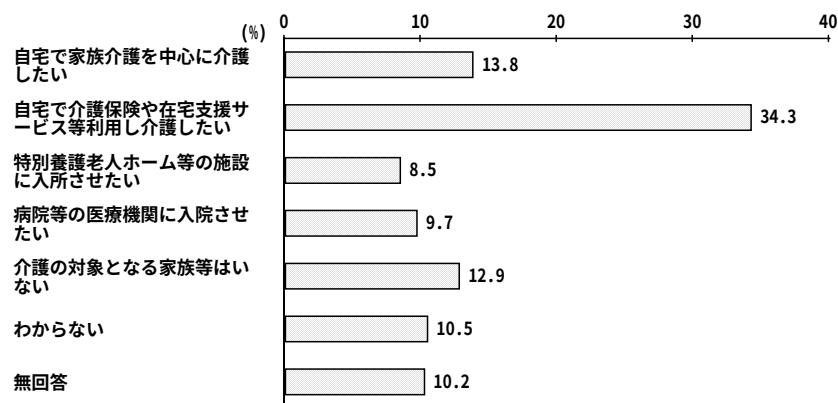
③家族等の介護が必要になった場合の介護（問 37）

問 37 家族等を介護する際に、あなた（あて名のご本人）はどのようにしたいと思いますか。（○は1つ）

家族等が要介護状態になった場合の介護としては、「自宅で介護保険サービスや在宅支援サービス等を利用して介護したい」が 34.3%で最も高く、次いで「自宅で家族介護を中心に介護したい」が 13.8%で、自宅での生活希望が 48.1%を占める。特別養護老人ホームや病院等の施設等への入所（入院）意向は 18.2%である。

＜年齢別の傾向＞

前期高齢者のほうが自宅での生活を希望する割合が 52.0%で高い。



＜年齢別の比較＞

	全体	自宅で家族介護を中心に介護したい	自宅で介護保険や在宅支援サービス等利用し介護したい	特別養護老人ホーム等の施設に入所させたい	病院等の医療機関に入院させたい	介護の対象となる家族等はいない	わからない	無回答
全体	2246 100.0	311 13.8	771 34.3	192 8.5	218 9.7	289 12.9	235 10.5	230 10.2
年齢別								
前期高齢者 (65歳～74歳)	1368 100.0	194 14.2	517 37.8	126 9.2	137 10.0	162 11.8	136 9.9	96 7.0
後期高齢者 (75歳以上)	824 100.0	112 13.6	241 29.2	62 7.5	75 9.1	119 14.4	95 11.5	120 14.6

上段：実数
下段：%

(11) 在宅支援サービスの利用状況について

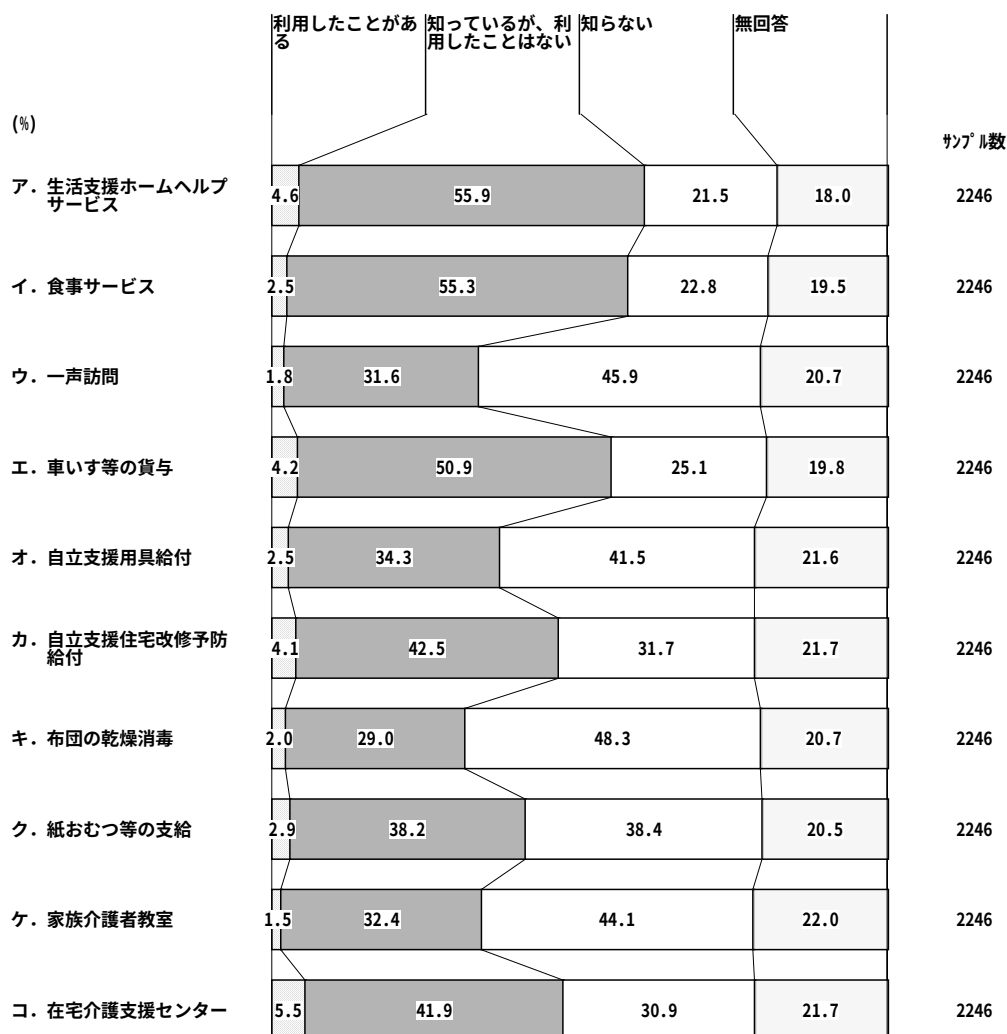
① 在宅支援サービスの利用状況（問 38）

問 38 あなた（あて名のご本人）は、次の区の在宅支援サービスを利用したことがありますか。ア～コのすべてのサービスについて、利用の有無等の欄にあてはまる番号に○をつけてください。（○はそれぞれ1つ）

利用経験者が最も高いサービスは在宅介護支援センターで 5.5% である。他のサービスの利用経験割合は 5% 未満である。

サービスの認知度が 50% を超えるのは、生活支援ホームヘルプサービス（60.5%）、食事サービス（57.8%）、車いす等の貸与（55.1%）である。

なお各サービスとも無回答が 2 割前後あった。



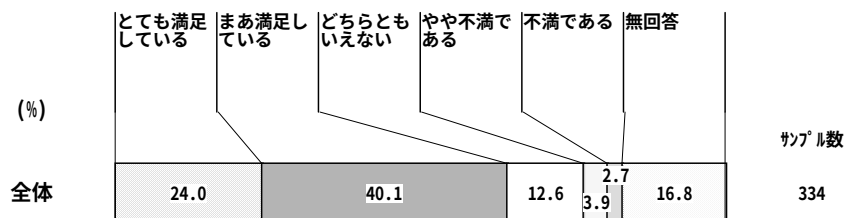
②在宅支援サービスの満足度（問 38－1）

問 38－1 あなた（あて名のご本人）が利用したサービスの満足度についてお答えください。（○は1つ） また、不満があるとお答えの方は、その理由をお答えください。

利用した在宅支援サービスについて「とても満足している」が 24.0%で、「まあ満足している」をあわせると 64.1%が満足している。

＜年齢別の傾向＞

「とても満足している」と「まあ満足している」をあわせた割合は、前期高齢者が 56.4%で、後期高齢者が 68.6%であり、後期高齢者のほうが満足度が高い。



＜年齢別の比較＞

	全体	とても満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	無回答
全体	334	80	134	42	13	9	56
	100.0	24.0	40.1	12.6	3.9	2.7	16.8
年齢別							
前期高齢者 (65歳～74歳)	117	22	44	20	7	5	19
	100.0	18.8	37.6	17.1	6.0	4.3	16.2
後期高齢者 (75歳以上)	207	56	86	21	6	4	34
	100.0	27.1	41.5	10.1	2.9	1.9	16.4

上段：実数
下段：%

(12) 保健福祉施策について

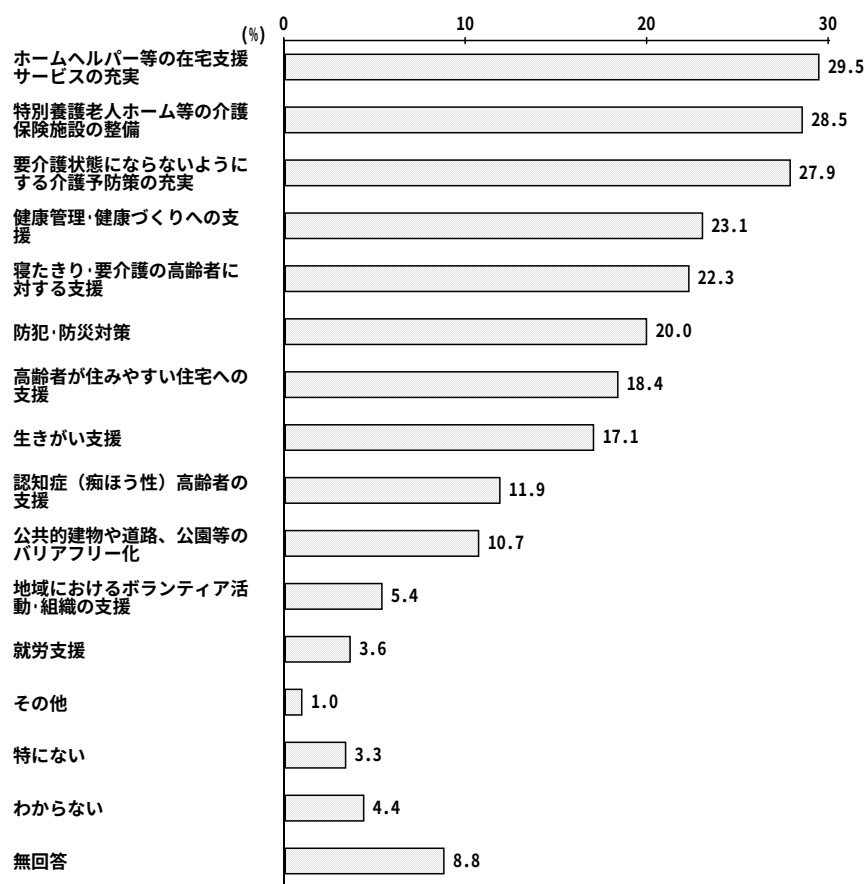
①力を入れるべき高齢者施策（問 39、3つまで回答）

問 39 あなた（あて名のご本人）は、高齢者のための施策として、今後どのようなことに力を入れてほしいと思いますか。最も力を入れてほしいものを3つまで選んでください。（○は3つまで）

今後力を入れるべき高齢者施策は、「ホームヘルパー等の在宅支援サービスの充実」（29.5%）、「特別養護老人ホーム等の介護保険施設の整備」（28.5%）、「要介護状態にならないようにする介護予防策の充実」（27.9%）が上位3項目である。次いで20%以上の項目は、「健康管理・健康づくりへの支援」（23.1%）、「寝たきり・要介護の高齢者に対する支援」（22.3%）、「防犯・防災対策」（20.0%）となっている。

《年齢別の傾向》

上位3項目は、前期・後期高齢者ともに変わらなかった。



＜年齢別の比較＞

	全体	ホームヘルパー等の在宅支援サービスの充実	特別養護老人ホーム等の介護保険施設の整備	要介護状態にならないようにする介護予防策の充実	健康管理・健康づくりへの支援	寝たきり・要介護の高齢者に対する支援	防犯・防災対策	高齢者が住みやすい住宅への支援	生きがい支援	認知症（痴呆性）高齢者の支援	公共的建物や道路、公園等のバリアフリー化	地域におけるボランティア活動・組織の支援	就労支援	その他	特にない	わからない	無回答
全体	2246 100.0	662 29.5	641 28.5	627 27.9	518 23.1	500 22.3	449 20.0	413 18.4	383 17.1	267 11.9	240 10.7	121 5.4	81 3.6	22 1.0	75 3.3	98 4.4	198 8.8
前期高齢者 (65歳～74歳)	1368 100.0	403 29.5	421 30.8	395 28.9	324 23.7	327 23.9	268 19.6	279 20.4	259 18.9	174 12.7	149 10.9	80 5.8	67 4.9	11 0.8	44 3.2	58 4.2	96 7.0
後期高齢者 (75歳以上)	824 100.0	248 30.1	210 25.5	220 26.7	181 22.0	162 19.7	170 20.6	121 14.7	118 14.3	82 10.0	85 10.3	39 4.7	10 1.2	10 1.2	29 3.5	37 4.5	95 11.5

上段：実数
下段：%

②健康・保健福祉に関する知識・情報の入手先（問 40、3つまで回答）

問 40 あなた（あて名のご本人）は、健康や保健福祉に関する知識・情報を何から得ていますか。（○は3つまで）

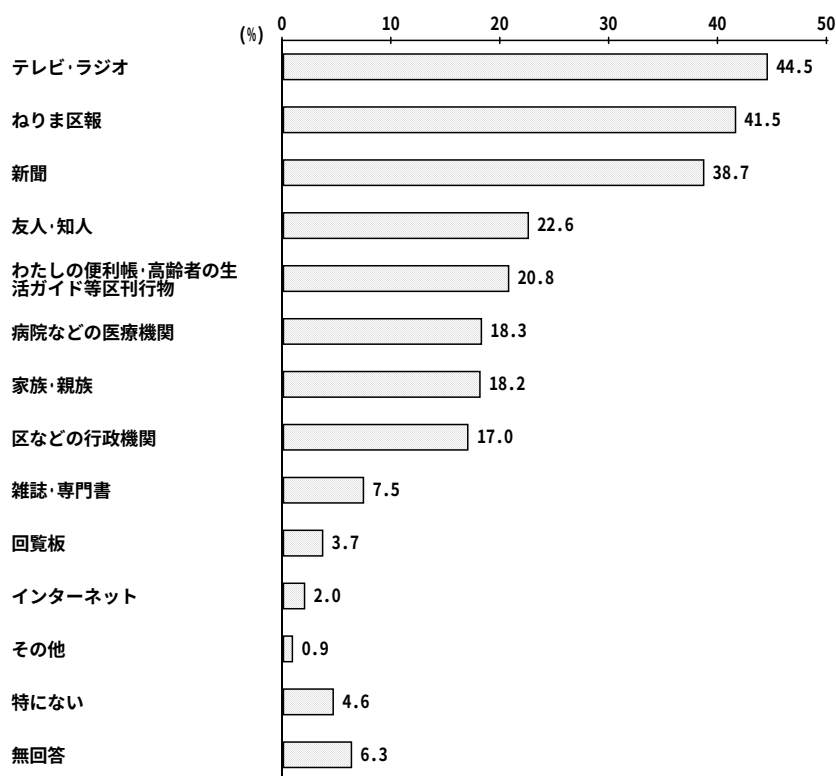
健康や保健福祉に関する知識・情報の主な入手先は、「テレビ・ラジオ」（44.5%）、「ねりま区報」（41.5%）、「新聞」（38.7%）が上位3項目である。

＜男女別の傾向＞

男性では上位3項目の次に「私の便利帳・高齢者の生活ガイド等区刊行物」（21.3%）、「病院などの医療機関」（21.3%）の割合が高く、女性では「友人・知人」（28.2%）、「私の便利帳・高齢者の生活ガイド等区刊行物」（21.4%）の割合が高い。

＜年齢別の傾向＞

後期高齢者では「家族・親族」が22.1%と高い。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	テレビ・ラジオ	ねりま区報	新聞	友人・知人	わたしの便利帳・高齢者の生活ガイド等区刊行物	病院などの医療機関	家族・親族	区などの行政機関	雑誌・専門書	回覧板	インターネット	その他	特にない	無回答
全体	2246 100.0	1000 44.5	933 41.5	869 38.7	508 22.6	467 20.8	411 18.3	408 18.2	381 17.0	168 7.5	84 3.7	44 2.0	21 0.9	103 4.6	142 6.3
男女別															
男性	939 100.0	407 43.3	389 41.4	410 43.7	147 15.7	200 21.3	200 21.3	174 18.5	171 18.2	77 8.2	37 3.9	30 3.2	10 1.1	53 5.6	50 5.3
女性	1163 100.0	535 46.0	500 43.0	415 35.7	328 28.2	249 21.4	189 16.3	203 17.5	192 16.5	80 6.9	40 3.4	12 1.0	10 0.9	41 3.5	73 6.3
年齢別															
前期高齢者 (65歳～74歳)	1368 100.0	604 44.2	607 44.4	552 40.4	335 24.5	287 21.0	244 17.8	213 15.6	250 18.3	114 8.3	54 3.9	33 2.4	12 0.9	69 5.0	61 4.5
後期高齢者 (75歳以上)	824 100.0	372 45.1	306 37.1	297 36.0	166 20.1	175 21.2	160 19.4	182 22.1	122 14.8	48 5.8	29 3.5	10 1.2	9 1.1	31 3.8	72 8.7

上段：実数
下段：%

＜＜経年比較＞＞

健康や保健福祉に関する情報の入手先は上位項目は変わらないが、「私の便利帳・高齢者の生活ガイド等区刊行物」の割合がやや低下し、「区などの行政機関」の割合が大幅に上昇している。

	全体	テレビ・ラジオ	ねりま区報	新聞	友人・知人	わたしの便利帳・高齢者の生活ガイド等区刊行物	病院などの医療機関	家族・親族	区などの行政機関	雑誌・専門書	回覧板	インターネット	その他	特になし	無回答
平成16年	2246	44.5	41.5	38.7	22.6	20.8	18.3	18.2	17.0	7.5	3.7	2.0	0.9	4.6	6.3
平成13年	2463	48.2	44.2	35.9	25.1	25.1	21.2	20.1	4.4	9.0	—	0.8	0.9	4.7	5.7

＊「回覧板」は平成13年調査にはない選択肢。

(%)

ただし、「全体」はサンプル数

③関心のある情報（問 41、3 つまで回答）

問 41 あなた（あて名のご本人）は、どんな情報に関心がありますか。（○は3 つまで）

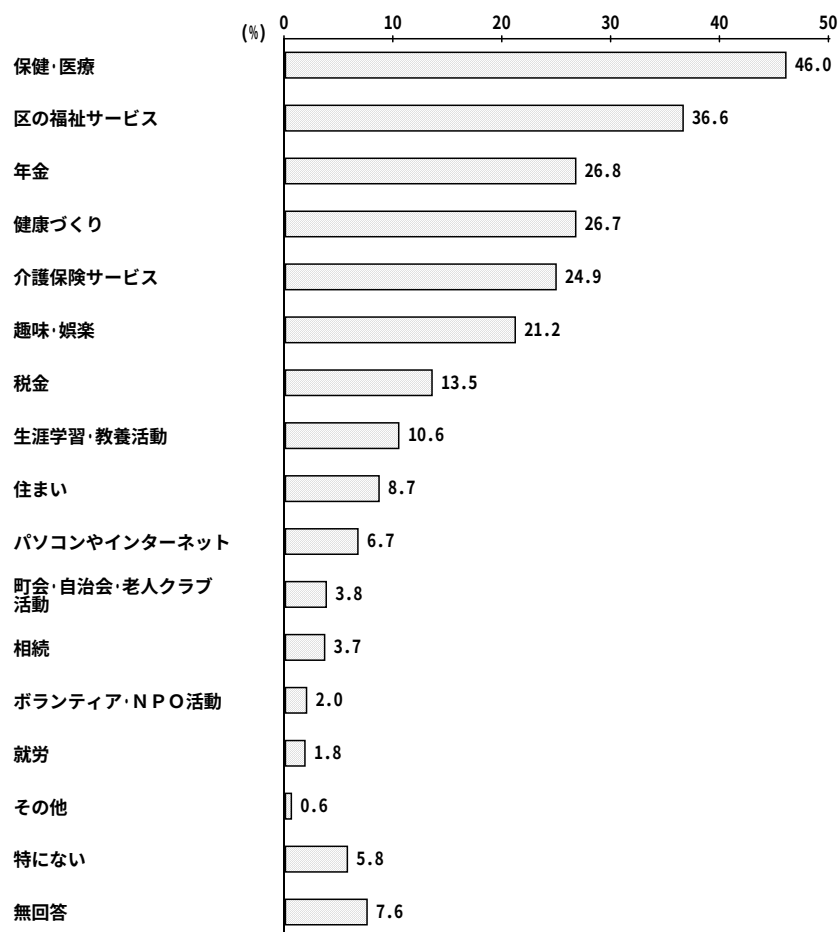
関心のある情報は「保健・医療」が46.0%で最も高い。次いで「区の福祉サービス」（36.6%）、「年金」（26.8%）、「健康づくり」（26.7%）、「介護保険サービス」（24.9%）となっており、保健・医療・福祉への関心が高い。

＜男女別の傾向＞

全体の傾向と大きな違いはみられない。

＜年齢別の傾向＞

前期高齢者で「年金」への関心が30.3%と高くなっている。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	保健・医療	区の福祉サービス	年金	健康づくり	介護保険サービス	趣味・娯楽	税金	生涯学習・教養活動	住まい	パソコンやインターネット	町会・自治会・老人クラブ活動	相続	ボランティア・NPO活動	就労	その他	特にない	無回答
全体	2246 100.0	1033 46.0	823 36.6	601 26.8	599 26.7	559 24.9	476 21.2	303 13.5	237 10.6	196 8.7	151 6.7	85 3.8	82 3.7	46 2.0	41 1.8	13 0.6	131 5.8	171 7.6
男女別																		
男性	939 100.0	433 46.1	323 34.4	273 29.1	250 26.6	204 21.7	216 23.0	157 16.7	98 10.4	75 8.0	86 9.2	40 4.3	36 3.8	28 3.0	27 2.9	6 0.6	54 5.8	60 6.4
女性	1163 100.0	537 46.2	458 39.4	289 24.8	313 26.9	329 28.3	226 19.4	129 11.1	128 11.0	102 8.8	57 4.9	39 3.4	42 3.6	15 1.3	14 1.2	6 0.5	66 5.7	95 8.2
年齢別																		
前期高齢者 (65歳～74歳)	1368 100.0	646 47.2	508 37.1	414 30.3	380 27.8	323 23.6	316 23.1	196 14.3	157 11.5	139 10.2	104 7.6	42 3.1	46 3.4	31 2.3	35 2.6	9 0.7	65 4.8	80 5.8
後期高齢者 (75歳以上)	824 100.0	368 44.7	294 35.7	169 20.5	206 25.0	220 26.7	151 18.3	99 12.0	74 9.0	49 5.9	44 5.3	42 5.1	36 4.4	14 1.7	5 0.6	4 0.5	66 8.0	83 10.1

上段：実数
下段：%

(13) 介護保険制度について

①介護保険制度に対する認知（問 42、複数回答）

問 42 あなた（あて名のご本人）は、介護保険制度についてどの程度ご存知ですか。（知っていることすべてに○）

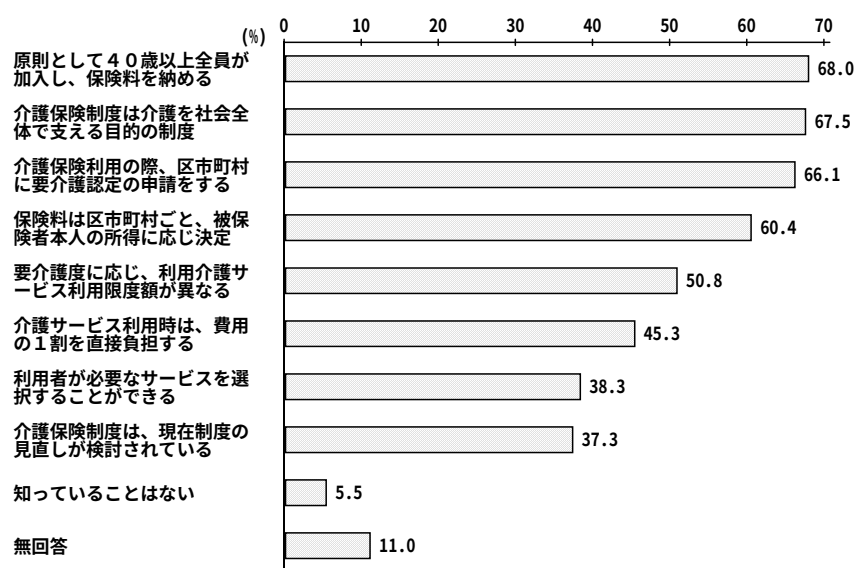
介護保険制度に対する認知状況をみると、「原則として40歳以上全員が加入し保険料を納める」（68.0%）、「介護保険制度は介護を社会全体で支えることをめざした制度である」（67.5%）、「介護保険を利用するときにはまず区市町村に要介護認定の申請をする」（66.1%）、「保険料は区市町村ごとに被保険者の所得に応じて決める」（60.4%）、「要介護度に応じて利用できる介護サービスの利用限度額が異なる」（50.8%）については50%を超える人が認知している。

＜年齢別の傾向＞

前期高齢者のほうが全体的に認知している割合が高い。

＜世帯構成別の傾向＞

全体の傾向と大きな違いはみられない。



＜年齢別・世帯構成別の比較＞

	全体	加入し、保険料を納める	原則として40歳以上全員が	介護保険制度は介護を社会全体で支える目的の制度	介護保険利用の際、区市町村に要介護認定の申請をする	保険料は区市町村ごと、被保険者本人の所得に応じて決定	要介護度に応じ、利用介護サービス利用限度額が異なる	介護サービス利用時は、費用の1割を直接負担する	利用者が必要なサービスを選択することができる	介護保険制度は、現在制度の見直しが検討されている	知っていることはない	無回答
全体	2246	1528	1517	1485	1357	1357	1141	1018	861	837	123	248
	100.0	68.0	67.5	66.1	60.4	60.4	50.8	45.3	38.3	37.3	5.5	11.0
年齢別												
前期高齢者(65歳～74歳)	1368	987	968	953	871	871	733	621	558	550	59	122
	100.0	72.1	70.8	69.7	63.7	63.7	53.6	45.4	40.8	40.2	4.3	8.9
後期高齢者(75歳以上)	824	521	518	505	462	462	385	375	286	270	62	112
	100.0	63.2	62.9	61.3	56.1	56.1	46.7	45.5	34.7	32.8	7.5	13.6
世帯構成別												
単身世帯	356	225	223	225	215	215	183	173	138	120	25	52
	100.0	63.2	62.6	63.2	60.4	60.4	51.4	48.6	38.8	33.7	7.0	14.6
夫婦のみの世帯	907	665	666	629	598	598	476	426	355	378	37	78
	100.0	73.3	73.4	69.3	65.9	65.9	52.5	47.0	39.1	41.7	4.1	8.6
その他の世帯	880	595	577	576	498	498	450	388	343	313	54	94
	100.0	67.6	65.6	65.5	56.6	56.6	51.1	44.1	39.0	35.6	6.1	10.7

上段：実数
下段：%

＜経年比較＞

平成13年と平成16年で、介護保険制度の認知傾向について大きな違いはみられない。

	全体	原則として 40歳以上 全員が加 入し、保険 料を納め る	介護保険 制度は介 護を社会 全体で支 える目的 の制度	介護保険 利用の 際、区市 町村に要 介護認定 の申請を する	保険料は 区市町村 ごと、被 保険者本 人の所得 に応じ決 定	要介護度 に応じ、利 用介護サ ービス 利用限度 額が異な る	介護サー ビス利用 時は、費 用の1割 を直接負 担する	利用者が 必要な サービス を選択す ることが できる	介護保険 制度は、 現在制度 の見直し が検討さ れている	知ってい ることは ない	無回答
平成16年	2246	68.0	67.5	66.1	60.4	50.8	45.3	38.3	37.3	5.5	11.0
平成13年	2463	70.4	68.8	64.6	62.9	52.5	46.9	39.3	—	5.8	11.4

*「—」は平成13年調査にはない選択肢。

(%)

ただし、「全体」はサンプル数

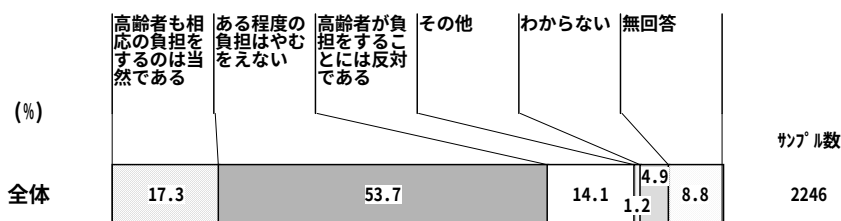
②介護保険料に対する意見（問43）

問43 介護保険制度は、原則として40歳以上の方全員が加入し、必要な保険料を負担していただいています。あなた（あて名のご本人）は、このことについてどう思いますか。（○は1つ）

介護保険料を原則40歳以上の全員加入で負担していることについては、「ある程度の負担はやむをえない」と考える割合が53.7%、「高齢者も相応の負担をするのは当然である」（17.3%）とともに、高齢者の負担に肯定的な意見はあわせて71.0%である。「高齢者が負担をすることには反対である」は14.1%である。

＜年齢別の傾向＞

全体の傾向と大きな違いはみられない。



＜年齢別の比較＞

	全体	高齢者も 相応の負 担をする のは当然 である	ある程度 の負担は やむをえ ない	高齢者が 負担をす ることには 反対である	その他	わから ない	無回答
全体	2246 100.0	389 17.3	1206 53.7	316 14.1	27 1.2	110 4.9	198 8.8
年齢別							
前期高齢者 (65歳～74歳)	1368 100.0	248 18.1	734 53.7	209 15.3	19 1.4	56 4.1	102 7.5
後期高齢者 (75歳以上)	824 100.0	133 16.1	451 54.7	94 11.4	8 1.0	53 6.4	85 10.3

上段：実数
下段：%

＜経年比較＞

平成13年と平成16年で、介護保険料の負担についての考え方に大きな違いはみられない。

	全体	高齢者も 相応の負 担をする のは当然 である	ある程度 の負担は やむをえ ない	高齢者が 負担をす ることには 反対である	その他	わから ない	無回答
平成16年	2246	17.3	53.7	14.1	1.2	4.9	8.8
平成13年	2463	15.2	56.4	15.3	2.1	4.2	6.8

(%)

ただし、「全体」はサンプル数

③高齢者保健福祉施策への意見・要望（問 44）

問 44 高齢者保健福祉施策（介護保険を含む）について、ご意見やご要望がございましたら、下欄にご記入ください。

項目別の主な意見は、次のとおりである。（回答者数 656 人）

生活	◇ 年金をさげたり、介護保険料を値上げしたりしないで欲しい。 ◇ 経済的な面でとても悩んでいる。 ◇ 生活に必要な金額の支給をして欲しい。
食事	◇ 配食サービスを毎日にして欲しい。 ◇ デイケアの昼食が、献立・調理に心の温かみが感じられない。 ◇ 身体が弱らないように食事のサービス等を受けたい。
仕事	◇ 高齢者は働きたくとも雇ってくれるところがない。
住まい	◇ 高齢者向けのバリアフリーのあるマンションが住みなれた所に欲しい。 ◇ 高齢者が安心して住める住宅を考えて欲しい。 ◇ 緊急時における、通信機器を高齢者の自宅に設置して欲しい。 ◇ 家賃を払うのが大変なので都営住宅に住ませて欲しい。
医療	◇ 区外にある病院でも高齢者健診を受けられるようにして欲しい。 ◇ 高齢者健診のなかに婦人科を加えて欲しい。 ◇ 医療費の貸付制度について申請の手続きが実情に則していない面もあるので検討してもらいたい。 ◇ 家の近くで信頼できる病院が欲しい。 ◇ 医療費をもう少し安くして欲しい。
リハビリ	◇ リハビリ関係の施設が欲しい。
介護保険	◇ 40 歳から介護保険に加入するには早すぎる。 ◇ 80 歳以上は介護保険料を払わなくていいようにして欲しい。 ◇ 介護保険を高齢になって使用しない人には、何らかの形で報酬を出すとか、何歳以上で使用しない人は減額するなどして欲しい。 ◇ 配偶者の保険料を税額控除の対象にして欲しい。 ◇ 介護保険の加入を強制でなく、任意にってもらいたい。 ◇ 介護保険料を支払っても介護認定がないとサービスが受けられないのはおかしい。 ◇ 保険料の支払いを行った金額に相当するサービスを実施して欲しい。 ◇ 保険料は収入に見合った額にして欲しい。 ◇ 介護認定に時間がかかりすぎる。 ◇ 利用する時にわかりやすく利用しやすいようにして欲しい。 ◇ 家族が介護する場合も介護サービスに含まれる制度にして欲しい。 ◇ 家庭での介護が困難になった場合、すぐに入れる施設をつくって欲しい。 ◇ グループホームを多くつくって欲しい。 ◇ ケアハウスを建設して欲しい。 ◇ 特別養護老人ホームの増設と施設の充実、整備。 ◇ 介護保険の利用について相談できる場所がわからない。 ◇ 介護保険料の不正な使用が行われないう、厳しくチェックして欲しい。 ◇ 要介護認定制度の確立(充実)が必要。 ◇ ヘルパーの接し方、技能に均一さが欲しい。 ◇ 要介護の状態にしないための予防サービスにもっと力を入れて欲しい。

健康・運動	◇ 健康保持のための施策をして欲しい。 ◇ 健康管理を学校教育の中でも直接・間接に行っていく必要があると思う。 ◇ 高齢者用のスポーツ・運動施設が欲しい。 ◇ 高齢者に対する運動指導をもっと充実させて欲しい。 ◇ 気軽に参加出来る健康増進に必要な身体を動かす場、方法がわからない。 ◇ 健康の保持、増進や外出を促進し、健康の保持・増進、仲間づくりを助けるための生涯学習・スポーツなど施策を考えて欲しい。 ◇ 元気なシニアボランティアを使うことが介護予防になると思う。
保健福祉サービス	◇ 通院のための送迎を行って欲しい。 ◇ ひとり暮らしの人には週に何日かの巡回をして欲しい。 ◇ ひとり住まいで65歳以上の人への家庭訪問の回数を増やして欲しい。 ◇ 健康や保健福祉に関する情報を、何らかの方法で知らせてもらいたい。 ◇ 在宅支援サービス充実（質の向上）を希望。 ◇ 在宅支援サービスについて知りたい。 ◇ 家事援助をして欲しい。 ◇ 保健福祉施策の情報は見落す場合があるため、練馬区広報に一度ではなく二度載せて欲しい。 ◇ 体の変調にすばやく対応できるよう、家族、近所の人等に救急車を呼ぶまでの患者への対応の仕方等を指導する機会を作ってもらいたい。 ◇ 福祉サービスの迅速かつ柔軟な適用について配慮してもらいたい。
行政全般	◇ 高齢者保健福祉施策について、区報に載せて欲しい。 ◇ 現在、区が実施している施策の一覧表を作って欲しい。 ◇ 介護保険制度について小冊子等を作成して各家庭に配布して欲しい。 ◇ 若い世代に保健福祉に関心を持てるような取り組みを希望。 ◇ 色々なことについて相談できる場所が区内、家の近くに欲しい。 ◇ 出来るだけわかりやすい言葉で色々な事を教えて欲しい。 ◇ 高齢者福祉について知らない人によく知ってもらえるように知恵を絞ってもらいたい。
まちづくり	◇ 緑の多い公園等を整備して欲しい。 ◇ 駅にエレベーター、エスカレーターを設置して欲しい。 ◇ 高齢者が安心して暮らせるようにして欲しい。 ◇ 歩道を整備して欲しい。 ◇ バスの本数を増やして欲しい。
その他	◇ ひとり暮らしなので急に倒れたときの通知の仕方等が心配。 ◇ 年金で介護してもらえるような制度にして欲しい。介護保険などだけで介護してもらえるのかどうか心配。 ◇ 高齢者にやさしい練馬区であって欲しい。 ◇ ボランティア（道路や落ち葉の清掃など）として役に立ちたい。区としてボランティアを募ってはどうか。 ◇ ボランティアを点数化して、助け合う仕組みをつくってはどうか。 ◇ 区民一人ひとりが協力して助け合っていくべきだ。 ◇ 健康の維持は自分たちの責任だ。

Ⅱ 調査結果

2 介護保険サービス利用者調査

2 介護保険サービス利用者調査（介護サービス利用者調査）

<調査結果の概要>

《回答者（介護保険サービス利用者調査）について》

- ◆ 回答があったサービス利用者は男性が 31.4%、女性が 60.3%。年齢は前期高齢者（65～74 歳）が 21.9%、後期高齢者（75 歳以上）が 75.9%である。【問 2 P.73】
- ◆ 世帯構成は単身世帯が 21.5%、夫婦のみの世帯が 26.9%で、一人暮らしの主な不安は「健康面」（63.7%）と「防犯・防災」（41.7%）である。【問 4 P.74・問 4-1 P.75】
- ◆ 要介護度は要支援が 12.1%、要介護 1 が 25.9%で、両者で 38.0%を占める。要介護状態になった主なきっかけは「ひざや腰等の関節の痛み」（22.9%）を主とする老化現象が 48.5%で、「脳血管疾患」（16.7%）を主とする生活習慣病が 33.7%である。特に要支援（58.1%）、要介護 1（55.9%）で老化現象の割合が高い。【問 7 P.79・問 8 P.80】

《外出とつきあいについて》

- ◆ 「1日中家の中で過ごすことが多い」人が 82.5%を占め、同居者以外と話す頻度が「ほとんどない」人が 15.7%いる。【問 25 P.97・問 27 P.98】

《介護保険について》

- ◆ 要介護認定の主な申請理由は、「身の回りの行為が負担になってきたから」（34.1%）、「家事・調理、洗濯、掃除等が負担になってきたから」（33.0%）、「医師、看護師から勧められた」（24.1%）である。【問 15 P.86】
- ◆ 「特別養護老人ホーム」へ 14.3%、「老人保健施設」へ 4.1%、「療養病床」へ 0.9%が入所（入院）申し込みをしている。申し込み理由は、要支援および要介護 1、2 は家族の介護力が不十分なことがあげられ、要介護 3～5 は介護者の身体的および精神的な負担感が主なものである。【問 16 P.87・問 16-1 P.88】
- ◆ 介護保険料を「負担とを感じる」と「多少負担とを感じる」をあわせて 46.3%で、サービス利用料は「負担とを感じる」「多少負担とを感じる」があわせて 33.7%である。【問 31 P.104・問 37 P.111】
- ◆ 介護保険の相談・苦情先は「ケアマネジャー」（63.2%）で、介護保険制度・サービス事業者に関する情報の入手先も「ケアマネジャー」（64.3%）が主である。【問 33 P.107・問 35 P.109】

《介護者・介護の状況について》

- ◆ 対象者のうち 71.0%に家族介護者があり、主な家族介護者は女性が 64.6%を占め、年齢は 60 歳以上が 61.0%である。【問 43 P.118・問 43-2 P.119】
- ◆ 介護保険サービスの利用により介護者としては、「介護者自身もリフレッシュでき、ありがたい」（51.1%）、「本人がうれしそうにしており、満足である」（39.3%）、「介護者の方がサービスを増やしたいと感じるときがある」（27.9%）と考えている。【問 46 P.122】
- ◆ 介護をして困ったことや負担に感じたことは、自分の用事をすませることができない、自由な時間をもてない、先の見通しが立たないなどの時間管理に関することと、介護による身体的、精神的な負担感があげられている。【問 49 P.125・問 50 P.126】
- ◆ 介護についての主な相談先は「家族・親戚」（40.6%）、「ケアマネジャー」（37.7%）である。【問 53 P.130】

＜調査結果から得られた主な課題＞

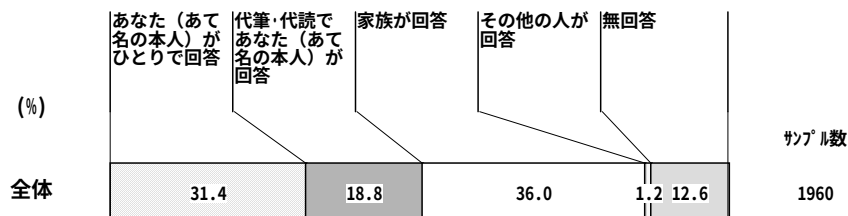
- ◇ 要介護状態の原因として「ひざや腰などの関節の痛み」「骨粗しょう症、骨折」の割合が高く、これら年齢とともにあらわれる老化予防が課題である。
- ◇ 外出する頻度が低く、また同居者以外と話す頻度が低い「ひきこもり」気味の回答者の割合が高く、外出する機会を増やすなどの対策が課題である。
- ◇ 要介護3～5の回答者のうち介護保険施設への入所（入院）申し込み理由としては、介護者の身体的・精神的負担感をあげる割合が高いため、今後も在宅での生活を継続するためには介護者の負担を軽減する支援が課題である。
- ◇ 介護保険に関する相談・苦情先、情報の入手先ともにケアマネジャーの役割が大きく、ケアマネジャーへの支援策を充実するとともに、情報提供、情報の把握の工夫が望まれる。

(1) 回答者について

① 調査票の回答者 (問1)

問1 この調査票を回答される方を教えてください。(○は1つ)

調査票の回答者は、「あなたがひとりで回答」は31.4%にとどまり、「代筆・代読であなたが回答」が18.8%、「家族が回答」が36.0%となっている。

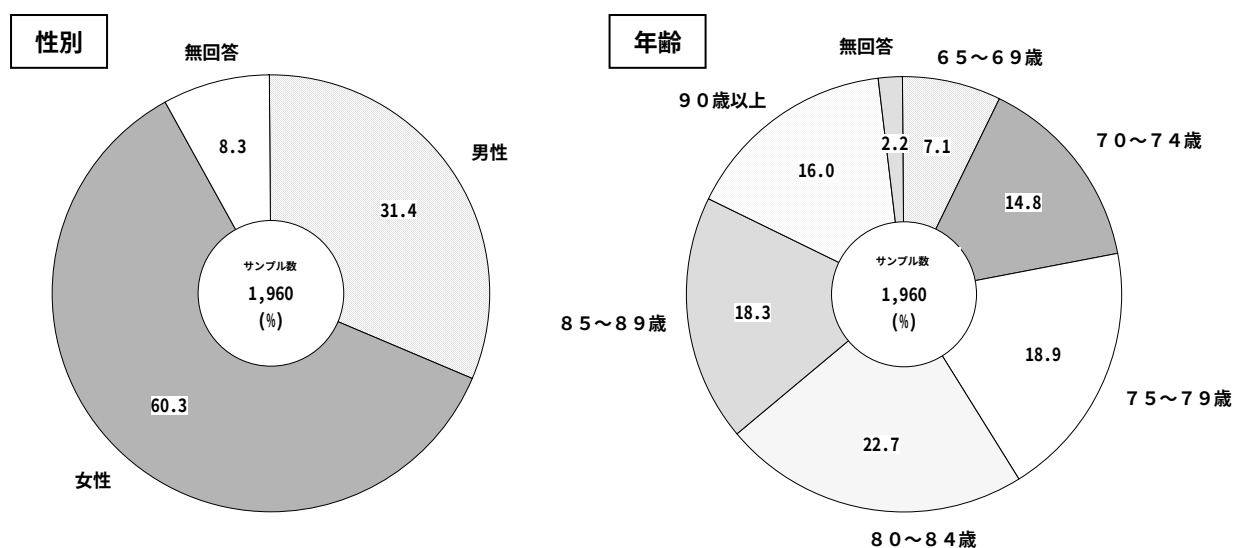


② 性別・年齢 (問2)

問2 あなた（あて名のご本人）の性別と、平成16年11月1日現在の満年齢はいくつですか。(○はそれぞれ1つずつ)

調査回答者の性別は「男性」が31.4%、「女性」が60.3%である。

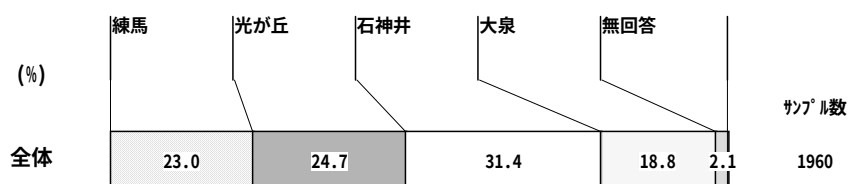
サービス利用者の年齢は、前期高齢者（65～74歳）が21.9%で、後期高齢者（75歳以上）が75.9%である。



③ 居住地区 (問3)

問3 あなた（あて名のご本人）のお住まいはどちらですか。また何丁目かもお答えください。(○は1つずつ)

調査回答者の居住地区は、「石神井地区」が31.4%で最も高く、次いで「光が丘地区」(24.7%)、「練馬地区」(23.0%)、「大泉地区」(18.8%)の順になっている。



④世帯構成（問4）

問4 あなた（あて名のご本人）の現在の世帯構成を次の中からお答えください。（○は1つ）

現在の世帯構成は、「単身世帯」が21.5%、「夫婦のみの世帯」が26.9%であり、この両方で48.4%を占める。

＜年齢別の傾向＞

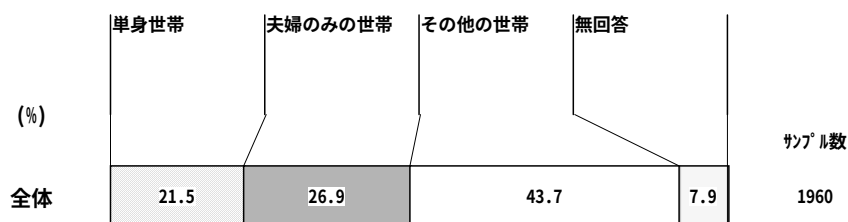
前期高齢者では「夫婦のみの世帯」が41.5%で最も高く、後期高齢者では「その他の世帯」が47.8%で最も高い。「単身世帯」は前期・後期高齢者で違いはみられない。

＜居住地区別の傾向＞

練馬地区では「夫婦のみの世帯」よりも「単身世帯」の割合が上回っている。

＜要介護度別の傾向＞

要支援および要介護1では「単身世帯」の割合が高く、それぞれ35.7%と33.7%となっている。要介護2以上では「単身世帯」の割合は低くなり、「その他の世帯」の割合が高くなっている。



＜年齢別・居住地区別・要介護度別の比較＞

	全体	単身世帯	夫婦のみの世帯	その他の世帯	無回答
全体	1960	422	527	856	155
	100.0	21.5	26.9	43.7	7.9
年齢別					
前期高齢者 (65歳～74歳)	429	93	178	136	22
	100.0	21.7	41.5	31.7	5.1
後期高齢者 (75歳以上)	1488	322	343	712	111
	100.0	21.6	23.1	47.8	7.5
居住地区別					
練馬	450	121	104	190	35
	100.0	26.9	23.1	42.2	7.8
光が丘	485	93	132	231	29
	100.0	19.2	27.2	47.6	6.0
石神井	616	133	188	255	40
	100.0	21.6	30.5	41.4	6.5
大泉	368	68	98	171	31
	100.0	18.5	26.6	46.5	8.4
要介護度別					
要支援	238	85	69	67	17
	100.0	35.7	29.0	28.2	7.1
要介護1	508	171	130	173	34
	100.0	33.7	25.6	34.1	6.7
要介護2	234	40	78	101	15
	100.0	17.1	33.3	43.2	6.4
要介護3	382	51	96	204	31
	100.0	13.4	25.1	53.4	8.1
要介護4	267	23	74	152	18
	100.0	8.6	27.7	56.9	6.7
要介護5	228	21	57	139	11
	100.0	9.2	25.0	61.0	4.8

上段：実数
下段：%

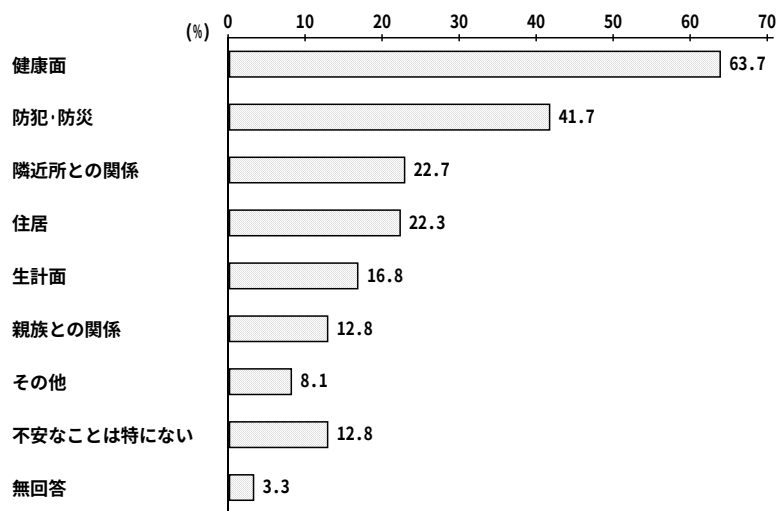
⑤ひとりぐらしの不安（問４－１、複数回答）

問４－１ 現在ひとりぐらしをされていて、不安なことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

ひとりぐらしで不安なことは、「健康面」を 63.7%があげている。次いで割合が高いのは「防犯・防災」の 41.7%である。

＜男女別の傾向＞

男女とも「健康面」をあげる割合が高いが、女性では「防犯・防災」が 47.6%と高くなっている。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	健康面	防犯・防災	隣近所との関係	住居	生計面	親族との関係	その他	は不安な特になこと	無回答
全体	422 100.0	269 63.7	176 41.7	96 22.7	94 22.3	71 16.8	54 12.8	34 8.1	54 12.8	14 3.3
男女別										
男性	81 100.0	50 61.7	23 28.4	22 27.2	13 16.0	9 11.1	16 19.8	5 6.2	17 21.0	1 1.2
女性	307 100.0	200 65.1	146 47.6	67 21.8	75 24.4	57 18.6	35 11.4	27 8.8	31 10.1	11 3.6
年齢別										
前期高齢者 (65歳～74歳)	93 100.0	67 72.0	44 47.3	29 31.2	29 31.2	23 24.7	15 16.1	10 10.8	6 6.5	1 1.1
後期高齢者 (75歳以上)	322 100.0	199 61.8	132 41.0	65 20.2	65 20.2	47 14.6	39 12.1	24 7.5	45 14.0	12 3.7

上段：実数
下段：%

⑥65 歳未満の同居者の有無（問 4－2）

問4－2 あなた（あて名のご本人）の世帯には 65 歳未満の方はいらっしゃいますか。（○は1つ）

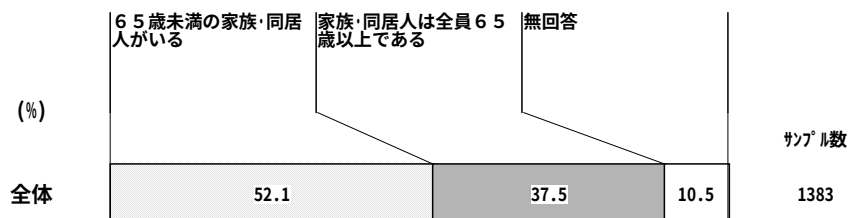
2 人以上世帯の同居者の状況を見ると、「65 歳未満の家族・同居人がいる」のは 52.1%で、37.5%は「家族・同居人は全員 65 歳以上である」。

＜年齢別の傾向＞

前期高齢者よりも後期高齢者のほうが「65 歳未満の家族・同居人がいる」割合が 53.6%で高い。

＜要介護度別の傾向＞

要介護度が重いほど「65 歳未満の家族・同居人がいる」割合が高い。



＜年齢別・要介護度別の比較＞

	全体	65歳未満 の家族・同 居人がいる	家族・同居 人は、全員 65歳以上 である	無回答
全体	1383 100.0	720 52.1	518 37.5	145 10.5
年齢別				
前期高齢者 (65歳～74歳)	314 100.0	150 47.8	147 46.8	17 5.4
後期高齢者 (75歳以上)	1055 100.0	566 53.6	365 34.6	124 11.8
要介護度別				
要支援	136 100.0	59 43.4	59 43.4	18 13.2
要介護1	303 100.0	150 49.5	127 41.9	26 8.6
要介護2	179 100.0	91 50.8	71 39.7	17 9.5
要介護3	300 100.0	160 53.3	108 36.0	32 10.7
要介護4	226 100.0	132 58.4	71 31.4	23 10.2
要介護5	196 100.0	117 59.7	67 34.2	12 6.1

上段：実数
下段：%

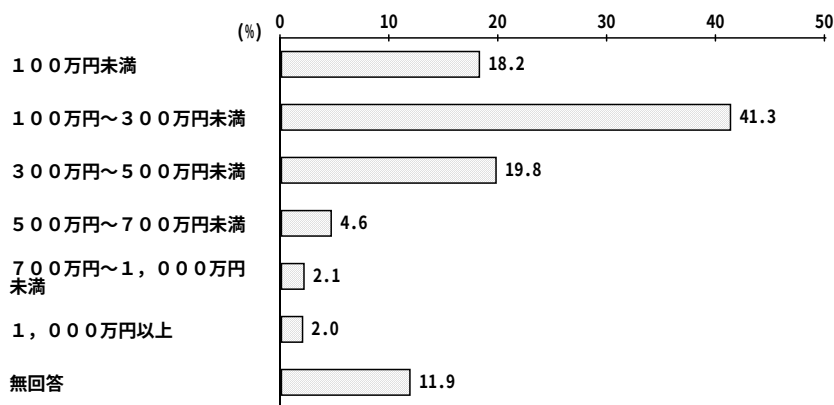
⑦本人と配偶者の税込み年収（問5）

問5 あなた（あて名のご本人）と配偶者の税込みの年収（年金を含む）の合計は、年間どの位ですか。（○は1つ）

本人と配偶者の税込み年収は、300万円未満が59.5%で、300万円以上（28.5%）より割合が高い。

＜要介護度別の傾向＞

300万円未満の割合は要支援では55.1%であるが、要介護1以上では60%を超えている。



＜要介護度別の比較＞

	全体	100万円未満	100万円～300万円未満	300万円～500万円未満	500万円～700万円未満	700万円～1,000万円未満	1,000万円以上	無回答
全体	1960	357	809	389	90	42	40	233
	100.0	18.2	41.3	19.8	4.6	2.1	2.0	11.9
要介護度別								
要支援	238	29	102	57	13	5	3	29
	100.0	12.2	42.9	23.9	5.5	2.1	1.3	12.2
要介護1	508	89	220	100	18	12	13	56
	100.0	17.5	43.3	19.7	3.5	2.4	2.6	11.0
要介護2	234	46	99	47	15	6	2	19
	100.0	19.7	42.3	20.1	6.4	2.6	0.9	8.1
要介護3	382	76	155	79	15	8	8	41
	100.0	19.9	40.6	20.7	3.9	2.1	2.1	10.7
要介護4	267	55	108	61	14	5	7	17
	100.0	20.6	40.4	22.8	5.2	1.9	2.6	6.4
要介護5	228	49	97	41	14	5	6	16
	100.0	21.5	42.5	18.0	6.1	2.2	2.6	7.0

上段：実数
下段：%

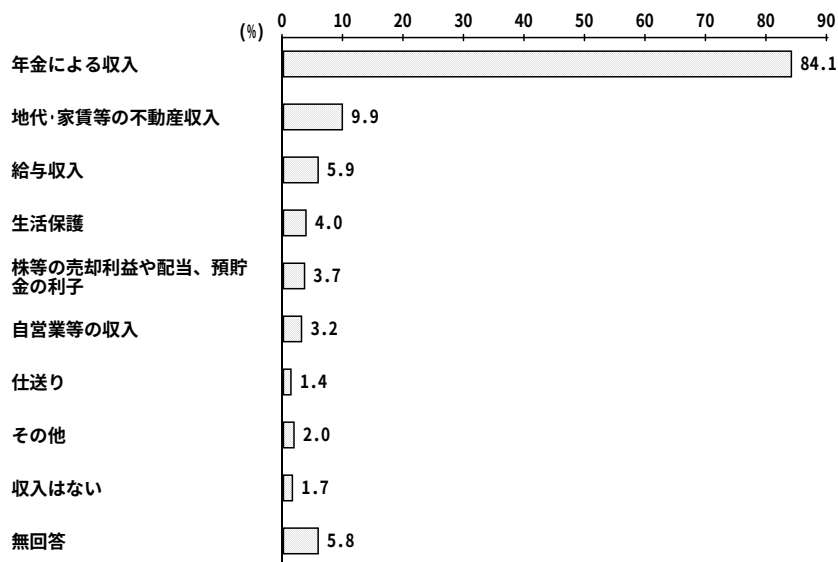
⑧本人と配偶者の収入源（問6、複数回答）

問6 あなた（あて名のご本人）と配偶者の収入源についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

本人と配偶者の収入源をみると、「年金による収入」をあげる割合が84.1%で最も高い。

＜要介護度別の傾向＞

全体の傾向と大きな違いはみられない。



＜要介護度別の比較＞

	全体	年金による収入	地代・家賃等の不動産収入	給与収入	生活保護	株等の売却利益や配当、預貯金の利子	自営業等の収入	仕送り	その他	収入はない	無回答
全体	1960 100.0	1649 84.1	195 9.9	116 5.9	78 4.0	73 3.7	62 3.2	27 1.4	39 2.0	33 1.7	113 5.8
要介護度別											
要支援	238 100.0	202 84.9	24 10.1	11 4.6	10 4.2	7 2.9	5 2.1	1 0.4	4 1.7	4 1.7	13 5.5
要介護1	508 100.0	432 85.0	44 8.7	26 5.1	26 5.1	25 4.9	13 2.6	9 1.8	12 2.4	7 1.4	26 5.1
要介護2	234 100.0	206 88.0	25 10.7	10 4.3	12 5.1	9 3.8	9 3.8	5 2.1	3 1.3	2 0.9	5 2.1
要介護3	382 100.0	321 84.0	38 9.9	24 6.3	13 3.4	15 3.9	18 4.7	5 1.3	6 1.6	8 2.1	14 3.7
要介護4	267 100.0	234 87.6	27 10.1	23 8.6	4 1.5	6 2.2	8 3.0	4 1.5	8 3.0	4 1.5	9 3.4
要介護5	228 100.0	202 88.6	28 12.3	14 6.1	8 3.5	9 3.9	9 3.9	3 1.3	5 2.2	7 3.1	5 2.2

上段：実数
下段：%

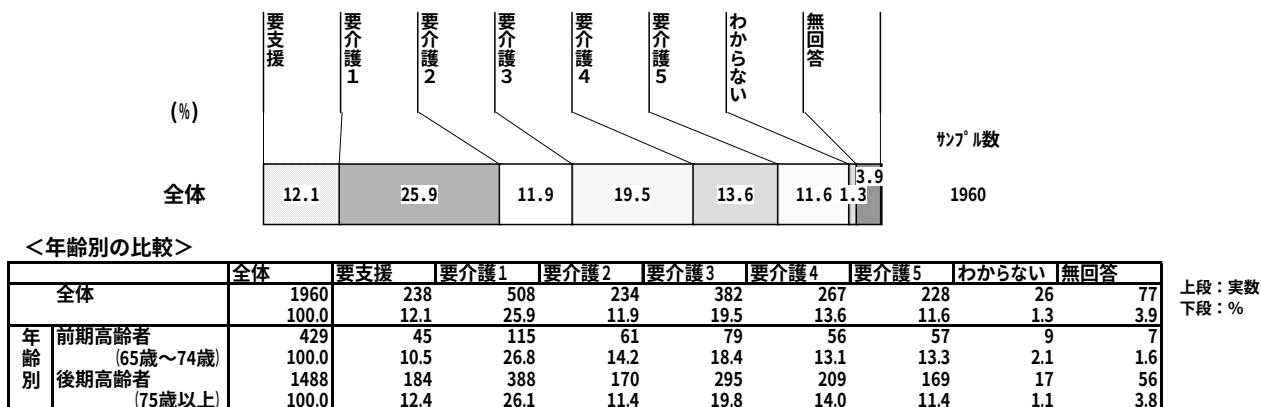
⑨要介護度（問7）

問7 あなた（あて名のご本人）の現在の要介護度は次のうち、どれですか。（○は1つ）

現在の要介護度は、「要支援」が12.1%、「要介護1」が25.9%で、要支援および要介護1で38.0%を占める。「要介護2」は11.9%、「要介護3」は19.5%、「要介護4」は13.6%、「要介護5」は11.6%である。

＜年齢別の傾向＞

全体の傾向と大きな違いはみられない。



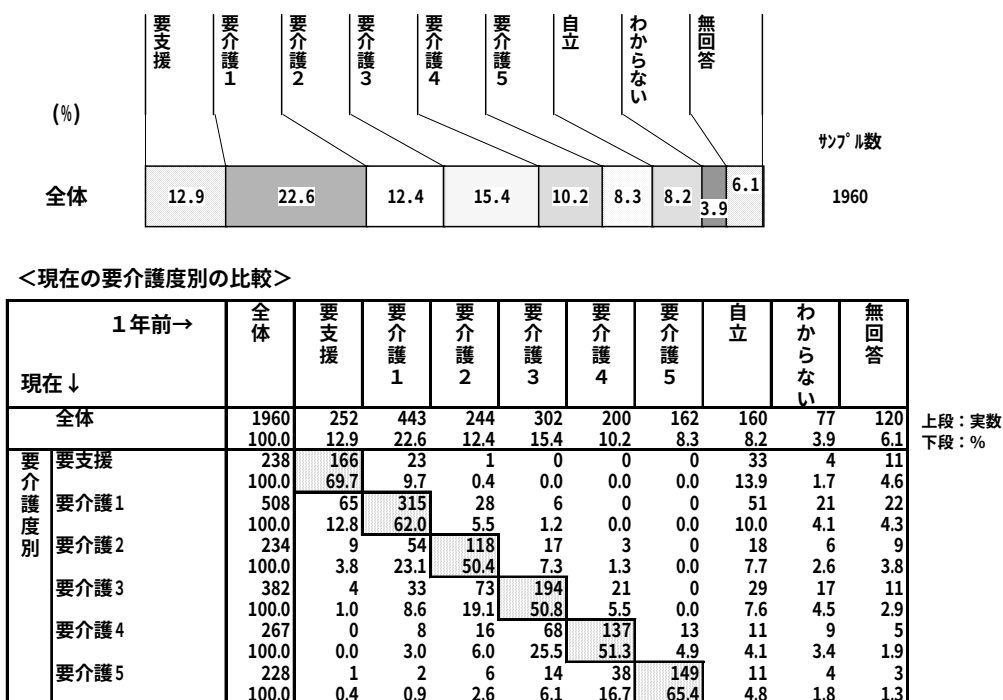
⑩1年前の要介護度（問7-1）

問7-1 1年前（平成15年11月ごろ）の要介護度は次のうち、どれですか。（○は1つ）

1年前の要介護度は、「要支援」が12.9%、「要介護1」が22.6%で、要支援および要介護1で35.5%を占める。「自立」は8.2%である。

＜現在の要介護度別の傾向＞

現在の要介護度と比較すると、1年前と現在が同じ要介護度の人は、要支援から要介護5で55.1%である。1年前より要介護度が重くなった割合は、要支援は13.9%（1年前は自立）、要介護1は22.8%（1年前は自立、要支援）、要介護2は34.6%（1年前は自立～要介護1）、要介護3は36.3%（1年前は自立～要介護2）、要介護4は38.6%（1年前は自立～要介護3）、要介護5は31.5%（1年前は自立～要介護4）である。



*アミカケは1年前と現在の要介護度が同じサンプル数と割合を表す。

⑪要介護状態になった主なきっかけ（問8）

問8 あなた（あて名のご本人）が要介護状態になった主なきっかけは何ですか。（○は1つ）

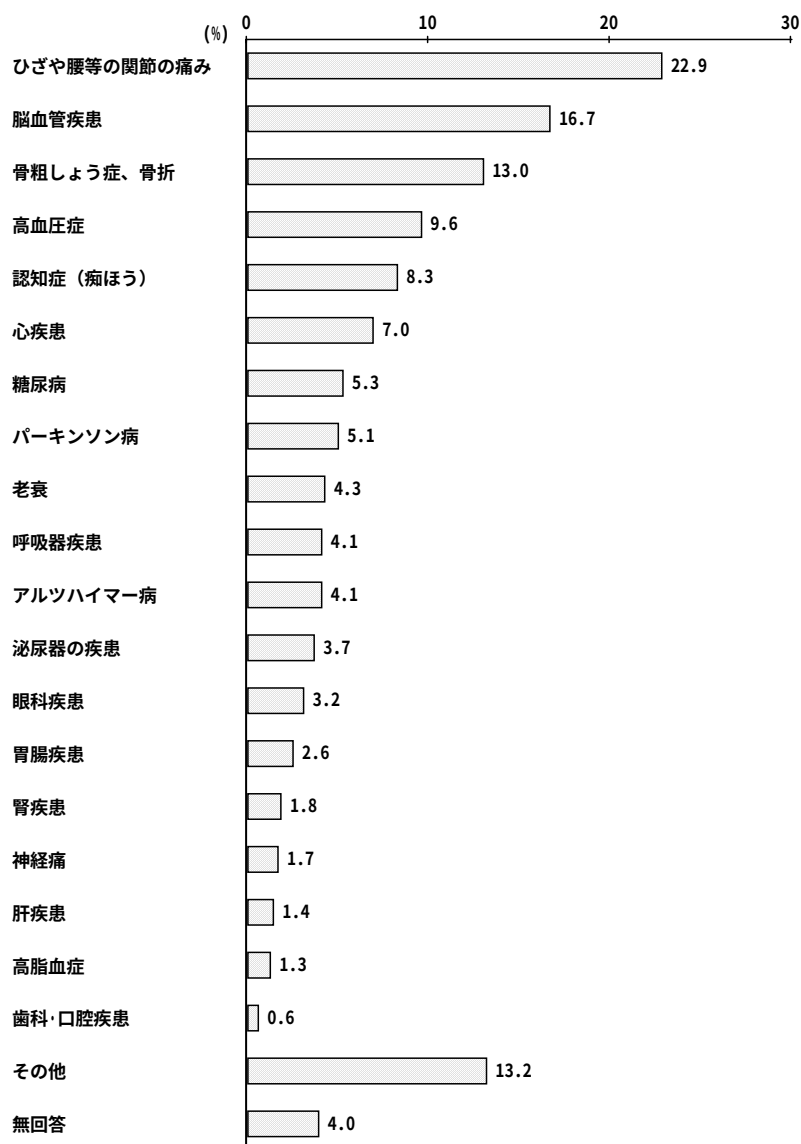
要介護状態になった主なきっかけは「ひざや腰等の関節の痛み」が22.9%で最も高く、次いで「脳血管疾患」(16.7%)、「骨粗しょう症、骨折」(13.0%)となっている。

老化現象と生活習慣病という区分でみると、「ひざや腰等の関節の痛み」「骨粗しょう症、骨折」などの老化現象が48.5%と高く、「脳血管疾患」「高血圧」などの生活習慣病が33.7%となっている。

＜要介護度別の傾向＞

要支援および要介護1では「ひざや腰等の関節の痛み」が主なきっかけであるが、要介護2より重度ではその割合が低下し、かわって「脳血管疾患」の割合が高く、また「認知症（痴ほう）」の割合も高くなっている。

要支援（58.1%）と要介護1（55.9%）では、老化現象の割合が高くなっている。



上段：実数
下段：%

＜要介護度別の比較＞

	全体	ひざや腰等の痛み等の	脳血管疾患	骨粗しょう症、骨折	高血圧	認知症（痴ほう）	心疾患	糖尿病	パーキンソン病	老衰	呼吸器疾患	アルツハイマー病	泌尿器の疾患	眼科疾患	胃腸疾患	腎疾患	神経痛	肝疾患	高脂血症	患部・口腔疾患	その他	無回答
全体	1960	449	328	255	188	162	137	103	99	84	81	81	72	62	50	36	33	28	26	12	259	78
	100.0	22.9	16.7	13.0	9.6	8.3	7.0	5.3	5.1	4.3	4.1	4.1	3.7	3.2	2.6	1.8	1.7	1.4	1.3	0.6	13.2	4.0
要支援	238	92	14	38	27	0	21	11	6	8	12	1	7	5	9	5	7	4	5	2	32	18
	100.0	38.7	5.9	16.0	11.3	0.0	8.8	4.6	2.5	3.4	5.0	0.4	2.9	2.1	3.8	2.1	2.9	1.7	2.1	0.8	13.4	7.6
要介護1	508	180	54	73	76	16	45	37	12	15	23	12	18	23	19	12	17	14	14	5	81	10
	100.0	35.4	10.6	14.4	15.0	3.1	8.9	7.3	2.4	3.0	4.5	2.4	3.5	4.5	3.7	2.4	3.3	2.8	2.8	1.0	15.9	2.0
要介護2	234	48	42	32	24	22	26	13	14	9	13	8	14	8	6	4	5	2	1	2	30	5
	100.0	20.5	17.9	13.7	10.3	9.4	11.1	5.6	6.0	3.8	5.6	3.4	6.0	3.4	2.6	1.7	2.1	0.9	0.4	0.9	12.8	2.1
要介護3	382	53	71	45	21	61	27	19	27	19	14	24	17	8	11	7	2	2	3	1	44	4
	100.0	13.9	18.6	11.8	5.5	16.0	7.1	5.0	7.1	5.0	3.7	6.3	4.5	2.1	2.9	1.8	0.5	0.5	0.8	0.3	11.5	1.0
要介護4	267	34	66	33	18	33	8	11	19	16	9	20	9	4	1	5	0	2	0	0	38	5
	100.0	12.7	24.7	12.4	6.7	12.4	3.0	4.1	7.1	6.0	3.4	7.5	3.4	1.5	0.4	1.9	0.0	0.7	0.0	0.0	14.2	1.9
要介護5	228	18	74	23	16	28	2	9	18	13	6	16	5	6	3	3	1	2	2	1	27	5
	100.0	7.9	32.5	10.1	7.0	12.3	0.9	3.9	7.9	5.7	2.6	7.0	2.2	2.6	1.3	1.3	0.4	0.9	0.9	0.4	11.8	2.2

(2) 住居について

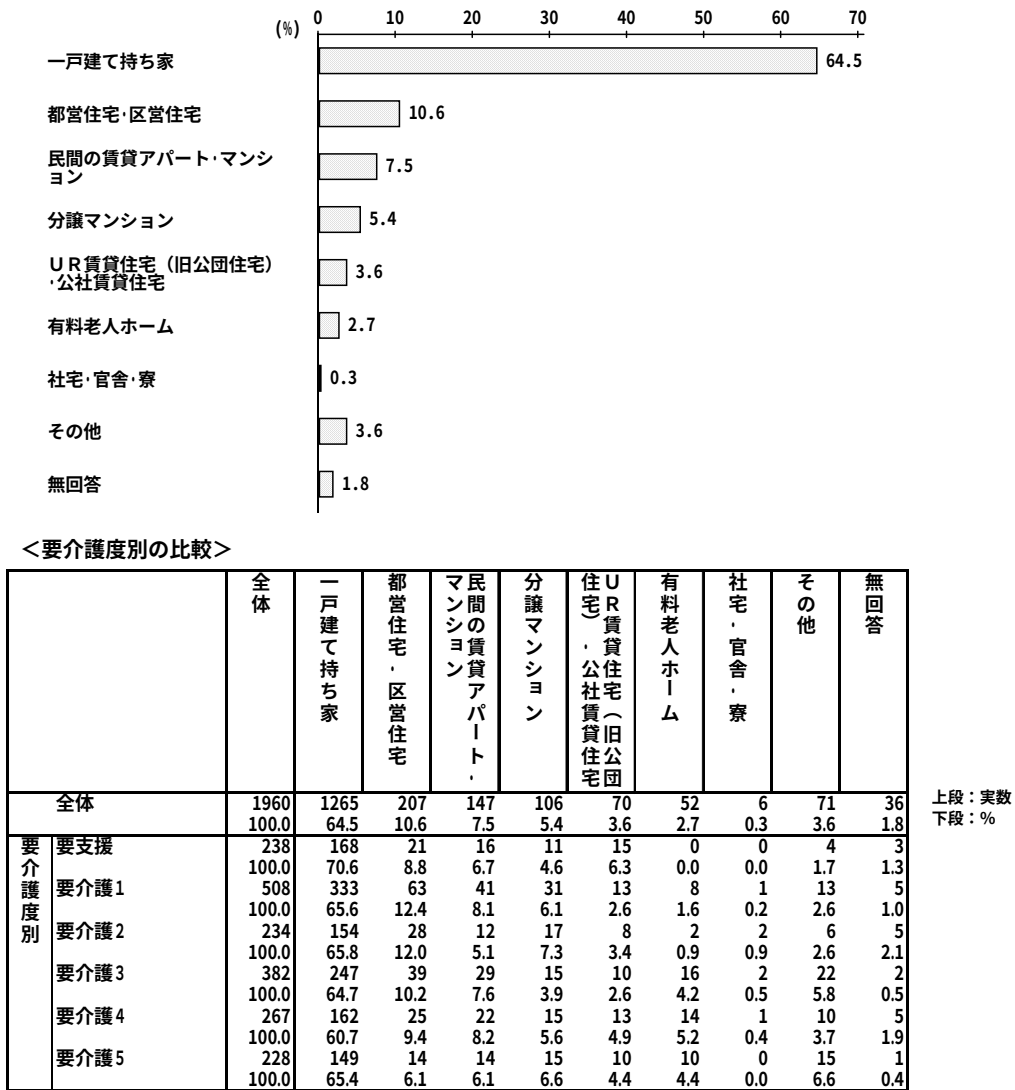
① 住居形態（問 9）

問 9 あなた（あて名のご本人）のお住まいは、次のうちのどれにあてはまりますか。（○は1つ）

「一戸建ての持ち家」の割合が 64.5%で最も高く、「分譲マンション」（5.4%）をあわせた『持ち家率』は 69.9%である。

＜要介護度別の傾向＞

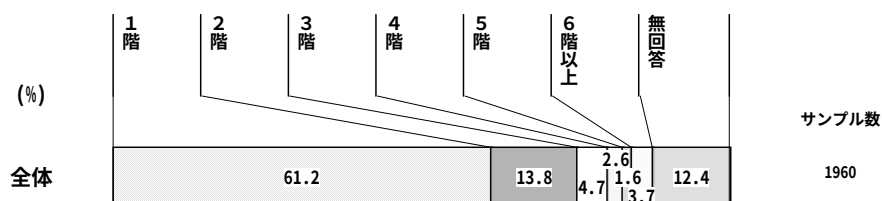
全体の傾向と大きな違いはみられない。



② 主な居住階（問 10）

問 10 あなた（あて名のご本人）は現在、主として住居（アパート、マンション等も含む）の何階で生活していますか。

主に生活している居住階は、「1 階」が 61.2%、「2 階」が 13.8%である。



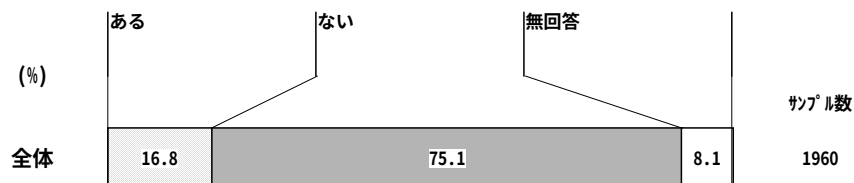
③住居のエレベーターの有無（問 11）

問 11 あなた（あて名のご本人）の現在のお住まいにはエレベーターはありますか。（○は1つ）

住居にエレベーターが「ある」が 16.8%、「ない」が 75.1%である。

＜＜居住階別の傾向＞＞

エレベーターのある割合は、3階居住では 56.5%、4階居住では 78.0%、5階居住では 83.9%、6階以上居住では 95.8%となっている。



＜居住階別の比較＞

		全体	ある	ない	無回答	上段：実数 下段：%
全体		1960	329	1472	159	
		100.0	16.8	75.1	8.1	
居住階別	1階	1200	58	1114	28	
		100.0	4.8	92.8	2.3	
	2階	271	79	192	0	
		100.0	29.2	70.8	0.0	
	3階	92	52	39	1	
		100.0	56.5	42.4	1.1	
	4階	50	39	11	0	
		100.0	78.0	22.0	0.0	
5階		31	26	5	0	
		100.0	83.9	16.1	0.0	
	6階以上	72	69	2	1	
		100.0	95.8	2.8	1.4	

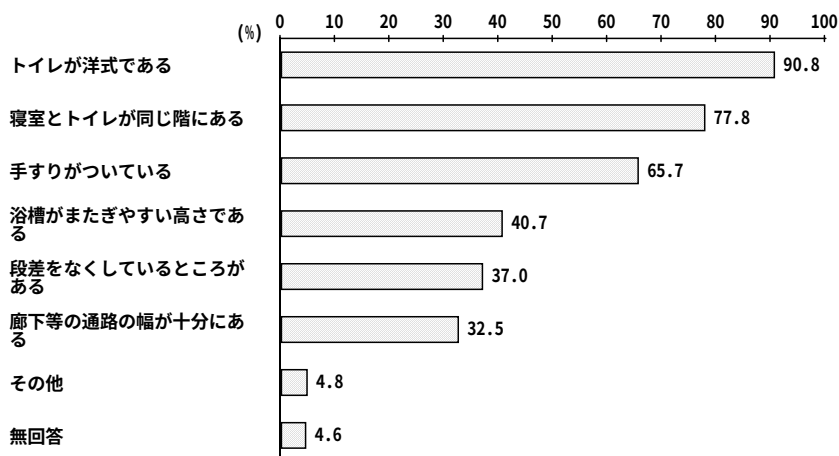
④住居の工夫（問 12、複数回答）

問 12 あなた（あて名のご本人）のお住まいは、現在次のような工夫をしていますか。（あてはまるものすべてに○）

住居で工夫している主な点は、「トイレが洋式である」（90.8%）、「寝室とトイレが同じ階にある」（77.8%）、「手すりがついている」（65.7%）である。

＜要介護度別の傾向＞

全体的に要支援および要介護1～3で工夫している割合が高い。特に「浴槽がまたぎやすい高さである」は要介護度が軽いほど工夫している割合が高い。



＜要介護度別の比較＞

	全体	トイレが洋式である	寝室とトイレが同じ階にある	手すりがついている	浴槽がまたぎやすい高さである	段差をなくしているところがある	廊下等の通路の幅が十分にある	その他	無回答
全体	1960 100.0	1779 90.8	1525 77.8	1288 65.7	797 40.7	726 37.0	637 32.5	94 4.8	90 4.6
要介護度別									
要支援	238 100.0	226 95.0	181 76.1	168 70.6	113 47.5	86 36.1	70 29.4	11 4.6	3 1.3
要介護1	508 100.0	478 94.1	413 81.3	342 67.3	242 47.6	167 32.9	168 33.1	18 3.5	15 3.0
要介護2	234 100.0	217 92.7	185 79.1	166 70.9	101 43.2	86 36.8	90 38.5	11 4.7	8 3.4
要介護3	382 100.0	353 92.4	307 80.4	261 68.3	151 39.5	158 41.4	137 35.9	21 5.5	14 3.7
要介護4	267 100.0	230 86.1	199 74.5	174 65.2	92 34.5	108 40.4	77 28.8	10 3.7	23 8.6
要介護5	228 100.0	195 85.5	175 76.8	131 57.5	61 26.8	101 44.3	64 28.1	21 9.2	11 4.8

上段：実数
下段：%

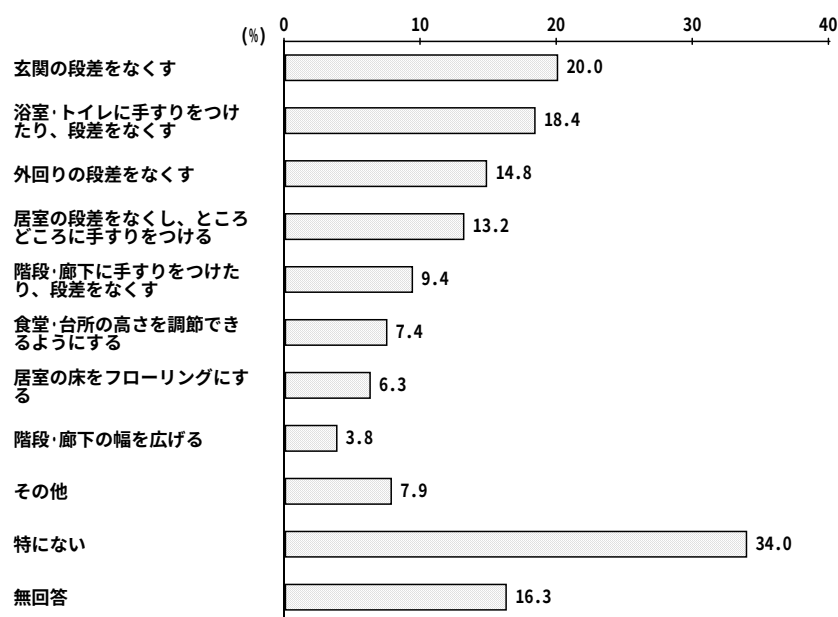
⑤住居の改修希望場所（問 13、複数回答）

問 13 今後、あなた（あて名のご本人）のお住まいのなかで、改修をしたいところがありますか。（あてはまるものすべてに○）

住居の改修希望場所については、「特にない」が34.0%で最も高い。次いで「玄関の段差をなくす」（20.0%）、「浴室・トイレに手すりをつけたり段差をなくす」（18.4%）、「外回りの段差をなくす」（14.8%）、「居室の段差をなくし、ところどころに手すりをつける」（13.2%）の順になっている。

＜要介護度別の傾向＞

要介護度が重くなるほど「玄関の段差をなくす」の改修を希望する割合が高くなっている。



＜要介護度別の比較＞

	全体	玄関の段差をなくす	浴室・トイレに手すりをつけたり、段差をなくす	外回りの段差をなくす	居室の段差をなくし、ところどころに手すりをつける	階段・廊下に手すりをつけたり、段差をなくす	食堂・台所の高さを調節できるようにする	居室の床をフローリングにする	階段・廊下の幅を広げる	その他	特にない	無回答
全体	1960	392	361	291	258	184	146	123	75	154	666	319
	100.0	20.0	18.4	14.8	13.2	9.4	7.4	6.3	3.8	7.9	34.0	16.3
要介護度別												
要支援	238	37	37	31	26	14	20	19	7	12	85	43
	100.0	15.5	15.5	13.0	10.9	5.9	8.4	8.0	2.9	5.0	35.7	18.1
要介護1	508	88	99	84	79	56	35	25	20	33	168	81
	100.0	17.3	19.5	16.5	15.6	11.0	6.9	4.9	3.9	6.5	33.1	15.9
要介護2	234	47	40	35	25	28	19	15	8	20	77	42
	100.0	20.1	17.1	15.0	10.7	12.0	8.1	6.4	3.4	8.5	32.9	17.9
要介護3	382	85	82	58	63	38	28	32	11	38	114	54
	100.0	22.3	21.5	15.2	16.5	9.9	7.3	8.4	2.9	9.9	29.8	14.1
要介護4	267	70	55	47	35	24	23	21	12	26	83	35
	100.0	26.2	20.6	17.6	13.1	9.0	8.6	7.9	4.5	9.7	31.1	13.1
要介護5	228	57	35	32	25	22	18	9	16	21	102	23
	100.0	25.0	15.4	14.0	11.0	9.6	7.9	3.9	7.0	9.2	44.7	10.1

上段：実数
下段：%

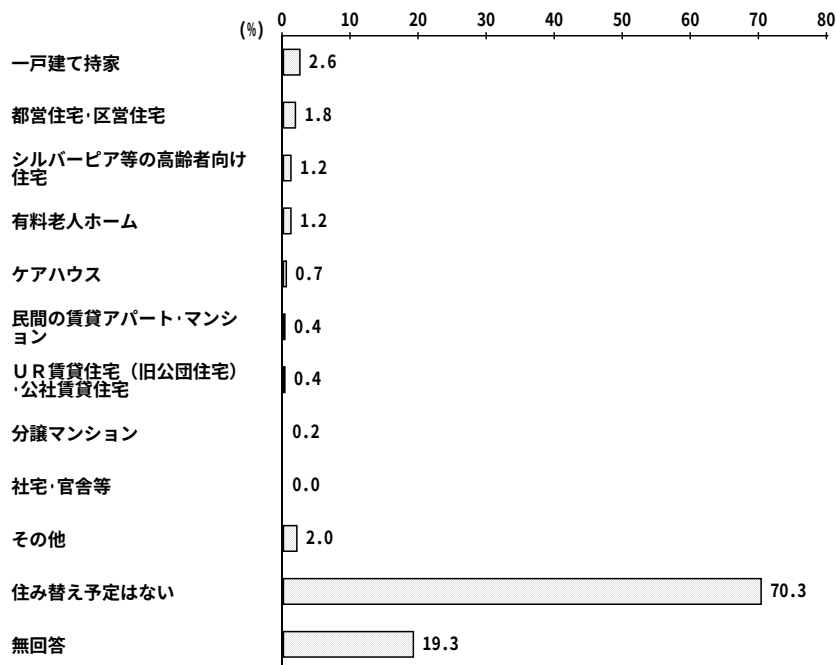
⑥ 住み替え予定の住宅（問 14）

問 14 あなた（あて名のご本人）は、近いうちに住み替えを予定されていますか。次のうち、あてはまる住宅を選んでください。（○は1つ）

近い将来の住み替え予定については「住み替え予定はない」が70.3%を占める。

＜要介護度別の傾向＞

要介護度が重いほど「住み替え予定はない」割合が高くなっている。



＜要介護度別の比較＞

	全体	一戸建て持家	都営住宅・区営住宅	シルバーピア等の高齢者向け住宅	有料老人ホーム	ケアハウス	民間の賃貸アパート・マンション	UR賃貸住宅（旧公団住宅）・公社賃貸住宅	分譲マンション	社宅・官舎等	その他	住み替え予定はない	無回答
全体	1960 100.0	51 2.6	36 1.8	24 1.2	23 1.2	13 0.7	7 0.4	7 0.4	4 0.2	0 0.0	40 2.0	1377 70.3	378 19.3
要介護度別													
要支援	238 100.0	12 5.0	5 2.1	2 0.8	2 0.8	3 1.3	2 0.8	0 0.0	1 0.4	0 0.0	3 1.3	154 64.7	54 22.7
要介護1	508 100.0	17 3.3	9 1.8	10 2.0	9 1.8	1 0.2	2 0.4	5 1.0	1 0.2	0 0.0	10 2.0	344 67.7	100 19.7
要介護2	234 100.0	2 0.9	3 1.3	4 1.7	2 0.9	2 0.9	1 0.4	0 0.0	1 0.4	0 0.0	5 2.1	163 69.7	51 21.8
要介護3	382 100.0	8 2.1	5 1.3	3 0.8	4 1.0	2 0.5	2 0.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9 2.4	284 74.3	65 17.0
要介護4	267 100.0	5 1.9	6 2.2	2 0.7	3 1.1	4 1.5	0 0.0	1 0.4	1 0.4	0 0.0	6 2.2	198 74.2	41 15.4
要介護5	228 100.0	3 1.3	6 2.6	0 0.0	2 0.9	1 0.4	0 0.0	1 0.4	0 0.0	0 0.0	7 3.1	179 78.5	29 12.7

上段：実数
下段：%

(3) 介護保険制度について

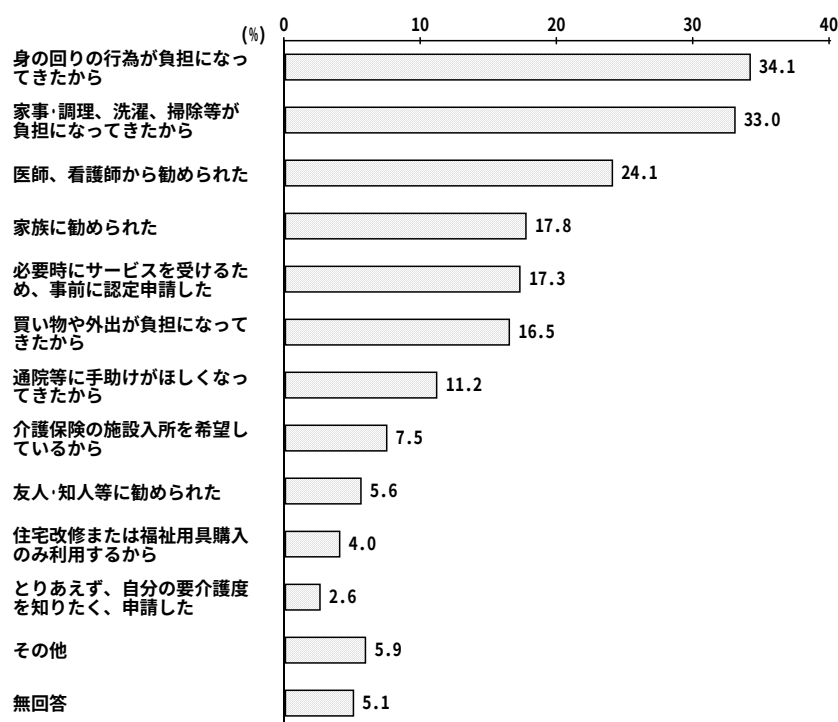
①要介護認定申請の理由（問 15、2つまで回答）

問 15 あなた（あて名のご本人）が、介護保険の要介護認定を申請した理由は何ですか。次のうち、あてはまるものに2つまで○をつけてください。（○は2つまで）

要介護認定の申請をした理由は、「身の回りの行為が負担になってきたから」（34.1%）と「家事・料理、洗濯、掃除等が負担になってきたから」（33.0%）が主なものである。次いで「医師、看護師から勧められた」（24.1%）、「家族に勧められた」（17.8%）、「必要時にサービスを受けるため事前に認定申請した」（17.3%）、「買い物や外出が負担になってきたから」（16.5%）があげられている。

＜要介護度別の傾向＞

要支援および要介護1、2では「家事・料理、洗濯、掃除等が負担になってきたから」をあげる割合が最も高い。要介護3～5では「身の回りの行為が負担になってきたから」が最も高くなっている。



＜要介護度別の比較＞

	全体	身の回りの行為が負担になってきたから	家事・調理、洗濯、掃除等が負担になってきたから	医師、看護師から勧められた	家族に勧められた	必要時にサービスを受けるため、事前に認定申請した	買い物や外出が負担になってきたから	通院等に手助けがほしくなったから	介護保険の施設入所を希望しているから	友人・知人等に勧められた	住宅改修または福祉用具購入のみ利用するから	度を取りあえず、自分の要介護度を知りたく、申請した	その他	無回答
全体	1960	669	647	472	348	339	323	219	147	110	79	51	116	99
	100.0	34.1	33.0	24.1	17.8	17.3	16.5	11.2	7.5	5.6	4.0	2.6	5.9	5.1
要支援	238	40	134	52	42	39	46	20	4	20	11	10	6	16
	100.0	16.8	56.3	21.8	17.6	16.4	19.3	8.4	1.7	8.4	4.6	4.2	2.5	6.7
要介護1	508	110	231	110	94	78	145	64	25	41	19	15	31	15
	100.0	21.7	45.5	21.7	18.5	15.4	28.5	12.6	4.9	8.1	3.7	3.0	6.1	3.0
要介護2	234	69	88	54	47	38	44	34	11	14	19	9	10	10
	100.0	29.5	37.6	23.1	20.1	16.2	18.8	14.5	4.7	6.0	8.1	3.8	4.3	4.3
要介護3	382	172	97	100	78	73	47	53	39	17	15	9	23	6
	100.0	45.0	25.4	26.2	20.4	19.1	12.3	13.9	10.2	4.5	3.9	2.4	6.0	1.6
要介護4	267	144	41	73	45	53	16	28	35	7	12	2	22	9
	100.0	53.9	15.4	27.3	16.9	19.9	6.0	10.5	13.1	2.6	4.5	0.7	8.2	3.4
要介護5	228	112	26	72	34	51	9	12	29	5	1	2	22	8
	100.0	49.1	11.4	31.6	14.9	22.4	3.9	5.3	12.7	2.2	0.4	0.9	9.6	3.5

上段：実数
下段：%

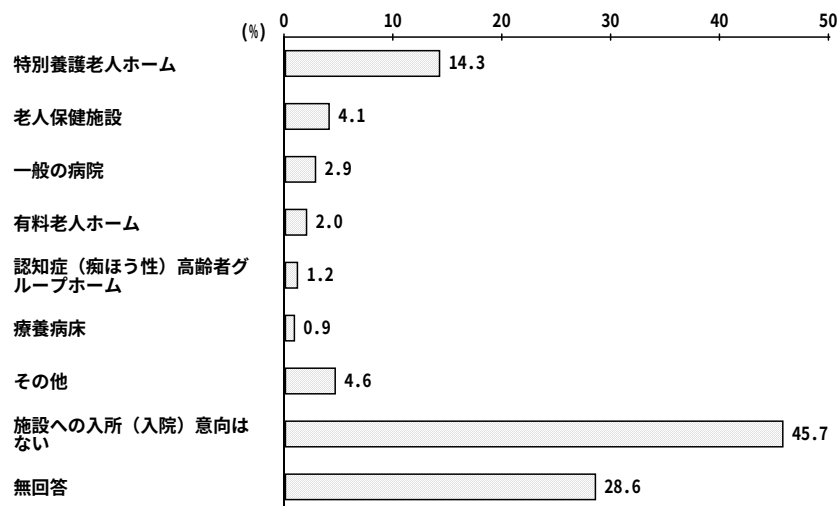
②入所（入院）申し込み状況（問 16、複数回答）

問 16 あなた（あて名のご本人）は、次の施設に入所（入院）申し込みをしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（あてはまるものすべてに○）

施設への入所（入院）の申し込み状況をみると、「施設への入所（入院）意向はない」が 45.7%を占める。具体的な入所（入院）申し込みは、「特別養護老人ホーム」が 14.3%で最も高く、「老人保健施設」が 4.1%、「一般の病院」が 2.9%、「有料老人ホーム」が 2.0%、「認知症（痴ほう）高齢者グループホーム」が 1.2%、「療養病床」が 0.9%となっている。

＜要介護度別の傾向＞

要介護度が重いほど「特別養護老人ホーム」への入所申し込みをしている割合が高く、要介護5が 26.3%、要介護4が 25.1%となっている。



＜要介護度別の比較＞

	全体	特別養護老人ホーム	老人保健施設	一般の病院	有料老人ホーム	認知症（痴ほう性）高齢者グループホーム	療養病床	その他	施設への入所意向はない	無回答
全体	1960 100.0	280 14.3	81 4.1	56 2.9	39 2.0	23 1.2	18 0.9	90 4.6	896 45.7	560 28.6
要介護度別										
要支援	238 100.0	7 2.9	6 2.5	3 1.3	9 3.8	0 0.0	0 0.0	10 4.2	118 49.6	89 37.4
要介護1	508 100.0	40 7.9	10 2.0	11 2.2	9 1.8	3 0.6	4 0.8	15 3.0	266 52.4	156 30.7
要介護2	234 100.0	27 11.5	15 6.4	3 1.3	2 0.9	1 0.4	1 0.4	14 6.0	106 45.3	69 29.5
要介護3	382 100.0	76 19.9	18 4.7	10 2.6	7 1.8	10 2.6	2 0.5	15 3.9	169 44.2	97 25.4
要介護4	267 100.0	67 25.1	18 6.7	10 3.7	4 1.5	5 1.9	3 1.1	16 6.0	107 40.1	62 23.2
要介護5	228 100.0	60 26.3	8 3.5	11 4.8	3 1.3	3 1.3	6 2.6	18 7.9	97 42.5	38 16.7

上段：実数
下段：%

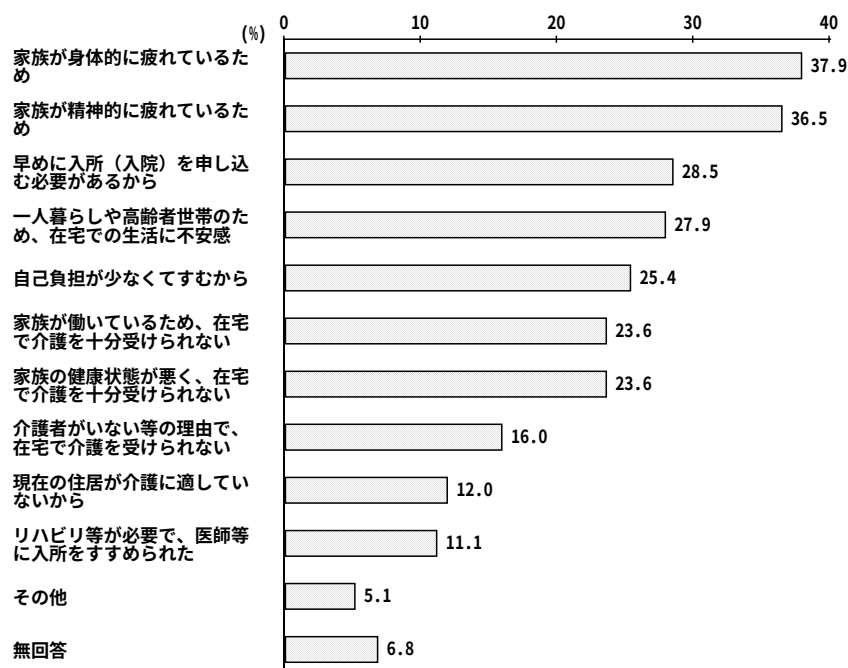
③介護保険施設申し込み理由（問 16－1、複数回答）

問 16－1 申し込み理由はどのようなものですか。（あてはまるものすべてに○）

介護保険施設への申し込み理由は、「家族が身体的に疲れているため」（37.9%）、「家族が精神的に疲れているため」（36.5%）の割合が高い。次いで「早めに入所（入院）を申し込む必要があるから」（28.5%）、「一人暮らしや高齢者世帯のため、在宅での生活に不安感」（27.9%）、「自己負担が少なくすむから」（25.4%）、「家族が働いているため在宅で介護を十分に受けられない」（23.6%）、「家族の健康状態が悪く、在宅で介護を十分に受けられない」（23.6%）が主な理由である。「介護者がいない等の理由で、在宅で介護を受けられない」は16.0%である。

＜要介護度別の傾向＞

要支援および要介護1、2では「一人暮らしや高齢者世帯のため、在宅での生活に不安感」や「介護者がいない等の理由で、在宅で介護を受けられない」など家族の介護力が不十分なことが主な理由としてあげられているが、要介護3～5では「家族が身体的に疲れているため」や「家族が精神的に疲れているため」など、介護者の身体的および精神的な負担感が主な理由である。



＜要介護度別の比較＞

	全体	め家族が身体的に疲れているため	め家族が精神的に疲れているため	む早めに入所（入院）を申し込む必要があるから	め一人暮らしや高齢者世帯のため、在宅での生活に不安感	自己負担が少なくすむから	で家族が働いているため、在宅で介護を十分に受けられない	で家族の健康状態が悪く、在宅で介護を十分に受けられない	在宅で介護を受けられない理由で、介護者がいない等	現在の住居が介護に適していないから	にリハビリ等が必要で、医師等に入所をすすめられた	その他	無回答
全体	351 100.0	133 37.9	128 36.5	100 28.5	98 27.9	89 25.4	83 23.6	83 23.6	56 16.0	42 12.0	39 11.1	18 5.1	24 6.8
要支援	12 100.0	0 0.0	0 0.0	2 16.7	6 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 33.3	3 25.0	2 16.7	0 0.0	3 25.0
要介護1	51 100.0	7 13.7	11 21.6	13 25.5	16 31.4	19 37.3	14 27.5	11 21.6	12 23.5	5 9.8	4 7.8	5 9.8	7 13.7
要介護2	42 100.0	9 21.4	13 31.0	13 31.0	14 33.3	14 33.3	10 23.8	10 23.8	15 35.7	6 14.3	5 11.9	2 4.8	2 4.8
要介護3	93 100.0	35 37.6	36 38.7	32 34.4	23 24.7	27 29.0	25 26.9	21 22.6	10 10.8	11 11.8	6 6.5	6 6.5	5 5.4
要介護4	77 100.0	41 53.2	34 44.2	19 24.7	18 23.4	12 15.6	21 27.3	22 28.6	11 14.3	7 9.1	9 11.7	3 3.9	4 5.2
要介護5	67 100.0	41 61.2	33 49.3	19 28.4	17 25.4	16 23.9	11 16.4	18 26.9	2 3.0	9 13.4	11 16.4	2 3.0	2 3.0

上段：実数
下段：%

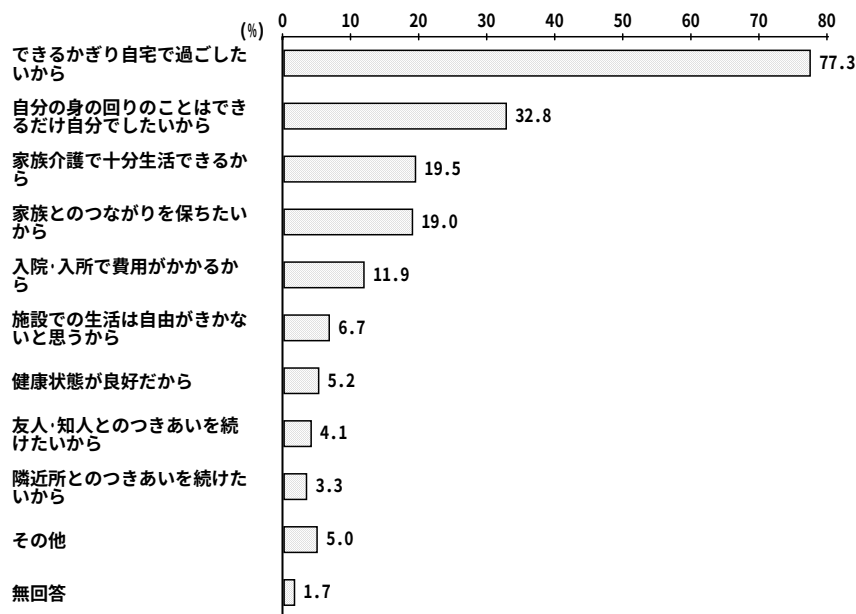
④施設入所（入院）を希望しない主な理由（問 16－2、2つまで回答）

問 16－2 施設への入所を希望されない主な理由は何ですか。次のうちから2つまで選んでください。（○は2つまで）

施設への入所（入院）を希望しない主な理由は「できるかぎり自宅で過ごしたいから」が77.3%である。次いで「自分の身の回りのことはできるだけ自分でしたかいら」（32.8%）があげられている。

＜要介護度別の傾向＞

いずれの要介護度も「できるかぎり自宅で過ごしたいから」が最も高く、要支援および要介護1、2では次いで「自分の身の回りのことはできるだけ自分でしたかいら」があげられ、要介護3～5では「家族介護で十分生活できるから」「家族とのつながりを保ちたいから」の割合が高い。



＜要介護度別の比較＞

	全体	できるかぎり自宅で過ごしたいから	自分の身の回りのことはできるだけ自分でしたかいら	家族介護で十分生活できるから	家族とのつながりを保ちたいから	入院・入所で費用がかかるから	施設での生活は自由がきかないと思うから	健康状態が良好だから	友人・知人とのつきあいを続けたいから	隣近所とのつきあいを続けたいから	その他	無回答
全体	896 100.0	693 77.3	294 32.8	175 19.5	170 19.0	107 11.9	60 6.7	47 5.2	37 4.1	30 3.3	45 5.0	15 1.7
要介護度別												
要支援	118 100.0	92 78.0	68 57.6	14 11.9	13 11.0	4 3.4	5 4.2	9 7.6	10 8.5	7 5.9	3 2.5	3 2.5
要介護1	266 100.0	203 76.3	130 48.9	39 14.7	37 13.9	30 11.3	13 4.9	14 5.3	13 4.9	12 4.5	9 3.4	5 1.9
要介護2	106 100.0	79 74.5	42 39.6	30 28.3	20 18.9	6 5.7	10 9.4	8 7.5	6 5.7	4 3.8	5 4.7	3 2.8
要介護3	169 100.0	133 78.7	32 18.9	39 23.1	38 22.5	28 16.6	14 8.3	6 3.6	6 3.6	5 3.0	10 5.9	2 1.2
要介護4	107 100.0	79 73.8	8 7.5	23 21.5	35 32.7	20 18.7	9 8.4	5 4.7	0 0.0	1 0.9	8 7.5	1 0.9
要介護5	97 100.0	80 82.5	2 2.1	26 26.8	24 24.7	14 14.4	6 6.2	4 4.1	2 2.1	1 1.0	10 10.3	1 1.0

上段：実数
下段：%

(4) 健康状態について

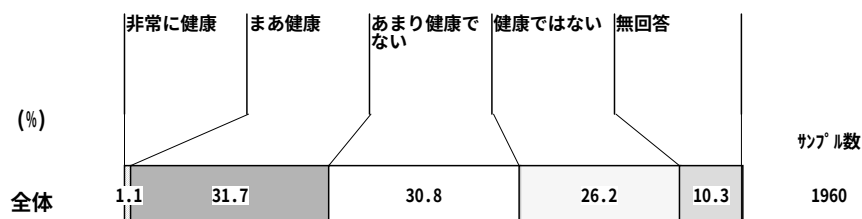
①健康状態（問 17）

問 17 あなた（あて名のご本人）は、健康だと思いますか。（○は1つ）「あまり健康でない」「健康ではない」方は、その理由もお答えください。

自分の健康状態が「非常に健康」と考える人と「まあ健康」な人とあわせると 32.8%が健康と考えている。「あまり健康ではない」は 30.8%、「健康ではない」は 26.2%である。

＜要介護度別の傾向＞

「非常に健康」と「まあ健康」の合計は、要介護5が 25.0%と低いほかは 32.2%～37.8%である。



＜要介護度別の比較＞

	全体	非常に健康	まあ健康	あまり健康でない	健康ではない	無回答
全体	1960	22	621	603	513	201
	100.0	1.1	31.7	30.8	26.2	10.3
要介護度別						
要支援	238	2	88	76	49	23
	100.0	0.8	37.0	31.9	20.6	9.7
要介護1	508	6	165	191	112	34
	100.0	1.2	32.5	37.6	22.0	6.7
要介護2	234	6	76	75	55	22
	100.0	2.6	32.5	32.1	23.5	9.4
要介護3	382	2	121	115	98	46
	100.0	0.5	31.7	30.1	25.7	12.0
要介護4	267	3	84	70	90	20
	100.0	1.1	31.5	26.2	33.7	7.5
要介護5	228	2	55	57	94	20
	100.0	0.9	24.1	25.0	41.2	8.8

上段：実数
下段：%

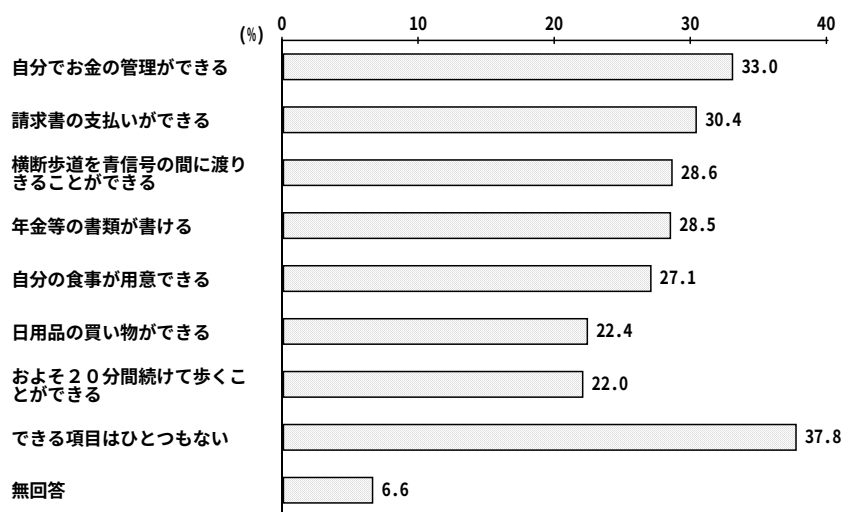
②日常生活の自立状況（問 18、複数回答）

問 18 あなた（あて名のご本人）がご自分でできる項目すべてに○をつけてください。（あてはまるものすべてに○）

日常生活の自立状況をみると、「自分でお金の管理ができる」が 33.0%、「請求書の支払いができる」が 30.4%、「横断歩道を青信号の間に渡りることができる」が 28.6%、「年金等の書類が書ける」が 28.5%、「自分の食事が用意できる」が 27.1%、「日用品の買い物ができる」が 22.4%、「およそ 20 分間続けて歩くことができる」が 22.0%である。

＜要介護度別の傾向＞

要支援では「およそ 20 分間続けて歩くことができる」以外は 60%以上の人ができると回答している。要介護 3～5 では、できるという回答割合が 1 割程度以下となり、「できる項目はひとつもない」割合が 5 割を超える。



＜要介護度別の比較＞

	全体	自分 でお金 の管理 ができ る	請 求 書 の 支 払 い が でき る	横 断 歩 道 を 青 信 号 の 間 に 渡 り き る こ と が でき る	年 金 等 の 書 類 が 書 け る	自 分 の 食 事 が 用 意 で き る	日 用 品 の 買 い 物 が でき る	お よ そ 2 0 分 間 続 け て 歩 く こ と が でき る	い で き る 項 目 は ひ と つ も な い	無 回 答
全体	1960 100.0	647 33.0	596 30.4	561 28.6	559 28.5	531 27.1	439 22.4	432 22.0	740 37.8	130 6.6
要 支 援	238 100.0	181 76.1	170 71.4	161 67.6	158 66.4	155 65.1	147 61.8	107 45.0	5 2.1	7 2.9
要 介 護 1	508 100.0	279 54.9	247 48.6	233 45.9	218 42.9	237 46.7	180 35.4	175 34.4	56 11.0	21 4.1
要 介 護 2	234 100.0	73 31.2	63 26.9	63 26.9	65 27.8	58 24.8	40 17.1	54 23.1	70 29.9	17 7.3
要 介 護 3	382 100.0	47 12.3	48 12.6	39 10.2	53 13.9	30 7.9	20 5.2	43 11.3	208 54.5	28 7.3
要 介 護 4	267 100.0	21 7.9	17 6.4	15 5.6	23 8.6	6 2.2	4 1.5	20 7.5	194 72.7	17 6.4
要 介 護 5	228 100.0	6 2.6	9 3.9	7 3.1	11 4.8	6 2.6	5 2.2	4 1.8	197 86.4	13 5.7

上段：実数
下段：%

(5) 食事について

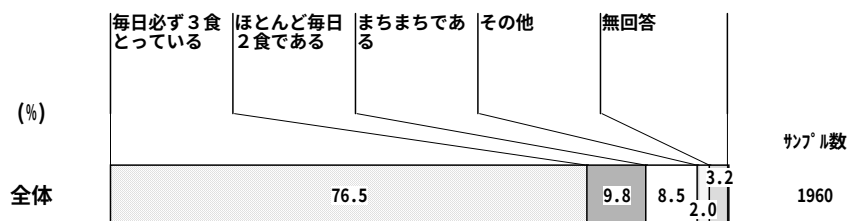
① 食事の摂取状況 (問 19)

問 19 あなた(あて名のご本人)はふだん毎日3食の食事をとっていますか。(○は1つ)

ふだんの食事について、「毎日必ず3食とっている」が76.5%を占める。「ほとんど毎日2食である」は9.8%、「まちまちである」は8.5%である。

＜要介護度別の傾向＞

全体の傾向と大きな違いはみられない。



＜要介護度別の比較＞

	全体	毎日必ず3食とっている	ほとんど毎日2食である	まちまちである	その他	無回答	
全体	1960	1500	192	167	39	62	上段：実数
	100.0	76.5	9.8	8.5	2.0	3.2	下段：%
要支援	238	193	23	17	2	3	
	100.0	81.1	9.7	7.1	0.8	1.3	
要介護1	508	384	59	52	3	10	
	100.0	75.6	11.6	10.2	0.6	2.0	
要介護2	234	182	27	12	4	9	
	100.0	77.8	11.5	5.1	1.7	3.8	
要介護3	382	291	29	40	10	12	
	100.0	76.2	7.6	10.5	2.6	3.1	
要介護4	267	211	21	20	8	7	
	100.0	79.0	7.9	7.5	3.0	2.6	
要介護5	228	173	21	18	12	4	
	100.0	75.9	9.2	7.9	5.3	1.8	

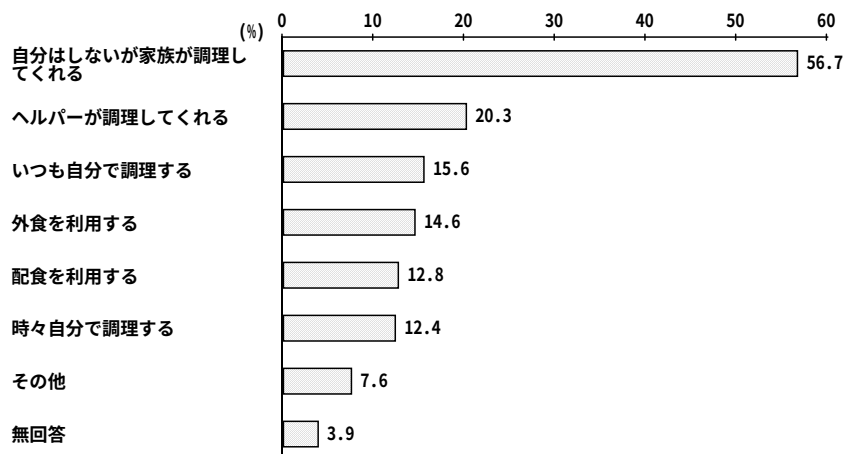
② 外食・配食の利用状況（問 20、複数回答）

問 20 あなた（あて名のご本人）はふだんの食事についてどのようにしていますか。（あてはまるものすべてに○）

ふだんの食事について、「自分ほしないが家族が調理してくれる」が 56.7%で、「ヘルパーが調理してくれる」が 20.3%、「いつも自分で調理する」が 15.6%である。「外食を利用する」は 14.6%、「配食を利用する」は 12.8%である。

＜要介護度別の傾向＞

要支援では「いつも自分で料理する」割合が高く、要介護 1 以上では「自分ほしないが家族が調理してくれる」割合が高い。「外食を利用する」割合は要介護度が軽いほど高く、要支援が 29.8%、要介護 1 が 22.0%である。「配食を利用する」割合も要介護度が軽いほうが割合が高い。



＜要介護度別の比較＞

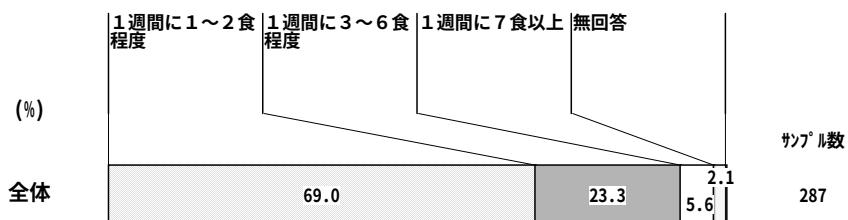
	全体	自分ほしないが家族が調理してくれる	ヘルパーが調理してくれる	いつも自分で調理する	外食を利用する	配食を利用する	時々自分で調理する	その他	無回答
全体	1960 100.0	1112 56.7	397 20.3	306 15.6	287 14.6	250 12.8	243 12.4	149 7.6	76 3.9
要支援	238 100.0	63 26.5	29 12.2	114 47.9	71 29.8	41 17.2	47 19.7	11 4.6	4 1.7
要介護1	508 100.0	209 41.1	101 19.9	128 25.2	112 22.0	110 21.7	128 25.2	34 6.7	8 1.6
要介護2	234 100.0	158 67.5	52 22.2	21 9.0	42 17.9	38 16.2	28 12.0	10 4.3	8 3.4
要介護3	382 100.0	278 72.8	87 22.8	11 2.9	28 7.3	28 7.3	14 3.7	30 7.9	21 5.5
要介護4	267 100.0	204 76.4	57 21.3	2 0.7	13 4.9	14 5.2	7 2.6	24 9.0	9 3.4
要介護5	228 100.0	166 72.8	51 22.4	3 1.3	8 3.5	10 4.4	3 1.3	36 15.8	7 3.1

上段：実数
下段：%

③ 外食の利用頻度（問 20－1）

問 20－1 外食を利用されるのは、平均すると週に何回程度ですか。（○は1つ）

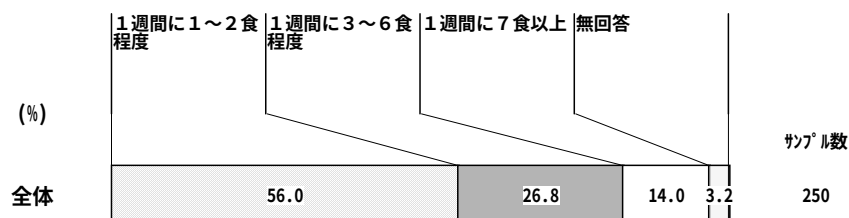
外食の利用頻度は、「1週間に7食以上」が 5.6%、「1週間に3～6食程度」が 23.3%、「1週間に1～2食程度」が 69.0%である。



④配食の利用頻度（問 20－2）

問 20－2 配食を利用されるのは、平均すると週に何回程度ですか。（○は1つ）

配食の利用頻度は、「1週間に7食以上」が14.0%、「1週間に3～6食程度」が26.8%、「1週間に1～2食程度」が56.0%である。



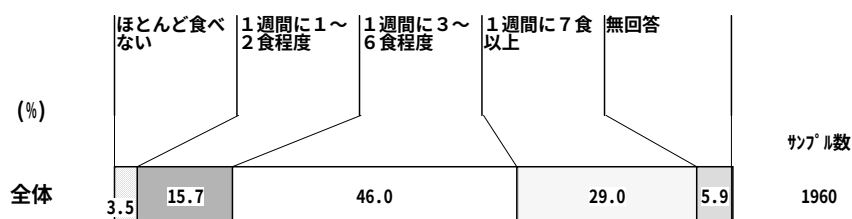
⑤肉や魚を食べる頻度（問 21）

問 21 あなた（あて名のご本人）が肉や魚を食べるのは、週に何回程度ですか。（○は1つ）

肉や魚を食べる頻度は、「1週間に7食以上」が29.0%、「1週間に3～6食程度」が46.0%である。「1週間に1～2食程度」が15.7%、「ほとんど食べない」が3.5%である。

＜要介護度別の傾向＞

要介護5で「ほとんど食べない」割合が高いほかは、要支援～要介護4では違いはみられない。



＜要介護度別の比較＞

	全体	ほとんど食べない	1週間に1～2食程度	1週間に3～6食程度	1週間に7食以上	無回答	
全体	1960	68	307	901	569	115	上段：実数
	100.0	3.5	15.7	46.0	29.0	5.9	下段：%
要支援	238	5	43	126	61	3	
	100.0	2.1	18.1	52.9	25.6	1.3	
要介護1	508	7	84	266	135	16	
	100.0	1.4	16.5	52.4	26.6	3.1	
要介護2	234	6	34	114	69	11	
	100.0	2.6	14.5	48.7	29.5	4.7	
要介護3	382	7	55	159	130	31	
	100.0	1.8	14.4	41.6	34.0	8.1	
要介護4	267	15	36	107	93	16	
	100.0	5.6	13.5	40.1	34.8	6.0	
要介護5	228	24	28	86	71	19	
	100.0	10.5	12.3	37.7	31.1	8.3	

⑥乳製品を摂る頻度（問 22）

問 22 あなた（あて名のご本人）が乳製品をとるのは、週に何回程度ですか。（○は1つ）

乳製品については「1週間に7食以上」が37.4%、「1週間に3～6食程度」が31.4%である。「1週間に1～2食程度」が15.4%、「ほとんどとらない」が9.5%である。

＜要介護度別の傾向＞

肉や魚と同様に要介護5で「ほとんどとらない」割合が高いほかは、要介護度による傾向の違いはみられない。



＜要介護度別の比較＞

	全体	ほとんどとらない	1週間に1～2食程度	1週間に3～6食程度	1週間に7食以上	無回答
全体	1960 100.0	186 9.5	302 15.4	616 31.4	734 37.4	122 6.2
要介護度別						
要支援	238 100.0	15 6.3	34 14.3	85 35.7	99 41.6	5 2.1
要介護1	508 100.0	49 9.6	82 16.1	160 31.5	198 39.0	19 3.7
要介護2	234 100.0	22 9.4	41 17.5	81 34.6	81 34.6	9 3.8
要介護3	382 100.0	39 10.2	62 16.2	115 30.1	139 36.4	27 7.1
要介護4	267 100.0	26 9.7	31 11.6	86 32.2	108 40.4	16 6.0
要介護5	228 100.0	30 13.2	27 11.8	62 27.2	87 38.2	22 9.6

上段：実数
下段：%

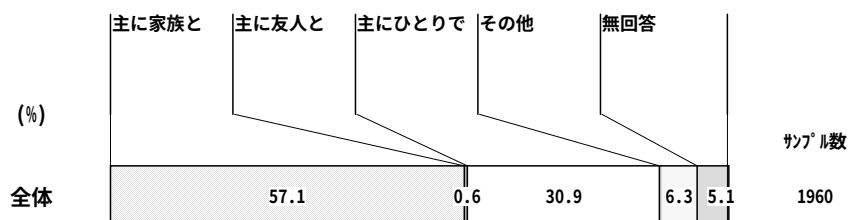
⑦主に食事を一緒にする人（問 23）

問 23 あなた（あて名のご本人）は、食事を主にどなたとられていますか。（○は1つ）

食事は「主に家族と」とる人が57.1%で最も高いが、「主にひとりで」とる人も30.9%で高い。

＜要介護度別の傾向＞

「主にひとりで」とる割合は要支援および要介護1で4割を超えている。



＜要介護度別の比較＞

	全体	主に家族と	主に友人と	主にひとりで	その他	無回答
全体	1960 100.0	1120 57.1	12 0.6	606 30.9	123 6.3	99 5.1
要介護度別						
要支援	238 100.0	114 47.9	3 1.3	109 45.8	8 3.4	4 1.7
要介護1	508 100.0	260 51.2	5 1.0	215 42.3	15 3.0	13 2.6
要介護2	234 100.0	154 65.8	1 0.4	58 24.8	13 5.6	8 3.4
要介護3	382 100.0	238 62.3	2 0.5	94 24.6	25 6.5	23 6.0
要介護4	267 100.0	180 67.4	0 0.0	50 18.7	24 9.0	13 4.9
要介護5	228 100.0	135 59.2	0 0.0	41 18.0	35 15.4	17 7.5

上段：実数
下段：%

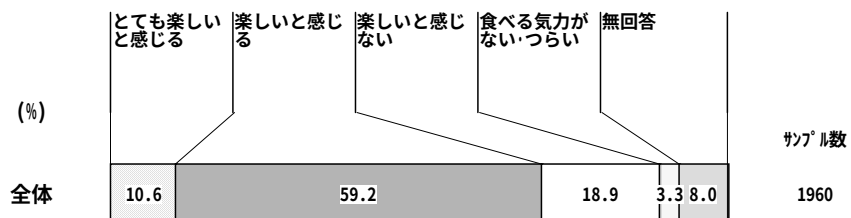
⑧食事を楽しいと感じるか（問 24）

問 24 あなた（あて名のご本人）は、食事をするのが楽しいと感じますか。（○は1つ）

ふだんの食事を「とても楽しいと感じる」は10.6%で、「楽しいと感じる」をあわせると69.8%である。「楽しいと感じない」は18.9%、「食べる気力がない・つらい」は3.3%である。

＜要介護度別の傾向＞

要介護度別にみると、「とても楽しいと感じる」と「楽しいと感じる」割合は、要介護度が重いほど低くなっている。要介護5では無回答が17.5%と高くなっている。



＜要介護度別の比較＞

	全体	とても楽しいと感じる	楽しいと感じる	楽しいと感じない	食べる気力がない・つらい	無回答	
全体	1960	208	1160	370	65	157	上段：実数
	100.0	10.6	59.2	18.9	3.3	8.0	下段：%
要介護度別	238	23	153	47	6	9	
要支援	100.0	9.7	64.3	19.7	2.5	3.8	
要介護1	508	65	296	109	20	18	
	100.0	12.8	58.3	21.5	3.9	3.5	
要介護2	234	33	142	44	4	11	
	100.0	14.1	60.7	18.8	1.7	4.7	
要介護3	382	40	239	65	6	32	
	100.0	10.5	62.6	17.0	1.6	8.4	
要介護4	267	21	160	48	13	25	
	100.0	7.9	59.9	18.0	4.9	9.4	
要介護5	228	18	115	40	15	40	
	100.0	7.9	50.4	17.5	6.6	17.5	

(6) 外出とつきあいについて

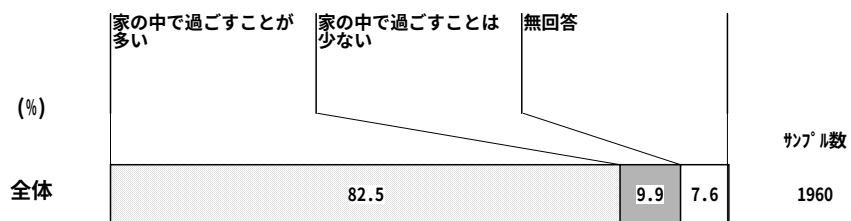
① 1日の外出状況（問 25）

問 25 あなた（あて名のご本人）は1日中家の外には出ず、家の中で過ごすことが多いですか。（○は1つ）

1日中「家の中で過ごすことが多い」が82.5%を占める。

＜要介護度別の傾向＞

「家の中で過ごすことが多い」割合は、要支援で75.6%であるほかは、要介護1～5では80%を超えている。



＜要介護度別の比較＞

	全体	家の中で過ごすことが多い	家の中で過ごすことは少ない	無回答	
全体	1960	1617	194	149	上段：実数 下段：%
	100.0	82.5	9.9	7.6	
要支援	238	180	40	18	
	100.0	75.6	16.8	7.6	
要介護1	508	423	54	31	
	100.0	83.3	10.6	6.1	
要介護2	234	196	26	12	
	100.0	83.8	11.1	5.1	
要介護3	382	332	29	21	
	100.0	86.9	7.6	5.5	
要介護4	267	226	21	20	
	100.0	84.6	7.9	7.5	
要介護5	228	193	12	23	
	100.0	84.6	5.3	10.1	

②外出頻度（問 26）

問 26 近所への買物、散歩、通院などを含め、あなた（あて名のご本人）の1週間の外出頻度を教えてください。（○は1つ）

外出頻度は、「ほとんど毎日」が19.3%で、「週に2～3回」をあわせると週2回以上外出する割合は55.4%である。「月に1～2回」は7.9%で、「ほとんど外出しない」が18.6%である。

＜要介護度別の傾向＞

要介護度が軽いほど外出頻度は高く、週2回以上外出する割合は、要支援が77.7%、要介護1が67.9%である。

		ほとんど毎日	週に2～3回	週に1回程度	月に1～2回	ほとんど外出しない	無回答	サンプル数
(%)								
全体		19.3	36.1	11.9	7.9	18.6	6.2	1960
＜要介護度別の比較＞								
	全体	ほとんど毎日	週に2～3回	週に1回程度	月に1～2回	ほとんど外出しない	無回答	
全体	1960	379	707	233	155	364	122	上段：実数
	100.0	19.3	36.1	11.9	7.9	18.6	6.2	下段：%
要支援	238	75	110	24	12	11	6	
	100.0	31.5	46.2	10.1	5.0	4.6	2.5	
要介護1	508	114	231	67	44	33	19	
	100.0	22.4	45.5	13.2	8.7	6.5	3.7	
要介護2	234	45	93	39	16	32	9	
	100.0	19.2	39.7	16.7	6.8	13.7	3.8	
要介護3	382	59	120	47	33	99	24	
	100.0	15.4	31.4	12.3	8.6	25.9	6.3	
要介護4	267	43	73	26	26	83	16	
	100.0	16.1	27.3	9.7	9.7	31.1	6.0	
要介護5	228	24	47	21	15	95	26	
	100.0	10.5	20.6	9.2	6.6	41.7	11.4	

③同居者以外とおしゃべりの頻度（問 27）

問 27 あなた（あて名のご本人）が、友人や近所の人あるいは家族（別居）や親戚の方と会っておしゃべりする頻度はどれくらいですか。（○は1つ）

同居者以外と会っておしゃべりをする頻度は、「ほぼ毎日」が29.3%、「2～3日に1回程度」が22.7%、「1週間に1回程度」が16.3%である。「ほとんどない」は15.7%である。

＜要介護度別の傾向＞

要介護度が軽いほど同居者以外とおしゃべりの頻度は高い。

		ほぼ毎日	2～3日に1回程度	1週間に1回程度	1ヶ月に1回程度	ほとんどない	無回答	サンプル数
(%)								
全体		29.3	22.7	16.3	9.7	15.7	6.4	1960
＜要介護度別の比較＞								
	全体	ほぼ毎日	2～3日に1回程度	1週間に1回程度	1ヶ月に1回程度	ほとんどない	無回答	
全体	1960	574	444	319	190	307	126	上段：実数
	100.0	29.3	22.7	16.3	9.7	15.7	6.4	下段：%
要支援	238	76	75	47	16	16	8	
	100.0	31.9	31.5	19.7	6.7	6.7	3.4	
要介護1	508	139	148	108	42	52	19	
	100.0	27.4	29.1	21.3	8.3	10.2	3.7	
要介護2	234	68	64	33	26	32	11	
	100.0	29.1	27.4	14.1	11.1	13.7	4.7	
要介護3	382	126	69	40	44	80	23	
	100.0	33.0	18.1	10.5	11.5	20.9	6.0	
要介護4	267	85	43	39	25	56	19	
	100.0	31.8	16.1	14.6	9.4	21.0	7.1	
要介護5	228	62	25	30	28	57	26	
	100.0	27.2	11.0	13.2	12.3	25.0	11.4	

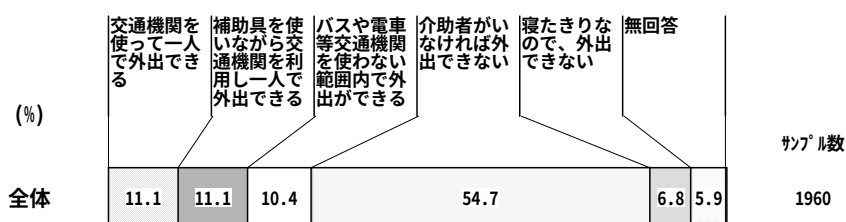
④外出時の介助の必要性（問 28）

問 28 外出するときのあなた（あて名のご本人）の状況はいかがですか。（○は1つ）

「交通機関を使って一人で外出できる」が 11.1%、「補助具を使いながら交通機関を利用し一人で外出できる」が 11.1%、「バスや電車等交通機関を使わない範囲内で外出できる」が 10.4%であり、一人で外出できる人の合計は 32.6%である。「介助者がいなければ外出できない」は 54.7%、「寝たきりで外出できない」は 6.8%である。

＜要介護度別の傾向＞

一人で外出できる人は要支援が 79.8%、要介護 1 が 58.9%で、要介護 3 以上では 8 割以上の人が「介助者がいなければ外出できない」か「寝たきりで外出できない」。



＜要介護度別の比較＞

	全体	交通機関を使って一人で外出できる	補助具を使いながら交通機関を利用し一人で外出できる	バスや電車等交通機関を使わない範囲内で外出できる	介助者がいなければ外出できない	寝たきりで、外出できない	無回答
全体	1960 100.0	217 11.1	217 11.1	204 10.4	1073 54.7	134 6.8	115 5.9
要支援	238 100.0	84 35.3	60 25.2	46 19.3	37 15.5	1 0.4	10 4.2
要介護1	508 100.0	92 18.1	103 20.3	104 20.5	184 36.2	1 0.2	24 4.7
要介護2	234 100.0	5 2.1	24 10.3	25 10.7	169 72.2	2 0.9	9 3.8
要介護3	382 100.0	8 2.1	12 3.1	12 3.1	313 81.9	17 4.5	20 5.2
要介護4	267 100.0	0 0.0	2 0.7	3 1.1	208 77.9	37 13.9	17 6.4
要介護5	228 100.0	2 0.9	1 0.4	2 0.9	135 59.2	73 32.0	15 6.6

上段：実数
下段：%

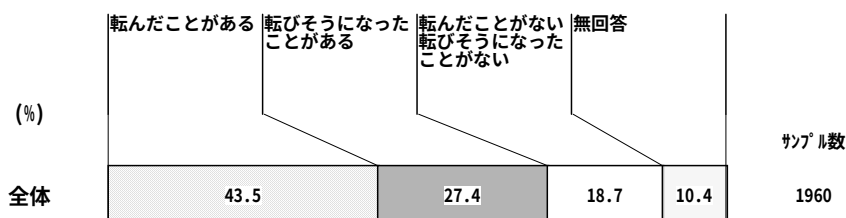
⑤ 1年以内の転倒経験（問 29）

問 29 あなた（あて名のご本人）は、この1年間（昨年 11 月以降）に転んだ（または転びそうになった）ことはありますか。（○は1つ）

過去1年間の転倒経験者は43.5%で、「転びそうになったことがある」は27.4%である。

＜要介護度別の傾向＞

要介護3と4では転倒経験者が50%を超えている。要支援および要介護1、2では転倒経験者の割合が高いが、「転びそうになったことがある」割合も転倒経験者と同じ程度で高くなっている。



＜要介護度別の比較＞

	全体	転んだことがある	転びそうになったことがある	転んだことがない、転びそうになったことがない	無回答
全体	1960 100.0	853 43.5	538 27.4	366 18.7	203 10.4
要支援	238 100.0	84 35.3	94 39.5	46 19.3	14 5.9
要介護1	508 100.0	212 41.7	176 34.6	92 18.1	28 5.5
要介護2	234 100.0	94 40.2	83 35.5	38 16.2	19 8.1
要介護3	382 100.0	207 54.2	96 25.1	52 13.6	27 7.1
要介護4	267 100.0	134 50.2	51 19.1	49 18.4	33 12.4
要介護5	228 100.0	75 32.9	18 7.9	74 32.5	61 26.8

上段：実数
下段：%

⑥ 転倒もしくは転倒しそうになった回数（問 29－1）

問 29－1 あなた（あて名のご本人）は、この1年間に何回くらい転んだ（転びそうになった）ことがありますか。（○は1つ）

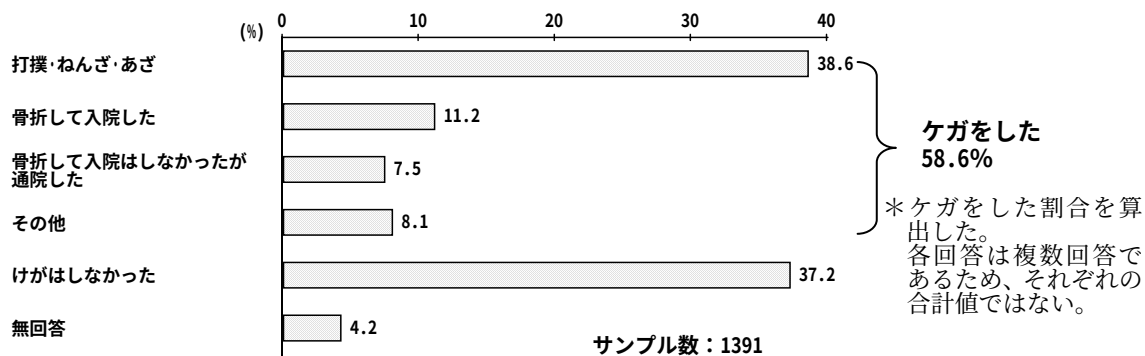
転倒もしくは転倒しそうになった回数は、「5回以上」が31.1%で最も高く、「3回」が20.5%、「2回」が20.4%である。



⑦転倒もしくは転倒しそうになったことによるケガの状況（問 29－2、複数回答）

問 29－2 あなた（あて名のご本人）は、転んで（転びそうになって）ケガをしましたか。（あてはまるものすべてに○）

転倒もしくは転倒しそうになったことでケガをした人は58.6%で、「打撲・ねんざ・あざ」が38.6%、「骨折して入院」が11.2%、「骨折して入院はしなかったが通院した」が7.5%、「骨折して入院」が11.2%、「骨折して通院」が7.5%である。



⑧転倒もしくは転倒しそうになった場所（問 29－3、複数回答）

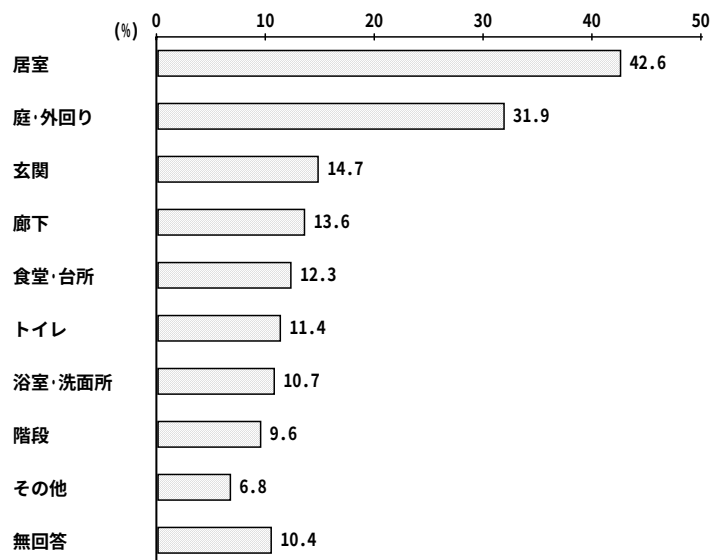
問 29－3 あなた（あて名のご本人）が、転んだ（転びそうになった）場所はどこですか。

- ① 家の中（庭先などの敷地内を含む）の「具体的な場所」（あてはまるものすべてに○）
- ② 家の外の「具体的な場所」（あてはまるものすべてに○）

転倒もしくは転倒しそうになった家の中の主な場所は「居室」（42.6%）、「庭・外回り」（31.9%）である。

＜要介護度別の傾向＞

要介護度 2～5 では「居室」が最も高く、要支援および要介護 1 では「庭・外回り」が最も高い。また要介護度が重いほど「廊下」や「トイレ」の割合が高くなっている。



＜要介護度別の比較＞

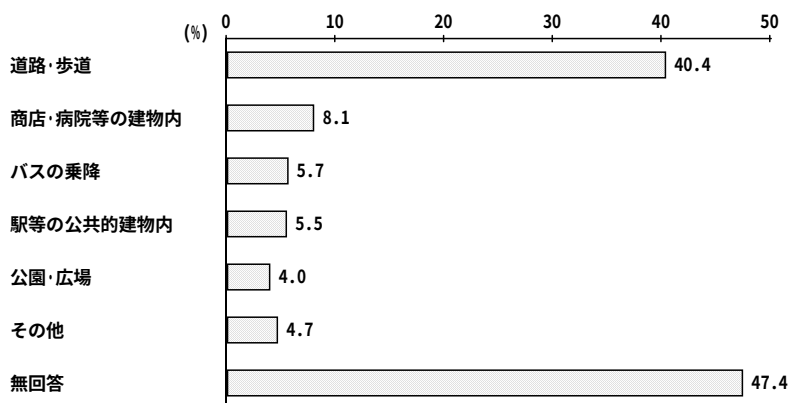
	全体	居室	庭・外回り	玄関	廊下	食堂・台所	トイレ	浴室・洗面所	階段	その他	無回答
全体	1391	592	444	205	189	171	158	149	133	94	145
	100.0	42.6	31.9	14.7	13.6	12.3	11.4	10.7	9.6	6.8	10.4
要介護度別											
要支援	178	44	80	18	11	19	5	11	20	17	30
	100.0	24.7	44.9	10.1	6.2	10.7	2.8	6.2	11.2	9.6	16.9
要介護1	388	135	158	61	34	47	17	47	56	31	37
	100.0	34.8	40.7	15.7	8.8	12.1	4.4	12.1	14.4	8.0	9.5
要介護2	177	74	47	28	27	24	21	23	16	11	22
	100.0	41.8	26.6	15.8	15.3	13.6	11.9	13.0	9.0	6.2	12.4
要介護3	303	159	81	50	46	35	56	37	12	17	25
	100.0	52.5	26.7	16.5	15.2	11.6	18.5	12.2	4.0	5.6	8.3
要介護4	185	107	39	28	43	22	34	18	13	13	9
	100.0	57.8	21.1	15.1	23.2	11.9	18.4	9.7	7.0	7.0	4.9
要介護5	93	55	13	16	24	21	21	9	10	3	10
	100.0	59.1	14.0	17.2	25.8	22.6	22.6	9.7	10.8	3.2	10.8

上段：実数
下段：%

転倒もしくは転倒しそうになった家の外の主な場所は「道路・歩道」(40.4%)である。

<<要介護度別の傾向>>

要介護度が軽いほど「道路・歩道」を転倒した場所としてあげられている割合が高く、要支援では61.8%、要介護1では49.0%となっている。



<要介護度別の比較>

	全体	道路・歩道	商店・病院等の建物内	バスの乗降	駅等の公共的建物内	公園・広場	その他	無回答
全体	1391 100.0	562 40.4	112 8.1	79 5.7	77 5.5	56 4.0	65 4.7	660 47.4
要支援	178 100.0	110 61.8	15 8.4	17 9.6	22 12.4	5 2.8	6 3.4	43 24.2
要介護1	388 100.0	190 49.0	42 10.8	33 8.5	27 7.0	22 5.7	15 3.9	144 37.1
要介護2	177 100.0	74 41.8	16 9.0	8 4.5	10 5.6	8 4.5	10 5.6	86 48.6
要介護3	303 100.0	97 32.0	21 6.9	12 4.0	7 2.3	11 3.6	13 4.3	173 57.1
要介護4	185 100.0	45 24.3	11 5.9	5 2.7	6 3.2	5 2.7	10 5.4	119 64.3
要介護5	93 100.0	18 19.4	4 4.3	2 2.2	1 1.1	2 2.2	6 6.5	66 71.0

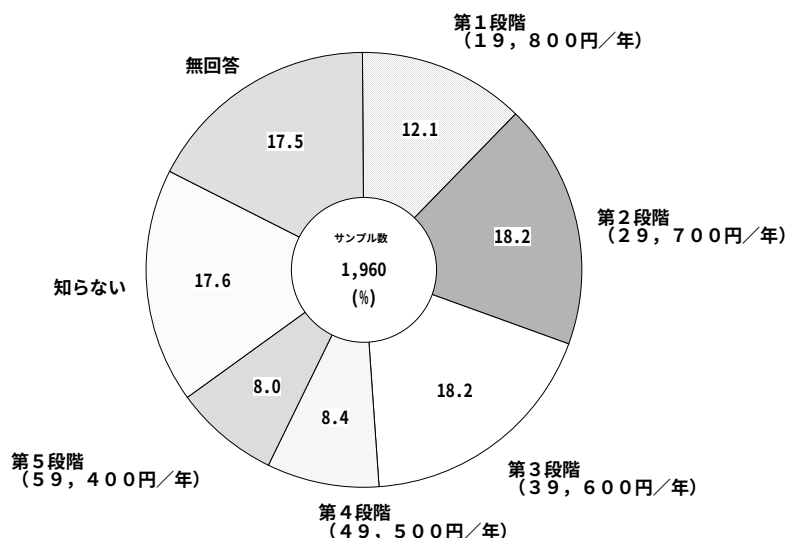
上段：実数
下段：%

(7) 介護保険について

①介護保険料 (問 30)

問 30 あなた(あて名のご本人)の介護保険料(年額)はいくらですか。(○は1つ)

介護保険料は、「第1段階」が12.1%、「第2段階」が18.2%、「第3段階」が18.2%、「第4段階」が8.4%、「第5段階」が8.0%であり、介護保険料を「知らない」が17.6%である。



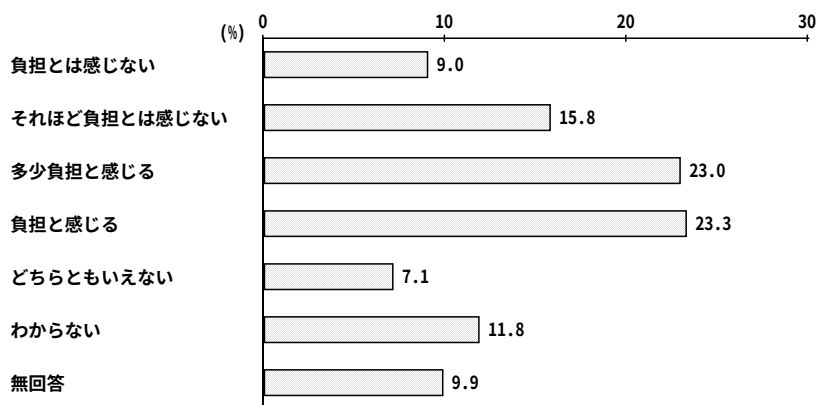
②介護保険料の負担感（問 31）

問 31 あなた（あて名のご本人）は、介護保険料についてどのように感じていますか。（○は1つ）

介護保険料を「負担とは感じない」は9.0%で、「それほど負担とは感じない」をあわせると24.8%となる。「多少負担と感じる」は23.0%、「負担と感じる」は23.3%である。

＜介護保険料の段階別の傾向＞

介護保険料の段階別にみると、「多少負担と感じる」と「負担と感じる」をあわせた割合は、第2～4段階で高く、第2段階は59.1%、第3段階は57.2%、第4段階は60.6%である。



＜要介護料の段階別の比較＞

	全体	負担とは感じない	それほど負担とは感じない	多少負担と感じる	負担と感じる	どちらともいえない	わからない	無回答	
全体	1960	177	310	450	457	140	232	194	上段：実数
	100.0	9.0	15.8	23.0	23.3	7.1	11.8	9.9	下段：%
介護保険料の段階別									
第1段階 (19,800円/年)	238	34	52	52	57	13	18	12	
	100.0	14.3	21.8	21.8	23.9	5.5	7.6	5.0	
第2段階 (29,700円/年)	357	32	59	123	88	27	21	7	
	100.0	9.0	16.5	34.5	24.6	7.6	5.9	2.0	
第3段階 (39,600円/年)	357	25	62	103	101	28	22	16	
	100.0	7.0	17.4	28.9	28.3	7.8	6.2	4.5	
第4段階 (49,500円/年)	165	15	33	52	48	9	2	6	
	100.0	9.1	20.0	31.5	29.1	5.5	1.2	3.6	
第5段階 (59,400円/年)	156	17	22	42	44	19	7	5	
	100.0	10.9	14.1	26.9	28.2	12.2	4.5	3.2	
知らない	344	28	46	35	63	30	134	8	
	100.0	8.1	13.4	10.2	18.3	8.7	39.0	2.3	

③ケアプランの認知（問 32－1）

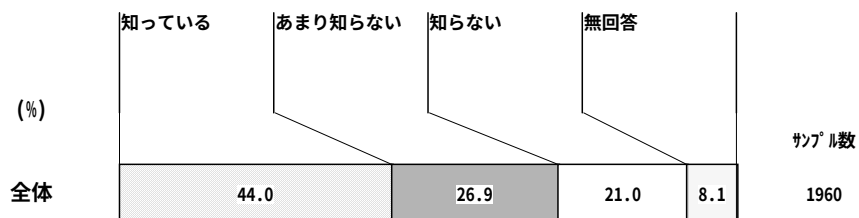
問 32 ケアプランについておたずねします。

① あなた（あて名のご本人）は、ケアプランの内容をご存知ですか。（○は1つ）

ケアプランの内容を「知っている」が44.0%で、「あまり知らない」が26.9%、「知らない」が21.0%である。

＜要介護度別の傾向＞

要支援では51.7%、要介護1では50.6%がケアプランの内容を「知っている」が、要介護2以上ではその割合は4割程度で低い。



＜要介護度別の比較＞

	全体	知っている	あまり知らない	知らない	無回答
全体	1960	862	528	411	159
	100.0	44.0	26.9	21.0	8.1
要介護度別					
要支援	238	123	67	31	17
	100.0	51.7	28.2	13.0	7.1
要介護1	508	257	140	74	37
	100.0	50.6	27.6	14.6	7.3
要介護2	234	98	68	50	18
	100.0	41.9	29.1	21.4	7.7
要介護3	382	152	103	99	28
	100.0	39.8	27.0	25.9	7.3
要介護4	267	112	82	57	16
	100.0	41.9	30.7	21.3	6.0
要介護5	228	100	44	69	15
	100.0	43.9	19.3	30.3	6.6

上段：実数
下段：%

④ケアプランへの本人や家族の意見・要望の反映状況（問 32－2）

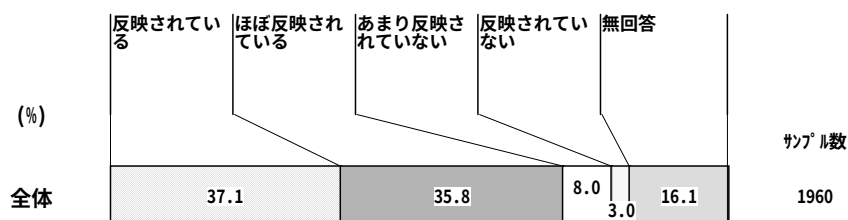
問 32 ケアプランについておたずねします。

- ② ケアプランの作成にあたり、あなた（あて名のご本人）やご家族の意見や要望は反映されていますか。（○は1つ）

ケアプランに本人や家族の意見・要望が「反映されている」が 37.1%で、「ほぼ反映されている」をあわせると 72.9%となる。「あまり反映されていない」は 8.0%、「反映されていない」は 3.0%みられる。

＜要介護度別の傾向＞

要介護度が重いほど、「反映されている」と「ほぼ反映されている」割合が高くなる。要介護度が軽いほど無回答の割合が高い。



＜要介護度別の比較＞

	全体	反映されている	ほぼ反映されている	あまり反映されていない	反映されていない	無回答
全体	1960	727	702	157	59	315
	100.0	37.1	35.8	8.0	3.0	16.1
要介護度別						
要支援	238	76	76	22	11	53
	100.0	31.9	31.9	9.2	4.6	22.3
要介護1	508	199	170	40	14	85
	100.0	39.2	33.5	7.9	2.8	16.7
要介護2	234	79	94	16	10	35
	100.0	33.8	40.2	6.8	4.3	15.0
要介護3	382	143	150	33	11	45
	100.0	37.4	39.3	8.6	2.9	11.8
要介護4	267	107	112	21	6	21
	100.0	40.1	41.9	7.9	2.2	7.9
要介護5	228	103	86	14	4	21
	100.0	45.2	37.7	6.1	1.8	9.2

上段：実数
下段：%

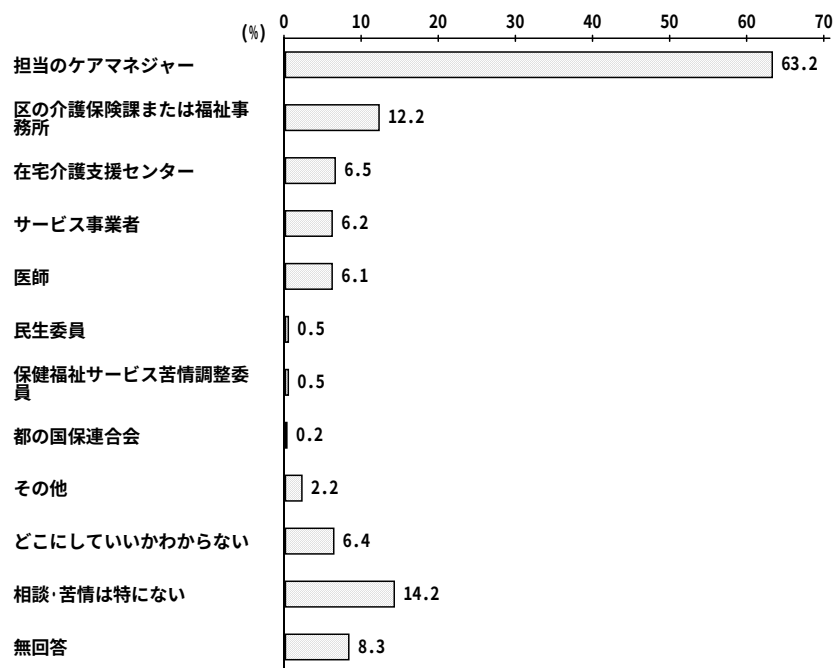
⑤介護保険の相談・苦情先（問 33、複数回答）

問 33 あなた（あて名のご本人）は、介護保険に関する相談・苦情をどこにしていますか。（あてはまるものすべてに○）

介護保険に関する相談や苦情は「担当のケアマネジャー」が最も高く 63.2%である。「区の介護保険課または福祉事務所」は 12.2%である。

＜要介護度別の傾向＞

要介護 4 と 5 では「担当のケアマネジャー」がそれぞれ 71.2%と 71.5%で高い。要介護 5 では「区の介護保険課または福祉事務所」も 19.7%と高くなっている。



＜要介護度別の比較＞

		全体	担当の ケアマネ ジャー	区の介護保 険課ま たは福祉 事務所	在宅介護 支援セン ター	サー ビス事業 者	医師	民生 委員	保健福祉 サービス 苦情調整 委員	都の国保 連合会	その他	どこに してい いいか わから ない	相談・ 苦情は 特に ない	無 回答	
全体		1960 100.0	1238 63.2	239 12.2	128 6.5	121 6.2	120 6.1	10 0.5	9 0.5	4 0.2	43 2.2	126 6.4	279 14.2	163 8.3	
要介護 度別	要支援	238 100.0	143 60.1	28 11.8	12 5.0	15 6.3	16 6.7	3 1.3	0 0.0	0 0.0	1 0.4	10 4.2	48 20.2	15 6.3	
	要介護1	508 100.0	316 62.2	48 9.4	32 6.3	28 5.5	38 7.5	4 0.8	1 0.2	2 0.4	12 2.4	27 5.3	84 16.5	40 7.9	
	要介護2	234 100.0	148 63.2	33 14.1	13 5.6	13 5.6	6 2.6	1 0.4	2 0.9	0 0.0	3 1.3	25 10.7	28 12.0	16 6.8	
	要介護3	382 100.0	246 64.4	49 12.8	32 8.4	25 6.5	24 6.3	1 0.3	1 0.3	0 0.0	13 3.4	21 5.5	49 12.8	30 7.9	
	要介護4	267 100.0	190 71.2	27 10.1	12 4.5	14 5.2	14 5.2	0 0.0	2 0.7	0 0.0	6 2.2	17 6.4	34 12.7	16 6.0	
	要介護5	228 100.0	163 71.5	45 19.7	24 10.5	21 9.2	17 7.5	0 0.0	3 1.3	2 0.9	4 1.8	14 6.1	24 10.5	14 6.1	

上段：実数
下段：%

⑥利用している介護サービスへの注文・意見（問 34、自由回答）

問 34 あなた（あて名のご本人）が現在、利用されている介護サービスについて、苦情以外で何かご注文やご意見はありますか。ご自由に記入ください。（主な利用サービス2つまで）

項目別の主な意見は、次のとおりである。（回答者 474 人）

サービス	注文・意見
訪問介護	◇ 時間をもっと長くして欲しい。 ◇ できる範囲を広げて欲しい。（家事援助、医療行為など。） ◇ 利用者が不在のときもサービスを利用できるようにして欲しい。（掃除など） ◇ 救急車にヘルパーが同乗できないのは納得できない。 ◇ 利用を2時間空けるのではなく、必要に応じて利用できるようにして欲しい。 ◇ 利用者の意見が反映されていない。
訪問リハビリテーション	◇ リハビリ専門スタッフに来てもらいたい。 ◇ 点数が高いため利用できない。
通所リハビリテーション	◇ 回数や時間を増やして欲しい。 ◇ 施設が狭い。
訪問入浴	◇ 同じスタッフに対応してもらいたい。 ◇ 回数を増やして欲しい。
デイサービス	◇ 利用日を増やして欲しい。 ◇ 終了の時間をもう少し長くして欲しい。 ◇ 送迎バスの時間が一定ではないので不便である。 ◇ 送迎バスを充実して欲しい。 ◇ 週2回風呂に入れていただきたい。 ◇ 散髪をやってもらいたい。 ◇ 認知症予防の取り組みをして欲しい。 ◇ 家族が在宅でも利用できるようにして欲しい。
ショートステイ	◇ 利用日数を増やして欲しい。 ◇ 何か楽しみを持たせて欲しい。 ◇ 待機時間を短くして欲しい。 ◇ 急に必要になったときに対応して欲しい。 ◇ 送迎時間に柔軟性を持たせて欲しい。
福祉用具	◇ 金額をもっと増やして欲しい。 ◇ レンタル料が高すぎる。
住宅改修	◇ 金額をもっと増やして欲しい。
その他	◇ タクシーを利用しやすくして欲しい。 ◇ 入退院時に利用できる車があるとよい。 ◇ 夜の泊まりサービスがあるとよい。 ◇ ヘルパーの横の連携がとれていない。 ◇ 担当のヘルパーを変えないで欲しい。 ◇ ヘルパーの力量等に差がある。 ◇ ヘルパーの質を向上して欲しい。 ◇ 食事のサービスを改善して欲しい。

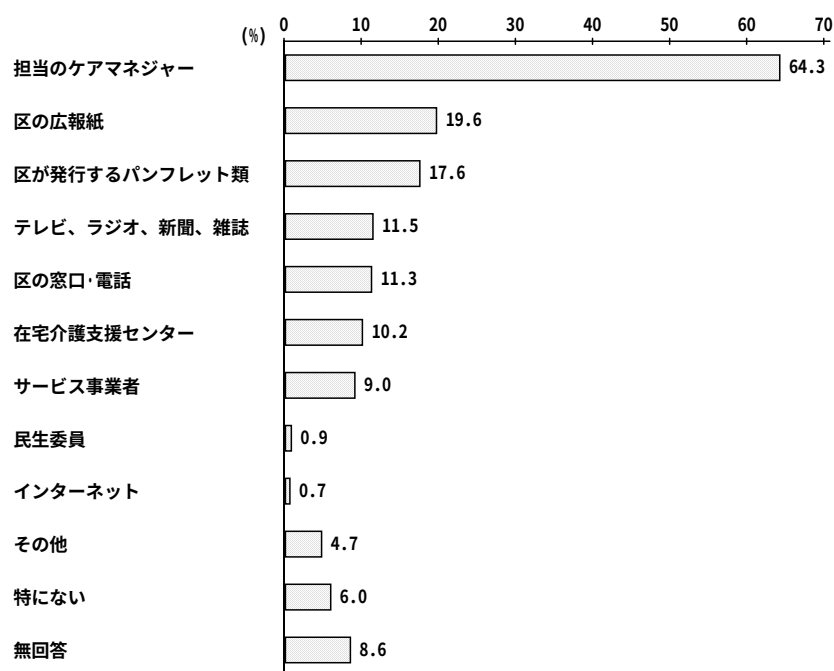
⑦介護保険制度・サービス事業者に関する情報の入手先（問 35、複数回答）

問 35 あなた（あて名のご本人）は、介護保険の制度・サービス事業者等に関する情報は、どこから得ていますか。（あてはまるものすべてに○）

介護保険制度やサービス事業者に関する情報入手先は「担当のケアマネジャー」が最も高く 64.3%である。「区の広報紙」は 19.6%、「区が発行するパンフレット類」は 17.6%である。

＜要介護度別の傾向＞

いずれの要介護度でも「担当のケアマネジャー」の割合が最も高い。次いで割合の高い「区の広報紙」は要介護3～5で高く、特に要介護5では 30.3%となっている。



＜要介護度別の比較＞

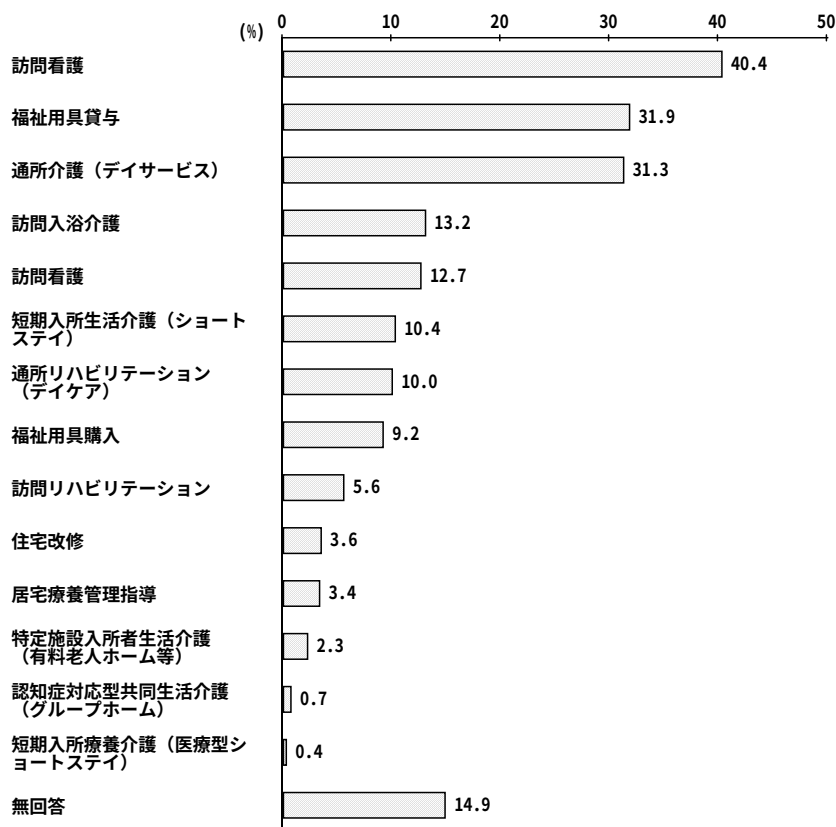
	全体	担当のケアマネ	区の広報紙	区が発行するパンフレット類	テレビ、ラジオ、新聞、雑誌	区の窓口・電話	在宅介護支援センター	サービス事業者	民生委員	インターネット	その他	特にない	無回答
全体	1960	1260	385	344	226	222	199	177	17	14	93	117	169
要介護度別	100.0	64.3	19.6	17.6	11.5	11.3	10.2	9.0	0.9	0.7	4.7	6.0	8.6
要支援	238	143	43	38	22	28	13	24	6	0	10	14	21
要介護1	100.0	60.1	18.1	16.0	9.2	11.8	5.5	10.1	2.5	0.0	4.2	5.9	8.8
要介護2	508	321	91	84	60	56	50	39	4	1	35	30	38
要介護3	100.0	63.2	17.9	16.5	11.8	11.0	9.8	7.7	0.8	0.2	6.9	5.9	7.5
要介護4	234	156	29	35	24	33	29	22	2	2	14	11	13
要介護5	100.0	66.7	12.4	15.0	10.3	14.1	12.4	9.4	0.9	0.9	6.0	4.7	5.6
要介護6	382	257	86	75	47	39	42	37	2	5	15	30	28
要介護7	100.0	67.3	22.5	19.6	12.3	10.2	11.0	9.7	0.5	1.3	3.9	7.9	7.3
要介護8	267	176	60	55	28	30	21	16	2	3	5	14	23
要介護9	100.0	65.9	22.5	20.6	10.5	11.2	7.9	6.0	0.7	1.1	1.9	5.2	8.6
要介護10	228	168	69	52	38	30	37	30	0	3	8	8	14
要介護11	100.0	73.7	30.3	22.8	16.7	13.2	16.2	13.2	0.0	1.3	3.5	3.5	6.1

上段：実数
下段：%

⑧平成 16 年 10 月に受けていた介護サービス（問 36、複数回答）

問 36 介護サービスについておたずねします。あなた（あて名のご本人）が先月（平成16年10月）に受けていた介護サービスは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（あてはまるものすべてに○）

調査実施直前の 1 月間に受けていた介護サービスは、「訪問介護」（40.4%）、「福祉用具貸与」（31.9%）、「通所介護」（31.3%）が主なものである。



<要介護度別の比較>

	全体	訪問看護	福祉用具貸与	通所介護（デイサービス）	訪問入浴介護	訪問看護	短期入所生活介護（ショートステイ）	通所リハビリテーション（デイケア）	福祉用具購入	訪問リハビリテーション	住宅改修	居宅療養管理指導	特定施設入所者生活介護（有料老人ホーム等）	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	短期入所療養介護（医療型ショートステイ）	無回答
全体	1960	791	625	614	258	249	204	196	180	109	70	66	46	14	8	293
	100.0	40.4	31.9	31.3	13.2	12.7	10.4	10.0	9.2	5.6	3.6	3.4	2.3	0.7	0.4	14.9
要支援	238	97	30	35	3	7	5	10	15	4	6	8	2	0	0	68
	100.0	40.8	12.6	14.7	1.3	2.9	2.1	4.2	6.3	1.7	2.5	3.4	0.8	0.0	0.0	28.6
要介護1	508	210	118	126	21	27	6	46	50	15	20	11	5	2	1	85
	100.0	41.3	23.2	24.8	4.1	5.3	1.2	9.1	9.8	3.0	3.9	2.2	1.0	0.4	0.2	16.7
要介護2	234	83	74	94	20	17	19	32	21	13	7	8	2	2	2	22
	100.0	35.5	31.6	40.2	8.5	7.3	8.1	13.7	9.0	5.6	3.0	3.4	0.9	0.9	0.9	9.4
要介護3	382	143	148	166	46	51	61	47	45	24	17	11	15	6	1	30
	100.0	37.4	38.7	43.5	12.0	13.4	16.0	12.3	11.8	6.3	4.5	2.9	3.9	1.6	0.3	7.9
要介護4	267	103	113	116	63	53	52	30	27	18	11	9	10	2	0	23
	100.0	38.6	42.3	43.4	23.6	19.9	19.5	11.2	10.1	6.7	4.1	3.4	3.7	0.7	0.0	8.6
要介護5	228	121	128	62	99	90	56	25	20	32	7	19	11	2	4	16
	100.0	53.1	56.1	27.2	43.4	39.5	24.6	11.0	8.8	14.0	3.1	8.3	4.8	0.9	1.8	7.0

上段：実数
下段：%

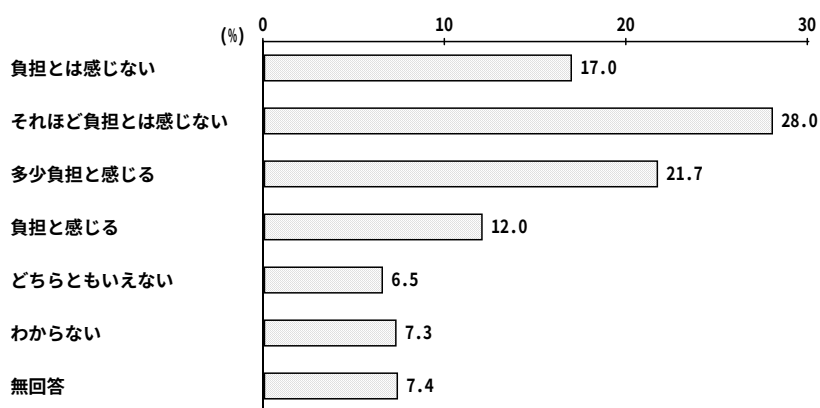
⑨介護サービス利用料の負担感（問 37）

問 37 あなた（あて名のご本人）は、介護サービスの利用料1割負担分についてどのように感じていますか。
（○は1つ）

介護サービス利用料については「負担とは感じない」が 17.0%で、「それほど負担とは感じない」をあわせると 45.0%となる。「多少負担と感じる」は 21.7%、「負担と感じる」は 12.0%である。

＜要介護度別の傾向＞

「多少負担と感じる」と「負担と感じる」をあわせた割合は、要介護度が重いほど高く、要介護3は 39.8%、要介護4は 41.2%、要介護5は 43.9%となっている。



＜要介護度別の比較＞

	全体	負担とは感じない	それほど負担とは感じない	多少負担と感じる	負担と感じる	どちらともいえない	わからない	無回答
全体	1960	333	549	426	236	128	143	145
	100.0	17.0	28.0	21.7	12.0	6.5	7.3	7.4
要介護度別	238	60	82	34	19	13	12	18
	100.0	25.2	34.5	14.3	8.0	5.5	5.0	7.6
要介護1	508	101	164	98	48	34	21	42
	100.0	19.9	32.3	19.3	9.4	6.7	4.1	8.3
要介護2	234	41	65	57	21	21	21	8
	100.0	17.5	27.8	24.4	9.0	9.0	9.0	3.4
要介護3	382	52	89	102	50	24	42	23
	100.0	13.6	23.3	26.7	13.1	6.3	11.0	6.0
要介護4	267	41	71	61	49	13	17	15
	100.0	15.4	26.6	22.8	18.4	4.9	6.4	5.6
要介護5	228	25	59	59	41	19	17	8
	100.0	11.0	25.9	25.9	18.0	8.3	7.5	3.5

上段：実数
下段：%

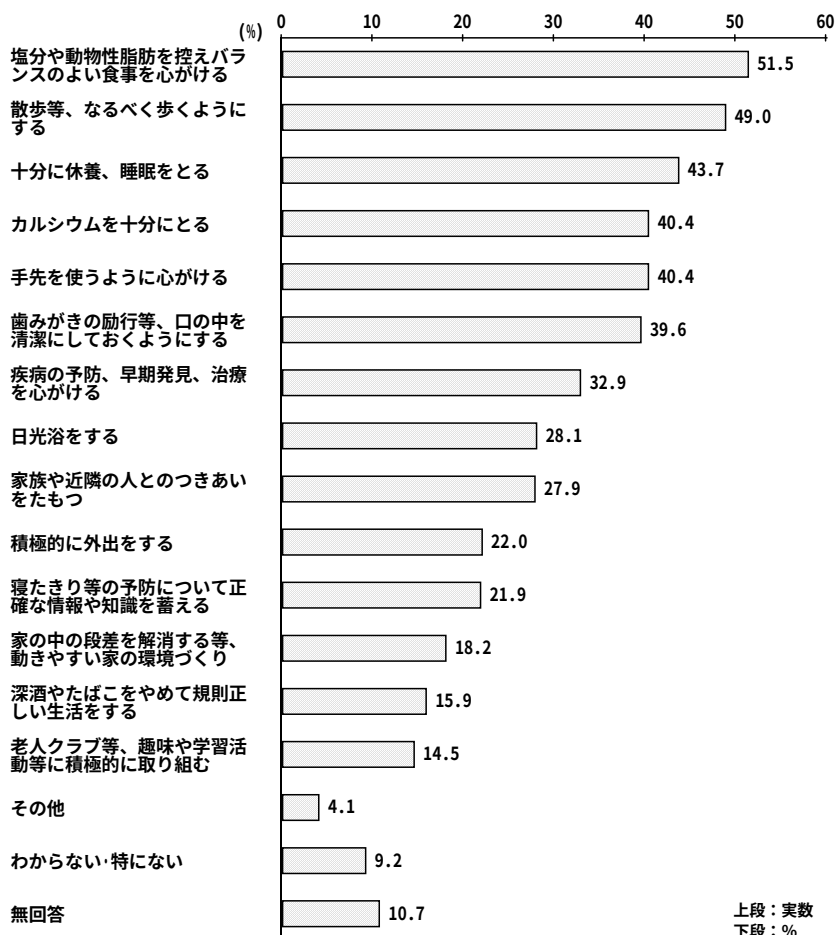
⑩寝たきりや認知症（痴ほう）の改善に向けて必要な取り組み（問 38、複数回答）

問 38 寝たきりや痴ほうの改善のために、あなた（あて名のご本人）はどのような取り組みが必要と考えますか。
（あてはまるものすべてに○）

寝たきりや認知症の改善に向けて必要な取り組みは、「塩分や動物性脂肪を控え、バランスのよい食事を心がける」が51.5%で最も高い。以下、「散歩など、なるべく歩くようにする」（49.0%）、「十分に休養、睡眠をとる」（43.7%）、「カルシウムを十分にとる」（40.4%）、「手先を使うように心がける」（40.4%）、「歯みがきの励行等、口の中を清潔にしておくようにする」（39.6%）が上位である。

＜要介護度別の傾向＞

要介護度が軽いほど、必要と考える取り組みの割合が高い。



＜要介護度別の比較＞

	全体	塩分や動物性脂肪を控え、バランスのよい食事を心がける	散歩等、なるべく歩くようにする	十分に休養、睡眠をとる	カルシウムを十分にとる	手先を使うように心がける	歯みがきの励行等、口の中を清潔にしておくようにする	疾病の予防、早期発見、治療を心がける	日光浴をする	家族や近隣の人とのつきあいをたもつ	積極的に外出をする	寝たきり等の予防について正確な情報や知識を蓄える	家の中の段差を解消する等、動きやすい家の環境づくり	深酒やたばこをやめて規則正しい生活をする	老人クラブ等、趣味や学習活動等に積極的に取り組む	その他	わからない・特にない	無回答
全体	1960 100.0	1009 51.5	960 49.0	856 43.7	792 40.4	791 40.4	776 39.6	644 32.9	550 28.1	547 27.9	432 22.0	429 21.9	356 18.2	312 15.9	285 14.5	81 4.1	180 9.2	210 10.7
要介護度別																		
要支援	238 100.0	149 62.6	155 65.1	130 54.6	128 53.8	128 53.8	125 52.5	105 44.1	77 32.4	104 43.7	76 31.9	81 34.0	50 21.0	55 23.1	54 22.7	8 3.4	5 2.1	20 8.4
要介護1	508 100.0	293 57.7	309 60.8	273 53.7	243 47.8	247 48.6	234 46.1	184 36.2	150 29.5	162 31.9	113 22.2	124 24.4	93 18.3	79 15.6	74 14.6	22 4.3	28 5.5	39 7.7
要介護2	234 100.0	128 54.7	137 58.5	102 43.6	101 43.2	91 38.9	85 36.3	70 29.9	73 31.2	78 33.3	55 23.5	45 19.2	40 17.1	36 15.4	43 18.4	6 2.6	16 6.8	22 9.4
要介護3	382 100.0	176 46.1	159 41.6	154 40.3	141 36.9	130 34.0	135 35.3	113 29.6	100 26.2	72 18.8	65 17.0	74 19.4	65 17.0	56 14.7	39 10.2	19 5.0	43 11.3	39 10.2
要介護4	267 100.0	130 48.7	101 37.8	96 36.0	92 34.5	99 37.1	92 34.5	83 31.1	67 25.1	59 22.1	55 20.6	47 17.6	48 18.0	48 18.0	35 13.1	10 3.7	39 14.6	30 11.2
要介護5	228 100.0	97 42.5	67 29.4	71 31.1	63 27.6	65 28.5	77 33.8	70 30.7	66 28.9	52 22.8	53 23.2	47 20.6	52 22.8	29 12.7	36 15.8	14 6.1	37 16.2	29 12.7

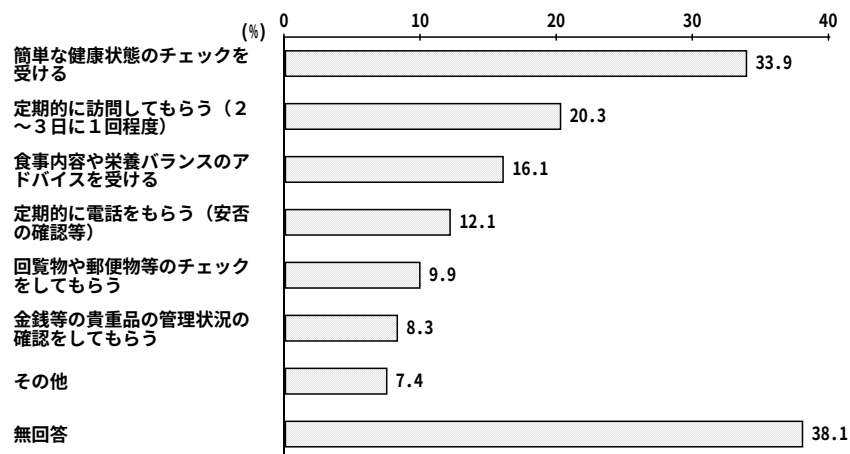
⑪ 普段の生活で必要な見守り（問 39、複数回答）

問 39 あなた（あて名のご本人）は、ふだんの生活でどのような見守りが必要ですか。あてはまるものに○をつけてください。（あてはまるものすべてに○）

普段の生活で必要と考える見守りは、「簡単な健康チェックを受ける」をあげる割合が 33.9%で最も高い。以下「定期的に訪問してもらう」が 20.3%、「食事内容や栄養バランスのアドバイスを受ける」が 16.1%、「定期的に電話をもらう」が 12.1%、「回覧板や郵便物のチェックをしてもらう」が 9.9%、「金銭等の貴重品の管理状況の確認をしてもらう」が 8.3%となっている。

＜要介護度別の傾向＞

いずれの要介護度でも「簡単な健康状態のチェックを受ける」の割合が高いが、その割合は要介護度が重いほど高くなる。要支援では無回答が 43.3%と割合が高い。



＜要介護度別の比較＞

	全体	簡単な健康状態のチェックを受ける	定期的に訪問してもらう（2～3日に1回程度）	食事内容や栄養バランスのアドバイスを受ける	定期的に電話をもらう（安否の確認等）	回覧板や郵便物等のチェックをしてもらう	金銭等の貴重品の管理状況の確認をしてもらう	その他	無回答
全体	1960	665	397	315	238	194	162	146	746
	100.0	33.9	20.3	16.1	12.1	9.9	8.3	7.4	38.1
要支援	238	62	34	33	42	10	8	12	103
	100.0	26.1	14.3	13.9	17.6	4.2	3.4	5.0	43.3
要介護1	508	158	116	91	86	49	36	31	171
	100.0	31.1	22.8	17.9	16.9	9.6	7.1	6.1	33.7
要介護2	234	77	47	40	32	32	26	9	94
	100.0	32.9	20.1	17.1	13.7	13.7	11.1	3.8	40.2
要介護3	382	144	87	75	33	52	44	37	131
	100.0	37.7	22.8	19.6	8.6	13.6	11.5	9.7	34.3
要介護4	267	107	56	33	20	24	25	26	101
	100.0	40.1	21.0	12.4	7.5	9.0	9.4	9.7	37.8
要介護5	228	95	42	33	10	18	15	27	87
	100.0	41.7	18.4	14.5	4.4	7.9	6.6	11.8	38.2

上段：実数
下段：%

(8) 医療について

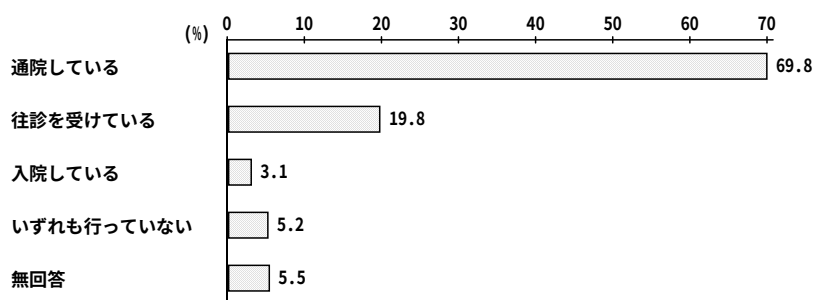
①通院状況（問 40、複数回答）

問 40 あなた（ご本人）は現在、通院や往診などで診療を受けていますか。（あてはまるものすべてに○）

「通院している」が 69.8%で、「往診を受けている」が 19.8%である。医療機関を受診していない人は 5.2%である。

＜要介護度別の傾向＞

要介護度が軽いほど「通院している」割合が高く、要介護度が重いほど「往診を受けている」割合が高くなっており、要介護5では「通院している」よりも「往診を受けている」割合のほうが高い。



＜要介護度別の比較＞

	全体	通院している	往診を受けている	入院している	いずれも行っていない	無回答
全体	1960 100.0	1369 69.8	388 19.8	60 3.1	101 5.2	107 5.5
要介護度別						
要支援	238 100.0	208 87.4	14 5.9	3 1.3	6 2.5	9 3.8
要介護1	508 100.0	437 86.0	35 6.9	8 1.6	15 3.0	24 4.7
要介護2	234 100.0	175 74.8	29 12.4	6 2.6	15 6.4	14 6.0
要介護3	382 100.0	241 63.1	91 23.8	11 2.9	31 8.1	21 5.5
要介護4	267 100.0	156 58.4	82 30.7	13 4.9	18 6.7	14 5.2
要介護5	228 100.0	83 36.4	127 55.7	18 7.9	11 4.8	5 2.2

上段：実数
下段：%

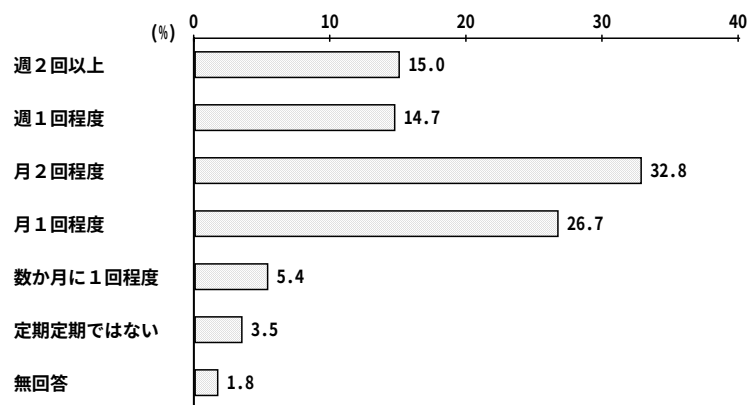
②通院・往診の頻度（問 40－1）

問 40－1 医療機関（病院・医院・診療所など）にはどのくらいの頻度で、通院や往診を受けたりしていますか。（○は1つ）

通院もしくは往診の頻度は、「週 2 回以上」が 15.0%、「週 1 回程度」が 14.7%、「月 2 回程度」が 32.8%、「月 1 回程度」が 26.7%となっており、あわせて 89.2%が定期的に医療機関を受診している。

＜要介護度別の傾向＞

全体の傾向と大きな違いはみられない。



＜要介護度別の比較＞

	全体	週2回以上	週1回程度	月2回程度	月1回程度	数か月に1回程度	定期定期ではない	無回答
全体	1692	254	249	555	452	92	60	30
	100.0	15.0	14.7	32.8	26.7	5.4	3.5	1.8
要支援	220	39	37	71	58	7	6	2
	100.0	17.7	16.8	32.3	26.4	3.2	2.7	0.9
要介護1	461	87	69	155	117	11	14	8
	100.0	18.9	15.0	33.6	25.4	2.4	3.0	1.7
要介護2	199	30	32	51	58	14	10	4
	100.0	15.1	16.1	25.6	29.1	7.0	5.0	2.0
要介護3	319	41	40	103	97	20	12	6
	100.0	12.9	12.5	32.3	30.4	6.3	3.8	1.9
要介護4	222	18	31	72	73	20	7	1
	100.0	8.1	14.0	32.4	32.9	9.0	3.2	0.5
要介護5	194	20	33	81	34	12	10	4
	100.0	10.3	17.0	41.8	17.5	6.2	5.2	2.1

上段：実数
下段：%

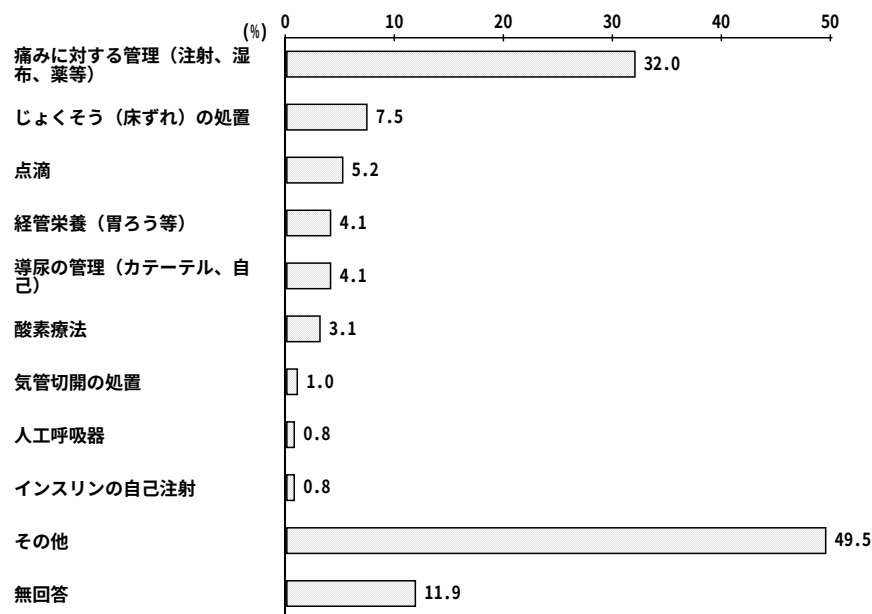
③往診の内容（問 40－2）

問 40－2 往診を受けているのはどのような内容ですか。（あてはまるものすべてに○）

往診を受けている人の内容をみると、「痛みに対する管理」が 32.0%で最も高く、次いで「じょうそうの処置」（7.5%）、「点滴」（5.2%）となっている。

＜要介護度別の傾向＞

特に要支援と要介護1では「痛みに対する管理」のため通院ではなく往診を受けている。



＜要介護度別の比較＞

	全体	射痛のじょう点滴経管ル、導尿酸素気管人工インスリンその他無回答
	全体	射痛のじょう点滴経管ル、導尿酸素気管人工インスリンその他無回答
全体	388	124 29 20 16 16 12 4 3 3 192 46
	100.0	32.0 7.5 5.2 4.1 4.1 3.1 1.0 0.8 0.8 49.5 11.9
要支援	14	6 0 0 0 0 1 0 0 0 3 4
	100.0	42.9 0.0 0.0 0.0 0.0 7.1 0.0 0.0 0.0 21.4 28.6
要介護1	35	16 1 1 0 0 1 0 1 1 15 4
	100.0	45.7 2.9 2.9 0.0 0.0 2.9 0.0 2.9 2.9 42.9 11.4
要介護2	29	10 0 2 0 0 2 0 1 0 11 7
	100.0	34.5 0.0 6.9 0.0 0.0 6.9 0.0 3.4 0.0 37.9 24.1
要介護3	91	36 7 6 1 1 4 0 0 0 46 7
	100.0	39.6 7.7 6.6 1.1 1.1 4.4 0.0 0.0 0.0 50.5 7.7
要介護4	82	27 1 3 0 2 2 1 0 0 45 9
	100.0	32.9 1.2 3.7 0.0 2.4 2.4 1.2 0.0 0.0 54.9 11.0
要介護5	127	26 18 7 14 13 2 3 1 2 69 13
	100.0	20.5 14.2 5.5 11.0 10.2 1.6 2.4 0.8 1.6 54.3 10.2

上段：実数
下段：%

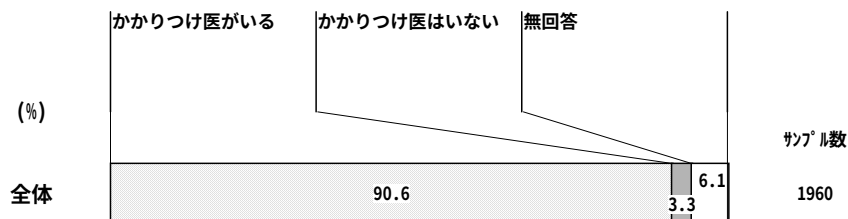
④かかりつけ医の有無（問 41）

問 41 あなた（あて名のご本人）は、かかりつけ医（診療所）はいますか。（○は1つ）

「かかりつけ医がいる」が 90.6%を占める。

＜要介護度別の傾向＞

全体の傾向と大きな違いはみられない。



＜要介護度別の比較＞

	全体	かかりつけ医がいる	かかりつけ医はいない	無回答	
全体	1960	1775	65	120	上段：実数
	100.0	90.6	3.3	6.1	下段：%
要支援	238	224	3	11	
	100.0	94.1	1.3	4.6	
要介護1	508	468	11	29	
	100.0	92.1	2.2	5.7	
要介護2	234	209	9	16	
	100.0	89.3	3.8	6.8	
要介護3	382	337	20	25	
	100.0	88.2	5.2	6.5	
要介護4	267	248	10	9	
	100.0	92.9	3.7	3.4	
要介護5	228	214	7	7	
	100.0	93.9	3.1	3.1	

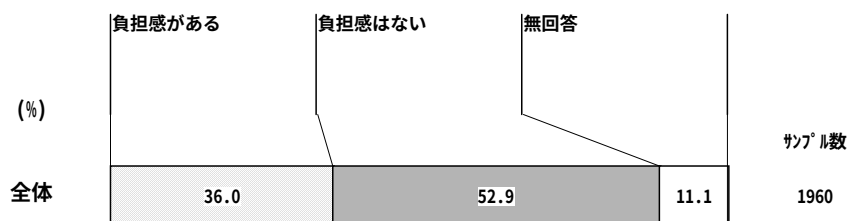
⑤医療費の負担感（問 42）

問 42 医療費に対する負担感がありますか。（○は1つ）

医療費について「負担感がある」が 36.0%、「負担感はない」が 52.9%である。

＜要介護度別の傾向＞

「負担感がある」割合は要介護 5（42.1%）、要介護 4（39.3%）、要介護 1（39.0%）で高い。



＜要介護度別の比較＞

	全体	負担感がある	負担感はない	無回答	
全体	1960	706	1037	217	上段：実数
	100.0	36.0	52.9	11.1	下段：%
要支援	238	71	137	30	
	100.0	29.8	57.6	12.6	
要介護1	508	198	255	55	
	100.0	39.0	50.2	10.8	
要介護2	234	70	143	21	
	100.0	29.9	61.1	9.0	
要介護3	382	141	203	38	
	100.0	36.9	53.1	9.9	
要介護4	267	105	141	21	
	100.0	39.3	52.8	7.9	
要介護5	228	96	113	19	
	100.0	42.1	49.6	8.3	

(9) 介護者について

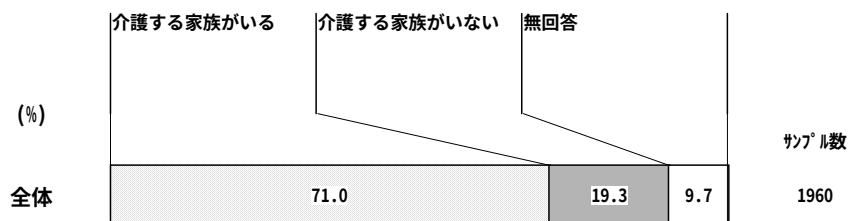
① 家族介護者の有無 (問 43)

問 43 現在、あなた (あて名のご本人) を介護している家族はいますか。 (○は1つ)

要介護者を「介護する家族がいる」が 71.0%、「介護する家族がない」が 19.3%である。

＜要介護度別の傾向＞

要介護 2～5 では家族介護者のいる割合が 81.6%～90.3%であるのに対し、要支援では 45.8%、要介護 1 では 55.7%と低くなっている。



＜要介護度別の比較＞

	全体	介護する家族がいる	介護する家族がない	無回答	
全体	1960 100.0	1391 71.0	379 19.3	190 9.7	上段：実数 下段：%
要支援	238 100.0	109 45.8	86 36.1	43 18.1	
要介護1	508 100.0	283 55.7	165 32.5	60 11.8	
要介護2	234 100.0	191 81.6	29 12.4	14 6.0	
要介護3	382 100.0	319 83.5	40 10.5	23 6.0	
要介護4	267 100.0	241 90.3	12 4.5	14 5.2	
要介護5	228 100.0	204 89.5	19 8.3	5 2.2	

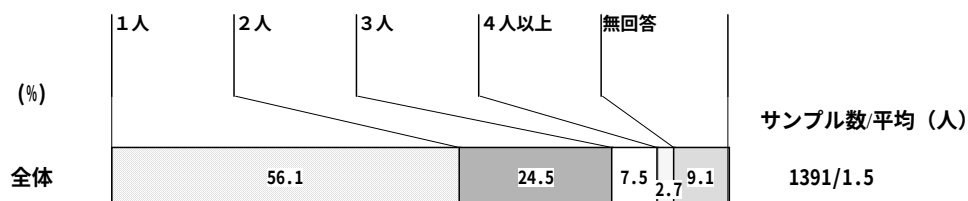
② 家族介護者の人数 (問 43-1)

問 43-1 あなた (あて名のご本人) を介護している家族は何人いますか。

家族介護者がいる場合の人数をみると「1人」が 56.1%、「2人」が 24.5%となっており、平均は 1.5 人である。

＜要介護度別の傾向＞

要介護 3～5 では家族介護者が「2人」の割合が 27.0%～30.4%で高い。



＜要介護度別の比較＞

	全体	1人	2人	3人	4人以上	無回答	平均	
全体	1391 100.0	781 56.1	341 24.5	105 7.5	38 2.7	126 9.1	1.5人	上段：実数 下段：%
要支援	109 100.0	66 60.6	19 17.4	8 7.3	3 2.8	13 11.9	1.5人	
要介護1	283 100.0	165 58.3	54 19.1	19 6.7	9 3.2	36 12.7	1.5人	
要介護2	191 100.0	112 58.6	41 21.5	18 9.4	2 1.0	18 9.4	1.5人	
要介護3	319 100.0	178 55.8	91 28.5	24 7.5	9 2.8	17 5.3	1.6人	
要介護4	241 100.0	134 55.6	65 27.0	14 5.8	9 3.7	19 7.9	1.6人	
要介護5	204 100.0	109 53.4	62 30.4	20 9.8	4 2.0	9 4.4	1.6人	

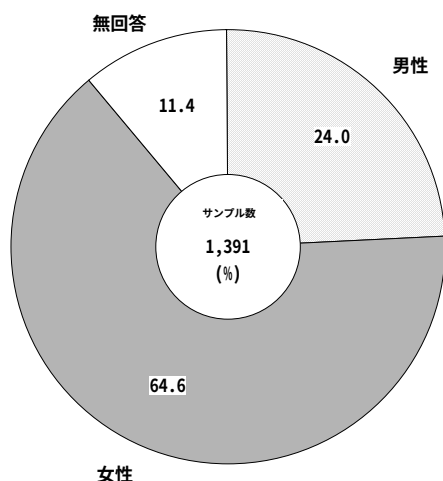
③主な家族介護者の性別・年齢・続柄（問 43－2）

問 43－2 あなた（あて名のご本人）を主に介護している方（おひとり）の性別・年齢・続柄について、あてはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。（○は1つずつ）

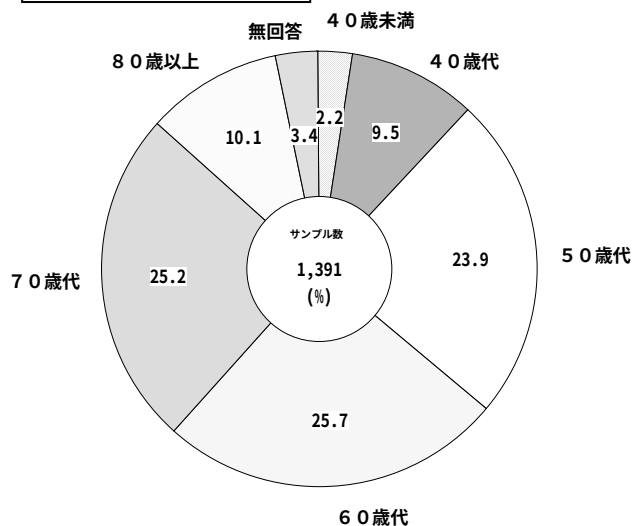
主な家族介護者の性別は、「男性」が24.0%、「女性」が64.6%である。

主な家族介護者の年齢は、「60歳代」が25.7%、「70歳代」が25.2%、「80歳以上」が10.1%であり、60歳以上の介護者が61.0%を占める。

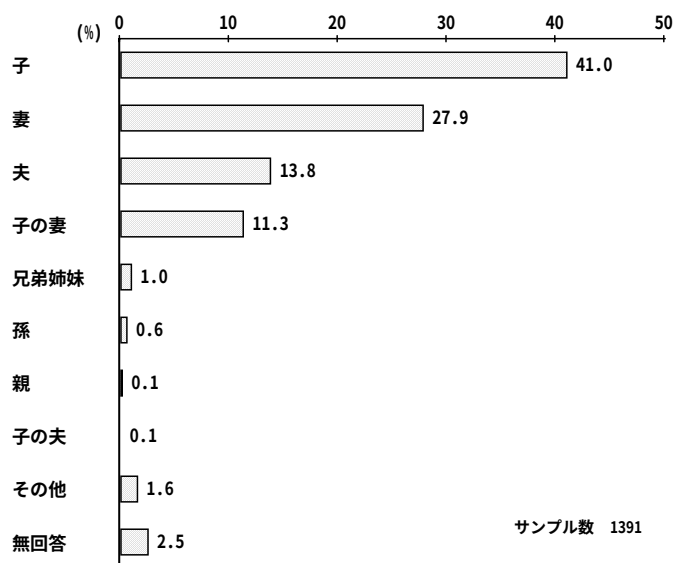
主な家族介護者の性別



主な家族介護者の年齢



主な家族介護者の続柄は、「子」が41.0%で最も高い。次いで「妻」（27.9%）、「夫」（13.8%）、「子の妻」（11.3%）となっている。



(10) 介護の状況について

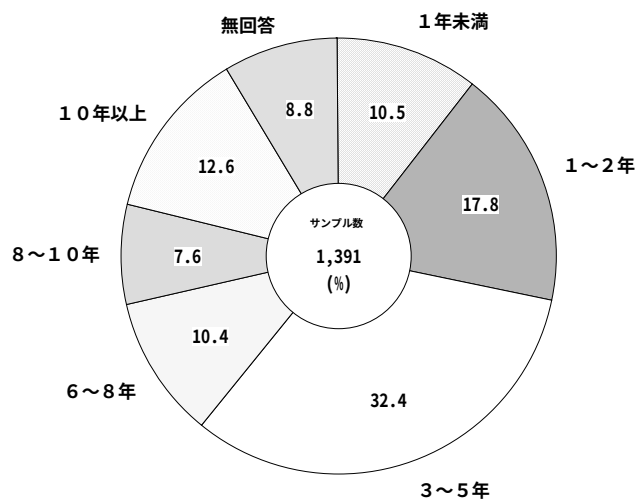
①介護年数（問 44）

問 44 あて名のご本人の介護をはじめて、どのくらいですか。（○は1つ）

調査対象の要介護者の介護年数は「1年未満」が10.5%、「1～2年」が17.8%、「3～5年」が32.4%で5年以下が60.7%を占める。「6～8年」が10.4%、「8～10年」が7.6%、「10年以上」が12.6%である。

＜要介護度別の傾向＞

要介護度が重いほど介護年数が長く、介護が「10年以上」の割合は、要介護3が15.0%、要介護4が14.9%、要介護5が19.1%となっている。



＜要介護度別の比較＞

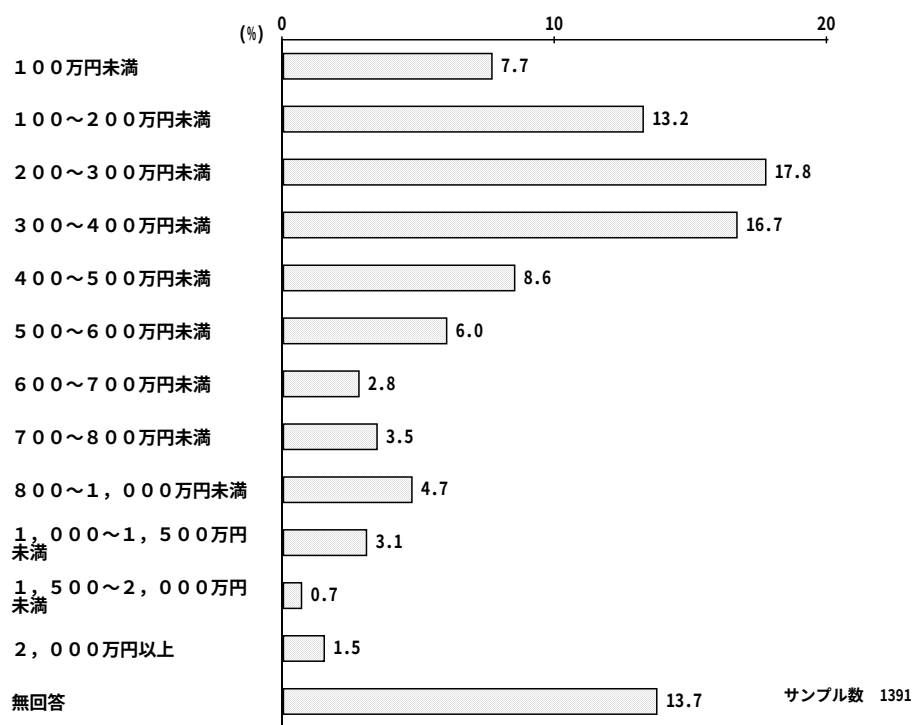
		全体	1年未満	1～2年	3～5年	6～8年	8～10年	10年以上	無回答
全体		1391	146	247	450	145	106	175	122
		100.0	10.5	17.8	32.4	10.4	7.6	12.6	8.8
要介護度別	要支援	109	14	23	20	6	6	6	34
		100.0	12.8	21.1	18.3	5.5	5.5	5.5	31.2
	要介護1	283	41	59	82	19	21	26	35
		100.0	14.5	20.8	29.0	6.7	7.4	9.2	12.4
	要介護2	191	23	37	71	6	19	17	18
		100.0	12.0	19.4	37.2	3.1	9.9	8.9	9.4
	要介護3	319	37	52	105	44	18	48	15
		100.0	11.6	16.3	32.9	13.8	5.6	15.0	4.7
要介護4		241	13	39	95	33	21	36	4
		100.0	5.4	16.2	39.4	13.7	8.7	14.9	1.7
	要介護5	204	15	32	64	34	17	39	3
		100.0	7.4	15.7	31.4	16.7	8.3	19.1	1.5

上段：実数
下段：%

②世帯の税込み年収（問 45）

問 45 あて名のご本人がお住まいの世帯の税込み年収（年金含む）をお答えください。（○は1つ）

世帯の税込み年収は、300 万円未満が 38.7%、300 万円以上が 47.6%である。



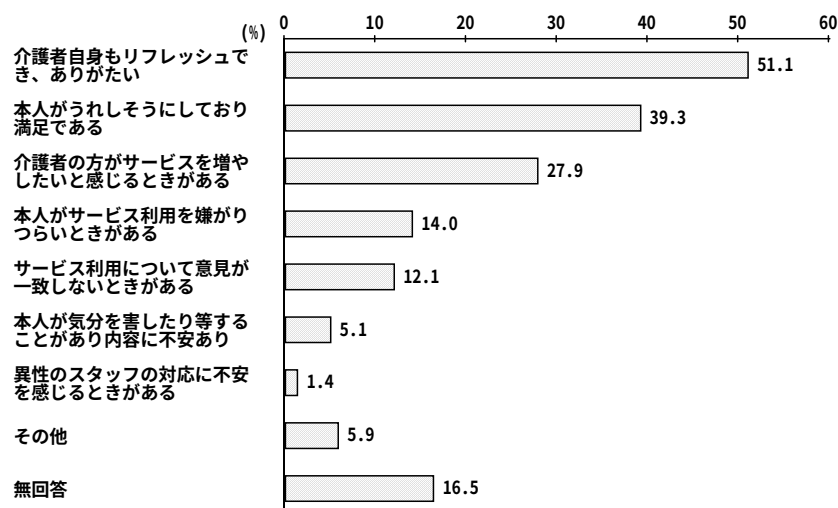
③介護サービス利用時の介護者の意識（問 46、複数回答）

問 46 あて名のご本人が介護サービスを利用されているとき、介護者ご自身はどのようにお感じですか。
(あてはまるものすべてに○)

介護サービスを利用することでの意識としては、「介護者自身もリフレッシュできありがたい」が51.1%で高く、次いで「本人がうれしそうにしており満足である」(39.3%)、「本人よりも介護者の方がサービス利用を増やしたいと感じるときがある」(27.9%)が高い。

＜要介護度別の傾向＞

要介護度が重いほど「介護者自身もリフレッシュでき、ありがたい」の割合が高い。また「介護者の方がサービス利用を増やしたいと感じるときがある」の割合も高い。要支援では無回答の割合が高い。



＜要介護度別の比較＞

	全体	介護者自身もリフレッシュでき、ありがたい	本人がうれしそうにしており満足である	介護者の方がサービスを増やしたいと感じるときがある	本人がサービス利用を嫌がりつらいときがある	サービス利用について意見が一致しないときがある	本人が気分を害したり等することがあり内容に不安あり	異性のスタッフの対応に不安を感じる時がある	その他	無回答
全体	1391	711	546	388	195	169	71	20	82	229
	100.0	51.1	39.3	27.9	14.0	12.1	5.1	1.4	5.9	16.5
要支援	109	36	38	10	2	2	0	0	6	44
	100.0	33.0	34.9	9.2	1.8	1.8	0.0	0.0	5.5	40.4
要介護1	283	127	108	62	21	34	6	4	20	58
	100.0	44.9	38.2	21.9	7.4	12.0	2.1	1.4	7.1	20.5
要介護2	191	98	78	42	22	27	6	2	8	35
	100.0	51.3	40.8	22.0	11.5	14.1	3.1	1.0	4.2	18.3
要介護3	319	177	124	107	69	52	17	4	17	36
	100.0	55.5	38.9	33.5	21.6	16.3	5.3	1.3	5.3	11.3
要介護4	241	137	106	87	49	31	23	5	17	19
	100.0	56.8	44.0	36.1	20.3	12.9	9.5	2.1	7.1	7.9
要介護5	204	121	83	72	29	20	19	5	13	17
	100.0	59.3	40.7	35.3	14.2	9.8	9.3	2.5	6.4	8.3

上段：実数
下段：%

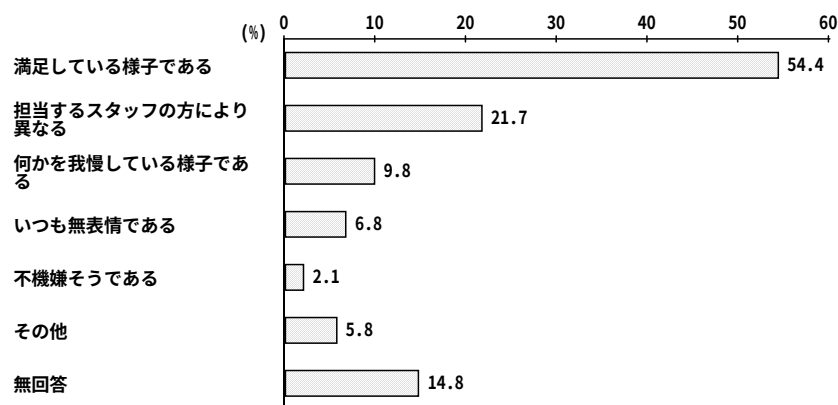
④介護サービス利用時の本人の様子（問 47、複数回答）

問 47 介護サービスを利用しているときのあて名のご本人の様子はいかがですか。（あてはまるものすべてに○）

介護サービスを利用している時の要介護者は「満足している様子である」が54.4%で最も高い。「担当するスタッフの方により異なる」が21.7%、「何かを我慢している様子である」が9.8%である。

＜要介護度別の傾向＞

「満足している様子である」は要介護度の重さに関わりなく高い割合である。「担当するスタッフの方により異なる」は、要介護度が重いほど割合が高く、要介護4では30.3%、要介護5では33.8%である。要支援と要介護1では無回答の割合が高い。



＜要介護度別の比較＞

	全体	満足している様子である	担当するスタッフの方により異なる	何かを我慢している様子である	いつも無表情である	不機嫌そうである	その他	無回答
全体	1391 100.0	757 54.4	302 21.7	137 9.8	95 6.8	29 2.1	80 5.8	206 14.8
要支援	109 100.0	52 47.7	11 10.1	5 4.6	1 0.9	0 0.0	1 0.9	42 38.5
要介護1	283 100.0	156 55.1	39 13.8	19 6.7	9 3.2	3 1.1	17 6.0	58 20.5
要介護2	191 100.0	117 61.3	29 15.2	24 12.6	8 4.2	2 1.0	10 5.2	24 12.6
要介護3	319 100.0	180 56.4	76 23.8	36 11.3	26 8.2	10 3.1	21 6.6	37 11.6
要介護4	241 100.0	131 54.4	73 30.3	30 12.4	22 9.1	6 2.5	13 5.4	19 7.9
要介護5	204 100.0	103 50.5	69 33.8	21 10.3	27 13.2	8 3.9	16 7.8	9 4.4

上段：実数
下段：%

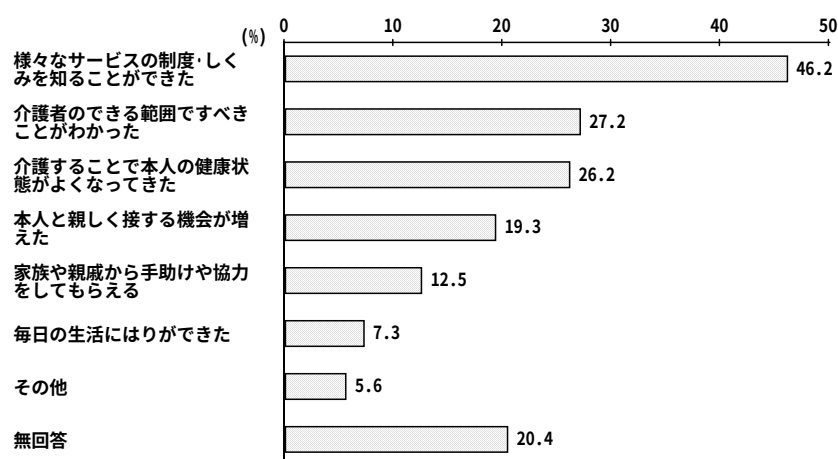
⑤介護をされていてよかったと感じること（問 48、複数回答）

問 48 介護をされていて、よかったと感じることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

介護をされていてよかったと感じたことは、「様々なサービスの制度・しくみを知ることができた」が 46.2%で最も高く、以下「介護者のできる範囲ですべきことがわかった」（27.2%）、「介護することで本人の健康状態がよくなってきた」（26.2%）、「本人と親しく接する機会が増えた」（19.3%）、「家族や親戚から手助けをしてもらえる」（12.5%）、「毎日の生活にはりができた」（7.3%）となっている。

＜要介護度別の傾向＞

「様々なサービスの制度・しくみを知ることができた」「介護者のできる範囲ですべきことがわかった」「介護することで本人の健康状態がよくなってきた」は、要介護度が重くなるほど回答割合が高い。要支援では無回答の割合が高い。



＜要介護度別の比較＞

	全体	様々なサービスの制度・しくみを知ることができた	介護者のできる範囲ですべきことがわかった	介護することで本人の健康状態がよくなってきた	本人と親しく接する機会が増えた	家族や親戚から手助けや協力をしてもらえる	毎日の生活にはりができた	その他	無回答
全体	1391	642	378	365	269	174	102	78	284
	100.0	46.2	27.2	26.2	19.3	12.5	7.3	5.6	20.4
要支援	109	32	16	20	25	10	14	2	43
	100.0	29.4	14.7	18.3	22.9	9.2	12.8	1.8	39.4
要介護1	283	117	59	57	56	36	26	13	72
	100.0	41.3	20.8	20.1	19.8	12.7	9.2	4.6	25.4
要介護2	191	90	36	45	28	23	15	6	40
	100.0	47.1	18.8	23.6	14.7	12.0	7.9	3.1	20.9
要介護3	319	158	97	81	50	45	12	19	59
	100.0	49.5	30.4	25.4	15.7	14.1	3.8	6.0	18.5
要介護4	241	119	84	77	44	30	11	17	31
	100.0	49.4	34.9	32.0	18.3	12.4	4.6	7.1	12.9
要介護5	204	116	77	74	57	27	20	19	19
	100.0	56.9	37.7	36.3	27.9	13.2	9.8	9.3	9.3

上段：実数
下段：%

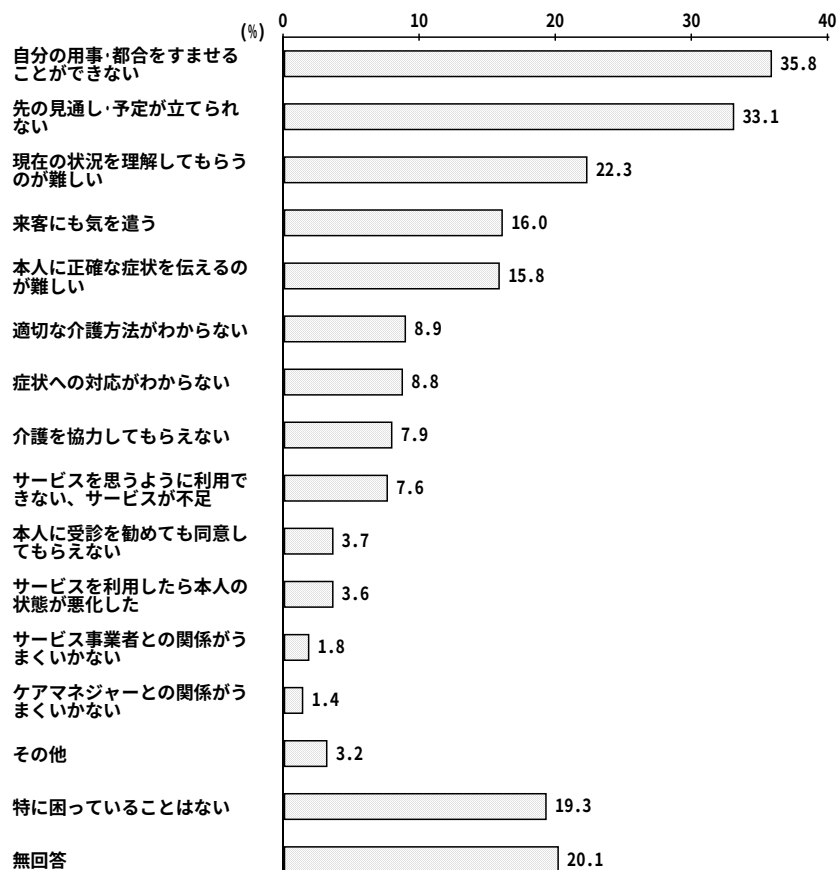
⑥介護をしていて困ったこと（問 49、複数回答）

問 49 介護をしていて、困ったこと・困っていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

介護をしていて困ったこと・困っていることは「自分の用事・都合をすませることができない」（35.8%）と「先の見通し・予定が立てられない」（33.1%）という時間管理についての項目が上位にきている。続いて「現在の状況を理解してもらうのが難しい」（22.3%）、「来客にも気を遣う」（16.0%）、「本人に正確な症状を伝えるのが難しい」（15.8%）が上位である。

《要介護度別の傾向》

要介護度が重いほど困ったこと・困っていることとしてあげられる件数が多く、特に要介護3～5では「自分の用事・都合をすませることができない」と「先の見通し・予定が立てられない」の割合がそれぞれ40%を超えている。要支援では無回答の割合が高い。



上段：実数
下段：%

＜要介護度別の比較＞

	全体	自分の用事・都合をすませることができない	先の見通し・予定が立てられない	現在の状況を理解してもらうのが難しい	来客にも気を遣う	本人に正確な症状を伝えるのが難しい	適切な介護方法がわからない	症状への対応がわからない	介護を協力してもらえない	サービスを思うように利用できない、サービスが不足	本人に受診を勧めても同意してもらえない	サービスを利用したら本人の状態が悪化した	サービス事業者との関係がうまくいかない	ケアマネジャーとの関係がうまくいかない	その他	特に困っていることはない	無回答
全体	1391 100.0	498 35.8	460 33.1	310 22.3	223 16.0	220 15.8	124 8.9	122 8.8	110 7.9	106 7.6	51 3.7	50 3.6	25 1.8	19 1.4	44 3.2	268 19.3	280 20.1
要支援	109 100.0	7 6.4	8 7.3	3 2.8	10 9.2	4 3.7	1 0.9	1 0.9	1 0.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.9	40 36.7	50 45.9
要介護1	283 100.0	60 21.2	56 19.8	44 15.5	35 12.4	34 12.0	17 6.0	13 4.6	14 4.9	18 6.4	7 2.5	4 1.4	5 1.8	6 2.1	11 3.9	74 26.1	82 29.0
要介護2	191 100.0	56 29.3	70 36.6	41 21.5	23 12.0	26 13.6	20 10.5	14 7.3	10 5.2	16 8.4	11 5.8	4 2.1	1 0.5	0 0.0	3 1.6	37 19.4	43 22.5
要介護3	319 100.0	138 43.3	132 41.4	93 29.2	57 17.9	63 19.7	29 9.1	36 11.3	33 10.3	20 6.3	19 6.0	10 3.1	8 2.5	1 0.3	8 2.5	47 14.7	40 12.5
要介護4	241 100.0	116 48.1	97 40.2	69 28.6	50 20.7	53 22.0	31 12.9	30 12.4	36 14.9	25 10.4	8 3.3	15 6.2	7 2.9	7 2.9	12 5.0	39 16.2	24 10.0
要介護5	204 100.0	113 55.4	91 44.6	55 27.0	45 22.1	35 17.2	24 11.8	25 12.3	16 7.8	24 11.8	5 2.5	17 8.3	4 2.0	5 2.5	8 3.9	25 12.3	17 8.3

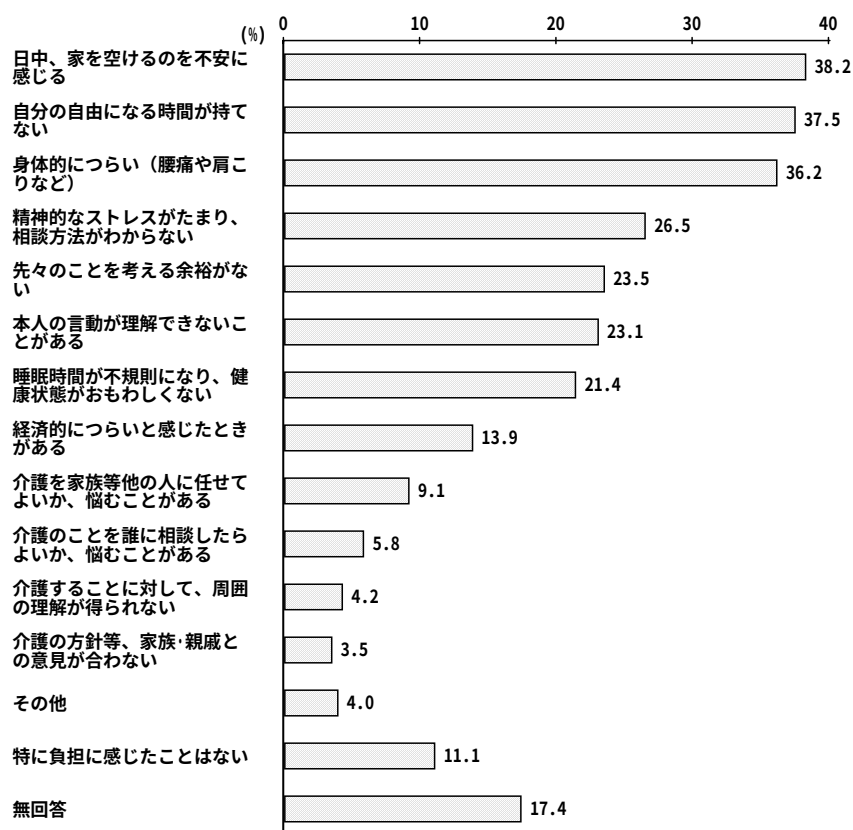
⑦介護をしていて負担に感じたこと（問 50、複数回答）

問 50 介護をしていて、介護者の方が負担に感じたことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

介護をしていて負担に感じたことは、「日中、家を空けるのを不安に感じる」（38.2%）、「自分の自由になる時間が持てない」（37.5%）、「身体的につらい」（36.2%）が上位にあげられている。続いて「精神的なストレスがたまり、相談方法がわからない」（26.5%）、「先々のことを考える余裕がない」（23.5%）、「本人の言動が理解できないことがある」（23.1%）、「睡眠時間が不規則になり、健康状態がおもわしくない」（21.4%）などがあげられている。

＜要介護度別の傾向＞

要介護度が重いほど負担としてあげられている件数が多くなっている。要介護3～5では特に、「身体的につらい」「日中、家を空けるのを不安に感じる」「自分の自由になる時間が持てない」の割合が高くなっている。要支援では無回答の割合が高い。



上段：実数
下段：%

＜要介護度別の比較＞

		全体	介護するにつらい（腰痛や肩こりなど） 精神的なストレスがたま り、相談方法がわからない に感じる 日中、家を空けるのを不安 に感じる 本人の言動が理解できない ことがある 自分の自由になる時間が持 てない 先々のことを考える余裕が ない 介護を家族等他の人に任せ てよいか、悩むことがある 経済的につらいと感じたと きがある 睡眠時間が不規則になり、 健康状態がおもわしくない 介護のことを誰に相談した らよいか、悩むことがある 介護の方針等、家族・親戚 との意見が合わない 介護することに対して、周 囲の理解が得られない その他 特に負担に感じたことはな い 無回答														
全体		1391 100.0	503 36.2	368 26.5	532 38.2	321 23.1	522 37.5	327 23.5	127 9.1	193 13.9	297 21.4	81 5.8	48 3.5	59 4.2	55 4.0	154 11.1	242 17.4
要介護度別	要支援	109 100.0	13 11.9	11 10.1	9 8.3	6 5.5	6 5.5	4 3.7	2 1.8	2 1.8	1 0.9	1 0.9	0 0.0	0 0.0	3 2.8	30 27.5	48 44.0
	要介護1	283 100.0	47 16.6	51 18.0	75 26.5	37 13.1	66 23.3	46 16.3	15 5.3	19 6.7	16 5.7	16 5.7	3 1.1	7 2.5	12 4.2	50 17.7	74 26.1
	要介護2	191 100.0	50 26.2	46 24.1	76 39.8	43 22.5	63 33.0	37 19.4	17 8.9	18 9.4	24 12.6	11 5.8	8 4.2	3 1.6	7 3.7	20 10.5	33 17.3
	要介護3	319 100.0	125 39.2	108 33.9	164 51.4	81 25.4	135 42.3	92 28.8	36 11.3	54 16.9	88 27.6	21 6.6	18 5.6	21 6.6	12 3.8	21 6.6	36 11.3
	要介護4	241 100.0	129 53.5	89 36.9	114 47.3	77 32.0	134 55.6	76 31.5	35 14.5	51 21.2	84 34.9	18 7.5	8 3.3	17 7.1	12 5.0	22 9.1	19 7.9
	要介護5	204 100.0	132 64.7	58 28.4	88 43.1	73 35.8	111 54.4	69 33.8	21 10.3	45 22.1	77 37.7	10 4.9	10 4.9	10 4.9	7 3.4	6 2.9	10 4.9

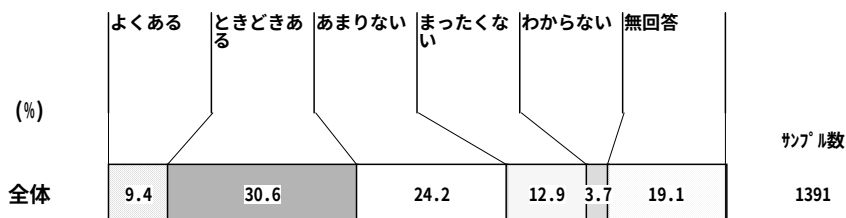
⑧要介護者にあたってしまった経験（問 51）

問 51 介護をしているときイライラして、高齢者にあたってしまうことがありますか。あてはまるもの1つに○をつけ、さしつかえなければ、そのときの様子をご記入ください。（○は1つ）

介護時に要介護者にあたってしまうことが「よくある」が 9.4%、「ときどきある」が 30.6%である。「あまりない」は 24.2%、「まったくない」は 12.9%である。

＜要介護度別の傾向＞

「よくある」と「ときどきある」をあわせた割合は、要介護度が重いほど高くなる傾向があり、特に要介護3では 49.2%、要介護4では 52.7%となっている。



＜要介護度別の比較＞

	全体	よくある	ときどきある	あまりない	まったくない	わからない	無回答
全体	1391	131	426	337	180	51	266
	100.0	9.4	30.6	24.2	12.9	3.7	19.1
要介護度別							
要支援	109	2	11	24	21	3	48
	100.0	1.8	10.1	22.0	19.3	2.8	44.0
要介護1	283	18	69	66	33	18	79
	100.0	6.4	24.4	23.3	11.7	6.4	27.9
要介護2	191	17	57	46	23	8	40
	100.0	8.9	29.8	24.1	12.0	4.2	20.9
要介護3	319	39	118	79	33	5	45
	100.0	12.2	37.0	24.8	10.3	1.6	14.1
要介護4	241	35	92	57	26	12	19
	100.0	14.5	38.2	23.7	10.8	5.0	7.9
要介護5	204	17	71	61	37	3	15
	100.0	8.3	34.8	29.9	18.1	1.5	7.4

上段：実数
下段：%

＜あたってしまった時の様子＞

項目別の主な意見は、次のとおりである。（回答者 379 人）

要介護者の行動	◇ 直前のことも覚えていない。 ◇ 何度も同じことを言う。 ◇ 自分勝手に感謝の気持ちがない。 ◇ 自分の都合の良いように考えをおしつける。 ◇ 自分でなにも出来ないのにいろいろ口を出す。 ◇ 一生懸命介護している時に不満を言う。 ◇ 発語が無い事を良い事に、言いたい放題言う。 ◇ 本人が怒り「言葉遣いが悪い」などと言り返される。 ◇ 本人がイライラして私にあたる。 ◇ こちらがむきになるほど、反抗的になる。うそをつく。暴力をふるおうとする。 ◇ 家を留守にするとき、なかなか外出させてもらえない。 ◇ 介護者を自分の手足のように使いたがる。それができないと手をあげる。だからこちらもお返しすることになる。 ◇ デイサービスに行きたくないと言われる。手をつけられないときがある。 ◇ 逆切れして、高齢者のほうが暴力をふるう。 ◇ 介助に対して理解できず暴力行動に出る。
要介護者とのコミュニケーション	◇ その時は喧嘩になるが、時間を置いて双方が反省。 ◇ けんかになる。 ◇ 笑顔をみる為の工夫をするのが介護の楽しみ。 ◇ 母と子の関係でお互いに言いたい事が言える関係で時々ヒステリーがおきる。 ◇ 本人の態度に対してのイライラなので、その場でぶつかって後は互いにケロリ。

*次ページに続く。

<あたってしまった時の様子（つづき）>

介護者の状況	◇ 自分が我慢する。
	◇ 本人に対しイライラしてしまう。
	◇ 言葉が強くなる。口調が強くなる。
	◇ つい言わなくても良い事を言ってしまう。本人が傷つくような事を言ってしまう。
	◇ 怒鳴る。怒りっぽくなる。
	◇ 大声でどなったりしかったりする。
	◇ 対応が非常に邪険になってしまう。
	◇ 自分の意見を押し付けてしまい、後で反省してしまう。
	◇ たたく（尻）。
	◇ 相手を理解するようにする。
	◇ 本人が同じ事を何度も何度も聞くので、腹を立てずにやさしく何度でも答える様にしている。
	◇ 私がいら立つと本人にもわかるので冷静に看病するよう努める。
	◇ 疲れている。
	◇ ストレスがたまる。

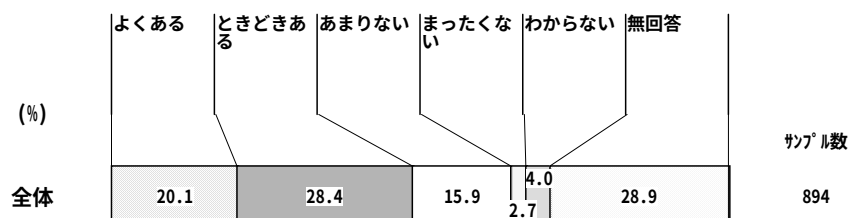
⑨要介護者にあたってしまった時の後悔や悩みの状況（問 52）

問 52 高齢者にあたってしまった後、後悔したり悩んだりしますか。あてはまるもの1つに○をつけ、さしつかえなければ、そのときの様子をご記入ください。（○は1つ）

介護時に要介護者にあたってしまうことがある人のうち、その後に後悔したり悩んだりすることが「よくある」は20.1%、「ときどきある」は28.4%である。「あまりない」は15.9%、「まったくない」は2.7%である。

<<要介護度別の傾向>>

「よくある」と「ときどきある」をあわせた割合は、要介護度が重いほど高くなる傾向がある。



<要介護度別の比較>

	全体	よくある	ときどきある	あまりない	まったくない	わからない	無回答	
全体	894	180	254	142	24	36	258	上段：実数
	100.0	20.1	28.4	15.9	2.7	4.0	28.9	下段：%
要介護度別								
要支援	37	5	2	9	0	3	18	
	100.0	13.5	5.4	24.3	0.0	8.1	48.6	
要介護1	153	21	44	27	5	6	50	
	100.0	13.7	28.8	17.6	3.3	3.9	32.7	
要介護2	120	22	34	22	3	4	35	
	100.0	18.3	28.3	18.3	2.5	3.3	29.2	
要介護3	236	44	76	36	6	12	62	
	100.0	18.6	32.2	15.3	2.5	5.1	26.3	
要介護4	184	53	51	24	6	5	45	
	100.0	28.8	27.7	13.0	3.3	2.7	24.5	
要介護5	149	34	41	23	3	5	43	
	100.0	22.8	27.5	15.4	2.0	3.4	28.9	

＜あたってしまった後の後悔や悩んだ時の様子＞

項目別の主な意見は、次のとおりである。（回答者 251 人）

後悔	◇ 心が痛む。 ◇ もう少しやさしく接すれば良かったと思うことがある。 ◇ おこってもしょうがないと後で後悔することがよくある。 ◇ 後でおこって悪かったと思う。 ◇ おこる自分がみじめになる。自分自身をなさげなく思う。 ◇ 本人もつらいのに申し訳なく気の毒に思う。 ◇ 言わなければ良かったと思う。 ◇ 次からは態度を改めようと思う。 ◇ 申し訳ないという気持ちになる。気の毒に思う。 ◇ 自分の意見を押し付けてしまい、後で反省してしまう。 ◇ 「あたらなければ」と悔やむことが多い。 ◇ 激しく後悔し、声をあげて激しく泣きながら反省する。 ◇ 自己嫌悪に陥る。 ◇ 冷静になった時、かわいそうに思う。 ◇ 全介助なので本人に罪はなくケアする者のいたらなさに対する後悔。 ◇ 私には無理、他人のほうがいいのではいつも思う。 ◇ やはり、親なのでたまにお尻をぶった時は罪悪感を非常にもつ。 ◇ 後で本人のほうがもっとつらいのだと後悔、私はいじわるなのだと悶々とする。
悩み	◇ よけいに相手に対して嫌悪感が強まり、顔も見たくないと思う。 ◇ あたってしまった後悩む。 ◇ 自分の思いが相手に通じなく何度も絶望し泣いた。 ◇ いっそ一緒に死んでしまいたいと思うことがある。先が見えない。 ◇ 言葉の虐待をしているんじゃないかと落ち込む。 ◇ 落ち込んでいろいろなことを考えてしまうことがある。 ◇ 後悔するというより、情けなく気分が落ち込む。 ◇ 自分の未熟さに落ち込み、うつ状態になったりすることがある。 ◇ 罪悪感におそわれ眠れなくなる。 ◇ 将来、自分の病気のことや仕事と介護の両立をさせていく事が出来るか、とても不安である。 ◇ 冷たい家族を持って非常に残念。人生が空しい。 ◇ 正当であるかどうか聞いて欲しい。
要介護者の状態	◇ 本人と約束したのにその実行となると動かない。 ◇ 意地になって反抗的になる。 ◇ 悲しそうな顔になる。 ◇ 本人は気にしていない様子。 ◇ 怒ると反抗的になったり、精神的に不安定になる為、悪循環になる。
後悔や悩む場面	◇ 2階の別室等に逃げ出して寝るようにしている。 ◇ 失禁による衣類の着替え、後処理時。 ◇ トイレなどで言うことが素直にわからないとき。 ◇ 意見があわない。 ◇ 物忘れがひどく、2分前に言った事も忘れて同じ事を繰り返す。 ◇ 自分の体調が悪かったりした時にある。風邪をひいていた時。 ◇ 思う様に物事が出来ないとき。 ◇ 同じ事を何回も言う ◇ 「ちょっと待って」が通じない時。 ◇ 何度言ってもきかせても、言う事を聞いてくれないとき。 ◇ あたった事により心臓の具合が悪くなってしまった時。 ◇ 食事を（副菜）を全く残す時など。特に野菜など。

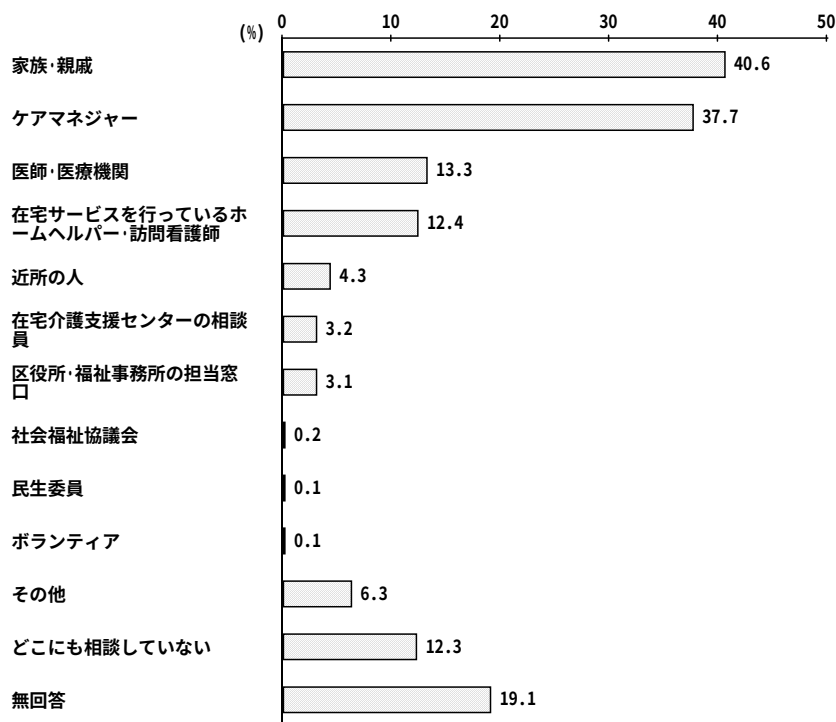
⑩介護でつらい時の相談先（問 53）

問 53 介護をしていてつらい時、どこ（だれ）に相談しましたか。（あてはまるものすべてに○）

介護をしていてつらいときの相談先は、「家族・親戚」が40.6%、「ケアマネジャー」が37.7%で、この2つが主な相談先である。一方、「どこにも相談していない」は12.3%である。

＜主な家族介護者の年齢別の傾向＞

いずれの年齢においても「家族・親戚」「ケアマネジャー」の割合が高く、特に40歳代、50歳代、60歳代の介護者で割合が高い。



＜主な家族介護者の年齢別の比較＞

	全体	家族・親戚	ケアマネジャー	医師・医療機関	在宅サービスを行っているホームヘルパー・訪問看護師	近所の人	在宅介護支援センターの相談員	区役所・福祉事務所の担当窓口	社会福祉協議会	民生委員	ボランティア	その他	どこにも相談していない	無回答
全体	1391 100.0	565 40.6	524 37.7	185 13.3	173 12.4	60 4.3	44 3.2	43 3.1	3 0.2	2 0.1	2 0.1	88 6.3	171 12.3	266 19.1
主な家族介護者の年齢別	40歳未満	31 100.0	10 32.3	11 35.5	4 12.9	5 16.1	0 0.0	1 3.2	1 3.2	0 0.0	0 0.0	4 12.9	3 9.7	7 22.6
	40歳代	132 100.0	63 47.7	52 39.4	17 12.9	18 13.6	6 4.5	3 2.3	4 3.0	0 0.0	0 0.0	11 8.3	13 9.8	24 18.2
	50歳代	333 100.0	161 48.3	125 37.5	35 10.5	43 12.9	18 5.4	9 2.7	6 1.8	0 0.0	0 0.0	30 9.0	39 11.7	54 16.2
	60歳代	357 100.0	156 43.7	149 41.7	54 15.1	44 12.3	20 5.6	15 4.2	14 3.9	1 0.3	0 0.0	27 7.6	48 13.4	52 14.6
	70歳代	351 100.0	116 33.0	131 37.3	53 15.1	44 12.5	14 4.0	8 2.3	15 4.3	2 0.6	2 0.6	15 4.3	38 10.8	70 19.9
	80歳以上	140 100.0	47 33.6	48 34.3	19 13.6	17 12.1	1 0.7	5 3.6	1 0.7	0 0.0	0 0.0	1 0.7	25 17.9	36 25.7

上段：実数
下段：%

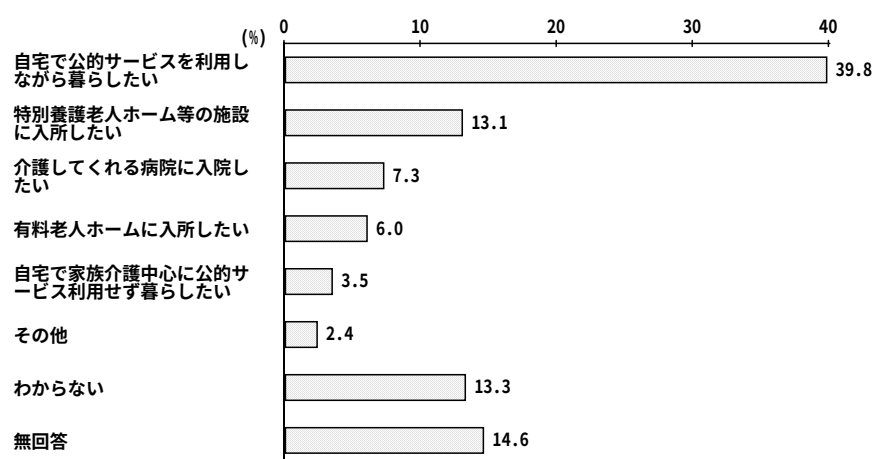
⑪自分の希望する介護（問 54）

問 54 今後、もし介護者ご自身が介護を受けることになったら、どのようにしたいと思いますか。（○は1つ）

介護者自身が要介護状態になった場合の希望する介護としては、「自宅で公的サービスを利用しながら暮らしたい」が 39.8%でもっと高い。次いで「特別養護老人ホーム等の施設に入所したい」が 13.1%おり、施設や有料老人ホームなどへの入所（入院）を希望する人の合計は 26.4%である。

＜主な家族介護者の年齢別の傾向＞

年齢が高いほど自宅での介護を希望する割合が高い。施設への入所（入院）は 60 歳代が 33.5%で高くなっている。40 歳未満と 40 歳代では「わからない」がそれぞれ 2 割程度で高い。



＜主な家族介護者の年齢別の比較＞

	全体	自宅で公的サービスを利用しながら暮らしたい	特別養護老人ホーム等の施設に入所したい	介護してくれる病院に入院したい	有料老人ホームに入所したい	自宅で家族介護中心に公的サービス利用せず暮らしたい	その他	わからない	無回答	
全体	1391 100.0	554 39.8	182 13.1	101 7.3	84 6.0	49 3.5	33 2.4	185 13.3	203 14.6	上段：実数 下段：%
主な家族介護者の年齢別										
40歳未満	31 100.0	8 25.8	2 6.5	3 9.7	1 3.2	1 3.2	3 9.7	7 22.6	6 19.4	
40歳代	132 100.0	48 36.4	22 16.7	2 1.5	9 6.8	3 2.3	4 3.0	26 19.7	18 13.6	
50歳代	333 100.0	132 39.6	31 9.3	26 7.8	30 9.0	9 2.7	6 1.8	56 16.8	43 12.9	
60歳代	357 100.0	139 38.9	63 17.6	28 7.8	29 8.1	13 3.6	7 2.0	35 9.8	43 12.0	
70歳代	351 100.0	152 43.3	43 12.3	27 7.7	12 3.4	16 4.6	10 2.8	42 12.0	49 14.0	
80歳以上	140 100.0	62 44.3	17 12.1	12 8.6	2 1.4	4 2.9	3 2.1	13 9.3	27 19.3	

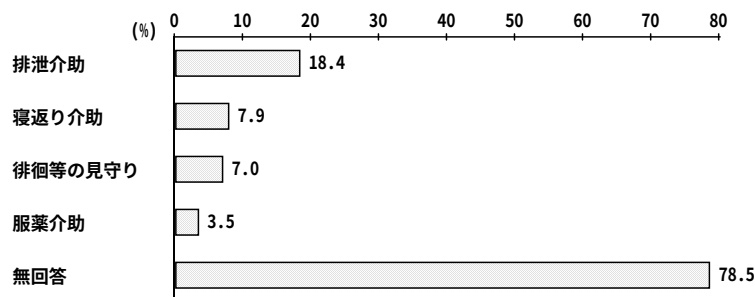
⑫夜間に受けた支援（問 55、複数回答）

問 55 次に示す介護内容のうち、特に夜間（深夜含む）に支援を受けたいものはどれですか。支援を受けたい項目と、希望する時間帯それぞれに○をつけてください。（あてはまるものすべてに○）

夜間に受けた支援としては、「排泄介助」が18.4%、「寝返り介助」が7.9%、「徘徊等の見守り」が7.0%、「服薬介助」が3.5%である。

＜要介護度別の傾向＞

「排泄介助」は要介護度が重いほど割合が高く、要介護4は31.5%、要介護5は31.9%となっている。「寝返り介助」も要介護4で12.4%、要介護5で15.7%となっている。「徘徊等の見守り」は要介護4で11.2%である。「服薬介助」は各要介護度で2.5%～5.4%である。



＜要介護度別の比較＞

	全体	排泄介助	寝返り介助	徘徊等の見守り	服薬介助	無回答
全体	1391 100.0	256 18.4	110 7.9	98 7.0	49 3.5	1092 78.5
要支援	109 100.0	5 4.6	2 1.8	3 2.8	3 2.8	102 93.6
要介護1	283 100.0	29 10.2	17 6.0	22 7.8	11 3.9	242 85.5
要介護2	191 100.0	21 11.0	7 3.7	7 3.7	8 4.2	165 86.4
要介護3	319 100.0	55 17.2	21 6.6	27 8.5	8 2.5	253 79.3
要介護4	241 100.0	76 31.5	30 12.4	27 11.2	13 5.4	158 65.6
要介護5	204 100.0	65 31.9	32 15.7	10 4.9	5 2.5	134 65.7

上段：実数
下段：%

それぞれの夜間に受けた支援について、希望する時間帯をみると、排泄介助は「午前2時台」と「午前3時台」を中心に各時間帯に分布している。

寝返り介助は、「午前2時台」の要望が39.1%で最も高い。

服薬介助は、「午後11時台」が57.1%で最も高く、夜間は20%以下である。

徘徊等の見守りは、各時間帯で希望する割合が高い。

＜夜間に受けた支援＞

上段：実数
下段：%

	全体	午後11時台	午前0時台	午前1時台	午前2時台	午前3時台	午前4時台	午前5時台	無回答
全体	513 100.0	143 27.9	88 17.2	119 23.2	168 32.7	156 30.4	132 25.7	131 25.5	20 3.9
1. 排泄介助	256 100.0	61 23.8	44 17.2	59 23.0	89 34.8	88 34.4	69 27.0	69 27.0	7 2.7
2. 寝返り介助	110 100.0	23 20.9	17 15.5	27 24.5	43 39.1	31 28.2	28 25.5	23 20.9	3 2.7
3. 服薬介助	49 100.0	28 57.1	8 16.3	2 4.1	4 8.2	7 14.3	6 12.2	10 20.4	5 10.2
4. 徘徊等の見守り	98 100.0	31 31.6	19 19.4	31 31.6	32 32.7	30 30.6	29 29.6	29 29.6	5 5.1

(11) 認知症（痴ほう）の状況について

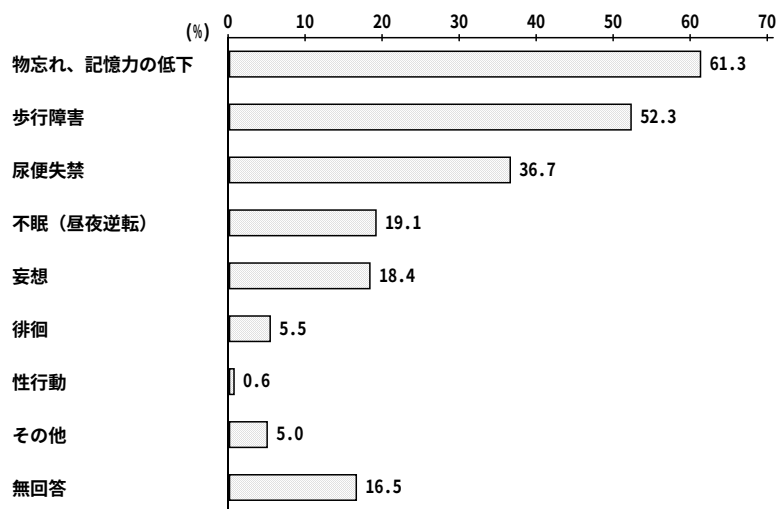
① 要介護者の問題行動（問 56）

問 56 介護を受けている方は、次のような症状がみられますか。（あてはまるものすべてに○）

要介護者の問題行動をみると、「物忘れ、記憶力の低下」が 61.3% で最も高い。次いで「歩行障害」（52.3%）、「尿便失禁」（36.7%）が高くなっている。

＜要介護度別の傾向＞

要介護度が重いほど症状のある割合が高いが、「歩行障害」「不眠」「妄想」「徘徊」「性行動」については、要介護 5 よりも要介護 4 の症状のある割合が高くなっている。



＜要介護度別の比較＞

	全体	物忘れ、 記憶力の低下	歩行障害	尿便失禁	不眠（昼夜逆転）	妄想	徘徊	性行動	その他	無回答
全体	1391 100.0	852 61.3	727 52.3	510 36.7	265 19.1	256 18.4	76 5.5	9 0.6	69 5.0	230 16.5
要介護度別										
要支援	109 100.0	47 43.1	30 27.5	12 11.0	6 5.5	3 2.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	44 40.4
要介護1	283 100.0	167 59.0	112 39.6	48 17.0	33 11.7	25 8.8	4 1.4	1 0.4	8 2.8	65 23.0
要介護2	191 100.0	118 61.8	98 51.3	51 26.7	29 15.2	28 14.7	4 2.1	0 0.0	4 2.1	30 15.7
要介護3	319 100.0	218 68.3	192 60.2	149 46.7	63 19.7	82 25.7	27 8.5	3 0.9	13 4.1	36 11.3
要介護4	241 100.0	148 61.4	155 64.3	118 49.0	73 30.3	65 27.0	27 11.2	2 0.8	11 4.6	25 10.4
要介護5	204 100.0	132 64.7	122 59.8	118 57.8	49 24.0	48 23.5	14 6.9	1 0.5	29 14.2	16 7.8

上段：実数
下段：%

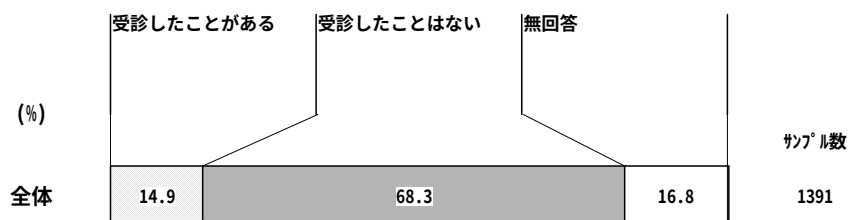
②認知症（痴ほう）専門病院の受診経験（問 57）

問 57 介護を受けている方は、痴ほうの専門病院を受診しましたか。（○は1つ）

要介護者が認知症専門病院を「受診したことがある」は 14.9%で、「受診したことはない」は 68.3%である。

＜要介護度別の傾向＞

要介護度が重いほど受診割合が高く、要介護 3 が 19.7%、要介護 4 が 19.1%、要介護 5 が 20.6%となっている。



＜要介護度別の比較＞

		全体	受診したことがある	受診したことはない	無回答
全体		1391	207	950	234
		100.0	14.9	68.3	16.8
要介護度別	要支援	109	5	61	43
		100.0	4.6	56.0	39.4
	要介護1	283	23	199	61
		100.0	8.1	70.3	21.6
	要介護2	191	23	136	32
		100.0	12.0	71.2	16.8
要介護3		319	63	215	41
		100.0	19.7	67.4	12.9
	要介護4	241	46	171	24
要介護4		100.0	19.1	71.0	10.0
	要介護5	204	42	145	17
		100.0	20.6	71.1	8.3

上段：実数
下段：%

③高齢者保健福祉施策（介護保険を含む）への意見・要望（問 58、自由回答）

問 58 高齢者保健福祉施策(介護保険を含む)について、ご意見やご要望がございましたら、下欄にご記入ください。

項目別の主な意見は、次のとおりである。（回答者 700 人）

特別養護老人ホーム等施設設備および入所希望	要支援・要介護 1	◇ 自分で負担出来る範囲の施設に入りたい。 ◇ 必要な時にすぐに入れる施設をつくって欲しい。 ◇ 施設の数・質ともに充実させて欲しい。 ◇ ショートステイを手軽に使えない。 ◇ 病院と施設が連携して欲しい。 ◇ 高齢者の集会所が欲しい。
	要介護 2～5	◇ 特別養護老人ホームを増設して欲しい。 ◇ 特別養護老人ホームに入るための条件が知りたい。 ◇ プライバシーを重視した施設作りをして欲しい。 ◇ 低額で利用できる施設をつくって欲しい。 ◇ 痴呆になった患者を診てくれる施設が欲しい。 ◇ リハビリ施設をつくって欲しい。 ◇ 介護者が急病又は急用時に施設入所が出来るようにして欲しい。
病院の設置・医療	要支援・要介護 1	◇ 差額ベッド代のない病院にして欲しい。 ◇ 入院の費用が高いので困る。
	要介護 2～5	◇ 往診をしてもらえるようにしてもらいたい。 ◇ 病院を3ヶ月ごとに転院しなくてすむようにして欲しい。 ◇ ショートステイ先等でも医者に診てもらえるようにして欲しい。 ◇ 医療診察がある施設をつくって欲しい。 ◇ 巡回歯科医に予約が多くて往診に来てもらえない。 ◇ 長期療養型の病院を探しているが見つからず、受け入れ先が決まっても費用が高額なので困っている。
高齢者向きの住宅の整備	要支援・要介護 1	◇ バリアフリーの公的住宅に住みたい。 ◇ 階段、風呂の手すり、部屋の段差等をどうにかして欲しい。
	要介護 2～5	◇ 介護者の近くの公共住宅に住ませて欲しい。
配食サービス	要支援・要介護 1	◇ 配食サービスを多くして欲しい。 ◇ 配食弁当の中の野菜類・肉類が新鮮でない。
	要介護 2～5	◇ 配食サービス業者の配食物を必ず点検して改善して欲しい。 ◇ 配食サービスは受け取りの時間も幅が広く、誰かがいないと受け取れない状態の家庭にとっては、助けになっていない。 ◇ 親族が区で定める規定内距離にいても弁当を配達して欲しい。
介護保険制度の関連	要支援・要介護 1	◇ 介護保険が手軽に使えるようにして欲しい。 ◇ タクシー利用の費用を補助してもらいたい。 ◇ 介護保険制度の理解、書類作成等が困難。簡単にして欲しい。 ◇ ヘルパー、ケアマネジャーの質の向上。 ◇ 生活実態にあった認定をして欲しい。
	要介護 2～5	◇ ヘルパーに長時間来て欲しい。 ◇ ヘルパーの仕事範囲を広げて対応して欲しい。 ◇ タクシー、バス利用の費用を補助してもらいたい。 ◇ 申請等の手続きをなるべく早くして欲しい。 ◇ 家族が介護している場合にも介護者にお金の支給をして欲しい。 ◇ 入院している場合でもサービスを受けたい。

介護サービスへの不満	要支援・要介護1	◇ 現在の制度では介護度が低いと対象外になることが多い。 ◇ 同じ人にヘルパーに来てもらいたい。 ◇ 介護者が不在時や病気の時等にも対応してもらいたい。 ◇ 介護申請を出してから認定されるまでの期間が長すぎる。 ◇ 不適正な利用者がいる。
	要介護2～5	◇ 介護の認定が事業所等によって認定度が違うように思う。 ◇ ヘルパーの介護内容とサービスを受ける側の要求が異なる。 ◇ 手続きの際に十分な説明等がなく困った。 ◇ 介護者の体調不良等、緊急の出来事には対応してくれない。 ◇ 利用した時の点数の計算、支払う金額がわかりにくい。
道路等段差解消・歩行中の問題	要支援・要介護1	◇ 歩道が狭かったり自転車置いてあり車椅子で歩行できない。 ◇ 歩道と車道の段差がありすぎる。 ◇ 路面が斜めだったり色々な凸凹があり歩行しにくい。 ◇ 歩道を自転車を通る人がいるので怖い。
	要介護2～5	◇ 歩行困難のため電動車など安く借りられれば良いと思う。 ◇ 杖の支給をして欲しい。 ◇ 歩道は斜めになっているところが車椅子で通るのに怖い。
サービスの1割負担	要支援・要介護1	◇ 負担が増え今までのようなサービスを受けられなくなるのは困る。 ◇ 収入がないのに負担が増えるので心配である。
	要介護2～5	◇ 1割負担が出来ないので介護申請できない。 ◇ 負担が1割以上にならないようにして欲しい。
介護保険料について	要支援・要介護1	◇ 介護保険料が高いので負担が大きい。 ◇ 介護保険料を現状維持して欲しい。
	要介護2～5	◇ 収入に対しての保険料が高すぎる。 ◇ サービスの質を下げないで保険料は今のままにして欲しい。
相談の充実	要支援・要介護1	◇ 介護センターの利用について相談にのって欲しい。 ◇ 福祉施策についてケアマネジャーに相談できる機会が欲しい。 ◇ 症状が悪くなった場合どうしたらよいか相談にのって欲しい。 ◇ ヘルパーの出来る仕事を一覧にして欲しい。 ◇ 区等から常に情報がわかるようにして欲しい。
	要介護2～5	◇ 福祉事務所に高度の専門的知識を持つ相談員を設けて欲しい。 ◇ 区で家族のケアも含めて、保健相談員に訪問して欲しい。 ◇ いつでもどのような時にも相談にのって手助けして欲しい。 ◇ 介護保険料の相談にのって欲しい。
その他	要支援・要介護1	◇ 独身世帯に関する世間の関心を深めて欲しい。 ◇ ひとり暮らしでも安心して生活できる施策を考えて欲しい。 ◇ 身体の不自由なほうへのサービスばかりでなく、予防、現状維持、精神的フォロー、家族の負担も考えて欲しい。 ◇ 今の状態より身体が悪くなった時はどうすればよいのか心配である。 ◇ 話し相手になってくれるボランティアを募って欲しい。
	要介護2～5	◇ 介護される側のプライバシーを保護して欲しい。 ◇ 災害にあった時にひとりでは避難できないので不安である。 ◇ シルバー福祉手当がなくなったので困っている。 ◇ 土曜日でも手続きの受付をして欲しい。 ◇ この調査結果をどのような形で利用し、区民に公表してゆくのかを、区広報やホームページなどで知らせて欲しい。

Ⅱ 調査結果

3 介護保険サービス未利用者調査

3 介護保険サービス未利用者調査（要介護認定者調査）

<調査結果の概要>

《回答者（介護保険サービス未利用者調査）の状況について》

- ◆ 要介護度は要支援が 22.6%、要介護 1 が 30.5% で要支援および要介護 1 で 53.1% を占め、《介護保険サービス利用者調査》よりも軽度者の割合が高い。【問 7 P.144】
- ◆ 調査結果の全体の傾向は《介護保険サービス利用者調査》と同様であるが、要支援および要介護 1 の割合が高いため軽度者の回答傾向が強く出ている。また要介護度が重い人では入院の割合が高く、日常生活についての設問において無回答の割合が高くなっている。

《介護保険について》

- ◆ 要介護認定の申請理由は、《介護保険サービス利用者調査》とは異なり、「必要時にサービスを受けるために事前に認定申請した」が 37.5% で最も高い。また「自分の要介護度を知りたくて」が 10.3% である。
【問 15 P.152】
現在介護サービスを利用していない主な理由は、要支援および要介護 1 では「自分で身の回りのことをするように努力している」が、要介護 2 および 3 では「家族等の介護がある」が、要介護 4 および 5 では「病院や診療所に入院中」が最も高くなっている。【問 16 P.153】
- ◆ 介護サービス未利用者においても、9.6% は特別養護老人ホームへの入所申し込みをしている。
【問 17 P.154】
- ◆ 介護保険の相談・苦情先は「ケアマネジャー」であるが、その割合は 34.1% で、《介護保険サービス利用者調査》より低い。次いで割合が高いのは「区の介護保険課または福祉事務所」（19.8%）である。
【問 33 P.172】
- ◆ 介護保険制度・サービス事業者に関する情報入手先も「ケアマネジャー」の割合が高いが、《介護保険サービス利用者調査》よりは低く、「区が発行するパンフレット類」（24.6%）、「区の広報紙」（24.4%）、「区の窓口・電話」（18.0%）をあわせると区の関係する割合が高い。【問 34 P.173】

《介護者・介護の状況について》

- ◆ 対象者のうち 64.6% に家族介護者がおり、主な家族介護者は女性が 63.0% を占め、年齢は 60 歳以上が 60.7% である。【問 40 P.180・問 40-2 P.181】
- ◆ 介護をして困ったことや負担に感じたことは、先の見通しが立たない、自分の用事をすませることができない、自由な時間をもてないなどの時間の管理に関することと、介護による身体的、精神的な負担感があげられており、《介護保険サービス利用者調査》と同様の傾向である。【問 44 P.185・問 45 P.186】
- ◆ 介護についての主な相談先は「家族・親戚」（32.5%）、「ケアマネジャー」（21.6%）である。
【問 48 P.189】

<調査結果から得られた主な課題>

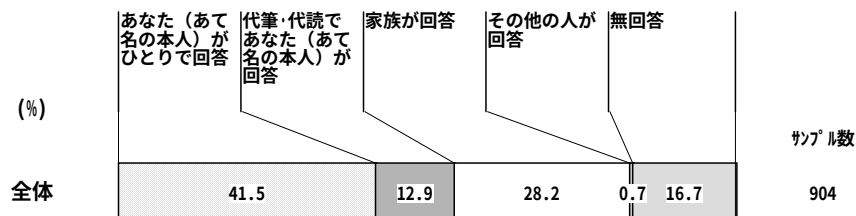
- ◇ 要介護認定の申請理由は、「必要時にサービスを受けるために」、「自分の要介護度を知りたくて」など、すぐにサービスを利用するためにではない方が多い。申請時に適正な申請の説明が課題である。
- ◇ 介護サービスの未利用理由は、要支援および要介護 1 では「自分で身の回りのことをするように努力している」が、要介護 2 および 3 では「家族等の介護がある」が、要介護 4 および 5 では「病院や診療所に入院中」が多い。入院中以外の重度者は家族の介護に依存しており、家族介護者への支援が求められる。
- ◇ 介護サービス未利用者も利用者と同様、相談・苦情先、情報入手先はケアマネジャーが最も高いが、他にも区のパンフレット類や広報紙、区の窓口の割合が高いことから、区としての情報発信、相談機能の充実が課題である。

(1) 回答者について

① 調査票の回答者（問1）

問1 この調査票を回答される方を教えてください。（○は1つ）

調査票の回答者は「あなたがひとりで回答」は41.5%で、「代筆・代読であなたが回答」が12.9%、「家族が回答」が28.2%となっている。

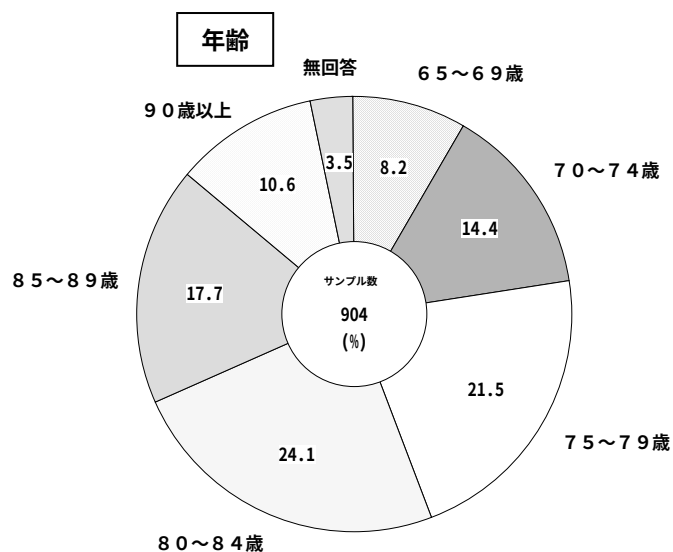
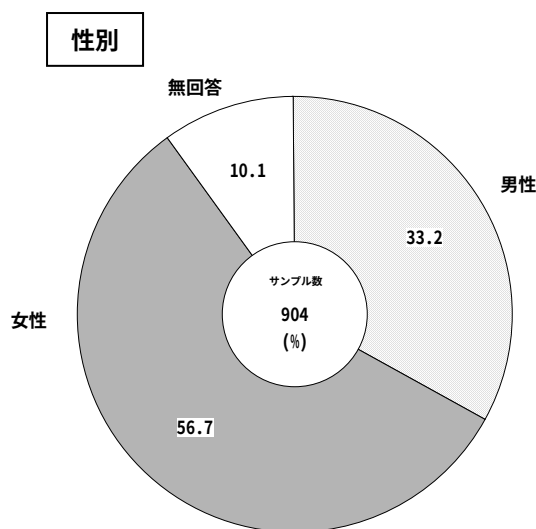


② 性別・年齢（問2）

問2 あなた（あて名のご本人）の性別と、平成16年11月1日現在の満年齢はいくつですか。（○はそれぞれ1つずつ）

調査回答者の性別は、「男性」が33.2%、「女性」が56.7%である。

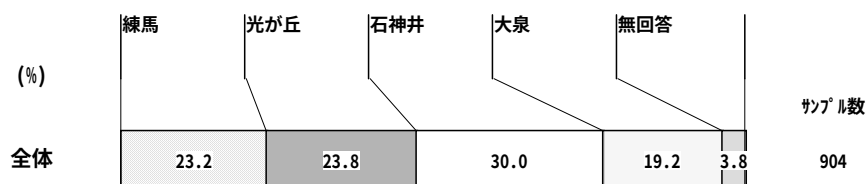
サービス未利用者の年齢は、前期高齢者（65～74歳）が22.6%で、後期高齢者（75歳以上）が73.9%である。



③ 居住地区（問3）

問3 あなた（あて名のご本人）のお住まいはどちらですか。また何丁目かもお答えください。（○は1つずつ）

調査回答者の居住地区は、「石神井地区」が30.0%で最も高く、次いで「光が丘地区」（23.8%）、「練馬地区」（23.2%）、「大泉地区」（19.2%）の順になっている。



④世帯構成（問4）

問4 あなた（あて名のご本人）の現在の世帯構成を次の中からお答えください。（○は1つ）

現在の世帯構成は、「単身世帯」が16.8%、「夫婦のみの世帯」が34.1%であり、この両方で50.9%を占める。

＜年齢別の傾向＞

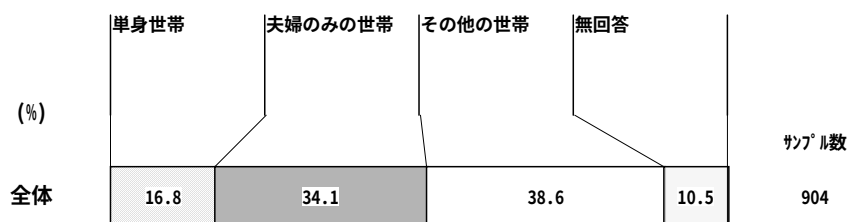
前期高齢者では「夫婦のみの世帯」が45.1%で最も高く、後期高齢者では「その他の世帯」が41.2%で最も高い。

＜居住地区別の傾向＞

練馬地区では「単身世帯」が23.8%で他の地区よりも割合が高い。

＜要介護度別の傾向＞

要支援では「単身世帯」の割合が22.5%と高く、「夫婦のみの世帯」も40.2%と高い。要介護度が重いほど「その他の世帯」の割合が高くなり、要介護3～5ではその割合が50%を超える。



＜年齢別・居住地区別・要介護度別の比較＞

	全体	単身世帯	夫婦のみの世帯	その他の世帯	無回答
全体	904	152	308	349	95
	100.0	16.8	34.1	38.6	10.5
年齢別					
前期高齢者 (65歳～74歳)	204	29	92	73	10
	100.0	14.2	45.1	35.8	4.9
後期高齢者 (75歳以上)	668	122	212	275	59
	100.0	18.3	31.7	41.2	8.8
居住地区別					
練馬	210	50	69	73	18
	100.0	23.8	32.9	34.8	8.6
光が丘	215	32	83	81	19
	100.0	14.9	38.6	37.7	8.8
石神井	271	44	91	112	24
	100.0	16.2	33.6	41.3	8.9
大泉	174	25	63	78	8
	100.0	14.4	36.2	44.8	4.6
要介護度別					
要支援	204	46	82	63	13
	100.0	22.5	40.2	30.9	6.4
要介護1	276	50	101	103	22
	100.0	18.1	36.6	37.3	8.0
要介護2	115	17	38	51	9
	100.0	14.8	33.0	44.3	7.8
要介護3	61	3	22	34	2
	100.0	4.9	36.1	55.7	3.3
要介護4	66	11	15	36	4
	100.0	16.7	22.7	54.5	6.1
要介護5	63	5	20	34	4
	100.0	7.9	31.7	54.0	6.3

上段：実数
下段：%

⑤ひとりぐらしの不安（問４－１、複数回答）

問４－１ 現在ひとりぐらしをされていて、不安なことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

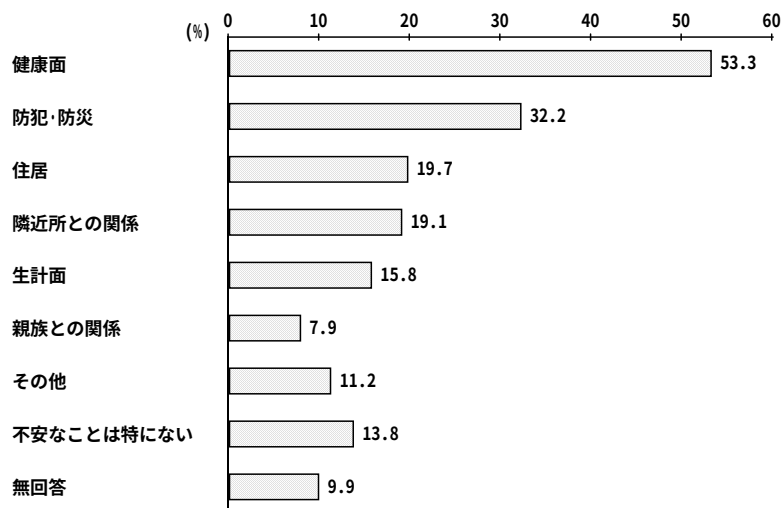
ひとりぐらしで不安なことは、「健康面」を 53.3%があげている。次いで割合が高いのは「防犯・防災」の 32.2%である。

＜男女別の傾向＞

男女とも「健康面」をあげる割合が高いが、女性では「防犯・防災」（37.2%）と「住居」（22.3%）をあげる割合が高くなっている。

＜年齢別の傾向＞

前期・後期高齢者ともに「健康面」が最も高いが、後期高齢者では「防犯・防災」が 33.6%で前期高齢者よりも高い。前期高齢者では「防犯・防災」と並んで「生計面」が 27.6%で高い。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	健康面	防犯・防災	住居	隣近所との関係	生計面	親族との関係	その他	は不安なこと	無回答
全体	152 100.0	81 53.3	49 32.2	30 19.7	29 19.1	24 15.8	12 7.9	17 11.2	21 13.8	15 9.9
男女別										
男性	23 100.0	9 39.1	2 8.7	2 8.7	4 17.4	5 21.7	3 13.0	2 8.7	4 17.4	4 17.4
女性	121 100.0	69 57.0	45 37.2	27 22.3	22 18.2	18 14.9	6 5.0	14 11.6	16 13.2	10 8.3
年齢別										
前期高齢者 (65歳～74歳)	29 100.0	15 51.7	8 27.6	5 17.2	6 20.7	8 27.6	3 10.3	4 13.8	3 10.3	2 6.9
後期高齢者 (75歳以上)	122 100.0	65 53.3	41 33.6	25 20.5	23 18.9	16 13.1	9 7.4	13 10.7	18 14.8	13 10.7

上段：実数
下段：%

⑥65 歳未満の同居者の有無（問 4－2）

問4－2 あなた（あて名のご本人）の世帯には 65 歳未満の方はいらっしゃいますか。（○は1つ）

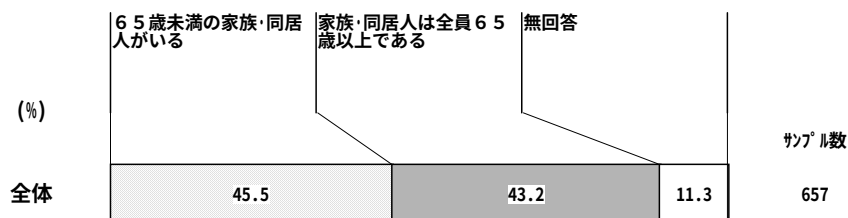
2 人以上世帯の同居者の状況を見ると、「65 歳未満の家族・同居人がいる」のは 45.5%で、43.2%は「家族・同居人は全員 65 歳以上である」。

＜＜年齢別の傾向＞＞

全体の傾向と大きな違いはみられない。

＜＜要介護度別の傾向＞＞

要介護 2～4 で「65 歳未満の家族・同居人がいる」割合が 50%を超えている。



＜年齢別・世帯構成別・要介護度別の比較＞

	全体	65歳未満の 家族・同居 人がいる	家族・同居 人は全員65 歳以上である	無回答
全体	657 100.0	299 45.5	284 43.2	74 11.3
年齢別				
前期高齢者 (65歳～74歳)	165 100.0	73 44.2	74 44.8	18 10.9
後期高齢者 (75歳以上)	487 100.0	224 46.0	207 42.5	56 11.5
要介護度別				
要支援	145 100.0	60 41.4	74 51.0	11 7.6
要介護1	204 100.0	82 40.2	98 48.0	24 11.8
要介護2	89 100.0	53 59.6	31 34.8	5 5.6
要介護3	56 100.0	30 53.6	22 39.3	4 7.1
要介護4	51 100.0	30 58.8	16 31.4	5 9.8
要介護5	54 100.0	24 44.4	20 37.0	10 18.5

上段：実数
下段：%

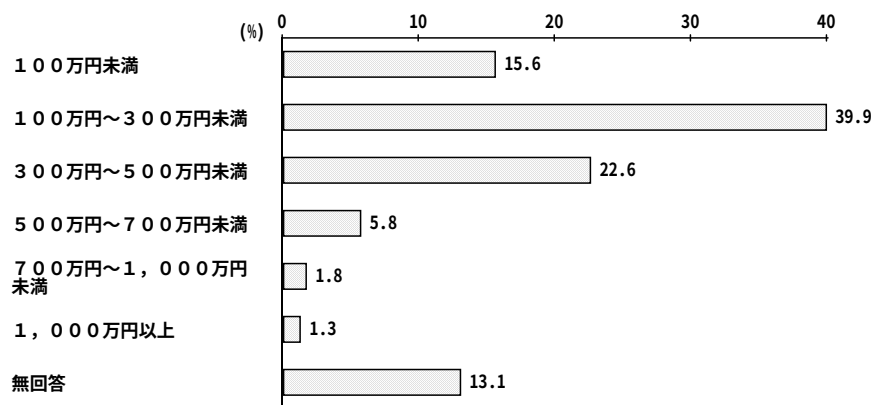
⑦本人と配偶者の税込み年収（問5）

問5 あなた（あて名のご本人）と配偶者の税込みの年収（年金を含む）の合計は、年間どの位ですか。（○は1つ）

本人と配偶者の税込み年収は、300万円未満が55.5%で、300万円以上が31.5%である。

＜要介護度別の傾向＞

全体の傾向と大きな違いはみられない。



＜年齢別・世帯構成別・要介護度別の比較＞

	全体	100万円未満	100万円～300万円未満	300万円～500万円未満	500万円～700万円未満	700万円～1,000万円未満	1,000万円以上	無回答
全体	904 100.0	141 15.6	361 39.9	204 22.6	52 5.8	16 1.8	12 1.3	118 13.1
年齢別								
前期高齢者 (65歳～74歳)	204 100.0	36 17.6	86 42.2	45 22.1	12 5.9	4 2.0	3 1.5	18 8.8
後期高齢者 (75歳以上)	668 100.0	105 15.7	271 40.6	156 23.4	39 5.8	12 1.8	9 1.3	76 11.4
世帯構成別								
単身世帯	152 100.0	34 22.4	79 52.0	18 11.8	1 0.7	1 0.7	1 0.7	18 11.8
夫婦のみの世帯	308 100.0	25 8.1	116 37.7	106 34.4	32 10.4	6 1.9	1 0.3	22 7.1
その他の世帯	349 100.0	69 19.8	146 41.8	64 18.3	18 5.2	6 1.7	9 2.6	37 10.6
要介護度別								
要支援	204 100.0	28 13.7	97 47.5	49 24.0	14 6.9	2 1.0	0 0.0	14 6.9
要介護1	276 100.0	41 14.9	114 41.3	74 26.8	13 4.7	5 1.8	3 1.1	26 9.4
要介護2	115 100.0	20 17.4	48 41.7	27 23.5	6 5.2	4 3.5	3 2.6	7 6.1
要介護3	61 100.0	8 13.1	32 52.5	10 16.4	5 8.2	1 1.6	2 3.3	3 4.9
要介護4	66 100.0	13 19.7	29 43.9	9 13.6	5 7.6	0 0.0	2 3.0	8 12.1
要介護5	63 100.0	17 27.0	16 25.4	17 27.0	4 6.3	2 3.2	1 1.6	6 9.5

上段：実数
下段：%

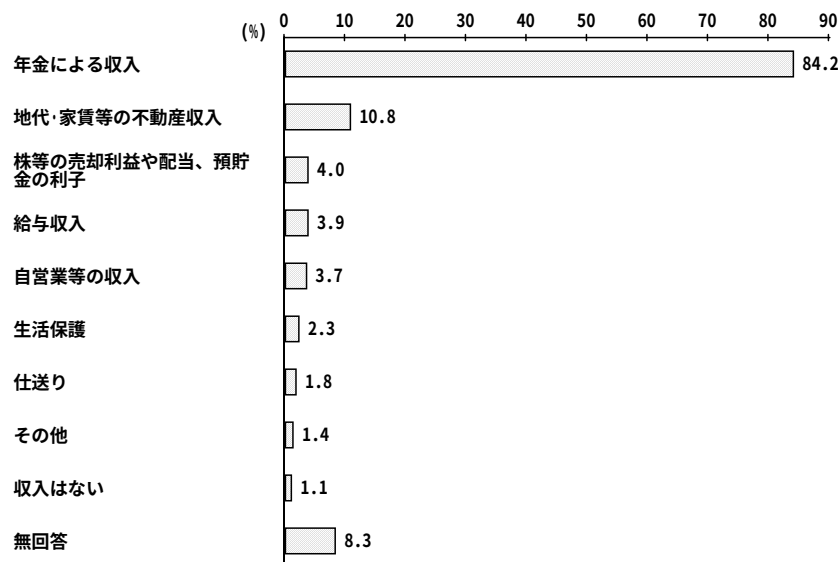
⑧本人と配偶者の収入源（問6、複数回答）

問6 あなた（あて名のご本人）と配偶者の収入源についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

本人と配偶者の収入源をみると、「年金による収入」をあげる割合が84.2%で最も高い。

＜要介護度別の傾向＞

全体の傾向と大きな違いはみられない。



＜年齢別・要介護度別の比較＞

	全体	年金による収入	地代・家賃等の不動産収入	株等の売却利益や配当、預貯金の利子	給与収入	自営業等の収入	生活保護	仕送り	その他	収入はない	無回答
全体	904 100.0	761 84.2	98 10.8	36 4.0	35 3.9	33 3.7	21 2.3	16 1.8	13 1.4	10 1.1	75 8.3
年齢別											
前期高齢者 (65歳～74歳)	204 100.0	174 85.3	28 13.7	2 1.0	7 3.4	17 8.3	5 2.5	2 1.0	3 1.5	3 1.5	10 4.9
後期高齢者 (75歳以上)	668 100.0	579 86.7	69 10.3	33 4.9	27 4.0	16 2.4	15 2.2	14 2.1	10 1.5	7 1.0	43 6.4
要介護度別											
要支援	204 100.0	181 88.7	22 10.8	8 3.9	5 2.5	5 2.5	3 1.5	2 1.0	3 1.5	1 0.5	11 5.4
要介護1	276 100.0	248 89.9	24 8.7	21 7.6	13 4.7	11 4.0	6 2.2	4 1.4	4 1.4	2 0.7	13 4.7
要介護2	115 100.0	100 87.0	18 15.7	4 3.5	5 4.3	7 6.1	1 0.9	2 1.7	3 2.6	2 1.7	5 4.3
要介護3	61 100.0	53 86.9	9 14.8	0 0.0	4 6.6	3 4.9	1 1.6	2 3.3	0 0.0	2 3.3	1 1.6
要介護4	66 100.0	57 86.4	6 9.1	2 3.0	4 6.1	1 1.5	2 3.0	2 3.0	1 1.5	1 1.5	3 4.5
要介護5	63 100.0	55 87.3	11 17.5	1 1.6	1 1.6	1 1.6	1 1.6	1 1.6	1 1.6	1 1.6	3 4.8

上段：実数
下段：%

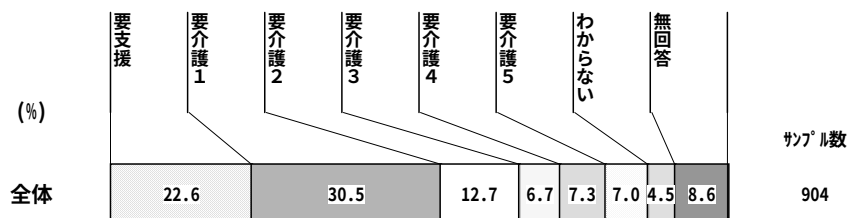
⑨要介護度（問7）

問7 あなた（あて名のご本人）の現在の要介護度は次のうち、どれですか。（○は1つ）

現在の要介護度は、「要支援」が22.6%、「要介護1」が30.5%で、要支援および要介護1で53.1%を占め、介護サービス利用調査と比較して高い割合である。「要介護2」は12.7%、「要介護3」は6.7%、「要介護4」は7.3%、「要介護5」は7.0%である。

＜年齢別の傾向＞

全体の傾向と大きな違いはみられない。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	わからない	無回答
全体	904 100.0	204 22.6	276 30.5	115 12.7	61 6.7	66 7.3	63 7.0	41 4.5	78 8.6
男	300 100.0	63 21.0	97 32.3	40 13.3	26 8.7	24 8.0	22 7.3	8 2.7	20 6.7
女	513 100.0	125 24.4	161 31.4	62 12.1	29 5.7	40 7.8	38 7.4	30 5.8	28 5.5
前期高齢者 (65歳～74歳)	204 100.0	41 20.1	68 33.3	30 14.7	14 6.9	10 4.9	13 6.4	12 5.9	16 7.8
後期高齢者 (75歳以上)	668 100.0	158 23.7	207 31.0	85 12.7	46 6.9	55 8.2	50 7.5	28 4.2	39 5.8

上段：実数
下段：%

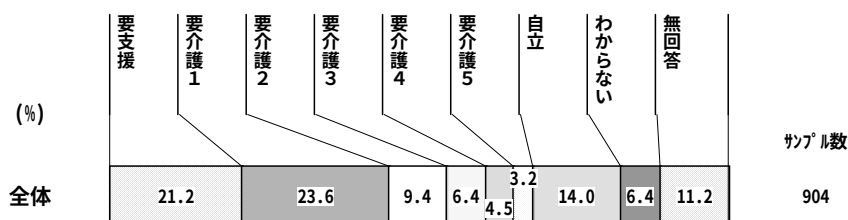
⑩ 1年前の要介護度（問7-1）

問7-1 1年前（平成15年11月ごろ）の要介護度は次のうち、どれですか。（○は1つ）

1年前の要介護度は、「要支援」が21.2%、「要介護1」が23.6%で、要支援および要介護1で44.8%を占める。「自立」は14.0%である。

＜現在の要介護度別の傾向＞

現在の要介護と比較すると、1年前と現在が同じ要介護度の人は42.9%で介護サービス利用者調査と比較して低い。要介護度が重くなった割合は、要支援は16.7%（1年前は自立）、要介護1は31.9%（1年前は自立、要支援）、要介護2は41.7%（1年前は自立～要介護1）、要介護3は32.8%（1年前は自立～要介護2）、要介護4は54.6%（1年前は自立～要介護3）、要介護5は52.4%（1年前は自立～要介護4）で、介護サービス利用者調査と比較して全体的に高い割合である。



＜要介護度別の比較＞

1年前→ 現在↓		全体	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	自立	わからない	無回答
全体		904	192	213	85	58	41	29	127	58	101
		100.0	21.2	23.6	9.4	6.4	4.5	3.2	14.0	6.4	11.2
要介護度別	要支援	204	119	23	0	0	1	0	34	9	18
		100.0	58.3	11.3	0.0	0.0	0.5	0.0	16.7	4.4	8.8
	要介護1	276	45	151	12	1	2	0	43	9	13
		100.0	16.3	54.7	4.3	0.4	0.7	0.0	15.6	3.3	4.7
	要介護2	115	13	23	47	9	2	2	12	4	3
		100.0	11.3	20.0	40.9	7.8	1.7	1.7	10.4	3.5	2.6
	要介護3	61	0	3	10	25	5	1	7	4	6
		100.0	0.0	4.9	16.4	41.0	8.2	1.6	11.5	6.6	9.8
	要介護4	66	2	4	11	13	21	0	6	6	3
		100.0	3.0	6.1	16.7	19.7	31.8	0.0	9.1	9.1	4.5
	要介護5	63	0	3	4	6	10	25	10	3	2
		100.0	0.0	4.8	6.3	9.5	15.9	39.7	15.9	4.8	3.2

上段：実数
下段：%

*アミカケは1年前と現在の要介護度が同じサンプル数と割合を表す。

⑪要介護状態になった主なきっかけ（問8）

問8 あなた（あて名のご本人）が要介護状態になった主なきっかけは何ですか。（○は1つ）

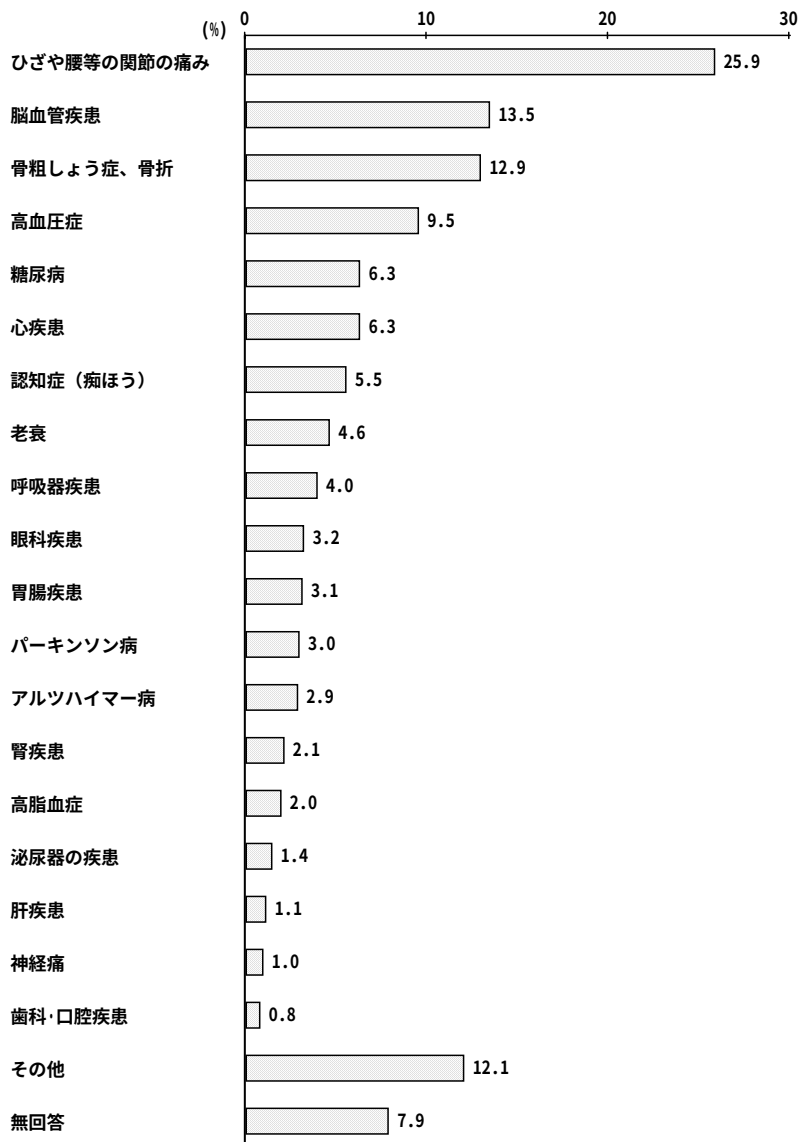
要介護状態になった主なきっかけは「ひざや腰等の関節の痛み」が25.9%で最も高く、次いで「脳血管疾患」(13.5%)、「骨粗しょう症、骨折」(12.9%)となっている。

老化現象と生活習慣病という区分けでみると、「ひざや腰等の関節の痛み」などの老化現象が48.9%と高く、「脳血管疾患」などの生活習慣病が30.3%となっている。

《要介護度別の傾向》

要支援および要介護1、2では「ひざや腰等の関節の痛み」が主なきっかけであるが、要介護3～5では「脳血管疾患」の割合が高い。

要支援（51.0%）、要介護1（59.0%）、要介護2（51.3%）では、老化現象の割合が高くなっている。



<要介護度別の比較>

上段：実数
下段：%

	全体	関 節 の 痛 み 等 の	脳 血 管 疾 患	症、 骨 粗 しょう	高 血 圧 症	糖 尿 病	心 疾 患	う 認知 症（ 痴呆）	老 衰	呼 吸 器 疾 患	眼 科 疾 患	胃 腸 疾 患	病 バ ー キン ソン	マ アル ツ ハイ	腎 疾 患	高 脂 血 症	泌 尿 器 の 疾 患	肝 疾 患	神 経 痛	患 歯 科 ・ 口 腔 疾	そ の 他	無 回 答
全体	904	234	122	117	86	57	57	50	42	36	29	28	27	26	19	18	13	10	9	7	109	71
	100.0	25.9	13.5	12.9	9.5	6.3	6.3	5.5	4.6	4.0	3.2	3.1	3.0	2.9	2.1	2.0	1.4	1.1	1.0	0.8	12.1	7.9
要 支 援	204	70	11	22	22	8	20	3	9	11	9	8	4	2	2	7	4	2	2	2	27	21
	100.0	34.3	5.4	10.8	10.8	3.9	9.8	1.5	4.4	5.4	4.4	3.9	2.0	1.0	1.0	3.4	2.0	1.0	1.0	1.0	13.2	10.3
要 介 護 1	276	93	29	44	30	15	21	13	13	10	8	9	13	6	8	7	3	6	2	3	37	10
	100.0	33.7	10.5	15.9	10.9	5.4	7.6	4.7	4.7	3.6	2.9	3.3	4.7	2.2	2.9	2.5	1.1	2.2	0.7	1.1	13.4	3.6
要 介 護 2	115	27	19	17	7	9	5	10	5	2	3	1	6	4	3	3	2	2	2	0	13	3
	100.0	23.5	16.5	14.8	6.1	7.8	4.3	8.7	4.3	1.7	2.6	0.9	5.2	3.5	2.6	2.6	1.7	1.7	1.7	0.0	11.3	2.6
要 介 護 3	61	7	11	6	5	7	1	9	4	3	1	0	2	5	1	0	1	0	0	0	10	0
	100.0	11.5	18.0	9.8	8.2	11.5	1.6	14.8	6.6	4.9	1.6	0.0	3.3	8.2	1.6	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	16.4	0.0
要 介 護 4	66	3	21	12	3	5	1	9	5	3	0	1	1	2	1	1	0	0	0	1	6	1
	100.0	4.5	31.8	18.2	4.5	7.6	1.5	13.6	7.6	4.5	0.0	1.5	1.5	3.0	1.5	1.5	0.0	0.0	0.0	1.5	9.1	1.5
要 介 護 5	63	4	26	8	1	6	1	3	4	4	1	1	1	5	2	0	1	0	1	0	6	0
	100.0	6.3	41.3	12.7	1.6	9.5	1.6	4.8	6.3	6.3	1.6	1.6	1.6	7.9	3.2	0.0	1.6	0.0	1.6	0.0	9.5	0.0

(2) 住居について

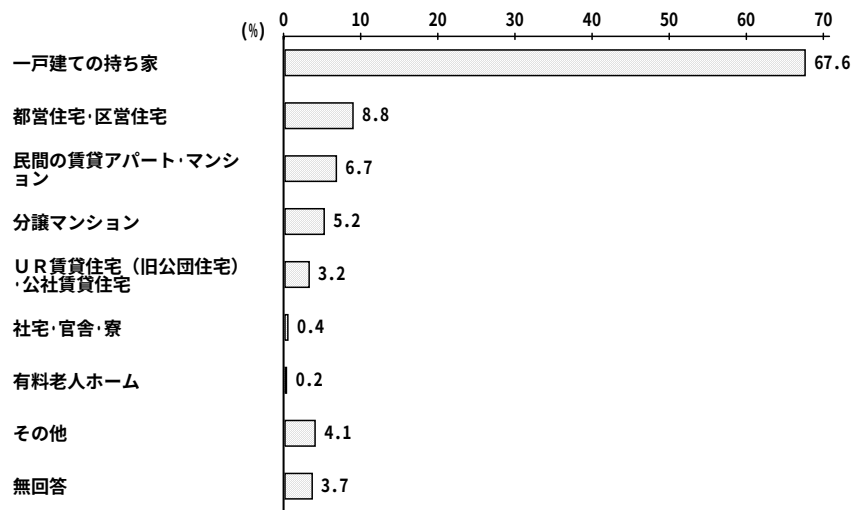
① 住居形態（問 9）

問 9 あなた（あて名のご本人）のお住まいは、次のうちのどれにあてはまりますか。（○は1つ）

「一戸建ての持ち家」の割合が 67.6%で、「分譲マンション」をあわせた『持ち家率』は 72.8%である。

＜要介護度別の傾向＞

全体の傾向と大きな違いはみられない。



＜要介護度別の比較＞

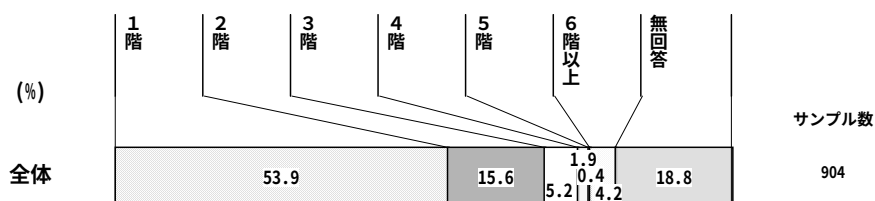
	全体	一戸建ての持ち家	都営住宅・区営住宅	民間の賃貸アパート・マンション	分譲マンション	UR賃貸住宅(旧公団住宅)・公社賃貸住宅	社宅・官舎・寮	有料老人ホーム	その他	無回答
全体	904 100.0	611 67.6	80 8.8	61 6.7	47 5.2	29 3.2	4 0.4	2 0.2	37 4.1	33 3.7
要介護度別	要支援	204 100.0	143 70.1	16 7.8	11 5.4	13 6.4	9 4.4	0 0.0	8 3.9	4 2.0
	要介護1	276 100.0	186 67.4	26 9.4	18 6.5	11 6.5	1 0.4	0 0.0	10 3.6	6 2.2
	要介護2	115 100.0	85 73.9	8 7.0	10 8.7	5 4.3	2 1.7	0 0.0	2 1.7	3 2.6
	要介護3	61 100.0	39 63.9	7 11.5	5 8.2	2 3.3	1 1.6	2 3.3	1 1.6	3 4.9
	要介護4	66 100.0	41 62.1	5 7.6	6 9.1	4 6.1	2 3.0	0 0.0	1 1.5	6 9.1
	要介護5	63 100.0	45 71.4	3 4.8	3 4.8	3 4.8	3 4.8	0 0.0	0 6.3	4 3.2

上段：実数
下段：%

② 主な居住階（問 10）

問 10 あなた（あて名のご本人）は現在、主として住居（アパート、マンション等も含む）の何階で生活していますか。

主に生活している居住階は、「1階」が 53.9%、「2階」が 15.6%である。



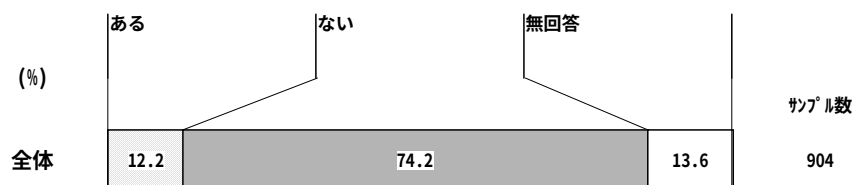
③住居のエレベーターの有無（問 11）

問 11 あなた（あて名のご本人）の現在のお住まいにはエレベーターはありますか。（○は1つ）

住居にエレベーターが「ある」が 12.2%、「ない」が 74.2%である。

＜＜居住階別の傾向＞＞

エレベーターのある割合は、3階居住では 44.7%、4階居住では 58.8%、5階居住では 75.0%、6階以上居住では 97.4%となっている。



＜居住階別の比較＞

		全体	ある	ない	無回答	上段：実数 下段：%
全体		904	110	671	123	
		100.0	12.2	74.2	13.6	
居住階別	1階	487	11	460	16	
		100.0	2.3	94.5	3.3	
	2階	141	23	117	1	
		100.0	16.3	83.0	0.7	
	3階	47	21	25	1	
		100.0	44.7	53.2	2.1	
	4階	17	10	6	1	
		100.0	58.8	35.3	5.9	
	5階	4	3	0	1	
		100.0	75.0	0.0	25.0	
	6階以上	38	37	1	0	
		100.0	97.4	2.6	0.0	

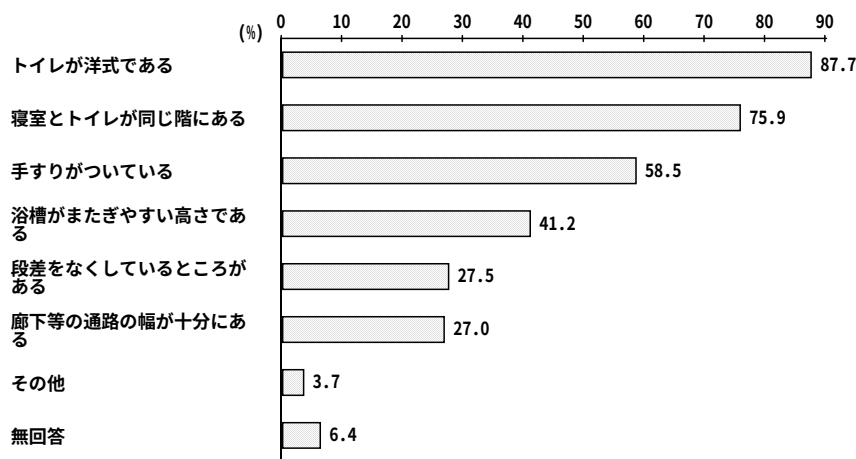
④住居の工夫（問 12、複数回答）

問 12 あなた（あて名のご本人）のお住まいは、現在次のような工夫をしていますか。（あてはまるものすべてに○）

住居で工夫している主な点は、「トイレが洋式である」（87.7%）、「寝室とトイレが同じ階にある」（75.9%）、「手すりがついている」（58.5%）である。

＜要介護度別の傾向＞

全体的に要支援および要介護1、2で工夫している割合が高い。特に「浴槽がまたぎやすい高さである」は要支援および要介護1で50%を超えて高い。



＜要介護度別の比較＞

	全体	トイレが洋式である	寝室とトイレが同じ階にある	手すりがついている	浴槽がまたぎやすい高さである	段差をなくしているところがある	廊下等の通路の幅が十分にある	その他	無回答
全体	904 100.0	793 87.7	686 75.9	529 58.5	372 41.2	249 27.5	244 27.0	33 3.7	58 6.4
要介護度別									
要支援	204 100.0	191 93.6	166 81.4	126 61.8	108 52.9	65 31.9	68 33.3	7 3.4	5 2.5
要介護1	276 100.0	247 89.5	218 79.0	174 63.0	140 50.7	78 28.3	76 27.5	7 2.5	9 3.3
要介護2	115 100.0	106 92.2	95 82.6	69 60.0	37 32.2	34 29.6	33 28.7	4 3.5	5 4.3
要介護3	61 100.0	52 85.2	46 75.4	32 52.5	15 24.6	15 24.6	15 24.6	5 8.2	6 9.8
要介護4	66 100.0	54 81.8	47 71.2	35 53.0	10 15.2	18 27.3	13 19.7	7 10.6	4 6.1
要介護5	63 100.0	51 81.0	39 61.9	34 54.0	14 22.2	17 27.0	7 11.1	3 4.8	10 15.9

上段：実数
下段：%

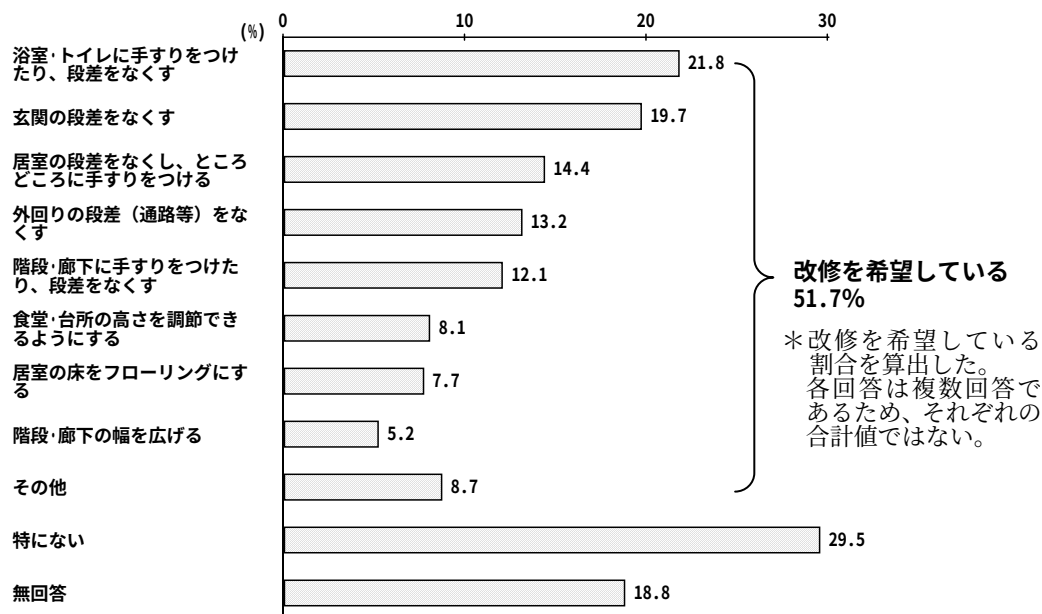
⑤住居の改修希望場所（問 13、複数回答）

問 13 今後、あなた（あて名のご本人）のお住まいのなかで、改修をしたいところはありますか。（あてはまるものすべてに○）

住居の改修希望場所については、「特にない」が 29.5%であり、51.7%は改修を希望している。具体的な改修希望場所を見ると、「浴室・トイレに手すりをつけたり、段差をなくす」（21.8%）、「玄関の段差をなくす」（19.7%）、「居室の段差をなくし、ところどころに手すりをつける」（14.4%）「外回りの段差（通路等）をなくす」（13.2%）、「階段・廊下に手すりをつけたり、段差をなくす」（12.1%）が上位にあげられている。

＜要介護度別の傾向＞

全体的に要介護度が重いほど改修希望としてあげる割合が高くなっている。



＜要介護度別の比較＞

	全体	浴室・トイレに手すりをつけたり、段差をなくす	玄関の段差をなくす	居室の段差をなくし、ところどころに手すりをつける	外回りの段差（通路等）をなくす	階段・廊下に手すりをつけたり、段差をなくす	食堂・台所の高さを調節できるようにする	居室の床をフローリングにする	階段・廊下の幅を広げる	その他	特にない	無回答
全体	904	197	178	130	119	109	73	70	47	79	267	170
	100.0	21.8	19.7	14.4	13.2	12.1	8.1	7.7	5.2	8.7	29.5	18.8
要介護度別												
要支援	204	40	30	22	21	25	16	15	4	19	76	26
	100.0	19.6	14.7	10.8	10.3	12.3	7.8	7.4	2.0	9.3	37.3	12.7
要介護1	276	63	56	41	33	36	19	19	11	26	86	42
	100.0	22.8	20.3	14.9	12.0	13.0	6.9	6.9	4.0	9.4	31.2	15.2
要介護2	115	25	26	12	23	12	9	7	7	8	34	20
	100.0	21.7	22.6	10.4	20.0	10.4	7.8	6.1	6.1	7.0	29.6	17.4
要介護3	61	17	13	12	9	11	6	9	4	7	16	7
	100.0	27.9	21.3	19.7	14.8	18.0	9.8	14.8	6.6	11.5	26.2	11.5
要介護4	66	20	21	18	11	8	9	8	7	6	9	12
	100.0	30.3	31.8	27.3	16.7	12.1	13.6	12.1	10.6	9.1	13.6	18.2
要介護5	63	15	21	15	13	10	9	10	11	6	12	14
	100.0	23.8	33.3	23.8	20.6	15.9	14.3	15.9	17.5	9.5	19.0	22.2

上段：実数
下段：%

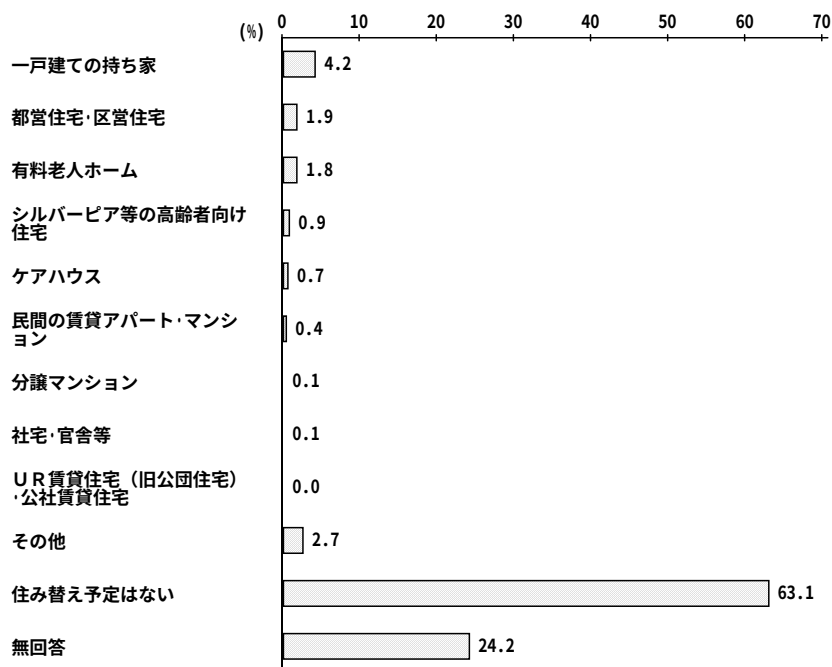
⑥ 住み替え予定の住宅（問 14）

問 14 あなた（あて名のご本人）は、近いうちに住み替えを予定されていますか。次のうち、あてはまる住宅を選んでください。（○は1つ）

近い将来の住み替え予定については「住み替え予定はない」が63.1%を占める。

＜要介護度別の傾向＞

全体の傾向と大きな違いはみられない。



＜要介護度別の比較＞

	全体	一戸建ての持ち家	都営住宅・区営住宅	有料老人ホーム	シルバーピア等の高齢者向け住宅	ケアハウス	民間の賃貸アパート・マンション	分譲マンション	社宅・官舎等	UR賃貸住宅（旧公団住宅）・公社賃貸住宅	その他	住み替え予定はない	無回答
全体	904	38	17	16	8	6	4	1	1	0	24	570	219
	100.0	4.2	1.9	1.8	0.9	0.7	0.4	0.1	0.1	0.0	2.7	63.1	24.2
要介護度別	204	3	7	6	3	1	0	0	0	0	4	138	42
要支援	100.0	1.5	3.4	2.9	1.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	67.6	20.6
要介護1	276	16	5	5	2	2	1	0	0	0	9	186	50
要介護2	100.0	5.8	1.8	1.8	0.7	0.7	0.4	0.0	0.0	0.0	3.3	67.4	18.1
要介護3	115	2	3	1	1	1	0	1	0	0	1	78	27
要介護4	100.0	1.7	2.6	0.9	0.9	0.9	0.0	0.9	0.0	0.0	0.9	67.8	23.5
要介護5	61	4	0	0	1	0	1	0	0	0	3	40	12
	100.0	6.6	0.0	0.0	1.6	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	4.9	65.6	19.7
	66	2	0	4	0	1	0	0	0	0	3	41	15
	100.0	3.0	0.0	6.1	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	62.1	22.7
	63	3	2	0	0	1	0	0	0	0	2	34	21
	100.0	4.8	3.2	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	54.0	33.3

上段：実数
下段：%

(3) 介護保険制度について

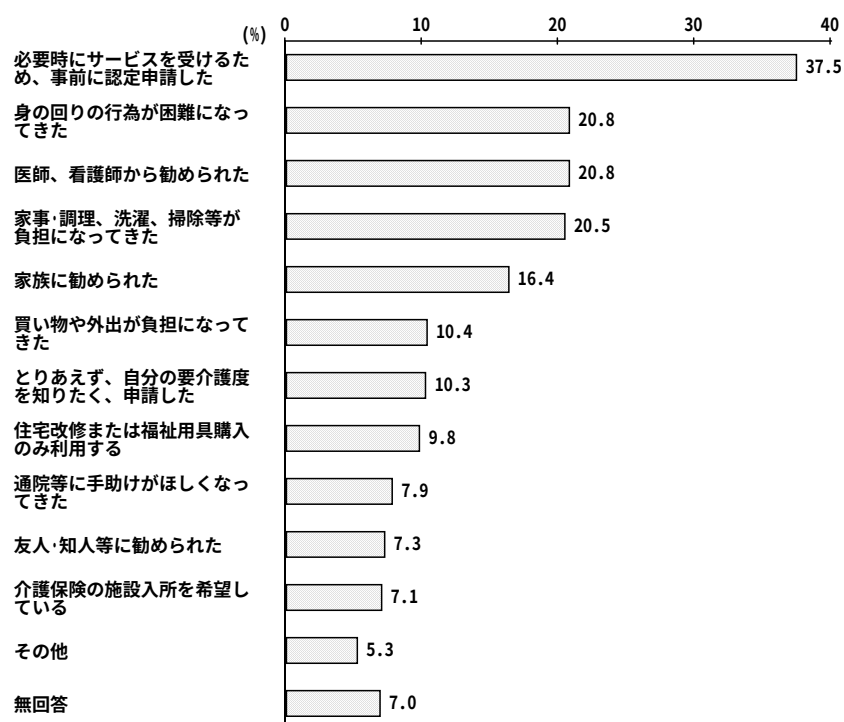
①要介護認定申請の理由（問 15、2つまで回答）

問 15 あなた（あて名のご本人）が、介護保険の要介護認定を申請した理由は何ですか。次のうち、あてはまるものに2つまで○をつけてください。（○は2つまで）

要介護認定の申請をした理由は、「必要時にサービスを受けるため事前に認定申請した」（37.5%）が最も高く、介護サービス利用者調査と違いがみられる。次いで「身の回りの行為が負担になってきたから」（20.8%）、「医師、看護師から勧められた」（20.8%）、「家事・料理、洗濯、掃除等が負担になってきたから」（20.5%）、「家族に勧められた」（16.4%）があげられている。

＜要介護度別の傾向＞

要支援および要介護1～3は「必要時にサービスを受けるため事前に認定申請した」が最も高いが、要介護4では「身の回りの行為が負担になってきたから」と「医師、看護師から勧められた」が、要介護5では「身の回りの行為が負担になってきたから」が最も高くなっている。



＜要介護度別の比較＞

	全体	必要時にサービスを受けるため、事前に認定申請した	身の回りの行為が困難になってきた	医師、看護師から勧められた	家事・調理、洗濯、掃除等が負担になってきた	家族に勧められた	買い物や外出が負担になってきた	とりあえず、自分の要介護度を知りたく、申請した	住宅改修または福祉用具購入のみ利用する	通院等に手助けがほしくなった	友人・知人等に勧められた	介護保険の施設入所を希望している	その他	無回答
全体	904 100.0	339 37.5	188 20.8	188 20.8	185 20.5	148 16.4	94 10.4	93 10.3	89 9.8	71 7.9	66 7.3	64 7.1	48 5.3	63 7.0
要支援	204 100.0	82 40.2	22 10.8	28 13.7	53 26.0	37 18.1	19 9.3	29 14.2	18 8.8	18 8.8	17 8.3	4 2.0	18 8.8	6 2.9
要介護1	276 100.0	116 42.0	49 17.8	53 19.2	70 25.4	51 18.5	40 14.5	35 12.7	34 12.3	21 7.6	26 9.4	12 4.3	11 4.0	8 2.9
要介護2	115 100.0	43 37.4	31 27.0	29 25.2	19 16.5	24 20.9	16 13.9	5 4.3	15 13.0	14 12.2	7 6.1	11 9.6	4 3.5	6 5.2
要介護3	61 100.0	24 39.3	23 37.7	17 27.9	6 9.8	10 16.4	7 11.5	3 4.9	9 14.8	7 11.5	4 6.6	11 18.0	3 4.9	1 1.6
要介護4	66 100.0	17 25.8	24 36.4	24 36.4	9 13.6	9 13.6	5 7.6	7 10.6	4 6.1	5 7.6	2 3.0	11 16.7	6 9.1	3 4.5
要介護5	63 100.0	21 33.3	25 39.7	18 28.6	11 17.5	9 14.3	2 3.2	2 3.2	0 0.0	3 4.8	1 1.6	11 17.5	3 4.8	1 1.6

上段：実数
下段：%

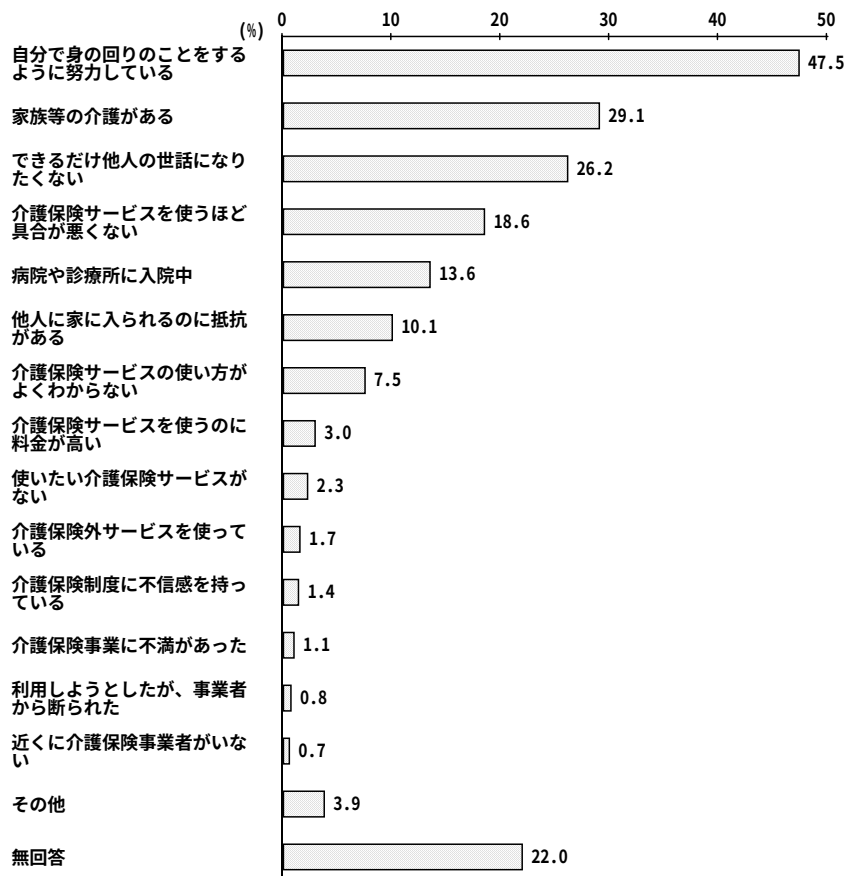
②介護サービス未利用理由（問 16、3つまで回答）

問 16 現在、介護サービスを利用されていない理由は何ですか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。（○は3つまで）

現在介護サービスを利用していない主な理由は、「自分で身の回りのことをするように努力している」が 47.5%で最も高い。次いで「家族等の介護がある」（29.1%）、「できるだけ他人の世話になりたくない」（26.2%）が上位にあげられている。

＜要介護度別の傾向＞

要支援および要介護1では「自分で身の回りのことをするように努力している」が最も高く、要介護2および3では「家族等の介護がある」、要介護4および5では「病院や診療所に入院中」が最も高くなっている。



上段：実数
下段：%

＜要介護度別の比較＞

	全体	自分で身の回りのことをするように努力している	家族等の介護がある	できるだけ他人の世話になりたくない	介護保険サービスを使うほど具合が悪くない	病院や診療所に入院中	他人に家に入られるのに抵抗がある	介護保険サービスの使い方がよくわからない	介護保険サービスを使うのに料金が安い	使いたい介護保険サービスがない	介護保険外サービスを使っている	介護保険制度に不信感を持っている	介護保険事業に不満があった	利用しようとしたが、事業者から断られた	近くに介護保険事業者がない	その他	無回答
全体	904 100.0	429 47.5	263 29.1	237 26.2	168 18.6	123 13.6	91 10.1	68 7.5	27 3.0	21 2.3	15 1.7	13 1.4	10 1.1	7 0.8	6 0.7	35 3.9	199 22.0
要介護度別																	
要支援	204 100.0	133 65.2	54 26.5	69 33.8	61 29.9	3 1.5	18 8.8	14 6.9	3 1.5	5 2.5	5 2.5	0 0.0	0 0.0	3 1.5	2 1.0	10 4.9	35 17.2
要介護1	276 100.0	172 62.3	100 36.2	91 33.0	53 19.2	7 2.5	33 12.0	20 7.2	15 5.4	8 2.9	4 1.4	4 1.4	3 1.1	2 0.7	2 0.7	10 3.6	53 19.2
要介護2	115 100.0	46 40.0	53 46.1	22 19.1	15 13.0	18 15.7	16 13.9	13 11.3	2 1.7	2 1.7	1 0.9	1 0.9	2 1.7	0 0.0	1 0.9	2 1.7	28 24.3
要介護3	61 100.0	6 9.8	19 31.1	8 13.1	4 6.6	16 26.2	6 9.8	4 6.6	1 1.6	1 1.6	1 1.6	1 1.6	1 1.6	1 1.6	0 0.0	5 8.2	18 29.5
要介護4	66 100.0	7 10.6	10 15.2	6 9.1	1 1.5	36 54.5	4 6.1	5 7.6	1 1.5	2 3.0	0 0.0	0 1.5	1 1.5	0 0.0	0 0.0	5 7.6	16 24.2
要介護5	63 100.0	3 4.8	5 7.9	2 3.2	1 1.6	36 57.1	3 4.8	1 1.6	0 0.0	2 3.2	2 3.2	3 4.8	3 4.8	1 1.6	0 0.0	0 0.0	20 31.7

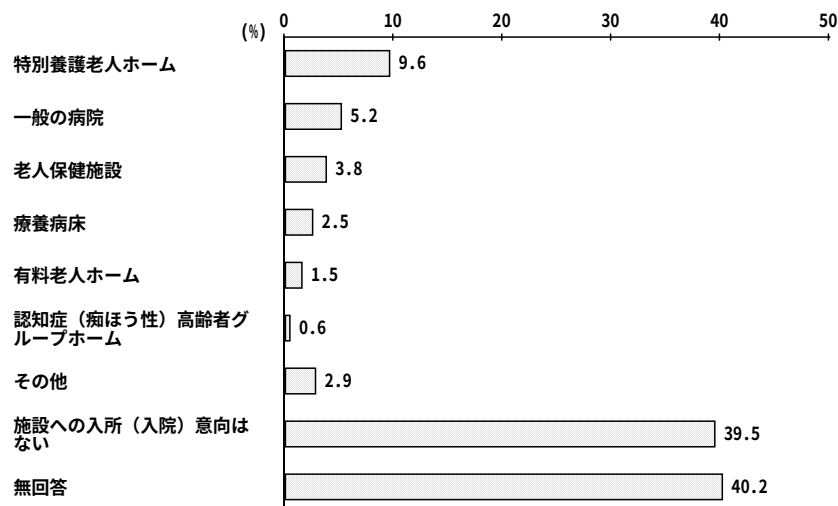
③入所（入院）申し込み状況（問 17、複数回答）

問 17 あなた（あて名のご本人）は、次の施設に入所（入院）申し込みをしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（あてはまるものすべてに○）

施設への入所（入院）の申し込み状況をみると、「施設への入所（入院）意向はない」が 39.5%を占める。具体的な入所（入院）申し込みは、「特別養護老人ホーム」が 9.6%で最も高く、「一般の病院」が 5.2%、「老人保健施設」が 3.8%、「療養病床」が 2.5%、「有料老人ホーム」が 1.5%、「認知症（痴呆）高齢者グループホーム」が 0.6%となっている。

＜要介護度別の傾向＞

要介護度が重いほど「特別養護老人ホーム」への入所申し込みをしている割合が高く、要介護5が 39.7%、要介護4が 34.8%となっている。



＜要介護度別の比較＞

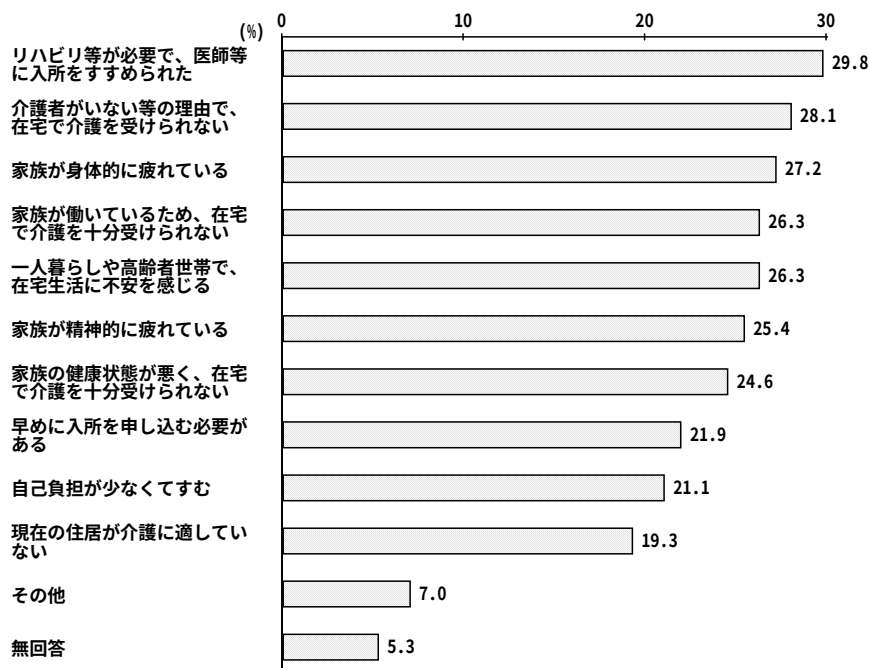
	全体	特別養護老人ホーム	一般の病院	老人保健施設	療養病床	有料老人ホーム	認知症（痴呆）高齢者グループホーム	その他	施設への入所（入院）意向はない	無回答
全体	904 100.0	87 9.6	47 5.2	34 3.8	23 2.5	14 1.5	5 0.6	26 2.9	357 39.5	363 40.2
要介護度別										
要支援	204 100.0	0 0.0	3 1.5	1 0.5	0 0.0	2 1.0	0 0.0	6 2.9	99 48.5	93 45.6
要介護1	276 100.0	7 2.5	9 3.3	2 0.7	0 0.0	8 2.9	1 0.4	4 1.4	142 51.4	106 38.4
要介護2	115 100.0	15 13.0	3 2.6	6 5.2	5 4.3	2 1.7	1 0.9	2 1.7	51 44.3	36 31.3
要介護3	61 100.0	10 16.4	5 8.2	6 9.8	2 3.3	1 1.6	0 0.0	4 6.6	13 21.3	24 39.3
要介護4	66 100.0	23 34.8	5 7.6	8 12.1	6 9.1	1 1.5	2 3.0	5 7.6	17 25.8	16 24.2
要介護5	63 100.0	25 39.7	8 12.7	9 14.3	8 12.7	0 0.0	0 0.0	3 4.8	7 11.1	19 30.2

上段：実数
下段：%

④介護保険施設申し込み理由（問 17－１、複数回答）

問 17－１ 申し込み理由はどのようなものですか。（あてはまるものすべてに○）

介護保険施設への申し込み理由は、「リハビリ等が必要で医師等に入所をすすめられた」（29.8%）、「介護者がいない等の理由で在宅で介護を受けられない」（28.1%）の割合が高く、介護サービス利用者調査とは異なる。次いで「家族が身体的に疲れている」（27.2%）、「家族が働いているため在宅で介護を十分に受けられない」（26.3%）、「一人暮らしや高齢者世帯のため、在宅での生活に不安を感じる」（26.3%）、「家族が精神的に疲れている」（25.4%）、「家族の健康状態が悪く、在宅で介護を十分に受けられない」（24.6%）、「早めに入所（入院）を申し込む必要がある」（21.9%）、「自己負担が少なくてすむ」（21.1%）、「現在の住居が介護に適していない」（19.3%）となっている。



<要介護度別の比較>

	全体	にリハビリ等が必要で、医師等に入所をすすめられた	介護者がいない等の理由で、在宅で介護を受けられない	家族が身体的に疲れている	家族が働いているため、在宅で介護を十分に受けられない	一人暮らしや高齢者世帯で、在宅生活に不安を感じる	家族が精神的に疲れている	家族の健康状態が悪く、在宅で介護を十分に受けられない	早めに入所を申し込む必要がある	自己負担が少なくてすむ	現在の住居が介護に適していない	その他	無回答
全体	114 100.0	34 29.8	32 28.1	31 27.2	30 26.3	30 26.3	29 25.4	28 24.6	25 21.9	24 21.1	22 19.3	8 7.0	6 5.3
要介護度別													
要支援	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
要介護1	9 100.0	2 22.2	5 55.6	1 11.1	2 22.2	6 66.7	0 0.0	0 0.0	3 33.3	4 44.4	1 11.1	0 0.0	0 0.0
要介護2	23 100.0	8 34.8	9 39.1	4 17.4	2 8.7	8 34.8	2 8.7	5 21.7	3 13.0	2 8.7	3 13.0	1 4.3	3 13.0
要介護3	15 100.0	5 33.3	2 13.3	7 46.7	5 33.3	1 6.7	7 46.7	3 20.0	4 26.7	1 6.7	4 26.7	2 13.3	0 0.0
要介護4	26 100.0	9 34.6	9 34.6	7 26.9	8 30.8	5 19.2	10 38.5	8 30.8	5 19.2	7 26.9	9 34.6	2 7.7	1 3.8
要介護5	31 100.0	9 29.0	5 16.1	9 29.0	9 29.0	8 25.8	8 25.8	11 35.5	7 22.6	5 16.1	5 16.1	3 9.7	1 3.2

上段：実数
下段：%

*サンプル数が少ないため、要介護度別のデータは参考値。

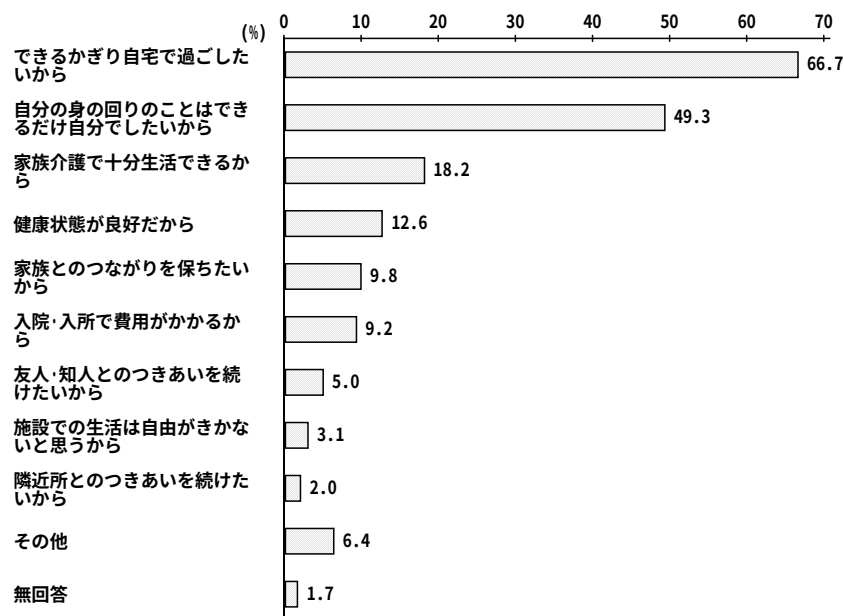
⑤施設入所を希望しない主な理由（問 17-2、2つまで回答）

問 17-2 施設への入所を希望されない主な理由は何ですか。次のうちから2つまで選んでください。（○は2つまで）

施設への入所（入院）を希望しない主な理由は「できるかぎり自宅で過ごしたいから」が66.7%である。次いで「自分の身の回りのことはできるだけ自分でしたかいら」（49.3%）があげられている。

＜要介護度別の傾向＞

「できるかぎり自宅で過ごしたいから」はいずれの要介護度でも高い。要支援および要介護1では「自分の身の回りのことはできるだけ自分でしたかいら」の割合も50%を超えて高い。



＜要介護度別の比較＞

	全体	できるかぎり自宅で過ごしたいから	自分の身の回りのことはできるだけ自分でしたかいら	家族介護で十分生活できるから	健康状態が良好だから	家族とのつながりを保ちたいから	入院・入所で費用がかかるから	友人・知人とのつきあいを続けたいから	施設での生活は自由がきかないと思うから	隣近所とのつきあいを続けたいから	その他	無回答
全体	357 100.0	238 66.7	176 49.3	65 18.2	45 12.6	35 9.8	33 9.2	18 5.0	11 3.1	7 2.0	23 6.4	6 1.7
要介護度別												
要支援	99 100.0	58 58.6	61 61.6	12 12.1	21 21.2	6 6.1	7 7.1	9 9.1	0 0.0	1 1.0	5 5.1	1 1.0
要介護1	142 100.0	103 72.5	73 51.4	26 18.3	15 10.6	14 9.9	17 12.0	8 5.6	4 2.8	5 3.5	7 4.9	2 1.4
要介護2	51 100.0	36 70.6	20 39.2	17 33.3	2 3.9	6 11.8	4 7.8	0 0.0	3 5.9	0 0.0	2 3.9	1 2.0
要介護3	13 100.0	9 69.2	3 23.1	2 15.4	1 7.7	2 15.4	2 15.4	0 0.0	1 7.7	0 0.0	1 7.7	2 15.4
要介護4	17 100.0	11 64.7	3 17.6	1 5.9	0 0.0	4 23.5	3 17.6	0 0.0	3 17.6	0 0.0	3 17.6	0 0.0
要介護5	7 100.0	3 42.9	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 42.9	0 0.0

上段：実数
下段：%

*要介護3～5はサンプル数が少ないため参考値。

(4) 健康状態について

①健康状態（問 18）

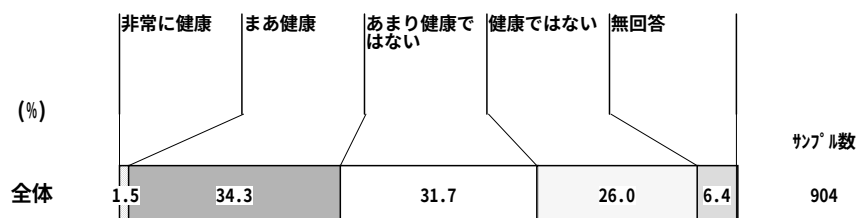
問 18 あなた（あて名のご本人）は、健康だと思いますか。（○は1つ）

問 18－1 その理由は何ですか。

自分の健康状態が「非常に健康」と考える人と「まあ健康」な人とあわせると 35.8%が健康と考えている。「あまり健康ではない」は 31.7%、「健康ではない」は 26.0%である。

＜要介護度別の傾向＞

「非常に健康」と「まあ健康」の合計は、要介護5が 21.2%と低いほかは 32.8%～47.1%である。



＜要介護度別の比較＞

	全体	非常に健康	まあ健康	あまり健康ではない	健康ではない	無回答
全体	904	14	310	287	235	58
	100.0	1.5	34.3	31.7	26.0	6.4
要介護度別						
要支援	204	5	91	74	25	9
	100.0	2.5	44.6	36.3	12.3	4.4
要介護1	276	1	100	93	64	18
	100.0	0.4	36.2	33.7	23.2	6.5
要介護2	115	2	38	37	34	4
	100.0	1.7	33.0	32.2	29.6	3.5
要介護3	61	2	18	15	23	3
	100.0	3.3	29.5	24.6	37.7	4.9
要介護4	66	0	14	17	31	4
	100.0	0.0	21.2	25.8	47.0	6.1
要介護5	63	0	4	12	41	6
	100.0	0.0	6.3	19.0	65.1	9.5

上段：実数
下段：%

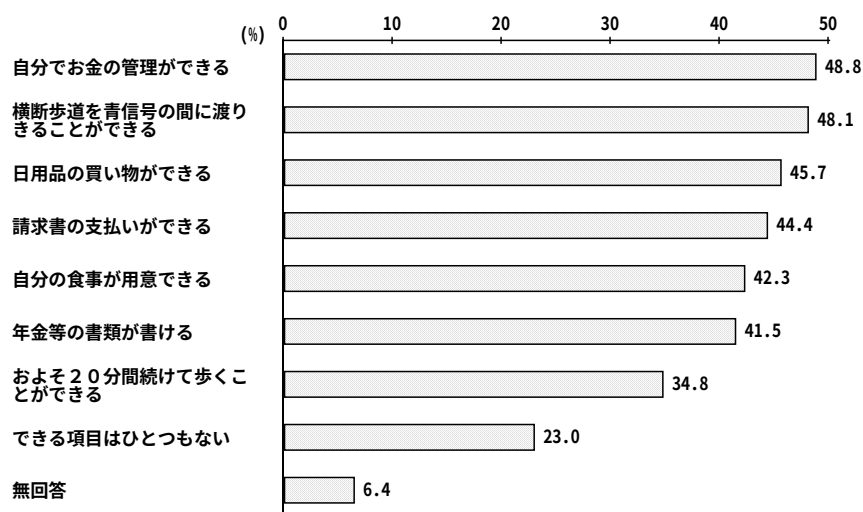
②日常生活の自立状況（問 19、複数回答）

問 19 あなた（あて名のご本人）がご自分でできる項目すべてに○をつけてください。（あてはまるものすべてに○）

日常生活の自立状況をみると、「自分でお金の管理ができる」が48.8%、「横断歩道を青信号の間に渡りることができる」が48.1%、「日用品の買い物ができる」が45.7%、「請求書の支払ができる」が44.4%、「自分の食事が用意できる」が42.3%、「年金等の書類が書ける」が41.5%、「およそ20分間続けて歩くことができる」が34.8%である。

＜要介護度別の傾向＞

要支援では「およそ20分間続けて歩くことができる」以外は60%以上の人ができると回答している。要介護3～5では、できるという回答割合が1割程度以下となり、「できる項目はひとつもない」割合が5割を超える。



＜要介護度別の比較＞

	全体	自分でお金の管理が できる	横断歩道を青信号の 間に渡り ことができる	日用品の 買い物が できる	請求書 の支払 い が で き る	自分の 食事が 用意 で き る	年金等 の書類 が書 ける	およそ 20分間 続けて 歩 く こ と が で き る	い で き る 項 目 は ひ と つ も な い	無 回 答
全体	904 100.0	441 48.8	435 48.1	413 45.7	401 44.4	382 42.3	375 41.5	315 34.8	208 23.0	58 6.4
要支援	204 100.0	162 79.4	153 75.0	159 77.9	156 76.5	140 68.6	136 66.7	112 54.9	3 1.5	6 2.9
要介護1	276 100.0	159 57.6	163 59.1	149 54.0	148 53.6	136 49.3	142 51.4	109 39.5	23 8.3	13 4.7
要介護2	115 100.0	34 29.6	35 30.4	24 20.9	28 24.3	21 18.3	31 27.0	29 25.2	43 37.4	6 5.2
要介護3	61 100.0	8 13.1	6 9.8	3 4.9	6 9.8	6 9.8	8 13.1	5 8.2	33 54.1	6 9.8
要介護4	66 100.0	3 4.5	4 6.1	3 4.5	3 4.5	6 9.1	5 7.6	2 3.0	47 71.2	7 10.6
要介護5	63 100.0	4 6.3	2 3.2	1 1.6	4 6.3	3 4.8	3 4.8	1 1.6	52 82.5	7 11.1

上段：実数
下段：%

(5) 食事について

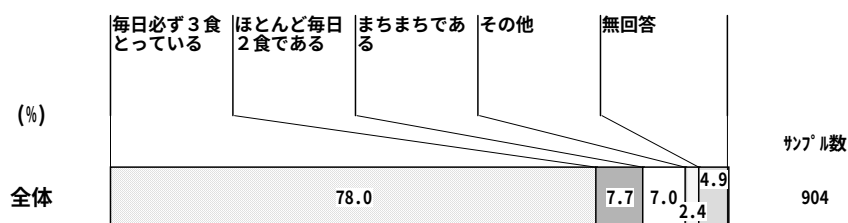
① 食事の摂取状況 (問 20)

問 20 あなた(あて名のご本人)はふだん毎日3食の食事をとっていますか。(○は1つ)

ふだんの食事について、「毎日必ず3食とっている」が78.0%を占める。「ほとんど毎日2食である」は7.7%、「まちまちである」は7.0%である。

＜要介護度別の傾向＞

要支援および要介護1では「ほとんど毎日2食である」割合が他の要介護度よりも高い。



＜要介護度別の比較＞

	全体	毎日必ず3食とっている	ほとんど毎日2食である	まちまちである	その他	無回答
全体	904	705	70	63	22	44
	100.0	78.0	7.7	7.0	2.4	4.9
要支援	204	163	19	16	0	6
	100.0	79.9	9.3	7.8	0.0	2.9
要介護1	276	215	30	21	1	9
	100.0	77.9	10.9	7.6	0.4	3.3
要介護2	115	96	9	9	0	1
	100.0	83.5	7.8	7.8	0.0	0.9
要介護3	61	51	2	4	2	2
	100.0	83.6	3.3	6.6	3.3	3.3
要介護4	66	52	1	4	4	5
	100.0	78.8	1.5	6.1	6.1	7.6
要介護5	63	35	2	2	15	9
	100.0	55.6	3.2	3.2	23.8	14.3

上段：実数
下段：%

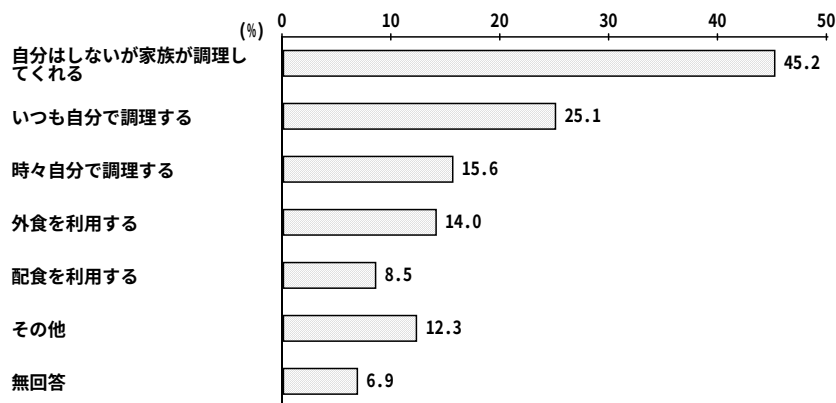
② 外食・配食の利用状況（問 21、複数回答）

問 21 あなた（あて名のご本人）はふだんの食事についてどのようにしていますか。（あてはまるものすべてに○）

ふだんの食事について、「自分はしないが家族が調理してくれる」が 45.2%で、「いつも自分で調理する」が 25.1%である。「外食を利用する」は 14.0%、「配食を利用する」は 8.5%である。

＜要介護度別の傾向＞

要支援は「いつも自分で料理する」割合が高く、要介護 1～3 では「自分はしないが家族が調理してくれる」割合が高い。要介護 4 および 5 は医療機関に入院中の人も多くいることから、「自分はしないが家族が調理してくれる」とともに「その他」の割合が高い。



＜要介護度別の比較＞

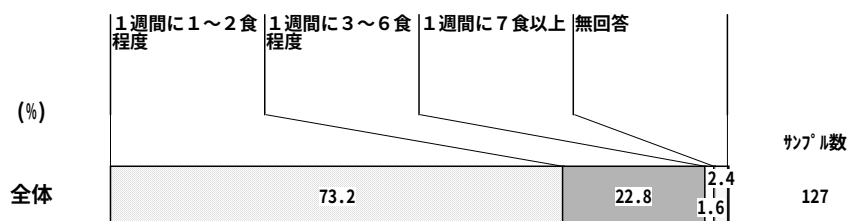
	全体	自分（自分）はしないが家族が調理してくれる	いつも自分で調理する	時々自分で調理する	外食を利用する	配食を利用する	その他	無回答
全体	904	409	227	141	127	77	111	62
	100.0	45.2	25.1	15.6	14.0	8.5	12.3	6.9
要介護度別	204	79	88	39	43	25	7	5
要介護1	276	137	77	57	49	30	11	11
要介護2	115	82	12	11	11	8	14	2
要介護3	61	37	2	2	0	5	14	5
要介護4	66	23	2	3	4	3	29	10
要介護5	63	14	2	2	0	0	29	17
	100.0	22.2	3.2	3.2	0.0	0.0	46.0	27.0

上段：実数
下段：%

③ 外食の利用頻度（問 21-1）

問 21-1 外食を利用されるのは、平均すると週に何回程度ですか。（○は1つ）

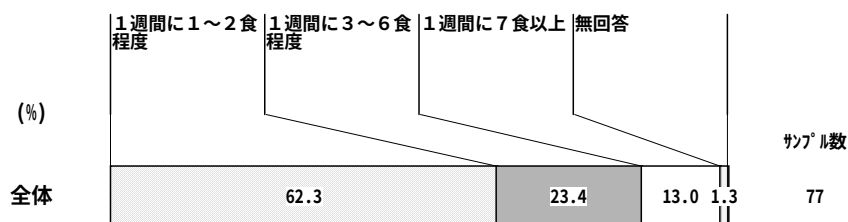
外食の利用頻度は、「1週間に7食以上」が 1.6%、「1週間に3～6食程度」が 22.8%、「1週間に1～2食程度」が 73.2%である。



④配食の利用頻度（問 21－2）

問 21－2 配食を利用されるのは、平均すると週に何回程度ですか。（○は1つ）

配食の利用頻度は、「1週間に7食以上」が13.0%、「1週間に3～6食程度」が23.4%、「1週間に1～2食程度」が62.3%である。



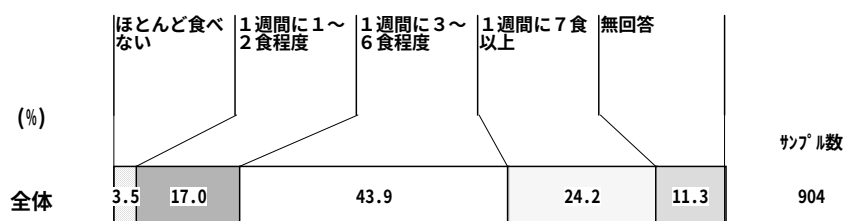
⑤肉や魚を食べる頻度（問 22）

問 22 あなた（あて名のご本人）が肉や魚を食べるのは、週に何回程度ですか。（○は1つ）

肉や魚を食べる頻度は、「1週間に7食以上」が24.2%、「1週間に3～6食程度」が43.9%である。「1週間に1～2食程度」が17.0%、「ほとんど食べない」が3.5%である。

＜要介護度別の傾向＞

要介護5で「ほとんど食べない」割合が高いほかは要支援～要介護4では違いはみられない。



＜要介護度別の比較＞

	全体	ほとんど食べない	1週間に1～2食程度	1週間に3～6食程度	1週間に7食以上	無回答
全体	904	32	154	397	219	102
	100.0	3.5	17.0	43.9	24.2	11.3
要支援	204	5	35	116	42	6
	100.0	2.5	17.2	56.9	20.6	2.9
要介護1	276	5	47	129	80	15
	100.0	1.8	17.0	46.7	29.0	5.4
要介護2	115	3	17	54	34	7
	100.0	2.6	14.8	47.0	29.6	6.1
要介護3	61	3	10	21	19	8
	100.0	4.9	16.4	34.4	31.1	13.1
要介護4	66	3	8	18	16	21
	100.0	4.5	12.1	27.3	24.2	31.8
要介護5	63	9	7	12	9	26
	100.0	14.3	11.1	19.0	14.3	41.3

上段：実数
下段：%

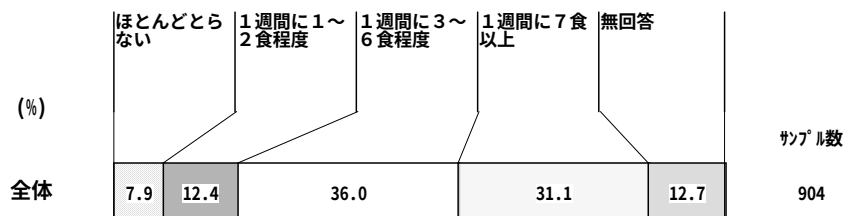
⑥乳製品を摂る頻度（問 23）

問 23 あなた（あて名のご本人）が乳製品をとるのは、週に何回程度ですか。（○は1つ）

乳製品については「1週間に7食以上」が31.1%、「1週間に3～6食程度」が36.0%である。「1週間に1～2食程度」が12.4%、「ほとんどとらない」が7.9%である。

＜要介護度別の傾向＞

要介護4および5で「ほとんどとらない」割合が高い。



＜要介護度別の比較＞

	全体	ほとんどとらない	1週間に1～2食程度	1週間に3～6食程度	1週間に7食以上	無回答
全体	904	71	112	325	281	115
	100.0	7.9	12.4	36.0	31.1	12.7
要介護度別						
要支援	204	15	23	91	67	8
	100.0	7.4	11.3	44.6	32.8	3.9
要介護1	276	18	35	106	98	19
	100.0	6.5	12.7	38.4	35.5	6.9
要介護2	115	8	17	39	42	9
	100.0	7.0	14.8	33.9	36.5	7.8
要介護3	61	2	3	27	20	9
	100.0	3.3	4.9	44.3	32.8	14.8
要介護4	66	5	11	14	16	20
	100.0	7.6	16.7	21.2	24.2	30.3
要介護5	63	11	7	6	12	27
	100.0	17.5	11.1	9.5	19.0	42.9

上段：実数
下段：%

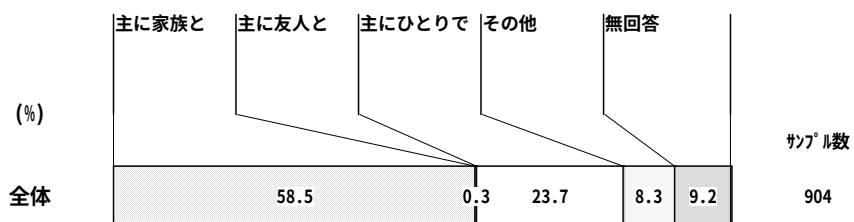
⑦主に食事を一緒にする人（問 24）

問 24 あなた（あて名のご本人）は、食事を主にどなたとられていますか。（○は1つ）

食事を「主に家族と」一緒にする人が58.5%であるが、「主にひとりで」とる人が23.7%みられる。

＜要介護度別の傾向＞

要介護度が軽いほど「主に家族と」と「主にひとりで」の割合が高く、要介護4と5では「その他」と無回答の割合が高い。



＜要介護度別の比較＞

	全体	主に家族と	主に友人と	主にひとりで	その他	無回答
全体	904	529	3	214	75	83
	100.0	58.5	0.3	23.7	8.3	9.2
要介護度別						
要支援	204	132	1	62	2	7
	100.0	64.7	0.5	30.4	1.0	3.4
要介護1	276	187	2	70	6	11
	100.0	67.8	0.7	25.4	2.2	4.0
要介護2	115	74	0	24	13	4
	100.0	64.3	0.0	20.9	11.3	3.5
要介護3	61	33	0	11	9	8
	100.0	54.1	0.0	18.0	14.8	13.1
要介護4	66	21	0	9	20	16
	100.0	31.8	0.0	13.6	30.3	24.2
要介護5	63	17	0	6	19	21
	100.0	27.0	0.0	9.5	30.2	33.3

上段：実数
下段：%

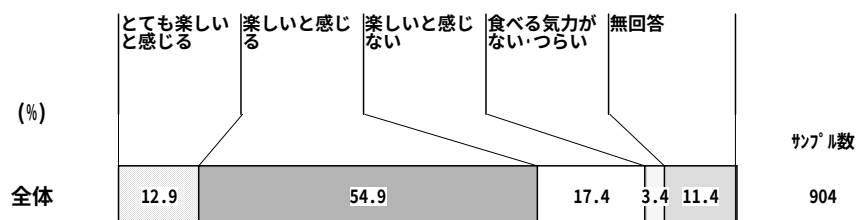
⑧食事を楽しいと感じるか（問 25）

問 25 あなた（あて名のご本人）は、食事をするのが楽しいと感じますか。（○は1つ）

ふだんの食事を「とても楽しいと感じる」は12.9%で、「楽しいと感じる」をあわせると67.8%である。「楽しいと感じない」は17.4%、「食べる気力がない・つらい」が3.4%みられる。

＜要介護度別の傾向＞

要介護度が重いほど「とても楽しいと感じる」と「楽しいと感じる」割合が低くなっている。



＜要介護度別の比較＞

	全体	とても楽しいと感じる	楽しいと感じる	楽しいと感じない	食べる気力がない・つらい	無回答
全体	904	117	496	157	31	103
	100.0	12.9	54.9	17.4	3.4	11.4
要介護度別						
要支援	204	26	131	35	3	9
	100.0	12.7	64.2	17.2	1.5	4.4
要介護1	276	40	166	48	10	12
	100.0	14.5	60.1	17.4	3.6	4.3
要介護2	115	17	66	19	5	8
	100.0	14.8	57.4	16.5	4.3	7.0
要介護3	61	4	32	9	6	10
	100.0	6.6	52.5	14.8	9.8	16.4
要介護4	66	4	29	12	2	19
	100.0	6.1	43.9	18.2	3.0	28.8
要介護5	63	2	13	13	5	30
	100.0	3.2	20.6	20.6	7.9	47.6

上段：実数
下段：%

(6) 外出とつきあいについて

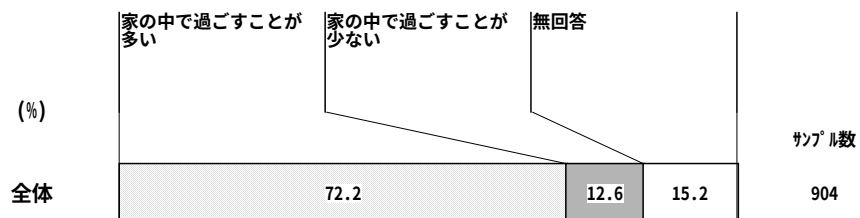
① 1日の外出状況（問 26）

問 26 あなた（あて名のご本人）は1日中家の外には出ず、家の中で過ごすことが多いですか。（○は1つ）

1日中「家の中で過ごすことが多い」が72.2%を占める。

＜要介護度別の傾向＞

要介護4および5で無回答の割合が高い。



＜要介護度別の比較＞

	全体	家の中で過ごすことが多い	家の中で過ごすことは少ない	無回答
全体	904 100.0	653 72.2	114 12.6	137 15.2
要介護度別				
要支援	204 100.0	149 73.0	40 19.6	15 7.4
要介護1	276 100.0	232 84.1	29 10.5	15 5.4
要介護2	115 100.0	90 78.3	11 9.6	14 12.2
要介護3	61 100.0	41 67.2	7 11.5	13 21.3
要介護4	66 100.0	37 56.1	1 1.5	28 42.4
要介護5	63 100.0	29 46.0	2 3.2	32 50.8

上段：実数
下段：%

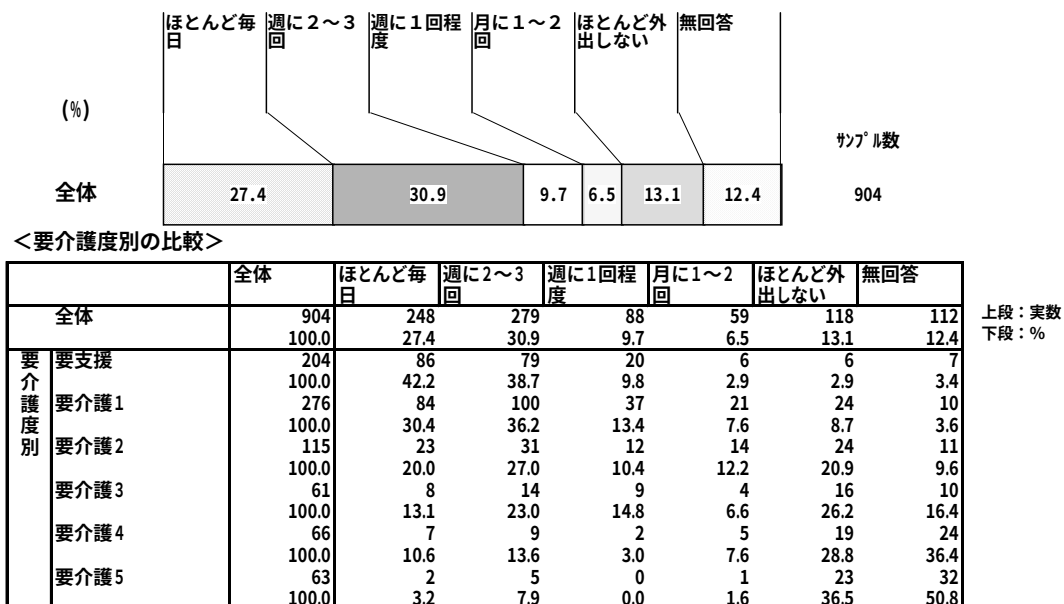
②外出頻度（問 27）

問 27 近所への買物、散歩、通院などを含め、あなた（あて名のご本人）の1週間の外出頻度を教えてください。（○は1つ）

外出頻度は、「ほとんど毎日」が27.4%で、「週に2～3回」をあわせると週2回以上外出する割合は58.3%である。「月に1～2回」が6.5%で、「ほとんど外出しない」が13.1%である。

＜要介護度別の傾向＞

要介護度が軽いほど外出頻度は高く、週2回以上外出する割合は、要支援が80.9%、要介護1が66.6%である。



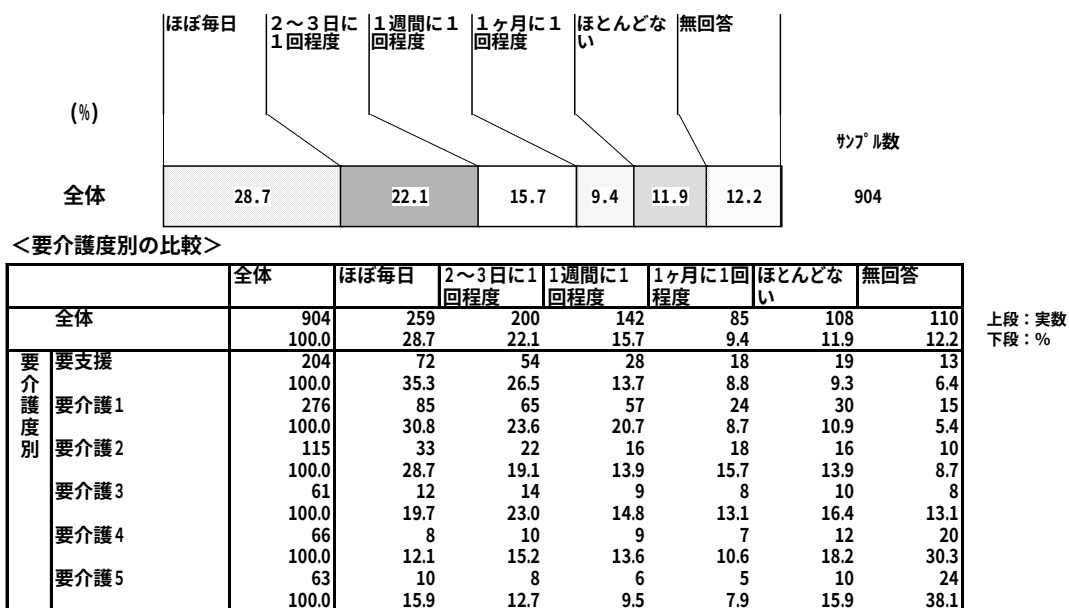
③同居者以外とおしゃべりの頻度（問 28）

問 28 あなた（あて名のご本人）が、友人や近所の人あるいは家族（別居）や親戚の方と会っておしゃべりする頻度はどれくらいですか。（○は1つ）

同居者以外と会っておしゃべりをする頻度は、「ほぼ毎日」が28.7%、「2～3日に1回程度」が22.1%、「1週間に1回程度」が15.7%である。「ほとんどない」は9.4%である。

＜要介護度別の傾向＞

要介護度が軽いほど同居者以外とおしゃべりの頻度は高い。



④外出時の介助の必要性（問 29）

問 29 外出するときのあなた（あて名のご本人）の状況はいかがですか。（○は1つ）

「交通機関を使って一人で外出できる」が 24.7%、「補助具を使いながら交通機関を利用し一人で外出できる」が 18.3%、「バスや電車等交通機関を使わない範囲内で外出できる」が 13.5%であり、ひとりで外出できる人の合計は 56.6%である。「介助者がいなければ外出できない」は 26.3%、「寝たきりで外出できない」は 6.2%である。

＜要介護度別の傾向＞

ひとりで外出できる人は、要支援が 85.8%、要介護 1 が 71.5%であるのに対し、要介護 4 以上では 10%以下である。

(%)	交通機関を使って一人で外出できる	補助具を使いながら交通機関を利用し一人で外出できる	バスや電車等交通機関を使わない範囲内で外出できる	介助者がいなければ外出できない	寝たきりで、外出できない	無回答	サンプル数
全体	24.7	18.3	13.5	26.3	6.2	11.1	904

＜要介護度別の比較＞

	全体	ほぼ毎日	2～3日に1回程度	1週間に1回程度	1ヶ月に1回程度	ほとんどない	無回答	
全体	904	259	200	142	85	108	110	上段：実数
	100.0	28.7	22.1	15.7	9.4	11.9	12.2	下段：%
要支援	204	72	54	28	18	19	13	
	100.0	35.3	26.5	13.7	8.8	9.3	6.4	
要介護1	276	85	65	57	24	30	15	
	100.0	30.8	23.6	20.7	8.7	10.9	5.4	
要介護2	115	33	22	16	18	16	10	
	100.0	28.7	19.1	13.9	15.7	13.9	8.7	
要介護3	61	12	14	9	8	10	8	
	100.0	19.7	23.0	14.8	13.1	16.4	13.1	
要介護4	66	8	10	9	7	12	20	
	100.0	12.1	15.2	13.6	10.6	18.2	30.3	
要介護5	63	10	8	6	5	10	24	
	100.0	15.9	12.7	9.5	7.9	15.9	38.1	

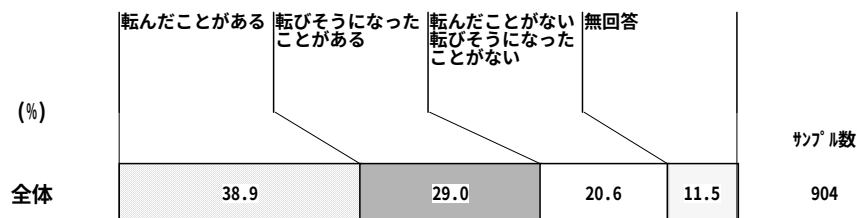
⑤ 1年以内の転倒経験（問 30）

問 30 あなた（あて名のご本人）は、この1年間（昨年11月以降）に転んだ（または転びそうになった）ことはありますか。（○は1つ）

過去1年間の転倒経験者は38.9%で、「転びそうになったことがある」は29.0%である。

＜要介護度別の傾向＞

転倒経験者の割合は要介護2が48.7%で最も高い。「転びそうになったことがある」割合は、要支援および要介護1～3で高い。



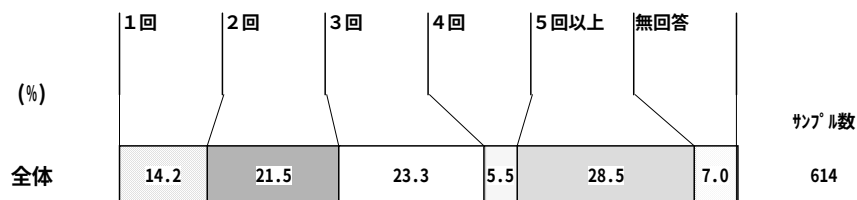
＜要介護度別の比較＞

	全体	転んだことがある	転びそうになったことがある	転んだことがない、転びそうになったことがない	無回答	
全体	904 100.0	352 38.9	262 29.0	186 20.6	104 11.5	上段：実数 下段：%
要支援	204 100.0	67 32.8	61 29.9	66 32.4	10 4.9	
要介護1	276 100.0	115 41.7	101 36.6	46 16.7	14 5.1	
要介護2	115 100.0	56 48.7	36 31.3	18 15.7	5 4.3	
要介護3	61 100.0	26 42.6	18 29.5	8 13.1	9 14.8	
要介護4	66 100.0	27 40.9	11 16.7	10 15.2	18 27.3	
要介護5	63 100.0	21 33.3	5 7.9	10 15.9	27 42.9	

⑥ 転倒もしくは転倒未遂回数（問 30－1）

問 30－1 あなた（あて名のご本人）は、この1年間に何回くらい転んだ（転びそうになった）ことがありますか。（○は1つ）

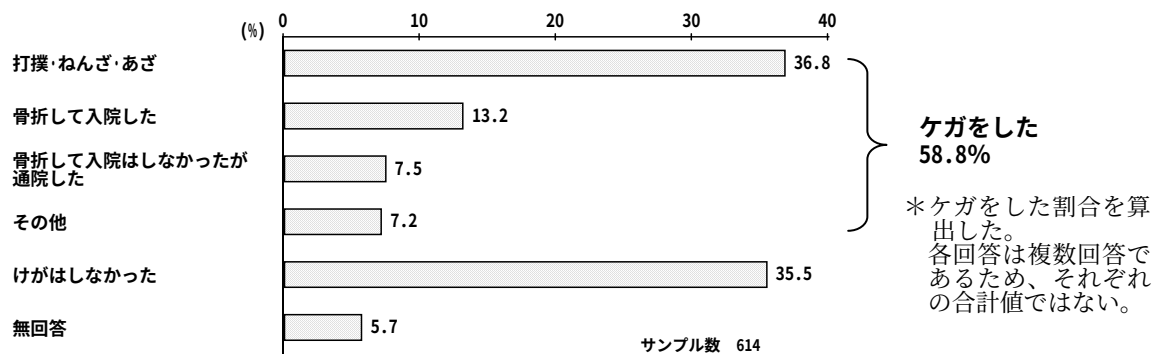
転倒もしくは転倒しそうになった回数は、「5回以上」が28.5%で最も高く、「3回」が23.3%、「2回」が21.5%である。



⑦転倒もしくは転倒未遂によるケガの状況（問 30－2、複数回答）

問 30－2 あなた（あて名のご本人）は、転んで（転びそうになって）ケガをしましたか。（あてはまるものすべてに○）

転倒もしくは転倒しそうになったことでケガをした人は58.8%で、「打撲・ねんざ・あざ」が36.8%、「骨折して入院した」が13.2%、「骨折して入院はしなかったが通院した」が7.5%である。



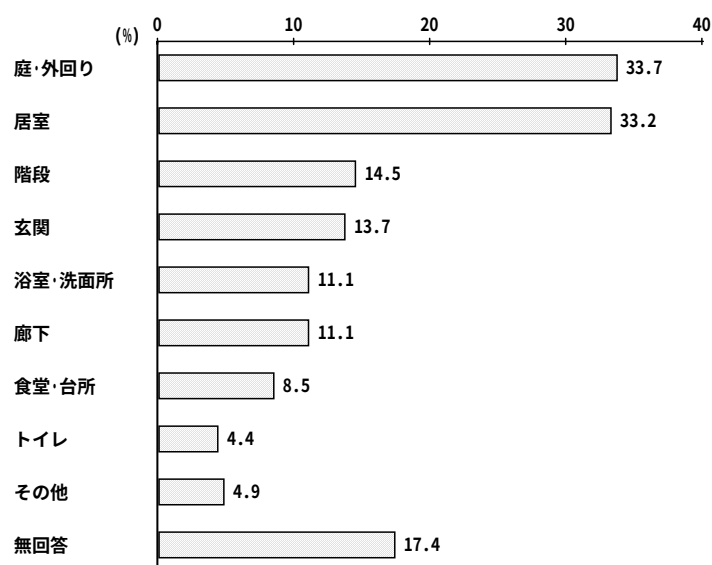
⑧転倒もしくは転倒未遂場所（問 30－3、複数回答）

問30－3 あなた（あて名のご本人）が、転んだ（転びそうになった）場所はどこですか。① 家の中（庭先などの敷地内を含む）の「具体的な場所」（あてはまるものすべてに○）② 家の外の「具体的な場所」（あてはまるものすべてに○）

転倒もしくは転倒しそうになった家の中の主な場所は「庭・外回り」（33.7%）、「居室」（33.2%）である。

＜要介護度別の傾向＞

要支援および要介護1では「庭・外回り」が最も高く、要介護2～5では「居室」が最も高い。



＜要介護度別の比較＞

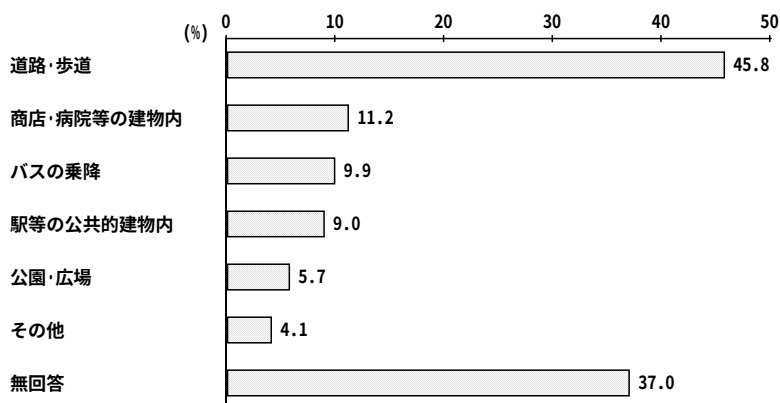
	全体	庭・外回り	居室	階段	玄関	浴室・洗面所	廊下	食堂・台所	トイレ	その他	無回答
全体	614	207	204	89	84	68	68	52	27	30	107
	100.0	33.7	33.2	14.5	13.7	11.1	11.1	8.5	4.4	4.9	17.4
要支援	128	47	41	20	17	11	8	10	1	5	28
	100.0	36.7	32.0	15.6	13.3	8.6	6.3	7.8	0.8	3.9	21.9
要介護1	216	86	63	35	36	20	21	24	8	11	34
	100.0	39.8	29.2	16.2	16.7	9.3	9.7	11.1	3.7	5.1	15.7
要介護2	92	30	38	11	16	14	12	7	4	2	11
	100.0	32.6	41.3	12.0	17.4	15.2	13.0	7.6	4.3	2.2	12.0
要介護3	44	12	16	6	3	8	4	4	3	3	6
	100.0	27.3	36.4	13.6	6.8	18.2	9.1	9.1	6.8	6.8	13.6
要介護4	38	7	16	4	4	4	9	0	5	5	7
	100.0	18.4	42.1	10.5	10.5	10.5	23.7	0.0	13.2	13.2	18.4
要介護5	26	4	10	2	3	5	7	2	3	2	2
	100.0	15.4	38.5	7.7	11.5	19.2	26.9	7.7	11.5	7.7	7.7

上段：実数
下段：%

転倒もしくは転倒しそうになった家の外の主な場所は「道路・歩道」(45.8%)である。

<<要介護度別の傾向>>

要介護度が軽いほど「道路・歩道」を転倒した場所としてあげられている割合が高く、要支援では56.3%、要介護1では50.0%となっている。



<要介護度別の比較>

	全体	道路・歩道	商店・病院等の建物内	バスの乗降	駅等の公共的建物内	公園・広場	その他	無回答
全体	614	281	69	61	55	35	25	227
	100.0	45.8	11.2	9.9	9.0	5.7	4.1	37.0
要支援	128	72	11	22	19	6	5	40
	100.0	56.3	8.6	17.2	14.8	4.7	3.9	31.3
要介護1	216	108	23	18	23	15	10	71
	100.0	50.0	10.6	8.3	10.6	6.9	4.6	32.9
要介護2	92	38	12	13	5	5	3	38
	100.0	41.3	13.0	14.1	5.4	5.4	3.3	41.3
要介護3	44	17	5	2	1	2	2	19
	100.0	38.6	11.4	4.5	2.3	4.5	4.5	43.2
要介護4	38	6	9	0	2	1	2	20
	100.0	15.8	23.7	0.0	5.3	2.6	5.3	52.6
要介護5	26	7	4	0	0	1	1	13
	100.0	26.9	15.4	0.0	0.0	3.8	3.8	50.0

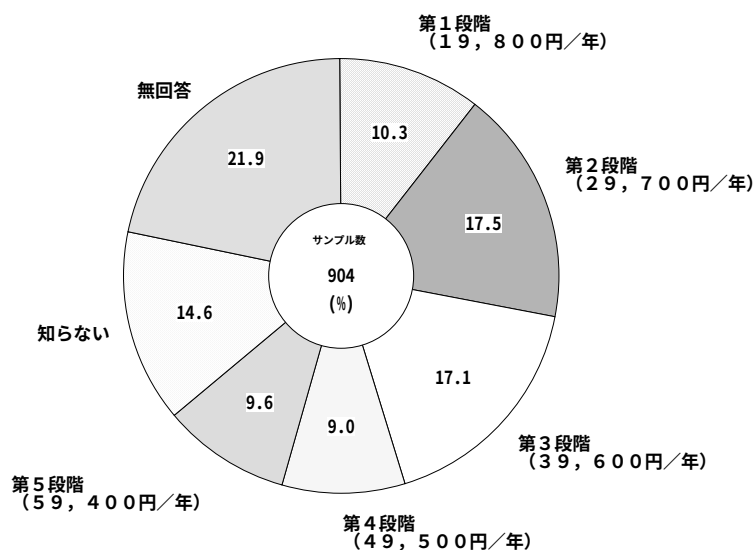
上段：実数
下段：%

(7) 介護保険について

①介護保険料 (問 31)

問 31 あなた(あて名のご本人)の介護保険料(年額)はいくらですか。(○は1つ)

介護保険料は、「第1段階」が10.3%、「第2段階」が17.5%、「第3段階」が17.1%、「第4段階」が9.0%、「第5段階」が9.6%であり、介護保険料を「知らない」が14.6%である。



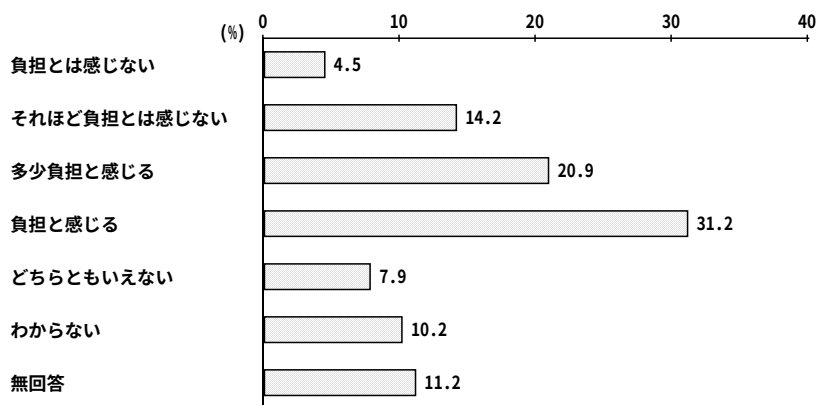
②介護保険料の負担感（問 32）

問 32 あなた（あて名のご本人）は、介護保険料についてどのように感じていますか。（○は1つ）

介護保険料を「負担とは感じない」は4.5%で、「それほど負担とは感じない」をあわせると18.7%となる。「多少負担と感じる」は20.9%、「負担と感じる」は31.2%である。

＜介護保険料の段階別の傾向＞

介護保険料の段階別にみると、「多少負担と感じる」と「負担と感じる」をあわせた割合は、第2～4段階で高く、第2段階は62.7%、第3段階は74.2%、第4段階は74.1%である。



＜介護保険料の段階別の比較＞

	全体	負担とは感じない	それほど負担とは感じない	多少負担と感じる	負担と感じる	どちらともいえない	わからない	無回答
全体	904	41	128	189	282	71	92	101
	100.0	4.5	14.2	20.9	31.2	7.9	10.2	11.2
介護保険料の段階別								
第1段階 (19,800円/円)	93	14	21	23	20	7	5	3
	100.0	15.1	22.6	24.7	21.5	7.5	5.4	3.2
第2段階 (29,700円/円)	158	5	25	36	63	12	11	6
	100.0	3.2	15.8	22.8	39.9	7.6	7.0	3.8
第3段階 (39,600円/円)	155	5	15	47	68	6	7	7
	100.0	3.2	9.7	30.3	43.9	3.9	4.5	4.5
第4段階 (49,500円/円)	81	2	10	23	37	9	0	0
	100.0	2.5	12.3	28.4	45.7	11.1	0.0	0.0
第5段階 (59,400円/円)	87	3	21	20	29	9	4	1
	100.0	3.4	24.1	23.0	33.3	10.3	4.6	1.1
知らない	132	4	18	15	29	11	52	3
	100.0	3.0	13.6	11.4	22.0	8.3	39.4	2.3

上段：実数
下段：%

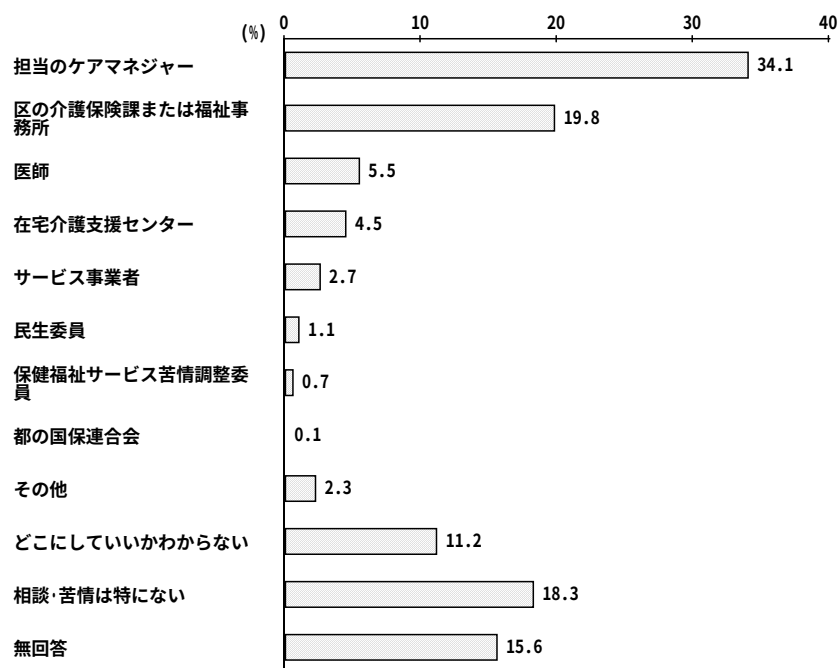
③介護保険の相談・苦情先（問 33、複数回答）

問 33 あなた（あて名のご本人）は、介護保険に関する相談・苦情をどこにしていますか。（あてはまるものすべてに○）

介護保険に関する相談や苦情は「担当のケアマネジャー」が最も高く 34.1%である。次いで高いのは「区の介護保険課または福祉事務所」(19.8%)である。「どこに相談していいかわからない」が 11.2%いる。

＜要介護度別の傾向＞

いずれも「担当のケアマネジャー」の割合が高く、次いで「区の介護保険課または福祉事務所」が高いが、特に要介護5では「区の介護保険課または福祉事務所」が 31.7%で高い。



＜要介護度別の比較＞

	全体	担当のケアマネ	たは福祉事務所	医師	在宅介護支援センター	サービス事業者	民生委員	保健福祉サービス苦情調整委員	都の国保連合会	その他	どこにしていかわからない	相談・苦情は特にない	無回答
全体	904 100.0	308 34.1	179 19.8	50 5.5	41 4.5	24 2.7	10 1.1	6 0.7	1 0.1	21 2.3	101 11.2	165 18.3	141 15.6
要介護度別													
要支援	204 100.0	69 33.8	41 20.1	11 5.4	11 5.4	7 3.4	2 1.0	0 0.0	1 0.5	1 0.5	25 12.3	38 18.6	30 14.7
要介護1	276 100.0	101 36.6	51 18.5	14 5.1	14 5.1	6 2.2	4 1.4	2 0.7	0 0.0	5 1.8	30 10.9	57 20.7	33 12.0
要介護2	115 100.0	42 36.5	22 19.1	4 3.5	7 6.1	1 0.9	2 1.7	0 0.0	0 0.0	1 0.9	11 9.6	29 25.2	14 12.2
要介護3	61 100.0	23 37.7	14 23.0	5 8.2	2 3.3	3 4.9	1 1.6	0 0.0	0 0.0	3 4.9	6 9.8	9 14.8	8 13.1
要介護4	66 100.0	23 34.8	16 24.2	4 6.1	4 6.1	1 1.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 6.1	8 12.1	7 10.6	10 15.2
要介護5	63 100.0	24 38.1	20 31.7	7 11.1	2 3.2	5 7.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 4.8	6 9.5	7 11.1	7 11.1

上段：実数
下段：%

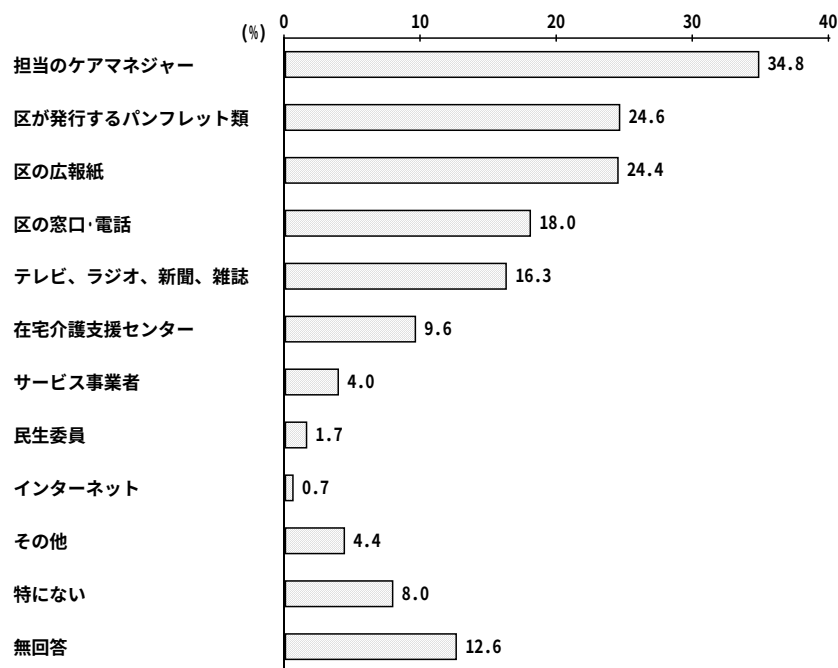
④介護保険制度・サービス事業者に関する情報の入手先（問 34、複数回答）

問 34 あなた（あて名のご本人）は、介護保険の制度・サービス事業者等に関する情報は、どこから得ていますか。（あてはまるものすべてに○）

介護保険制度やサービス事業者に関する情報入手先は「担当のケアマネジャー」が最も高く 34.8% である。次いで「区が発行するパンフレット類」（24.6%）、「区の広報紙」（24.4%）が高い。

＜要介護度別の傾向＞

全体の傾向と大きな違いはみられない。



＜要介護度別の比較＞

	全体	担当のケアマネ	区が発行するパンフレット類	区の広報紙	区の窓口・電話	テレビ、ラジオ、新聞、雑誌	在宅介護支援センター	サービス事業者	民生委員	インターネット	その他	特にない	無回答
全体	904 100.0	315 34.8	222 24.6	221 24.4	163 18.0	147 16.3	87 9.6	36 4.0	15 1.7	6 0.7	40 4.4	72 8.0	114 12.6
要介護度別													
要支援	204 100.0	71 34.8	59 28.9	54 26.5	37 18.1	38 18.6	22 10.8	8 3.9	5 2.5	3 1.5	7 3.4	14 6.9	22 10.8
要介護1	276 100.0	101 36.6	69 25.0	82 29.7	46 16.7	46 16.7	29 10.5	13 4.7	6 2.2	0 0.0	13 4.7	22 8.0	31 11.2
要介護2	115 100.0	43 37.4	25 21.7	25 21.7	19 16.5	17 14.8	11 9.6	3 2.6	1 0.9	0 0.0	4 3.5	12 10.4	13 11.3
要介護3	61 100.0	24 39.3	15 24.6	13 21.3	14 23.0	11 18.0	7 11.5	4 6.6	1 1.6	0 0.0	4 6.6	3 4.9	6 9.8
要介護4	66 100.0	25 37.9	16 24.2	15 22.7	16 24.2	6 9.1	6 9.1	3 4.5	1 1.5	0 0.0	1 1.5	5 7.6	10 15.2
要介護5	63 100.0	25 39.7	18 28.6	15 23.8	14 22.2	11 17.5	3 4.8	3 4.8	0 0.0	2 3.2	6 9.5	1 1.6	8 12.7

上段：実数
下段：%

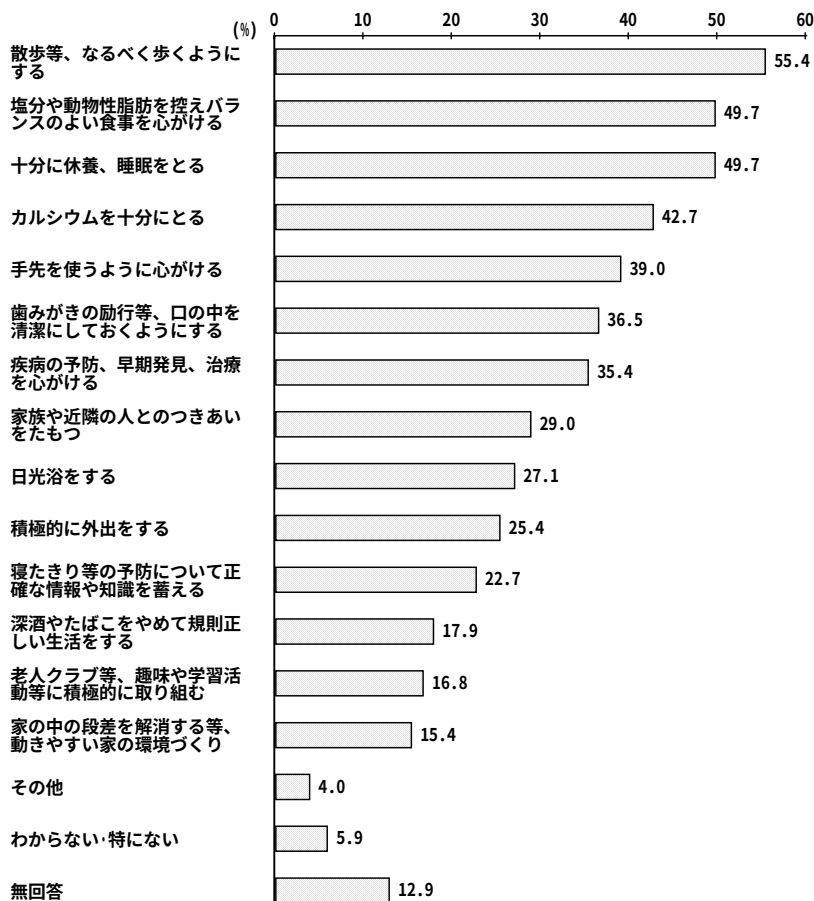
⑤寝たきりや痴ほうの改善に向けて必要な取り組み（問 35、複数回答）

問 35 寝たきりや痴ほうの改善のために、あなた（あて名のご本人）はどのような取り組みが必要と考えますか。
（あてはまるものすべてに○）

寝たきりや認知症の改善に向けて必要な取り組みは、「散歩など、なるべく歩くようにする」をあげた割合が 55.4%で最も高い。以下「塩分や動物性脂肪を控え、バランスのよい食事を心がける」（49.7%）、「十分に休養、睡眠をとる」（49.7%）、「カルシウムを十分にとる」（42.7%）、「手先を使うように心がける」（39.0%）、「歯みがきの励行等、口の中を清潔にしておくようにする」（36.5%）、「疾病の予防、早期発見、治療を心がける」（35.4%）が上位である。

＜要介護度別の傾向＞

要介護が軽いほど必要と考える取り組みの割合が高い。



上段：実数
下段：%

＜要介護度別の比較＞

	全体	散歩等、なるべく歩くようにする	塩分や動物性脂肪を控え、バランスのよい食事を心がける	十分に休養、睡眠をとる	カルシウムを十分にとる	手先を使うように心がける	歯みがきの励行等、口の中を清潔にしておくようにする	疾病の予防、早期発見、治療を心がける	家族や近隣の人とのつきあいをたもつ	日光浴をする	積極的に外出をする	寝たきり等の予防について正確な情報や知識を蓄える	深酒やたばこをやめて規則正しい生活をする	老人クラブ等、趣味や学習活動等に積極的に取り組む	家の中の段差を解消する等、動きやすい家の環境づくり	その他	わからない・特にない	無回答
全体	904 100.0	501 55.4	449 49.7	449 49.7	386 42.7	353 39.0	330 36.5	320 35.4	262 29.0	245 27.1	230 25.4	205 22.7	162 17.9	152 16.8	139 15.4	36 4.0	53 5.9	117 12.9
要介護度別																		
要支援	204 100.0	145 71.1	127 62.3	142 69.6	113 55.4	104 51.0	104 51.0	92 45.1	86 42.2	67 32.8	78 38.2	56 27.5	46 22.5	50 24.5	40 19.6	6 2.9	7 3.4	17 8.3
要介護1	276 100.0	165 59.8	151 54.7	153 55.4	125 45.3	122 44.2	111 40.2	108 39.1	84 30.4	79 28.6	73 26.4	65 23.6	59 21.4	42 15.2	44 15.9	9 3.3	11 4.0	22 8.0
要介護2	115 100.0	56 48.7	46 40.0	46 40.0	38 33.0	36 31.3	29 25.2	36 31.3	23 20.0	19 16.5	21 18.3	17 14.8	19 16.5	11 9.6	15 13.0	2 1.7	12 10.4	11 9.6
要介護3	61 100.0	36 59.0	28 45.9	23 37.7	30 49.2	20 32.8	18 29.5	20 32.8	12 19.7	18 29.5	12 19.7	13 21.3	11 18.0	12 19.7	12 19.7	3 4.9	5 8.2	7 11.5
要介護4	66 100.0	22 33.3	24 36.4	22 33.3	23 34.8	20 30.3	17 25.8	18 27.3	10 15.2	18 27.3	8 12.1	14 21.2	8 12.1	10 15.2	7 10.6	5 7.6	5 7.6	13 19.7
要介護5	63 100.0	17 27.0	17 27.0	13 20.6	16 25.4	11 17.5	13 20.6	11 17.5	9 14.3	12 19.0	5 7.9	14 22.2	4 6.3	6 9.5	7 11.1	6 9.5	10 15.9	18 28.6

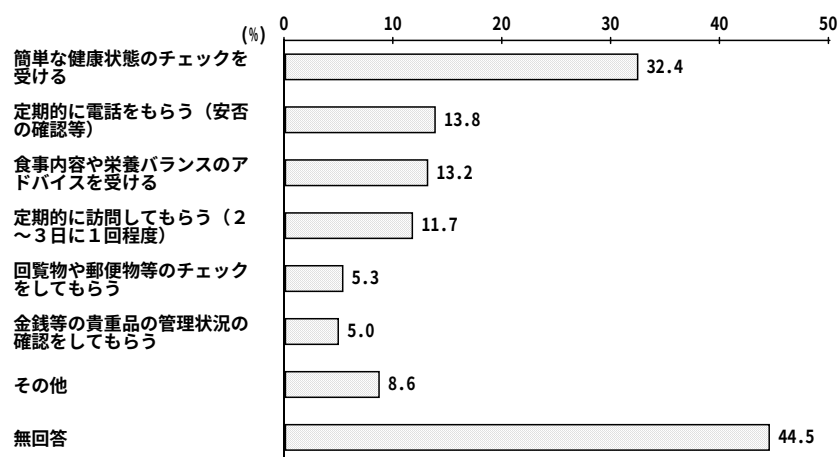
⑥ 普段の生活で必要な見守り（問 36、複数回答）

問 36 あなた（あて名のご本人）は、ふだんの生活でどのような見守りが必要ですか。あてはまるものに○をつけてください。（あてはまるものすべてに○）

普段の生活で必要と考える見守りは、「簡単な健康チェックを受ける」をあげる割合が 32.4%で最も高い。以下「定期的に電話をもらう」が 13.8%、「食事内容や栄養バランスのアドバイスを受ける」が 13.2%、「定期的に訪問してもらう」が 11.7%、「回覧板や郵便物のチェックをしてもらう」が 5.3%、「金銭等の貴重品の管理状況の確認をしてもらう」が 5.0%となっている。

＜要介護度別の傾向＞

いずれの要介護度においても「簡単な健康状態のチェックを受ける」の割合が最も高い。要支援では次いで「定期的に電話をもらう」、要介護3および4では「食事内容や栄養バランスのアドバイスを受ける」、要介護5では「定期的に訪問してもらう」の割合が高い。



＜要介護度別の比較＞

	全体	簡単な健康状態のチェックを受ける	定期的に電話をもらう（安否の確認等）	食事内容や栄養バランスのアドバイスを受ける	定期的に訪問してもらう（2～3日に1回程度）	回覧物や郵便物等のチェックをしてもらう	金銭等の貴重品の管理状況の確認をしてもらう	その他	無回答
全体	904	293	125	119	106	48	45	78	402
	100.0	32.4	13.8	13.2	11.7	5.3	5.0	8.6	44.5
要支援	204	72	45	32	19	9	6	14	79
	100.0	35.3	22.1	15.7	9.3	4.4	2.9	6.9	38.7
要介護1	276	92	43	34	30	16	13	24	113
	100.0	33.3	15.6	12.3	10.9	5.8	4.7	8.7	40.9
要介護2	115	38	7	11	11	8	9	10	56
	100.0	33.0	6.1	9.6	9.6	7.0	7.8	8.7	48.7
要介護3	61	25	8	12	11	7	5	4	23
	100.0	41.0	13.1	19.7	18.0	11.5	8.2	6.6	37.7
要介護4	66	20	2	14	10	2	4	7	35
	100.0	30.3	3.0	21.2	15.2	3.0	6.1	10.6	53.0
要介護5	63	15	7	7	15	4	4	11	28
	100.0	23.8	11.1	11.1	23.8	6.3	6.3	17.5	44.4

上段：実数
下段：%

(8) 医療について

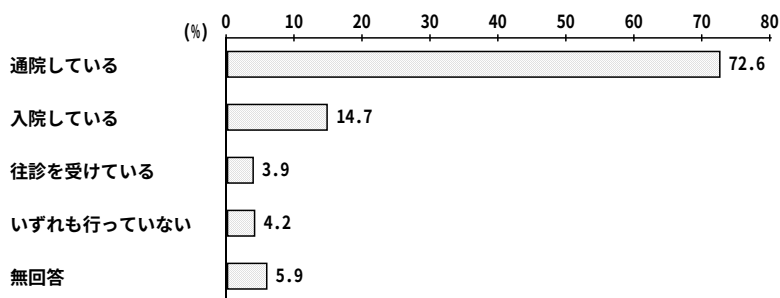
①通院状況（問 37、複数回答）

問 37 あなた（ご本人）は現在、通院や往診などで診療を受けていますか。（あてはまるものすべてに○）

「通院している」が72.6%で、「入院している」が14.7%である。医療機関を受診していない人は4.2%である。

＜要介護度別の傾向＞

要支援および要介護1～3では「通院している」割合が高い。要介護4および5では「入院している」割合が高く、それぞれ60.6%、61.9%である。



＜要介護度別の比較＞

	全体	通院している	入院している	往診を受けている	いずれも行っていない	無回答
全体	904	656	133	35	38	53
	100.0	72.6	14.7	3.9	4.2	5.9
要支援	204	177	2	3	6	17
	100.0	86.8	1.0	1.5	2.9	8.3
要介護1	276	242	10	9	12	7
	100.0	87.7	3.6	3.3	4.3	2.5
要介護2	115	82	15	7	4	8
	100.0	71.3	13.0	6.1	3.5	7.0
要介護3	61	35	18	2	5	2
	100.0	57.4	29.5	3.3	8.2	3.3
要介護4	66	18	40	7	1	2
	100.0	27.3	60.6	10.6	1.5	3.0
要介護5	63	11	39	5	4	5
	100.0	17.5	61.9	7.9	6.3	7.9

上段：実数
下段：%

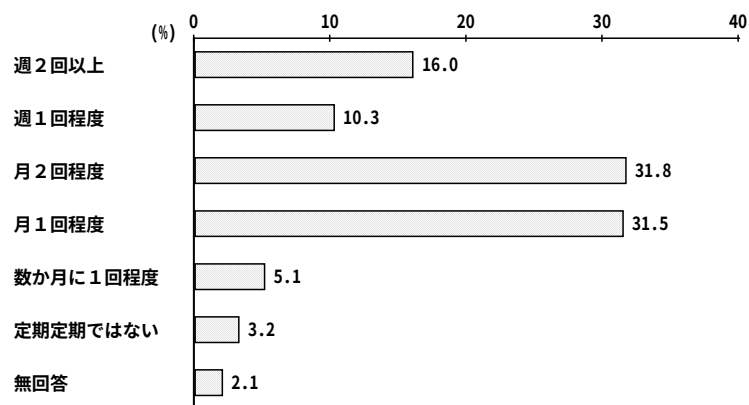
②通院・往診の頻度（問 37－1）

問 37－1 医療機関（病院・医院・診療所など）にはどのくらいの頻度で、通院や往診を受けたりしていますか。（○は1つ）

通院もしくは往診の頻度は、「週 2 回以上」が 16.0%、「週 1 回程度」が 10.3%、「月 2 回程度」が 31.8%、「月 1 回程度」が 31.5%となっており、あわせて 89.6%が定期的に医療機関を受診している。

＜要介護度別の傾向＞

全体の傾向と大きな違いはみられない。



＜要介護度別の比較＞

	全体	週2回以上	週1回程度	月2回程度	月1回程度	数か月に1回程度	定期定期ではない	無回答
全体	680	109	70	216	214	35	22	14
	100.0	16.0	10.3	31.8	31.5	5.1	3.2	2.1
要支援	179	25	19	65	54	7	4	5
	100.0	14.0	10.6	36.3	30.2	3.9	2.2	2.8
要介護1	247	43	26	78	81	9	6	4
	100.0	17.4	10.5	31.6	32.8	3.6	2.4	1.6
要介護2	88	12	8	29	27	10	2	0
	100.0	13.6	9.1	33.0	30.7	11.4	2.3	0.0
要介護3	36	7	2	10	10	4	2	1
	100.0	19.4	5.6	27.8	27.8	11.1	5.6	2.8
要介護4	23	2	2	8	10	0	1	0
	100.0	8.7	8.7	34.8	43.5	0.0	4.3	0.0
要介護5	15	3	3	3	5	1	0	0
	100.0	20.0	20.0	20.0	33.3	6.7	0.0	0.0

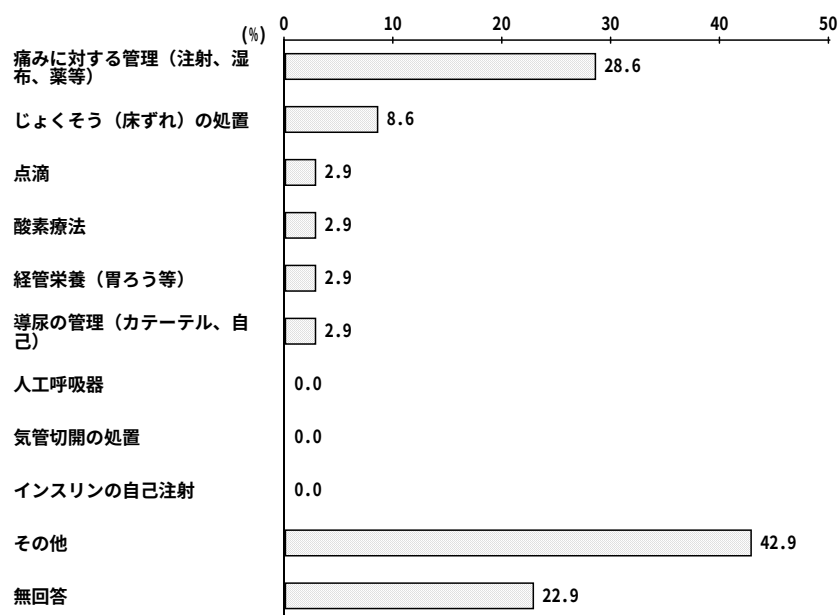
上段：実数
下段：%

*要介護 3～5 はサンプル数が少ないため参考値。

③往診の内容（問 37－2）

問 37－2 往診を受けているのはどのような内容ですか。（あてはまるものすべてに○）

往診を受けている人の内容をみると、「痛みに対する管理」が 28.6%で最も高く、次いで「じょうそうの処置」（8.6%）となっている。



<要介護度別の比較>

	全体	痛みに対する管理 （注射、湿布、薬等）注	じょうそう （床ずれ）の処置	点滴	酸素療法	経管栄養 （胃ろう等）	導尿の管理 （カテーテル、自己）	人工呼吸器	気管切開の処置	インスリンの自己注射	その他	無回答
全体	35 100.0	10 28.6	3 8.6	1 2.9	1 2.9	1 2.9	1 2.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	15 42.9	8 22.9
要介護度別												
要支援	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3
要介護1	9 100.0	2 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 44.4	3 33.3
要介護2	7 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 71.4	2 28.6
要介護3	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0
要介護4	7 100.0	4 57.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	1 14.3
要介護5	5 100.0	3 60.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0

上段：実数
下段：%

*要介護度別のデータはサンプル数が少ないため参考値。

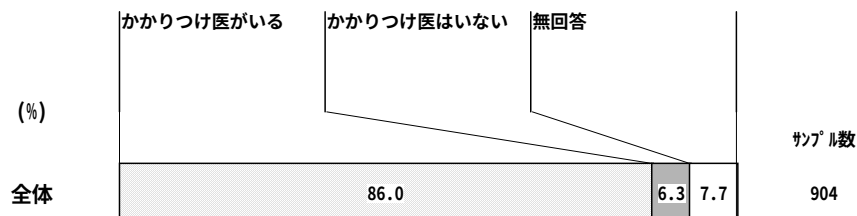
④かかりつけ医の有無（問 38）

問 38 あなた（あて名のご本人）は、かかりつけ医（診療所）はいますか。（○は1つ）

「かかりつけ医がいる」が86.0%を占める。

＜要介護度別の傾向＞

要介護4および5で無回答が高いが、特に違いはみられない。



＜要介護度別の比較＞

	全体	かかりつけ医がいる	かかりつけ医はいない	無回答
全体	904 100.0	777 86.0	57 6.3	70 7.7
要介護度別				
要支援	204 100.0	174 85.3	14 6.9	16 7.8
要介護1	276 100.0	250 90.6	17 6.2	9 3.3
要介護2	115 100.0	103 89.6	6 5.2	6 5.2
要介護3	61 100.0	49 80.3	7 11.5	5 8.2
要介護4	66 100.0	49 74.2	6 9.1	11 16.7
要介護5	63 100.0	49 77.8	5 7.9	9 14.3

上段：実数
下段：%

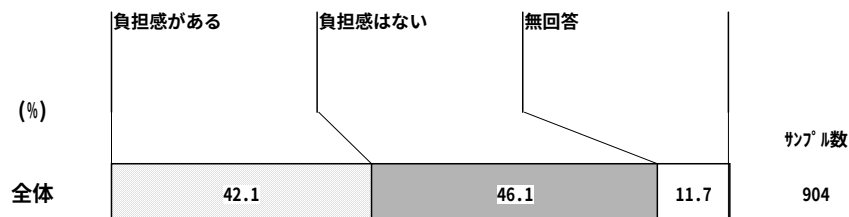
⑤医療費の負担感（問 39）

問 39 医療費に対する負担感がありますか。（○は1つ）

医療費について「負担感がある」が42.1%、「負担感はない」が46.1%である。

＜要介護度別の傾向＞

要介護度が重いほど医療費に対する「負担感がある」割合が高い。



＜要介護度別の比較＞

	全体	負担感がある	負担感はない	無回答
全体	904 100.0	381 42.1	417 46.1	106 11.7
要介護度別				
要支援	204 100.0	67 32.8	112 54.9	25 12.3
要介護1	276 100.0	114 41.3	137 49.6	25 9.1
要介護2	115 100.0	49 42.6	55 47.8	11 9.6
要介護3	61 100.0	30 49.2	27 44.3	4 6.6
要介護4	66 100.0	38 57.6	19 28.8	9 13.6
要介護5	63 100.0	43 68.3	13 20.6	7 11.1

上段：実数
下段：%

(9) 介護者について

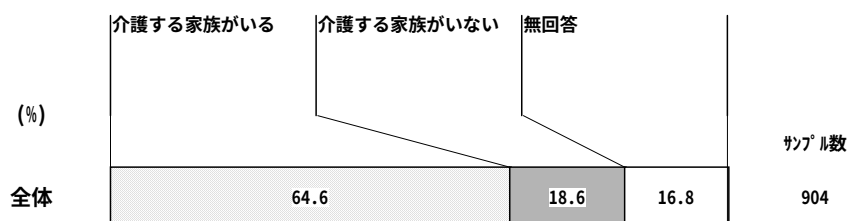
①家族介護者の有無 (問 40)

問 40 現在、あなた (あて名のご本人) を介護している家族はいますか。 (○は1つ)

要介護者を「介護する家族がいる」が 64.6%、「介護する家族がない」が 18.6%である。

＜要介護度別の傾向＞

要介護 1～5 では家族介護者のいる割合が 66.3%～83.5%であるのに対し、要支援では 49.5%と低くなっている。



＜要介護度別の比較＞

	全体	介護する家族がいる	介護する家族がない	無回答
全体	904 100.0	584 64.6	168 18.6	152 16.8
要支援	204 100.0	101 49.5	50 24.5	53 26.0
要介護1	276 100.0	183 66.3	57 20.7	36 13.0
要介護2	115 100.0	96 83.5	11 9.6	8 7.0
要介護3	61 100.0	49 80.3	7 11.5	5 8.2
要介護4	66 100.0	47 71.2	11 16.7	8 12.1
要介護5	63 100.0	49 77.8	7 11.1	7 11.1

上段: 実数
下段: %

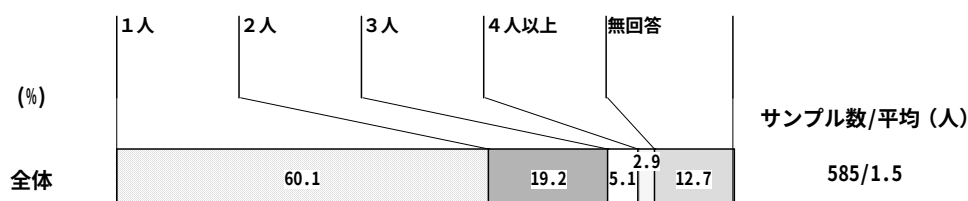
②家族介護者の人数 (問 40-1)

問 40-1 あなた (あて名のご本人) を介護している家族は何人いますか。

家族介護者がいる場合の人数は「1人」が 60.1%、「2人」が 19.2%となっており、平均は 1.5 人である。

＜要介護度別の傾向＞

要支援および要介護 1 では家族介護者が「1人」である割合が高い。



＜要介護度別の比較＞

	全体	1人	2人	3人	4人以上	無回答	平均
全体	584 100.0	351 60.1	112 19.2	30 5.1	17 2.9	74 12.7	1.5人
要支援	101 100.0	74 73.3	16 15.8	2 2.0	1 1.0	8 7.9	1.3人
要介護1	183 100.0	115 62.8	36 19.7	4 2.2	3 1.6	25 13.7	1.3人
要介護2	96 100.0	55 57.3	22 22.9	6 6.3	4 4.2	9 9.4	1.6人
要介護3	49 100.0	29 59.2	12 24.5	4 8.2	1 2.0	3 6.1	1.5人
要介護4	47 100.0	22 46.8	10 21.3	4 8.5	3 6.4	8 17.0	1.7人
要介護5	49 100.0	24 49.0	8 16.3	6 12.2	4 8.2	7 14.3	1.9人

上段: 実数
下段: %

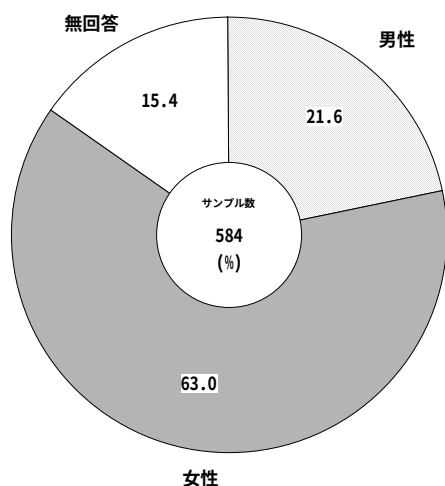
③主な家族介護者の性別・年齢・続柄（問 40－2）

問 40－2 あなた（あて名のご本人）を主に介護している方（おひとり）の性別・年齢・続柄について、あてはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。（○は1つずつ）

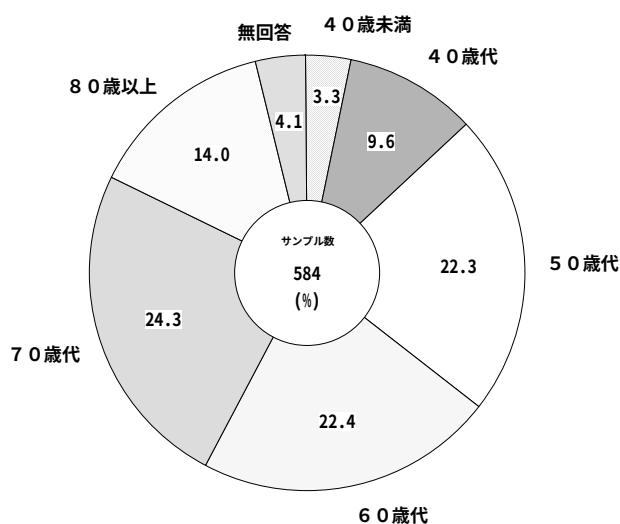
主な家族介護者の性別は、「男性」が 21.6%、「女性」が 63.0%である。

主な家族介護者の年齢は、「60 歳代」が 22.4%、「70 歳代」が 24.3%、「80 歳以上」が 14.0%であり、60 歳以上の介護者が 60.7%を占める。

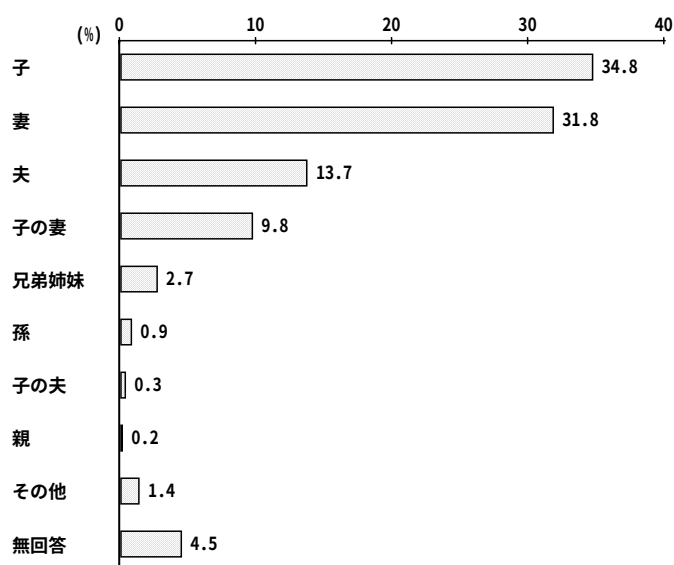
主な家族介護者の性別



主な家族介護者の年齢



主な家族介護者の続柄は、「子」が 34.8%、「妻」が 31.8%である。次いで「夫」（13.7%）、「子の妻」（9.8%）となっている。

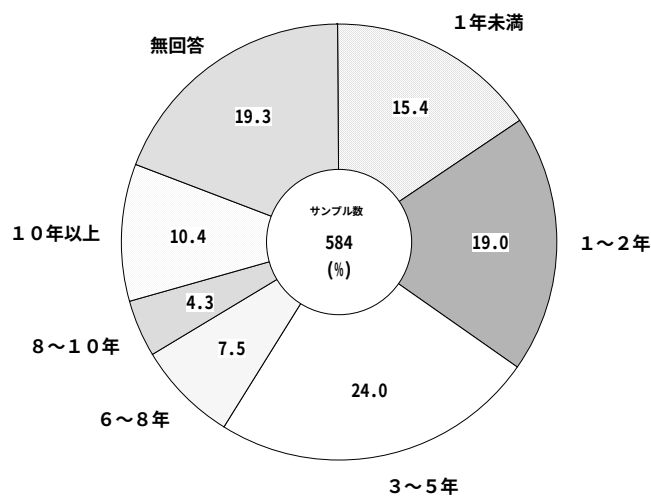


(10) 介護の状況について

①介護年数（問 41）

問 41 あて名のご本人の介護をはじめて、どのくらいですか。（○は1つ）

調査対象の要介護者の介護年数は「1年未満」が15.4%、「1～2年」が19.0%、「3～5年」が24.0%で5年以下が58.4%を占める。「6～8年」が7.5%、「8～10年」が4.3%、「10年以上」が10.4%である。



<要介護度別の比較>

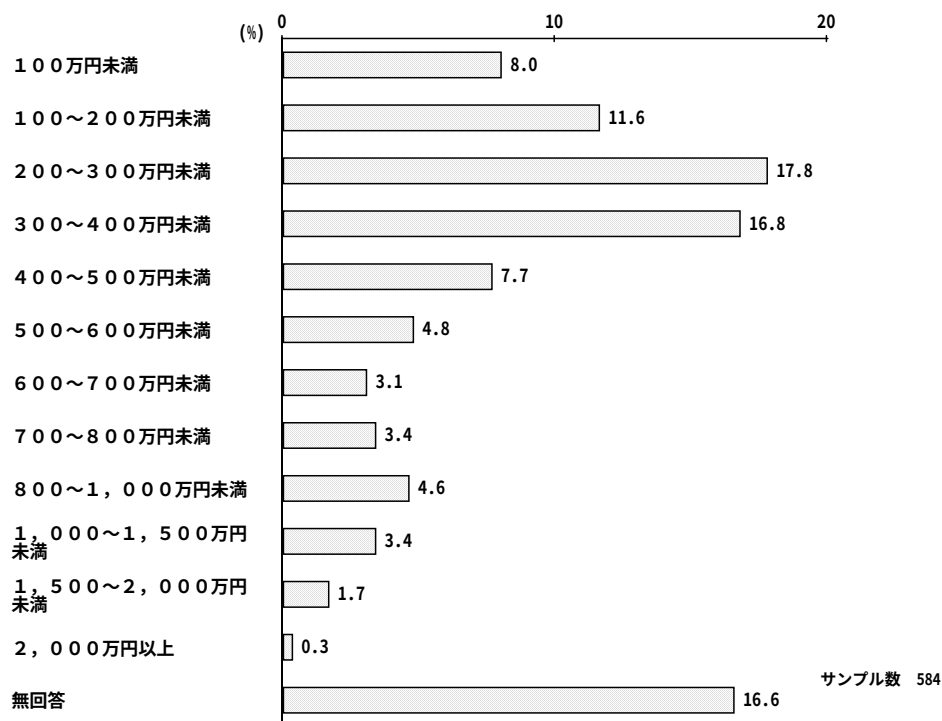
		全体	1年未満	1～2年	3～5年	6～8年	8～10年	10年以上	無回答
全体		584	90	111	140	44	25	61	113
		100.0	15.4	19.0	24.0	7.5	4.3	10.4	19.3
要介護度別	要支援	101	17	17	19	7	2	5	34
		100.0	16.8	16.8	18.8	6.9	2.0	5.0	33.7
	要介護1	183	26	39	43	14	9	16	36
		100.0	14.2	21.3	23.5	7.7	4.9	8.7	19.7
	要介護2	96	14	21	29	9	2	12	9
		100.0	14.6	21.9	30.2	9.4	2.1	12.5	9.4
	要介護3	49	10	7	13	4	4	7	4
		100.0	20.4	14.3	26.5	8.2	8.2	14.3	8.2
要介護4		47	8	8	11	6	2	9	3
		100.0	17.0	17.0	23.4	12.8	4.3	19.1	6.4
	要介護5	49	6	13	11	4	3	8	4
		100.0	12.2	26.5	22.4	8.2	6.1	16.3	8.2

上段：実数
下段：%

②世帯の税込み年収（問 42）

問 42 あて名のご本人がお住まいの世帯の税込み年収（年金含む）をお答えください。（○は1つ）

世帯の税込み年収は、300 万円未満が 37.4%で、300 万円以上が 45.8%である。



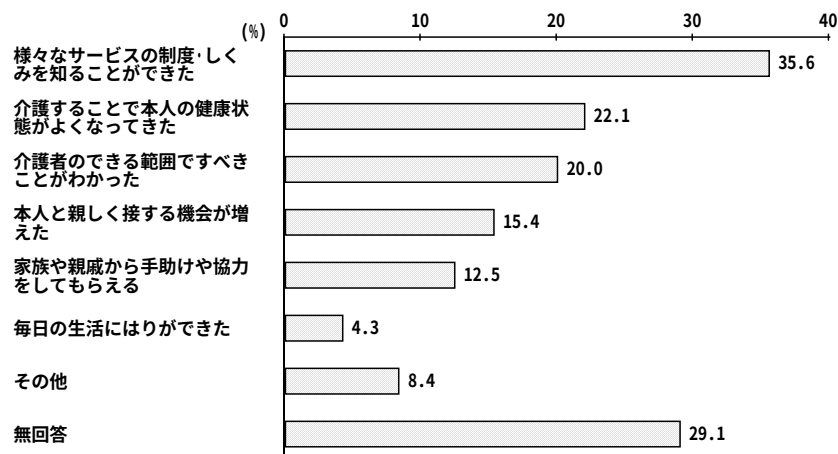
③介護をされていてよかったと感じること（問 43、複数回答）

問 43 介護をされていて、よかったと感じることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

介護をされていてよかったと感じたことは、「様々なサービスの制度・しくみを知ることができた」が 35.6%で最も高く、以下「介護することで本人の健康状態がよくなってきた」（22.1%）、「介護者のできる範囲ですべきことがわかった」（20.0%）、「本人と親しく接する機会が増えた」（15.4%）、「家族や親戚から手助けをしてもらえる」（12.5%）、「毎日の生活にはりができた」（4.3%）となっている。

＜要介護度別の傾向＞

要介護 3～5 で「様々なサービスの制度・しくみを知ることができた」の回答割合が高い。また要介護 3 および 4 では「介護者のできる範囲ですべきことがわかった」の割合が高くなっている。



＜要介護度別の比較＞

	全体	様々なサービスの制度・しくみを知ることができた	介護することで本人の健康状態がよくなってきた	介護者のできる範囲ですべきことがわかった	本人と親しく接する機会が増えた	家族や親戚から手助けや協力をしてもらえる	毎日の生活にはりができた	その他	無回答
全体	584 100.0	208 35.6	129 22.1	117 20.0	90 15.4	73 12.5	25 4.3	49 8.4	170 29.1
要介護度別									
要支援	101 100.0	31 30.7	26 25.7	15 14.9	21 20.8	14 13.9	4 4.0	3 3.0	39 38.6
要介護1	183 100.0	68 37.2	39 21.3	28 15.3	21 11.5	16 8.7	6 3.3	16 8.7	53 29.0
要介護2	96 100.0	28 29.2	24 25.0	21 21.9	12 12.5	12 12.5	8 8.3	9 9.4	27 28.1
要介護3	49 100.0	22 44.9	12 24.5	16 32.7	10 20.4	12 24.5	3 6.1	4 8.2	6 12.2
要介護4	47 100.0	21 44.7	10 21.3	18 38.3	10 21.3	3 6.4	0 0.0	5 10.6	10 21.3
要介護5	49 100.0	26 53.1	8 16.3	11 22.4	9 18.4	8 16.3	2 4.1	8 16.3	7 14.3

上段：実数
下段：%

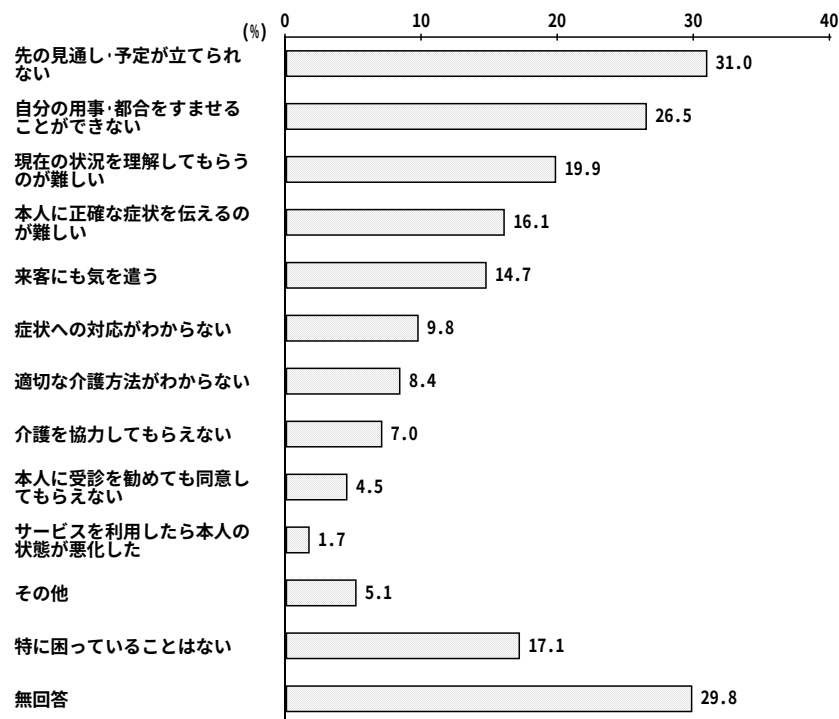
④介護をされていて困ったこと（問 44、複数回答）

問 44 介護をされていて、困ったこと・困っていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

介護をされていて困ったこと・困っていることは「先の見通し・予定が立てられない」（31.0％）と「自分の用事・都合をすませることができない」（26.5％）という時間管理についての項目が上位にきている。続いて「現在の状況を理解してもらうのが難しい」（19.9％）、「本人正確な症状を伝えるのが難しい」（16.1％）、「来客にも気を遣う」（14.7％）が上位である。

＜要介護度別の傾向＞

要介護度が重いほど困ったこと・困っていることとしてあげられる件数が多く、特に要介護3～5では「先の見通し・予定が立てられない」と「自分の用事・都合をすませることができない」の割合がそれぞれ40％を超えている。



＜要介護度別の比較＞

	全体	先の見通し・予定が立てられない	自分の用事・都合をすませることができない	現在の状況を理解してもらうのが難しい	本人に正確な症状を伝えるのが難しい	来客にも気を遣う	症状への対応がわからない	適切な介護方法がわからない	介護を協力してもらえない	本人に受診を勧めても同意してもらえない	サービスを利用したら本人の状態が悪化した	その他	特に困っていること	無回答
全体	584	181	155	116	94	86	57	49	41	26	10	30	100	174
	100.0	31.0	26.5	19.9	16.1	14.7	9.8	8.4	7.0	4.5	1.7	5.1	17.1	29.8
要介護度別														
要支援	101	24	12	14	10	14	6	5	7	2	1	2	28	38
	100.0	23.8	11.9	13.9	9.9	13.9	5.9	5.0	6.9	2.0	1.0	2.0	27.7	37.6
要介護1	183	42	40	30	25	25	14	11	10	10	1	9	39	55
	100.0	23.0	21.9	16.4	13.7	13.7	7.7	6.0	5.5	5.5	0.5	4.9	21.3	30.1
要介護2	96	37	28	19	12	10	6	4	8	3	1	7	17	20
	100.0	38.5	29.2	19.8	12.5	10.4	6.3	4.2	8.3	3.1	1.0	7.3	17.7	20.8
要介護3	49	21	21	20	20	13	8	8	5	6	1	2	1	6
	100.0	42.9	42.9	40.8	40.8	26.5	16.3	16.3	10.2	12.2	2.0	4.1	2.0	12.2
要介護4	47	25	27	14	11	14	9	4	9	2	0	4	1	7
	100.0	53.2	57.4	29.8	23.4	29.8	19.1	8.5	19.1	4.3	0.0	8.5	2.1	14.9
要介護5	49	25	19	13	10	6	8	10	2	1	5	4	4	15
	100.0	51.0	38.8	26.5	20.4	12.2	16.3	20.4	4.1	2.0	10.2	8.2	8.2	30.6

上段：実数
下段：%

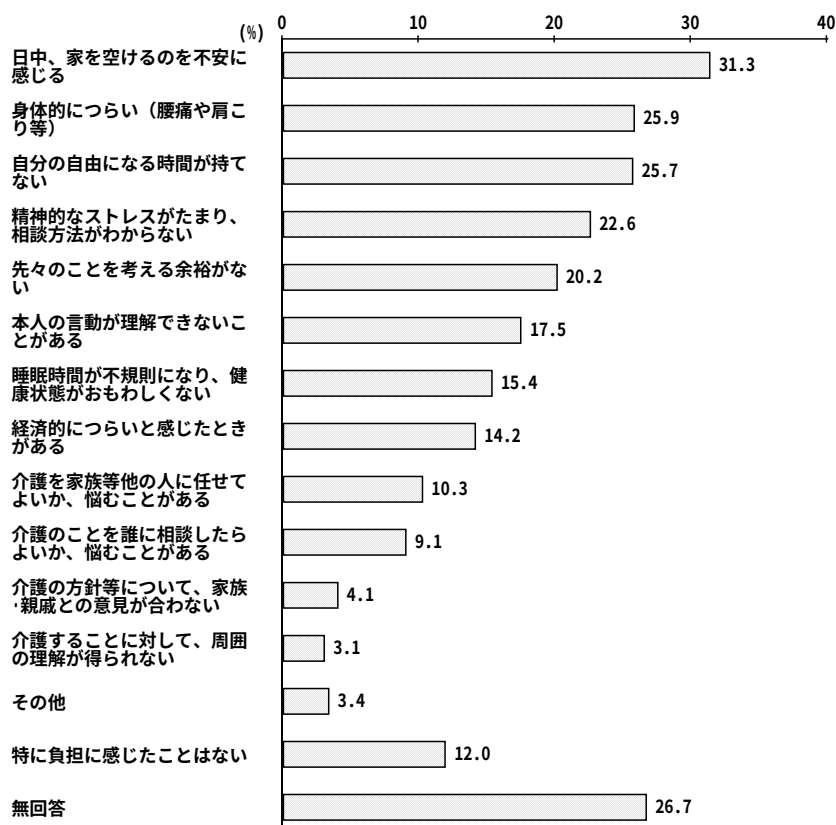
⑤介護をしていて負担に感じたこと（問 45、複数回答）

問 45 介護をしていて、介護者の方が負担に感じたことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

介護をしていて負担に感じたことは、「日中、家を空けるのを不安に感じる」（31.3%）、「身体的につらい」（25.9%）「自分の自由になる時間が持てない」（25.7%）が上位にあげられている。続いて「精神的なストレスがたまり、相談方法がわからない」（22.6%）、「先々のことを考える余裕がない」（20.2%）などがあげられている。

＜要介護度別の傾向＞

要介護度が重いほど負担としてあげられる件数が多くなっているが、要介護5よりも要介護3および4のほうの件数が多い。



＜要介護度別の比較＞

	全体	日中、家を空けるのを不安に感じる	身体的につらい（腰痛や肩こり等）	自分の自由になる時間が持てない	精神的なストレスがたまり、相談方法がわからない	先々のことを考える余裕がない	本人の言動が理解できないことがある	睡眠時間が不規則になり、健康状態がおもわしくない	経済的につらいと感じたときがある	介護を家族他の人に任せてよいか、悩むことがある	介護のことを誰に相談したらよいか、悩むことがある	介護の方針等について、家族・親戚との意見が合わない	介護することに対して、周囲の理解が得られない	その他	特に負担に感じたことはない	無回答
全体	584 100.0	183 31.3	151 25.9	150 25.7	132 22.6	118 20.2	102 17.5	90 15.4	83 14.2	60 10.3	53 9.1	24 4.1	18 3.1	20 3.4	70 12.0	156 26.7
要介護度別																
要支援	101 100.0	23 22.8	23 22.8	13 12.9	13 12.9	11 10.9	12 11.9	11 10.9	10 9.9	8 7.9	9 8.9	2 2.0	1 1.0	1 1.0	18 17.8	38 37.6
要介護1	183 100.0	53 29.0	36 19.7	35 19.1	39 21.3	29 15.8	29 15.8	20 10.9	19 10.4	12 6.6	15 8.2	6 3.3	5 2.7	5 2.7	27 14.8	45 24.6
要介護2	96 100.0	38 39.6	20 20.8	23 24.0	18 18.8	21 21.9	14 14.6	10 10.4	11 11.5	14 14.6	8 8.3	5 5.2	3 3.1	6 6.3	12 12.5	17 17.7
要介護3	49 100.0	20 40.8	25 51.0	26 53.1	22 44.9	19 38.8	18 36.7	13 26.5	13 26.5	9 18.4	5 10.2	2 4.1	5 10.2	4 8.2	2 4.1	5 10.2
要介護4	47 100.0	20 42.6	21 44.7	26 55.3	16 34.0	20 42.6	12 25.5	15 31.9	16 34.0	8 17.0	5 10.6	5 10.6	2 4.3	1 2.1	1 2.1	7 14.9
要介護5	49 100.0	16 32.7	19 38.8	19 38.8	16 32.7	14 28.6	12 24.5	16 32.7	12 24.5	5 10.2	7 14.3	3 6.1	2 4.1	2 4.1	2 4.1	14 28.6

上段：実数
下段：%

⑥要介護者にあたってしまった経験（問 46）

問 46 介護をしているときイライラして、高齢者にあたってしまうことがありますか。あてはまるもの1つに○をつけ、さしつかえなければ、そのときの様子をご記入ください。（○は1つ）

介護時に要介護者にあたってしまうことが「よくある」が 8.0%、「ときどきある」が 24.5%である。「あまりない」は 19.5%、「まったくない」は 13.5%である。

＜要介護度別の傾向＞

「よくある」と「ときどきある」をあわせた割合は要介護3が 53.0%で特に高くなっている。

	よくある	ときどきある	あまりない	まったくない	わからない	無回答	サンプル数
(%)							
全体	8.0	24.5	19.5	13.5	3.9	30.5	584

＜要介護度別の比較＞

	全体	よくある	ときどきある	あまりない	まったくない	わからない	無回答
全体	584 100.0	47 8.0	143 24.5	114 19.5	79 13.5	23 3.9	178 30.5
要介護度別							
要支援	101 100.0	5 5.0	23 22.8	14 13.9	15 14.9	3 3.0	41 40.6
要介護1	183 100.0	20 10.9	42 23.0	39 21.3	24 13.1	6 3.3	52 28.4
要介護2	96 100.0	7 7.3	27 28.1	26 27.1	13 13.5	2 2.1	21 21.9
要介護3	49 100.0	6 12.2	20 40.8	9 18.4	5 10.2	4 8.2	5 10.2
要介護4	47 100.0	5 10.6	12 25.5	9 19.1	12 25.5	1 2.1	8 17.0
要介護5	49 100.0	1 2.0	11 22.4	9 18.4	6 12.2	4 8.2	18 36.7

上段：実数
下段：%

＜あたってしまった時の様子＞

項目別の主な意見は、次のとおりである。（回答者 116 人）

要介護者の行動	◇ 言った事をすぐ忘れてしまう。 ◇ 本人は自分の言っていることの意味がわからないまま話す。 ◇ 同じ事をよくきいたり、怒ったりする。 ◇ 口ごたえのみ。 ◇ 自分の言う事だけで他の言う事は一切きかない。 ◇ 誤った思い込みを変えることがない。 ◇ どんな言葉で話をしていても理解してくれず、自己主張し、拒否される。 ◇ 自分の思い通りにならないとカッとなってどなる。 ◇ 痴呆でもプライドがあるので、言い返してくる。 ◇ 注意すると逆ギレされる。
介護者の状況	◇ だまって聞いている。 ◇ 大きな声を出さない様に、静かな説明する様に心がける。 ◇ いつも心配りをしているので疲れる。 ◇ 自分自身が疲れてしまう。 ◇ 耳が遠いのでテレビの音量が大きすぎてついイライラする。 ◇ 言葉がきつくなってしまう時がある。言葉の暴力。 ◇ 何事もあてにするから腹が立つ。 ◇ 親子なのでついあたる事がある（言葉とか）。 ◇ 時間に追われていらいる。 ◇ 正常な精神状態とおかしい時があり、日々些細な事でも非常にストレスを感じる。 ◇ 怒ったりしかってしまう。 ◇ 大声で怒鳴ってしまう。 ◇ 反発するときに、客観視することができずあたってしまう。 ◇ 仕事から帰って家の中がメチャメチャで訳の解らない幻覚の話をされキレかけた。

＊次ページに続く。

<あたってしまった時の様子（つづき）>

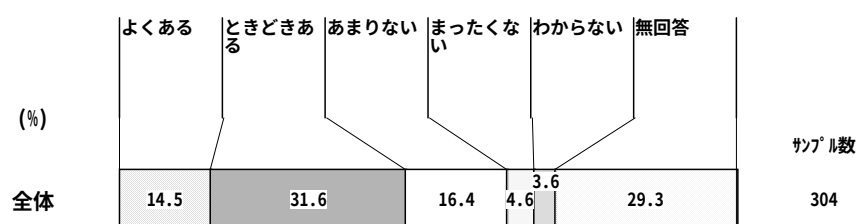
要介護者とのコミュニケーション

- ◇ 耳が遠いので話が通じにくい。
- ◇ 同じ事を何回も言わなければならない。
- ◇ 軽い親子けんか。

⑦要介護者にあたってしまった時の後悔や悩みの状況（問 47）

問 47 高齢者にあたってしまった後、後悔したり悩んだりしますか。あてはまるもの1つに○をつけ、さしつかえなければ、そのときの様子をご記入ください。（○は1つ）

介護時に要介護者にあたってしまうことがある人のうち、その後に後悔したり悩んだりすることが「よくある」は14.5%、「ときどきある」は31.6%である。「あまりない」は16.4%、「まったくない」は4.6%、「わからない」は3.6%、「無回答」は29.3%である。



<要介護度別の比較>

	全体	よくある	ときどきある	あまりない	まったくない	わからない	無回答	
全体	304 100.0	44 14.5	96 31.6	50 16.4	14 4.6	11 3.6	89 29.3	上段：実数 下段：%
要介護度別								
要支援	42 100.0	9 21.4	12 28.6	4 9.5	3 7.1	0 0.0	14 33.3	
要介護1	101 100.0	11 10.9	31 30.7	19 18.8	4 4.0	6 5.9	30 29.7	
要介護2	60 100.0	4 6.7	18 30.0	14 23.3	3 5.0	0 0.0	21 35.0	
要介護3	35 100.0	7 20.0	14 40.0	1 2.9	0 0.0	3 8.6	10 28.6	
要介護4	26 100.0	4 15.4	8 30.8	6 23.1	0 0.0	1 3.8	7 26.9	
要介護5	21 100.0	5 23.8	6 28.6	3 14.3	1 4.8	1 4.8	5 23.8	

*要介護3～5はサンプル数が少ないため参考値。

<あたってしまった後の後悔や悩んだ時の様子>

項目別の主な意見は、次のとおりである。（回答者 73 人）

後悔	◇ 感情的になってしまった自分に反省する。 ◇ 言いすぎてしまった。 ◇ 言わなければよかったと思うことがしばしばある。 ◇ 母が小さく見えてかわいそうな事を言ったと思う。 ◇ 弱いもののいじめをしてしまったと強く強く後悔する。 ◇ 悪かったなと思った。 ◇ 理由がないのにあたってしまったと、後悔することがある。
悩み	◇ 自己嫌悪になり落ち込む。 ◇ 自分自身の心の内に閉じこもって、どうしようもなく落ち込む。
要介護者の状態	◇ 不満を言っても相手は平然としている。
後悔や悩む場面	◇ 言う事が理解してもらえなかった時。 ◇ 意思疎通がむずかしい。意見の対立など。 ◇ 余りにも物忘れがひどいとき。 ◇ 短時間で出来ないとき

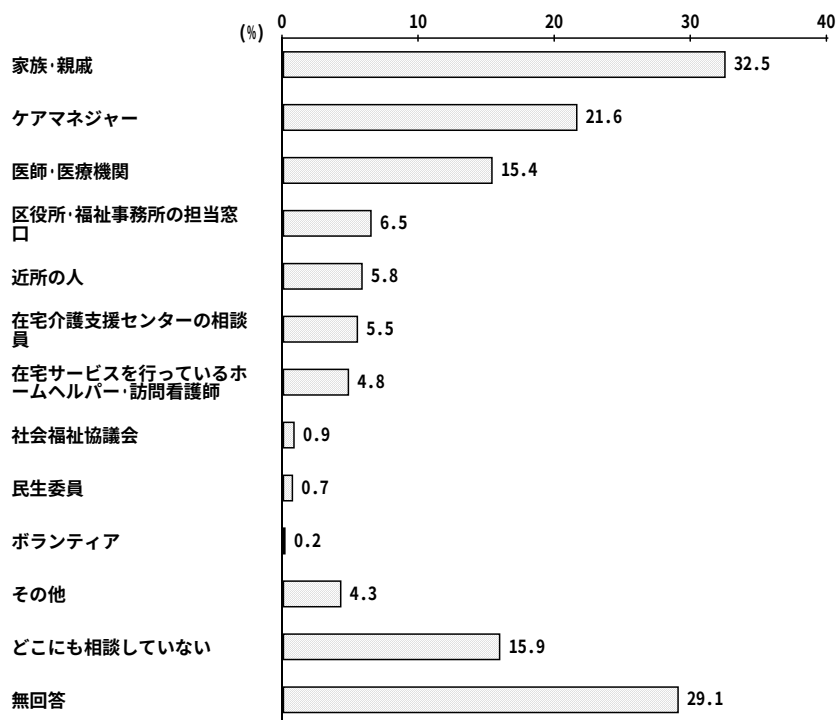
⑧介護でつらい時の相談先（問 48）

問 48 介護をしていてつらい時、どこ（だれ）に相談しましたか。（あてはまるものすべてに○）

介護をしていてつらいときの相談先は、「家族・親族」が 32.5%、「ケアマネジャー」が 21.6%、「医師・医療機関」が 15.4%である。「どこにも相談していない」が 15.9%みられる。

＜主な家族介護者の年齢別の傾向＞

各年齢で「家族・親族」「ケアマネジャー」の割合が高い。40 歳代では「どこにも相談していない」割合が 28.6%と高い。



＜主な家族介護者の年齢別の比較＞

上段：実数
下段：%

	全体	家族・親戚	ケアマネジャー	医師・医療機関	区役所・福祉事務所の担当窓口	近所の人	在宅介護支援センターの相談員	在宅サービスを行っているホームヘルパー・訪問看護師	社会福祉協議会	民生委員	ボランティア	その他	どこにも相談していない	無回答
全体	584	190	126	90	38	34	32	28	5	4	1	25	93	170
	100.0	32.5	21.6	15.4	6.5	5.8	5.5	4.8	0.9	0.7	0.2	4.3	15.9	29.1
主な家族介護者の年齢別														
40歳未満	19	8	5	3	2	1	0	0	1	0	0	1	2	6
	100.0	42.1	26.3	15.8	10.5	5.3	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	5.3	10.5	31.6
40歳代	56	15	10	3	2	1	1	3	0	0	1	2	16	21
	100.0	26.8	17.9	5.4	3.6	1.8	1.8	5.4	0.0	0.0	1.8	3.6	28.6	37.5
50歳代	130	55	31	19	6	13	4	10	1	1	0	10	12	31
	100.0	42.3	23.8	14.6	4.6	10.0	3.1	7.7	0.8	0.8	0.0	7.7	9.2	23.8
60歳代	131	49	28	22	7	5	8	7	1	1	0	9	20	36
	100.0	37.4	21.4	16.8	5.3	3.8	6.1	5.3	0.8	0.8	0.0	6.9	15.3	27.5
70歳代	142	38	27	27	14	10	14	5	2	1	0	2	28	41
	100.0	26.8	19.0	19.0	9.9	7.0	9.9	3.5	1.4	0.7	0.0	1.4	19.7	28.9
80歳以上	82	20	20	11	4	3	4	3	0	1	0	1	15	22
	100.0	24.4	24.4	13.4	4.9	3.7	4.9	3.7	0.0	1.2	0.0	1.2	18.3	26.8

＊40歳未満はサンプル数が少ないため参考値。

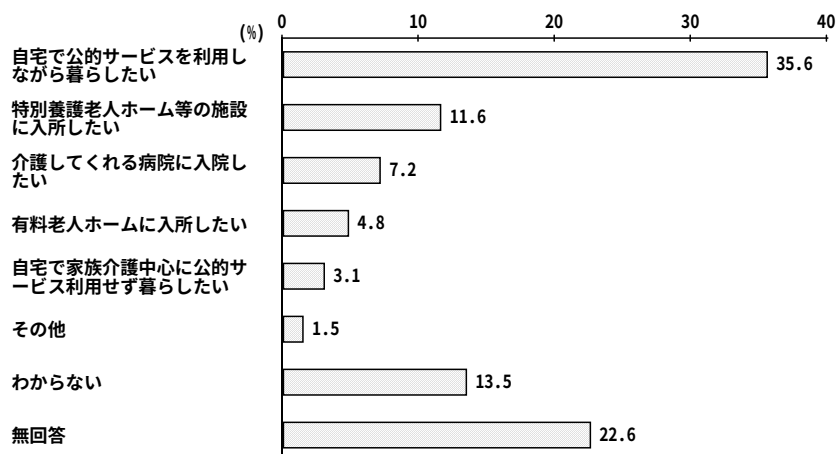
⑨自分の希望する介護（問 49）

問 49 今後、もし介護者ご自身が介護を受けることになったら、どのようにしたいと思いますか。（○は1つ）

介護者自身が要介護状態になった場合の希望する介護としては、「自宅で公的サービスを利用しながら暮らしたい」が 35.6%でもっと高い。次いで「特別養護老人ホーム等の施設に入所したい」が 11.6%おり、施設や有料老人ホームなどへの入所（入院）を希望する人の合計は 23.6%である。

＜主な家族介護者の年齢別の傾向＞

全体の傾向と大きな違いはみられない。



＜主な家族介護者の年齢別の比較＞

上段：実数
下段：%

	全体	自宅で公的サービスを利用しながら暮らしたい	特別養護老人ホーム等の施設に入所したい	介護してくれる病院に入院したい	有料老人ホームに入所したい	自宅で家族介護中心に公的サービス利用せず暮らしたい	その他	わからない	無回答
全体	584 100.0	208 35.6	68 11.6	42 7.2	28 4.8	18 3.1	9 1.5	79 13.5	132 22.6
主な家族介護者の年齢別	40歳未満	19 100.0	8 42.1	2 10.5	0 0.0	0 0.0	2 10.5	0 0.0	3 15.8
	40歳代	56 100.0	16 28.6	3 5.4	5 8.9	1 1.8	0 0.0	3 5.4	11 19.6
	50歳代	130 100.0	40 30.8	14 10.8	10 7.7	12 9.2	4 3.1	3 2.3	23 17.7
	60歳代	131 100.0	50 38.2	17 13.0	9 6.9	5 3.8	5 3.8	0 0.0	17 13.0
	70歳代	142 100.0	48 33.8	22 15.5	15 10.6	4 2.8	4 2.8	1 0.7	16 11.3
	80歳以上	82 100.0	39 47.6	8 9.8	1 1.2	5 6.1	3 3.7	2 2.4	9 11.0

* 40歳未満はサンプル数が少ないため参考値。

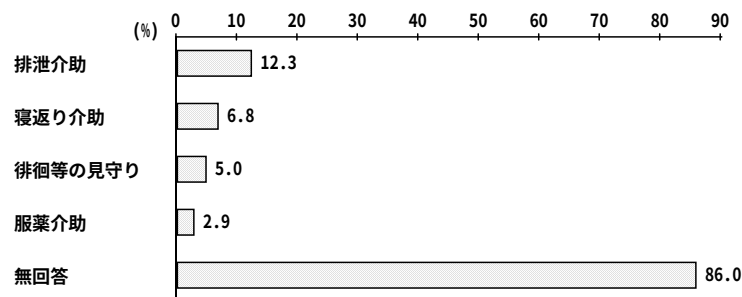
⑩夜間に受けたい支援（問 50、複数回答）

問 50 次に示す介護内容のうち、特に夜間（深夜含む）に支援を受けたいものはどれですか。支援を受けたい項目と、希望する時間帯それぞれに○をつけてください。（あてはまるものすべてに○）

夜間に受けたい支援としては、「排泄介助」が12.3%、「寝返り介助」が6.8%、「徘徊等の見守り」が5.0%、「服薬介助」が2.9%である。

＜要介護度別の傾向＞

「排泄介助」は要介護3～5で割合が高く、特に要介護4では40.4%と高い。「寝返り介助」も要介護4で21.3%、要介護5で14.3%となっている。「徘徊等の見守り」は要介護3で12.2%である。「服薬介助」は要介護4が10.6%となっている。



＜要介護度別の比較＞

	全体	排泄介助	寝返り介助	徘徊等の見守り	服薬介助	無回答
全体	584 100.0	72 12.3	40 6.8	29 5.0	17 2.9	502 86.0
要介護度別						
要支援	101 100.0	9 8.9	5 5.0	3 3.0	3 3.0	92 91.1
要介護1	183 100.0	16 8.7	10 5.5	7 3.8	4 2.2	166 90.7
要介護2	96 100.0	4 4.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	92 95.8
要介護3	49 100.0	12 24.5	6 12.2	6 12.2	2 4.1	33 67.3
要介護4	47 100.0	19 40.4	10 21.3	5 10.6	5 10.6	26 55.3
要介護5	49 100.0	9 18.4	7 14.3	4 8.2	1 2.0	39 79.6

上段：実数
下段：%

それぞれの夜間に受けたい支援について、希望する時間をみると、排泄介助は「午後11時台」と「午前3時台」「午前5時台」が高い。

寝返り介助は、「午前3時台」の要望が45.0%で最も高い。

服薬介助は、「午後11時台」が52.9%で最も高い。

徘徊等の見守りは、「午前3時台」の要望が48.3%で最も高い。

＜夜間に受けたい支援＞

	全体	午後11時台	午前0時台	午前1時台	午前2時台	午前3時台	午前4時台	午前5時台	無回答
全体	158 100.0	52 32.9	17 10.8	40 25.3	39 24.7	61 38.6	29 18.4	46 29.1	4 2.5
1. 排泄介助	72 100.0	21 29.2	5 6.9	15 20.8	17 23.6	24 33.3	14 19.4	23 31.9	2 2.8
2. 寝返り介助	40 100.0	11 27.5	7 17.5	14 35.0	12 30.0	18 45.0	9 22.5	10 25.0	0 0.0
3. 服薬介助	17 100.0	9 52.9	1 5.9	4 23.5	2 11.8	5 29.4	1 5.9	3 17.6	0 0.0
4. 徘徊等の見守り	29 100.0	11 37.9	4 13.8	7 24.1	8 27.6	14 48.3	5 17.2	10 34.5	2 6.9

上段：実数
下段：%

(11) 認知症（痴ほう）の状況について

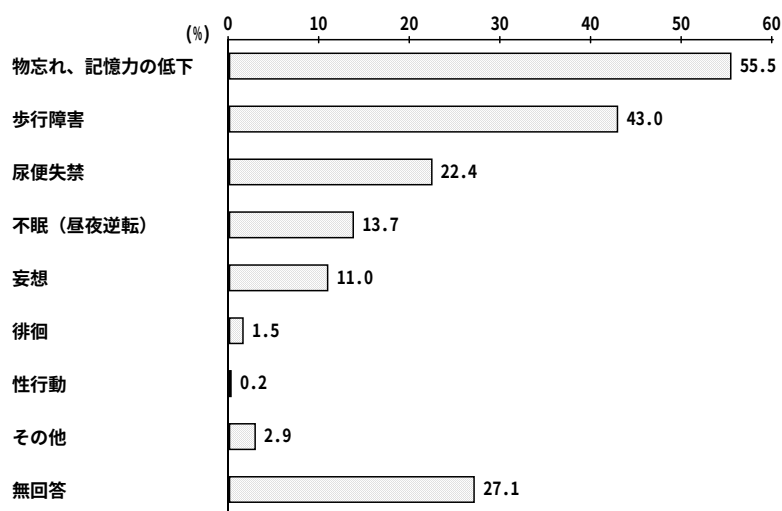
①要介護者の問題行動（問 51）

問 51 介護を受けている方は、次のような症状がみられますか。（あてはまるものすべてに○）

要介護者の問題行動をみると、「物忘れ、記憶力の低下」が 55.5%で最も高い。次いで「歩行障害」（43.0%）、「尿便失禁」（22.4%）が高くなっている。

＜要介護度別の傾向＞

要介護度が重いほど症状のある割合が高いが、「物忘れ、記憶力の低下」「歩行障害」「不眠」「妄想」「徘徊」については要介護 5 よりも要介護 4 で症状のある割合が高くなっている。



＜要介護度別の比較＞

	全体	物忘れ、記憶力の低下	歩行障害	尿便失禁	不眠（昼夜逆転）	妄想	徘徊	性行動	その他	無回答
全体	584	324	251	131	80	64	9	1	17	158
	100.0	55.5	43.0	22.4	13.7	11.0	1.5	0.2	2.9	27.1
要介護度別										
要支援	101	48	25	17	4	2	1	0	0	39
	100.0	47.5	24.8	16.8	4.0	2.0	1.0	0.0	0.0	38.6
要介護1	183	102	67	22	21	21	1	0	6	52
	100.0	55.7	36.6	12.0	11.5	11.5	0.5	0.0	3.3	28.4
要介護2	96	55	56	21	13	12	2	1	3	17
	100.0	57.3	58.3	21.9	13.5	12.5	2.1	1.0	3.1	17.7
要介護3	49	34	29	18	14	11	1	0	3	8
	100.0	69.4	59.2	36.7	28.6	22.4	2.0	0.0	6.1	16.3
要介護4	47	34	32	21	13	10	3	0	0	6
	100.0	72.3	68.1	44.7	27.7	21.3	6.4	0.0	0.0	12.8
要介護5	49	25	30	23	12	5	1	0	4	11
	100.0	51.0	61.2	46.9	24.5	10.2	2.0	0.0	8.2	22.4

上段：実数
下段：%

②認知症（痴ほう）専門病院の受診経験（問 52）

問 52 介護を受けている方は、痴ほうの専門病院を受診しましたか。（○は1つ）

要介護者が認知症専門病院を「受診したことがある」は 13.4%で、「受診したことはない」は 62.8%である。

＜要介護度別の傾向＞

要介護度が重いほど受診割合が高くなる傾向があり、要介護 3 が 18.4%、要介護 4 が 25.5%、要介護 5 が 24.5%となっている。



＜要介護度別の比較＞

		全体	受診したことがある	受診したことはない	無回答
全体		584 100.0	78 13.4	367 62.8	139 23.8
要介護度別	要支援	101 100.0	7 6.9	56 55.4	38 37.6
	要介護1	183 100.0	20 10.9	124 67.8	39 21.3
	要介護2	96 100.0	10 10.4	69 71.9	17 17.7
	要介護3	49 100.0	9 18.4	34 69.4	6 12.2
	要介護4	47 100.0	12 25.5	29 61.7	6 12.8
	要介護5	49 100.0	12 24.5	26 53.1	11 22.4

上段：実数
下段：%

③高齢者保健福祉施策（介護保険を含む）への意見・要望（問 53、自由回答）

問 53 高齢者保健福祉施策(介護保険を含む)について、ご意見やご要望がございましたら、下欄にご記入ください。

項目別の主な意見は、次のとおりである。（回答者 375 人）

特別養護老人ホーム等施設設備および入所希望	要支援・要介護 1	◇ 高額でない施設をたくさんつくって欲しい。 ◇ 必要な時にすぐに入所できるようにして欲しい。 ◇ 老人保健施設を 3 ヶ月で退所しないですむようにして欲しい。 ◇ ショートステイをもっと利用できるようにして欲しい。
	要介護 2～5	◇ 利用者の事情を考慮して入所できるよう考えて欲しい。 ◇ 特別養護老人ホームを増設して欲しい。 ◇ 必要な時に利用できる施設が欲しい。
病院の設置・医療	要支援・要介護 1	◇ 差額ベッド代等、入院の費用が高く負担が大きい。
	要介護 2～5	◇ 3 ヶ月ごとに退院をさせられるのは不合理。 ◇ 休日、夜間の診療をしている病院を知らせて欲しい。 ◇ リハビリの病院を充実させて欲しい。
高齢者向きの住宅の整備	要支援・要介護 1	◇ 在宅介護の場合、高齢者向きの住宅への支援をして欲しい。 ◇ バリアフリーの住宅は家賃が高いので支援して欲しい。 ◇ 家の改修等の相談にのって欲しい。
	要介護 2～5	◇ どの住宅改修業者に頼んでも介護保険が使えるようにして欲しい。
介護保険制度の関連	要支援・要介護 1	◇ 要介護度認定の基準がよくわからない。 ◇ 受けられるサービスをもっと充実させて欲しい。 ◇ 急に具合が悪くなった時に介護を頼めるようにして欲しい。 ◇ 通院のためのタクシー代を出して欲しい。 ◇ 介護を受ける人とする人の間に入って状況を説明してもらえ第三者がいたらと思う。 ◇ 高齢者筋力トレーニングの実施、期間以後も続けられることを考えて欲しい。
	要介護 2～5	◇ 介護認定の有効期限をのばして欲しい。 ◇ リハビリの出来る場所を提供して欲しい。 ◇ サービスを受けるのに仕事を休んで申請しなくてはいけない。 ◇ ヘルパーの質の向上。 ◇ 介護認定からサービスを受けるまで時間がかかりすぎる。 ◇ 不正請求や介護サービス事業者の調査を行ってほしい。
道路等段差解消・歩行中の問題	要支援・要介護 1	◇ 歩道の段差、信号の時間等、外出できる環境を整えて欲しい。 ◇ 駅にエレベーター・エスカレーターを設置して欲しい。
サービスの 1 割負担	要支援・要介護 1	◇ 保険料が所得に対して高いのでサービスの 1 割負担をなくして欲しい。
	要介護 2～5	◇ これ以上負担があがると困る。

介護保険料について	要支援・要介護1	◇ 収入に応じて徴収してもらいたい。高すぎる。 ◇ 介護を利用しなかった人は減額してもらいたい。 ◇ 保険料をとるなら介護の必要がない人にもサービスして欲しい。
	要介護2～5	◇ 介護保険料を安くしてもらいたい。 ◇ 医療保険と介護保険を一本化して欲しい。 ◇ 保険料の負担しているのに入院しているとサービスを利用できないのはおかしい。 ◇ ある程度の年齢になったら介護保険料を払わないでいいようにして欲しい。 ◇ 介護認定の査定の仕方を考えて欲しい。 ◇ 介護保険サービス代を入院費用にあてられるようにして欲しい。
相談の充実	要支援・要介護1	◇ 係りの人に充分に質問に応じて欲しい。 ◇ 介護保険を区報等でPRして欲しい。 ◇ 介護者が相談しやすい環境、後押しがあるといいと思う。
	要介護2～5	◇ 介護や介護認定に関することの相談にのって欲しい。
未利用の理由	要支援・要介護1	◇ 施策が理解できず、活用法がよくわからないので利用できない。 ◇ 手続きが複雑で利用しにくい。 ◇ 自立を心掛けているので利用していない。 ◇ デイサービス等が魅力を感じる内容ではない。 ◇ 介護保険サービスを利用したくない。 ◇ 出来ないことは家族にやってもらっているのだから必要がない。 ◇ 収入がなく一部負担が苦しいので利用できない。
	要介護2～5	◇ 子供も障害者のためサービス利用の窓口が別々で手続きが難しい。 ◇ 本人が介護サービスの利用を嫌がる。 ◇ 手続きが難しく、緊急の時に利用できない。 ◇ 入院しているので利用ができない。
その他	要支援・要介護1	◇ 高齢者が気軽に集まれる場所があれば良いと思う。 ◇ ひとりでのいる時に倒れたらどうしたらいいのか心配である。 ◇ 要介護の認定を受けていて介護保険サービスを利用せず、家族に依存している場合、保険金を受給できるようにして欲しい。 ◇ 地域による高齢者福祉が大事だと思う。 ◇ 地震等の災害時に動けない高齢者を2人抱えているので不安である。
	要介護2～5	◇ 高齢者を見捨てない方向性での介護システムを期待する。 ◇ 経済的な援助をして欲しい。 ◇ 介護するものの心身の健康、金、施設の充実をはかって欲しい。

Ⅱ 調査結果

4 これから高齢期を迎える方の調査（一般）

4 これから高齢期を迎える方の調査（一般）

<調査結果の概要>

《健康・医療等について》

- ◆ ふだんから健康に気をつけている人は 80.6%である。「食事や栄養」「規則正しい生活」「定期的な健康診断」「休養や気分転換」「適度な運動やスポーツ」などが気を使っている項目の上位となった。

【問 9 P.206・問 9-1 P.207】

- ◆ 健康のために週 1 回以上身体を動かす人は 80.4%、また、健康について知りたいことは、「生活習慣病の予防」「認知症の予防」などである。【問 11 P.209・問 12 P.210】
- ◆ 健康診査は、71.3%の人が受診している。未受診者は約 3 割で、受診しない理由は、「面倒だから」、「健康だから」が主なものである。【問 13 P.211・問 13-1 P.212】

《就労状況・生きがい・社会参加等について》

- ◆ 現在、収入のある仕事についている就労者は 63.5%。就労形態は「常勤」が 33.1%、非常勤は 21.9%である。また、就労者のうち、退職後の生活の準備をしていたのは 27.0%である。

【問 17 P.216・問 17-1 P.217・問 17-2 P.218】

- ◆ 地域との関わりは、「挨拶をする程度」が 69.8%で最も高い。「ほとんどつきあわない」という回答も 15.8%あり、主な理由としては、「つきあうきっかけがない」、「仕事等が忙しくて時間がない」である。

【問 20 P.225・問 20-1 P.226】

- ◆ ボランティア・NPO 活動に参加している人はそれぞれ 9.7%、2.1%であり、活動をしていない人は 84.5%である。活動するきっかけとしては、「関心・興味があるテーマがあること」（43.4%）、「時間の余裕」（42.8%）、「活動する場が身近にあること」（34.6%）があげられている。

【問 22 P.228・問 22-2 P.230】

- ◆ 日常生活の不安や悩みは、「家計のこと」（27.1%）、「住宅のこと」（19.9%）、「健康に自信がない」（19.5%）が主なものであった。これらの相談先には、「同居の家族」が 56.0%で最も高い一方で、「相談相手がいない」が 14.2%である。【問 29 P.239・問 29-1 P.240】

<調査結果から得られた主な課題>

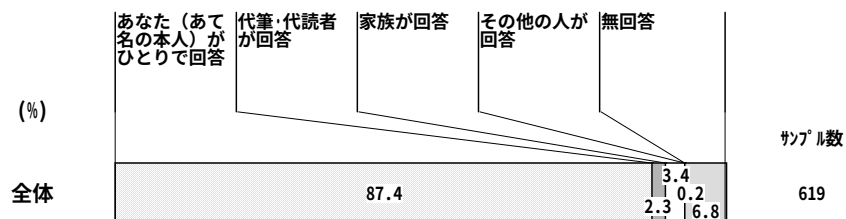
- ◇ 「食事や栄養」「規則正しい生活」「定期的な健康診断」などの健康について、ふだんから気を使っている人が多く、健康についての関心が高い。高齢期を迎えるにあたっての健康づくりを推進していくための方策が課題である。
- ◇ 地域との関わりはあいさつ程度が約 7 割であり、また、ボランティアや NPO の活動への参加者がまだ少ない状況にある。地域との関わりや活動を始めるためのきっかけづくりが課題となっている。
- ◇ 日常生活における不安や悩みについての相談相手がいないとの回答が 1 割強あり、適切な相談相手の確保が課題となっている。

(1) 回答者について

① 調査票の回答者（問1）

問1 この調査票を回答される方を教えてください。（○は1つ）

調査票の回答者は「あなたがひとりで回答」が87.4%を占める。

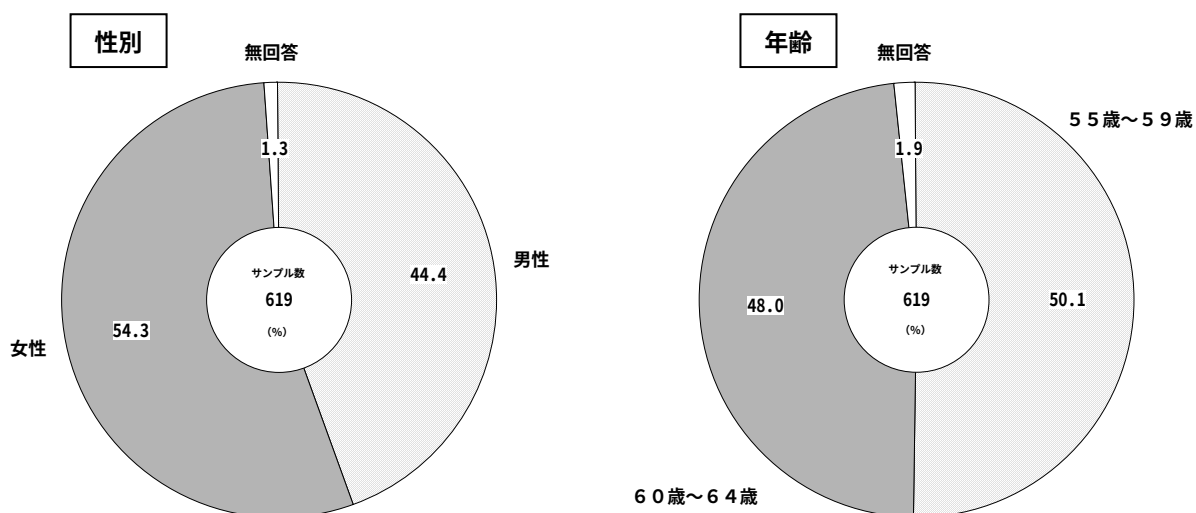


② 性別・年齢（問2）

問2 あなた（あて名のご本人）の性別と、平成16年11月1日現在の満年齢はいくつですか。（○はそれぞれ1つずつ）

調査回答者の性別は「男性」が44.4%、「女性」が54.3%である。

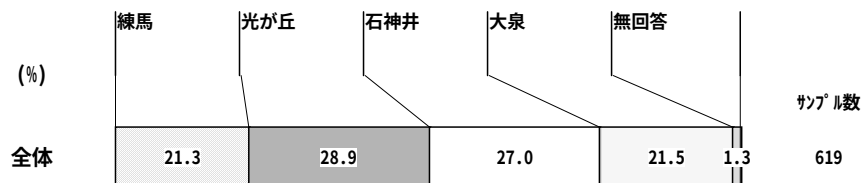
年齢は「55～59歳」が50.1%で、「60～64歳」が48.0%である。



③居住地区（問3）

問3 あなた（あて名のご本人）のお住まいはどちらですか。また、何丁目かもお答えください。（○は1つずつ）

調査回答者の居住地区は、「光が丘地区」が 28.9%で最も高く、次いで「石神井地区」（27.0%）、「大泉地区」（21.5%）、「練馬地区」（21.3%）の順になっている。



<男女別・年齢別の比較>

		全体	練馬	光が丘	石神井	大泉	無回答	
全体		619	132	179	167	133	8	上段：実数 下段：%
		100.0	21.3	28.9	27.0	21.5	1.3	
男女別	男性	275	59	84	73	57	2	
		100.0	21.5	30.5	26.5	20.7	0.7	
女性		336	73	94	93	74	2	
		100.0	21.7	28.0	27.7	22.0	0.6	
年齢別	55～59歳	310	68	93	79	68	2	
		100.0	21.9	30.0	25.5	21.9	0.6	
60～64歳		297	64	84	85	62	2	
		100.0	21.5	28.3	28.6	20.9	0.7	

(2) 住居について

① 住居形態 (問4)

問4 あなた(あて名のご本人)のお住まいは、次のうちのどれにあてはまりますか。(○は1つ)

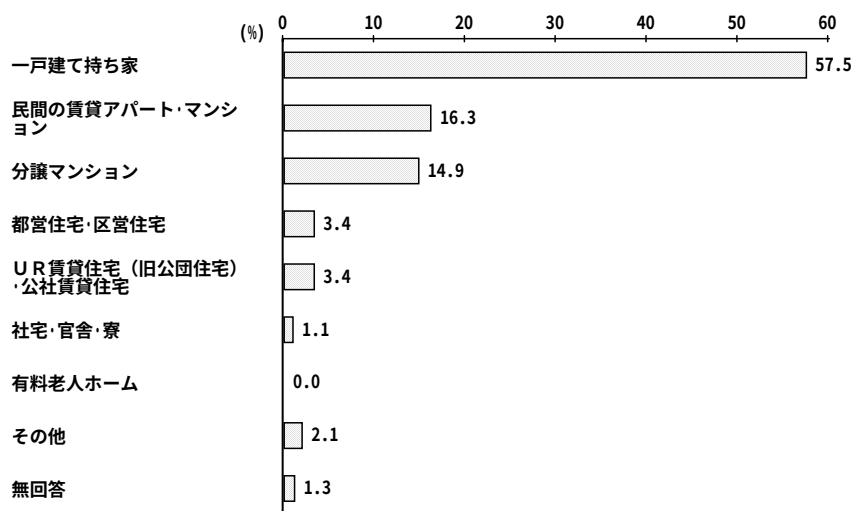
住居形態は「一戸建ての持ち家」(57.5%)の割合が最も高く、「分譲マンション」(14.9%)をあわせた『持ち家率』は72.4%である。

＜年齢別の傾向＞

全体の傾向と大きな違いはみられない。

＜居住地区別の傾向＞

いずれの地区でも「一戸建ての持ち家」の割合が最も高いが、特に大泉地区では75.9%と高くなっている。練馬地区では「一戸建ての持ち家」(47.0%)に次いで、「分譲マンション」が23.5%、「民間の賃貸アパート・マンション」が22.0%で高い。



＜年齢別・居住地区別の比較＞

	全体	一戸建て持ち家	民間の賃貸アパート・マンション	分譲マンション	都営住宅・区営住宅	UR賃貸住宅(旧公団住宅)・公社賃貸住宅	社宅・官舎・寮	有料老人ホーム	その他	無回答
全体	619 100.0	356 57.5	101 16.3	92 14.9	21 3.4	21 3.4	7 1.1	0 0.0	13 2.1	8 1.3
年齢別										
55～59歳	310 100.0	169 54.5	52 16.8	56 18.1	9 2.9	10 3.2	4 1.3	0 0.0	8 2.6	2 0.6
60～64歳	297 100.0	183 61.6	47 15.8	36 12.1	11 3.7	11 3.7	3 1.0	0 0.0	4 1.3	2 0.7
居住地区別										
練馬	132 100.0	62 47.0	29 22.0	31 23.5	2 1.5	0 0.0	4 3.0	0 0.0	3 2.3	1 0.8
光が丘	179 100.0	85 47.5	27 15.1	37 20.7	8 4.5	17 9.5	1 0.6	0 0.0	3 1.7	1 0.6
石神井	167 100.0	104 62.3	27 16.2	18 10.8	11 6.6	2 1.2	2 1.2	0 0.0	1 0.6	2 1.2
大泉	133 100.0	101 75.9	18 13.5	6 4.5	0 0.0	2 1.5	0 0.0	0 0.0	6 4.5	0 0.0

上段：実数
下段：%

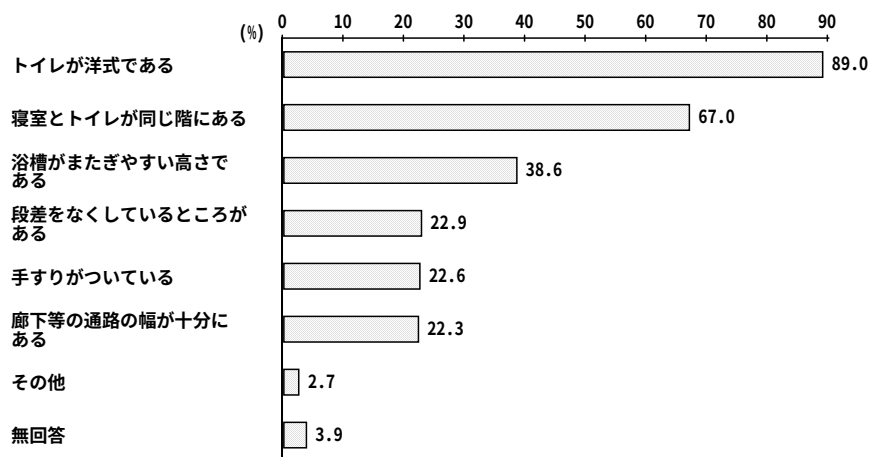
②住居の工夫（問5、複数回答）

問5 あなた（あて名のご本人）のお住まいは、現在次のような工夫をしていますか。（あてはまるものすべてに○）

住居で工夫している点は、「トイレが洋式である」（89.0%）が最も高い。次いで割合が高いのは「寝室とトイレが同じ階にある」（67.0%）である。

＜年齢別の傾向＞

全体の傾向と大きな違いはみられない。



＜年齢別の比較＞

	全体	トイレが洋式である	寝室とトイレが同じ階にある	浴槽がまたぎやすい高さである	段差をなくしているところがある	手すりがついている	廊下等の通路の幅が十分にある	その他	無回答
全体	619 100.0	551 89.0	415 67.0	239 38.6	142 22.9	140 22.6	138 22.3	17 2.7	24 3.9
年齢別									
55～59歳	310 100.0	276 89.0	211 68.1	119 38.4	78 25.2	72 23.2	68 21.9	8 2.6	9 2.9
60～64歳	297 100.0	268 90.2	201 67.7	118 39.7	63 21.2	66 22.2	68 22.9	9 3.0	11 3.7

上段：実数
下段：%

③住居の改修希望場所（問6、複数回答）

問6 今後、あなた（あて名のご本人）のお住まいのなかで、改修をしたいところはありますか。（あてはまるものすべてに○）

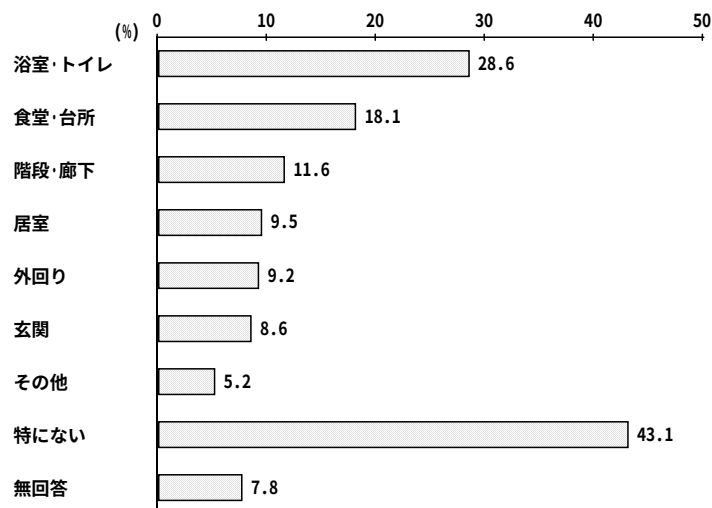
住居の改修希望場所については、「特にない」が43.1%で最も割合が高い。次いで「浴室・トイレ」（28.6%）、「食堂・台所」（18.1%）、「階段・廊下」（11.6%）の順になっている。

＜年齢別の傾向＞

60～64歳では55～59歳と比較して「階段・廊下」の改修を希望する割合が高い。

＜住居形態別の傾向＞

いずれも「浴室・トイレ」の改修希望が最も高い。また一戸建ての持ち家では、他の住居形態と比較して改修希望場所を具体的にあげている割合が高くなっている。



＜年齢別・住居形態別の比較＞

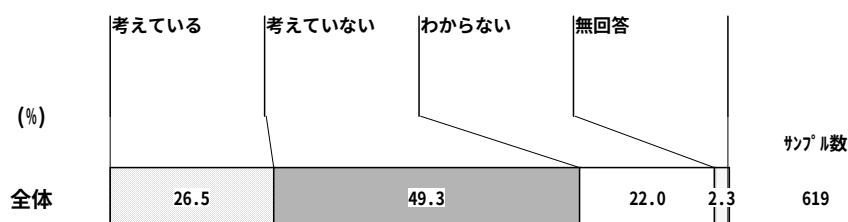
	全体	浴室・トイレ	食堂・台所	階段・廊下	居室	外回り	玄関	その他	特にない	無回答
全体	619	177	112	72	59	57	53	32	267	48
	100.0	28.6	18.1	11.6	9.5	9.2	8.6	5.2	43.1	7.8
年齢別										
55～59歳	310	86	57	27	35	33	26	13	143	21
	100.0	27.7	18.4	8.7	11.3	10.6	8.4	4.2	46.1	6.8
60～64歳	297	89	51	43	23	22	24	19	120	24
	100.0	30.0	17.2	14.5	7.7	7.4	8.1	6.4	40.4	8.1
住居形態別										
一戸建ての持ち家	356	110	81	63	41	46	40	18	135	15
	100.0	30.9	22.8	17.7	11.5	12.9	11.2	5.1	37.9	4.2
分譲マンション	92	25	13	2	8	3	4	0	53	3
	100.0	27.2	14.1	2.2	8.7	3.3	4.3	0.0	57.6	3.3
民間の賃貸アパート・マンション	101	20	11	5	8	4	5	9	53	15
	100.0	19.8	10.9	5.0	7.9	4.0	5.0	8.9	52.5	14.9
都営住宅・区営住宅	21	8	2	0	1	0	2	1	10	1
	100.0	38.1	9.5	0.0	4.8	0.0	9.5	4.8	47.6	4.8
UR賃貸住宅(旧公団住宅)・公社賃貸住宅	21	4	3	0	1	0	0	2	11	5
	100.0	19.0	14.3	0.0	4.8	0.0	0.0	9.5	52.4	23.8
社宅・官舎・寮	7	3	0	0	0	1	1	0	0	4
	100.0	42.9	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	57.1
その他	13	6	2	1	0	3	1	1	4	0
	100.0	46.2	15.4	7.7	0.0	23.1	7.7	7.7	30.8	0.0

上段：実数
下段：%

④将来の住み替え意向（問7）

問7 あなた（あて名のご本人）は、将来、住み替えを考えていますか。（○は1つ）

将来、住み替えを「考えている」が26.5%で、「考えていない」は49.3%である。



<年齢別の比較>

	全体	考えている	考えていない	わからない	無回答	
全体	619 100.0	164 26.5	305 49.3	136 22.0	14 2.3	上段：実数 下段：%
年齢別 55～59歳	310 100.0	78 25.2	144 46.5	80 25.8	8 2.6	
60～64歳	297 100.0	82 27.6	157 52.9	55 18.5	3 1.0	

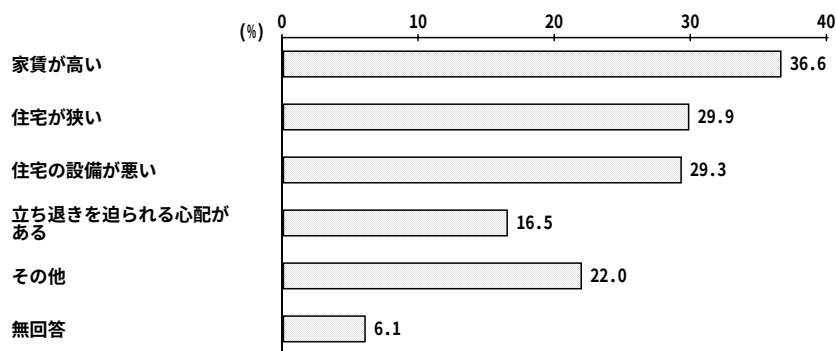
⑤住み替え意向のある理由（問7-1、複数回答）

問7-1 住み替える理由は、次のうちどれにあてはまりますか。（あてはまるものすべてに○）

住み替える理由は、「家賃が高い」が36.6%で最も高く、以下「住宅が狭い」（29.9%）、「住宅の設備が悪い」（29.3%）、「立ち退きを迫られる心配がある」（16.5%）となっている。

<<住居形態別の傾向>>

一戸建て持ち家では「住宅の設備が悪い」（42.6%）、民間の賃貸アパートでは「家賃が高い」（68.6%）が最も高い。



<住居形態別の比較>

	全体	家賃が高い	住宅が狭い	住宅の設備が悪い	立ち退きを迫られる心配がある	その他	無回答	
全体	164 100.0	60 36.6	49 29.9	48 29.3	27 16.5	36 22.0	10 6.1	上段：実数 下段：%
住居形態別 一戸建て持ち家	54 100.0	0 0.0	11 20.4	23 42.6	5 9.3	14 25.9	8 14.8	
分譲マンション	13 100.0	0 0.0	6 46.2	5 38.5	0 0.0	5 38.5	1 7.7	
民間の賃貸アパート・マンション	70 100.0	48 68.6	26 37.1	17 24.3	11 15.7	10 14.3	1 1.4	
都営住宅・区営住宅	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	
UR賃貸住宅・公営賃貸住宅	12 100.0	7 58.3	3 25.0	2 16.7	1 8.3	3 25.0	0 0.0	
社宅・官舎・寮	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 66.7	2 33.3	0 0.0	

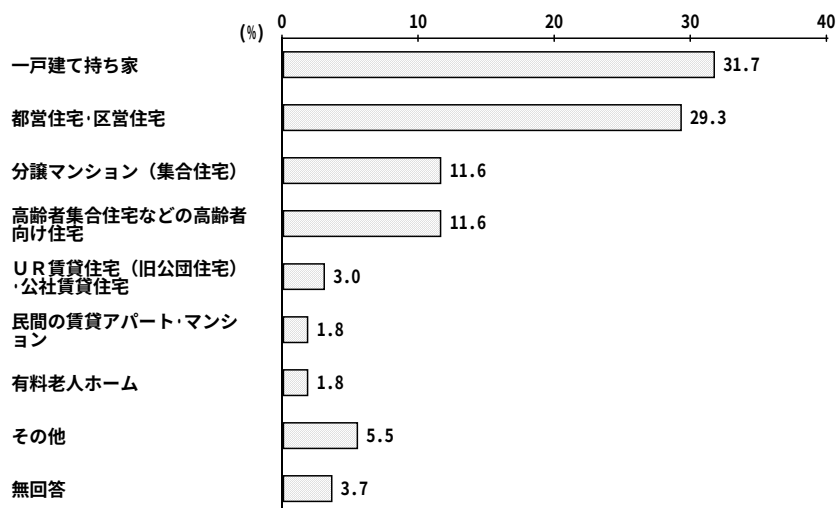
⑥ 住み替え予定の住宅（問 7-2）

問7-2 住み替えるとしたら、どのような住宅をお考えですか。（○は1つ）

住み替える場合の住居種別は、「一戸建て持ち家」（31.7%）と「都営住宅・区営住宅」（29.3%）が高い。

＜年齢別の傾向＞

55～59 歳は「一戸建て持ち家」（39.7%）、60～64 歳では「都営住宅・区営住宅」（31.7%）が最も高くなっている。



＜年齢別の比較＞

	全体	一戸建て持ち家	都営住宅・区営住宅	分譲マンション（集合住宅）	高齢者集合住宅などの高齢者向け住宅	UR賃貸住宅（旧公団住宅）・公社賃貸住宅	民間の賃貸アパート・マンション	有料老人ホーム	その他	無回答
全体	164	52	48	19	19	5	3	3	9	6
	100.0	31.7	29.3	11.6	11.6	3.0	1.8	1.8	5.5	3.7
年齢別										
55～59歳	78	31	20	8	6	2	2	2	4	3
	100.0	39.7	25.6	10.3	7.7	2.6	2.6	2.6	5.1	3.8
60～64歳	82	20	26	11	12	3	1	1	5	3
	100.0	24.4	31.7	13.4	14.6	3.7	1.2	1.2	6.1	3.7

上段：実数
下段：%

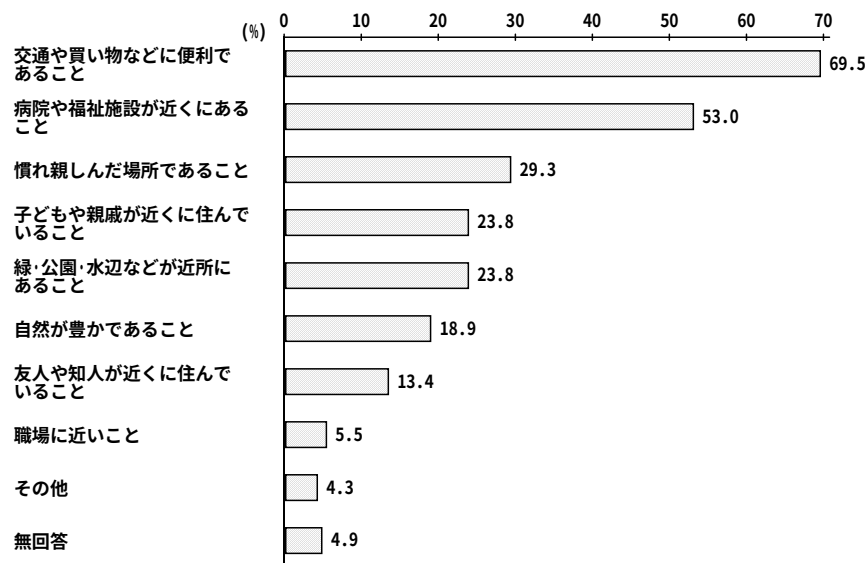
⑦住み替える住宅の希望する環境（問7-3、3つまで回答）

問7-3 住み替え先は、どのような場所にあればよいと考えますか。（○は3つまで）

住み替え先の場所の希望は、「交通や買い物などに便利であること」（69.5%）、「病院や福祉施設が近くにあること」（53.0%）が主なもので、次いで「慣れ親しんだ場所であること」（29.3%）、「子どもや親戚が近くに住んでいること」（23.8%）、「緑・公園・水辺などが近所にあること」（23.8%）の順である。

《年齢別の傾向》

回答割合はいずれの年齢層も「交通や買い物などに便利であること」が最も高く、次いで「病院や福祉施設が近くにあること」となっている。55～59歳では次いで「緑・公園・水辺などが近所にあること」（32.1%）であるが、60～64歳では「慣れ親しんだ場所であること」（35.4%）となっている。



<年齢別の比較>

	全体	交通や買い物などに便利であること	病院や福祉施設が近くにあること	慣れ親しんだ場所であること	子どもや親戚が近くに住んでいること	緑・公園・水辺などが近所にあること	自然が豊かであること	友人や知人が近くに住んでいること	職場に近いこと	その他	無回答
全体	164	114	87	48	39	39	31	22	9	7	8
	100.0	69.5	53.0	29.3	23.8	23.8	18.9	13.4	5.5	4.3	4.9
年齢別											
55～59歳	78	57	44	17	17	25	15	12	4	3	3
	100.0	73.1	56.4	21.8	21.8	32.1	19.2	15.4	5.1	3.8	3.8
60～64歳	82	57	42	29	20	13	16	10	4	4	4
	100.0	69.5	51.2	35.4	24.4	15.9	19.5	12.2	4.9	4.9	4.9

上段：実数
下段：%

(3) 健康・医療について

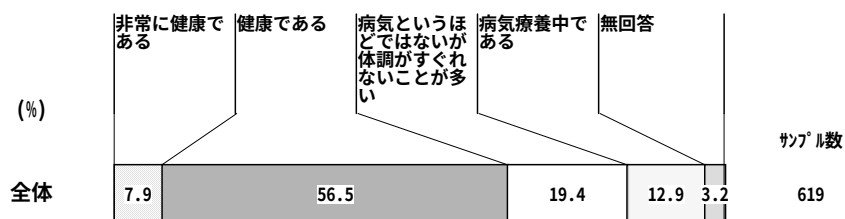
①健康状態 (問8)

問8 あなた(あて名のご本人)の、現在の健康状態はいかがですか。(○は1つ)

現在の健康状態について「非常に健康である」が7.9%で、「健康である」をあわせると64.4%が健康と回答している。「病気というほどではないが体調がすぐれないことがある」は19.4%、「病気療養中である」は12.9%である。

＜年齢別の傾向＞

「非常に健康である」と「健康である」をあわせた割合は、55～59歳では69.0%、60～64歳では61.0%となっている。



＜年齢別の比較＞

	全体	非常に健康である	健康である	病気というほどではないが体調がすぐれないことが多い	病気療養中である	無回答
全体	619 100.0	49 7.9	350 56.5	120 19.4	80 12.9	20 3.2
年齢別						
55～59歳	310 100.0	23 7.4	191 61.6	56 18.1	32 10.3	8 2.6
60～64歳	297 100.0	26 8.8	155 52.2	60 20.2	44 14.8	12 4.0

上段：実数
下段：%

②ふだんの健康管理状況 (問9)

問9 あなた(あて名のご本人)は、ふだん健康に気をつけていますか。(○は1つ)

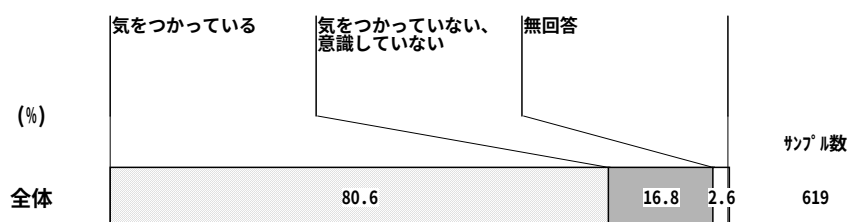
ふだんから健康に「気をつけている」は80.6%、健康に「気をつけていない、意識していない」は16.8%である。

＜男女別の傾向＞

健康に「気をつけている」は、男性が74.9%、女性が84.8%で女性のほうが高い。

＜年齢別の傾向＞

健康に「気をつけている」は、55～59歳が77.1%であるのに対し、60～64歳は84.2%である。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	気をつけている	気をつけていない、意識していない	無回答
全体	619 100.0	499 80.6	104 16.8	16 2.6
男女別				
男性	275 100.0	206 74.9	60 21.8	9 3.3
女性	336 100.0	285 84.8	44 13.1	7 2.1
年齢別				
55～59歳	310 100.0	239 77.1	62 20.0	9 2.9
60～64歳	297 100.0	250 84.2	41 13.8	6 2.0

上段：実数
下段：%

③特に健康に気をつけていること（問9－1、複数回答）

問9－1 特に健康に気をつけていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

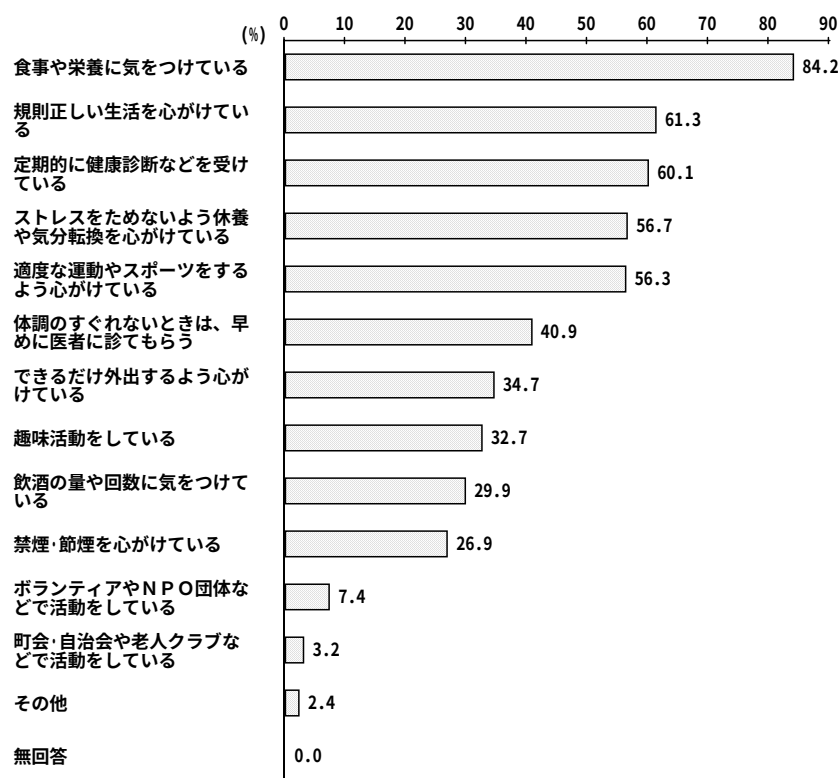
健康に気をつけている人に特に健康に気をつけていることをたずねたところ、「食事や栄養に気をつけている」が84.2%で最も高く、次いで「規則正しい生活を心がけている」(61.3%)、「定期的に健康診断等を受けている」(60.1%)、「ストレスをためないよう休養や気分転換を心がけている」(56.7%)、「適度な運動やスポーツをするように心がけている」(56.3%)が上位にあげられている。

《男女別の傾向》

全体の傾向と大きな違いはみられない。

《年齢別の傾向》

60～64歳のほうが55～59歳と比較して「規則正しい生活を心がけている」「適度な運動やスポーツをするよう心がけている」「できるだけ外出するよう心がけている」は特に割合が高くなっている。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	食事や栄養に気をつけている	規則正しい生活を心がけている	定期的に健康診断などを受けている	ストレスをためないよう休養や気分転換を心がけている	適度な運動やスポーツをするよう心がけている	体調のすぐれないときは、早めに医者に診てもらう	できるだけ外出するよう心がけている	趣味活動をしている	飲酒の量や回数に気をつけている	禁煙・節煙を心がけている	ボランティアやNPO団体などで活動をしている	町会・自治会や老人クラブなどで活動をしている	その他	無回答
全体	499 100.0	420 84.2	306 61.3	300 60.1	283 56.7	281 56.3	204 40.9	173 34.7	163 32.7	149 29.9	134 26.9	37 7.4	16 3.2	12 2.4	0 0.0
男女別															
男性	206 100.0	159 77.2	112 54.4	122 59.2	113 54.9	117 56.8	70 34.0	58 28.2	49 23.8	86 41.7	69 33.5	13 6.3	8 3.9	7 3.4	0 0.0
女性	285 100.0	254 89.1	187 65.6	172 60.4	165 57.9	161 56.5	130 45.6	112 39.3	112 39.3	59 20.7	61 21.4	24 8.4	8 2.8	4 1.4	0 0.0
年齢別															
55～59歳	239 100.0	199 83.3	138 57.7	143 59.8	135 56.5	124 51.9	81 33.9	68 28.5	76 31.8	67 28.0	59 24.7	17 7.1	4 1.7	4 1.7	0 0.0
60～64歳	250 100.0	212 84.8	161 64.4	150 60.0	142 56.8	154 61.6	118 47.2	99 39.6	85 34.0	78 31.2	72 28.8	20 8.0	12 4.8	7 2.8	0 0.0

上段：実数
下段：%

④関心のある生活習慣病（問 10、複数回答）

問 10 あなた（あて名のご本人）が関心のある生活習慣病は、どのようなものですか。（あてはまるものすべてに○）

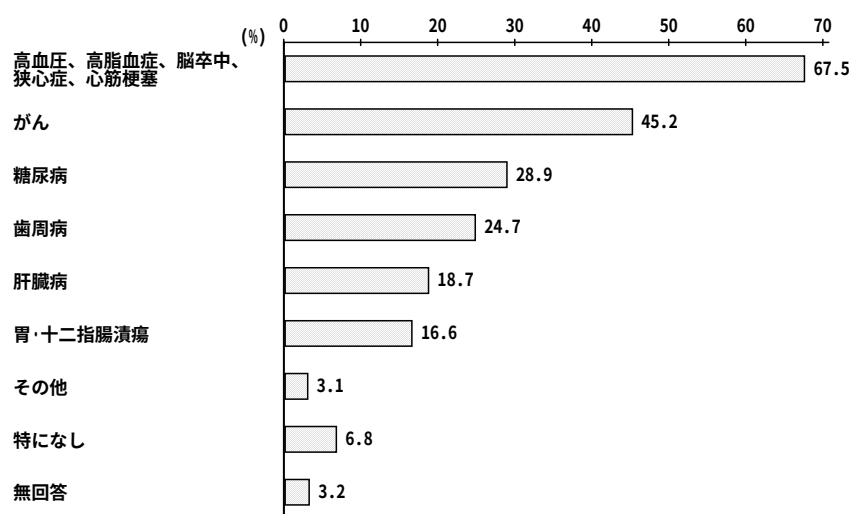
関心のある生活習慣病は、「高血圧、高脂血症、脳卒中、狭心症・心筋梗塞」が最も高く 67.5%で、次いで「がん」（45.2%）、「糖尿病」（28.9%）、「歯周病」（24.7%）となっている。

＜男女別の傾向＞

女性は「高血圧、高脂血症、脳卒中、狭心症、心筋梗塞」（73.2%）と「がん」（50.9%）に高い関心がある。男性が女性よりも関心が高い項目は「肝臓病」（22.2%）のみである。

＜年齢別の傾向＞

60～64 歳では「高血圧、高脂血症、脳卒中、狭心症、心筋梗塞」への関心が 55～59 歳よりも高く、71.4%となっている。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	脳卒中、高血圧、狭心症、心筋梗塞	がん	糖尿病	歯周病	肝臓病	胃・十二指腸潰瘍	その他	特になし	無回答
全体	619 100.0	418 67.5	280 45.2	179 28.9	153 24.7	116 18.7	103 16.6	19 3.1	42 6.8	20 3.2
男女別	男性	275 100.0	167 60.7	104 37.8	76 27.6	56 20.4	61 22.2	42 15.3	10 3.6	10 3.6
	女性	336 100.0	246 73.2	171 50.9	101 30.1	95 28.3	51 15.2	57 17.0	9 2.7	22 6.5
年齢別	55～59歳	310 100.0	198 63.9	139 44.8	88 28.4	76 24.5	56 18.1	47 15.2	9 2.9	26 8.4
	60～64歳	297 100.0	212 71.4	133 44.8	88 29.6	74 24.9	56 18.9	52 17.5	10 3.4	16 5.4

上段：実数
下段：%

⑤健康のために身体を動かす頻度（問 11）

問 11 あなた（あて名のご本人）が健康のために身体を動かす（体操や散歩など）頻度は、どのくらいですか。（○は1つ）

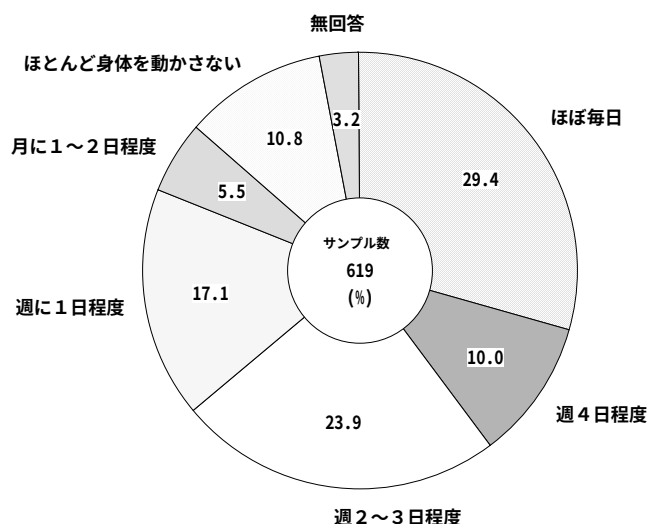
健康のために身体を「ほぼ毎日」動かす割合は 29.4%であった。これに「週 4 日程度」「週 2～3 日程度」「週 1 日程度」を加えた週 1 回以上身体を動かす割合の合計は 80.4%である。一方、「ほとんど身体を動かさない」が 10.8%みられる。

＜男女別の傾向＞

週 1 回以上身体を動かすと回答した割合は男性が 76.4%、女性が 84.0%で女性が高い。

＜年齢別の傾向＞

週 1 回以上の頻度は、55～59 歳が 77.7%、60～64 歳が 83.8%で 60～64 歳が高い。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	ほぼ毎日	週 4 日程度	週 2～3 日程度	週に 1 日程度	月に 1～2 日程度	ほとんど身体を動かさない	無回答
全体	619	182	62	148	106	34	67	20
	100.0	29.4	10.0	23.9	17.1	5.5	10.8	3.2
男女別								
男性	275	80	23	52	55	21	37	7
	100.0	29.1	8.4	18.9	20.0	7.6	13.5	2.5
女性	336	98	39	94	51	13	28	13
	100.0	29.2	11.6	28.0	15.2	3.9	8.3	3.9
年齢別								
55～59 歳	310	86	32	63	60	20	40	9
	100.0	27.7	10.3	20.3	19.4	6.5	12.9	2.9
60～64 歳	297	91	30	83	45	14	24	10
	100.0	30.6	10.1	27.9	15.2	4.7	8.1	3.4

上段：実数
下段：%

⑥健康について知りたいこと（問 12、3 つまで回答）

問 12 健康について知りたいことはありますか。（○は3つまで）

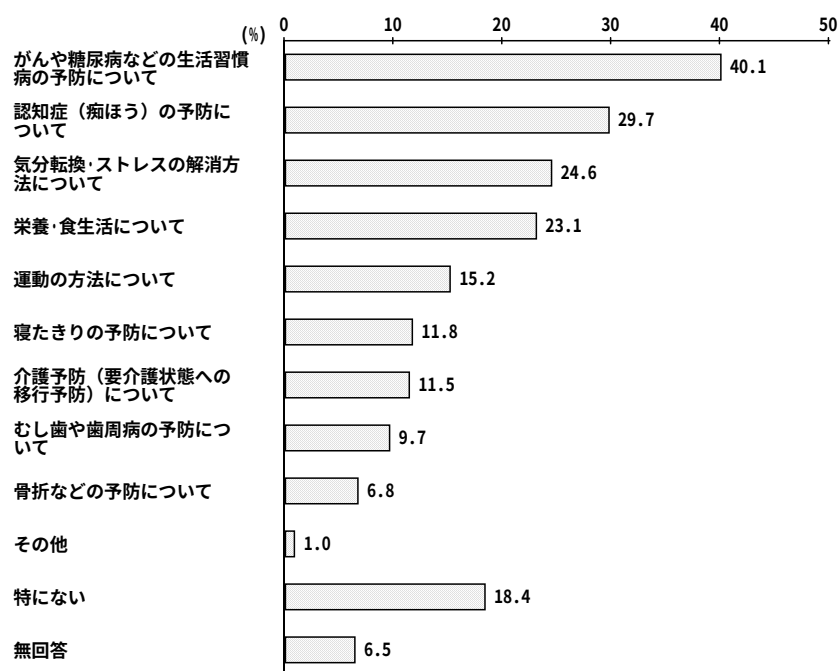
健康について知りたいことは、「がんや糖尿病などの生活習慣病の予防について」（40.1%）、「認知症（痴呆）の予防について」（29.7%）、「気分転換・ストレスの解消方法について」（24.6%）、「栄養・食生活について」（23.1%）が主なものである。

＜男女別の傾向＞

男性では「がんや糖尿病などの生活習慣病の予防について」が44.4%で高く、女性では「がんや糖尿病などの生活習慣病の予防について」（36.0%）とあわせて「認知症（痴呆）の予防について」（37.2%）の割合が高い。

＜年齢別の傾向＞

全体の傾向と大きな違いはみられない。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	がんや糖尿病などの生活習慣病の予防について	認知症（痴呆）の予防について	気分転換・ストレスの解消方法について	栄養・食生活について	運動の方法について	寝たきりの予防について	介護予防（要介護状態への移行予防）について	むし歯や歯周病の予防について	骨折などの予防について	その他	特にない	無回答
全体	619 100.0	248 40.1	184 29.7	152 24.6	143 23.1	94 15.2	73 11.8	71 11.5	60 9.7	42 6.8	6 1.0	114 18.4	40 6.5
男女別													
男性	275 100.0	122 44.4	56 20.4	64 23.3	63 22.9	38 13.8	25 9.1	27 9.8	25 9.1	6 2.2	2 0.7	64 23.3	15 5.5
女性	336 100.0	121 36.0	125 37.2	87 25.9	77 22.9	55 16.4	48 14.3	43 12.8	34 10.1	36 10.7	4 1.2	50 14.9	23 6.8
年齢別													
55～59歳	310 100.0	123 39.7	85 27.4	79 25.5	67 21.6	48 15.5	35 11.3	35 11.3	30 9.7	18 5.8	3 1.0	62 20.0	17 5.5
60～64歳	297 100.0	117 39.4	94 31.6	70 23.6	72 24.2	43 14.5	38 12.8	33 11.1	29 9.8	24 8.1	3 1.0	51 17.2	22 7.4

上段：実数
下段：%

⑦平成 16 年の健康診査の受診状況（問 13、複数回答）

問 13 あなた（あて名のご本人）は、今年（平成 16 年）に入ってから健康診査を受けましたか。（あてはまるものすべてに○）

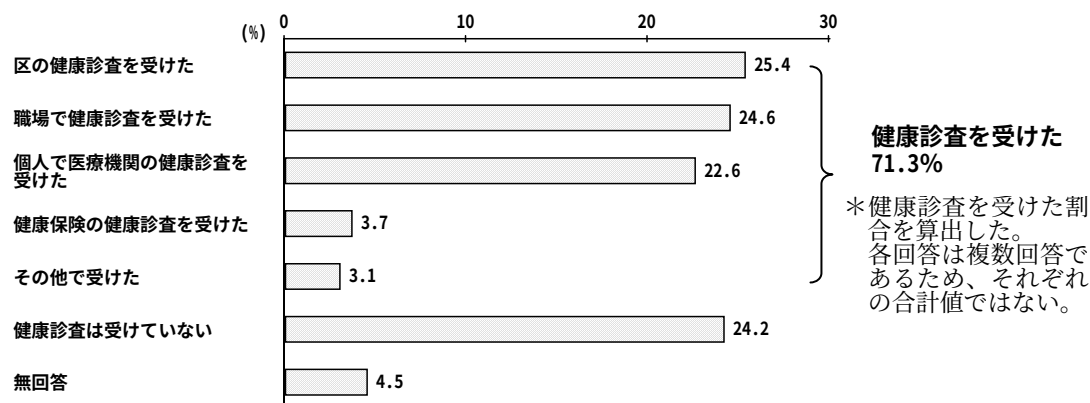
平成 16 年の健康診査は 71.3%が受診している。「区健康診査」が 25.4%、「職場健康診査」が 24.6%、「個人で医療機関健康診査を受けた」が 22.6%である。一方、「健康診査を受けていない」は 24.2%である。

＜男女別の傾向＞

男性では「職場健康診査を受けた」が 40.7%で高く、女性は「区健康診査を受けた」が 34.5%で高い。

＜年齢別の傾向＞

55～59 歳では「職場健康診査を受けた」が 31.9%で高く、60～64 歳は「区健康診査を受けた」が 32.0%で高い。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	区健康診査を受けた	職場健康診査を受けた	個人で医療機関健康診査を受けた	健康保険健康診査を受けた	その他で受けた	健康診査を受けていない	無回答
全体	619 100.0	157 25.4	152 24.6	140 22.6	23 3.7	19 3.1	150 24.2	28 4.5
男女別								
男性	275 100.0	39 14.2	112 40.7	58 21.1	8 2.9	6 2.2	62 22.5	9 3.3
女性	336 100.0	116 34.5	39 11.6	78 23.2	13 3.9	13 3.9	86 25.6	19 5.7
年齢別								
55～59歳	310 100.0	59 19.0	99 31.9	64 20.6	12 3.9	11 3.5	80 25.8	11 3.5
60～64歳	297 100.0	95 32.0	52 17.5	73 24.6	9 3.0	8 2.7	67 22.6	17 5.7

上段：実数
下段：%

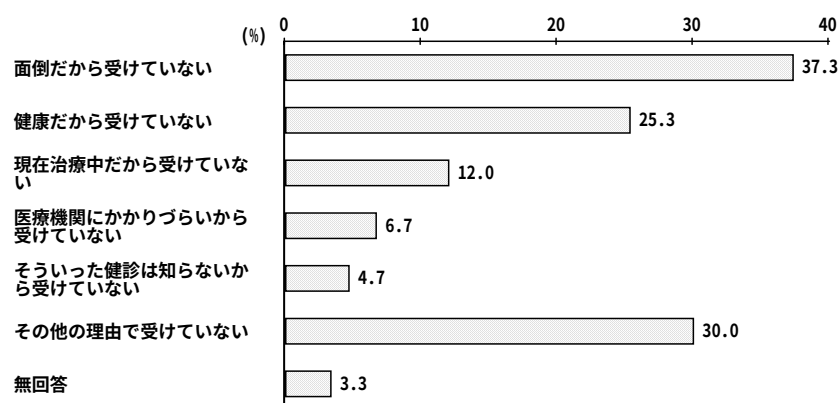
⑧健康診査の未受診理由（問 13－1、複数回答）

問 13－1 あなた（あて名のご本人）が健康診査を受けていないのは、なぜですか。（あてはまるものすべてに○）

健康診査を受けていない人の理由をみると、「面倒だからを受けていない」（37.3%）、「健康だからを受けていない」（25.3%）が主なものである。

＜年齢別の傾向＞

55～59 歳は「面倒だからを受けていない」が 43.8%で最も高く、60～64 歳では「健康だからを受けていない」が 34.3%で最も高い。



＜年齢別の比較＞

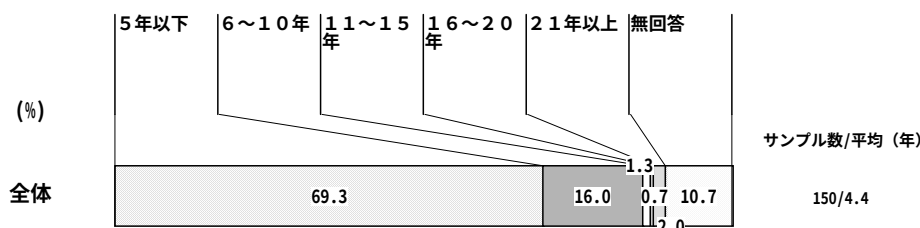
	全体	面倒だから 受けていな い	健康だから 受けていな い	現在治療中 だから受け ていない	医療機関に かかりづら いから受け ていない	そういった 健診は知ら ないから受 けていない	その他の理 由で受けて いない	無回答
全体	150 100.0	56 37.3	38 25.3	18 12.0	10 6.7	7 4.7	45 30.0	5 3.3
年 55～59歳	80 100.0	35 43.8	15 18.8	10 12.5	6 7.5	4 5.0	25 31.3	1 1.3
齢 60～64歳	67 100.0	20 29.9	23 34.3	6 9.0	4 6.0	3 4.5	19 28.4	4 6.0

上段：実数
下段：%

⑨最終健康診査から現在までの期間（問 13－2）

問 13－2 あなた（あて名のご本人）が最後に健康診査を受けたのは、何年前のことですか。（あてはまるものすべてに○）

健康診査を受けていない人が健康診査を受けていない期間は、「5年以下」が 69.3%、「6～10 年」が 16.0%である。



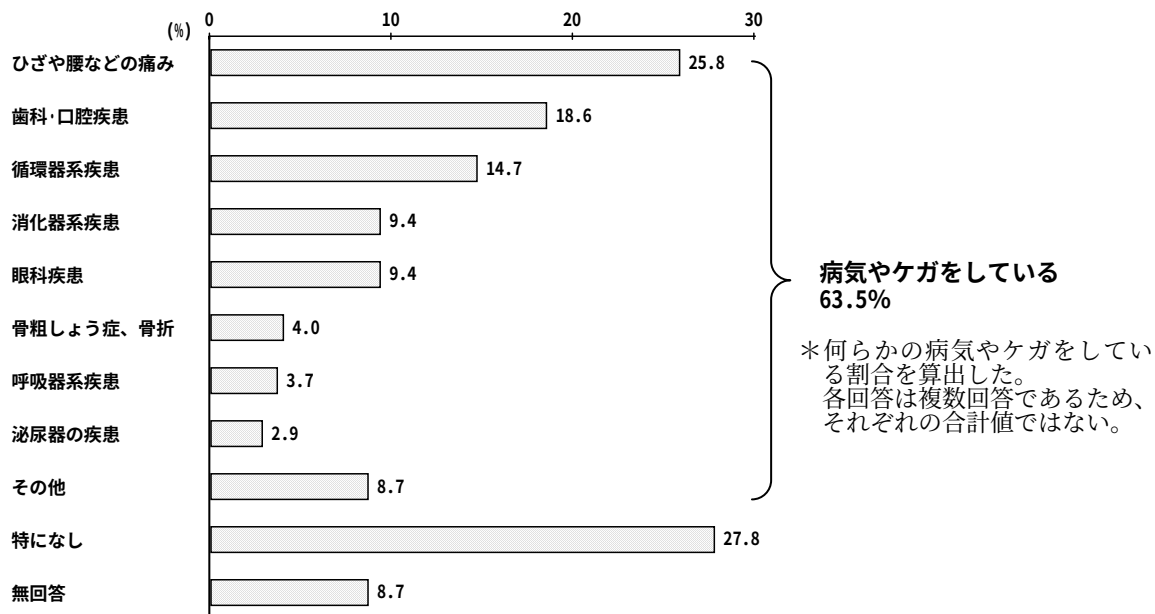
⑩傷病の有無（問 14、複数回答）

問 14 あなた（あて名のご本人）は現在、次にあげた病気やケガなどがありますか。（あてはまるものすべてに○）

何らかの病気やケガがあるのは 63.5%である。最も高い傷病は「ひざや腰などの痛み」で 25.8%である。次いで 10%を超えるのは「歯科・口腔疾患」（18.6%）、「循環器疾患」（14.7%）である。

＜年齢別の傾向＞

病気やケガの具体的な項目の全てにわたり、60～64 歳の割合が高くなっている。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	どひざや腰な	疾歯科・口腔	患循環器系疾	患消化器系疾	眼科疾患	症骨粗しょう骨折	患呼吸器系疾	患泌尿器の疾	その他	特になし	無回答
全体	619	160	115	91	58	58	25	23	18	54	172	54
	100.0	25.8	18.6	14.7	9.4	9.4	4.0	3.7	2.9	8.7	27.8	8.7
年 55～59歳	310	70	55	34	26	28	7	10	6	29	106	28
年齢別	100.0	22.6	17.7	11.0	8.4	9.0	2.3	3.2	1.9	9.4	34.2	9.0
60～64歳	297	86	59	55	29	29	18	11	11	23	63	26
	100.0	29.0	19.9	18.5	9.8	9.8	6.1	3.7	3.7	7.7	21.2	8.8

上段：実数
下段：%

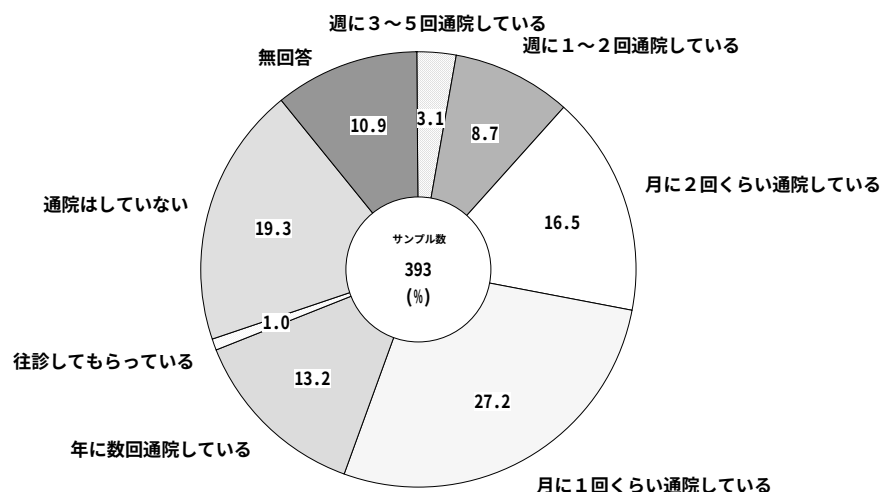
⑪通院状況（問 14－1）

問 14－1 治療のために病院や診療所、医院などに通院していますか。（○は1つ）

病気やケガのある人の通院状況をみると、月に1回以上通院しているが55.5%を占める。一方、2割は通院していない。

＜年齢別の傾向＞

全体の傾向と大きな違いはみられない。



＜年齢別の比較＞

		全体	週に3～5回通院している	週に1～2回通院している	月に2回くらい通院している	月に1回くらい通院している	年に数回通院している	往診してもらっている	通院はしていない	無回答
年 齢 別	全体	393	12	34	65	107	52	4	76	43
		100.0	3.1	8.7	16.5	27.2	13.2	1.0	19.3	10.9
	55～59歳	176	3	16	27	47	24	1	41	17
年 齢 別	60～64歳	208	9	17	34	58	27	3	34	26
		100.0	4.3	8.2	16.3	27.9	13.0	1.4	16.3	12.5

上段：実数
下段：%

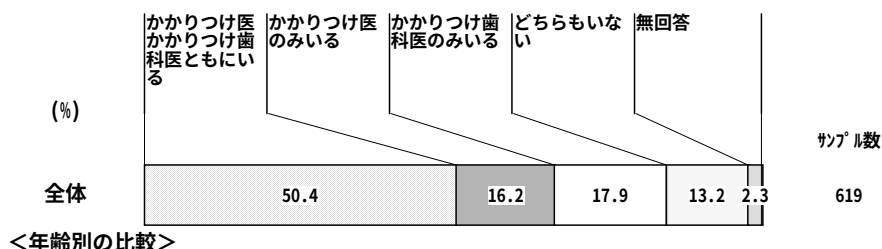
⑫かかりつけ医、かかりつけ歯科医の有無（問 15）

問 15 あなた（あて名のご本人）には、かかりつけ医（診療所）、かかりつけ歯科医（診療所）がいますか。（○は1つ）

「かかりつけ医、かかりつけ歯科医ともにいる」と「かかりつけ医のみいる」をあわせた、かかりつけ医のいる人の合計は66.6%、「かかりつけ医、かかりつけ歯科医ともにいる」と「かかりつけ歯科医のみいる」をあわせた、かかりつけ歯科医のいる人の合計は68.3%である。なお「どちらともいない」人は13.2%であった。

＜年齢別の傾向＞

かかりつけ医、かかりつけ歯科医の「どちらともいない」は、55～59歳（15.2%）が若干高い。



＜年齢別の比較＞

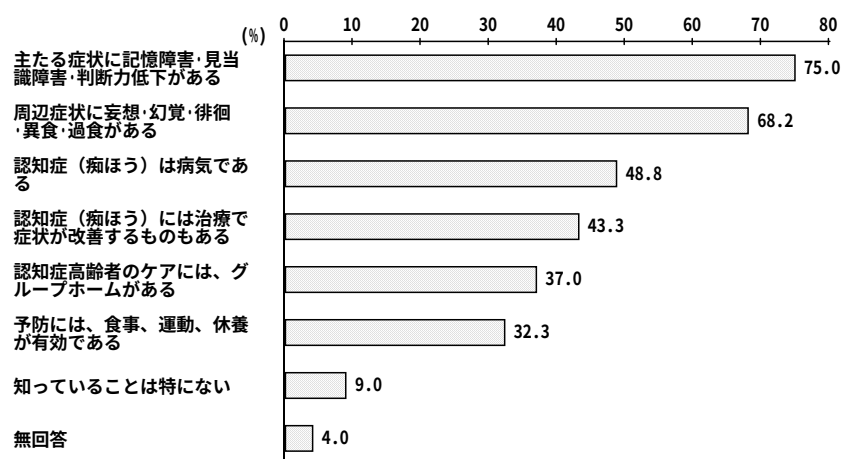
		全体	かかりつけ医、かかりつけ歯科医ともにいる	かかりつけ医のみいる	かかりつけ歯科医のみいる	どちらともいない	無回答
年 齢 別	全体	619	312	100	111	82	14
		100.0	50.4	16.2	17.9	13.2	2.3
	55～59歳	310	141	50	67	47	5
年 齢 別	60～64歳	297	162	48	44	34	9
		100.0	54.5	16.2	14.8	11.4	3.0

上段：実数
下段：%

⑬認知症（痴ほう）についての認知状況（問 16、複数回答）

問 16 あなた（あて名のご本人）は痴ほうについて、どの程度ご存知ですか。（知っていることすべてに○）

認知症（痴ほう）について知っていることをみると、「主たる症状として、記憶障害・見当識障害・判断力低下等がある」（75.0%）と「周辺症状として、妄想・幻覚・徘徊・異食・過食などがある」（68.2%）について認知度が高い。以下、「認知症（痴ほう）は病気である」（48.8%）、「認知症（痴ほう）には治療で症状が改善するものもある」（43.3%）、「認知症（痴ほう性）高齢者のケアにはグループホームなどがある」（37.0%）、「予防にはバランスのよい食事、適度な運動・休養が有効といわれている」（32.3%）となっている。



<年齢別の比較>

	全体	主たる症状に記憶障害・見当識障害・判断力低下がある	周辺症状に妄想・幻覚・徘徊・異食・過食がある	認知症（痴ほう）は病気である	認知症（痴ほう）には治療で症状が改善するものもある	認知症（痴ほう性）高齢者のケアには、グループホームがある	認知症（痴ほう）予防には、食事、運動、休養が有効である	知っていることは特にない	無回答
全体	619 100.0	464 75.0	422 68.2	302 48.8	268 43.3	229 37.0	200 32.3	56 9.0	25 4.0
年齢別									
55～59歳	310 100.0	230 74.2	215 69.4	161 51.9	134 43.2	104 33.5	94 30.3	28 9.0	10 3.2
60～64歳	297 100.0	226 76.1	201 67.7	137 46.1	129 43.4	120 40.4	105 35.4	26 8.8	13 4.4

上段：実数
下段：%

(4) 就労状況について

①就労状況（問 17）

問 17 あなた（あて名のご本人）は現在、収入のある仕事についていますか。（○は1つ）

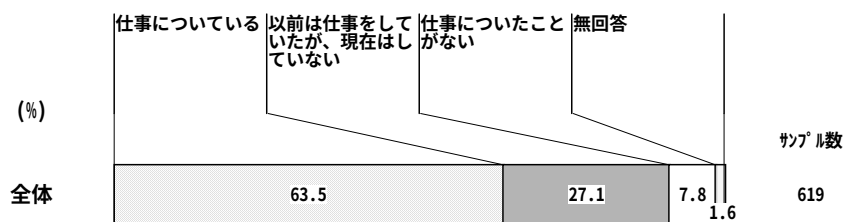
収入のある「仕事についている」が 63.5%で、「以前は仕事をしていましたが現在はいしてない」が 27.1%、「仕事についたことがない」が 7.8%である。

≪男女別の傾向≫

「仕事についている」割合は、男性が 79.3%、女性が 50.6%である。

≪年齢別の傾向≫

「仕事についている」割合は、55～59 歳が 71.6%、60～64 歳が 55.2%である。



<男女別・年齢別の比較>

	全体	仕事についている	以前は仕事をしていましたが、現在はいしてない	仕事についたことがない	無回答
全体	619	393	168	48	10
	100.0	63.5	27.1	7.8	1.6
男女別					
男性	275	218	51	4	2
	100.0	79.3	18.5	1.5	0.7
女性	336	170	114	44	8
	100.0	50.6	33.9	13.1	2.4
年齢別					
55～59歳	310	222	64	19	5
	100.0	71.6	20.6	6.1	1.6
60～64歳	297	164	100	28	5
	100.0	55.2	33.7	9.4	1.7

上段：実数
下段：%

②就労形態（問 17－1）

問 17－1 あなた（あて名のご本人）の就労形態は、次のうちのどれですか。（○は1つ）

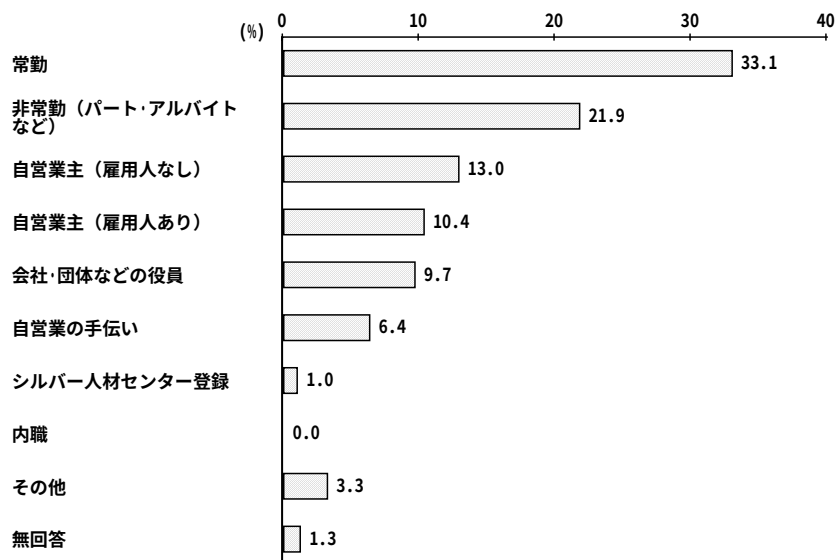
仕事についている人の就労形態をみると、「常勤」が33.1%で最も高い。次いで「非常勤」が21.9%である。以下、「自営業主（雇用人なし）」（13.0%）、「自営業主（雇用人あり）」（10.4%）、「会社・団体などの役員」（9.7%）、「自営業の手伝い」（6.4%）となっている。「シルバー人材センター登録」は1.0%である。

《男女別の傾向》

男性は「常勤」（41.3%）が、女性は「非常勤」（39.4%）が最も高い。

《年齢別の傾向》

55～59歳は「常勤」（43.2%）が、60～64歳は「非常勤」（27.4%）が最も高い。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	常勤	非常勤 （パート・ アルバイトなど）	自営業主 （雇用人 なし）	自営業主 （雇用人 あり）	会社・ 団体な どの 役員	自営業 の手伝い	シルバ ー人材 セン ター登 録	内職	その他	無回 答
全体	393 100.0	130 33.1	86 21.9	51 13.0	41 10.4	38 9.7	25 6.4	4 1.0	0 0.0	13 3.3	5 1.3
男女別											
男性	218 100.0	90 41.3	19 8.7	37 17.0	30 13.8	30 13.8	3 1.4	2 0.9	0 0.0	5 2.3	2 0.9
女性	170 100.0	39 22.9	67 39.4	12 7.1	11 6.5	8 4.7	22 12.9	2 1.2	0 0.0	6 3.5	3 1.8
年齢別											
55～59歳	222 100.0	96 43.2	40 18.0	23 10.4	24 10.8	15 6.8	14 6.3	2 0.9	0 0.0	5 2.3	3 1.4
60～64歳	164 100.0	32 19.5	45 27.4	27 16.5	16 9.8	23 14.0	11 6.7	2 1.2	0 0.0	6 3.7	2 1.2

上段：実数
下段：%

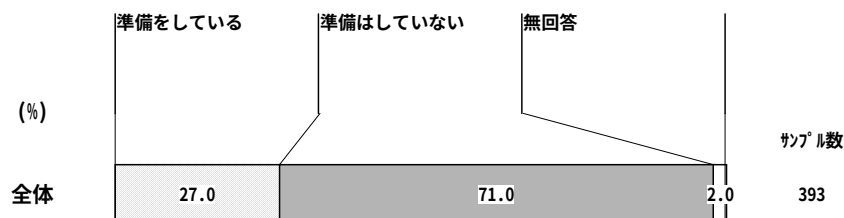
③退職後の生活に対する準備（問 17－2）

問 17－2 あなたは（あて名のご本人）は、退職後の生活等の準備をされていますか。（○は1つ）

現在仕事についている人のうち、退職後の生活等の「準備をしている」は 27.0%で、「準備はしていない」が 71.0%である。

＜年齢別の傾向＞

「準備をしている」割合は、55～59 歳（22.1%）に比べ、60～64 歳（33.5%）が高くなっている。



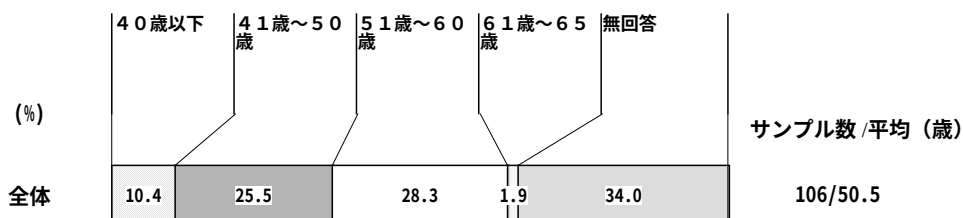
＜年齢別の比較＞

	全体	準備をして いる	準備はして いない	無回答	
全体	393	106	279	8	上段：実数
	100.0	27.0	71.0	2.0	下段：%
年齢別 55～59歳	222	49	170	3	
	100.0	22.1	76.6	1.4	
60～64歳	164	55	104	5	
	100.0	33.5	63.4	3.0	

退職後の生活等の準備をしていると回答した人に準備を開始した年齢をたずねたところ、「41～50 歳」が 25.5%、「51～60 歳」が 28.3%で、平均は 50.5 歳である。また 35.9%の人が 50 歳前から準備している。

＜年齢別の傾向＞

55～59 歳は平均が 47.1 歳、60～64 歳は平均が 53.1 歳である。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	40歳以下	41歳～50歳	51歳～60歳	61歳～65歳	無回答	平均	
全体	106	11	27	30	2	36	50.5歳	上段：実数
	100.0	10.4	25.5	28.3	1.9	34.0		下段：%
年齢別 55～59歳	49	8	12	11	0	18	47.1歳	
	100.0	16.3	24.5	22.4	0.0	36.7		
60～64歳	55	3	14	18	2	18	53.1歳	
	100.0	5.5	25.5	32.7	3.6	32.7		

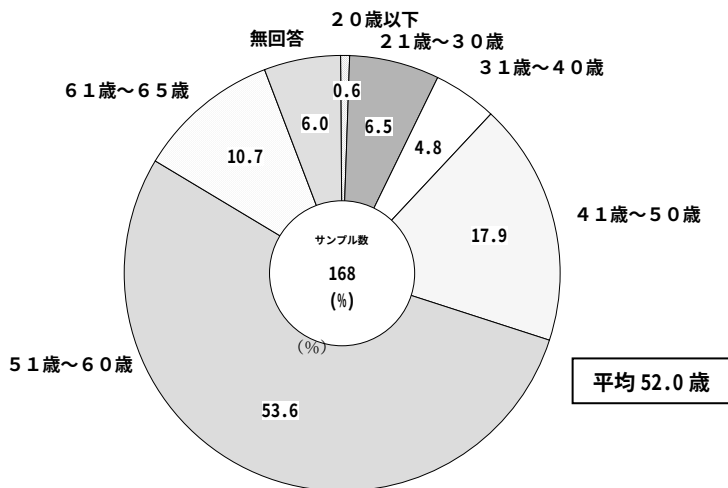
④直近の仕事をやめた年齢（問 17－3）

問 17－3 仕事をやめたのは何歳ごろですか。直近の仕事をやめた年齢をお答えください。

既に退職している人が直近にやめた年齢は、「51～60 歳」が 53.6%で、平均は 52.0 歳である。

＜年齢別の傾向＞

55～59 歳は平均が 47.3 歳、60～64 歳は平均が 55.1 歳である。



＜年齢別の比較＞

		全体	20歳以下	21歳～30歳	31歳～40歳	41歳～50歳	51歳～60歳	61歳～65歳	無回答	平均
全体		168 100.0	1 0.6	11 6.5	8 4.8	30 17.9	90 53.6	18 10.7	10 6.0	52.0歳
年齢別	55～59歳	64 100.0	0 0.0	6 9.4	6 9.4	19 29.7	29 45.3	0 0.0	4 6.3	47.3歳
	60～64歳	100 100.0	1 1.0	4 4.0	2 2.0	11 11.0	61 61.0	16 16.0	5 5.0	55.1歳

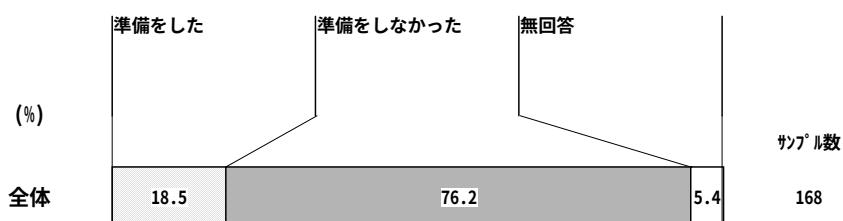
⑤退職前における退職後の生活に対する準備（問 17－4）

問 17－4 あなたは（あて名のご本人）は、退職をする前から退職後の生活等の準備をしていましたか。（○は1つ）

既に退職している人のうち、退職前に退職後の生活等の「準備をした」は 18.5%で、「準備をしなかった」が 76.2%を占める。

＜年齢別の傾向＞

退職の準備をしていた人の割合は 55～59 歳が 14.1%、60～64 歳が 21.0%である。



＜年齢別の比較＞

		全体	準備をした	準備をしなかった	無回答
全体		168 100.0	31 18.5	128 76.2	9 5.4
年齢別	55～59歳	64 100.0	9 14.1	54 84.4	1 1.6
	60～64歳	100 100.0	21 21.0	72 72.0	7 7.0

退職前に退職後の生活等の準備をした人の準備を開始した年齢は、「41～50 歳」が 32.3%、「51～60 歳」が 29.1%で、平均は 47.3 歳である。

	全体	40歳以下	41歳～45歳	46歳～50歳	51歳～55歳	56歳～60歳	61歳～65歳	無回答	平均	
全体	31 100.0	8 25.8	3 9.7	7 22.6	3 9.7	6 19.4	0 0.0	4 12.9	47.3歳	上段：実数 下段：%

＊サンプル数が少ないため参考値。

⑥今後の就労意向（問 18）

問 18 あなた（ご本人）は今後、適当な仕事があったら働きたいと思いますか。現在働いている方は、引き続き働きたいと思いますか。（○は1つ）

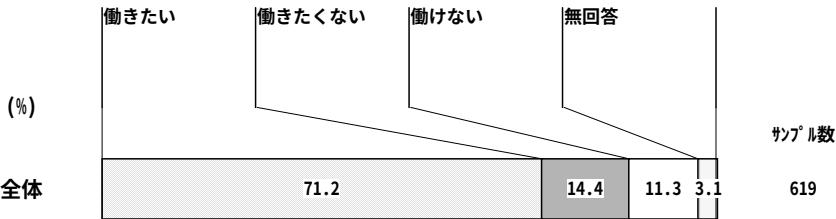
今後の就労意向をみると、「働きたい」が 71.2%を占める。「働きたくない」が 14.4%、「働けない」が 11.3%である。

＜男女別の傾向＞

「働きたい」割合は男性が 83.6%、女性が 61.0%である。

＜年齢別の傾向＞

「働きたい」割合は 55～59 歳が 74.5%、60～64 歳が 68.0%である。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	働きたい	働きたくない	働けない	無回答	
全体	619 100.0	441 71.2	89 14.4	70 11.3	19 3.1	上段：実数 下段：%
男女別						
男性	275 100.0	230 83.6	18 6.5	20 7.3	7 2.5	
女性	336 100.0	205 61.0	70 20.8	49 14.6	12 3.6	
年齢別						
55～59歳	310 100.0	231 74.5	37 11.9	33 10.6	9 2.9	
60～64歳	297 100.0	202 68.0	51 17.2	35 11.8	9 3.0	

⑦就労希望理由（問 18－1、複数回答）

問 18－1 働きたいのは、どのような理由からですか。（あてはまるものすべてに○）

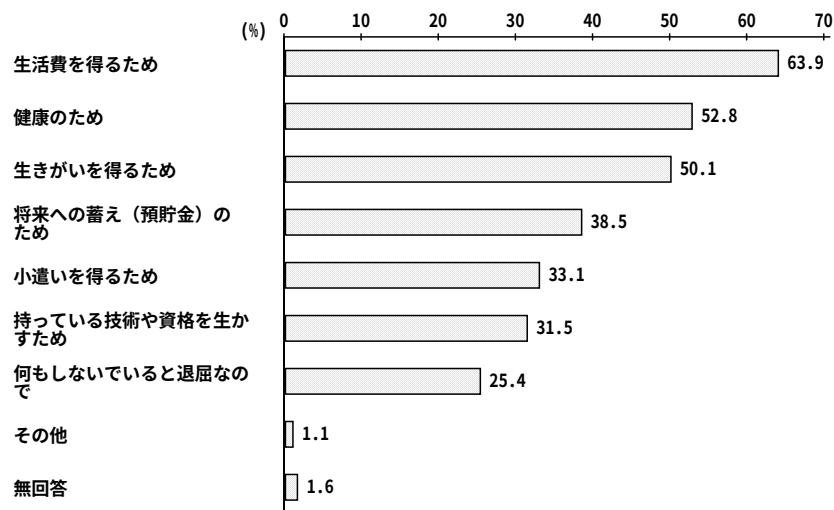
働きたい人の理由は、「生活費を得るため」（63.9%）、「健康のため」（52.8%）、「生きがいを得るため」（50.1%）が主なものである。

＜男女別の傾向＞

男性は「生活費を得るため」が 78.7%で最も高いが、女性は「健康のため」が 56.6%で最も高く、次いで「生きがいを得るため」が 54.6%で、「生活費を得るため」は 3 番目の 47.3%である。

＜年齢別の傾向＞

55～59 歳は「生活費を得るため」が 69.7%で、60～64 歳は「健康のため」が 64.4%で最も高い。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	生活費を得るため	健康のため	生きがいを得るため	将来への蓄え（預貯金）のため	小遣いを得るため	持っている技術や資格を生かすため	何もしないでいると退屈なので	その他	無回答
全体	441 100.0	282 63.9	233 52.8	221 50.1	170 38.5	146 33.1	139 31.5	112 25.4	5 1.1	7 1.6
男女別	男性	230 100.0	181 78.7	113 49.1	105 45.7	88 38.3	71 30.9	73 31.7	50 21.7	1 0.4
	女性	205 100.0	97 47.3	116 56.6	112 54.6	80 39.0	73 35.6	64 31.2	60 29.3	4 2.0
年齢別	55～59歳	231 100.0	161 69.7	97 42.0	107 46.3	90 39.0	74 32.0	63 27.3	61 26.4	1 0.4
	60～64歳	202 100.0	116 57.4	130 64.4	108 53.5	76 37.6	70 34.7	73 36.1	48 23.8	3 1.5

上段：実数
下段：%

⑧希望する就労形態（問 18－2、2 つまで回答）

問 18－2 あなた（あて名のご本人）は、次のうちどのような就労形態で働きたいですか。現在のまま働き続けたい方は、現在の就労形態をお答えください。（○は2 つまで）

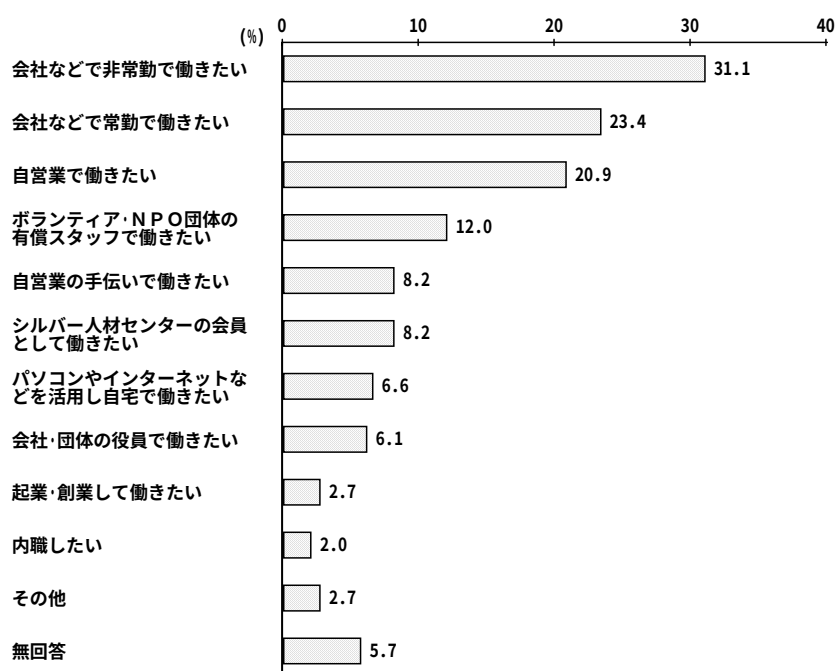
希望する就労形態は、「会社などで非常勤で働きたい」（31.1%）、「会社などで常勤で働きたい」（23.4%）、「自営業で働きたい」（20.9%）が主なものである。

＜男女別の傾向＞

男性は「会社などで常勤で働きたい」（32.6%）、「自営業で働きたい」（28.3%）が高く、女性は「会社などで非常勤で働きたい」（41.0%）が高い。

＜年齢別の傾向＞

55～59 歳は「会社などで常勤で働きたい」（30.3%）、「会社などで非常勤で働きたい」（27.7%）が高く、60～64 歳は「会社などで非常勤で働きたい」（34.7%）が高い。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	会社などで非常勤で働きたい	会社などで常勤で働きたい	自営業で働きたい	ボランティア・NPO団体の有償スタッフで働きたい	自営業の手伝いで働きたい	シルバー人材センターの会員として働きたい	パソコンやインターネットなどを活用し自宅で働きたい	会社・団体の役員で働きたい	起業・創業して働きたい	内職したい	その他	無回答
全体	441	137	103	92	53	36	36	29	27	12	9	12	25
	100.0	31.1	23.4	20.9	12.0	8.2	8.2	6.6	6.1	2.7	2.0	2.7	5.7
男女別													
男性	230	51	75	65	17	7	18	16	25	10	1	3	9
	100.0	22.2	32.6	28.3	7.4	3.0	7.8	7.0	10.9	4.3	0.4	1.3	3.9
女性	205	84	26	26	35	28	17	12	2	2	8	9	15
	100.0	41.0	12.7	12.7	17.1	13.7	8.3	5.9	1.0	1.0	3.9	4.4	7.3
年齢別													
55～59歳	231	64	70	44	22	19	15	14	14	6	5	7	9
	100.0	27.7	30.3	19.0	9.5	8.2	6.5	6.1	6.1	2.6	2.2	3.0	3.9
60～64歳	202	70	31	46	30	16	20	14	13	5	4	4	16
	100.0	34.7	15.3	22.8	14.9	7.9	9.9	6.9	6.4	2.5	2.0	2.0	7.9

上段：実数
下段：%

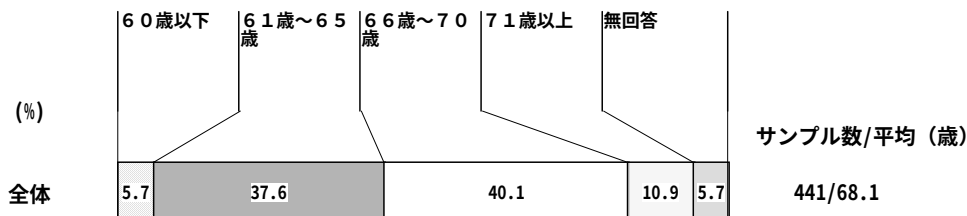
⑨就労継続を希望する年齢（問 18－3）

問 18－3 あなた（あて名のご本人）は、何歳ぐらいまで働きたいですか。

働き続けたい年齢は「61～65 歳」が 37.6%、「66～70 歳」が 40.1%で、平均は 68.1 歳である。

＜年齢別の傾向＞

55～59 歳は平均が 66.7 歳、60～64 歳は平均が 69.9 歳である。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	60歳以下	61歳～65歳	66歳～70歳	71歳以上	無回答	平均	
全体	441 100.0	25 5.7	166 37.6	177 40.1	48 10.9	25 5.7	68.1歳	上段：実数 下段：%
年齢別 55～59歳	231 100.0	25 10.8	118 51.1	68 29.4	16 6.9	4 1.7	66.7歳	
60～64歳	202 100.0	0 0.0	44 21.8	105 52.0	32 15.8	21 10.4	69.9歳	

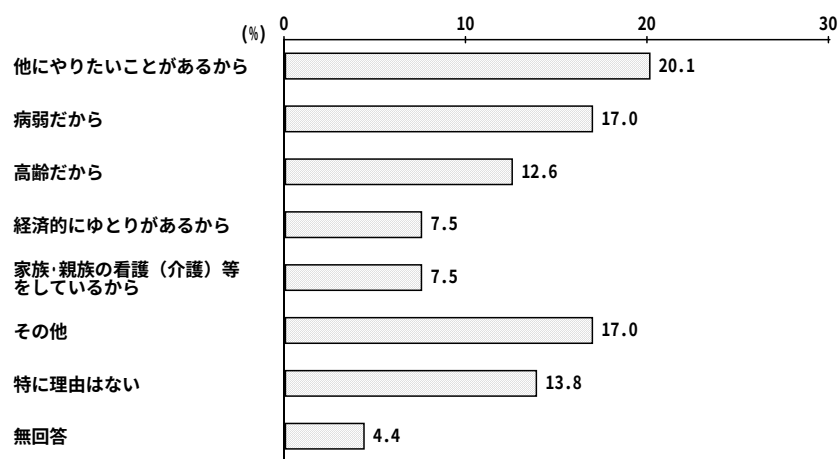
⑩主な非就労理由（問 18－4）

問 18－4 あなた（ご本人）が働きたくない、あるいは働けない主な理由をお答えください。（主な理由1つに○）

働きたくない、あるいは働けない人の主な理由は、「他にやりたいことがあるから」（20.1%）、「病弱だから」（17.0%）、「高齢だから」（12.6%）である。「特に理由はない」が 13.8%みられる。

＜年齢別の傾向＞

55～59 歳は「他にやりたいことがあるから」（21.4%）と「病弱だから」（21.4%）が高く、60～64 歳は「他にやりたいことがあるから」（19.8%）と「高齢だから」（17.4%）が高い。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	他にやりたいことがあるから	病弱だから	高齢だから	経済的にゆとりがあるから	家族・親族の看護（介護）等をしているから	その他	特に理由はない	無回答
全体	159 100.0	32 20.1	27 17.0	20 12.6	12 7.5	12 7.5	27 17.0	22 13.8	7 4.4
年齢別 55～59歳	70 100.0	15 21.4	15 21.4	4 5.7	7 10.0	7 10.0	10 14.3	10 14.3	2 2.9
60～64歳	86 100.0	17 19.8	11 12.8	15 17.4	5 5.8	5 5.8	16 18.6	12 14.0	5 5.8

上段：実数
下段：%

(5) 生きがい・社会参加意識について

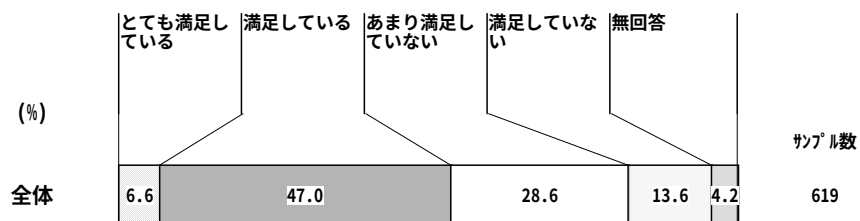
①現在の生活の満足度（問 19）

問 19 あなた（あて名のご本人）は現在の生活に満足していますか。（○は1つ）

現在の生活に「とても満足している」が 6.6%、「満足している」は 47.0%で、あわせると過半数をやや超える。「あまり満足していない」は 28.6%、「満足していない」は 13.6%である。

＜年齢別の傾向＞

全体の傾向と大きな違いはみられない。



＜年齢別の比較＞

	全体	とても満足している	満足している	あまり満足していない	満足していない	無回答
全体	619	41	291	177	84	26
	100.0	6.6	47.0	28.6	13.6	4.2
年齢別						
55～59歳	310	19	143	94	41	13
	100.0	6.1	46.1	30.3	13.2	4.2
60～64歳	297	22	145	79	40	11
	100.0	7.4	48.8	26.6	13.5	3.7

上段：実数
下段：%

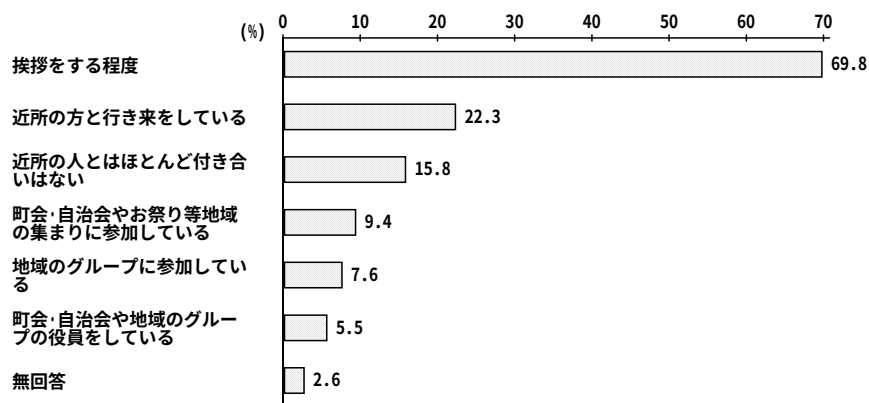
②地域との関わり（問 20、複数回答）

問 20 あなた（あて名のご本人）は、現在、地域とどのような関わりをしていますか。（あてはまるものすべてに○）

地域との関わりは、「挨拶をする程度」が 69.8%である。「近所の方と行き来をしている」は 22.3%で、「近所の人とはほとんど付き合いはない」が 15.8%いる。

＜男女別の傾向＞

「近所の人とはほとんど付き合いはない」は男性が 20.0%に対して、女性が 12.5%となっている。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	挨拶をする程度	近所の方と行き来をしている	近所の人とはほとんど付き合いはない	町会・自治会やお祭り等地域の集まりに参加している	地域のグループに参加している	町会・自治会や地域のグループの役員をしている	無回答
全体	619 100.0	432 69.8	138 22.3	98 15.8	58 9.4	47 7.6	34 5.5	16 2.6
男女別								
男性	275 100.0	199 72.4	35 12.7	55 20.0	24 8.7	18 6.5	16 5.8	8 2.9
女性	336 100.0	228 67.9	103 30.7	42 12.5	34 10.1	29 8.6	18 5.4	6 1.8
年齢別								
55～59歳	310 100.0	230 74.2	63 20.3	46 14.8	25 8.1	15 4.8	14 4.5	8 2.6
60～64歳	297 100.0	196 66.0	74 24.9	49 16.5	33 11.1	32 10.8	20 6.7	6 2.0

上段：実数
下段：%

③近所の人と交流をしない理由（問 20－1）

問 20－1 近所の人とほとんど顔をあわさない・ほとんどつきあいはないのはなぜですか。（○は1つ）

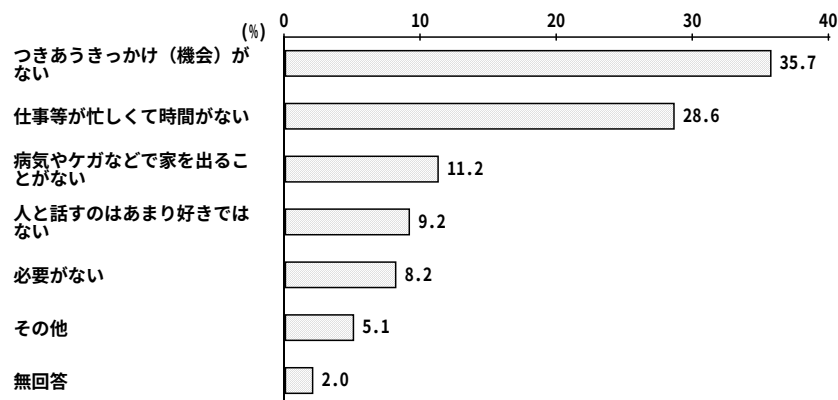
近所の人とほとんど顔をあわさない、ほとんどつきあいがない理由は、「つきあうきっかけがない」（35.7%）と「仕事等が忙しくて時間がない」（28.6%）が主なものである。

＜男女別の傾向＞

男女とも「つきあうきっかけがない」の回答割合が高いが、男性は「仕事等が忙しくて時間がない」も 30.9%で高い。

＜年齢別の傾向＞

回答割合が最も高い項目は、55～59 歳が「仕事等が忙しくて時間がない」の 39.1%、60～64 歳が「つきあうきっかけがない」の 34.7%である。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	つきあうきっかけ（機会）がない	仕事等が忙しくて時間がない	病気やケガなどで家を出ることがない	人と話すのはあまり好きではない	必要がない	その他	無回答
全体	98 100.0	35 35.7	28 28.6	11 11.2	9 9.2	8 8.2	5 5.1	2 2.0
男女別								
男性	55 100.0	17 30.9	17 30.9	5 9.1	7 12.7	6 10.9	2 3.6	1 1.8
女性	42 100.0	17 40.5	11 26.2	6 14.3	2 4.8	2 4.8	3 7.1	1 2.4
年齢別								
55～59歳	46 100.0	16 34.8	18 39.1	4 8.7	5 10.9	1 2.2	1 2.2	1 2.2
60～64歳	49 100.0	17 34.7	10 20.4	6 12.2	4 8.2	7 14.3	4 8.2	1 2.0

上段：実数
下段：%

④地域活動と関心のある活動のどちらを重視するか（問 21）

問 21 あなた（あて名のご本人）は、今後、地域での活動と、自分の関心のある活動のどちらを重視して取り組みたいと考えますか。（○は1つ）

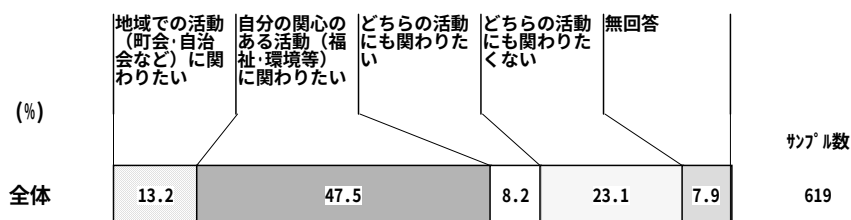
地域の活動と自分の関心のある活動のどちらを重視するかをみると、「自分の関心のある活動に関わりたい」が 47.5%で、「地域での活動に関わりたい」（13.2%）を大きく上回った。一方、「どちらの活動にも関わりたくない」が 23.1%みられる。

＜男女別の傾向＞

男性では「どちらの活動にも関わりたくない」が 28.0%と高くなっている。

＜年齢別の傾向＞

60～64 歳では「地域での活動に関わりたい」が 55～59 歳よりもやや高い。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	地域での活 動(町会・自 治会など) に関わりた い	自分の関心 のある活動 (福祉・環境 など)に関 わりたい	どちらの活 動にも関わ りたい	どちらの活 動にも関わ りたくない	無回答
全体	619 100.0	82 13.2	294 47.5	51 8.2	143 23.1	49 7.9
男	275 100.0	36 13.1	125 45.5	24 8.7	77 28.0	13 4.7
女	336 100.0	44 13.1	167 49.7	25 7.4	66 19.6	34 10.1
年	310 100.0	33 10.6	154 49.7	27 8.7	77 24.8	19 6.1
齢	297 100.0	45 15.2	138 46.5	23 7.7	65 21.9	26 8.8
別						

上段：実数
下段：%

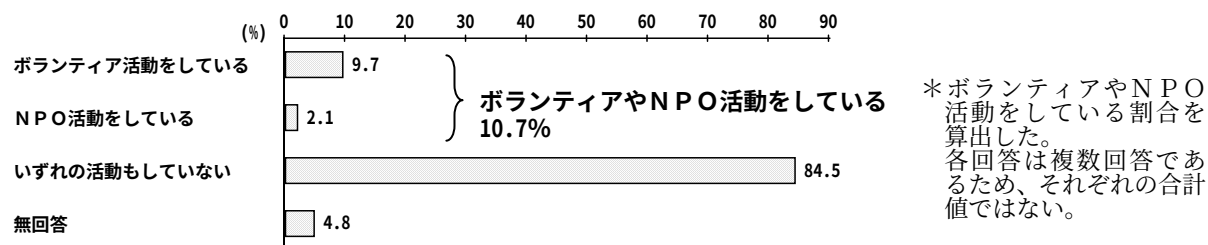
⑤ ボランティア・NPO活動の実施状況（問 22、複数回答）

問 22 あなた（あて名のご本人）は、現在、ボランティアやNPO活動を行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

現在「ボランティア活動をしている」が 9.7%、「NPO活動をしている」が 2.1%で、「いずれの活動もしていない」が 84.5%である。

＜男女別・年齢別の傾向＞

全体の傾向と大きな違いはみられない。



＜男女別・年齢別の比較＞

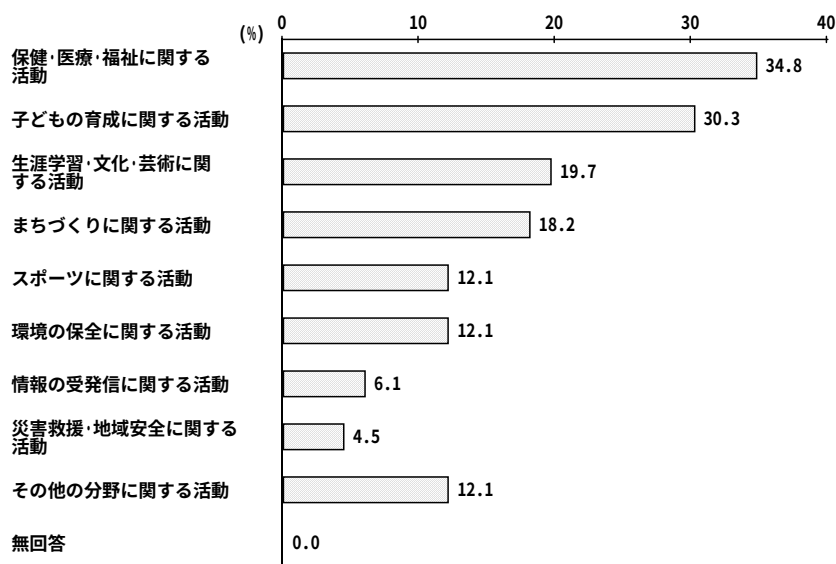
	全体	ボランティア活動をしている	NPO活動をしている	いずれの活動もしていない	無回答
全体	619 100.0	60 9.7	13 2.1	523 84.5	30 4.8
男女別					
男性	275 100.0	22 8.0	6 2.2	237 86.2	13 4.7
女性	336 100.0	38 11.3	7 2.1	280 83.3	15 4.5
年齢別					
55～59歳	310 100.0	29 9.4	5 1.6	266 85.8	11 3.5
60～64歳	297 100.0	31 10.4	8 2.7	248 83.5	16 5.4

上段：実数
下段：%

⑥ボランティア・NPO活動の活動分野（問 22－１、複数回答）

問 22－１ あなた（あて名のご本人）は、どのような分野で活動をしていますか。（あてはまるものすべてに○）

ボランティアやNPO活動をしている人の活動分野は、「保健・医療・福祉に関する活動」（34.8％）と「子どもの育成に関する活動」（30.3％）が主なものである。



<男女別・年齢別の比較>

	全体	保健・医療・福祉に関する活動	子どもの育成に関する活動	生涯学習・文化・芸術に関する活動	まちづくりに関する活動	スポーツに関する活動	環境の保全に関する活動	情報の受発信に関する活動	災害救援・地域安全に関する活動	その他の分野に関する活動	無回答
全体	66 100.0	23 34.8	20 30.3	13 19.7	12 18.2	8 12.1	8 12.1	4 6.1	3 4.5	8 12.1	0 0.0
男女別											
男性	25 100.0	4 16.0	9 36.0	4 16.0	10 40.0	4 16.0	4 16.0	3 12.0	3 12.0	3 12.0	0 0.0
女性	41 100.0	19 46.3	11 26.8	9 22.0	2 4.9	4 9.8	4 9.8	1 2.4	0 0.0	5 12.2	0 0.0
年齢別											
55～59歳	33 100.0	11 33.3	9 27.3	6 18.2	3 9.1	4 12.1	3 9.1	3 9.1	0 0.0	4 12.1	0 0.0
60～64歳	33 100.0	12 36.4	11 33.3	7 21.2	9 27.3	4 12.1	5 15.2	1 3.0	3 9.1	4 12.1	0 0.0

上段：実数
下段：%

*男女別、年齢別データはサンプル数が少ないため参考値として掲載した。

⑦ ボランティア・NPO活動に取り組むためのきっかけ（問 22－2、複数回答）

問 22－2 あなた（あて名のご本人）は、どのようなきっかけがあれば、ボランティア・NPO活動に取り組むと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

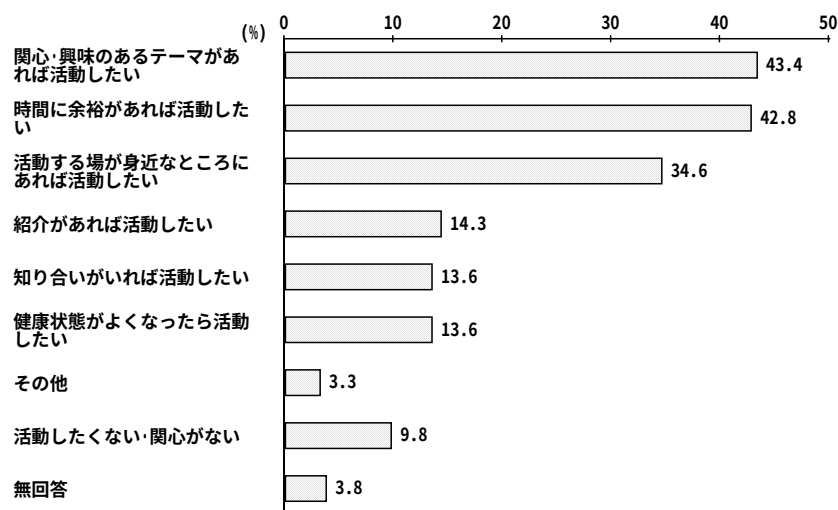
ボランティアやNPO活動をしていない人に活動に取り組むためのきっかけをたずねたところ、「関心・興味のあるテーマがあれば活動したい」（43.4%）、「時間に余裕があれば活動したい」（42.8%）、「活動する場が身近なところがあれば活動したい」（34.6%）が上位3項目となった。

＜男女別の傾向＞

男女とも「関心・興味のあるテーマがあれば活動したい」と「時間に余裕があれば活動したい」の割合が高く、また、女性では「活動する場が身近なところがあれば活動したい」も41.4%で高い。

＜年齢別の傾向＞

55～59歳は「時間に余裕があれば参加したい」が46.2%、60～64歳は「関心・興味のあるテーマがあれば活動したい」が45.2%で最も高い。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	関心・興味のあるテーマがあれば活動したい	時間に余裕があれば活動したい	活動する場が身近なところがあれば活動したい	紹介があれば活動したい	知り合いがいれば活動したい	健康状態がよくなったら活動したい	その他	活動したくない・関心がない	無回答
全体	523 100.0	227 43.4	224 42.8	181 34.6	75 14.3	71 13.6	71 13.6	17 3.3	51 9.8	20 3.8
男女別										
男性	237 100.0	109 46.0	106 44.7	62 26.2	33 13.9	30 12.7	28 11.8	6 2.5	33 13.9	7 3.0
女性	280 100.0	113 40.4	116 41.4	116 41.4	41 14.6	40 14.3	41 14.6	11 3.9	18 6.4	13 4.6
年齢別										
55～59歳	266 100.0	109 41.0	123 46.2	86 32.3	32 12.0	36 13.5	33 12.4	9 3.4	31 11.7	12 4.5
60～64歳	248 100.0	112 45.2	98 39.5	92 37.1	42 16.9	34 13.7	36 14.5	8 3.2	19 7.7	8 3.2

上段：実数
下段：%

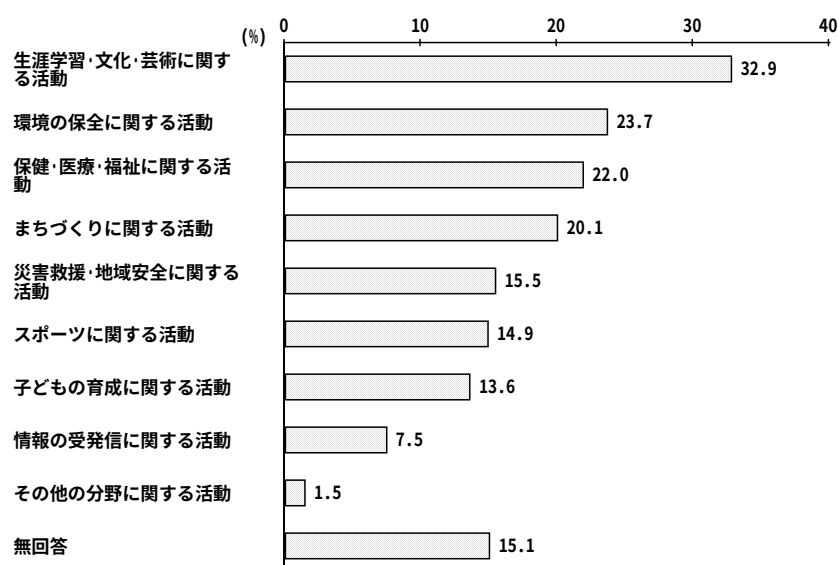
⑧取り組みたいボランティア・NPO活動の活動分野（問 22－3、複数回答）

問 22－3 あなた（あて名のご本人）は、今後、ボランティア・NPO活動を行うとしたら、どのような分野で活動してみたいですか。（あてはまるものすべてに○）

ボランティアやNPO活動をしていない人に活動してみたい分野をたずねたところ、「生涯学習・文化・芸術に関する活動」（32.9%）、「環境の保全に関する活動」（23.7%）、「保健・医療・福祉に関する活動」（22.0%）、「まちづくりに関する活動」（20.1%）の回答が上位を占めた。

＜男女別の傾向＞

男性は「環境の保全に関する活動」（28.3%）、「生涯学習・文化・芸術に関する活動」（27.0%）、「まちづくりに関する活動」（25.3%）、「スポーツに関する活動」（23.2%）の割合が高く、女性は「生涯学習・文化・芸術に関する活動」（37.5%）、「保健・医療・福祉に関する活動」（28.6%）の割合が高い。



＜男女別・年齢別の比較＞

		全体	生涯学習・文化・芸術に関する活動	環境の保全に関する活動	保健・医療・福祉に関する活動	まちづくりに関する活動	災害救援・地域安全に関する活動	スポーツに関する活動	子どもの育成に関する活動	情報の受発信に関する活動	その他の分野に関する活動	無回答
全体		523 100.0	172 32.9	124 23.7	115 22.0	105 20.1	81 15.5	78 14.9	71 13.6	39 7.5	8 1.5	79 15.1
男女別	男性	237 100.0	64 27.0	67 28.3	35 14.8	60 25.3	47 19.8	55 23.2	18 7.6	23 9.7	5 2.1	37 15.6
	女性	280 100.0	105 37.5	54 19.3	80 28.6	43 15.4	34 12.1	22 7.9	51 18.2	16 5.7	3 1.1	41 14.6
年齢別	55～59歳	266 100.0	88 33.1	62 23.3	58 21.8	50 18.8	37 13.9	41 15.4	40 15.0	19 7.1	1 0.4	44 16.5
	60～64歳	248 100.0	82 33.1	60 24.2	57 23.0	52 21.0	44 17.7	36 14.5	26 10.5	20 8.1	7 2.8	34 13.7

上段：実数
下段：%

⑨生きがい（問 23、複数回答）

問 23 あなた（あて名のご本人）にとっての生きがいについてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

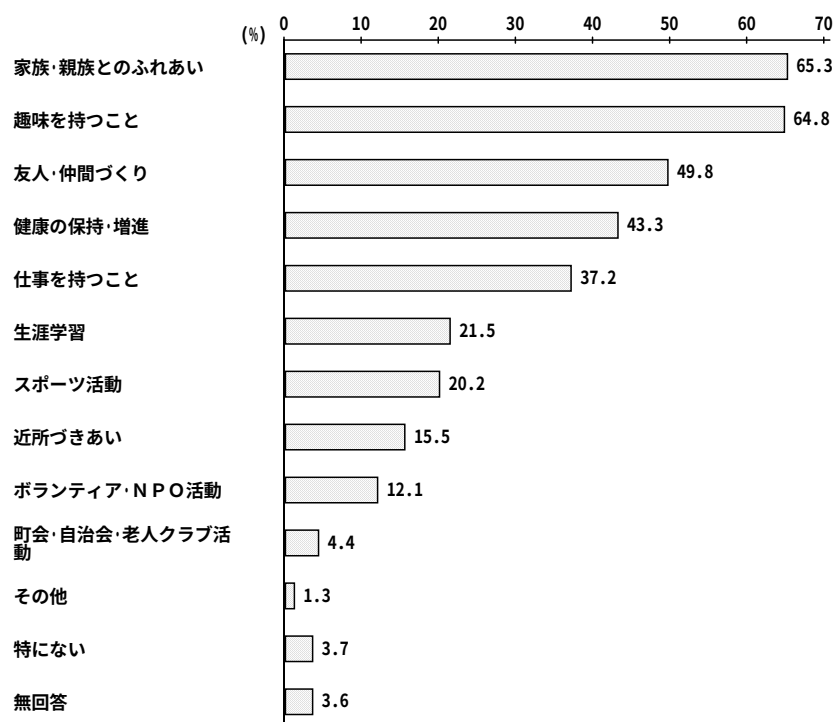
生きがいは「家族・親族とのふれあい」（65.3%）と「趣味を持つこと」（64.8%）が高い割合であげられた。次いで「友人・仲間づくり」（49.8%）、「健康の保持・増進」（43.3%）、「仕事を持つこと」（37.2%）と順となっている。

＜男女別の傾向＞

女性は「友人・仲間づくり」（55.4%）、男性は「仕事を持つこと」（44.7%）が高い。

＜年齢別の傾向＞

60～64 歳では「家族・親族とのふれあい」「趣味を持つこと」とあわせて、「友人・仲間づくり」（52.9%）、「健康の保持・増進」（47.1%）の割合も高くなっている。



＜男女別・年齢別の比較＞

		全体	家族・親族とのふれあい	趣味を持つこと	友人・仲間づくり	健康の保持・増進	仕事を持つこと	生涯学習	スポーツ活動	近所づきあい	NPO活動	ボランティア・老人クラブ活動	町会・自治会、その他	特にない	無回答
全体		619 100.0	404 65.3	401 64.8	308 49.8	268 43.3	230 37.2	133 21.5	125 20.2	96 15.5	75 12.1	27 4.4	8 1.3	23 3.7	22 3.6
男女別	男性	275 100.0	178 64.7	172 62.5	118 42.9	112 40.7	123 44.7	55 20.0	71 25.8	32 11.6	32 11.6	14 5.1	6 2.2	9 3.3	22 3.6
	女性	336 100.0	222 66.1	225 67.0	186 55.4	153 45.5	105 31.3	77 22.9	53 15.8	63 18.8	43 12.8	12 3.6	2 0.6	14 4.2	11 3.3
年齢別	55～59歳	310 100.0	199 64.2	200 64.5	146 47.1	124 40.0	121 39.0	63 20.3	70 22.6	34 11.0	30 9.7	6 1.9	3 1.0	13 4.2	8 2.6
	60～64歳	297 100.0	198 66.7	195 65.7	157 52.9	140 47.1	105 35.4	68 22.9	54 18.2	60 20.2	44 14.8	18 6.1	5 1.7	10 3.4	10 3.4

上段：実数
下段：%

(6) 高齢者の介護経験について

① 高齢者の介護経験（問 24）

問 24 あなた（あて名のご本人）は、高齢者の介護をした経験はありますか。（○は1つ）

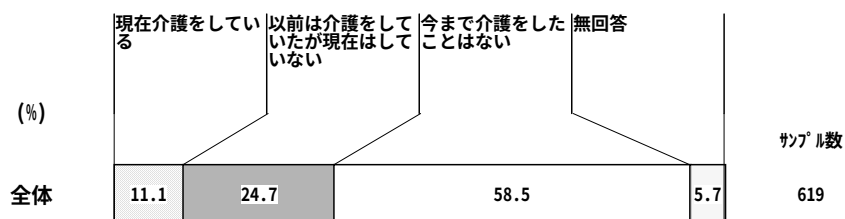
高齢者を「現在介護をしている」（11.1%）、「以前は介護をしていたが現在はしていない」（24.7%）をあわせた介護経験者は 35.8%である。

＜男女別の傾向＞

前述の介護経験者の割合は、男性（21.2%）と女性（48.5%）とでは大きな差がみられる。

＜年齢別の傾向＞

全体の傾向として大きな違いはみられない。



＜男女別・年齢別の比較＞

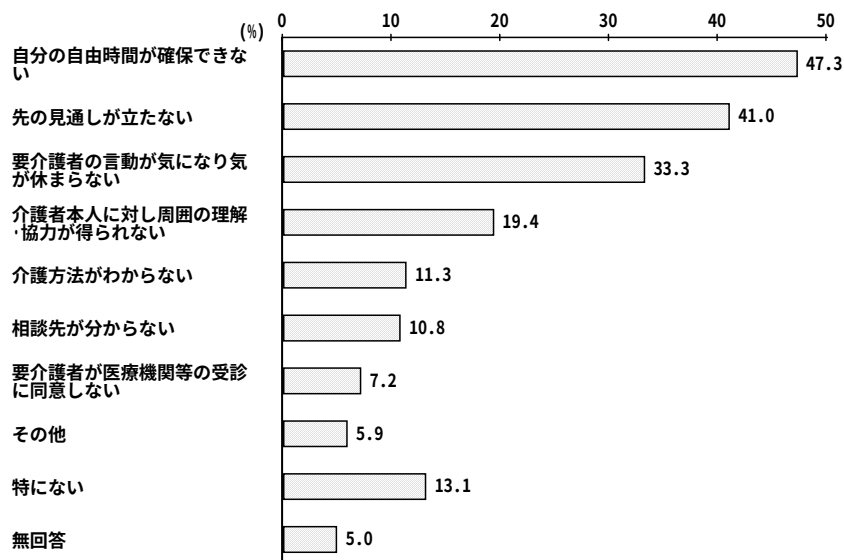
	全体	現在介護をしている	以前は介護をしていたが現在はしていない	今まで介護をしたことはない	無回答
全体	619 100.0	69 11.1	153 24.7	362 58.5	35 5.7
男女別					
男性	275 100.0	17 6.2	41 14.9	199 72.4	18 6.5
女性	336 100.0	52 15.5	111 33.0	157 46.7	16 4.8
年齢別					
55～59歳	310 100.0	39 12.6	79 25.5	181 58.4	11 3.5
60～64歳	297 100.0	29 9.8	72 24.2	174 58.6	22 7.4

上段：実数
下段：%

②高齢者介護で困ったこと（問 24－1、複数回答）

問 24－1 介護をしていてどのようなことが困りましたか。（あてはまるものすべてに○）

介護経験者が高齢者介護で困ったことは、「自分の自由時間が確保できない」（47.3％）が最も高く、次いで「先の見通しが立たない」（41.0％）、「要介護者の言動が気になり休まらない」（33.3％）が上位となった。



<男女別の比較>

	全体	自分の自由時間が確保できない	先の見通しが立たない	要介護者の言動が気になり休まらない	介護者本人に対し周囲の理解・協力が得られない	介護方法がわからない	相談先が分からない	要介護者が医療機関等の受診に同意しない	その他	特にない	無回答
全体	222 100.0	105 47.3	91 41.0	74 33.3	43 19.4	25 11.3	24 10.8	16 7.2	13 5.9	29 13.1	11 5.0
男	58 100.0	20 34.5	22 37.9	16 27.6	9 15.5	7 12.1	4 6.9	4 6.9	2 3.4	10 17.2	3 5.2
女	163 100.0	84 51.5	68 41.7	57 35.0	33 20.2	17 10.4	20 12.3	12 7.4	11 6.7	19 11.7	8 4.9

上段：実数
下段：%

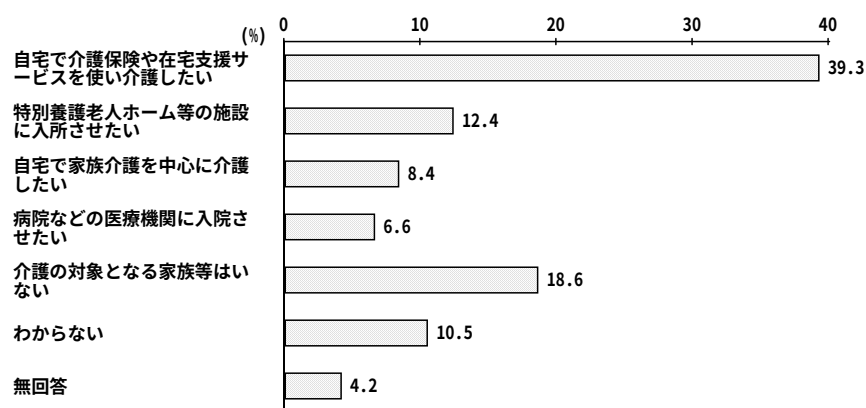
③家族等の介護が必要にあった場合の介護（問 25）

問 25 家族等を介護する際に、あなた（あて名のご本人）はどのようにしたいと思いますか。（○は1つ）

家族等を介護する際には「自宅で介護保険サービスや在宅支援サービス等を利用して介護したい」が 39.3%で最も高く、次いで「特別養護老人ホーム等の施設に入所させたい」が 12.4%となっている。施設等への入所（入院）意向は 19.0%である。

＜年齢別の傾向＞

55～59歳のほうが「自宅で介護保険サービスや在宅支援サービス等を利用して介護したい」の割合が 42.9%で高い。



＜年齢別の比較＞

	全体	自宅で介護保険や在宅支援サービスを使い介護したい	特別養護老人ホーム等の施設に入所させたい	自宅で家族介護を中心に介護したい	病院などの医療機関に入院させたい	介護の対象となる家族等はいない	わからない	無回答
全体	619 100.0	243 39.3	77 12.4	52 8.4	41 6.6	115 18.6	65 10.5	26 4.2
年齢別								
55～59歳	310 100.0	133 42.9	43 13.9	19 6.1	14 4.5	57 18.4	36 11.6	8 2.6
60～64歳	297 100.0	109 36.7	32 10.8	32 10.8	25 8.4	57 19.2	27 9.1	15 5.1

上段：実数
下段：%

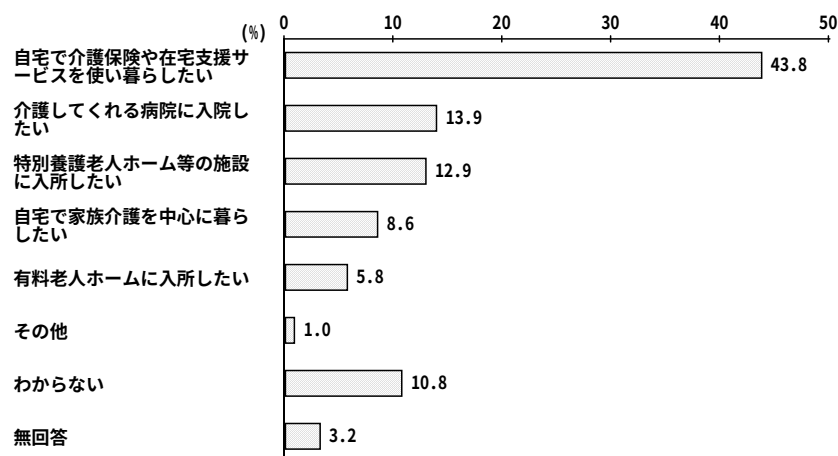
④自分の希望する介護（問 26）

問 26 あなた（あて名のご本人）が日常生活をおくる上で介護が必要になった場合、どのようにしたいと思いますか。現在、介護を受けている方も、今後の希望をお答えください。（○は1つ）

自分が要介護状態になった場合に希望する介護は、「自宅で介護保険サービスや在宅支援サービス等を利用して暮らしたい」が43.8%で最も高く、次いで「介護してくれる病院に入院したい」が13.9%、「特別養護老人ホーム等の施設に入所したい」が12.9%となっている。施設等への入所（入院）意向は32.6%である。

＜年齢別の傾向＞

55～59歳のほうが「特別養護老人ホーム等の施設に入所したい」割合が15.5%で高い。



＜年齢別の比較＞

	全体	自宅で介護保険や在宅支援サービスを使い暮らしたい	介護してくれる病院に入院したい	特別養護老人ホーム等の施設に入所したい	自宅で家族介護を中心に暮らしたい	有料老人ホームに入所したい	その他	わからない	無回答
全体	619 100.0	271 43.8	86 13.9	80 12.9	53 8.6	36 5.8	6 1.0	67 10.8	20 3.2
年齢別									
55～59歳	310 100.0	134 43.2	40 12.9	48 15.5	24 7.7	21 6.8	1 0.3	35 11.3	7 2.3
60～64歳	297 100.0	136 45.8	42 14.1	31 10.4	28 9.4	15 5.1	5 1.7	29 9.8	11 3.7

上段：実数
下段：%

(7) 介護保険制度について

①介護保険制度に対する認知（問 27、複数回答）

問 27 あなた（あて名のご本人）は、介護保険制度についてどの程度ご存知ですか。（知っていることすべてに○）

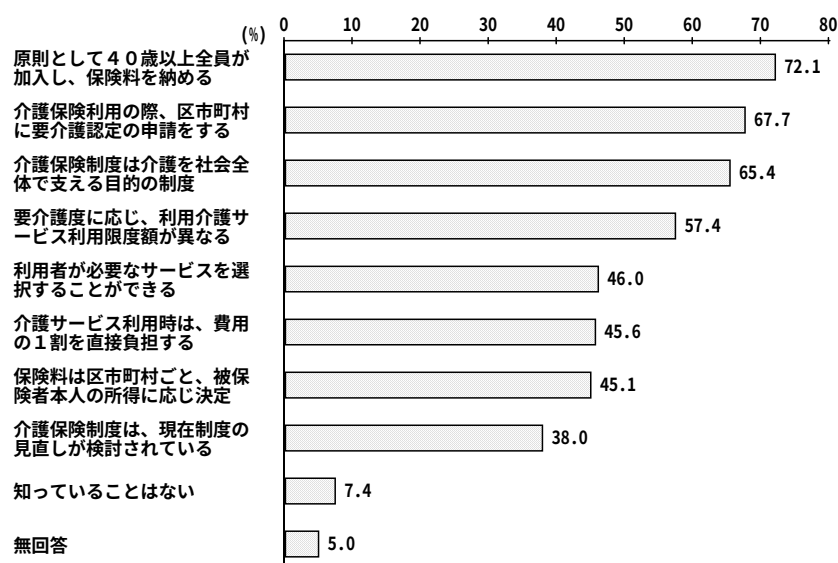
介護保険制度に対する認知状況をみると、「原則として40歳以上全員が加入し保険料を納める」（72.1%）、「介護保険を利用するときにはまず区市町村に要介護認定の申請をする」（67.7%）、「介護保険制度は介護を社会全体で支えることをめざした制度である」（65.4%）、「要介護度に応じて利用できる介護サービスの利用限度額が異なる」（57.4%）については50%を超える人が認知している。一方、「介護保険制度は、現在制度の見直しが検討されている」と回答した割合は4割弱（38.0%）にとどまった。

＜男女別の傾向＞

女性のほうが認知度が高い。

＜年齢別の傾向＞

全体の傾向と大きな違いはみられない。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	加入し、保険料を納める	原則として40歳以上全員が	介護保険利用の際、区市町村に要介護認定の申請をする	介護保険制度は介護を社会全体で支える目的の制度	介護保険制度は、現在制度の見直しが検討されている	利用者が必要なサービスを選択することができる	要介護度に応じ、利用介護サービス利用限度額が異なる	介護サービス利用時は、費用の1割を直接負担する	保険料は区市町村ごと、被保険者本人の所得に応じ決定	介護保険制度は、現在制度の見直しが検討されている	知っていることはない	無回答
全体	619 100.0	446 72.1	419 67.7	405 65.4	355 57.4	285 46.0	282 45.6	279 45.1	235 38.0	46 7.4	31 5.0		
男女別													
男性	275 100.0	182 66.2	156 56.7	175 63.6	131 47.6	95 34.5	95 34.5	116 42.2	101 36.7	31 11.3	12 4.4		
女性	336 100.0	259 77.1	257 76.5	225 67.0	220 65.5	186 55.4	184 54.8	160 47.6	132 39.3	14 4.2	18 5.4		
年齢別													
55～59歳	310 100.0	226 72.9	210 67.7	201 64.8	176 56.8	144 46.5	134 43.2	140 45.2	114 36.8	23 7.4	12 3.9		
60～64歳	297 100.0	215 72.4	202 68.0	198 66.7	174 58.6	137 46.1	146 49.2	137 46.1	119 40.1	22 7.4	17 5.7		

上段：実数
下段：%

②介護保険料に対する意見（問 28）

問28 介護保険制度は、原則として40歳以上の方全員が加入し、必要な保険料を負担していただいています。あなた（あて名のご本人）は、このことについてどう思いますか。（○は1つ）

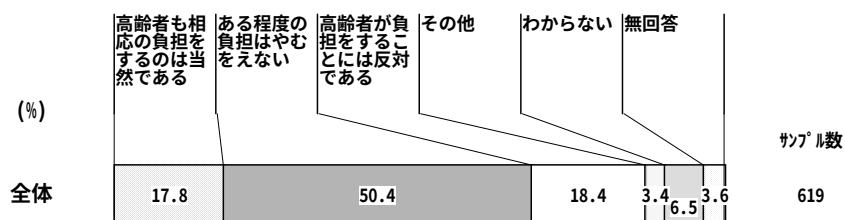
介護保険料を原則40歳以上の方全員が加入し、負担していることについては、「ある程度の負担はやむをえない」と考える割合が50.4%で半数を占める。「高齢者が負担をすることには反対である」は18.4%、「高齢者も相応の負担をするのは当然である」は17.8%である。

＜男女別の傾向＞

「高齢者が負担をすることには反対である」は男性のほうが割合が高い。

＜年齢別の傾向＞

全体の傾向と大きな違いはみられない。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	高齢者も相応の負担をするのは当然である	ある程度の負担はやむをえない	高齢者が負担をすることには反対である	その他	わからない	無回答
全体	619 100.0	110 17.8	312 50.4	114 18.4	21 3.4	40 6.5	22 3.6
男女別							
男性	275 100.0	50 18.2	126 45.8	61 22.2	12 4.4	15 5.5	11 4.0
女性	336 100.0	56 16.7	184 54.8	53 15.8	9 2.7	24 7.1	10 3.0
年齢別							
55～59歳	310 100.0	50 16.1	157 50.6	60 19.4	13 4.2	23 7.4	7 2.3
60～64歳	297 100.0	57 19.2	151 50.8	53 17.8	8 2.7	15 5.1	13 4.4

上段：実数
下段：%

(8) 日常生活について

①不安や悩み事（問 29、複数回答）

問 29 現在のあなた（あて名のご本人）は、次のような不安や悩みごとがありますか。（あてはまるものすべてに○）

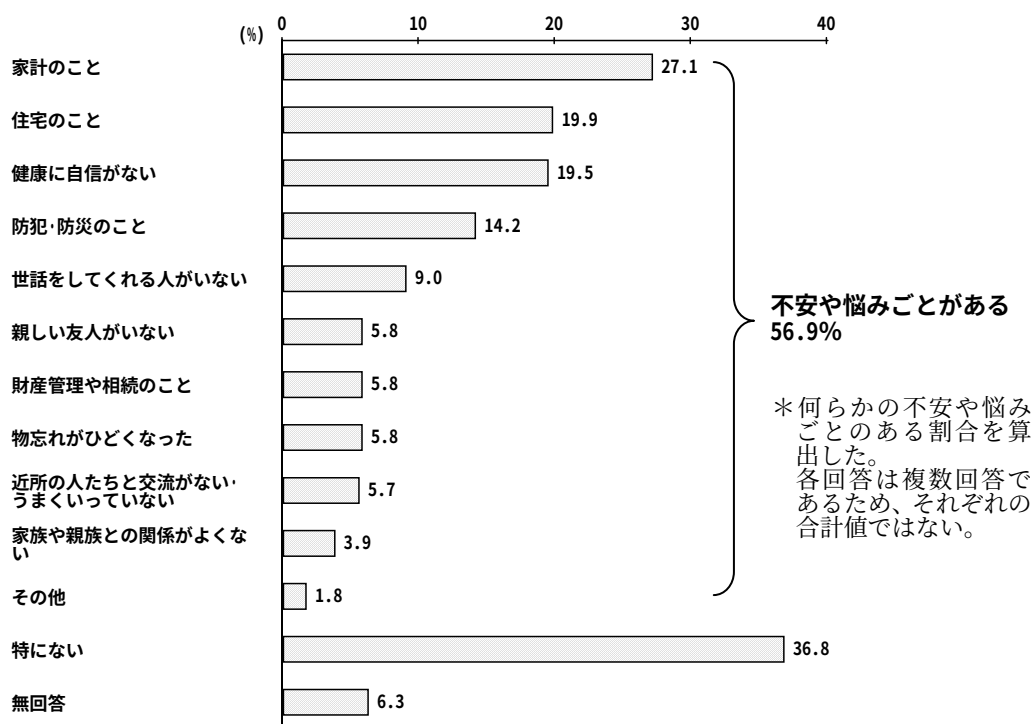
不安や悩み事がある人は 56.9%で、具体的な項目として「家計のこと」（27.1%）、「住宅のこと」（19.9%）、「健康に自信がない」（19.5%）、「防犯・防災のこと」（14.2%）が主なものである。

＜男女別の傾向＞

男女とも「家計のこと」と「住宅のこと」をあげる割合が高く、女性は「健康に自信がない」（21.7%）も割合が高い。

＜年齢別の傾向＞

55～59 歳では「家計のこと」（31.3%）が 60～64 歳と比較して高い。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	家計のこと	住宅のこと	健康に自信がない	防犯・防災のこと	世話をしてくれる人がいない	親しい友人がいない	財産管理や相続のこと	物忘れがひどくなった	近所の人たちと交流がない・うまくいっていない	家族や親族との関係がよい	その他	特になし	無回答
全体	619 100.0	168 27.1	123 19.9	121 19.5	88 14.2	56 9.0	36 5.8	36 5.8	36 5.8	35 5.7	24 3.9	11 1.8	228 36.8	39 6.3
男女別														
男性	275 100.0	70 25.5	54 19.6	45 16.4	27 9.8	25 9.1	18 6.5	14 5.1	14 5.1	15 5.5	11 4.0	4 1.5	113 41.1	13 4.7
女性	336 100.0	96 28.6	66 19.6	73 21.7	59 17.6	29 8.6	17 5.1	22 6.5	21 6.3	18 5.4	13 3.9	7 2.1	113 33.6	25 7.4
年齢別														
55～59歳	310 100.0	97 31.3	65 21.0	54 17.4	41 13.2	28 9.0	20 6.5	21 6.8	15 4.8	17 5.5	9 2.9	7 2.3	117 37.7	21 6.8
60～64歳	297 100.0	67 22.6	54 18.2	62 20.9	44 14.8	25 8.4	15 5.1	15 5.1	19 6.4	16 5.4	15 5.1	3 1.0	109 36.7	17 5.7

上段：実数
下段：%

②不安や悩み事の相談先（問 29－１、複数回答）

問 29－１ あなた（あて名のご本人）は、不安や悩みごとは誰に相談していますか。（あてはまるものすべてに○）

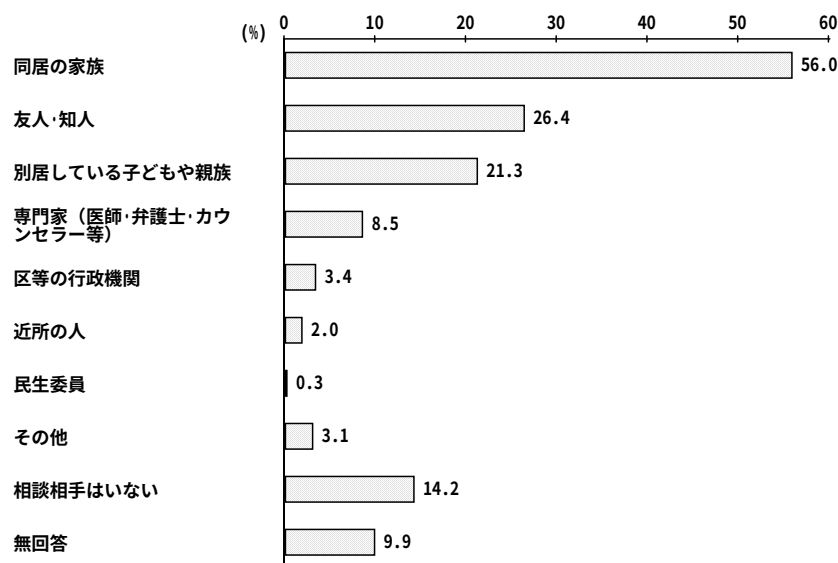
不安や悩み事がある人の相談先は、「同居の家族」が56.0%で最も高く、次いで「友人・知人」(26.4%)、「別居している子どもや親族」(21.3%)である。一方、「相談相手はいない」と回答した割合は14.2%である。

＜男女別の傾向＞

男女とも「同居の家族」が最も高い。女性は「友人・知人」(33.8%)、「別居している子どもや親族」(27.8%)の割合が、男性は「相談相手はいない」の割合が22.8%と高くなっている。

＜年齢別の傾向＞

「友人・知人」に相談する割合が、55～59歳では30.8%であるのに対し、60～64歳では22.2%となっている。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	同居の家族	友人・知人	別居している子どもや親族	専門家（医師・弁護士・カウンセラー等）	区等の行政機関	近所の人	民生委員	その他	相談相手はいない	無回答
全体	352 100.0	197 56.0	93 26.4	75 21.3	30 8.5	12 3.4	7 2.0	1 0.3	11 3.1	50 14.2	35 9.9
男女別	男性	149 100.0	76 51.0	24 16.1	18 12.1	12 8.1	4 2.7	1 0.7	3 2.0	34 22.8	18 12.1
	女性	198 100.0	118 59.6	67 33.8	55 27.8	15 7.6	8 4.0	6 3.0	8 4.0	16 8.1	17 8.6
年齢別	55～59歳	172 100.0	96 55.8	53 30.8	38 22.1	16 9.3	5 2.9	2 1.2	4 2.3	25 14.5	14 8.1
	60～64歳	171 100.0	97 56.7	38 22.2	33 19.3	11 6.4	7 4.1	5 2.9	7 4.1	24 14.0	20 11.7

上段：実数
下段：%

③将来に対する不安（問 30、複数回答）

問 30 あなた（あて名のご本人）は、将来に対してどのようなことに不安がありますか。（あてはまるものすべてに○）

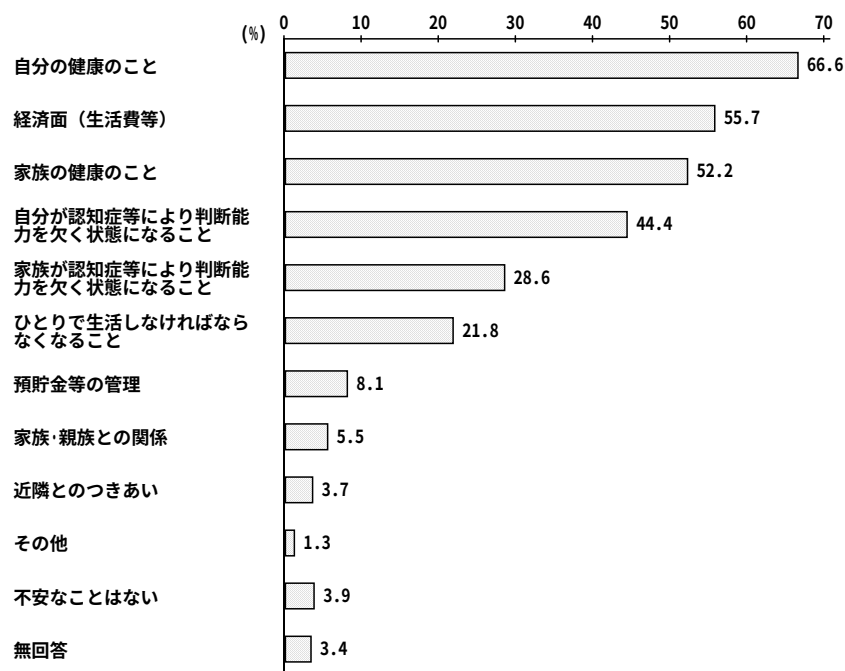
将来に対する不安は、「自分の健康のこと」が66.6%で最も高い。以下「経済面」（55.7%）、「家族の健康のこと」（52.2%）、「自分が認知症（痴ほう）等により判断能力を欠く状態になること」（44.4%）の順となっている。

＜男女別の傾向＞

女性のほうが「家族の健康のこと」（55.1%）、「自分が認知症等により判断能力を欠く状態になること」（52.7%）という健康面についての不安が高くなっている。

＜年齢別の傾向＞

55～59歳では「経済面」（60.6%）が、60～64歳では「自分が認知症等により判断能力を欠く状態になること」（48.5%）が高くなっている。



＜男女別・年齢別の比較＞

	全体	自分の健康のこと	経済面（生活費等）	家族の健康のこと	自分が認知症等により判断能力を欠く状態になること	家族が認知症等により判断能力を欠く状態になること	ひとりで生活しなければならなくなる	預貯金等の管理	家族・親族との関係	近隣とのつきあい	その他	不安なことはない	無回答
全体	619 100.0	412 66.6	345 55.7	323 52.2	275 44.4	177 28.6	135 21.8	50 8.1	34 5.5	23 3.7	8 1.3	24 3.9	21 3.4
男女別													
男性	275 100.0	170 61.8	163 59.3	134 48.7	93 33.8	58 21.1	55 20.0	16 5.8	15 5.5	12 4.4	3 1.1	13 4.7	9 3.3
女性	336 100.0	236 70.2	179 53.3	185 55.1	177 52.7	116 34.5	78 23.2	34 10.1	18 5.4	11 3.3	5 1.5	11 3.3	11 3.3
年齢別													
55～59歳	310 100.0	199 64.2	188 60.6	158 51.0	124 40.0	82 26.5	64 20.6	25 8.1	13 4.2	10 3.2	2 0.6	17 5.5	11 3.5
60～64歳	297 100.0	206 69.4	153 51.5	159 53.5	144 48.5	92 31.0	68 22.9	25 8.4	21 7.1	13 4.4	6 2.0	7 2.4	8 2.7

上段：実数
下段：%

（９）保健福祉施策について

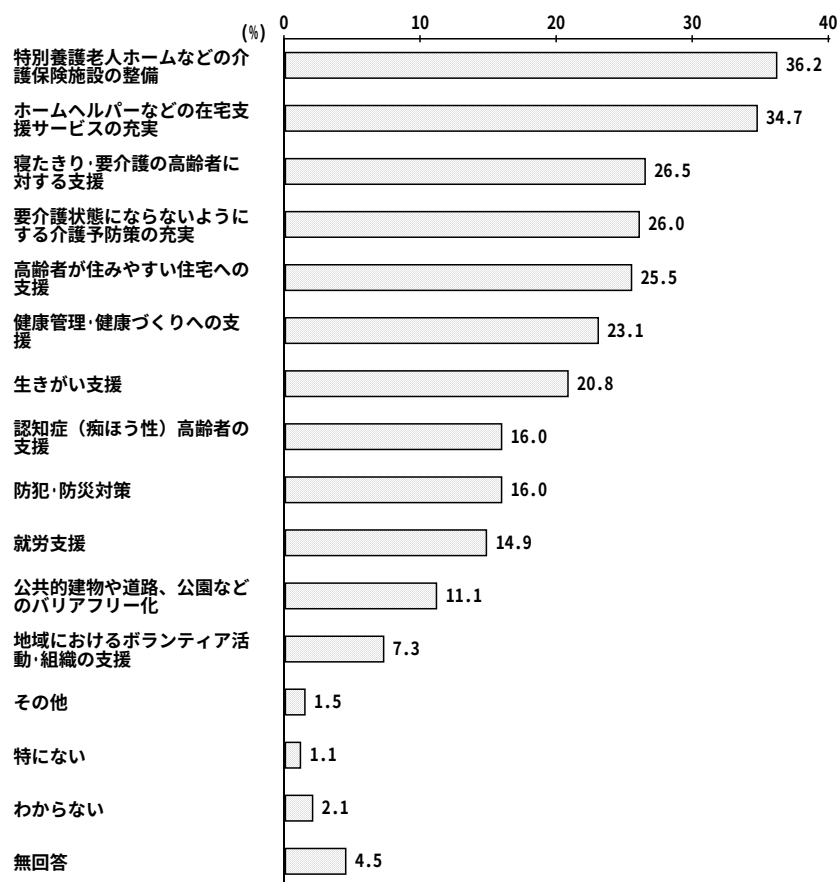
①力を入れるべき高齢者施策（問 31、３つまで回答）

問 31 あなた（あて名のご本人）は、高齢者のための施策として、今後どのようなことに力を入れてほしいと思いますか。最も力を入れてほしいものを３つまで選んでください。（○は３つまで）

今後力を入れるべき高齢者施策としては、「特別養護老人ホームなどの介護保険施設の整備」（36.2%）、「ホームヘルパー等の在宅支援サービスの充実」（34.7%）が高くなっている。次いで20%以上の項目は、「寝たきり・要介護の高齢者に対する支援」（26.5%）、「要介護状態にならないようにする介護予防の充実」（26.0%）、「高齢者が住みやすい住宅への支援」（25.5%）、「健康管理・健康づくりへの支援」（23.1%）、「生きがい支援」（20.8%）である。

《年齢別の傾向》

60～64歳で「ホームヘルパー等の在宅支援サービスの充実」が37.7%で最も高い。



<年齢別の比較>

		全体	特別養護老人ホームなどの介護保険施設の整備	ホームヘルパーなどの在宅支援サービスの充実	寝たきり・要介護の高齢者に対する支援	実用介護状態にならないよう介護予防の充実	高齢者が住みやすい住宅への支援	健康管理・健康づくりへの支援	生きがい支援	認知症（痴呆性）高齢者の支援	防犯・防災対策	就労支援	公共的建物や道路、公園などのバリアフリー化	地域におけるボランティア活動・組織の支援	その他	特にない	わからない	無回答
全体		619 100.0	224 36.2	215 34.7	164 26.5	161 26.0	158 25.5	143 23.1	129 20.8	99 16.0	99 16.0	92 14.9	69 11.1	45 7.3	9 1.5	7 1.1	13 2.1	28 4.5
年齢別	55～59歳	310 100.0	112 36.1	99 31.9	88 28.4	70 22.6	78 25.2	69 22.3	57 18.4	54 17.4	60 19.4	57 18.4	35 11.3	22 7.1	4 1.3	4 1.3	7 2.3	14 4.5
	60～64歳	297 100.0	106 35.7	112 37.7	73 24.6	87 29.3	75 25.3	73 24.6	71 23.9	40 13.5	39 13.1	31 10.4	34 11.4	21 7.1	5 1.7	3 1.0	6 2.0	12 4.0
		65～69歳	297 100.0	106 35.7	112 37.7	73 24.6	87 29.3	75 25.3	73 24.6	71 23.9	40 13.5	39 13.1	31 10.4	34 11.4	21 7.1	5 1.7	3 1.0	6 2.0

上段：実数
下段：%

②高齢者保健福祉施策への意見・要望（問 32、自由回答）

問 32 高齢者保健福祉施策について、ご意見やご要望がございましたら、下欄にご記入ください。

項目別の主な意見は、次のとおりである。（回答者 129 人）

住まい	◇ 高齢者向けの住居を公的な機関（国、都、区）が確保して欲しい。 ◇ 高齢者の家賃を安くして欲しい。 ◇ 出来るだけ自分で自分の家で生活していける支援と施策。 ◇ 年金で維持できるよう税金面の助成が欲しい。 ◇ バリアフリーが低価格でできるとよい。 ◇ エスカレーター設置のための補助、施行のための組織的なサポートシステムを。 ◇ 家のリバース・モゲージ制度（それをシルバーハウスとしてレンタル）などをお願いする。 ◇ ひとり暮らしが多くなるので、住みやすい住宅への支援、防犯、防災対策を充実して欲しい。
健康・医療	◇ 体育館や学校等を利用して身近な場所で、老化防止となるよう予防に力を入れて欲しい。 ◇ 筋力向上トレーニングなど介護予防の指導をして欲しい。 ◇ 60 歳代から無料の筋力を高める運動（ストレッチまたはプールでのウォーク）が出来る施設（中高年用）がない。区の施設使用（フラダンス、コーラス、軽い体操等）のいつでも気軽に行ける場所の提供が欲しい。 ◇ 寝たきり、痴ほう性高齢者を増やさないための予防に力を入れる施策が重要と考えている。そのため様々な PR をする。広報で一遍のお知らせでは少ない。町会単位ぐらいの小グループ、講習会（痴ほう予防等）等が必要である。 ◇ 筋力向上トレーニング、健康相談等が近所で出来るよう PR し、情報が全員に伝わるようネットワーク作りに努力して欲しい。 ◇ 現在検討されている「介護予防システム」の早期実現を期待する。さらに、成人健康健診の義務を強化徹底させ、その健診時に一定期間の健康管理のデータ（期間中の生活習慣や筋力向上トレーニング等体力増強を目的としたスポーツ、体操等の記録）を提出させ、アドバイスすることにより、健康を継続させる制度にする。若年時より体力パワーアップを計る。 ◇ 病院が増えればよい。
日常生活	◇ ある年齢以上（特にひとり暮らし）になったら、巡回するなど必要な手続きがあれば区の方でやってもらいたい。 ◇ 地域も高齢者が増えてくると、心を開いて隣近所がお互いに仲良く出来れば何か手助け出来るかと思う。 ◇ 高齢者が健康で安心して家族や地域社会と一緒に生活していけることが大事。 ◇ 老後のお金の管理に不安を感じている。自分自身で出し入れが出来なくなった時に安心してお願い出来る公的機関を確立して欲しい。 ◇ 介護者を外側から手助けするという形の方が、自然でありがたい。要介護者が夫で、介護者が妻の場合、家事を手伝ってくれる人がいたら、夫の介護に専念できる。 ◇ 有料でもよいから夕食等の宅配支援があったら助かる。 ◇ グループホームのようなところをもっと欲しい。 ◇ 障害があっても安心して外出し、楽しく差別なく集える場所やサークルに対しての支援も充実して欲しい。 ◇ 中年から老人用に向く飲食店があると良い（味が薄味、塩分控え目、カロリー少なめ等栄養面を考慮したもの）。 ◇ 高齢者の健康管理メニューのレストランがたくさん出来ると良い。
生きがい・社会参加	◇ 生きがい支援、就労支援、健康管理などへの支援などソフト面の充実。 ◇ 要介護状態にならないように生きがいや健康づくりの支援など介護予防策を充実する。 ◇ 高齢になっても自立できる方向の援助をして欲しい。 ◇ 区内の学校の空き教室、校舎を有効利用し、高齢者向けサークル活動、生きがい活動等に利用してもらう。 ◇ ゆったりとした音楽が流れていたり、コーラスしたり、おしゃべりしたり、仲間同志楽しめる場所があるとよい。

保健福祉サービス	◇ 要介護でない高齢者の家族が留守の時のサービスが欲しい。 ◇ 家の近くに公共的な支援センターを作って欲しい。 ◇ 週 1、2 回入浴サービス（バス送迎）があるとよい。 ◇ 家庭で介護ができなくなった場合、養護老人ホーム入所に必要な経費が経済的に安心できる金額であれば希望が持てる。 ◇ 家族が介護出来ないときには速やかに入所できるような施設があればいい。 ◇ ホーム等のデイサービスやショートステイ等の申込みの際、心臓等の病気のある時は断られた経験があったが、目が離せない事なのでそういう時こそ受けていただきたい。 ◇ 子供が少なくなって空いている学校などの施設を利用するなどして、希望者がいつでも入所できるように公立の施設を増やして欲しい。 ◇ ヘルパーの数がとても少ない。ヘルパーさんの待遇の改善。区民全員がその任につくような組織づくりも必要。 ◇ 安心して入所できる公的施設（老人ホーム）の建設（収入制限のない）。 ◇ 介護にたずさわる方々の質の向上。 ◇ ストレッチャーを備える業者を支援するなどの施策。 ◇ 大きな病院、大きな老人施設ではなく、ひとりひとりに対応（細かく）出来る施設を願いたい。 ◇ ひとり暮らしも多いし、犯罪も増える。緊急でダイレクトにつながる防犯ベルがあったらいい。 ◇ 地方に住む母親（要介護度 5）（独居老人）を母親の自宅で介護している場合、帰省の交通費負担を軽減出来るよう考えて頂きたい。 ◇ 家族による介護は体力、精神的に限界がある。ホームヘルパーを個人的に雇うのは経済的に大変で働き手の誰かが仕事を休んで介護に当たるようになる。これは労働力という面からも社会的な損失なので、介護を支援するシステムをもっと充実させて欲しい。 ◇ 買物も距離によってヘルパーさんが行ってもらえない場所があり困った。 ◇ 夜や深夜の緊急の時、頼むところがなく困った。朝 9 時から夕方 5 時では困る事も多い。
行政全般	◇ 30 歳以下の若者に対して高齢者福祉についての必要性の趣旨を周知徹底する方策の検討をお願いしたい。 ◇ ボランティアの拡充に力を入れるのではなく、社会保障のたて直しと、充実に尽力することが本筋である。 ◇ 景気に左右されない一貫したプラン作成が大切。 ◇ 福祉施策を広報やチラシ等で知らしめて欲しい。 ◇ 広報を充実し区民が参加できる分野があれば積極的に呼びかけるべきだ。
まちづくり	◇ 高齢者、中年、若者、児童にも住みよい町づくり。 ◇ 公共的建物や道路、公園などのバリアフリー化を推進して欲しい。 ◇ 高齢者が安心してゆったりと生活できる街づくり。自然のたっぷりあるのんびりと散歩、休息のできる公園や趣味などを共有できる施設の充実。 ◇ 車イスが通れる歩道の整備。地下鉄（有楽町線）の乗降りがスムーズに出来る対策をお願いしたい。 ◇ 駅のエスカレーターは高齢になったり足が不自由、怪我等の場合、下りの方が必要。上りと下りの両方設置するのが不可能な場合は、出勤時間を除いて、上下を変更出来るようなエスカレーターを設けて頂きたい。 ◇ 公共的建物（特に駅など）道路などのバリアフリー化した場合、多くの人に迅速に分るよう十分な宣伝が必要。
その他	◇ インターネット等でいつでも提案等できる仕組みがあれば良い。 ◇ 自立、自己責任、他から何かやってもらうことでなく、他に対して何か出来る事を追求することが、人間として健全であることと思う。 ◇ 介護が必要な高齢者のために、元気な高齢者が活躍できる仕組みができればよい。元気な高齢者の生きがいにもなる。

〔問 33 から問 45 までについて〕

「これから高齢期を迎える方の調査（一般）」は、介護保険の認定を受けていない方が対象のため、要介護状態に関する問 33 から問 45 までについては省略する。

③介護保険への意見・要望（問 46、自由回答）

問 46 介護保険について、ご意見やご要望がございましたら、下欄にご記入ください。

項目別の主な意見は、次のとおりである。（回答者 204 人）

費用負担	◇ 80 歳すぎたら保険料は免除したほうがよい。 ◇ 年金生活者は保険料をもう少し安くしてほしい。 ◇ サービスについては満足であるが、料金的にはもっと安い方がよい。 ◇ 介護サービスの負担額は一律でなく所得に応じたもので良い。 ◇ 公正な所得の把握（サラリーマンが自営業に比べて不利と感じている）。 ◇ 施設に入っている人は 1 割負担は必要であるが、自宅での介護は負担は無しにして欲しい。 ◇ 価格の割には各種内容が低い。負担が多い。 ◇ 介護保険料（利用料）が将来上がっていくのではと思い非常に心配。
認定・審査	◇ 保険料のアップや若い人達に負担させる前にもっと厳しい審査が必要。 ◇ 介護認定に公平性と柔軟な基準作りを希望する。 ◇ ひとり暮らし高齢者（ある年齢を超えた希望者）には、無条件にヘルパーを派遣したらどうか。 ◇ 個々の必要品なども申請制度、審査制度にしてきちんと必要性を把握すべき。 ◇ 自立志向の強い人間は介護制度が低く、サービスが少ししか受けられないのはおかしい。
情報提供	◇ どの位のサービスが受けられるのか、区としての制度等の情報を知らせて欲しい。 ◇ 内容の説明パンフレットが必要。 ◇ 介護保険の仕組みを区報などで詳細に教えて欲しい。 ◇ 介護保険制度の認識を深める為の情報等を住民に伝える方法をレベルアップして欲しい。
内容	◇ 精神面、経済面共に病人が安心して介護を受けられるようになりたい。 ◇ ホームヘルパーの仕事の内容で、（チューブでの）痰の吸入や食事の事など家族が出来るのにヘルパーはいけないうのは家族の為のヘルパーになっていないのでは。 ◇ 少々高賃金でも良いのでレベルの高いヘルパーさんを育てて欲しい。 ◇ 保険料、不正に使われている施設や病院があるようですが、取締りを厳しくして欲しい。 ◇ ボランティアではありません。ヘルパーの収入が低い。 ◇ 自治体によって、いろいろ条件に格差があるのが納得できない。
手続き	◇ 手続きが複雑にならないようにして欲しい。 ◇ 自宅から Web でアクセスし、完結できるようにして欲しい。 ◇ 介護保険を受ける時、制度は知っていても利用できるのかという思いがある。 ◇ 介護保険申請から認定されるまで素早く手続きしてもらえると良い。
資金源	◇ 大型公共事業の予算を削り、福祉や社会保障での国民負担を軽減すべき。 ◇ 消費税を上げて介護料に公費であてて欲しい。介護保険料は 60 歳以上からにする。 ◇ 介護保険制度が賃金面から破綻しないように運営して欲しい。
その他	◇ 一番不安に感じるのはプライバシーの点。 ◇ 働く意欲のある高齢者には働く場を保障し、「高齢者」を支える人を増やすことが大切。 ◇ 施設を沢山造りそこで雇用を増やし、もっと老人問題に税金を注ぐべきだ。 ◇ インターネット等でいつでも提案等できる仕組みがあれば良い ◇ これからは地域での取り組みが大切な気がする。 ◇ 保険料を納めるのはどのように計算されるのかわかりません。 ◇ 特別養護老人ホームの地域密着化と量と質の向上を図っていただきたい。 ◇ 要支援になる前に予防の方法に力を入れて欲しい。 ◇ 施設を利用する際の費用負担をもっと低料金にしていきたい。

Ⅱ 調査結果

5 これから高齢期を迎える方の調査（要介護）

5 これから高齢期を迎える方の調査（要介護）

<調査結果の概要>

《回答者（これから高齢期を迎える方の調査＜要介護＞）の状況について》

- ◆ 要介護度は要支援が 10.8%、要介護 1 が 26.9%であわせて 37.7%を占める。要介護認定の主な申請理由は、「医師、看護師から勧められた」が 37.6%、「身の回りの行為が困難になってきた」が 35.5%である。要介護状態になった原因は、15 の特定疾病のうち「脳血管疾患」が 59.1%を占め、次いで高いのは「慢性関節リウマチ」が 8.6%である。【問 34 P.269・問 36 P.271・問 37 P.272】

《健康について》

- ◆ 普段から健康に気をつけている人は 84.9%で、特に健康に気をつけていることは「食事や栄養」（84.8%）である。【問 9 P.252・問 9-1 P.252】

《就労状況・社会参加等について》

- ◆ 現在仕事をしている人は 14.0%である。今後、働きたい人が 25.8%いる。【問 17 P.257・問 18 P.259】
- ◆ 地域との関わりについて、「近所との人とほとんど付き合いはない」人が 32.3%で、「挨拶をする程度」が 58.1%である。【問 20 P.261】
- ◆ 不安や悩みごとは「健康に自信がない」が 57.0%で高く、不安や悩みの相談先は「同居の家族」（65.4%）が主である。【問 29 P.266・問 29-1 P.267】

《介護保険について》

- ◆ 特別養護老人ホームの入所申込者は 7.5%である。【問 38 P.273】
- ◆ 介護保険の相談・苦情先は「ケアマネジャー」（59.1%）で、制度・サービス事業者に関する情報入手先も「ケアマネジャー」（63.4%）である。【問 40 P.275・問 42 P.276】

<調査結果から得られた主な課題>

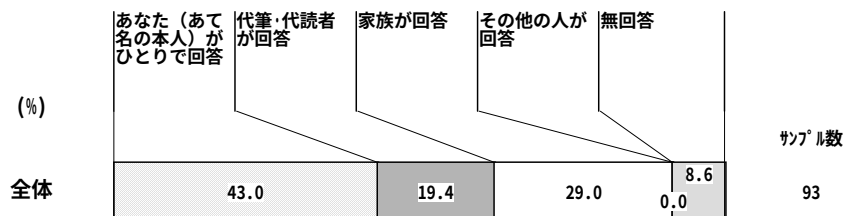
- ◇ 要介護状態になった原因として脳血管疾患の割合が高いことから、若い時期からの生活習慣病の予防策が課題である。
- ◇ 介護保険に関する相談・苦情先、情報の入手先ともにケアマネジャーの役割が大きく、ケアマネジャーへの支援策を充実するとともに、情報提供、情報の把握の工夫が望まれる。
- ◇ 地域社会との接点が少ない人が多い。高齢期を迎える前に、地域社会への積極的な参加を促すための支援が課題である。

(1) 回答者について

① 調査票の回答者（問1）

問1 この調査票を回答される方を教えてください。（○は1つ）

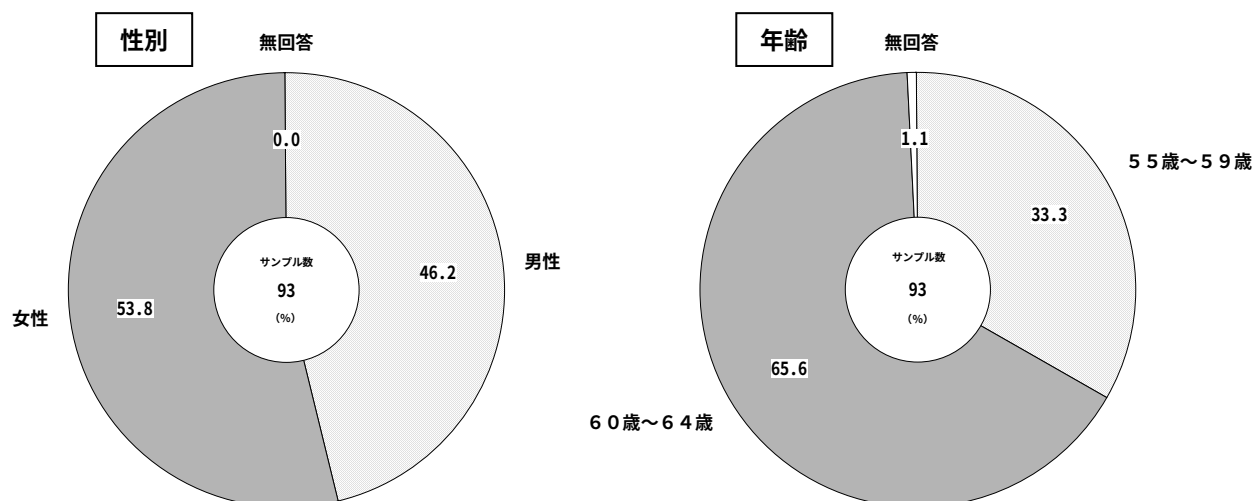
調査票の回答者は「あなたがひとりで回答」が 43.0%、「代筆・代読者が回答」が 19.4%、「家族が回答」が 29.0%である。



② 性別・年齢（問2）

問2 あなた（あて名のご本人）の性別と、平成 16 年 11 月 1 日現在の満年齢はいくつですか。（○はそれぞれ1つずつ）

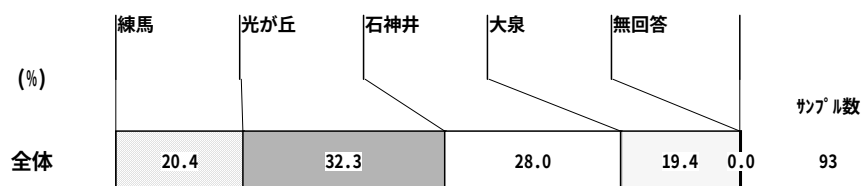
調査回答者の性別は「男性」が 46.2%、「女性」が 53.8%である。
年齢は「55～59 歳」が 33.3%で、「60～64 歳」が 65.6%である。



③ 居住地区（問3）

問3 あなた（あて名のご本人）のお住まいはどちらですか。また何丁目かもお答えください。（○は1つずつ）

調査回答者の居住地区は、「光が丘地区」が 32.3%で最も高く、次いで「石神井地区」（28.0%）、「練馬地区」（20.4%）、「大泉地区」（19.4%）の順になっている。

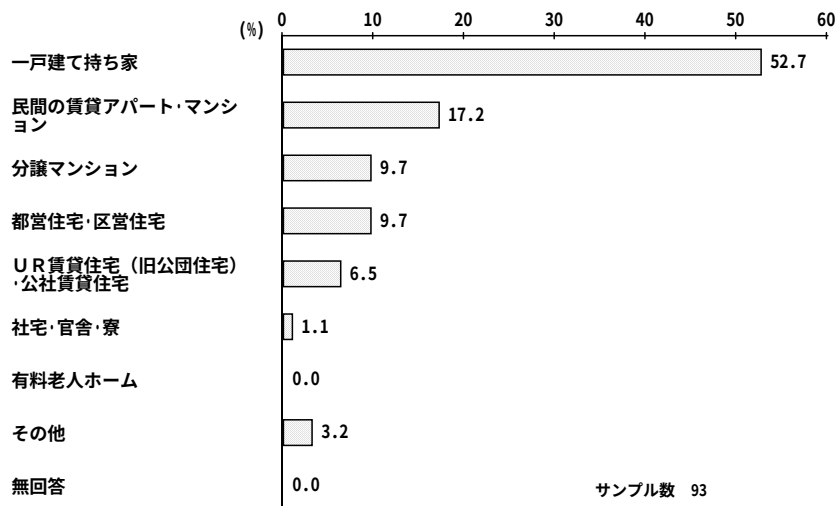


(2) 住居について

①住居形態（問4）

問4 あなた（あて名のご本人）のお住まいは、次のうちのどれにあてはまりますか。（○は1つ）

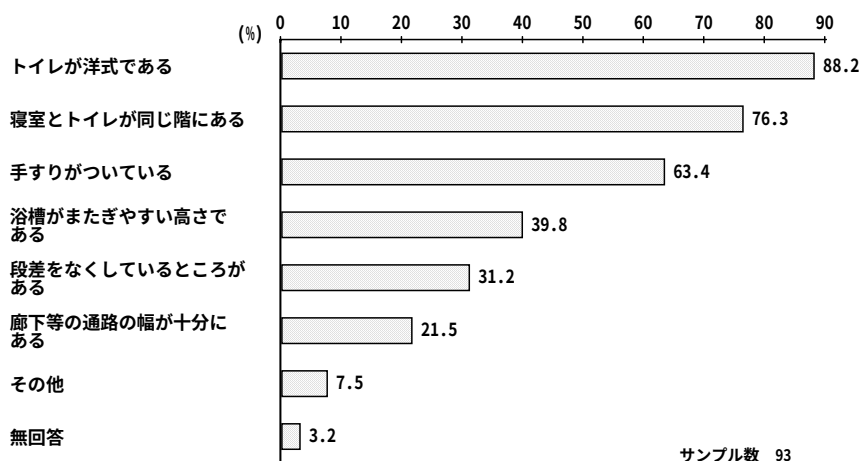
「一戸建ての持ち家」の割合が 52.7%で最も高く、「分譲マンション」（9.7%）とあわせた『持ち家率』は 62.4%である。



②住居の工夫（問5、複数回答）

問5 あなた（あて名のご本人）のお住まいは、現在次のような工夫をしていますか。（あてはまるものすべてに○）

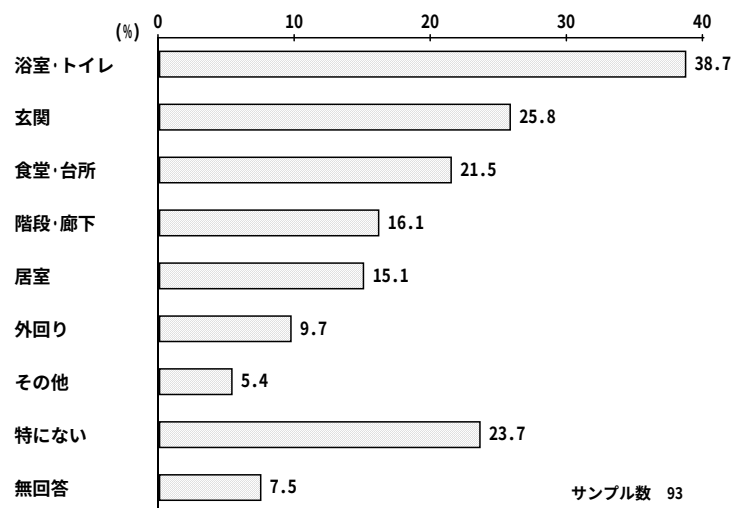
住居で工夫している点は、「トイレが洋式である」（88.2%）が最も高い。次いで割合が高いのは「寝室とトイレが同じ階にある」（76.3%）、「手すりがついている」（63.4%）である。



③住居の改修希望場所（問6、複数回答）

問6 今後、あなた（あて名のご本人）のお住まいのなかで、改修をしたいところはありますか。（あてはまるものすべてに○）

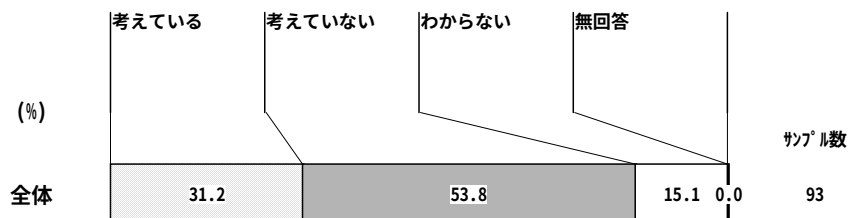
住居の改修希望場所については、「特にない」が23.7%であり68.8%は改修を希望している。具体的な改修希望場所をみると、「浴室・トイレ」が38.7%で最も高い。次いで「玄関」（25.8%）、「食堂・台所」（21.5%）が上位にあげられている。



④将来の住み替え意向（問7）

問7 あなた（あて名のご本人）は、将来、住み替えを考えていますか。（○は1つ）

将来、住み替えを「考えている」が31.2%で、「考えていない」は53.8%である。



⑤住み替え意向のある理由（問7-1、複数回答）

問7-1 住み替える理由は、次のうちどれにあてはまりますか。（あてはまるものすべてに○）

住み替える理由は、「家賃が高い」（13人、44.8%）と「住宅の設備が悪い」（13人、44.8%）が主なものである。

	全体	家賃が高い	住宅の設備が悪い	住宅が狭い	立ち退きを迫られる心配がある	その他	無回答
全体	29	13	13	7	3	4	0
	100.0	44.8	44.8	24.1	10.3	13.8	0.0

上段：実数
下段：%

*サンプル数が少ないため参考値。

⑥ 住み替え予定の住宅（問 7-2）

問7-2 住み替えるとしたら、どのような住宅をお考えですか。（○は1つ）

住み替える場合の住居種別は、「都営住宅・区営住宅」（11 人、37.9%）と「一戸建て持ち家」（7 人、24.1%）が高い。

	全体	都営住宅・ 区営住宅	一戸建て持 ち家	高齢者集合 住宅などの 高齢者向け 住宅	分譲マン ション(集合 住宅)	有料老人 ホーム	民間の賃貸 アパート・マ ンション	UR賃貸住 宅(旧公団 住宅)・公社 賃貸住宅	その他	無回答
全体	29 100.0	11 37.9	7 24.1	5 17.2	2 6.9	2 6.9	0 0.0	0 0.0	1 3.4	1 3.4

※サンプル数が少ないため参考値。

上段：実数
下段：%

⑦ 住み替える住宅の希望する環境（問 7-3、3つまで回答）

問7-3 住み替え先は、どのような場所にあればよいと考えますか。（○は3つまで）

住み替え先の希望は、「病院や福祉施設が近くにあること」（17 人、58.6%）、「交通や買い物などに便利であること」（16 人、55.2%）、「緑・公園・水辺などが近所にあること」（12 人、41.4%）が上位にきている。

	全体	病院や福祉施設が近 くにあること	交通や買い物などに 便利であること	緑・公園・水辺など が近所にあること	子どもや親戚が近く に住んでいること	慣れ親しんだ場所 であること	友人や知人が近くに 住んでいること	自然が豊かであるこ と	職場に近いこと	その他	無回 答
全体	29 100.0	17 58.6	16 55.2	12 41.4	8 27.6	7 24.1	3 10.3	1 3.4	0 0.0	2 6.9	1 3.4

※サンプル数が少ないため参考値。

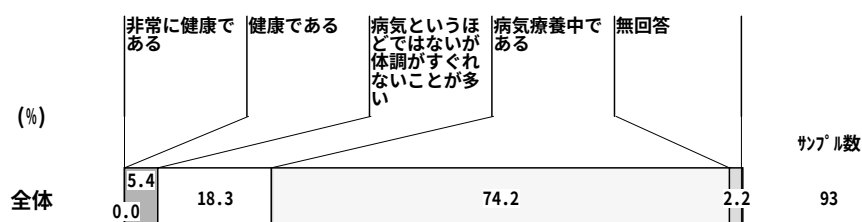
上段：実数
下段：%

（3）健康・医療について

① 健康状態（問 8）

問8 あなた（あて名のご本人）の、現在の健康状態はいかがですか。（○は1つ）

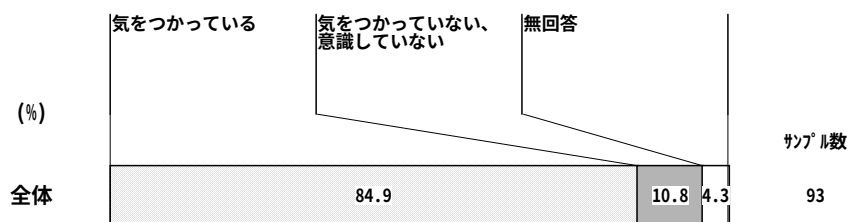
現在の健康状態について、「健康である」が 5.4%である。「病気というほどではないが体調がすぐれないことがある」が 18.3%、「病気療養中である」が 74.2%を占める。



②普段の健康管理状況（問9）

問9 あなた（あて名のご本人）は、ふだん健康に気をつけていますか。（○は1つ）

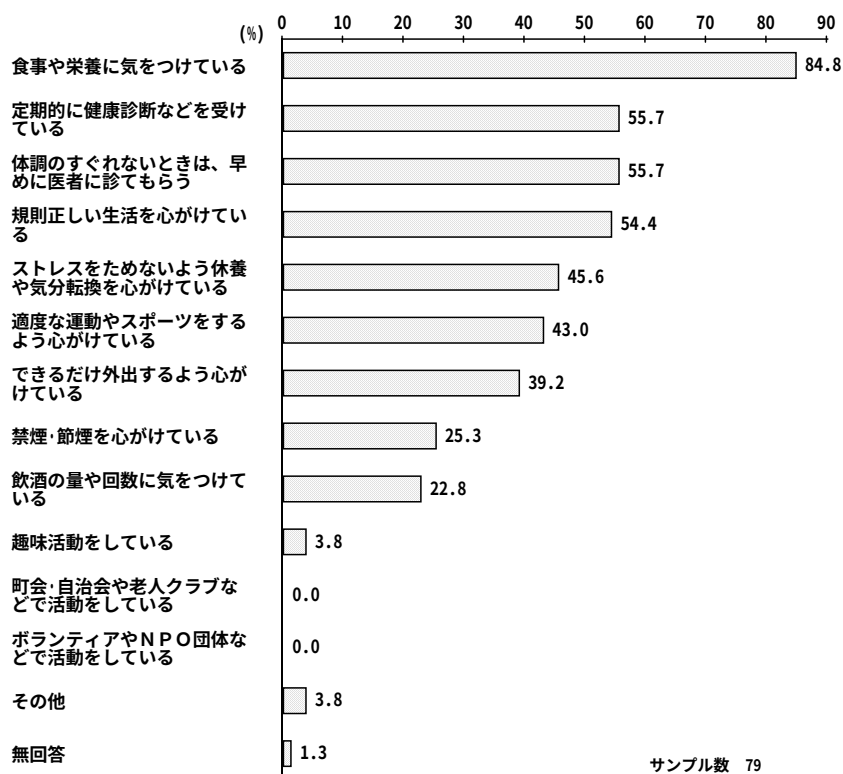
ふだんから健康に「気をつけている」は84.9%、健康に「気をつけていない、意識していない」は10.8%である。



③特に健康に気をつけていること（問9－1、複数回答）

問9－1 特に健康に気をつけていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

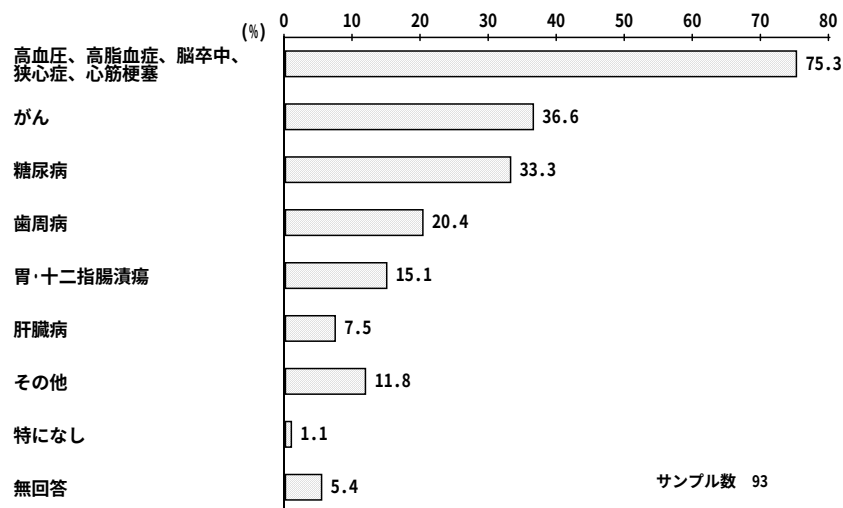
健康に気をつけている人に特に健康に気をつけていることたずねたところ、「食事や栄養に気をつけている」が84.8%で最も高い。次いで「定期的に健康診断を受けている」(55.7%)、「体調のすぐれないときは、早めに医者に診てもらう」(55.7%)、「規則正しい生活を心がけている」(54.4%)、「ストレスをためないよう休養や気分転換を心がけている」(45.6%)、「適度な運動やスポーツをするよう心がけている」(43.0%)が上位にあげられている。



④関心のある生活習慣病（問 10、複数回答）

問 10 あなた（あて名のご本人）が関心のある生活習慣病は、どのようなものですか。（あてはまるものすべてに○）

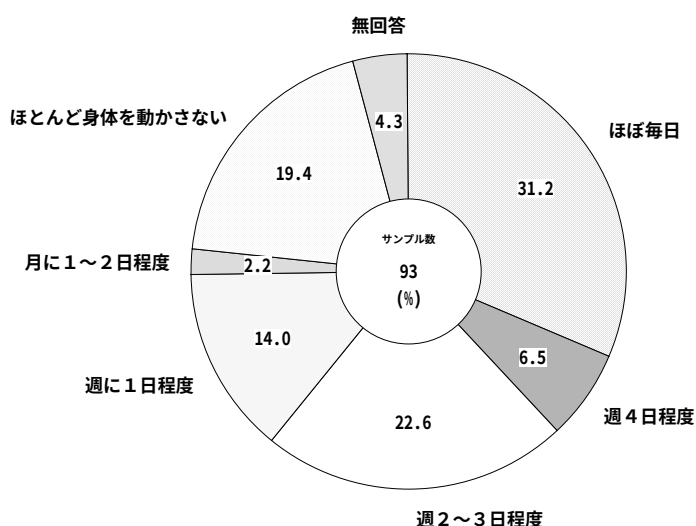
関心のある生活習慣病は、「高血圧、高脂血症、脳卒中、狭心症・心筋梗塞」が最も高く 75.3%である。次いで「がん」（36.6%）、「糖尿病」（33.3%）、「歯周病」（20.4%）への関心が高い。



⑤健康のために身体を動かす頻度（問 11）

問 11 あなた（あて名のご本人）が健康のために身体を動かす（体操や散歩など）頻度は、どのくらいですか。（○は1つ）

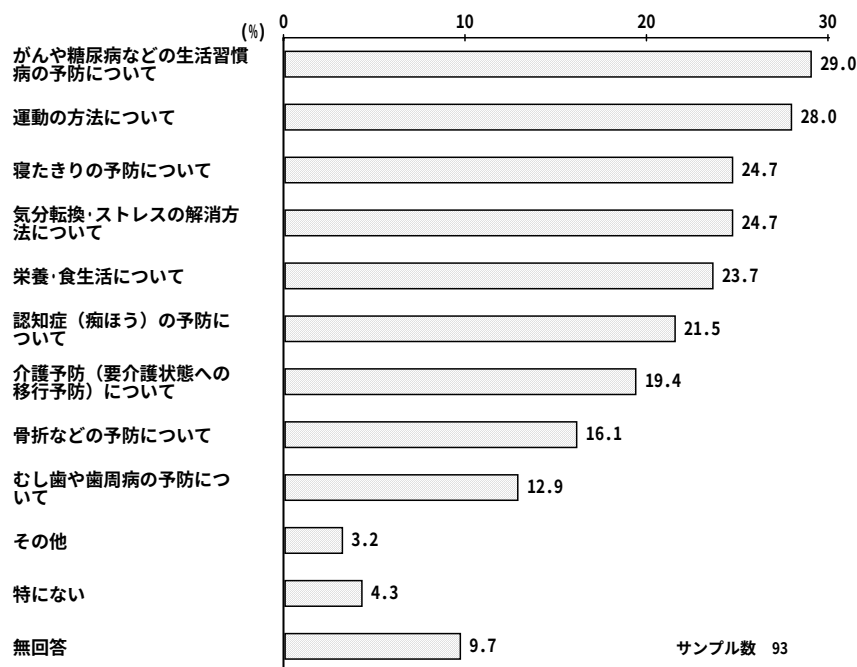
健康のために身体を「ほぼ毎日」動かす割合は 31.2%であった。これに「週4日程度」「週2～3日程度」「週1日程度」を加えた週1日以上身体を動かす合計は 74.3%である。一方、「ほとんど身体を動かさない」は 19.4%である。



⑥健康について知りたいこと（問 12、3つまで回答）

問 12 健康について知りたいことはありますか。（○は3つまで）

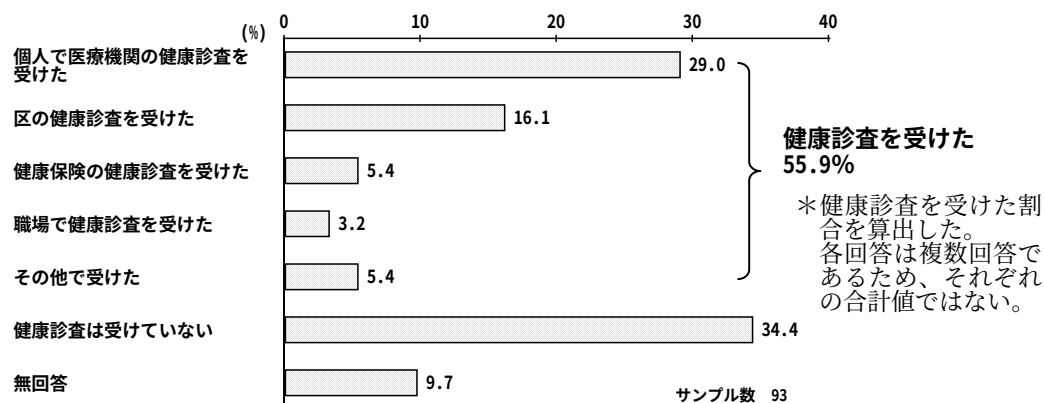
健康について知りたいことは、「がんや糖尿病などの生活習慣病の予防について」（29.0%）、「運動の方法について」（28.0%）、「寝たきりの予防について」（24.7%）、「気分転換・ストレスの解消方法について」（24.7%）、「栄養・食生活について」（23.7%）、「認知症（痴呆）の予防について」（21.5%）が上位にあげられている。



⑦平成 16 年の健康診査の受診状況（問 13、複数回答）

問 13 あなた（あて名のご本人）は、今年に入ってから健康診査を受けましたか。（あてはまるものすべてに○）

平成 16 年の健康診査は 55.9%が受診している。「個人で医療機関で健康診査を受けた」が 29.0%、「区の健康診査」が 16.1%である。一方、「健康診査は受けていない」は 34.4%である。



⑧健康診査の未受診理由（問 13－1、複数回答）

問 13－1 あなた（あて名のご本人）が健康診査を受けていないのは、なぜですか。（あてはまるものすべてに○）

健康診査を受けていない人の理由をみると、「現在治療中だから受けていない」（22 人、68.8%）が主なものである。

	全体	現在治療中 だから受けて いない	医療機関に かかりづら いから受けて いない	そういった 健診は知ら ないから受けて いない	健康だから 受けていない	面倒だから 受けていない	その他の理 由で受けて いない	無回答	上段：実数 下段：%
全体	32 100.0	22 68.8	3 9.4	1 3.1	0 0.0	0 0.0	6 18.8	0 0.0	

＊サンプル数が少ないため参考値。

⑨最終健康診査から現在までの期間（問 13－2）

問 13－2 あなた（あて名のご本人）が最後に健康診査を受けたのは、何年前のことですか。（あてはまるものすべてに○）

健康診査を受けていない人が健康診査を受けていない期間は、「5年以下」が16人（50.0%）、「6～10年」が6人（18.8%）である。

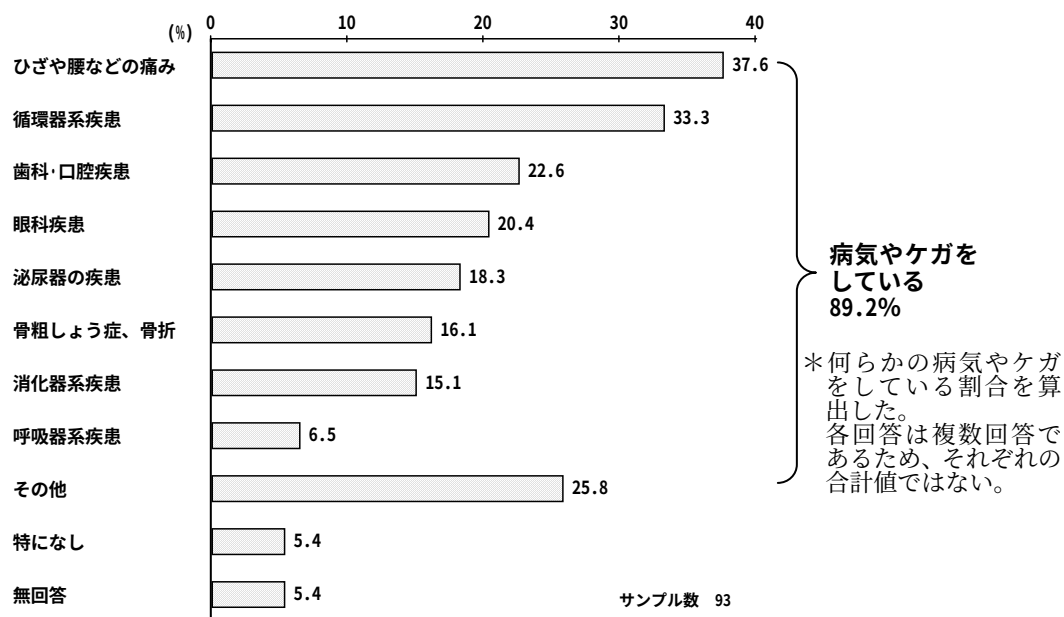
	全体	5年以下	6～10年	11～15年	16～20年	21年以上	無回答	平均	上段：実数 下段：%
全体	32 100.0	16 50.0	6 18.8	1 3.1	0 0.0	0 0.0	9 28.1	4.7年	

＊サンプル数が少ないため参考値。

⑩傷病の有無（問 14、複数回答）

問 14 あなた（あて名のご本人）は現在、次にあげた病気やケガなどがありますか。（あてはまるものすべてに○）

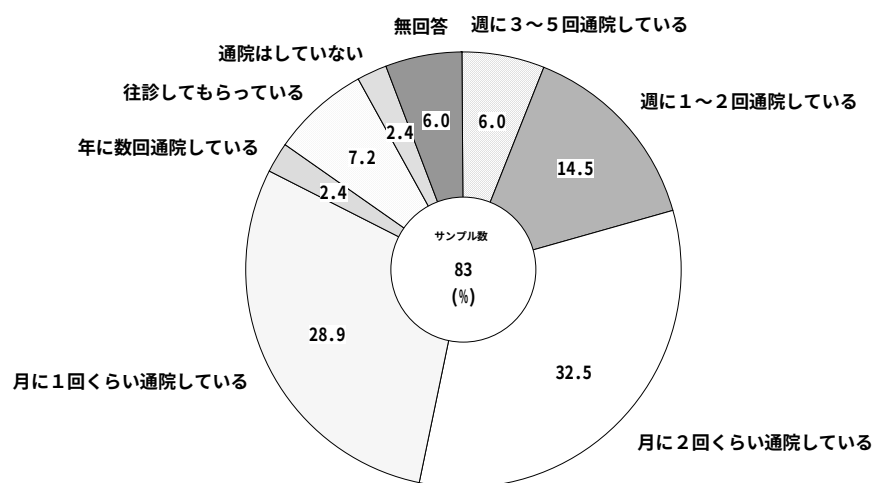
何らかの病気やケガがあるのは 89.2%である。最も割合の高い傷病は「ひざや腰などの痛み」で 37.6%である。次いで「循環器系疾患」（33.3%）、「歯科・口腔疾患」（22.6%）、「眼科疾患」（20.4%）となっている。



⑪通院状況（問 14－1）

問 14－1 治療のために病院や診療所、医院などに通院していますか。（○は1つ）

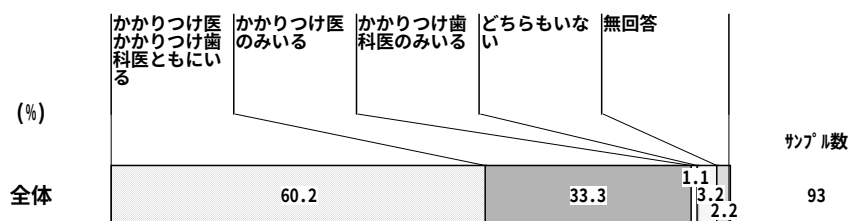
病気やケガのある人の通院状況をみると、月に1回以上の通院が81.9%を占める。



⑫かかりつけ医、かかりつけ歯科医の有無（問 15）

問 15 あなた（あて名のご本人）には、かかりつけ医（診療所）、かかりつけ歯科医（診療所）がいますか。（○は1つ）

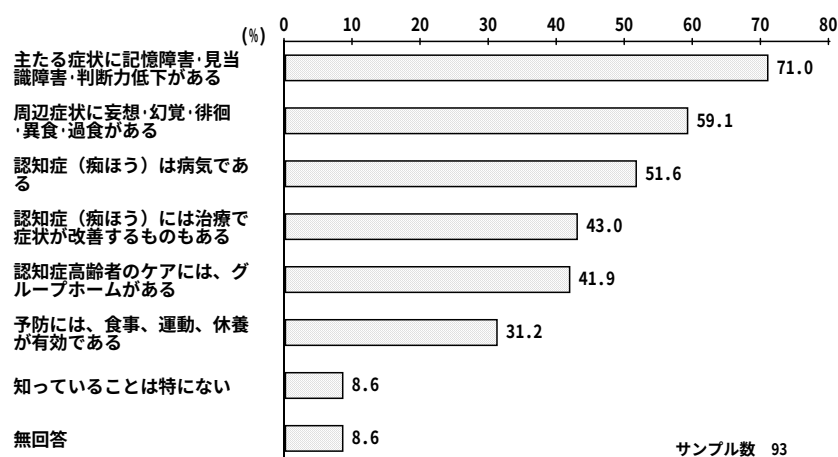
「かかりつけ医、かかりつけ歯科医ともにいる」と「かかりつけ医のみいる」をあわせた、かかりつけ医のいる合計は 93.5%、「かかりつけ医、かかりつけ歯科医ともにいる」と「かかりつけ歯科医のみいる」のかかりつけ歯科医のいる合計は 61.3%であった。「どちらもいない」は 3.2%であった。



⑬認知症（痴ほう）についての認知状況（問 16、複数回答）

問 16 あなた（あて名のご本人）は痴ほうについて、どの程度ご存知ですか。（知っていることすべてに○）

認知症（痴ほう）について知っていることをみると、「主たる症状として、記憶障害・見当識障害・判断力低下等がある」（71.0%）と「周辺症状として、妄想・幻覚・徘徊・異食・過食などがある」（59.1%）、「認知症（痴ほう）は病気である」（51.6%）については認知度が高い。以下、「認知症（痴ほう）には治療で症状が改善するものもある」（43.0%）、「認知症（痴ほう性）高齢者のケアにはグループホームなどがある」（41.9%）、「予防にはバランスのよい食事、適度な運動・休養が有効といわれている」（31.2%）となっている。

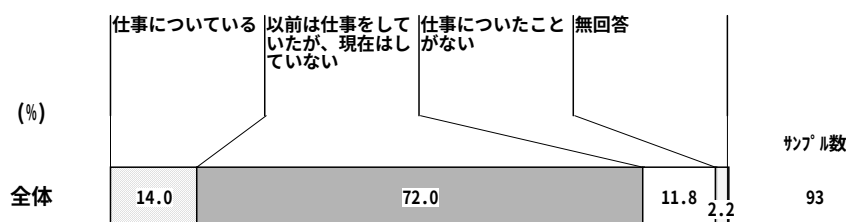


（４）就労状況について

①就労状況（問 17）

問 17 あなた（あて名のご本人）は現在、収入のある仕事についていますか。（○は1つ）

収入のある「仕事についている」が 14.0%で、「以前は仕事をしていましたが現在はしていない」が 72.0%、「仕事についたことがない」が 11.8%である。



②就労形態（問 17-1）

問 17-1 あなた（あて名のご本人）の就労形態は、次のうちのどれですか。（○は1つ）

仕事についている人の就労形態をみると、「自営業主（雇用人なし）」が 5 人、38.5%、「自営業の手伝い」が 2 人、15.4%となっている。

	全体	自営業主（雇用人なし）	自営業の手伝い	自営業主（雇用人あり）	会社・団体などの役員	常勤	非常勤（パート・アルバイトなど）	タシ登録バー人材セン	内職	その他	無回答
全体	13	5	2	1	1	1	1	0	0	1	1
	100.0	38.5	15.4	7.7	7.7	7.7	7.7	0.0	0.0	7.7	7.7

上段：実数
下段：%

＊サンプル数が少ないため参考値。

③退職後の生活に対する準備（問 17-2）

問 17-2 あなたは（あて名のご本人）は、退職後の生活等の準備をされていますか。（○は1つ）

現在仕事についている人のうち、退職後の生活等の「準備をしている」は 3 人、23.1%で、「準備はしていない」が 7 人、53.8%である。

	全体	準備をしている	準備はしていない	無回答	
全体	13	3	7	3	
	100.0	23.1	53.8	23.1	上段：実数 下段：%

＊サンプル数が少ないため参考値。

退職後の生活等の準備をしている人の準備を開始した年齢の分布は以下のとおりである。

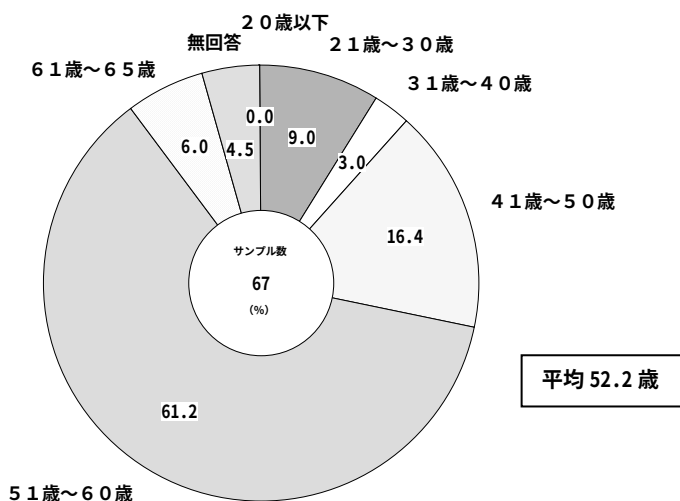
	全体	40歳以下	41歳～50歳	無回答	平均	
全体	3	1	1	1	45.0歳	
	100.0	33.3	33.3	33.3		上段：実数 下段：%

＊サンプル数が少ないため参考値。

④直近の仕事をやめた年齢（問 17-3）

問 17-3 仕事をやめたのは何歳ごろですか。直近の仕事をやめた年齢をお答えください。

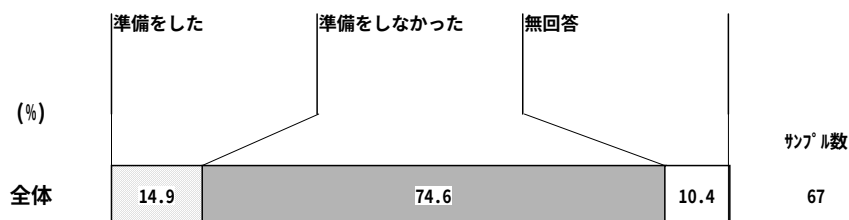
既に退職している人が直近にやめた年齢は、「51～60 歳」が 61.2%で、平均は 52.2 歳である。



⑤退職前における退職後の生活に対する準備（問 17-4）

問 17-4 あなたは（あて名のご本人）は、退職をする前から退職後の生活等の準備をしていましたか。（○は1つ）

既に退職している人のうち、退職前に退職後の生活等の「準備をした」は 14.9%で、「準備をしなかった」が 74.6%を占める。



退職前に退職後の生活等の準備をした人の準備を開始した年齢の平均は 45.4 歳である。

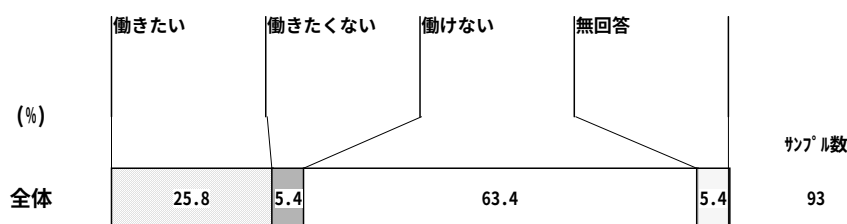
	全体	40歳以下	41歳～45歳	46歳～50歳	51歳～55歳	56歳～60歳	61歳～65歳	無回答	平均	
全体	10 100.0	4 40.0	0 0.0	2 20.0	2 20.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	45.4歳	上段：実数 下段：%

※サンプル数が少ないため参考値。

⑥今後の就労意向（問 18）

問 18 あなた（ご本人）は今後、適当な仕事があったら働きたいと思いますか。現在働いている方は、引き続き働きたいと思いますか。（○は1つ）

今後の就労意向をみると、「働きたい」が 25.8%、「働きたくない」が 5.4%、「働けない」が 63.4%である。



⑦就労希望理由（問 18－1、複数回答）

問 18－1 働きたいのは、どのような理由からですか。（あてはまるものすべてに○）

働きたい人の理由は、「生活費を得るため」（16 人、66.7%）、「健康のため」（14 人、58.3%）、「生きがいを得るため」（13 人、54.2%）が主なものである。

	全体	生活費を得るため	健康のため	生きがいを得るため	小遣いを得るため	将来への蓄え（預貯金）のため	何もしないでいると退屈なので	持っている技術や資格を生かすため	その他	無回答	
全体	24 100.0	16 66.7	14 58.3	13 54.2	9 37.5	8 33.3	6 25.0	1 4.2	0 0.0	0 0.0	上段：実数 下段：%

※サンプル数が少ないため参考値。

⑧希望する就労形態（問 18－2、2つまで回答）

問 18－2 あなた（あて名のご本人）は、次のうちどのような就労形態で働きたいですか。現在のまま働きたい方は、現在の就労形態をお答えください。（○は2つまで）

希望する就労形態は、「自営業で働きたい」（6 人、25.0%）、「ボランティア・NPO団体の有償スタッフで働きたい」（5 人、20.8%）、「自営業の手伝いで働きたい」（4 人、16.7%）、「会社などで非常勤で働きたい」（4 人、16.7%）となっている。

	全体	自営業で働きたい	ボランティア・NPO団体の有償スタッフで働きたい	自営業の手伝いで働きたい	会社などで非常勤で働きたい	会社などでパート・人材センターの会員として働きたい	シルバー人材センターの会員として働きたい	パソコンやインターネットなどを活用し自宅で働きたい	内職したい	会社・団体の役員で働きたい	会社などで常勤で働きたい	起業・創業して働きたい	その他	無回答	
全体	24 100.0	6 25.0	5 20.8	4 16.7	4 16.7	3 12.5	2 8.3	2 8.3	2 8.3	1 4.2	1 4.2	0 0.0	3 12.5	2 8.3	上段：実数 下段：%

※サンプル数が少ないため参考値。

⑨就労継続を希望する年齢（問 18－3）

問 18－3 あなた（あて名のご本人）は、何歳ぐらいまで働きたいですか。

働き続けたい年齢は、「61～65 歳」が 7 人、29.2%、「66～70 歳」が 9 人、37.5%で、平均は 68.9 歳である。

	全体	60歳以下	61歳～65歳	66歳～70歳	71歳以上	無回答	平均
全体	24 100.0	1 4.2	7 29.2	9 37.5	3 12.5	4 16.7	68.9歳

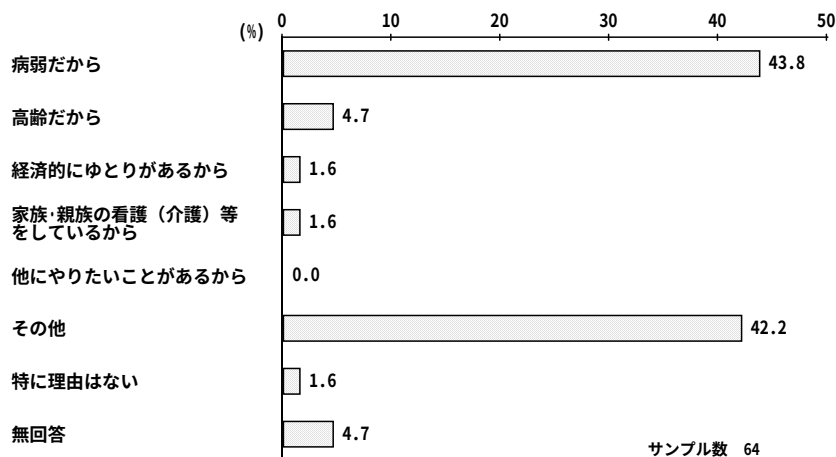
上段：実数
下段：%

＊サンプル数が少ないため参考値。

⑩主な非就労理由（問 18－4）

問 18－4 あなた（ご本人）が働きたくない、あるいは働けない主な理由をお答えください。（主な理由1つに○）

働きたくないあるいは働けない人の主な理由は、「病弱だから」（43.8%）である。

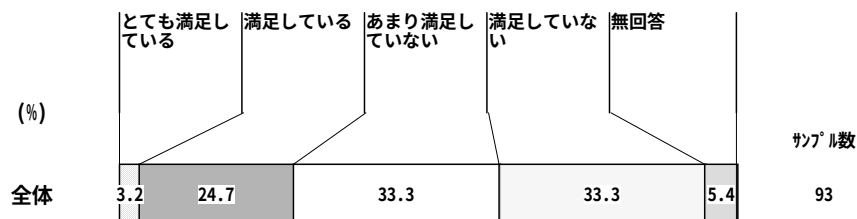


（5）生きがい・社会参加意識について

①現在の生活の満足度（問 19）

問 19 あなた（あて名のご本人）は現在の生活に満足していますか。（○は1つ）

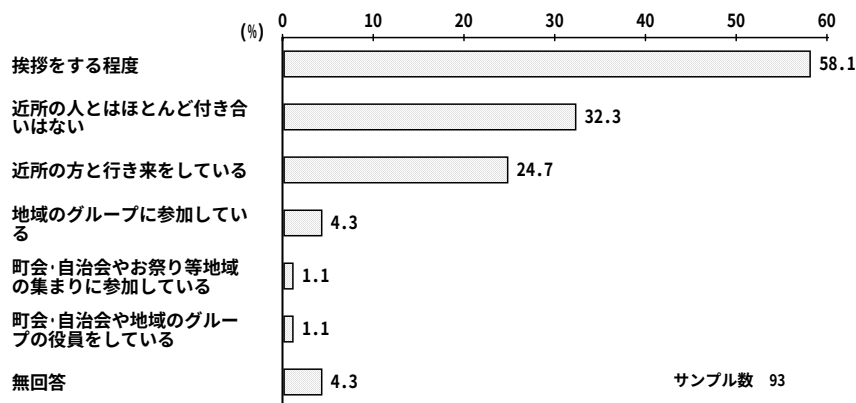
現在の生活に「とても満足している」が 3.2%で、「満足している」は 24.7%で、あわせると 27.9%である。「あまり満足していない」は 33.3%、「満足していない」は 33.3%である。



②地域との関わり（問 20、複数回答）

問 20 あなた（あて名のご本人）は、現在、地域とどのような関わりをしていますか。（あてはまるものすべてに○）

地域との関わりは、「挨拶をする程度」が58.1%である。「近所の方と行き来をしている」は24.7%で、「近所の人とはほとんど付き合いはない」が32.3%いる。



③近所の人と交流をしない理由（問 20－1）

問 20－1 近所の人とほとんど顔をあわさない・ほとんど付き合いがないのはなぜですか。（○は1つ）

近所の人とほとんど顔をあわさない、ほとんど付き合いがない主な理由は「病気やケガで家を出ることができない」（18人、60.0%）である。

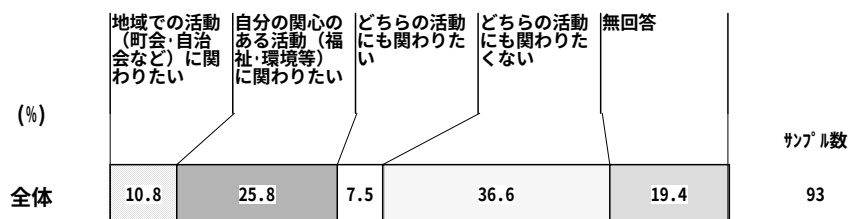
	全体	病気やケガなどで家を出ることができない	つきあうきっかけ（機会）がない	人と話すのはあまり好きではない	仕事等が忙しくて時間がない	必要がない	その他	無回答	
全体	30	18	6	1	1	1	3	0	上段：実数
	100.0	60.0	20.0	3.3	3.3	3.3	10.0	0.0	下段：%

＊サンプル数が少ないため参考値。

④地域活動と関心のある活動のどちらを重視するか（問 21）

問 21 あなた（あて名のご本人）は、今後、地域での活動と、自分の関心のある活動のどちらを重視して取り組みたいと考えますか。（○は1つ）

地域の活動と自分の関心のある活動のどちらを重視するかをみると、「自分の関心のある活動に関わりたい」が25.8%で、「地域での活動に関わりたい」（10.8%）を上回った。一方、「どちらの活動にも関わりたくない」は36.6%である。



⑤ ボランティア・NPO活動の実施状況（問 22、複数回答）

問 22 あなた（あて名のご本人）は、現在、ボランティアやNPO活動を行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

現在、ボランティア活動やNPO活動をしている人はいない。

	全体	ボランティア活動をしている	NPO活動をしている	いずれの活動もしていない	無回答
全体	93 100.0	0 0.0	0 0.0	89 95.7	4 4.3

上段：実数
下段：%

⑥ ボランティア・NPO活動の活動分野（問 22－1、複数回答）

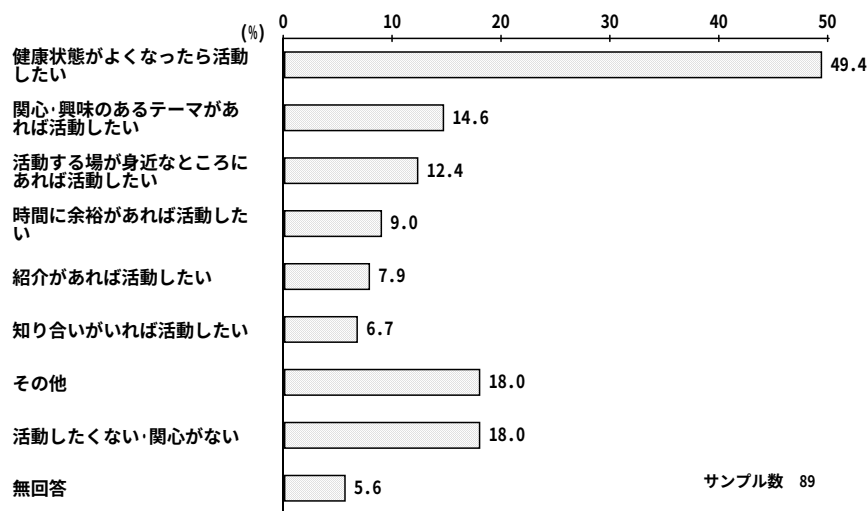
問 22－1 あなた（あて名のご本人）はどのような分野で活動をしていますか。（あてはまるものすべてに○）

＊該当者なし。

⑦ ボランティア・NPO活動に取り組むためのきっかけ（問 22－2、複数回答）

問 22－2 あなた（あて名のご本人）は、どのようなきっかけがあれば、ボランティア・NPO活動に取り組むと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

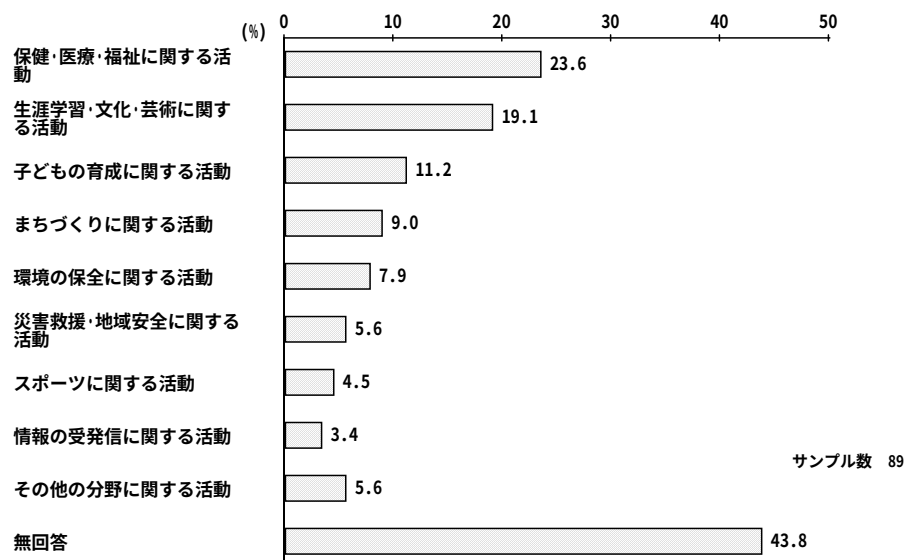
ボランティアやNPO活動をしていない人に活動に取り組むためのきっかけをたずねたところ、「健康状態がよくなったら活動したい」（49.4%）が主なものである。



⑧取り組みたいボランティア・NPO活動の活動分野（問 22－3、複数回答）

問 22－3 あなた（あて名のご本人）は、今後、ボランティア・NPO活動を行うとしたら、どのような分野で活動してみたいですか。（あてはまるものすべてに○）

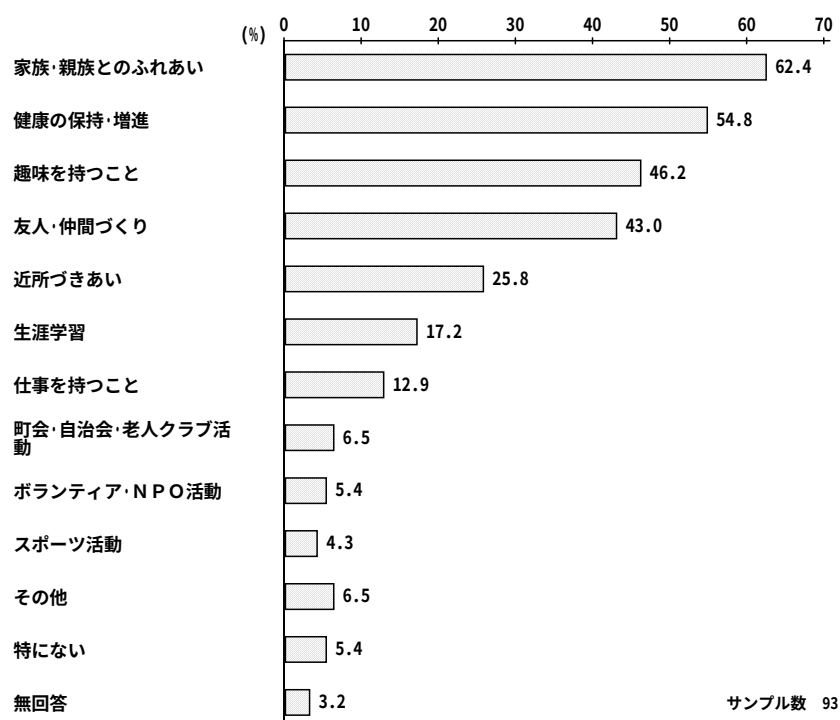
ボランティアやNPO活動をしていない人に活動してみたい分野をたずねたところ、「保健・医療・福祉に関する活動」（23.6%）、「生涯学習・文化・芸術に関する活動」（19.1%）などの回答が上位を占めた。一方、43.8%は無回答であった。



⑨生きがい（問 23、複数回答）

問 23 あなた（あて名のご本人）にとっての生きがいについてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

生きがいは「家族・親族とのふれあい」（62.4%）、「健康の保持・増進」（54.8%）、「趣味を持つこと」（46.2%）、「友人・仲間づくり」（43.0%）が主なものである。

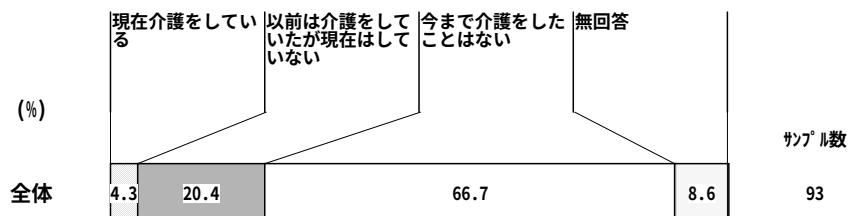


(6) 高齢者の介護経験について

① 高齢者の介護経験 (問 24)

問 24 あなた(あて名のご本人)は、高齢者の介護をした経験はありますか。(○は1つ)

高齢者を「現在介護をしている」(4.3%)、「以前は介護をしていたが現在はしてない」(20.4%)をあわせた介護経験者は24.7%である。



② 高齢者介護で困ったこと (問 24-1、複数回答)

問 24-1 介護をしていてどのようなことが困りましたか。(あてはまるものすべてに○)

介護経験者が高齢者介護で困ったことは、「自分の自由時間が確保できない」(12人、52.2%)が最も高く、次いで「介護者本人に対し周囲の理解・協力が得られない」(7人、30.4%)、「要介護者の言動が気になり休まらない」(7人、30.4%)、「先の見通しが立たない」(7人、30.4%)である。

	全体	自分の自由時間が確保できない	介護者本人に対し周囲の理解・協力が得られない	要介護者の言動が気になり休まらない	先の見通しが立たない	相談先が分からない	要介護者が医療機関等の受診に同意しない	介護方法がわからない	その他	特にない	無回答
全体	23 100.0	12 52.2	7 30.4	7 30.4	7 30.4	3 13.0	2 8.7	2 8.7	4 17.4	4 17.4	4 17.4

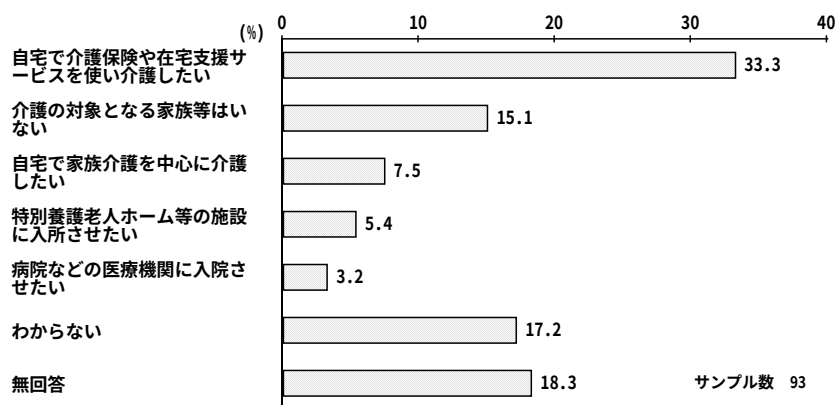
上段：実数
下段：%

*サンプル数が少ないため参考値。

③ 家族等の介護が必要にあった場合の介護 (問 25)

問 25 家族等を介護する際に、あなた(あて名のご本人)はどのようにしたいと思いますか。(○は1つ)

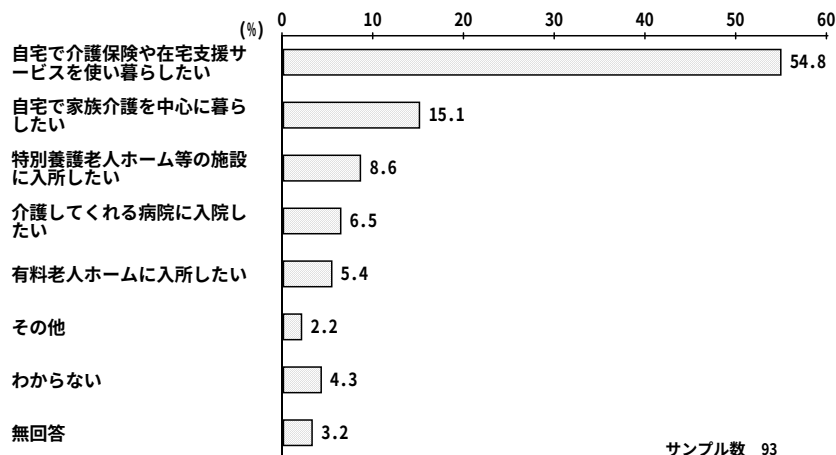
家族等を介護する際は「自宅で介護保険サービスや在宅支援サービス等を利用して介護したい」が33.3%で最も高い。施設や有料老人ホーム等への入所(入院)意向は8.6%である。



④自分の希望する介護（問 26）

問 26 あなた（あて名のご本人）が日常生活をおくる上で介護が必要になった場合、どのようにしたいと思いますか。現在、介護を受けている方も、今後の希望をお答えください。（○は1つ）

自分が要介護状態になった場合に希望する介護は、「自宅で介護保険サービスや在宅支援サービス等を利用して暮らしたい」が 54.8%で最も高い。施設や有料老人ホーム等への入所（入院）意向は 20.5%である。

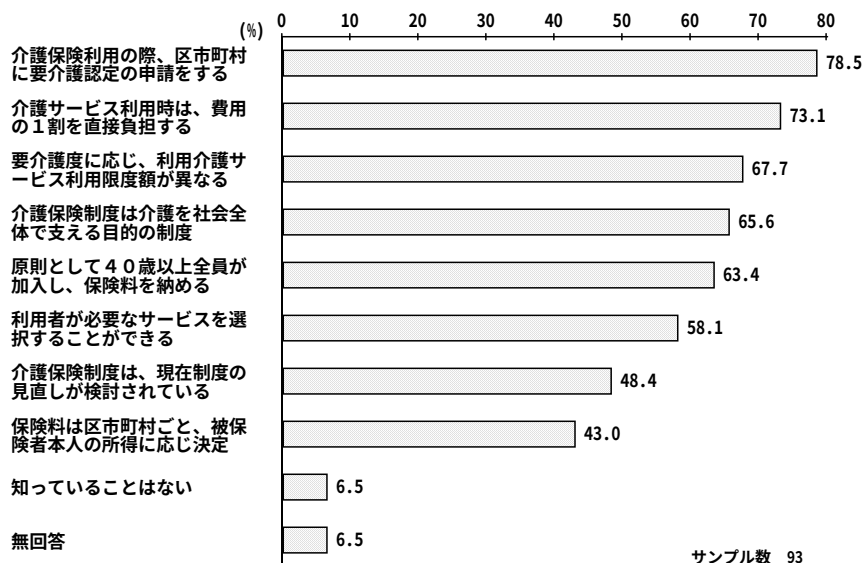


（7）介護保険制度について

①介護保険制度に対する認知（問 27、複数回答）

問 27 あなた（あて名のご本人）は、介護保険制度についてどの程度ご存知ですか。（知っていることすべてに○）

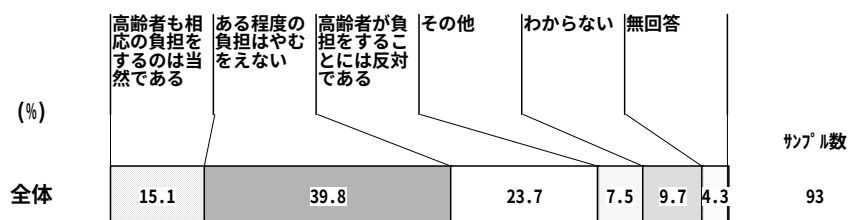
介護保険制度に対する認知状況をみると、「介護保険を利用するときにはまず区市町村に要介護認定の申請をする」（78.5%）、「介護サービス利用時は費用の1割を直接負担する」（73.1%）、「要介護度に応じて利用できる介護サービスの利用限度額が異なる」（67.7%）、「介護保険制度は介護を社会全体で支えることをめざした制度である」（65.6%）、「原則として40歳以上全員が加入し、保険料を納める」（63.4%）、「利用者が必要なサービスを選択することができる」（58.1%）については50%を超える人が認知している。



②介護保険料に対する意見（問 28）

問 28 介護保険制度は、原則として 40 歳以上の方全員が加入し、必要な保険料を負担していただいています。あなた（あて名のご本人）は、このことについてどう思いますか。（○は1つ）

介護保険料を原則 40 歳以上の方全員が加入し負担していることについては、「ある程度の負担はやむをえない」と考える割合が 39.8%で、「高齢者が負担をすることには反対である」は 23.7%、「高齢者も相応の負担をするのは当然である」は 15.1%である。



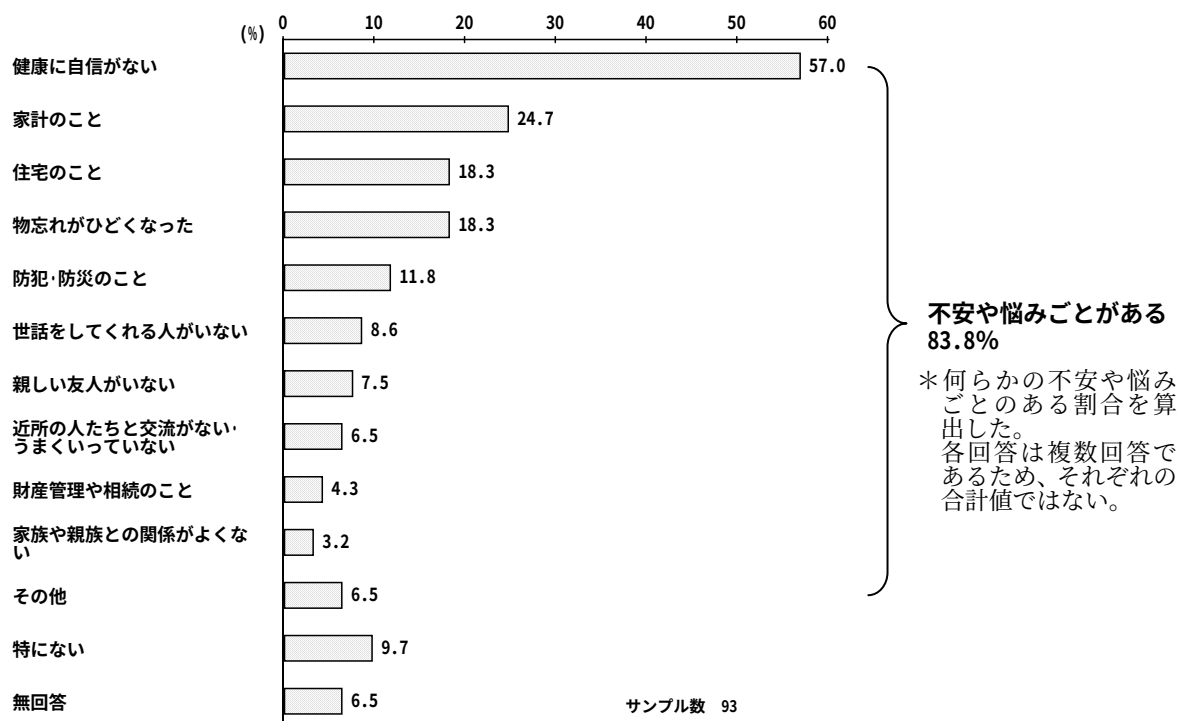
（8）日常生活について

①不安や悩み事（問 29、複数回答）

問 29 現在のあなた（あて名のご本人）は、次のような不安や悩みごとがありますか。

（あてはまるものすべてに○）

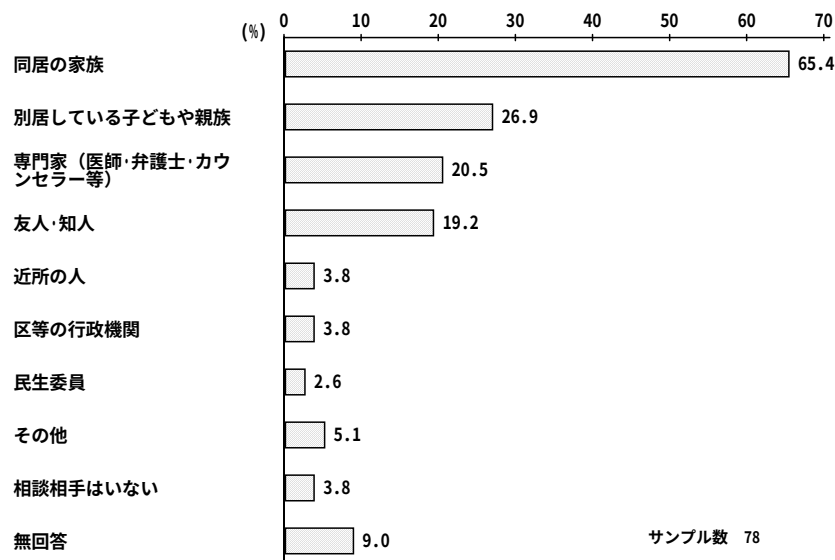
不安や悩み事がある人は 83.8%である。具体的な項目として「健康に自信がない」（57.0%）、「家計のこと」（24.7%）、「住宅のこと」（18.3%）、「物忘れがひどくなった」（18.3%）が主なものである。



②不安や悩み事の相談先（問 29－1、複数回答）

問 29－1 あなた（あて名のご本人）は、不安や悩みごとは誰に相談していますか。（あてはまるものすべてに○）

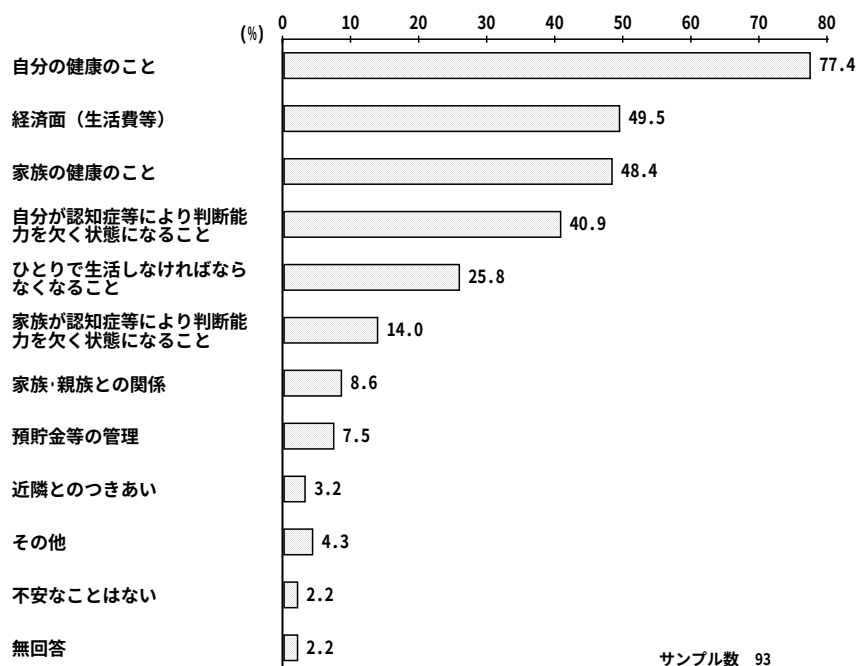
不安や悩み事がある人の相談先は、「同居の家族」が 65.4%で最も高く、次いで「別居している子どもや親族」（26.9%）、「専門家」（20.5%）である。一方「相談相手はいない」は 3.8%である。



③将来に対する不安（問 30、複数回答）

問 30 あなた（あて名のご本人）は、将来に対してどのようなことに不安がありますか。（あてはまるものすべてに○）

将来に対する不安は、「自分の健康のこと」が 77.4%で最も高い。次いで「経済面」（49.5%）、「家族の健康のこと」（48.4%）、「自分が認知症（痴呆）等により判断能力を欠く状態になること」（40.9%）の順となっている。

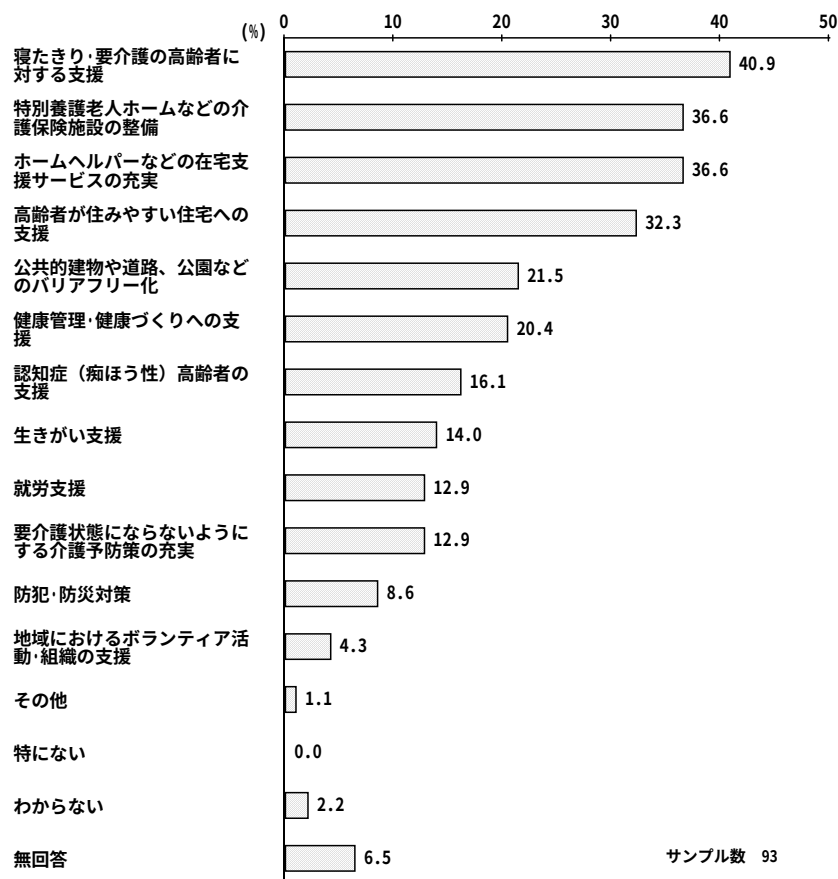


(9) 保健福祉施策について

①力を入れるべき高齢者施策（問 31、3つまで回答）

問 31 あなた（あて名のご本人）は、高齢者のための施策として、今後どのようなことに力を入れてほしいと思いますか。最も力を入れてほしいものを3つまで選んでください。（○は3つまで）

今後力を入れるべき高齢者施策としては、「寝たきり・要介護の高齢者に対する支援」（40.9%）、「特別養護老人ホーム等の介護保険施設の整備」（36.6%）、「ホームヘルパー等の在宅支援サービスの充実」（36.6%）、「高齢者が住みやすい住宅への支援」（32.3%）の割合が高い。次いで 20%以上の項目は、「公共的建物や道路、公園などのバリアフリー化」（21.5%）、「健康管理・健康づくりへの支援」（20.4%）である。



②高齢者保健福祉施策への意見・要望（問 32、自由回答）

問 32 高齢者保健福祉施策について、ご意見やご要望がございましたら、下欄にご記入ください。

項目別の主な意見は、次のとおりである。（合計 15 件）

生きがい社会参加	◇ 高齢者や障害者が社会的な催物、（例えば映画会、講演会等無料）に気楽に参加できるようなことを公共事業として行なってほしい。
介護介護保険制度	◇ 制度の見直しが良心的な利用者についても次第に厳しい方向になることは極力避けて頂きたい。
保健福祉サービス	◇ ホームヘルパー等、支援に係わる人々の質、量の充実を一層進めて頂きたい。 ◇ 区管理の特別養護老人ホームの充実を図って頂きたい。 ◇ 介護施設の空がなくて、なかなか入れなくて困った。 ◇ 送迎つきのリハビリ施設の増設。 ◇ リハビリだけの施設があると良い。 ◇ 80 才以上は特にサービスは必要ない、通常で良い。 ◇ 在宅介護サービスを充実させてもらいたい。 ◇ 65 才になっていないが、せめて医療費の負担を（福）扱いにしてほしい。 ◇ ひとり暮らし高齢者の自宅の支援の充実。

問 33 あなた（あて名のご本人）は、要介護認定の申請をされていますか。（○は1つ）

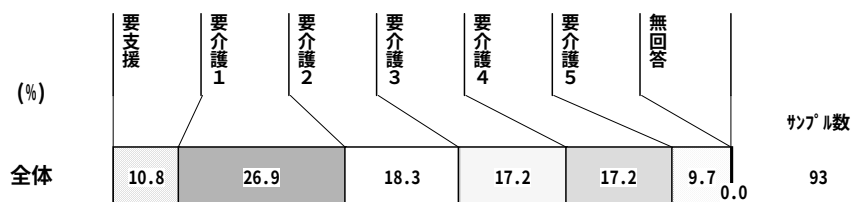
※ 「これから高齢期を迎える方の調査（要介護）」は、介護保険の認定を受けている方が対象のため、省略する。

（10）要介護状態について

①要介護度（問 34）

問 34 要介護認定の申請結果は、次のうちどれですか。（○は1つ）

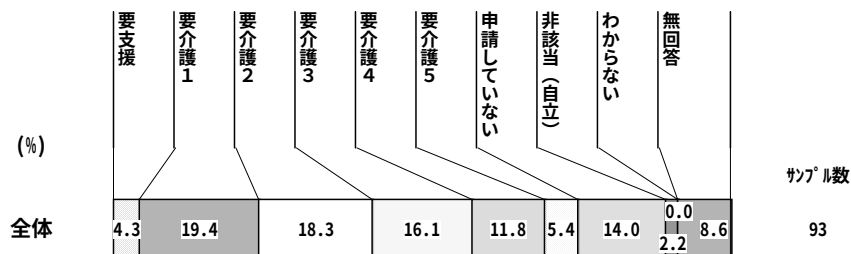
現在の要介護度は、「要支援」が 10.8%、「要介護 1」が 26.9%で、要介護及び要支援で 37.7%を占める。「要介護 2」は 18.3%、「要介護 3」は 17.2%、「要介護 4」は 17.2%、「要介護 5」は 9.7%である。



② 1年前の要介護度（問 35）

問 35 1年前（平成15年11月ごろ）の要介護度は次のうち、どれですか。（○は1つ）

1年前の要介護度は、「要介護認定を申請していない・自立」が 16.2%、「要支援」が 4.3%、「要介護1」が 19.4%、「要介護2」が 18.3%、「要介護3」が 16.1%、「要介護4」が 11.8%、「要介護5」が 5.4%である。1年前と現在が同じ要介護度の人は 56.9%である。



<要介護度別の比較>

1年前→		全体	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請していない	非該当(自立)	わからない	無回答
現在↓												
全体		93	4	18	17	15	11	5	13	2	0	8
		100.0	4.3	19.4	18.3	16.1	11.8	5.4	14.0	2.2	0.0	8.6
要介護度別	要支援	10	4	1	0	1	0	0	3	0	0	1
		100.0	40.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	30.0	0.0	0.0	10.0
	要介護1	25	0	16	4	0	0	0	3	1	0	1
		100.0	0.0	64.0	16.0	0.0	0.0	0.0	12.0	4.0	0.0	4.0
	要介護2	17	0	0	12	1	0	0	3	0	0	1
		100.0	0.0	0.0	70.6	5.9	0.0	0.0	17.6	0.0	0.0	5.9
	要介護3	16	0	1	0	8	1	1	2	1	0	2
		100.0	0.0	6.3	0.0	50.0	6.3	6.3	12.5	6.3	0.0	12.5
	要介護4	16	0	0	1	4	9	0	0	0	0	2
		100.0	0.0	0.0	6.3	25.0	56.3	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
	要介護5	9	0	0	0	1	1	4	2	0	0	1
		100.0	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	44.4	22.2	0.0	0.0	11.1

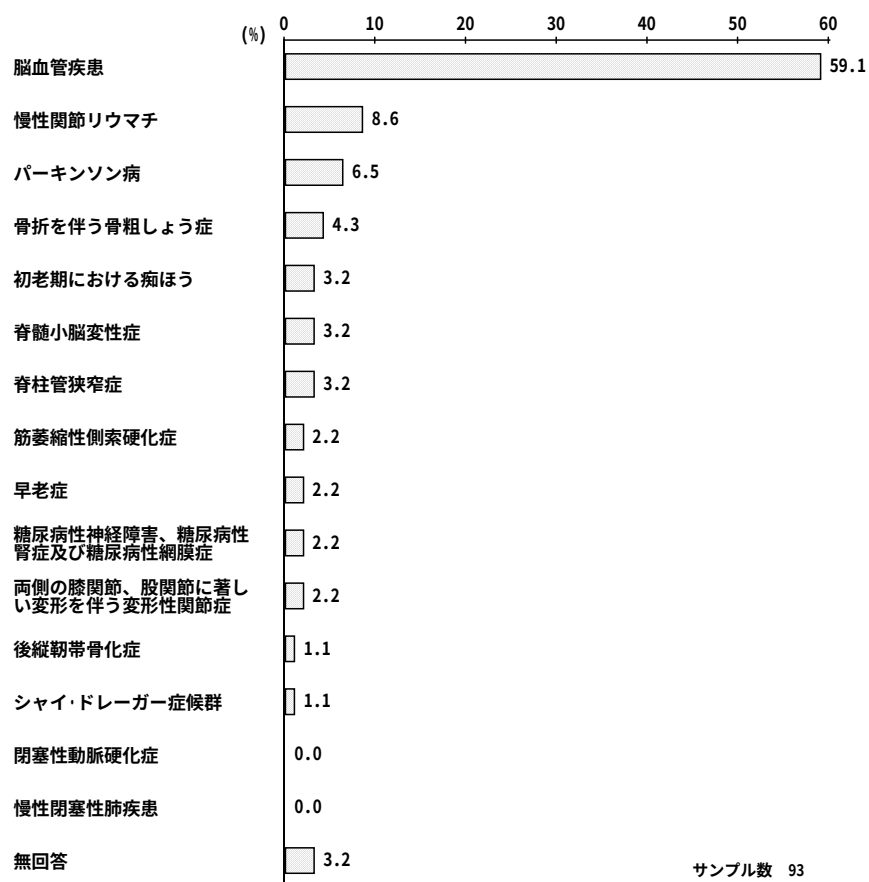
*アミカケは1年前と現在の要介護度が同じサンプル数と割合を表す。

*要介護度別のデータはサンプル数が少ないため参考値。

③要介護状態になった原因（問 36）

問 36 あなた（あて名のご本人）が要介護状態になった原因は、何ですか。（○は1つ）

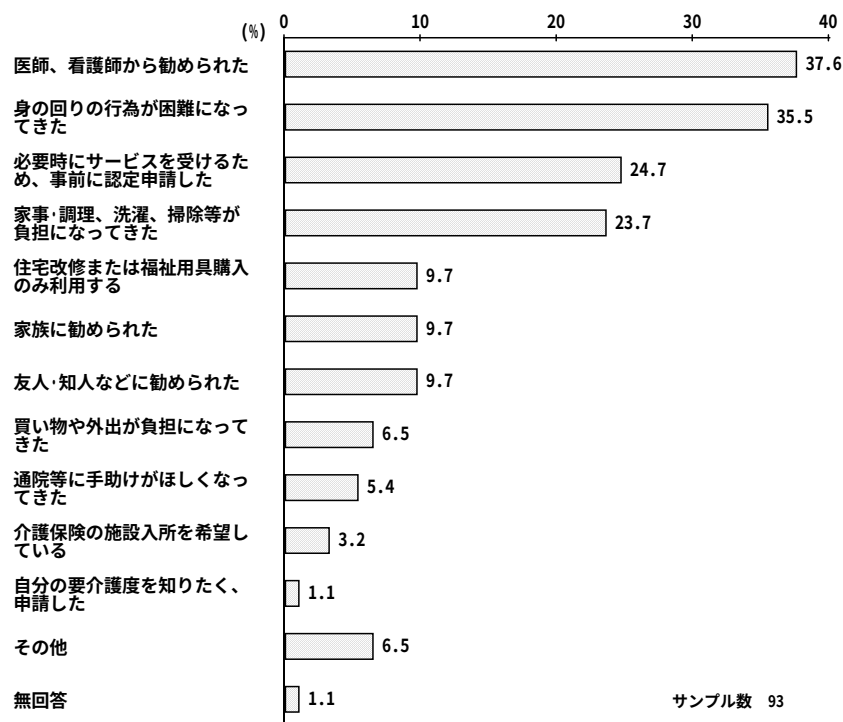
要介護状態になった原因は、「脳血管疾患」が59.1%を占め、次いで高いのは「慢性関節リウマチ」（8.6%）である。



④要介護認定申請の理由（問 37、2 つまで回答）

問 37 あなた（あて名のご本人）が、介護保険の要介護認定を申請した理由は何ですか。次のうち、あてはまるものに2つまで○をつけてください。（○は2つまで）

要介護認定の申請をした理由は、「医師、看護師から勧められた」（37.6%）、「身の回りの行為が負担になってきたから」（35.5%）、「必要時にサービスを受けるため事前に認定申請した」（24.7%）、「家事・料理、洗濯、掃除等が負担になってきたから」（23.7%）が主なものである。



問 38 あなた(あて名のご本人)は、次の施設に入所(入院)申し込みをしていますか。
(あてはまるものすべてに○)

施設の種類	割合 (%)
特別養護老人ホーム	7.5
一般の病院（医療保険での入院）	4.3
老人保健施設	3.2
療養病床	1.1
認知症（痴ほう性）高齢者グループホーム	1.1
有料老人ホーム	0.0
その他	4.3
施設への入所（入院）意向はない	52.7
無回答	29.0

サンプル数 93

問 38-1 申し込み理由はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

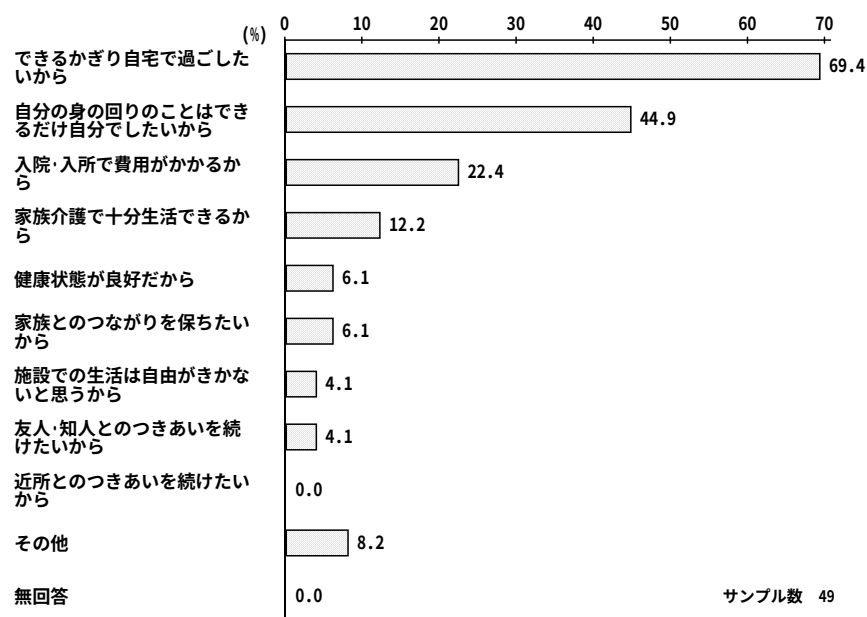
	全体	自己負担が少なくてすむ	家族が精神的に疲れている	家族が身体的に疲れている	家族の健康状態がよくなく在宅介護を十分受けられない	ひとり暮らしや高齢者世帯で在宅生活に不安を感じる	家族が働いているため、在宅介護を十分受けられない	入所待ちを見込み早めに入所を申し込む必要がある	介護者がいない等の理由で在宅介護を受けられない	リハビリ等が必要であり、医師等に入所をすすめられた	現在の住居が介護に適していない	その他	無回答
全体	11 100.0	5 45.5	4 36.4	4 36.4	3 27.3	3 27.3	2 18.2	2 18.2	1 9.1	1 9.1	1 9.1	1 9.1	1 9.1

273

⑦施設入所を希望しない主な理由（問 38－2、2つまで回答）

問 38－2 施設への入所を希望されない主な理由に2つまで○をつけてください。（○は2つまで）

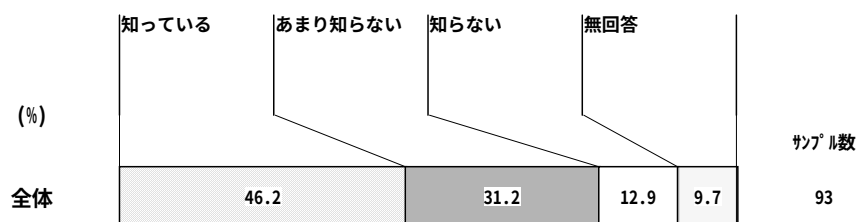
施設への入所（入院）を希望しない主な理由は「できるかぎり自宅で過ごしたいから」（69.4%）で、次いで「自分の身の回りのことはできるだけ自分でしたいから」（44.9%）となっている。



⑧ケアプランの認知（問 39－1）

問 39－1 あなた（あて名のご本人）は、ケアプランの内容をご存知ですか。（○は1つ）

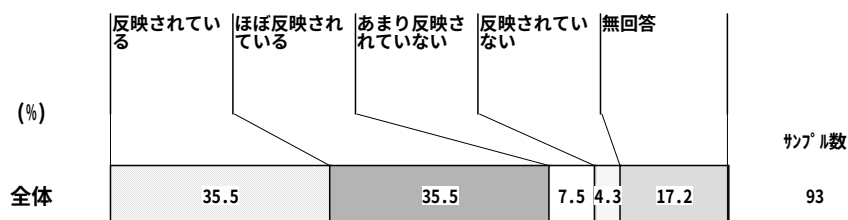
ケアプランの内容を「知っている」人が 46.2%で、「あまり知らない」人が 31.2%、「知らない」人が 12.9%である。



⑨ケアプランへの本人や家族の意見・要望の反映状況（問 39－2）

問 39－2 ケアプランの作成にあたり、あなた（あて名のご本人）やご家族の意見や要望は反映されていますか。（○は1つ）

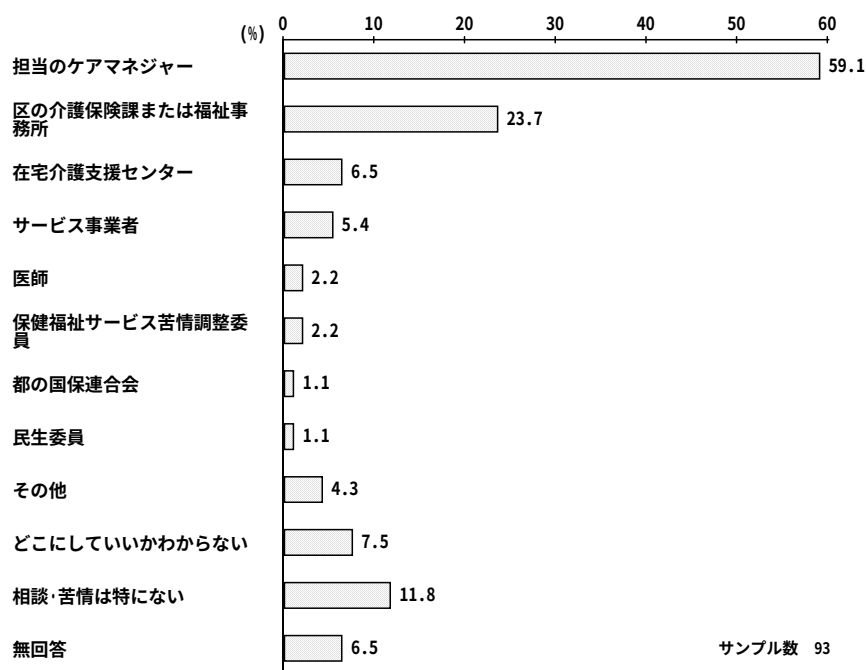
ケアプランに本人や家族の意見・要望が「反映されている」人が35.5%で、「ほぼ反映されている」人をあわせると71.0%となる。「あまり反映されていない」人は7.5%、「反映されていない」人は4.3%みられる。



⑩介護保険の相談・苦情先（問 40、複数回答）

問 40 あなた（あて名のご本人）は、介護保険に関する相談・苦情をどこにしていますか。（あてはまるものすべてに○）

介護保険に関する相談や苦情は「担当のケアマネジャー」にする人が最も高く 59.1%である。「区の介護保険課または福祉事務所」は23.7%である。



⑪利用している介護サービスへの注文・意見（問 41、自由回答）

問 41 あなた（あて名のご本人）が現在、利用されている介護サービスについて、苦情以外で何かご注文やご意見はありますか。ご自由にご記入ください。（主な利用サービス2つまで）

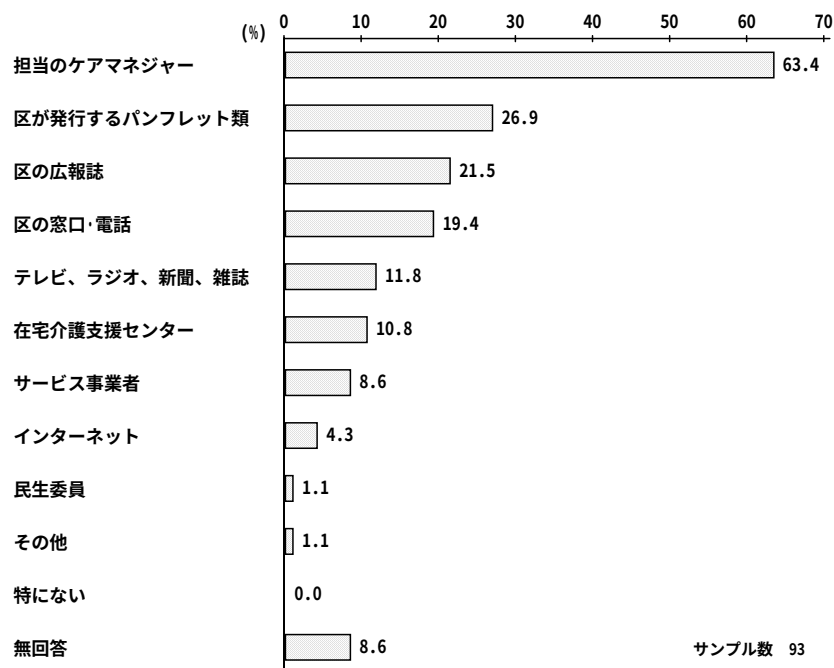
サービス別の主な意見は、次のとおりである。（回答者 15 人）

訪問介護	◇ できる範囲を広げてほしい。（医療行為など）
	◇ 何をしてくれるのか内容区分が不明確だ。
デイサービス	◇ リハビリの時間が短い。
その他	◇ 施設で働いている職員を改善してほしい。

⑫介護保険制度・サービス事業者に関する情報の入手先（問 42、複数回答）

問 42 あなた（あて名のご本人）は、介護保険の制度やサービス事業者等に関する情報は、どこから得ていますか。（あてはまるものすべてに○）

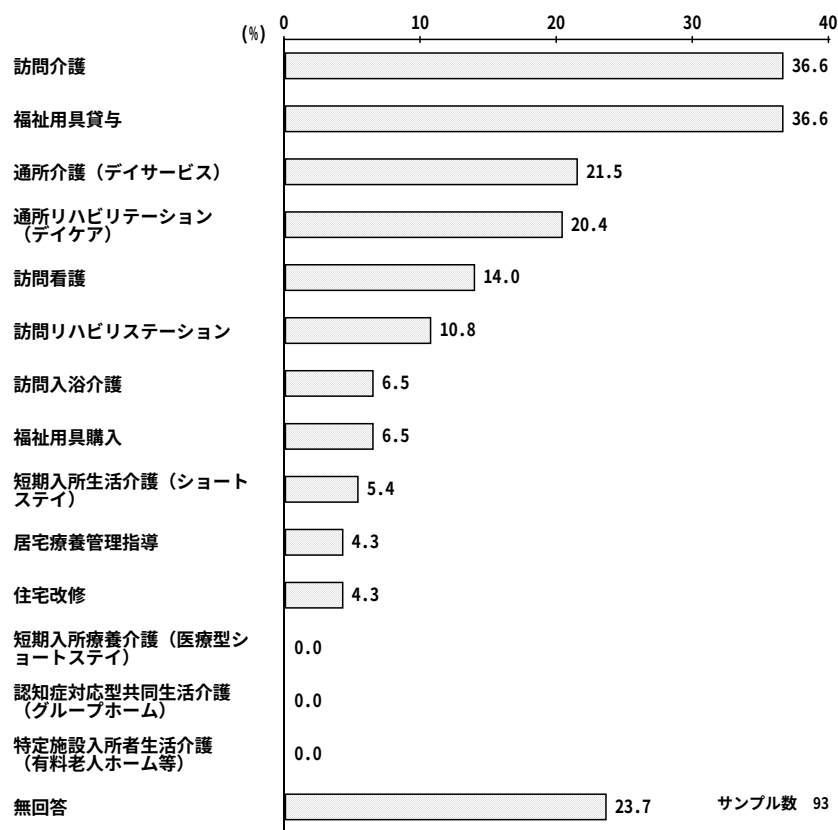
介護保険制度やサービス事業者に関する情報入手先は「担当のケアマネジャー」が最も高く 63.4% である。次いで「区が発行するパンフレット類」（26.9%）、「区の広報誌」（21.5%）、「区の窓口・電話」（19.4%）となっている。



⑬平成 16 年 10 月に受けた介護サービス（問 43、複数回答）

問 43 介護サービスについておたずねします。あなた（あて名のご本人）が先月（平成16年10月）に受けていた介護サービスは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

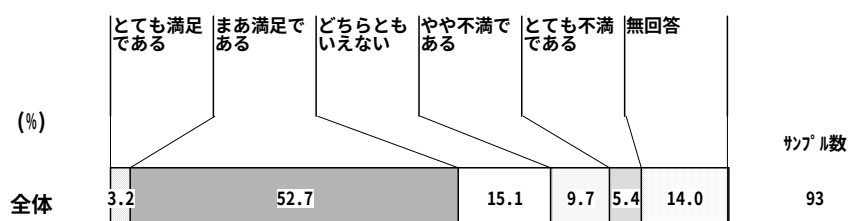
調査実施直前の1月間に受けていた介護サービスは、「訪問介護」（36.6%）、「福祉用具貸与」（36.6%）、「通所介護」（21.5%）、「通所リハビリテーション」（20.4%）が主なものである。



⑭介護サービスの満足度（問 44）

問 44 あなた（あて名のご本人）は、現在の介護サービスに満足していますか。（○は1つ）

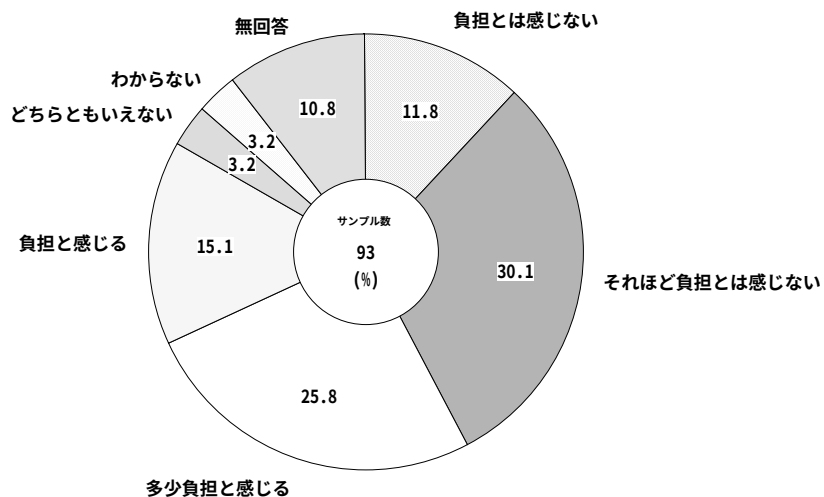
現在の介護サービスについて「とても満足である」は 3.2%で、「まあ満足である」をあわせると 55.9%は満足している。「どちらともいえない」が 15.1%で、「やや不満である」が 9.7%、「とても不満である」が 5.4%みられる。



⑮介護サービス利用料の負担感（問 45）

問 45 あなた（あて名のご本人）は、介護サービスの利用料1割負担分についてどのように感じていますか。
（○は1つ）

介護サービス利用料については「負担とは感じない」人が11.8%で、「それほど負担とは感じない」人をあわせると41.9%となる。「多少負担と感じる」人は25.8%、「負担と感じる」人は15.1%である。



⑩介護保険への意見・要望（問 46、自由回答）

問 46 介護保険について、ご意見やご要望がございましたら、下欄にご記入ください。

項目別の主な意見は、次のとおりである。（回答者 23 人）

費用負担	◇ 2005 年に介護保険の見直しがあるが、所得に応じての介護保険料徴収を希望する。 ◇ 介護保険の見直しに当たっては、難病患者、低、中間所得層世帯の利用料の自己負担額 100%であってさえ使いたくても利用枠まで費用を使えず苦しい療養生活費に響いている実態を勘案し、保険料、利用料を軽減するよう強く要望する。
認定・審査	◇ 特別養護老人ホームの入所基準について、受け入れ施設の恣意的な考えを反映させる要素がある。第三者が受け入れの是非を決定出来る施策を考えるべき。
内容	◇ 緊急ショートステイも介護保険の適用が出来たらもっといい。 ◇ 通院も保険を使えるようにする。 ◇ リハビリだけの（時間が短い）施設を希望している人が多数いる。 ◇ ショートステイでの利用時、少々びっくりするような介護を受けていることがある。職員の少なさや教育不足が問題だと感じる。 ◇ 訪問リハビリを受けたが、1 時間ということなのに 30～40 分で終了していく。時間はきっちりとリハビリをしていただきたい。 ◇ リハビリに力が注がれていない。民間の施設のリハビリサービスを抜本的に助成又は育成してほしい。それが不可能なら、以前の身障者福祉センターのリハビリの適用を復活して欲しい。 ◇ 訪問介護の質が低い。ヘルパーが日替わりで、ムラがありすぎる。（調理の出来、不出来、掃除の出来、不出来） ◇ 単価がすべて高価に設定されている。 ◇ 通院などで時間がかかる場合があるので、枠をもっとふやしてほしい。 ◇ 家族につきそってもらって通院出来ない時のタクシー代の減額。 ◇ ヘルパーの 1 時間の料金が高すぎる。 ◇ トイレの改修が和式→洋式のみは納得できない。介護上ウォシュレットは必要。洋式→ウォシュレットも認めてもらいたい。 ◇ ホームヘルパー利用のきまりが、多すぎて利用しにくい。 ◇ リハビリの為の通院が経済的にも負担になる。自宅で受けられる訪問リハビリを考えて欲しい。 ◇ レンタル用具（車イス、ベッド等）どの業者の価格を見てもほぼ同額であり、業者の談合価格とも考えられる。
手続き	◇ 介護保険の利用方法が複雑である。器具を購入しただけで認定を受けたが、欲しい時には利用出来る様にしてもらいたい。 ◇ ケアマネジャーの方も受けてからこちらで連絡をしないと利用出来ない。考えているうちに、認定期間が切れてしまう。再発行してもらえる為には、また初めから申請するのか。もう少し簡単に利用出来るようにしてほしい。
その他	◇ 介護保険施設の支援整備の充実をしてほしい。

Ⅱ 調査結果

6 介護保険サービス事業者調査

6 介護サービス事業所調査（介護保険サービス事業者調査）

<調査結果の概要>

《新予防給付等について》

- ◆ 居宅介護支援事業所（98 件）のうち予防居宅介護支援に参入予定は 25 件（25.5%）である。また、サービス利用者のうち新予防給付へ転換する割合は「1～2割」が 10 件（40.0%）を占めた。
【問 6-1 P.288・問 6-1① P.289】
- ◆ 訪問介護事業所（94 件）のうち予防訪問介護に参入予定は 31 件（33.0%）である。また、サービス利用者のうち新予防給付へ転換する割合は「1～2割」が 8 件（25.8%）を占める。参入を検討している地域密着型サービスとして「小規模多機能型居宅介護」15 件（16.0%）、「地域夜間訪問介護」12 件（12.8%）があげられている。【問 7-1 P.291・問 7-1① P.291・問 7-3 P.293】
- ◆ 通所介護事業所（41 件）のうち予防通所介護に参入予定は 22 件（53.7%）である。また、サービス利用者のうち新予防給付へ転換する割合は「1～2割」が 6 件（27.3%）を占める。参入を検討している地域密着型サービスとしては「小規模多機能型居宅介護」9 件（22.0%）があげられている。
【問 8-2 P.294・問 8-2① P.294・問 8-4 P.296】
- ◆ 通所リハビリテーション事業所（8 件）のうち予防通所リハビリテーションに参入予定は 2 件（25.0%）である。参入を検討している地域密着型サービスは「認知症高齢者専用デイサービス」と「小規模多機能型居宅介護」がそれぞれ 2 件（25.0%）である。【問 9-1 P.296・問 9-3 P.298】
- ◆ 介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設入所者生活介護（計 28 件）のうち、ユニット化の計画が 3 件（10.7%）ある。昨年 1 年間の退所率は平均すると 29.0%で、ターミナルケアを施設内で実施しているのは 13 件（46.4%）である。
【問 10-4 P.300・問 10-5 P.300・問 10-7 P.301】
- ◆ 認知症対応型共同生活介護（3 件）については、平均施設定員 14.0 人に対し、区民の利用は 6.7 人（47.9%）である。【問 11 P.301】

《地域との関わりについて》

- ◆ 地域との関わりは「事業所の近隣の団体や組織」とが 57.7%、「利用者の居住地域の団体や組織」とが 16.5%で、「民生委員」「自治会・町会」「ボランティア・NPO 団体」との関わりが多い。「特にない」が 33.1%と全体の 3 割を占めている。【問 17 P.307・問 17-1 P.308】

《要医療・認知症・障害等を有する利用者への対応について》

- ◆ 要医療、認知症、障害等を有する利用者への対応については、「専門の関係機関と常に連携をとり緊急時の対応ができる」が 54.0%、「専門のスタッフを配置し、対応可能である」が 23.5%である。「特段の対応は図っていない」は 14.0%である。【問 19 P.311】

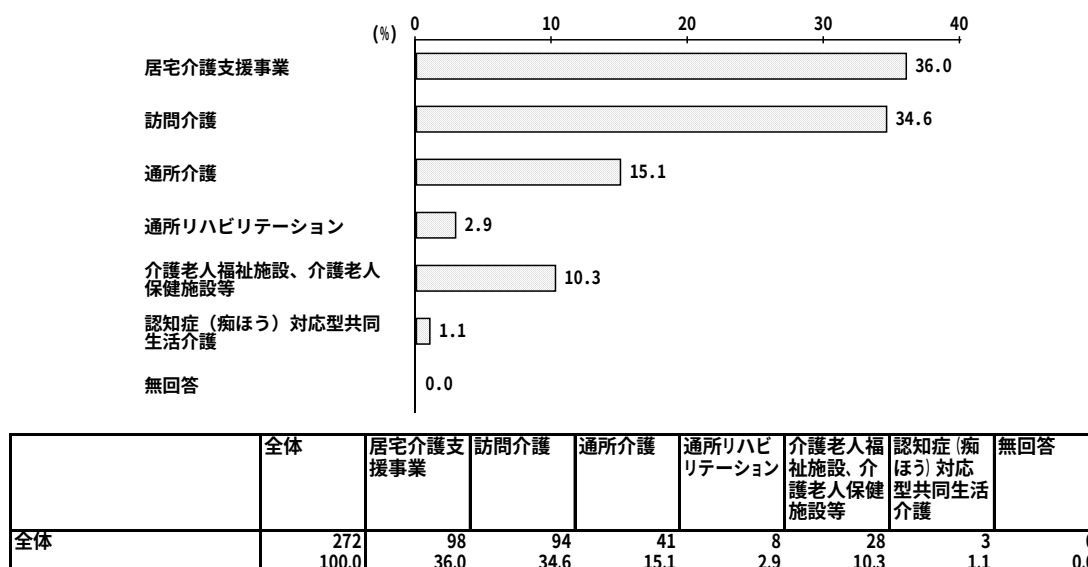
<調査結果から得られた主な課題>

- ◇ 新設される予防関連事業への参入予定については、対象業種のうち通所介護事業所が予防通所介護に 53.7%の参入予定で高いほかは、いずれの事業所も割合は高くなく、「検討中」との回答割合が高かった。自由回答では新制度に関する情報が不足していることをうかがわせる内容、現行制度の見直しを不安がる内容もみられ、判断を留保している状況がうかがえる。事業所への情報提供や意見交換をきめ細かく行うことが課題である。
- ◇ 地域との関わりでは、全体の 3 割の事業者が特に関わっていない状況にある。日頃からの連携があってこそ非常災害時等での対応も可能になり、さらに地域との連携を充実していくことが望まれる。

(1) 組織・機関について

①事業所の種類

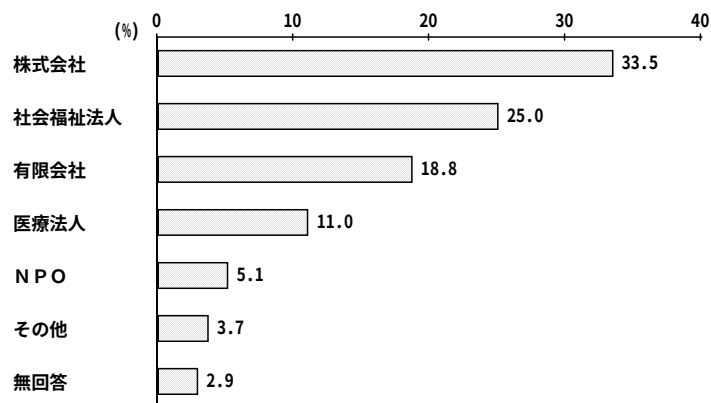
調査対象の事業所の種類は、「居宅介護支援事業」が98件(36.0%)、「訪問介護」が94件(34.6%)でこの2つで7割を占める。



②運営主体 (問1)

問1 運営主体は、次のどれですか。(1つに○)

事業所の運営主体は、「株式会社」が91件(33.5%)で最も高く、「有限会社」51件(18.8%)とあわせると142件(52.3%)は会社運営である。「社会福祉法人」は68件(25.0%)、「医療法人」は30件(11.0%)、「NPO」は14件(5.1%)である。



<事業所種類別の比較>

	全体	株式会社	社会福祉法人	有限会社	医療法人	NPO	その他	無回答
全体	272 100.0	91 33.5	68 25.0	51 18.8	30 11.0	14 5.1	10 3.7	8 2.9
居宅介護支援事業	98 100.0	33 33.7	21 21.4	21 21.4	11 11.2	3 3.1	5 5.1	4 4.1
訪問介護	94 100.0	43 45.7	9 9.6	26 27.7	3 3.2	7 7.4	4 4.3	2 2.1
通所介護	41 100.0	8 19.5	24 58.5	4 9.8	1 2.4	3 7.3	1 2.4	0 0.0
通所リハビリテーション	8 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 87.5	0 0.0	0 0.0	1 12.5
介護老人福祉施設、 介護老人保健施設等	28 100.0	5 17.9	14 50.0	0 0.0	8 28.6	0 0.0	0 0.0	1 3.6
認知症対応型共同生活介護	3 100.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0

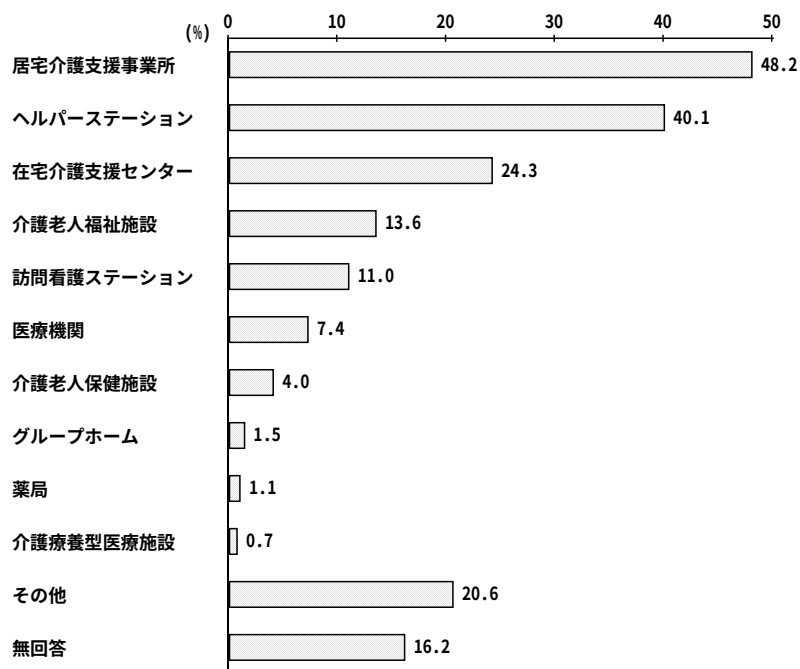
上段：実数
下段：%

*通所リハビリテーション、介護老人福祉施設等、認知症対応型共同生活介護はサンプル数が少ないため参考値。

③併設されている機能（問2、複数回答）

問2 貴事業所で併設されているものはありますか。（あてはまるものに○）

併設されている機能としては、「居宅介護支援事業所」が131件（48.2%）、「ヘルパーステーション」が109件（40.1%）で高い。「在宅介護支援センター」は66件（24.3%）である。



<事業所種類別の比較>

上段：実数
下段：%

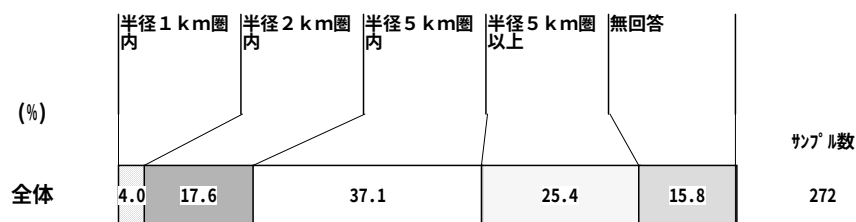
	全体	居宅介護支援事業所	ヘルパーステーション	在宅介護支援センター	介護老人福祉施設	訪問看護ステーション	医療機関	介護老人保健施設	グループホーム	薬局	介護療養型医療施設	その他	無回答
全体	272	131	109	66	37	30	20	11	4	3	2	56	44
	100.0	48.2	40.1	24.3	13.6	11.0	7.4	4.0	1.5	1.1	0.7	20.6	16.2
居宅介護支援事業	98	29	53	15	10	14	8	3	2	2	1	25	7
	100.0	29.6	54.1	15.3	10.2	14.3	8.2	3.1	2.0	2.0	1.0	25.5	7.1
訪問介護	94	56	26	14	7	5	2	1	0	1	0	14	19
	100.0	59.6	27.7	14.9	7.4	5.3	2.1	1.1	0.0	1.1	0.0	14.9	20.2
通所介護	41	28	16	21	13	3	1	0	1	0	0	7	10
	100.0	68.3	39.0	51.2	31.7	7.3	2.4	0.0	2.4	0.0	0.0	17.1	24.4
通所リハビリテーション	8	3	3	3	0	3	5	5	0	0	0	0	1
	100.0	37.5	37.5	37.5	0.0	37.5	62.5	62.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
介護老人福祉施設、 介護老人保健施設等	28	15	10	13	7	5	4	2	0	0	1	9	6
	100.0	53.6	35.7	46.4	25.0	17.9	14.3	7.1	0.0	0.0	3.6	32.1	21.4
認知症対応型共同生活介護	3	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
	100.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3

*通所リハビリテーション、介護老人福祉施設等、認知症対応型共同生活介護はサンプル数が少ないため参考値。

④区内営業エリア（問3）

問3 貴事業所の区内営業エリアをお答えください。（1つに○）

区内での営業エリアをみると、半径 5km までの合計で 160 件（58.7%）を占める。「半径 5km 圏以上」は 69 件（25.4%）である。



<事業所種類別の比較>

	全体	半径1km圏内	半径2km圏内	半径5km圏内	半径5km圏以上	無回答	上段：実数 下段：%
全体	272 100.0	11 4.0	48 17.6	101 37.1	69 25.4	43 15.8	
居宅介護支援事業	98 100.0	4 4.1	22 22.4	37 37.8	24 24.5	11 11.2	
訪問介護	94 100.0	3 3.2	16 17.0	34 36.2	26 27.7	15 16.0	
通所介護	41 100.0	1 2.4	9 22.0	21 51.2	5 12.2	5 12.2	
通所リハビリテーション	8 100.0	0 0.0	1 12.5	4 50.0	1 12.5	2 25.0	
介護老人福祉施設、 介護老人保健施設等	28 100.0	2 7.1	0 0.0	5 17.9	12 42.9	9 32.1	
認知症対応型共同生活介護	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	

＊通所リハビリテーション、介護老人福祉施設等、認知症対応共同生活介護はサンプル数が少ないため参考値。

⑤職員数（問4）

問4 貴事業所の職員数をご記入ください。なお兼務の場合は、カッコ内に兼務者の人数をご記入ください。（あてはまるものに人数）

事業所の種類別の職員数の平均値は以下のとおりである。

＊通所リハビリテーション、介護老人福祉施設等、認知症対応共同生活介護はサンプル数が少ないため参考値。

常勤職員

	全体	居宅介護支援事業	訪問介護	通所介護	通所リハビリテーション	介護老人福祉施設、 介護老人保健施設等	認知症（病 ほう）対応 型共同生活 介護
サンプル数	268	97	92	41	8	27	3
管理者	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.2	1.0
サービス提供責任者	1.1	0.6	2.4	0.1	0.1	0.1	0.0
介護支援専門員	1.2	1.9	0.6	0.6	1.0	2.2	1.0
ヘルパー1級	0.4	0.1	0.6	0.2	0.3	1.3	0.3
ヘルパー2級	3.5	1.0	5.4	1.2	6.6	8.7	4.7
ヘルパー3級	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0
保健師	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
看護師	0.6	0.4	0.1	0.5	1.4	3.3	0.0
准看護師	0.5	0.3	0.0	0.2	0.9	2.9	0.0
社会福祉士	0.2	0.1	0.1	0.5	0.1	0.6	0.0
介護福祉士	1.7	0.4	1.0	1.7	1.8	8.2	2.3
理学療法士	0.1	0.1	0.0	0.0	1.0	0.5	0.0
作業療法士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.2	0.0
管理栄養士	0.1	0.0	0.0	0.1	0.4	0.9	0.0
事務職員	0.6	0.5	0.3	0.4	1.4	2.1	0.0
相談員	0.4	0.1	0.0	1.3	1.0	1.7	0.0
医師	0.1	0.0	0.0	0.0	0.8	0.6	0.0
介護職	1.5	0.1	0.7	1.3	4.0	8.5	2.0
栄養士	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.5	0.0
機能訓練指導員	0.2	0.1	0.0	0.4	0.3	0.6	0.0
薬剤師	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0
その他	0.3	0.1	0.0	0.3	0.1	1.6	0.0

＊人数の無回答は集計から除外した。

平均値（人）

常勤職員のうち兼務者

	全体	居宅介護支援事業	訪問介護	通所介護	通所リハビリテーション	介護老人福祉施設、介護老人保健施設等	認知症(痴呆)対応型共同生活介護
サンプル数	268	97	92	41	8	27	3
管理者	0.6	0.7	0.5	0.6	0.5	0.6	0.3
サービス提供責任者	0.3	0.2	0.6	0.0	0.0	0.1	0.0
介護支援専門員	0.6	1.0	0.2	0.2	0.9	1.4	0.3
ヘルパー1級	0.1	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
ヘルパー2級	0.3	0.1	0.5	0.2	0.3	0.6	0.0
ヘルパー3級	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
保健師	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
看護師	0.1	0.2	0.1	0.1	0.3	0.1	0.0
准看護師	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
社会福祉士	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.2	0.0
介護福祉士	0.3	0.2	0.4	0.2	0.0	0.6	0.0
理学療法士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.1	0.0
作業療法士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0
管理栄養士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
事務職員	0.2	0.2	0.1	0.3	0.6	0.5	0.0
相談員	0.2	0.0	0.0	0.6	0.5	0.5	0.0
医師	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.1	0.0
介護職	0.2	0.0	0.0	0.6	0.3	0.6	0.0
栄養士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
機能訓練指導員	0.1	0.1	0.0	0.3	0.0	0.1	0.0
薬剤師	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
その他	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0

非常勤職員

	全体	居宅介護支援事業	訪問介護	通所介護	通所リハビリテーション	介護老人福祉施設、介護老人保健施設等	認知症(痴呆)対応型共同生活介護
サンプル数	268	97	92	41	8	27	3
管理者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス提供責任者	0.1	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
介護支援専門員	0.3	0.6	0.2	0.0	0.1	0.2	0.0
ヘルパー1級	0.2	0.1	0.5	0.1	0.1	0.0	0.0
ヘルパー2級	9.8	4.5	17.9	5.1	3.9	10.4	3.0
ヘルパー3級	0.3	0.1	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0
保健師	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
看護師	0.5	0.3	0.1	1.1	1.3	1.3	0.0
准看護師	0.3	0.1	0.1	0.3	0.5	1.3	0.0
社会福祉士	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
介護福祉士	0.5	0.1	0.7	0.4	0.1	1.3	0.3
理学療法士	0.2	0.0	0.0	0.4	0.6	0.6	0.0
作業療法士	0.1	0.0	0.0	0.1	0.4	0.2	0.0
管理栄養士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0
事務職員	0.3	0.2	0.3	0.3	0.6	1.1	0.0
相談員	0.1	0.1	0.1	0.2	0.0	0.1	0.0
医師	0.3	0.2	0.0	0.3	0.9	1.5	0.0
介護職	1.6	0.1	0.8	2.7	2.9	7.9	0.0
栄養士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
機能訓練指導員	0.3	0.1	0.0	1.1	0.1	0.6	0.0
薬剤師	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2	0.0
その他	0.7	0.1	0.0	2.4	1.0	2.6	0.0

非常勤職員のうち兼務者

	全体	居宅介護支援事業	訪問介護	通所介護	通所リハビリテーション	介護老人福祉施設、介護老人保健施設等	認知症(痴呆)対応型共同生活介護
サンプル数	268	97	92	41	8	27	3
管理者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス提供責任者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
介護支援専門員	0.1	0.2	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0
ヘルパー1級	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ヘルパー2級	0.5	0.1	0.4	0.8	0.0	1.8	0.0
ヘルパー3級	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
保健師	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
看護師	0.1	0.1	0.0	0.3	0.3	0.1	0.0
准看護師	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
社会福祉士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
介護福祉士	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0
理学療法士	0.1	0.0	0.0	0.1	0.4	0.2	0.0
作業療法士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0
管理栄養士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
事務職員	0.1	0.1	0.2	0.1	0.0	0.3	0.0
相談員	0.1	0.1	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0
医師	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.2	0.0
介護職	0.3	0.0	0.0	0.5	0.0	1.9	0.0
栄養士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
機能訓練指導員	0.1	0.1	0.0	0.4	0.0	0.4	0.0
薬剤師	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0

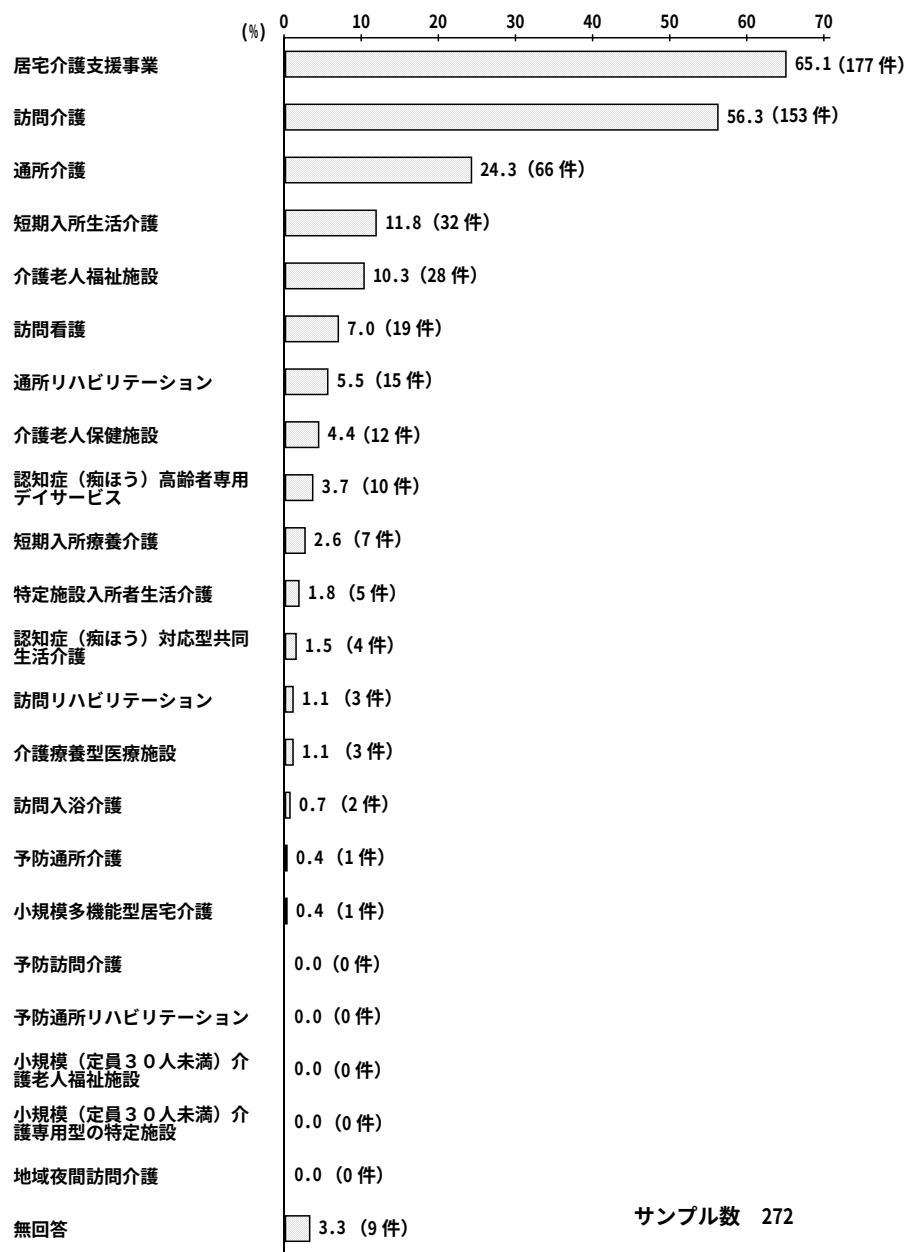
*人数の無回答は集計から除外した。

平均値 (人)

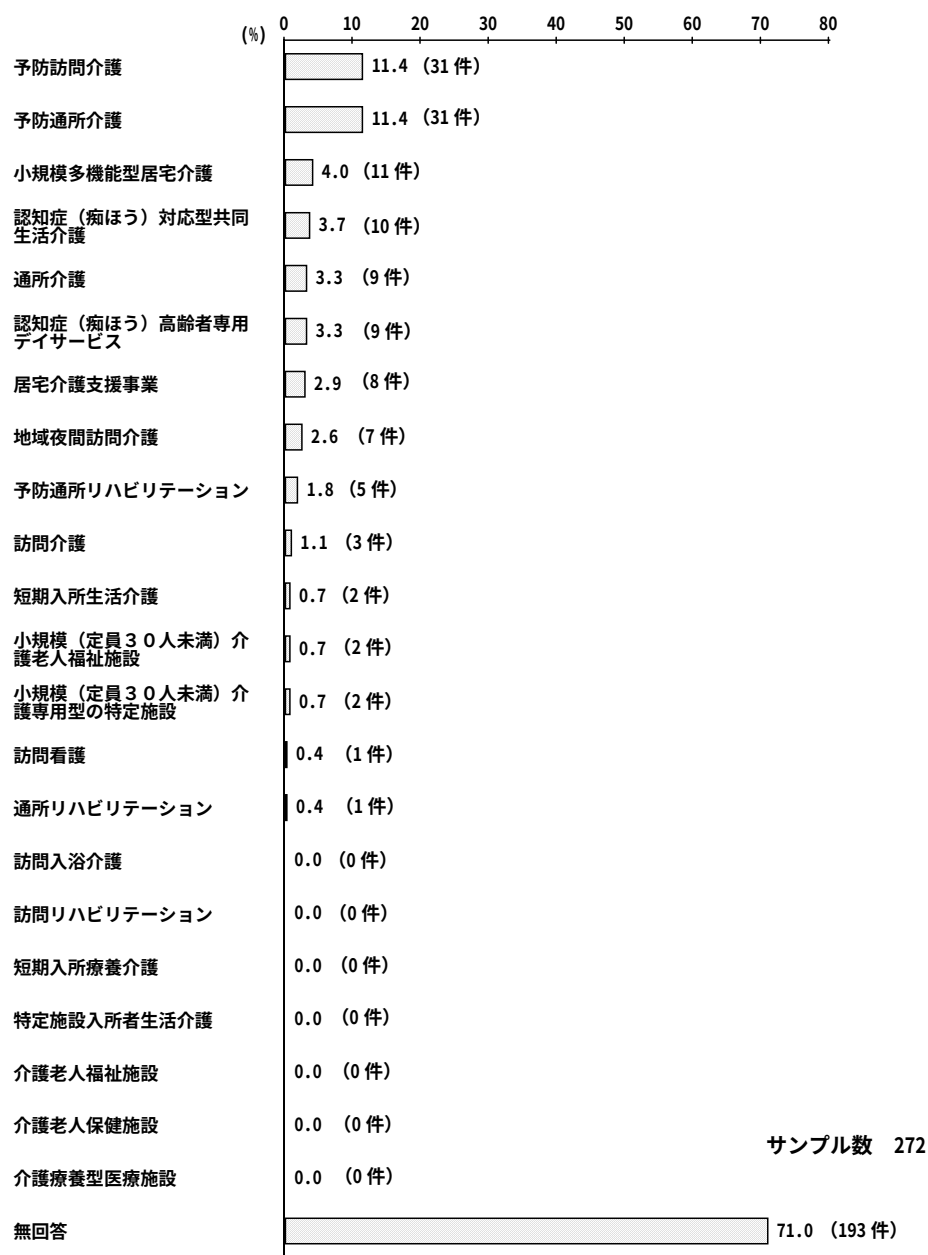
⑥現在実施しているサービス（問5、複数回答）

問5 「現在実施しているサービス」「今後実施する予定(平成20年度末までに)のサービス」について、それぞれあてはまる番号に○をつけてください。また、今後実施する予定の事業については、その事業開始予定時期に○をつけてください。

現在実施しているサービスは、「居宅介護支援事業」が177件(65.1%)、「訪問介護」が153件(56.3%)である。



今後実施予定のサービスとしては、「予防訪問介護」が 31 件（11.4%）、「予防通所介護」が 31 件（11.4%）で高い。「小規模多機能型居宅介護」は 11 件（4.0%）である。また無回答が 71.0%あった。



実施予定のあるサービスの事業開始予定時期は以下のとおりである。平成 17 年度および平成 18 年度からの取り組みを考えている事業所が多い。

	全体	17年度	18年度	19年度	20年度	無回答	
居宅介護支援事業	8	5	1	2	0	0	上段：実数 下段：%
	100.0	62.5	12.5	25.0	0.0	0.0	
訪問介護	3	1	1	0	0	1	
	100.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	
予防訪問介護	31	-	24	2	0	5	
	100.0	-	77.4	6.5	0.0	16.1	
訪問看護	1	0	1	0	0	0	
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
通所介護	9	5	2	1	1	0	
	100.0	55.6	22.2	11.1	11.1	0.0	
予防通所介護	31	-	25	3	1	2	
	100.0	-	80.6	9.7	3.2	6.5	
通所リハビリテーション	1	0	0	0	1	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
予防通所リハビリテーション	5	-	5	0	0	0	
	100.0	-	100.0	0.0	0.0	0.0	
短期入所生活介護	2	0	2	0	0	0	
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
認知症（痴ほう）対応型共同生活介護	10	2	5	0	1	2	
	100.0	20.0	50.0	0.0	10.0	20.0	
小規模（定員30人未満）介護老人福祉施設	2	1	0	0	0	1	
	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	
小規模（定員30人未満）介護専用型の特定施設	2	0	2	0	0	0	
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
認知症（痴ほう）高齢者専用デイサービス	9	2	4	2	1	0	
	100.0	22.2	44.4	22.2	11.1	0.0	
小規模多機能型居宅介護	11	-	5	2	2	2	
	100.0	-	45.5	18.2	18.2	18.2	
地域夜間訪問介護	7	-	5	2	0	0	
	100.0	-	71.4	28.6	0.0	0.0	

※各サービスの回答者数が少ないため参考値。

（２）居宅介護支援事業について

①区内サービス利用者数（問６）

問６ 現在（平成 17 年 1 月現在）の貴事業所の練馬区内のサービス利用者数（定員と実人数）をそれぞれご記入ください。

練馬区内のサービス利用者定員の平均は 88.6 人、区内利用実人数の平均は 81.0 人である。要介護度別の平均値をもとに構成比を計算したところ、「要支援」および「要介護 1」が区内利用実人数の 53.4%を占める。

	サンプル数	平均値	要介護度別の平均値の構成比（%）					
			要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
区内定員	56	88.6人	-	-	-	-	-	-
区内利用実人数	91	81.0人	11.8	41.6	17.5	13.2	8.9	7.0

※数値の記入のある調査票を元に平均値を算出した。そのため「区内定員」と「区内利用実人数」のサンプル数が異なる。
※要介護度別の平均値については、以下の設問においても同様に算出している。

②予防居宅介護支援への参入意向（問６－１）

問６－１ 新たに創設が予定されている「予防居宅介護支援」についてはどのようにお考えですか。（1つに○）

予防居宅介護支援について「参入を予定している」事業所は 25 件（25.5%）であり、「検討中」が 47 件（48.0%）である。

（%）	参入を予定している	検討中	参入の予定はない	無回答	サンプル数
	(25 件)	(47 件)	(13 件)	(13 件)	
全体	25.5	48.0	13.3	13.3	98

③予防居宅介護支援への転換割合（問6－1①）

問6－1① 現行の居宅介護支援利用者からの転換を勧める場合、練馬区内の利用者のうち、何割くらいの転換を想定されていますか。（1つに○）

練馬区内利用者のうち、現行の居宅介護支援利用者から転換を勧める割合は、「1～2割」「3～4割」との回答割合が高い。

	全体	1割以下	1～2割	3～4割	5～6割	7～8割	8割以上	無回答
全体	25 100.0	0 0.0	10 40.0	10 40.0	2 8.0	1 4.0	1 4.0	1 4.0

*サンプル数が少ないため参考値。

上段：実数
下段：%

④現在の介護予防の取り組み（問6－1②、自由回答）

問6－1② ケアプラン作成に際して、現在介護予防として具体的に取り組んでいることはありますか。貴事業所での取り組みについてご記入ください。

主な回答は以下のとおりである。

ケアプランの内容の工夫	◇ 自立をめざしたケアプランを作成している。 ◇ 医師の意見書を参考にケアプランを組み立てる。 ◇ 通所介護、訪問リハビリ、デイサービス、筋力トレーニングを取り入れている。 ◇ 食事のバランスを考慮している。 ◇ フットケア目的での足浴を実施している。 ◇ 口腔ケア指導。 ◇ 安全に過ごせる環境づくりのために住宅改修、福祉用具の活用。
利用者・家族との関係強化	◇ 家族との連携を密にしている。（記録ノートの交換） ◇ 介護予防についての啓発。
本人の意識を変える	◇ 本人に役割意識を持ってもらう。 ◇ ヘルパーと一緒に作業に取り組んでもらう。 ◇ 家事援助はできない部分の援助となるよう心がけている。 ◇ 閉じこもり予防に、地域での活動や趣味活動への参加を促す。
事業所内の能力向上	◇ ケアカンファレンスの実施。 ◇ 介護予防に関する情報収集、研修会への参加。

⑤ 居宅介護支援における医療との連携（問 6－2、自由回答）

問 6－2 居宅介護支援を実施するに際して、医療との連携をどのように行っていますか。貴事業所での取り組みについて、ご記入ください。

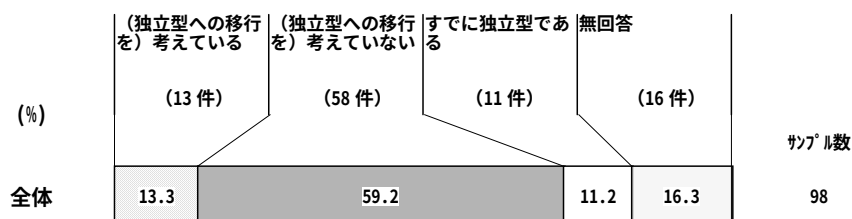
主な回答は以下のとおりである。

コミュニケーションの手段	◇ 電話、FAX、手紙でのやりとり。 ◇ 事前にアポイントメントを取り面談する。 ◇ 利用者の受診に同行する。 ◇ 利用者への往診時に会う。
連携状況	◇ 意見交換を心がけている。 ◇ 必要時にケアカンファレンスを実施している。 ◇ サービス担当者会議を開催している。 ◇ 医師の意見書を取り寄せている。 ◇ 看護師、理学療法士等の意見を取り入れている。 ◇ 認知症の疑いのある場合に医療機関を紹介している。 ◇ 訪問看護師から身体状況の変化等の連絡を受ける。 ◇ 病院ケースワーカーに相談する。 ◇ ソーシャルワーカーと連携をとっている。 ◇ 退院前は病院スタッフから話を聞く。
連携の課題	◇ サービス担当者会議に主治医の出席は難しい。 ◇ 医師と連絡をつけるのが大変だ。

⑥ 独立型の居宅介護支援事業所への移行の考え（問 6－3）

問 6－3 貴事業所では、今後独立型の居宅介護支援事業所への移行をお考えですか。（1つに○）

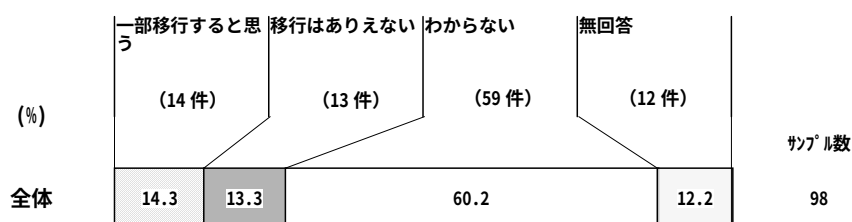
独立型の居宅介護支援事業への移行を「考えている」事業所は 13 件（13.3%）であり、大半の 58 件（59.2%）の事業所は「考えていない」と回答している。



⑦ 居宅介護支援事業所の独立法人への移行（問 6－4）

問 6－4 居宅介護支援事業所の独立法人を設置するという考えが示されていますが、貴事業所のケアマネジャーは移行すると思われますか。（1つに○）

居宅介護支援事業所の独立法人の設置について、ケアマネジャーのうち「一部移行すると思う」事業所が 14 件（14.3%）で、「移行はありえない」が 13 件（13.3%）である。大半の 59 件（60.2%）は「わからない」と回答している。



(3) 訪問介護について

①区内サービス利用者数（問7）

問7 現在（平成17年1月現在）の貴事業所の練馬区内のサービス利用者数（定員と実人数）をそれぞれご記入ください。

練馬区内のサービス利用者定員の平均は55.2人、区内利用実人数の平均は61.3人である。要介護度別の平均値をもとに構成比を計算したところ、「要支援」および「要介護1」が区内利用実人数の51.3%を占める。

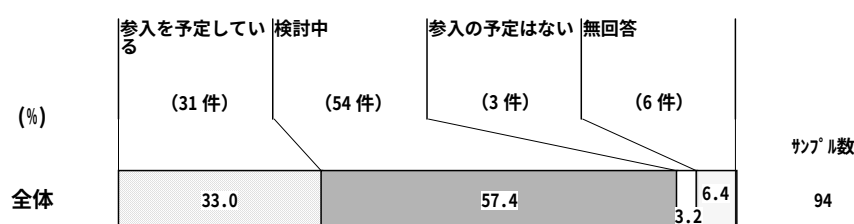
	サンプル数	平均値	要介護度別の平均値の構成比 (%)					
			要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
区内定員	39	55.2人	-	-	-	-	-	-
区内利用実人数	83	61.3人	13.6	37.7	16.0	12.6	9.8	10.3

※数値の記入のある調査票を元に平均値を算出した。そのため「区内定員」と「区内利用実人数」のサンプル数が異なる。

②予防訪問介護への参入意向（問7-1）

問7-1 新たに創設が予定されている「予防訪問介護」については、どのようにお考えですか。（1つに○）

予防訪問介護について「参入を予定している」事業所は31件（33.0%）であり、「検討中」が54件（57.4%）である。



③予防訪問介護への転換割合（問7-1①）

問7-1① 現行の訪問介護利用者からの転換を勧める場合、練馬区内の利用者のうち、何割くらいの転換を想定されていますか。（1つに○）

練馬区内利用者のうち、現行の訪問介護利用者から転換を勧める割合は、事業所によって様々であるが、「1割以下」「1～2割」の回答が半数近くを占める。

	全体	1割以下	1～2割	3～4割	5～6割	7～8割	8割以上	無回答
全体	31 100.0	7 22.6	8 25.8	3 9.7	6 19.4	3 9.7	1 3.2	3 9.7

※サンプル数が少ないため参考値。

上段：実数
下段：%

④予防訪問介護実施にあたり工夫できること（問7-1②）

問7-1② 予防訪問介護を実施するにあたって、貴事業所ではサービス内容で工夫できるものは何ですか。あてはまるものに○をつけてください。（あてはまるものに○）

予防訪問介護の実施にあたり工夫できることとしては、「掃除」が28件（90.3%）、「調理」が27件（87.1%）と高くなっている。「買い物」は22件（71.0%）、「洗濯」は21件（67.7%）、「通院」は15件（48.4%）である。

	全体	掃除	調理	買い物	洗濯	通院	その他	無回答
全体	31 100.0	28 90.3	27 87.1	22 71.0	21 67.7	15 48.4	5 16.1	1 3.2

※サンプル数が少ないため参考値。

上段：実数
下段：%

⑤現在の介護予防の取り組み、今後工夫したい点（問7-1③、自由回答）

問7-1③ 現在介護予防という視点から具体的に取り組んでいることはありますか。また、これからはどのように工夫しようと考えていますか。貴事業所での取り組みについて、ご記入ください。

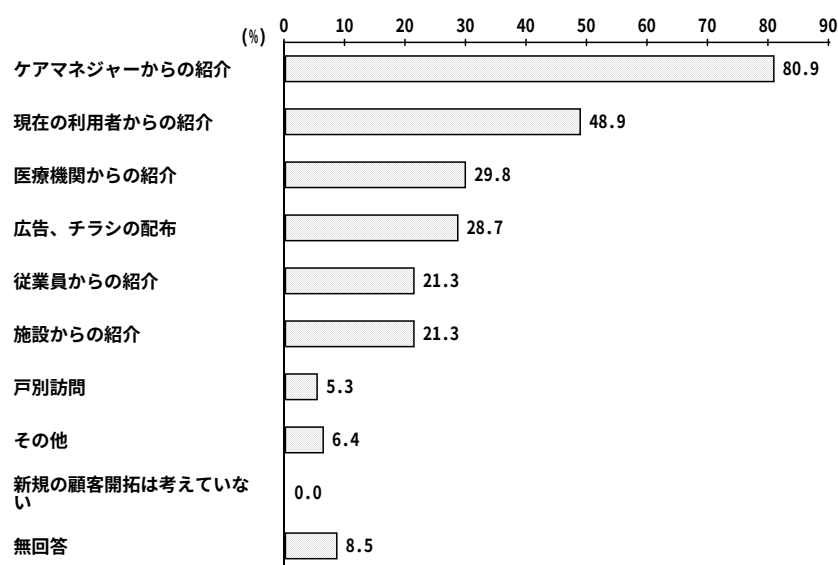
主な回答は以下のとおりである。

介護予防の取り組み	◇ 家事など一緒にできることは一緒にやるようにする。 ◇ 利用者のやる気を起こさせるように取り組んでいる。 ◇ 栄養のバランスを考えたメニューをアドバイスする。栄養相談を実施している。 ◇ 転倒予防に取り組む。 ◇ 口腔ケアに取り組む。 ◇ ひきこもり気味の利用者はできるだけ外出するようにしている。 ◇ 手先を使った取り組み。 ◇ 生きがい作り、社会性の確保。 ◇ 「できること」に着目した訪問介護計画づくり。
情報提供	◇ 家族等に向けて介護予防についての情報提供を行う。
担い手育成	◇ ヘルパーへの講習を行う。

⑥新規顧客の開拓方法（問7-2、複数回答）

問7-2 新たな顧客を開拓する場合、具体的な方法について、あてはまるものに○をつけてください。（あてはまるものに○）

新規顧客の開拓に向けては、「ケアマネジャーからの紹介」が76件（80.9%）で最も高い。次いで高いのは「現在の利用者からの紹介」で46件（48.9%）である。



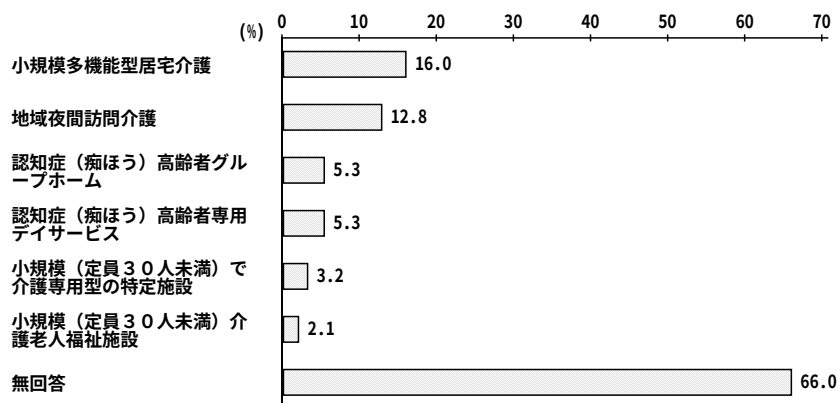
	全体	ケアマネジャーからの紹介	現在の利用者からの紹介	医療機関からの紹介	広告、チラシの配布	従業員からの紹介	施設からの紹介	戸別訪問	その他	新規の顧客開拓は考えていない	無回答
全体	94	76	46	28	27	20	20	5	6	0	8
	100.0	80.9	48.9	29.8	28.7	21.3	21.3	5.3	6.4	0.0	8.5

上段：実数
下段：%

⑦参入を検討している地域密着型サービス（問7-3、複数回答）

問7-3 次に掲げる「地域密着型サービス」のうち、貴事業所で参入を検討している、あるいは参入を検討したいものはありますか。あてはまるものに○をつけてください。（あてはまるものに○）

地域密着型サービスについて参入を検討しているもしくは検討したいものとしては、「小規模多機能型居宅介護」が15件（16.0%）、「地域夜間訪問介護」が12件（12.8%）となっている。62件（66.0%）の事業所は無回答である。



	全体	小規模多機能型居宅介護	地域夜間訪問介護	認知症（痴呆）高齢者グループホーム	認知症（痴呆）高齢者専用デイサービス	小規模（定員30人未満）で介護専用型の特設施設	小規模（定員30人未満）介護老人福祉施設	無回答
全体	94 100.0	15 16.0	12 12.8	5 5.3	5 5.3	3 3.2	2 2.1	62 66.0

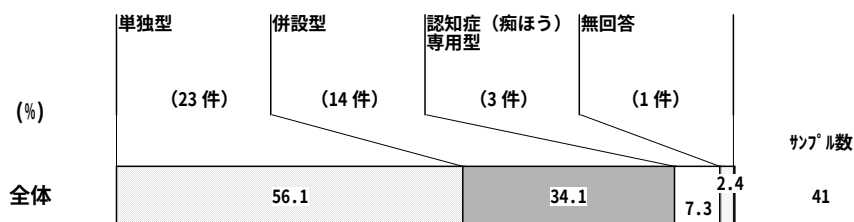
上段：実数
下段：%

（4）通所介護について

①事業所の種類（問8）

問8 貴事業所の種別をお答えください。（1つに○）

通所介護事業所の種類をみると、「単独型」が23件（56.1%）、「併設型」が14件（34.1%）、「認知症（痴呆）専用型」が3件（7.3%）である。



②区内サービス利用者数（問8-1）

問8-1 現在（平成17年1月現在）の貴事業所の練馬区内のサービス利用者数（定員と実人数）をそれぞれ記入ください。

練馬区内のサービス利用者定員の平均は88.6人、区内利用実人数の平均は160.1人である。要介護度別の平均値をもとに構成比を計算したところ、「要支援」および「要介護1」は区内利用実人数で38.1%である。

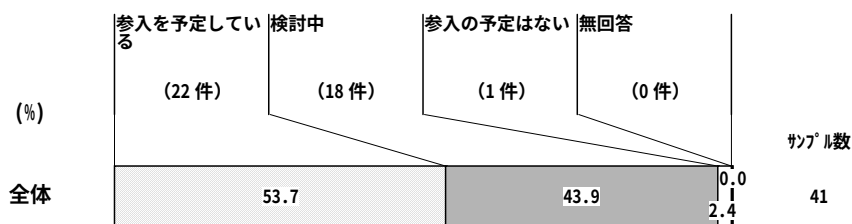
	サンプル数	平均値	要介護度別の平均値の構成比 [%]					
			要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
区内定員	31	88.6人	-	-	-	-	-	-
区内利用実人数	39	160.1人	4.2	33.9	22.1	18.7	14.8	6.3

*数値の記入のある調査票を元に平均値を算出した。そのため「区内定員」と「区内利用実人数」のサンプル数が異なる。

③予防通所介護への参入意向（問8-2）

問8-2 新たに創設が予定されている「予防通所介護」については、どのようにお考えですか。（1つに○）

予防通所介護について「参入を予定している」事業所が22件（53.7%）を占める。「検討中」は18件（43.9%）である。



④予防通所介護への転換割合（問8-2①）

問8-2① 現行の通所介護利用者からの転換を勧める場合、練馬区内の利用者のうち、何割くらいの転換を想定されていますか。（1つに○）

練馬区内利用者のうち、現行の訪問介護利用者から転換を勧める割合は、「3～4割」「1～2割」の回答割合が高い。

	全体	1割以下	1～2割	3～4割	5～6割	7～8割	8割以上	無回答	
全体	22	2	6	9	3	1	0	1	上段：実数
	100.0	9.1	27.3	40.9	13.6	4.5	0.0	4.5	下段：%

※サンプル数が少ないため参考値。

⑤予防通所介護実施に向けた機器・設備の導入予定（問8-2②、自由回答）

問8-2② 予防通所介護を実施するにあたり、新たな機器、設備の導入や整備をお考えですか。ご予定のものがあれば、下記欄に具体的にご記入ください。

主な回答は以下のとおりである。

機器・設備	◇ 筋力トレーニングマシンの導入。
体制整備	◇ 理学療法士の配置。 ◇ 作業療法士の配置。

⑥現在の介護予防の取り組み、今後工夫したい点（問8-2③、自由回答）

問8-2③ 現在介護予防という視点から具体的に取り組んでいることはありますか。また、これからはどのようにサービス内容を工夫しようと考えていますか。貴事業所での取り組みについて、ご記入ください。

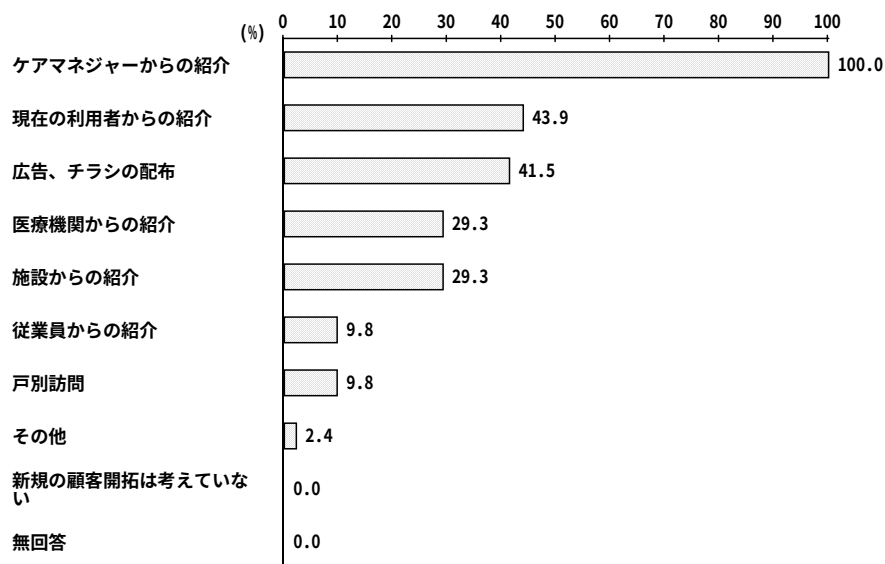
主な回答は以下のとおりである。

介護予防の取り組み	◇ 自立支援。 ◇ 機能訓練の充実。 ◇ 口腔ケア。 ◇ リハビリ体操。 ◇ 集団リハビリの実施。 ◇ 個別リハビリの実施。 ◇ 筋力向上トレーニング。 ◇ 鍼灸施術（しんきゅうせじゅつ）による疼痛軽減（とうつうけいげん）によりADL向上。
評価の実施	◇ 機能訓練において効果の評価を実施。
体制整備	◇ 機能訓練指導員の配置。 ◇ 職員教育の徹底。研修の実施。
検討中	◇ 小規模多機能型居宅介護を検討中。 ◇ 今後具体的に検討する。

⑦新規顧客の開拓方法（問8-3、複数回答）

問8-3 新たな顧客を開拓する場合、具体的な方法について、あてはまるものに○をつけてください。（あてはまるものに○）

新規顧客の開拓に向けては、「ケアマネジャーからの紹介」が41件（100.0%）である。次いで高いのは「現在の利用者からの紹介」18件（43.9%）と「広告、チラシの配布」17件（41.5%）である。



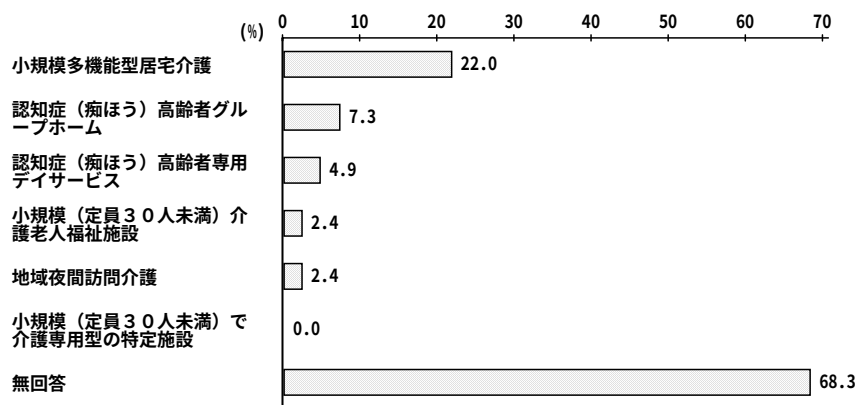
	全体	ケアマネジャーからの紹介	現在の利用者からの紹介	広告、チラシの配布	医療機関からの紹介	施設からの紹介	従業員からの紹介	戸別訪問	その他	新規の顧客開拓を 考えていない	無回答
全体	41	41	18	17	12	12	4	4	1	0	0
	100.0	100.0	43.9	41.5	29.3	29.3	9.8	9.8	2.4	0.0	0.0

上段：実数
下段：%

⑧ 参入を検討している地域密着型サービス（問 8－4、複数回答）

問 8－4 次に掲げる「地域密着型サービス」のうち、貴事業所で参入を検討している、あるいは参入を検討したいものはありますか。あてはまるものに○をつけてください。（あてはまるものに○）

地域密着型サービスについて参入を検討しているもしくは検討したいものとしては、「小規模多機能型居宅介護」が 9 件（22.0%）で高い。次いで割合が高いのは「認知症（痴呆）高齢者グループホーム」の 3 件（7.3%）である。28 件（68.3%）の事業所は無回答である。



	全体	小規模多機能型居宅介護	認知症（痴呆）高齢者グループホーム	認知症（痴呆）高齢者専用デイサービス	小規模（定員30人未満）介護老人福祉施設	地域夜間訪問介護	小規模（定員30人未満）で介護専用型の特定施設	無回答
全体	41 100.0	9 22.0	3 7.3	2 4.9	1 2.4	1 2.4	0 0.0	28 68.3

上段：実数
下段：%

（5）通所リハビリテーションについて

① 区内サービス利用者数（問 9）

問 9 現在（平成 17 年 1 月現在）の貴事業所の練馬区内のサービス利用者数（定員と実人数）をそれぞれご記入ください。

練馬区内のサービス利用者定員の平均は 97.8 人、区内利用実人数の平均は 93.4 人である。要介護度別の平均値をもとに構成比を計算したところ、「要支援」および「要介護 1」は区内利用実人数の 36.7%である。要介護 1 と並んで要介護 2 の割合も高い。

	サンプル数	平均値	要介護度別の平均値の構成比 (%)					
			要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
区内定員	4	97.8人	-	-	-	-	-	-
区内利用実人数	8	93.4人	3.9	32.8	24.2	19.9	12.7	6.4

※数値の記入のある調査票を元に平均値を算出した。そのため「区内定員」と「区内利用実人数」のサンプル数が異なる。
※サンプル数が少ないため参考値である。

② 予防通所リハビリテーションへの参入意向（問 9－1）

問 9－1 新たに創設が予定されている「予防通所リハビリテーション」については、どのようにお考えですか。（1つに○）

予防通所リハビリテーションについて「参入を予定している」事業所は 2 件（25.0%）であり、「検討中」が 5 件（62.5%）である。

	全体	参入を予定している	検討中	参入の予定はない	無回答
全体	8 100.0	2 25.0	5 62.5	1 12.5	0 0.0

上段：実数
下段：%

※サンプル数が少ないため参考値。

③予防通所リハビリテーションへの転換割合（問9－1①）

問9－1① 現行の通所リハビリテーション利用者からの転換を勧める場合、練馬区内の利用者のうち、何割くらいの転換を想定されていますか。（1つに○）

練馬区内利用者のうち、現行の訪問介護利用者から転換を勧める割合は、「1～2割」と「3～4割」がそれぞれ1事業所ずつみられた。

	全体	1割以下	1～2割	3～4割	5割以上	無回答	
全体	2	0	1	1	0	0	上段：実数
	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	下段：%

＊サンプル数が少ないため参考値。

④予防通所リハビリテーション実施に向けた機器・設備の導入予定（問9－1②、自由回答）

問9－1② 予防通所リハビリテーションを実施するにあたり、新たな機器、設備の導入や整備をお考えですか。ご予定のものがあれば、下記欄に具体的にご記入ください。

1事業所より、リハビリ棟の建設、トレーニングマシンを導入するとの回答があった。

⑤現在の介護予防の取り組み、今後工夫したい点（問9－1③、自由回答）

問9－1③ 現在介護予防という視点から具体的に取り組んでいることはありますか。また、これからはどのようにサービス内容を工夫しようと考えていますか。貴事業所での取り組みについて、ご記入ください。

自主トレーニングメニューの作成、筋力トレーニングの実施、口腔ケア、嚥下訓練、栄養指導があげられている。

⑥新規顧客の開拓方法（問9－2、複数回答）

問9－2 新たな顧客を開拓する場合、具体的な方法について、あてはまるものに○をつけてください。（あてはまるものに○）

新規顧客の開拓に向けては、「ケアマネジャーからの紹介」が8件（100.0%）である。次いで「現在の利用者からの紹介」が6件（75.0%）である。

	全体	ケアマネジャーからの紹介	現在の利用者からの紹介	医療機関からの紹介	施設からの紹介	従業員からの紹介	広告、チラシの配布	戸別訪問	その他	新規の顧客開拓を考えた顧客	無回答	
全体	8	8	6	4	4	2	1	0	1	0	0	上段：実数
	100.0	100.0	75.0	50.0	50.0	25.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	下段：%

＊サンプル数が少ないため参考値。

⑦参入を検討している地域密着型サービス（問9-3、複数回答）

問9-3 次に掲げる「地域密着型サービス」のうち、貴事業所で参入を検討している、あるいは参入を検討したいものがありますか。あてはまるものに○をつけてください。（あてはまるものに○）

地域密着型サービスについて参入を検討しているもしくは検討したいものとしては、「認知症（痴ほう）高齢者専用デイサービス」が2件（25.0%）、「小規模多機能型居宅介護」が2件（25.0%）などとなっている。

	全体	認知症（痴ほう）高齢者専用デイサービス	小規模多機能型居宅介護	小規模（定員30人未満）で介護専用型の特定施設	認知症（痴ほう）高齢者グループホーム	小規模（定員30人未満）介護老人福祉施設	地域夜間訪問介護	無回答
全体	8 100.0	2 25.0	2 25.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	5 62.5

上段：実数
下段：%

*サンプル数が少ないため参考値。

（6）介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設入所者生活介護について

①施設の内訳

施設の内訳は、「介護老人福祉施設」が15件（53.6%）、「介護老人保健施設」が6件（21.4%）、「介護療養型医療施設」が2件（7.1%）、「特定施設入所者生活介護」が5件（17.9%）となっている。

	全体	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	特定施設入所者生活介護	無回答
全体	28 100.0	15 53.6	6 21.4	2 7.1	5 17.9	0 0.0

上段：実数
下段：%

②入所者数（問10）

問10 現在（平成17年1月現在）の貴施設の定員と、入所者中の練馬区に住所を有する方の実人数をそれぞれご記入ください。

全体でみると施設定員の平均は76.0人、入所者中の区民の実人数平均は59.7人である。要介護4および5が58.7%を占める。

<施設別の比較>

全体		サンプル数	平均値	要介護度別の平均値の構成比（%）				
				要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
施設定員		26	76.0人	-	-	-	-	-
入所者中の区民の実人数		26	59.7人	6.7	13.1	21.5	32.0	26.7
介護老人福祉施設		サンプル数	平均値	要介護度別の平均値の構成比（%）				
				要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
施設定員		15	72.0人	-	-	-	-	-
入所者中の区民の実人数		14	67.5人	5.2	11.1	18.8	33.0	31.8
介護老人保健施設		サンプル数	平均値	要介護度別の平均値の構成比（%）				
				要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
施設定員		6	101.3人	-	-	-	-	-
入所者中の区民の実人数		6	64.5人	8.3	19.6	28.4	31.0	12.7
介護療養型医療施設		サンプル数	平均値	要介護度別の平均値の構成比（%）				
				要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
施設定員		1	70.0人	-	-	-	-	-
入所者中の区民の実人数		2	47.5人	3.2	6.3	20.0	31.6	38.9
特定施設入所者生活介護		サンプル数	平均値	要介護度別の平均値の構成比（%）				
				要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
施設定員		4	54.3人	-	-	-	-	-
入所者中の区民の実人数		4	31.5人	20.0	12.2	21.1	26.7	20.0

*数値の記入のある調査票を元に平均値を算出した。
*サンプル数が少ないため参考値である。

③入所期間（問 10－1）

問10－1 現在入所されている区民の方の入所期間はどのくらいですか。

入所中の区民の平均入所期間は、1年未満が22.4人で多く、また5年以上も12.2人で多い。

<施設別の比較>

全体

	サンプル数	平均値	要介護度別の平均値の構成比(%)				
			要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
1年未満	27	22.4人	5.8	14.4	25.4	32.5	21.9
1～3年未満	27	16.7人	8.2	14.0	21.7	32.2	23.9
3～5年未満	27	8.3人	6.8	13.1	15.3	34.2	30.6
5年以上	27	12.2人	7.0	10.7	18.0	28.4	35.8
計	27	59.7人	6.8	13.3	21.4	31.9	26.5

介護老人福祉施設

	サンプル数	平均値	要介護度別の平均値の構成比(%)				
			要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
1年未満	15	14.5人	2.8	7.8	20.6	36.2	32.6
1～3年未満	15	22.9人	6.4	13.1	20.9	33.1	26.5
3～5年未満	15	12.3人	3.8	12.5	14.1	37.0	32.6
5年以上	15	19.3人	5.9	11.1	19.4	28.0	35.6
計	15	69.0人	5.0	11.3	19.1	33.1	31.4

介護老人保健施設

	サンプル数	平均値	要介護度別の平均値の構成比(%)				
			要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
1年未満	6	55.2人	7.3	19.9	29.3	30.8	12.7
1～3年未満	6	8.8人	13.2	18.9	24.5	32.1	11.3
3～5年未満	6	0.5人	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0
5年以上	6	0.0人	-	-	-	-	-
計	6	64.5人	8.3	19.6	28.7	31.0	12.4

介護療養型医療施設

	サンプル数	平均値	要介護度別の平均値の構成比(%)				
			要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
1年未満	2	15.0人	3.3	10.0	16.7	23.3	46.7
1～3年未満	2	9.5人	5.3	5.3	15.8	36.8	36.8
3～5年未満	2	11.5人	13.0	17.4	21.7	21.7	26.1
5年以上	2	11.5人	13.0	8.7	13.0	26.1	39.1
計	2	47.5人	8.4	10.5	16.8	26.3	37.9

特定施設入所者生活介護

	サンプル数	平均値	要介護度別の平均値の構成比(%)				
			要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
1年未満	4	6.8人	14.8	3.7	25.9	33.3	22.2
1～3年未満	4	8.8人	20.0	20.0	28.6	20.0	11.4
3～5年未満	4	3.8人	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7
5年以上	4	4.3人	20.0	6.7	0.0	40.0	33.3
計	4	23.5人	20.2	12.4	21.3	27.0	19.1

*サンプル数が少ないため参考値。

④1年間で介護度が悪化した人数（問 10－2）

問10－2 現在入所されている区民の方のうち、この1年間で、介護度が悪化した人数はどのくらいですか。

入所中の区民のうちこの1年間で介護度が悪化した人数の平均は10.7人である。内訳をみると「要介護3から」悪化が最も多く、平均3.9人となっている。

<施設別の比較>

	サンプル数	全体の平均値	要介護度別の平均値(人)			
			要介護1から	要介護2から	要介護3から	要介護4から
全体	25	10.7人	1.6	2.4	3.9	2.8
介護老人福祉施設	15	14.5人	1.9	2.9	5.4	4.2
介護老人保健施設	5	6.4人	1.4	2.4	2.0	0.6
介護療養型医療施設	1	1.0人	0.0	0.0	1.0	0.0
特定施設入所者生活介護	4	4.5人	1.3	1.3	1.3	0.8

*サンプル数が少ないため参考値。

⑤在宅復帰が可能と思われる人数（問 10－3）

問10－3 現在入所されている区民の方のうち、在宅生活への復帰が可能と思われる方はどのくらいいらっしゃいますか。施設側からみた状況でお答えください。

入所中の区民のうち、在宅生活への復帰が可能と思われる人数の平均値は9.6人である。

<施設別の比較>

	サンプル数	全体の 平均値	要介護度別の平均値(人)				
			要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
全体	17	9.6人	2.1	4.1	1.9	1.2	0.3
介護老人福祉施設	10	5.8人	1.6	3.4	0.8	0.0	0.0
介護老人保健施設	5	17.8人	2.6	5.8	4.4	4.0	1.0
介護療養型医療施設	1	1.0人	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
特定施設入所者生活介護	1	15.0人	7.0	5.0	2.0	1.0	0.0

＊サンプル数が少ないため参考値。

⑥退所率（問 10－4）

問10－4 昨年1年間の貴施設の退所率はどのくらいですか。小数第一位までで表示してください。

昨年1年間の施設の退所率は「10～20%未満」が14件（50.0%）を占め、平均は29.0%である。

<施設別の比較>

	全体	10% 未満	10～20% 未満	20～30% 未満	30～40% 未満	40～50% 未満	50～60% 未満	60～70% 未満	70～80% 未満	80～90% 未満	90% 以上	無回答	平均
全体	28 100.0	2 7.1	14 50.0	3 10.7	1 3.6	1 3.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 7.1	2 7.1	3 10.7	29.0%
介護老人福祉施設	15 100.0	1 6.7	11 73.3	2 13.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.7	14.6%
介護老人保健施設	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	2 33.3	1 16.7	82.2%
介護療養型医療施設	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6.3%
特定施設入所者生活介護	5 100.0	0 0.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	24.1%

上段：実数
下段：%

＊サンプル数が少ないため参考値。

⑦ユニット化の状況（問 10－5）

問10－5 貴施設では、居室のユニット化はどのようにお考えですか。あてはまるものに○と数字をご記入ください。

居室を「一部ユニット化している」事業所は4件（14.3%）で、「ユニット化の計画がある」事業所は3件（10.7%）である。

<施設別の比較>

	全体	一部ユニット化している	ユニット化の計画がある	当面ユニット化の計画はない	無回答
全体	28 100.0	4 14.3	3 10.7	20 71.4	1 3.6
介護老人福祉施設	15 100.0	2 13.3	2 13.3	11 73.3	0 0.0
介護老人保健施設	6 100.0	0 0.0	1 16.7	5 83.3	0 0.0
介護療養型医療施設	2 100.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
特定施設入所者生活介護	5 100.0	1 20.0	0 0.0	3 60.0	1 20.0

上段：実数
下段：%

＊サンプル数が少ないため参考値。

⑧サテライト化についての考え（問 10－6）

問10－6 貴施設では、サテライト化はどのようにお考えですか。（1つに○）

サテライト化については「当面サテライト化の予定はない」が 20 件（71.4%）を占め、「具体的な計画がある」事業所はない。

<施設別の比較>

	全体	具体的な計画がある	検討段階である	当面サテライト化の予定はない	その他	無回答
全体	28 100.0	0 0.0	4 14.3	20 71.4	2 7.1	2 7.1
介護老人福祉施設	15 100.0	0 0.0	2 13.3	10 66.7	2 13.3	1 6.7
介護老人保健施設	6 100.0	0 0.0	1 16.7	5 83.3	0 0.0	0 0.0
介護療養型医療施設	2 100.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
特定施設入所者生活介護	5 100.0	0 0.0	0 0.0	4 80.0	0 0.0	1 20.0

上段：実数
下段：%

＊サンプル数が少ないため参考値。

⑨ターミナルケアへの対応（問 10－7）

問10－7 貴施設では、ターミナルケアへの対応はどのようにお考えですか。（1つに○）

ターミナルケアについては「既に施設内で実施している」が 13 件（46.4%）を占める。「検討段階である」事業所は 8 件（28.6%）である。

<施設別の比較>

	全体	既に施設内で実施している	検討段階である	ターミナルケアの対応は考えていない	その他	無回答
全体	28 100.0	13 46.4	8 28.6	2 7.1	4 14.3	1 3.6
介護老人福祉施設	15 100.0	8 53.3	5 33.3	0 0.0	2 13.3	0 0.0
介護老人保健施設	6 100.0	1 16.7	2 33.3	2 33.3	1 16.7	0 0.0
介護療養型医療施設	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
特定施設入所者生活介護	5 100.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0

上段：実数
下段：%

＊サンプル数が少ないため参考値。

（7）認知症（痴ほう）対応型共同生活介護について

①入所者数（問 11）

問11 現在（平成 17 年 1 月現在）の貴施設の定員と、入所者中の練馬区に住所を有する方の実人数をそれぞれご記入ください。

施設定員の平均は 14.0 人、入所者中の区民利用者数平均は 6.7 人である。

	サンプル数	平均値	要介護度別の平均値の構成比（%）				
			要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
施設定員	3	14.0人	-	-	-	-	-
入所者中の区民利用者数	3	6.7人	15.0	20.0	35.0	25.0	5.0

＊数値の記入のある調査票を元に平均値を算出した。
＊サンプル数が少ないため参考値である。

②入所目的の区内への住所異動者数（問 11－1）

問11－1 貴施設への入所のために、練馬区内に住所を異動された方は何人いますか。

＊すべて無回答である。

③区内待機者（問 11－2）

問11－2 制度の見直しに伴い、貴グループホームへの入所は指定をした保険者の方しか入所できない仕組みとなります。現在、貴事業所で掌握している練馬区内に住所を有し入所を希望し、待機をしている方は何人いますか。

練馬区内に住所を有している入所待機者は平均で 3.3 人である。

	サンプル数	平均値	要介護度別の平均値の構成比(%)				
			要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
全体	3	3.3人	0.0	40.0	20.0	40.0	0.0

＊サンプル数が少ないため参考値。

④参入を検討している地域密着型サービス（問 11－3、複数回答）

問11－3 次に掲げる「地域密着型サービス」のうち、貴事業所で参入を検討している、あるいは参入を検討したいものはありますか。あてはまるものに○をつけてください。（あてはまるものに○）

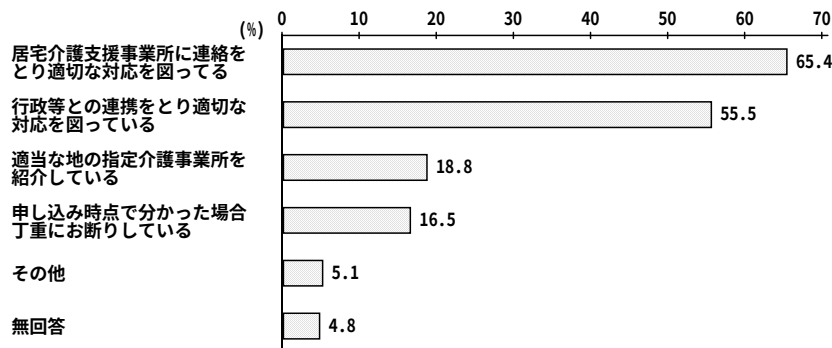
＊すべて無回答である。

（8）苦情処理等について

①サービス提供困難時の対応（問 12、複数回答）

問12 サービス提供困難時は、どのように対応されていますか。あてはまるものに○をつけてください。（あてはまるものに○）

サービス提供困難時の対応としては、「居宅介護支援事業所に連絡をとり適切な対応を図っている」事業所が 178 件(65.4%)、「行政側との連携をとり適切な対応を図っている」事業所が 151 件(55.5%)である。



<事業所種類別の比較>

	全体	居宅介護支援事業所に連絡をとり適切な対応を図ってる	行政等との連携をとり適切な対応を図っている	適当な地の指定介護事業所を紹介している	申し込み時点で分かった場合丁寧に断りしている	その他	無回答
全体	272	178	151	51	45	14	13
	100.0	65.4	55.5	18.8	16.5	5.1	4.8
居宅介護支援事業	98	36	68	23	11	7	3
	100.0	36.7	69.4	23.5	11.2	7.1	3.1
訪問介護	94	80	54	14	8	4	5
	100.0	85.1	57.4	14.9	8.5	4.3	5.3
通所介護	41	41	15	5	15	0	0
	100.0	100.0	36.6	12.2	36.6	0.0	0.0
通所リハビリテーション	8	6	3	1	1	0	1
	100.0	75.0	37.5	12.5	12.5	0.0	12.5
介護老人福祉施設、介護老人保健施設等	28	14	11	7	8	3	4
	100.0	50.0	39.3	25.0	28.6	10.7	14.3
認知症対応型共同生活介護	3	1	0	1	2	0	0
	100.0	33.3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0

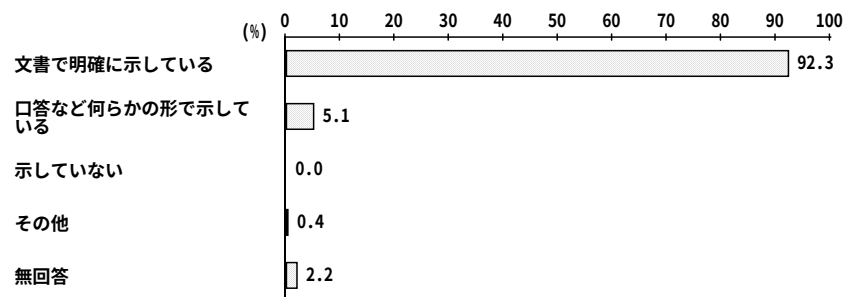
上段：実数
下段：%

＊通所リハビリテーション、介護老人福祉施設等、認知症対応共同生活介護はサンプル数が少ないため参考値。

②利用者への苦情処理窓口の提示（問 13）

問13 苦情処理窓口の存在を利用者に示していますか。（1つに○）

利用者に対して苦情処理窓口を「文書で明確に示している」事業所が 251 件（92.3%）を占める。



<事業所種類別の比較>

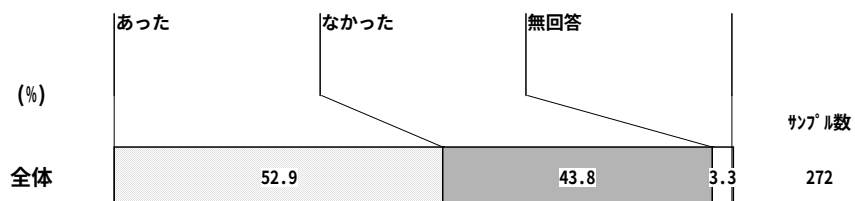
	全体	文書で明確に示している	口答など何らかの形で示している	示していない	その他	無回答	
全体	272	251	14	0	1	6	上段：実数 下段：%
	100.0	92.3	5.1	0.0	0.4	2.2	
居宅介護支援事業	98	93	4	0	0	1	
	100.0	94.9	4.1	0.0	0.0	1.0	
訪問介護	94	84	5	0	1	4	
	100.0	89.4	5.3	0.0	1.1	4.3	
通所介護	41	40	1	0	0	0	
	100.0	97.6	2.4	0.0	0.0	0.0	
通所リハビリテーション	8	8	0	0	0	0	
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
介護老人福祉施設、 介護老人保健施設等	28	24	3	0	0	1	
	100.0	85.7	10.7	0.0	0.0	3.6	
認知症対応型共同生活介護	3	2	1	0	0	0	
	100.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	

＊通所リハビリテーション、介護老人福祉施設等、認知症対応型共同生活介護はサンプル数が少ないため参考値。

③平成 16 年度の利用者の苦情（問 13－1）

問13－1 利用者からの苦情が平成16年4月以降ありましたか。（1つに○）

平成 16 年度に苦情が「あった」割合は 144 件（52.9%）である。



<事業所種類別の比較>

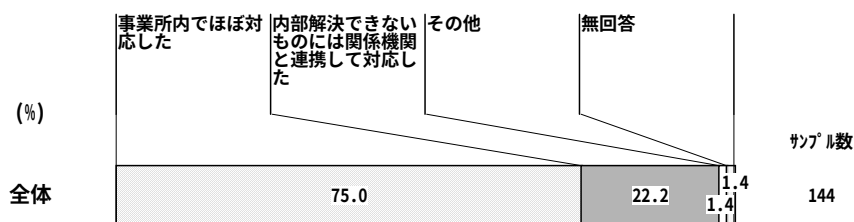
	全体	あった	なかった	無回答	
全体	272	144	119	9	上段：実数 下段：%
	100.0	52.9	43.8	3.3	
居宅介護支援事業	98	41	55	2	
	100.0	41.8	56.1	2.0	
訪問介護	94	59	29	6	
	100.0	62.8	30.9	6.4	
通所介護	41	21	20	0	
	100.0	51.2	48.8	0.0	
通所リハビリテーション	8	5	3	0	
	100.0	62.5	37.5	0.0	
介護老人福祉施設、 介護老人保健施設等	28	16	11	1	
	100.0	57.1	39.3	3.6	
認知症対応型共同生活介護	3	2	1	0	
	100.0	66.7	33.3	0.0	

＊通所リハビリテーション、介護老人福祉施設等、認知症対応型共同生活介護はサンプル数が少ないため参考値。

④ 苦情処理の対応（問 13－1 ①）

問13－1① 寄せられた苦情を主にどのように処理されましたか。（1つに○）

寄せられた苦情に対しては、「事業所内でほぼ対応した」が108件（75.0%）で、「内部で解決できないものについては、関係機関へ連絡を取るなど、連携して対応した」が32件（22.2%）である。



<事業所種類別の比較>

	全体	事業所内で ほぼ対応し た	内部解決で できないもの には関係機 関と連携し て対応した	その他	無回答
全体	144 100.0	108 75.0	32 22.2	2 1.4	2 1.4
居宅介護支援事業	41 100.0	26 63.4	13 31.7	2 4.9	0 0.0
訪問介護	59 100.0	50 84.7	8 13.6	0 0.0	1 1.7
通所介護	21 100.0	16 76.2	4 19.0	0 0.0	1 4.8
通所リハビリテーション	5 100.0	2 40.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0
介護老人福祉施設、 介護老人保健施設等	16 100.0	12 75.0	4 25.0	0 0.0	0 0.0
認知症対応型共同生活介護	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

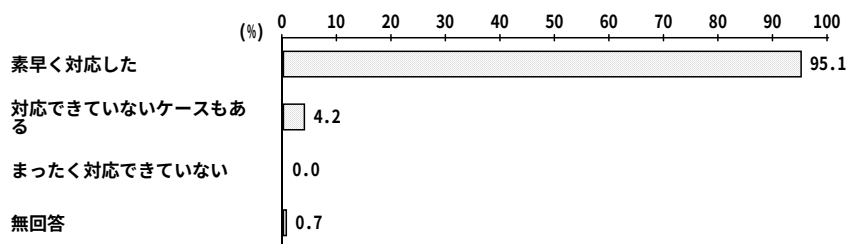
上段：実数
下段：%

＊通所リハビリテーション、介護老人福祉施設等、認知症対応共同生活介護はサンプル数が少ないため参考値。

⑤ 苦情対応の迅速さ（問 13－1 ②）

問13－1② 利用者からの苦情に対しては素早く対応しましたか。（1つに○と内容の記入）

利用者からの苦情に対しては「すばやく対応した」事業所が137件（95.1%）で、「対応できていないケースもある」事業所が6件（4.2%）である。



<事業所種類別の比較>

	全体	素早く対応 した	対応できて いないケー スもある	まったく対 応できてい ない	無回答
全体	144 100.0	137 95.1	6 4.2	0 0.0	1 0.7
居宅介護支援事業	41 100.0	38 92.7	2 4.9	0 0.0	1 2.4
訪問介護	59 100.0	59 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
通所介護	21 100.0	21 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
通所リハビリテーション	5 100.0	3 60.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0
介護老人福祉施設、 介護老人保健施設等	16 100.0	14 87.5	2 12.5	0 0.0	0 0.0
認知症対応型共同生活介護	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

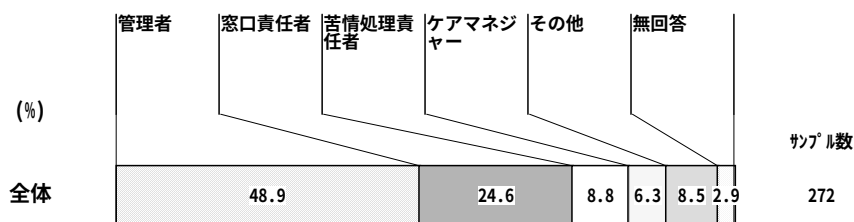
上段：実数
下段：%

＊通所リハビリテーション、介護老人福祉施設等、認知症対応共同生活介護はサンプル数が少ないため参考値。

⑥ 苦情対応の担当者（問 14）

問14 苦情対応のご担当はどなたですか。（1つに○）

苦情対応の担当は、「管理者」が 133 件（48.9%）で最も高く、次いで「窓口責任者」が 67 件（24.6%）である。「苦情処理責任者」を設置し対応している事業所は 24 件（8.8%）である。



<事業所種類別の比較>

	全体	管理者	窓口責任者	苦情処理責任者	ケアマネジャー	その他	無回答	
全体	272	133	67	24	17	23	8	上段：実数
	100.0	48.9	24.6	8.8	6.3	8.5	2.9	下段：%
居宅介護支援事業	98	55	11	10	16	2	4	
	100.0	56.1	11.2	10.2	16.3	2.0	4.1	
訪問介護	94	50	32	5	1	3	3	
	100.0	53.2	34.0	5.3	1.1	3.2	3.2	
通所介護	41	17	13	4	0	7	0	
	100.0	41.5	31.7	9.8	0.0	17.1	0.0	
通所リハビリテーション	8	2	2	2	0	2	0	
	100.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	
介護老人福祉施設、 介護老人保健施設等	28	6	9	3	0	9	1	
	100.0	21.4	32.1	10.7	0.0	32.1	3.6	
認知症対応型共同生活介護	3	3	0	0	0	0	0	
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

＊通所リハビリテーション、介護老人福祉施設等、認知症対応共同生活介護はサンプル数が少ないため参考値。

⑦ 苦情内容（問 15、自由回答）

問15 苦情内容について主なものをご記入ください

主な回答は以下のとおりである。

介護保険制度	◇ 認定調査の遅れ。 ◇ 認定結果について。 ◇ 介護保険制度について。 ◇ 自己負担分について。 ◇ 施設への入所（入院）を早くして欲しい。
トラブル	◇ 利用者宅でのトラブル。（ケガや物品の破損など）
担当者の対応	◇ 利用者とのコミュニケーションミス。（意思の疎通が不十分。） ◇ コミュニケーショントラブル。（相互の連絡が不徹底。） ◇ 対応が遅い。 ◇ ヘルパーの対応が悪い。対応の不手際。 ◇ ヘルパーがすぐに替わってしまう。 ◇ 予定していたヘルパーが来ない。 ◇ スタッフの言動・態度が悪い。
サービス	◇ サービス内容について。 ◇ 期待するサービスをしてくれない。 ◇ 料理の味、掃除などについて。 ◇ ケアプランに示されたサービス内容で実施していない。 ◇ 住宅改修について。 ◇ ケア内容の統一について。（複数のヘルパーが入っているケース。） ◇ 送迎について。

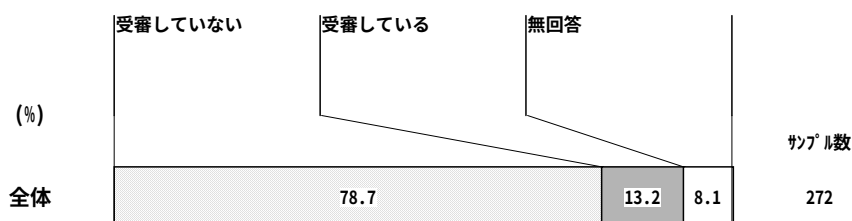
(9) サービスの質の向上について

① サービス評価の受審状況 (問 16)

問16 貴事業所では、サービス評価は受審されていますか。次のうち、受審された種類をお答えください。
(あてはまるものに○)

サービス評価を「受審している」事業所は 36 件 (13.2%) で、214 件 (78.7%) の事業所は「受審していない」。

「受審している」割合が高い事業所は、介護老人福祉施設、介護老人保健施設等である。



<事業所種類別の比較>

	全体	受審していない	受審している	無回答
全体	272	214	36	22
	100.0	78.7	13.2	8.1
居宅介護支援事業	98	84	8	6
	100.0	85.7	8.2	6.1
訪問介護	94	71	11	12
	100.0	75.5	11.7	12.8
通所介護	41	37	3	1
	100.0	90.2	7.3	2.4
通所リハビリテーション	8	8	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0
介護老人福祉施設、 介護老人保健施設等	28	14	11	3
	100.0	50.0	39.3	10.7
認知症対応型共同生活介護	3	0	3	0
	100.0	0.0	100.0	0.0

上段：実数
下段：%

*通所リハビリテーション、介護老人福祉施設等、認知症対応共同生活介護はサンプル数が少ないため参考値。

受審している評価方式は「東京福祉サービス評価機構」が 22 件 (61.1%) である。

<事業所種類別の比較>

	全体	東京都福祉サービス評価機構	その他	無回答
全体	36	22	9	6
	100.0	61.1	25.0	16.7
居宅介護支援事業	8	3	2	3
	100.0	37.5	25.0	37.5
訪問介護	11	7	3	1
	100.0	63.6	27.3	9.1
通所介護	3	1	0	2
	100.0	33.3	0.0	66.7
介護老人福祉施設、 介護老人保健施設等	11	9	3	0
	100.0	81.8	27.3	0.0
認知症対応型共同生活介護	3	2	1	0
	100.0	66.7	33.3	0.0

上段：実数
下段：%

*サンプル数が少ないため参考値。

②事業所独自での取り組み（問 16－ 1、自由回答）

問16－1 第三者評価のほか、質の向上に関して貴事業所独自で取り組んでいることがあれば、下記欄にご記入ください。

主な回答は以下のとおりである。

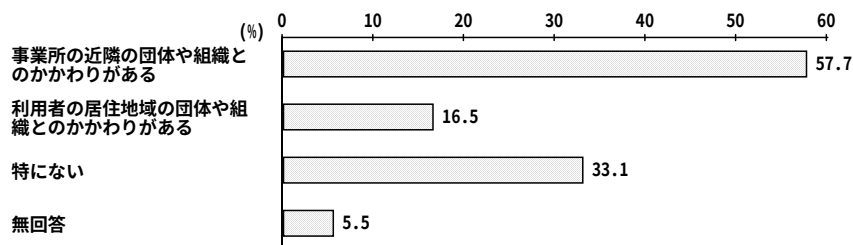
組織体制の整備	◇ 委員会の設置。 ◇ ケアカンファレンスの実施。 ◇ 内部監査の実施。 ◇ ISO9001 取得。
顧客の意見収集	◇ 意見箱の設置。 ◇ アンケート調査等の実施。
運営の見直し	◇ 自己評価の実施。 ◇ チェックリスト作成。 ◇ マニュアル作成。 ◇ 報告の徹底とフィードバック。
人材育成	◇ 研修等への参加。 ◇ 学習会、セミナー等の充実。

(10) 地域とのかかわりについて

①地域とのかかわりの有無（問 17、複数回答）

問17 貴事業所では、地域の各種団体や組織（民生委員、自治会・町会、地区社協 等）との関わりはありますか。（あてはまるものに○）

地域等との関わりについて、「事業所の近隣の団体や組織と関わりがある」事業所が 157 件（57.7%）みられる。「特にない」は 90 件（33.1%）である。



<事業所種類別の比較>

	全体	事業所の近隣の団体や組織とのかかわりがある	利用者の居住地域の団体や組織とのかかわりがある	特にない	無回答
全体	272 100.0	157 57.7	45 16.5	90 33.1	15 5.5
居宅介護支援事業	98 100.0	57 58.2	18 18.4	34 34.7	5 5.1
訪問介護	94 100.0	35 37.2	14 14.9	48 51.1	7 7.4
通所介護	41 100.0	33 80.5	6 14.6	6 14.6	1 2.4
通所リハビリテーション	8 100.0	5 62.5	3 37.5	1 12.5	0 0.0
介護老人福祉施設、 介護老人保健施設等	28 100.0	25 89.3	4 14.3	0 0.0	2 7.1
認知症対応型共同生活介護	3 100.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3	0 0.0

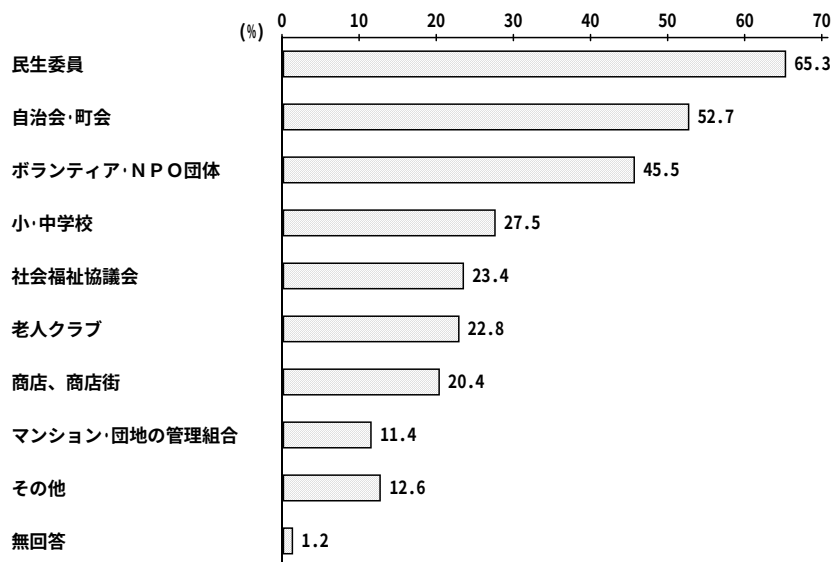
上段：実数
下段：%

＊通所リハビリテーション、介護老人福祉施設等、認知症対応共同生活介護はサンプル数が少ないため参考値。

②かかわりのある団体・組織（問 17－1、複数回答）

問17－1 それは、どのような団体・組織ですか。次のうち、あてはまるものをお選びください。（あてはまるものに○）

関わりのある団体・組織は、「民生委員」が109件（65.3%）で最も割合が高い。次いで「自治会・町会」が88件（52.7%）、「ボランティア・NPO団体」が76件（45.5%）で高くなっている。



<事業所種類別の比較>

	全体	民生委員	自治会・町会	ボランティア・NPO団体	小・中学校	社会福祉協議会	老人クラブ	商店、商店街	マンション・団地の管理組合	その他	無回答
全体	167	109	88	76	46	39	38	34	19	21	2
	100.0	65.3	52.7	45.5	27.5	23.4	22.8	20.4	11.4	12.6	1.2
居宅介護支援事業	59	43	30	23	6	19	20	13	12	11	0
	100.0	72.9	50.8	39.0	10.2	32.2	33.9	22.0	20.3	18.6	0.0
訪問介護	39	23	11	15	1	9	5	7	2	4	2
	100.0	59.0	28.2	38.5	2.6	23.1	12.8	17.9	5.1	10.3	5.1
通所介護	34	22	22	19	20	2	5	6	4	2	0
	100.0	64.7	64.7	55.9	58.8	5.9	14.7	17.6	11.8	5.9	0.0
通所リハビリテーション	7	4	3	4	2	1	2	1	0	2	0
	100.0	57.1	42.9	57.1	28.6	14.3	28.6	14.3	0.0	28.6	0.0
介護老人福祉施設、 介護老人保健施設等	26	17	21	14	17	8	6	6	1	2	0
	100.0	65.4	80.8	53.8	65.4	30.8	23.1	23.1	3.8	7.7	0.0
認知症対応型共同生活介護	2	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0
	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0

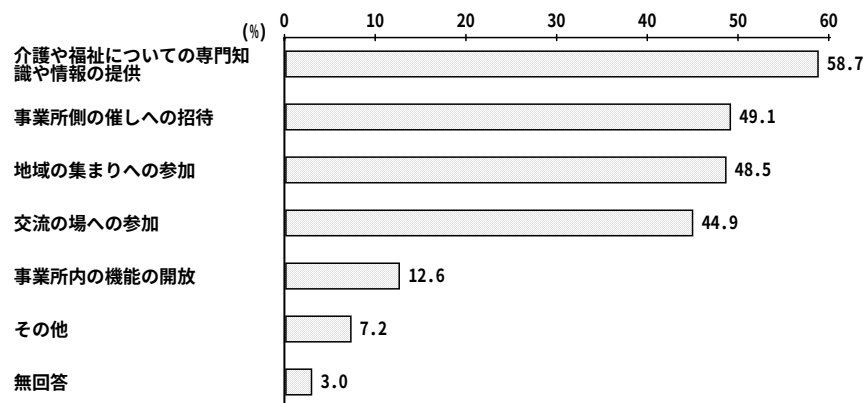
上段：実数
下段：%

＊通所介護、通所リハビリテーション、介護老人福祉施設等、認知症対応共同生活介護はサンプル数が少ないため参考値。

③かかわりの事例（問 17－ 2、複数回答）

問17－2 具体的な関わりの事例について、次のうちあてはまるものをお選びください。（あてはまるものに○）

具体的な関わりの事例は、「介護や福祉についての専門知識や情報の提供」が 98 件（58.7%）で高い。次いで「事業所側の催しへの招待」が 82 件（49.1%）、「地域の集まりへの参加」が 81 件（48.5%）、「交流の場への参加」が 75 件（44.9%）である。



<事業所種類別の比較>

	全体	介護や福祉についての専門知識や情報の提供	事業所側の催しへの招待	地域の集まりへの参加	交流の場への参加	事業所内の機能の開放	その他	無回答
全体	167	98	82	81	75	21	12	5
	100.0	58.7	49.1	48.5	44.9	12.6	7.2	3.0
居宅介護支援事業	59	46	24	31	29	6	2	1
	100.0	78.0	40.7	52.5	49.2	10.2	3.4	1.7
訪問介護	39	23	8	21	17	3	2	3
	100.0	59.0	20.5	53.8	43.6	7.7	5.1	7.7
通所介護	34	16	23	14	16	7	3	0
	100.0	47.1	67.6	41.2	47.1	20.6	8.8	0.0
通所リハビリテーション	7	3	6	3	3	0	0	0
	100.0	42.9	85.7	42.9	42.9	0.0	0.0	0.0
介護老人福祉施設、 介護老人保健施設等	26	10	21	11	9	4	5	1
	100.0	38.5	80.8	42.3	34.6	15.4	19.2	3.8
認知症対応型共同生活介護	2	0	0	1	1	1	0	0
	100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0

上段：実数
下段：%

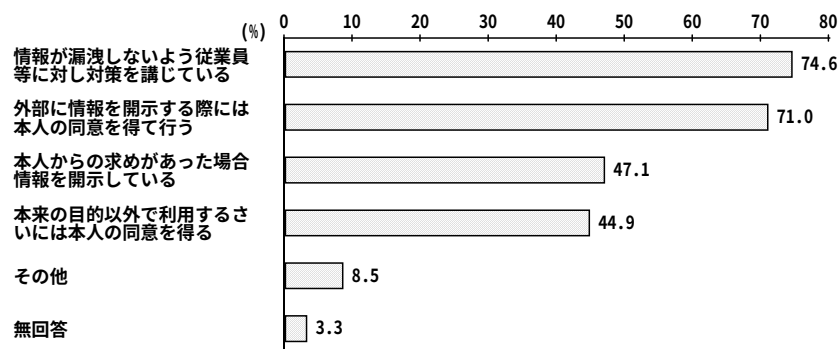
*通所介護、通所リハビリテーション、介護老人福祉施設等、認知症対応共同生活介護はサンプル数が少ないため参考値。

(11) その他について

①個人情報保護・管理の取り組み（問 18、複数回答）

問18 貴事業所では、個人情報の保護・管理については、どのような取り組みをされていますか。次のうち、あてはまるものをお選びください。（あてはまるものに○）

個人情報の保護・管理の取り組みについては、「情報が漏洩しないよう従業員や業者に対して対策を講じている」事業所が 203 件（74.6%）、「外部に情報を開示する際には本人の同意を得て行っている」事業所が 193 件（71.0%）である。「本人からの求めがあった場合、情報を開示している」事業所が 128 件（47.1%）、「本来の目的以外で利用するさいには本人の同意を得ている」事業所が 122 件（44.9%）である。



<事業所種類別の比較>

	全体	情報が漏洩しないよう従業員等に対策を講じている	外部に情報を開示する際には本人の同意を得て行っている	本人からの求めがあった場合情報を開示している	本来の目的以外で利用するさいには本人の同意を得る	その他	無回答
全体	272	203	193	128	122	23	9
	100.0	74.6	71.0	47.1	44.9	8.5	3.3
居宅介護支援事業	98	68	73	45	44	8	4
	100.0	69.4	74.5	45.9	44.9	8.2	4.1
訪問介護	94	74	65	43	40	9	3
	100.0	78.7	69.1	45.7	42.6	9.6	3.2
通所介護	41	31	28	20	18	1	0
	100.0	75.6	68.3	48.8	43.9	2.4	0.0
通所リハビリテーション	8	6	7	5	5	0	0
	100.0	75.0	87.5	62.5	62.5	0.0	0.0
介護老人福祉施設、 介護老人保健施設等	28	22	19	14	15	5	2
	100.0	78.6	67.9	50.0	53.6	17.9	7.1
認知症対応型共同生活介護	3	2	1	1	0	0	0
	100.0	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0

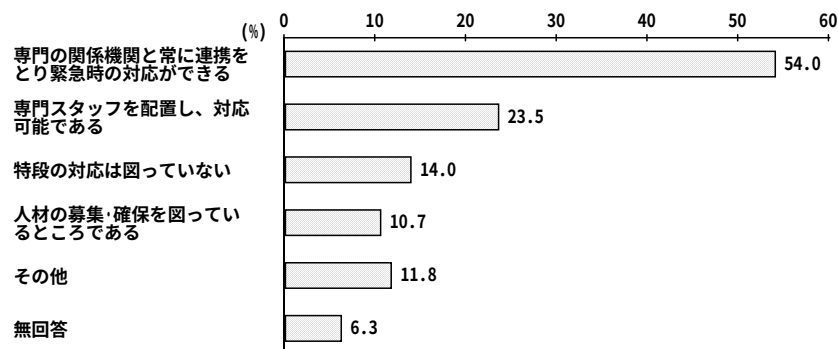
上段：実数
下段：%

*通所リハビリテーション、介護老人福祉施設等、認知症対応型共同生活介護はサンプル数が少ないため参考値。

②要医療、認知症（痴ほう）、障害等のある利用者への対応（問 19、複数回答）

問19 貴事業所では、要医療、認知症（痴ほう）、障害等を有する利用者に対して、どのような対応を図っていますか。次のうち、あてはまるものをお選びください。（あてはまるものに○）

要医療、認知症（痴ほう）、障害等を有する利用者に対しては、「専門の関係機関と常に連絡をとり、緊急時への対応ができるようにしている」事業所が 147 件（54.0%）で半数以上を占める。「専門のスタッフを配置し、対応可能である」事業所は 64 件（23.5%）である。



<事業所種類別の比較>

	全体	専門の関係機関と常に連携をとり緊急時の対応ができる	専門スタッフを配置し、対応可能である	特段の対応は図っていない	人材の募集・確保を図っているところである	その他	無回答
全体	272 100.0	147 54.0	64 23.5	38 14.0	29 10.7	32 11.8	17 6.3
居宅介護支援事業	98 100.0	55 56.1	14 14.3	16 16.3	8 8.2	10 10.2	8 8.2
訪問介護	94 100.0	49 52.1	23 24.5	10 10.6	15 16.0	13 13.8	6 6.4
通所介護	41 100.0	21 51.2	16 39.0	9 22.0	4 9.8	3 7.3	0 0.0
通所リハビリテーション	8 100.0	5 62.5	3 37.5	1 12.5	0 0.0	1 12.5	0 0.0
介護老人福祉施設、 介護老人保健施設等	28 100.0	15 53.6	7 25.0	2 7.1	1 3.6	5 17.9	3 10.7
認知症対応型共同生活介護	3 100.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0

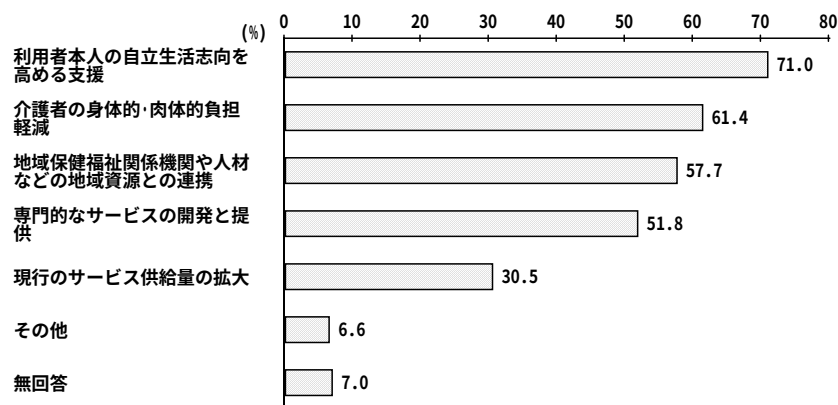
上段：実数
下段：%

*通所リハビリテーション、介護老人福祉施設等、認知症対応共同生活介護はサンプル数が少ないため参考値。

③在宅生活を継続するための条件（問 20、複数回答）

問20 貴事業所では、利用者が在宅生活を継続するためにはどのような条件が必要と考えますか。（あてはまるものに○）

在宅生活を継続するために必要な条件としては、「利用者本人の自立生活志向を高める支援」を 193 件（71.0%）の事業所があげた。次いで「介護者の身体的・肉体的負担軽減」が 167 件（61.4%）、「地域保健福祉関係機関や人材などの地域資源との連携」が 157 件（57.7%）、「専門的なサービスの開発と提供」が 141 件（51.8%）となっている。



<事業所種類別の比較>

	全体	利用者本人の自立生活志向を高める支援	介護者の身体的・肉体的負担軽減	地域保健福祉関係機関や人材などの地域資源との連携	専門的なサービスの開発と提供	現行のサービス供給量の拡大	その他	無回答
全体	272 100.0	193 71.0	167 61.4	157 57.7	141 51.8	83 30.5	18 6.6	19 7.0
居宅介護支援事業	98 100.0	68 69.4	58 59.2	58 59.2	47 48.0	27 27.6	9 9.2	11 11.2
訪問介護	94 100.0	72 76.6	54 57.4	48 51.1	55 58.5	23 24.5	2 2.1	4 4.3
通所介護	41 100.0	27 65.9	30 73.2	26 63.4	20 48.8	19 46.3	3 7.3	0 0.0
通所リハビリテーション	8 100.0	7 87.5	6 75.0	5 62.5	5 62.5	3 37.5	0 0.0	0 0.0
介護老人福祉施設、 介護老人保健施設等	28 100.0	18 64.3	18 64.3	18 64.3	13 46.4	9 32.1	3 10.7	4 14.3
認知症対応型共同生活介護	3 100.0	1 33.3	1 33.3	2 66.7	1 33.3	2 66.7	1 33.3	0 0.0

上段：実数
下段：%

＊通所リハビリテーション、介護老人福祉施設等、認知症対応型共同生活介護はサンプル数が少ないため参考値。

④介護保険制度への意見・要望（問 21、自由回答）

問21 現在、介護保険制度の見直しが進められていますが、制度全般についてご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。

主な回答は以下のとおりである。

制度全般	◇ 要介護認定の公平性が必要。 ◇ 介護保険によりケアマネジャーが保険や行政の代わりの役目とするようになってきた。 ◇ 更新申請を含む申請代行の仕組みを見直すべきだ。 ◇ 本来のケアマネジメント業務以外の事務をバックアップする仕組みがあれば独立するケアマネジャーは増える。 ◇ ケアマネジャーの報酬を見直して欲しい。 ◇ サービスの報酬を見直して欲しい。 ◇ サービスのできる範囲を見直して欲しい。 ◇ 精神障害者等の心のケアを含んだサービスの利用が困難なので検討して欲しい。 ◇ 福祉用具レンタルの値段設定が高すぎる。 ◇ 二世帯への生活援助ができない。 ◇ 経済的に困っている人への対策を考えて欲しい。 ◇ 利用者の1割負担は適切なのか検討して欲しい。
制度の見直し	◇ サービス利用者が不安に思っている。 ◇ 介護保険制度の見直しの中身を早めに知らせて欲しい。 ◇ 要支援と要介護1で家事援助サービスが使えないと困る人がでてくる。 ◇ 施設でホテルコスト（居住費と食費）をとると入所できずに困る人がでてくる。 ◇ 介護予防の筋力向上トレーニングに行くまでの移動手段はどうなるのか。 ◇ 引きこもりの人への対応はどうなるのか。 ◇ 介護予防サービスの自己選択、自己決定はどう取り組むのか。 ◇ 介護予防サービスだけで対応できない場合は、どうするのか。 ◇ 介護予防は65歳からでは遅すぎる。予防は健康保険で行うべき。 ◇ 制度改正により介護報酬が低下すると職員数を減らさざるをえず、サービスの質が低下する。 ◇ 職員配置数を適正にして欲しい。
窓口対応・広報	◇ 窓口で区民に制度の説明をして欲しい。 ◇ 制度の広報をして欲しい。 ◇ 家族等への説明会を開催して欲しい。
その他	◇ 福祉事務所と介護保険課の連携強化を。 ◇ 医療機関、保健福祉機関、地域の民生委員の連携強化を。 ◇ 研修会、勉強会を充実して欲しい。 ◇ 訪問介護 Q&A を1～2年ごとに発行して欲しい。

練馬区高齢者基礎調査（高齢者一般調査）

◆ 調査へのご協力をお願い ◆

日頃から、練馬区政にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

区では、新たな「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定に着手しています。

この調査は、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画がより実りある計画となるよう、高齢者の方々から、日頃の生活状況や区の高齢者施策に対するご意見・ご希望等をお聞かせいただくため実施するものです。

調査の対象者として、区内にお住まいの65歳以上の方々から3,000人を無作為で選び、調査票を送付させていただきました。なお、調査票にはお名前を書く必要はありません。また、お答えいただいた内容については統計的に処理し、ご迷惑をおかけすることはありませんので、ご協力いただきますようお願いいたします。

平成16年11月 練馬区

◆ 調査票のご記入にあたって ◆

- この調査は、平成16年11月1日現在の状況でお答えください。
 - 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。質問文にある「○は1つ」「あてはまるものすべてに○」などの指示にしたがってご回答ください。また、ご意見や数字などを直接ご記入いただく質問もあります。
 - 質問の回答が、「その他」にあてはまる場合は、（ ）内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
 - 回答はできる限り、対象者ご本人がご記入ください。なお、対象者ご本人おひとりでの回答がむずかしい場合は、ご家族の方がお手伝いいただくか、対象者の意見を聞いた上でご家族の方が代わりにご記入ください。
(調査票上の「ご本人」とは、封筒に印刷されたあて名ご本人を指します。)
- ★対象のご本人が何らかの事情により不在で調査できない場合には、下の枠内のいずれかに○印をつけてご返送ください。

- | | | | |
|---|-----------|---|---------|
| 1 | 医療機関入院中（ | 年 | 月より入院中） |
| 2 | 福祉施設入所中（ | 年 | 月より入所中） |
| 3 | 転居（ | 年 | 月ごろ転居） |
| 4 | その他（具体的に： | | ） |

- ご記入いただいた調査票は、12月9日（木）までに、同封の返信用封筒にてご返送ください。切手は不要ですので、そのままご投函ください。
- この調査についてのお問合せは、下記までお願いいたします。
練馬区 保健福祉部 高齢者課 事業計画担当
電話 3993-1111 (代表)

問1 この調査票を回答される方を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1 | あなた（あて名のご本人）がひとりで回答 |
| 2 | 代筆・代読してもらって、あなた（あて名のご本人）が回答 |
| 3 | ご家族が回答 |
| 4 | その他の方が回答（ ） |

◆あなた（あて名のご本人）のについてお聞きします。

問2 あなた（あて名のご本人）の性別と、平成16年11月1日現在の満年齢はいくつですか。
(○はそれぞれ1つずつ)

①性別 (○は1つ)	1 男性	2 女性
②年齢 (○は1つ)	1 65～69 歳	3 75～79 歳
	2 70～74 歳	4 80～84 歳
		5 85～89 歳
		6 90 歳以上

問3 あなた（あて名のご本人）のお住まいはどちらですか。

また、何丁目かもお答えください。(○は1つずつ)

町 名 (○は1つ)				丁目 (○は1つ)
あ行	1	旭丘	17 関町東	33 錦
	2	旭町	18 関町南	34 貫井
	3	大泉学園町	19 高野台	35 練馬
	4	大泉町	20 高松	36 羽沢
か行	5	春日町	21 田柄	37 早宮
	6	上石神井	22 立野町	38 光が丘
	7	上石神井南町	23 豊玉上	39 氷川台
	8	北町	24 豊玉北	40 東大泉
さ行	9	向山	25 豊玉中	41 富士見台
	10	小竹町	26 豊玉南	42 平和台
	11	栄町	27 土支田	43 南大泉
	12	桜台	28 中村	44 南田中
な行	13	下石神井	29 中村北	45 三原台
	14	石神井台	30 中村南	46 谷原
	15	石神井町	31 西大泉	
	16	関町北	32 西大泉町	

*丁目のない地域の方は記入の必要はありません。

問4 現在のお住まいでの、あなた（あて名のご本人）の居住年数を教えてください。

およそ	年	か月
-----	---	----

問5 あなた(あて名のご本人)の現在の世帯構成を次の中から教えてください。2世帯住宅などにお住まいの方は、別世帯の方も含めて同じ世帯とお考えください。(○は1つ)

1 単身(ひとりぐらし)世帯	2 夫婦のみの世帯	3 その他の世帯
----------------	-----------	----------



(問5で、2人以上でお暮らしの方におたずねします。)

問5-1 あなた(あて名のご本人)の世帯に、65歳未満の方はいらっしゃいますか。(○は1つ)

1 65歳未満の家族・同居人がいる
2 家族・同居人は、全員65歳以上である

(すべての方におたずねします。)

問6 平日の昼間、ご自宅にあなた(あて名のご本人)以外に、どなたかいらっしゃいますか。

(○は1つ)

1 いつも誰かがいる	3 自分ひとりのことが多い
2 誰かがいることが多い	4 いつも自分ひとりである

◆お住まいについてお聞きします。

問7 あなた(あて名のご本人)のお住まいは、次のうちのどれにあてはまりますか。(○は1つ)

1 一戸建て持ち家(自己所有のビルを含む)	5 UR賃貸住宅(旧公団住宅)・公社賃貸住宅(都民住宅を含む)
2 分譲マンション(集合住宅)	6 社宅・官舎・寮
3 民間の賃貸アパート・マンション	7 有料老人ホーム
4 都営住宅・区営住宅	8 その他()

問8 あなた(あて名のご本人)のお住まいは、現在次のような工夫をしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1 手すりがついている	5 寝室とトイレが同じ階にある
2 トイレが洋式である	6 浴槽がまたぎやすい高さである
3 段差をなくしているところがある	7 その他
4 廊下等の通路の幅が十分にある	()

問9 今後、あなた(あて名のご本人)のお住まいのなかで、改修をしたいところはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1 居室	4 階段・廊下	7 その他
2 食堂・台所	5 玄関	()
3 浴室・トイレ	6 外回り	8 特にない

◆健康や医療についてお聞きします。

問 10 あなた（あて名のご本人）の、現在の健康状態はいかがですか。（○は1つ）

- | | |
|------------|-----------------------------|
| 1 非常に健康である | 3 病気というほどではないが体調がすぐれないことがある |
| 2 健康である | 4 病気療養中である |

問 11 あなた（あて名のご本人）は、ふだん健康に気をつけていますか。（○は1つ）

- | | |
|-----------|--------------------|
| 1 気をつけている | 2 気をつけていない、意識していない |
|-----------|--------------------|



（問 11 で、ふだん健康に気をつけている方におたずねします。）

問 11－1 特に健康に気をつけていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|--|
| 1 食事や栄養に気をつけている |
| 2 適度な運動やスポーツをするよう心がけている |
| 3 規則正しい生活を心がけている |
| 4 ストレスをためないよう休養や気分転換を心がけている |
| 5 できるだけ外出するよう心がけている |
| 6 定期的に健康診断などを受けている |
| 7 禁煙・節煙を心がけている |
| 8 飲酒の量や回数に気をつけている |
| 9 体調のすぐれないときは、早めに医者に診てもらおうようにしている |
| 10 趣味活動をしている |
| 11 町会・自治会や老人クラブなどで活動をしている |
| 12 ボランティアやNPO団体などで活動をしている |
| 13 その他（ ） |

(すべての方におたずねします。)

問 12 あなた(あて名のご本人)が、健康のために身体を動かす(体操や散歩など)頻度はどのくらいですか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|----------------|
| 1 ほぼ毎日 | 4 週1日程度 |
| 2 週4日程度 | 5 月に1～2日程度 |
| 3 週2～3日程度 | 6 ほとんど身体を動かさない |

問 13 あなた(あて名のご本人)は通常、どのくらいの頻度で外出しますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|--------------------------------------|
| 1 ほぼ毎日 | 5 ほとんど外出しない(外出したいと思わない) |
| 2 週4日以上 | 6 ほとんど外出しない(外出したいが援助(介護)者がいないのでできない) |
| 3 週2～3日程度 | 7 その他() |
| 4 週1日程度 | |

問 14 健康について知りたいことはありますか。(○は3つまで)

- | |
|-------------------------|
| 1 がんや糖尿病などの生活習慣病の予防について |
| 2 栄養・食生活について |
| 3 運動の方法について |
| 4 寝たきりの予防について |
| 5 痴ほうの予防について |
| 6 介護予防(要介護状態への移行予防)について |
| 7 むし歯や歯周病の予防について |
| 8 骨折などの予防について |
| 9 気分転換・ストレスの解消方法について |
| 10 その他() |
| 11 特になし |

問 15 あなた(あて名のご本人)は現在、次にあげた病気やケガなどがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---------------------|-------------|-------------|
| 1 循環器系疾患(心臓や血管等の病気) | 4 泌尿器の疾患 | 8 骨粗しょう症、骨折 |
| 2 呼吸器系疾患(肺等の病気) | 5 歯科・口腔疾患 | 9 その他() |
| 3 消化器系疾患(胃や腸等の病気) | 6 眼科疾患 | 10 特になし |
| | 7 ひざや腰などの痛み | |

↳ 次ページ問 16 へ

(問 15 で、現在、病気やケガのある方におたずねします。)

問 15-1 治療のために病院や診療所、医院などに通院していますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1 週に3～5回通院している | 5 年に数回通院している |
| 2 週に1～2回通院している | 6 往診してもらっている |
| 3 月に2回くらい通院している | 7 通院はしていない |
| 4 月に1回くらい通院している | |

(すべての方におたずねします。)

問 16 あなた(あて名のご本人)には、かかりつけ医(診療所)、かかりつけ歯科医(診療所)がいますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1 かかりつけ医、かかりつけ歯科医ともにいる | 3 かかりつけ歯科医のみいる |
| 2 かかりつけ医のみいる | 4 どちらもいない |

問 17 あなた(あて名のご本人)は痴ほうについて、どの程度ご存知ですか。

(知っていることすべてに○)

- | |
|--|
| 1 痴ほうは病気である |
| 2 痴ほうの主たる症状として、記憶障害・見当識障害・判断力の低下などがある |
| 3 痴ほうの周辺症状として、妄想・幻覚・徘徊・異食・過食などがある |
| 4 痴ほうには、治療(投薬など)で症状が改善するものもある |
| 5 痴ほう予防には、バランスのよい食事、適度な運動・休養が有効といわれている |
| 6 痴ほう性高齢者のケアには、グループホームなどがある |
| 7 知っていることは特にない |

◆食事についてお聞きします。

問 18 あなた(あて名のご本人)はふだん毎日3食の食事をとっていますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|-----------|
| 1 毎日必ず3食とっている | 3 まちまちである |
| 2 ほとんど毎日2食である | 4 その他() |

問 19 あなた(あて名のご本人)が肉や魚を食べるのは、週に何回程度ですか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 1週間に7食以上 | 3 1週間に1～2食程度 |
| 2 1週間に3～6食程度 | 4 ほとんど食べない |

問 20 あなた(あて名のご本人)が乳製品をとるのは、週に何回程度ですか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 1週間に7食以上 | 3 1週間に1～2食程度 |
| 2 1週間に3～6食程度 | 4 ほとんどとらない |

問 21 あなた(あて名のご本人)は、ふだんの食事について主にどのようにしていますか。

(○は3つ以内)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1 いつも自分で調理する | 4 外食を利用する |
| 2 時々自分で調理する | 5 コンビニエンスストアなどの弁当を利用する |
| 3 自分はしないが家族が調理してくれる | 6 配食を利用する |
| | 7 その他() |

問 22 あなた(あて名のご本人)は、食事を主にどなたとられていますか。(○は1つ)

- | | |
|---------|----------|
| 1 主に家族と | 3 主にひとりで |
| 2 主に友人と | 4 その他() |

問 23 あなた(あて名のご本人)は、食事をすることが楽しいと感じますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1 とても楽しいと感じる | 3 楽しいと感じない |
| 2 楽しいと感じる | 4 食べる気力がない・つらい |

◆転倒についてお聞きします、

問 24 あなた(あて名のご本人)は、この1年間(昨年 11 月以降)に転んだ(または転びそうになった)ことはありますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|------------------------------|
| 1 転んだことがある | 3 転んだことがない、もしくは転びそうになったことがない |
| 2 転びそうになったことがある | →次ページ問 25 へ |

(問 24 で、転んだことがある、転びそうになったことがある方におたずねします。)

問 24-1 あなた(あて名のご本人)は、転んで(転びそうになって)ケガをしましたか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-----------------------------|
| 1 骨折して入院した(骨折箇所:) |
| 2 骨折して入院はしなかったが通院した(骨折箇所:) |
| 3 打撲・ねんざ・あざ |
| 4 その他() |
| 5 ケガはしなかった |

問 24-2 あなた(あて名のご本人)が、転んだ(転びそうになった)原因として、次のうちにあてはまるものに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|---------------------------|
| 1 段差・凸凹があった | 6 暗かった |
| 2 滑りやすかった | 7 布団、カーペット、コードなどの物に引っかかった |
| 3 つかまるものがなかった | 8 敷居、畳のへりなどに引っかかった |
| 4 物を持っていた | 9 ふらついたなど、体調が悪かった |
| 5 服装や履物等、身につけるものに原因があった(「眼鏡の度が合わない」も含む) | 10 その他() |

問 24-3 あなた(あて名のご本人)が、転んだ(転びそうになった)場所はどこですか。

① 家の中(庭先などの敷地内を含む)の「具体的な場所」(あてはまるものすべてに○)

1 居室	4 トイレ	7 廊下
2 食堂・台所	5 階段	8 庭・外回り
3 浴室・洗面所	6 玄関	9 その他()

② 家の外「具体的な場所」(あてはまるものすべてに○)

1 道路・歩道	3 バスの乗降	5 駅などの公共的建物
2 公園・広場	4 商店・病院などの建物	6 その他()

問 24-4 あなた(あて名のご本人)は転んだ(転びそうになった)結果、介護や介助が必要になりましたか。(○は1つ)

1 全面的な介護・介助が必要になった(ほとんど寝たきり)
2 一部介護・介助が必要になった
3 介護・介助が必要とはならなかった

◆就労状況と収入についてお聞きします。

(すべての方におたずねします。)

問 25 あなた(あて名のご本人)は現在、収入のある仕事についていますか。(○は1つ)

1 仕事についている	2 仕事についていない →次ページ問 25-3 へ
------------	---------------------------



(問 25 で、仕事についている方におたずねします。)

問 25-1 あなた(あて名のご本人)の就労形態は、次のうちのどれですか。(○は1つ)

1 自営業主(雇用人あり)	6 非常勤(パート・アルバイトなど)
2 自営業主(雇用人なし)	7 シルバー人材センター登録
3 自営業の手伝い	8 内職
4 会社・団体などの役員	9 その他
5 常勤	()

問 25-2 仕事についている理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 生活費を得るため	5 持っている技術や資格を生かすため
2 小遣いを得るため	6 健康のため
3 将来への蓄え(預貯金)のため	7 何もしないでいると退屈なので
4 生きがいを得るため	8 その他()

(問 25 で、現在、仕事についていない方におたずねします。)

問 25-3 あなた(あて名のご本人)が仕事につくとしたら、それはどのような理由からですか。

(あてはまるものすべてに○)

1 生活費を得るため	6 健康のため
2 小遣いを得るため	7 何もしないでいると退屈なので
3 将来への蓄え(預貯金)のため	8 その他()
4 生きがいを得るため	9 仕事にはつきたくない、仕事をする必要はない、できない
5 持っている技術や資格を生かすため	

(すべての方におたずねします。)

問 26 あなた(あて名のご本人)は、何歳ぐらいまで働きたいですか。または働いていましたか。

歳ぐらいまで

問 27 あなた(あて名のご本人)と配偶者の税込みの年収(年金を含む)の合計は、年間どの位ですか。(○は1つ)

1 100 万円未満	4 500 万円～700 万円未満
2 100 万円～300 万円未満	5 700 万円～1,000 万円未満
3 300 万円～500 万円未満	6 1,000 万円以上

問 28 あなた(あて名のご本人)と配偶者の収入源についてお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

1 年金による収入	5 株などの売却利益や配当、預貯金の利子
2 給与収入	6 仕送り
3 自営業などの収入	7 その他
4 地代・家賃などの不動産収入	()

◆生きがいや社会参加意識についてお聞きします。

問 29 あなた(あて名のご本人)は、現在の生活に満足していますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 とても満足している | 3 あまり満足していない |
| 2 満足している | 4 満足していない |

問 30 あなた(あて名のご本人)にとっての生きがいについてお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1 家族・親族とのふれあい | 7 健康の保持・増進 |
| 2 近所づきあい | 8 生涯学習 |
| 3 友人・仲間づくり | 9 ボランティア・NPO活動 |
| 4 仕事を持つこと | 10 町会・自治会・老人クラブ活動 |
| 5 趣味を持つこと | 11 その他() |
| 6 スポーツ活動 | 12 特にない |

問 31 あなた(あて名のご本人)は、現在、町会・自治会やボランティア・NPO活動を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 町会・自治会の活動をしている | 3 ボランティア活動をしている |
| 2 老人クラブの活動をしている | 4 NPO活動をしている |
| | 5 活動はしていない |

(問 31 で、現在、ボランティア・NPO活動を行っている方におたずねします。)

問 31-1 あなた(あて名のご本人)は、どのような分野で活動をしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 保健・医療・福祉に関する活動 | 6 災害救援・地域安全に関する活動 |
| 2 生涯学習・文化・芸術に関する活動 | 7 子どもの育成に関する活動 |
| 3 まちづくりに関する活動 | 8 情報の受発信に関する活動 |
| 4 スポーツに関する活動 | 9 その他の分野に関する活動 |
| 5 環境の保全に関する活動 | () |

(問 31 で、現在、ボランティア・NPO活動を行っていない方におたずねします。)

問 31-2 あなた(あて名のご本人)は、どのようなきっかけがあれば、ボランティア・NPO活動に取り組むと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1 紹介があれば活動したい | 5 活動する場が身近なところがあれば活動したい |
| 2 時間に余裕があれば活動したい | 6 健康状態がよくなったら活動したい |
| 3 知り合いがいれば活動したい | 7 その他() |
| 4 関心・興味のあるテーマがあれば活動したい | 8 活動したくない・関心がない |

◆日常生活についてお聞きします。

(すべての方におたずねします。)

問 32 次のことについて、あなた(あて名のご本人)はご自分でできますか。

(○はそれぞれの質問に1つ)

ア. バスや電車を使ってひとりで外出できる・・・

1 できる 2 できない

イ. 日用品の買い物ができる・・・・・・・・・・

1 できる 2 できない

ウ. 食事の用意ができる・・・・・・・・・・

1 できる 2 できない

エ. 請求書の支払ができる・・・・・・・・・・

1 できる 2 できない

オ. お金の管理(預貯金の出し入れなど)ができる・

1 できる 2 できない

(問 32 アで、バスや電車を使ってひとりで外出できないとお答えの方におたずねします。)

問 32-1 あなた(あて名のご本人)は、外出する際、主にどのような手段を使っていますか。

(○は2つまで)

- 1 介護者の協力を得て、バス・電車などの交通機関を利用する
- 2 家族などの車を利用する
- 3 タクシーを利用する
- 4 ボランティア・NPO団体などの車による移動・送迎を利用する
- 5 外出しない
- 6 その他 ()

(すべての方におたずねします。)

問 33 現在のあなた(あて名のご本人)は、次のような不安や悩みごとがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------|---------------------|
| 1 世話をしてくれる人がいない | 7 家計のこと |
| 2 親しい友人がいない | 8 住宅のこと |
| 3 近所の人たちと交流がない・うまく
いっていない | 9 物忘れがひどくなった |
| 4 健康に自信がない | 10 防犯・防災のこと |
| 5 家族や親族との関係がよくない | 11 その他 () |
| 6 財産管理や相続のこと | 12 特にない →次ページ問 34 へ |

（問 33 で、不安や悩みごとがある方におたずねします。）

問 33-1 あなた（あて名のご本人）は、不安や悩みごとは誰に相談していますか。

（あてはまるものすべてに○）

1 同居の家族	6 専門家（医師、弁護士、カウンセラーなど）
2 別居している子どもや親族	7 区などの行政機関
3 友人・知人	8 その他
4 近所の人	（
5 民生委員	9 相談相手はいない

◆介護保険の認定申請などについてお聞きします。

（すべての方におたずねします。）

問 34 あなた（あて名のご本人）は、要介護認定の申請をされていますか。（○は1つ）

1 申請を行った	2 申請していない →問 34-2 へ
----------	---------------------



（問 34 で、要介護認定の申請を行った方におたずねします。）

問 34-1 要介護認定の申請結果は、次のうちどれですか。（○は1つ）

1 非該当（自立）	3 要支援	5 要介護 2	7 要介護 4
2 申請中	4 要介護 1	6 要介護 3	8 要介護 5

（問 34 で、要介護認定の申請をしていない方におたずねします。）

問 34-2 要介護認定の申請をしていない主な理由は何ですか。（○は1つ）

1 健康なので（身の回りのことはできるので）制度を利用する必要がない
2 家族で介護できるので、制度を利用する必要がない
3 利用したいサービスがない
4 利用者負担がかかるため、利用したくても利用できない
5 サービス利用の方法や手続きがよくわからない
6 治療が必要なため、医療機関に入院している
7 その他（

(すべての方におたずねします。)

問 35 あなた(あて名のご本人)が日常生活をおくる上で介護が必要になった場合、どのようにしたいと思いますか。現在、介護を受けられている方も、今後の希望をお答えください。

(○は1つ)

- | | |
|----------------------------------|---|
| 1 自宅で家族介護を中心に暮らしたい | |
| 2 自宅で介護保険や在宅支援サービスなどを利用しながら暮らしたい | |
| 3 特別養護老人ホームなどの施設に入所したい | |
| 4 介護してくれる病院に入院したい | |
| 5 有料老人ホームに入所したい | |
| 6 その他 (|) |
| 7 わからない | |

◆高齢者の介護の経験についてお聞きします。

問 36 あなた(あて名のご本人)は、高齢者の介護をした経験はありますか。(○は1つ)

- | |
|-------------------------|
| 1 現在介護をしている |
| 2 以前は介護をしていたが現在はしていない |
| 3 今まで介護をしたことはない →問 37 へ |

(問 36 で、高齢者を介護した経験のある方におたずねします。)

問 36-1 介護をしていて、どのようなことが困りましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|------------------|
| 1 相談先がわからない | 5 自分の自由時間が確保できない |
| 2 介護者本人に対し周囲の理解・協力が得られない | 6 介護方法がわからない |
| 3 要介護者が医療機関などの受診に同意しない | 7 先の見通しが立たない |
| 4 要介護者の言動が気に入り気が休まらない | 8 その他 (|
| | 9 特にない |

(すべての方におたずねします。)

問 37 家族等を介護する際に、あなた(あて名のご本人)はどのようにしたいと思いますか。

(○は1つ)

- | |
|----------------------------------|
| 1 自宅で家族介護を中心に介護したい |
| 2 自宅で介護保険や在宅支援サービスなどを利用しながら介護したい |
| 3 特別養護老人ホームなどの施設に入所させたい |
| 4 病院などの医療機関に入院させたい |
| 5 介護の対象となる家族等はいない |
| 6 わからない |

◆区の在宅支援サービスの利用状況についてお聞きします。

問 38 あなた（あて名のご本人）は、次の区の在宅支援サービスを利用したことがありますか。ア～コすべてのサービスについて、利用の有無等の欄にあてはまる番号に○をつけてください。（○はそれぞれ1つ）

設問	利用の有無等		
	利用したことがある	利用したことがない	知っているが、知らない
在宅支援サービス			
ア. 生活支援ホームヘルプサービス ひとりぐらしや高齢者のみの世帯の方（介護保険対象者を除く）で、日常生活に支援が必要な方に、ホームヘルパーが買い物・洗濯などの家事援助を週2時間まで行います。	1	2	3
イ. 食事サービス ひとりぐらしや高齢者のみの世帯の方などで、定期的な食事の確保が困難であり、「食」の自立の観点から必要がある方に、週1～3回、配食または会食で食事を提供します。	1	2	3
ウ. 一声訪問 70歳以上のひとりぐらしの方に、安否確認のため週3回、配達員が一声かけて乳酸菌飲料を配達します。	1	2	3
エ. 車いすなどの貸与 病気やケガなどにより、一時的に居宅において介護用品の使用を必要とする方に、車いす、介護用ベッドを貸与します。	1	2	3
オ. 自立支援用具給付 日常生活の動作に何らかの支障があり、自立支援用具の使用が必要と認められる方（介護保険対象者を除く）などに、つえなどの用具を給付します。	1	2	3
カ. 自立支援住宅改修予防給付 日常生活の動作に何らかの支障があり、住宅改修が必要と認められる方（介護保険対象者を除く）に、手すりの取り付けや段差の解消など住宅改修を行います。	1	2	3
キ. 布団の乾燥消毒 介護保険要介護1～5と認定されたひとりぐらしや高齢者のみの世帯の方に、布団の乾燥消毒・薬品消毒・水洗いを行います。	1	2	3
ク. 紙おむつなどの支給 介護保険要介護1～5と認定された常時失禁状態にある方に、紙おむつや尿とりパッドなどを支給します。	1	2	3
ケ. 家族介護者教室 在宅で高齢者を介護している家族の方などを対象に、デイサービスセンターや介護老人保健施設などで、より良い介護を行うための学習の場を提供します。	1	2	3
コ. 在宅介護支援センター 介護福祉士や看護師など介護の専門職員が、介護や介護予防に関する相談に応じるほか、区の高齢者サービスや介護保険の要介護認定の申請を受け付けます。	1	2	3

(問 38 で、利用したことがあるサービスが1つでもある方におたずねします。)

問 38-1 あなた(あて名のご本人)が利用したサービスの満足度についてお答えください。

(○は1つ) また、不満があるとお答えの方は、その理由をお答えください。

1 とても満足している 2 まあ満足している 3 どちらともいえない 4 やや不満である 5 不満である	→	不満のあるサービス名・理由
--	---	---------------

◆区の保健福祉施策についてお聞きます。

(すべての方におたずねします。)

問 39 あなた(あて名のご本人)は、高齢者のための施策として、今後どのようなことに力を入れてほしいと思いますか。最も力を入れてほしいものを3つまで選んでください。(○は3つまで)

1 生きがい支援	9 特別養護老人ホームなどの介護保険施設の整備
2 就労支援	10 ホームヘルパーなどの在宅支援サービスの充実
3 健康管理・健康づくりへの支援	11 地域におけるボランティア活動・組織の支援
4 高齢者が住みやすい住宅への支援	12 防犯・防災対策
5 公共的建物や道路、公園などのバリアフリー(障壁除去)化	13 その他()
6 要介護状態にならないようにする介護予防策の充実	14 特にない
7 寝たきり・要介護の高齢者に対する支援	15 わからない
8 痴ほう性高齢者の支援	

問 40 あなた(あて名のご本人)は、健康や保健福祉に関する知識・情報を何から得ていますか。

(○は3つまで)

1 友人・知人	6 インターネット	10 回覧板
2 家族・親族	7 区などの行政機関	11 雑誌・専門書
3 病院などの医療機関	8 「わたしの便利帳」「高齢者の生活ガイド」など区の刊行物	12 その他()
4 テレビ・ラジオ	9 「ねりま区報」	13 特にない
5 新聞		

問 41 あなた(あて名のご本人)は、どんな情報に関心がありますか。(○は3つまで)

1 保健・医療	7 住まい	13 相続
2 介護保険サービス	8 就労	14 パソコンやインターネット
3 区の福祉サービス	9 趣味・娯楽	15 その他()
4 健康づくり	10 生涯学習・教養活動	16 特にない
5 年金	11 ボランティア・NPO活動	
6 税金	12 町会・自治会・老人クラブ活動	

◆介護保険制度についてお聞きします。

問 42 あなた（あて名のご本人）は、介護保険制度についてどの程度ご存知ですか。

(知っていることすべてに○)

- 1 介護保険制度は、介護を社会全体で支えることをめざした制度である
- 2 原則として 40 歳以上の方全員が加入し、保険料を納める
- 3 保険料は区市町村ごとに、被保険者本人の所得に応じて決める
- 4 介護保険を利用するときには、まず、区市町村に要介護認定の申請をする
- 5 要介護度に応じて、利用できる介護サービスの利用限度額が異なる
- 6 利用者が必要なサービスを選択することができる
- 7 介護サービスを利用した時には、かかった費用の 1 割を直接負担する
- 8 介護保険制度は、現在制度の見直しが検討されている
- 9 知っていることはない

問43 介護保険制度は、原則として40歳以上の方全員が加入し、必要な保険料を負担しています。あなた（あて名のご本人）は、このことについてどう思いますか。（○は1つ）

- [illegible]

問 44 高齢者保健福祉施策(介護保険を含む)について、ご意見やご要望がございましたら、下欄にご記入ください。

[illegible]

● 上記の内容はどなたの意見ですか。

- | | | | |
|---|--------------|---|----------|
| 1 | ご本人（あて名のご本人） | 3 | ご家族 |
| 2 | 代筆・代読された方 | 4 | その他の方（ ） |

ご協力ありがとうございました。12月9日（木）までに同封の返信用封筒でご返送ください。

練馬区高齢者基礎調査（介護サービス利用者調査）

◆ 調査へのご協力をお願い ◆

日頃から、練馬区政にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。
区では、新たな「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定に着手しています。

この調査は、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画がより実りある計画となるよう、高齢者の方々から、日頃の生活状況や区の高齢者施策に対するご意見・ご希望等をお聞かせいただくため実施するものです。

調査の対象者として、区内にお住まいの介護保険サービスを利用している高齢者の方々から 3,000 人を無作為で選び、調査票を送付させていただきました。なお、調査票にはお名前を書く必要はありません。また、お答えいただいた内容については統計的に処理し、ご迷惑をおかけすることはありませんので、ご協力いただきますようお願いいたします。

平成 16 年 11 月 練馬区

◆ 調査票のご記入にあたって ◆

- この調査は、平成 16 年 11 月 1 日現在の状況でお答えください。
- 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。質問文にある「○は 1 つ」「あてはまるものすべてに○」などの指示にしたがってご回答ください。また、ご意見や数字などを直接ご記入いただく質問もあります。
- 質問の回答が、「その他」にあてはまる場合は、（ ）内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
- 回答はできる限り、対象者ご本人がご記入ください。なお、対象者ご本人おひとりでの回答がむずかしい場合は、ご家族の方がお手伝いいただくか、対象者の意見を聞いた上でご家族の方が代わりにご記入ください。

（調査票上の「ご本人」とは、封筒に印刷されたあて名ご本人を指します。）

★対象のご本人が何らかの事情により不在で調査できない場合には、下の枠内のいずれかに○印をつけてご返送ください。

- | | | | |
|---|-----------|---|---------|
| 1 | 医療機関入院中（ | 年 | 月より入院中） |
| 2 | 福祉施設入所中（ | 年 | 月より入所中） |
| 3 | 転居（ | 年 | 月ごろ転居） |
| 4 | その他（具体的に： | | ） |

- ご記入いただいた調査票は、12 月 9 日（木）までに、同封の返信用封筒にてご返送ください。切手は不要ですので、そのままご投函ください。

- この調査についてのお問合せは、下記までお願いいたします。

練馬区 保健福祉部 介護保険課 事業計画担当
電話 3993-1111 (代表)

問1 この調査票を回答される方を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1 | あなた(あて名のご本人)がひとりで回答 |
| 2 | 代筆・代読してもらって、あなた(あて名のご本人)が回答 |
| 3 | ご家族が回答 |
| 4 | その他の方が回答() |

◆あなた(あて名のご本人)のことについてお聞きます。

問2 あなた(あて名のご本人)の性別と、平成16年11月1日現在の満年齢はいくつですか。
(○はそれぞれ1つずつ)

①性別 (○は1つ)	1 男性	2 女性
②年齢 (○は1つ)	1 65～69 歳	3 75～79 歳
	2 70～74 歳	4 80～84 歳
		5 85～89 歳
		6 90 歳以上

問3 あなた(あて名のご本人)のお住まいはどちらですか。

また、何丁目かもお答えください。(○は1つずつ)

町 名 (○は1つ)						丁目 (○は1つ)			
あ行	1	旭丘	17	関町東	33	錦	1	1丁目	
	2	旭町	18	関町南	34	貫井	2	2丁目	
	3	大泉学園町	た行	19	高野台	35	練馬	3	3丁目
	4	大泉町	20	高松	は行	36	羽沢	4	4丁目
か行	5	春日町	21	田柄	37	早宮	5	5丁目	
	6	上石神井	22	立野町	38	光が丘	6	6丁目	
	7	上石神井南町	23	豊玉上	39	氷川台	7	7丁目	
	8	北町	24	豊玉北	40	東大泉	8	8丁目	
さ行	9	向山	25	豊玉中	41	富士見台	9	9丁目	
	10	小竹町	26	豊玉南	42	平和台			
	11	栄町	27	土支田	ま行	43	南大泉		
	12	桜台	な行	28	中村	44	南田中		
	13	下石神井	29	中村北	45	三原台			
	14	石神井台	30	中村南	や行	46	谷原		
	15	石神井町	31	西大泉					
	16	関町北	32	西大泉町					

*丁目の無い地域の方は記入の必要はありません。

問4 あなた(あて名のご本人)の現在の世帯構成を次の中からお答えください。(○は1つ)

1 単身(ひとりぐらし)世帯	2 夫婦のみの世帯	3 その他の世帯
----------------	-----------	----------

↓
次ページ問4-1へお進みください。

→ 次ページ問4-2へお進みください。

(問4で、現在ひとりぐらしの方におたずねします。)

問4-1 現在ひとりぐらしをされていて、不安なことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1 健康面(要介護状態の悪化 など) | 6 親族との関係(行き来がない など) |
| 2 生計面(経済的に苦しくなること など) | 7 その他 |
| 3 防犯・防災(避難場所がわからない など) | () |
| 4 住居(老朽化、高齢者向きでない など) | 8 不安なことは特にない |
| 5 隣近所との関係(付き合いがあまりない など) | |

(問4で、2人以上でお暮らしの方におたずねします。)

問4-2 あなた(あて名のご本人)の世帯には65歳未満の方はいらっしゃいますか。(○は1つ)

- | |
|----------------------|
| 1 65歳未満の家族・同居人がいる |
| 2 家族・同居人は、全員65歳以上である |

(すべての方におたずねします。)

問5 あなた(あて名のご本人)と配偶者の税込みの年収(年金を含む)の合計は、年間どの位ですか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 100万円未満 | 4 500万円～700万円未満 |
| 2 100万円～300万円未満 | 5 700万円～1,000万円未満 |
| 3 300万円～500万円未満 | 6 1,000万円以上 |

問6 あなた(あて名のご本人)と配偶者の収入源についてお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|---------|
| 1 年金による収入 | 6 仕送り |
| 2 給与収入 | 7 生活保護 |
| 3 自営業などの収入 | 8 その他 |
| 4 地代・家賃などの不動産収入 | () |
| 5 株などの売却利益や配当、預貯金の利子 | 9 収入はない |

問7 あなた(あて名のご本人)の現在の要介護度は次のうち、どれですか。(○は1つ)

- | | | | |
|----------------|----------------|----------------|---------|
| 1 要支援 | 3 要介護 2 | 5 要介護 4 | 7 わからない |
| 2 要介護 1 | 4 要介護 3 | 6 要介護 5 | |

問7-1 1年前(平成15年11月ごろ)の要介護度は次のうち、どれですか。(○は1つ)

- | | | | |
|----------------|----------------|----------------|---------|
| 1 要支援 | 3 要介護 2 | 5 要介護 4 | 7 自立 |
| 2 要介護 1 | 4 要介護 3 | 6 要介護 5 | 8 わからない |

問8 あなた(あて名のご本人)が要介護状態になった主なきっかけは何ですか。(○は1つ)

1 高血圧症	8 肝疾患	15 ひざや腰などの関節の痛み
2 高脂血症	9 胃腸疾患	16 骨粗しょう症、骨折
3 糖尿病	10 泌尿器の疾患	17 アルツハイマー病
4 心疾患	11 神経痛	18 老 衰
5 脳血管疾患	12 パーキンソン病	19 痴ほう
6 呼吸器疾患	13 歯科・口腔疾患	20 その他
7 腎疾患	14 眼科疾患	()

◆住環境などについてお聞きします。

問9 あなた(あて名のご本人)のお住まいは、次のうちのどれにあてはまりますか。(○は1つ)

1 一戸建て持ち家(自己所有のビルを含む)	5 UR賃貸住宅(旧公団住宅)・公社賃貸住宅(都民住宅を含む)
2 分譲マンション(集合住宅)	6 社宅・官舎・寮
3 民間の賃貸アパート・マンション	7 有料老人ホーム
4 都営住宅・区営住宅	8 その他()

問 10 あなた(あて名のご本人)は現在、主として住居(アパート、マンション等も含む)の何階で生活していますか。

階

問 11 あなた(あて名のご本人)の現在のお住まいにはエレベーターはありますか。(○は1つ)

1 ある	2 ない
------	------

問 12 あなた(あて名のご本人)のお住まいは、現在次のような工夫をしていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1 手すりがついている	5 寝室とトイレが同じ階にある
2 トイレが洋式である	6 浴槽がまたぎやすい高さである
3 段差をなくしているところがある	7 その他
4 廊下等の通路の幅が十分にある	()

問 13 今後、あなた（あて名のご本人）のお住まいのなかで、改修をしたいところがありますか。
（あてはまるものすべてに○）

1 居室の段差をなくし、ところどころに 手すりをつける	6 階段・廊下に手すりをつけたり、段差 をなくす
2 居室の床をフローリングにする	7 玄関の段差をなくす
3 食堂・台所を車いすでも使いやすいよ うに高さを調節できるようにする	8 外回りの段差（通路等）をなくす
4 浴室・トイレに手すりをつけたり、段 差をなくす	9 その他（ ）
5 階段・廊下の幅を広げる	10 特にない

問 14 あなた（あて名のご本人）は、近いうちに住み替えを予定されていますか。次のうち、あて
はまる住宅を選んでください。（○は1つ）

1 一戸建て持家（自己所有のビルを含む）	6 社宅・官舎など
2 分譲マンション（集合住宅）	7 ケアハウス
3 民間の賃貸アパート・マンション	8 シルバーピアなどの高齢者向け住宅
4 都営住宅・区営住宅	9 有料老人ホーム
5 UR賃貸住宅（旧公団住宅）・公社賃貸 住宅（都民住宅を含む）	10 その他（ ）
	11 住み替え予定はない

◆介護保険制度についてお聞きします。

問 15 あなた（あて名のご本人）が、介護保険の要介護認定を申請した理由は何ですか。次のう
ち、あてはまるものに2つまで○をつけてください。（○は2つまで）

1 家事・調理、洗濯、掃除等が負担になって きたから	7 必要時にサービスを受けるため、 事前に認定申請した
2 身の回りの行為が困難になってきたから	8 とりあえず、自分の要介護度を知 りたく、申請した
3 買い物や外出が負担になってきたから	9 医師、看護師から勧められた
4 通院等に手助けがほしくなってきたから	10 家族に勧められた
5 介護保険の施設入所を希望しているから	11 友人・知人などに勧められた
6 住宅改修または福祉用具購入のみ利用す るから	12 その他（ ）

問 16 あなた（あて名のご本人）は、次の施設に入所（入院）申し込みをしていますか。あてはま
るものすべてに○をつけてください。（あてはまるものすべてに○）

1 特別養護老人ホーム	5 有料老人ホーム
2 老人保健施設	6 一般の病院（医療保険での入院）
3 療養病床	7 その他（ ）
4 痴ほう性高齢者グループホーム	8 施設への入所（入院）意向はない



次ページ問 16－1 へお進みください。



次ページ問 16－2 へお進みください。

（問 16 で「1～4の介護保険施設に申し込みをしている」と答えた方におたずねします。）

問 16-1 申し込み理由はどのようなものですか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|--|
| 1 介護者がいない等の理由で、在宅で介護を受けられないから |
| 2 家族が働いているため、在宅で介護を十分受けられないから |
| 3 家族の健康状態がよくないため、在宅で介護を十分受けられないから |
| 4 家族が精神的に疲れているため |
| 5 家族が身体的に疲れているため |
| 6 リハビリ等が必要であり、医師等に入所（入院）をすすめられたから |
| 7 ひとりぐらしや高齢者世帯のため、在宅での生活に不安を感じるから |
| 8 現在の住居が介護に適していないから |
| 9 入所（入院）待ちの期間を見込んで、早めに入所（入院）を申し込む必要があるから |
| 10 自己負担が少なくてすむから |
| 11 その他（ ） |

（問 16 で、「施設への入所（入院）意向はない」と答えた方におたずねします。）

問 16-2 施設への入所を希望されない主な理由は何ですか。次のうちから2つまで選んでください。（○は2つまで）

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| 1 できるかぎり自宅で過ごしたいから | 7 入院・入所で費用がかかるから |
| 2 家族介護で十分生活できるから | 8 家族とのつながりを保ちたいから |
| 3 施設での生活は自由がきかないと思うから | 9 自分の身の回りのことはできるだけ自分でしたいから |
| 4 友人・知人とのつきあいを続けたいから | 10 その他（ ） |
| 5 隣近所とのつきあいを続けたいから | |
| 6 健康状態が良好だから | |

◆あなた（ご本人）の健康状態についてお聞きします。

（すべての方におたずねします。）

問 17 あなた（あて名のご本人）は、健康だと思いますか。（○は1つ）

「あまり健康でない」「健康ではない」方は、その理由もお答えください。

<table border="1"><tr><td>1 非常に健康</td></tr><tr><td>2 まあ健康</td></tr><tr><td>3 あまり健康でない</td></tr><tr><td>4 健康ではない</td></tr></table>	1 非常に健康	2 まあ健康	3 あまり健康でない	4 健康ではない	健康ではない理由
1 非常に健康					
2 まあ健康					
3 あまり健康でない					
4 健康ではない					

問 18 あなた（あて名のご本人）がご自分でできる項目すべてに○をつけてください。

（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1 日用品の買い物ができる | 6 請求書の支払いができる |
| 2 自分の食事が用意できる | 7 年金などの書類が書ける |
| 3 横断歩道を青信号の間に渡りきることができる | 8 できる項目はひとつもない |
| 4 およそ 20 分間続けて歩くことができる | |
| 5 自分でお金の管理（預貯金の出し入れ）ができる | |

◆ふだんの食生活についてお聞きします。

問 19 あなた(あて名のご本人)はふだん毎日3食の食事をとっていますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|-----------|
| 1 毎日必ず3食とっている | 3 まちまちである |
| 2 ほとんど毎日2食である | 4 その他() |

問 20 あなた(あて名のご本人)はふだんの食事についてどのようにしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 いつも自分で調理する | 5 外食を利用する →問 20-1 へ |
| 2 時々自分で調理する | 6 配食を利用する →問 20-2 へ |
| 3 自分はしないが家族が調理してくれる | 7 その他() |
| 4 ヘルパーが調理してくれる | |

(問 20 で、外食を利用する方におたずねします。)

問 20-1 外食を利用されるのは、平均すると週に何回程度ですか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|--------------|------------|
| 1 1週間に1～2食程度 | 2 1週間に3～6食程度 | 3 1週間に7食以上 |
|--------------|--------------|------------|

(問 20 で、配食を利用する方におたずねします。)

問 20-2 配食を利用されるのは、平均すると週に何回程度ですか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|--------------|------------|
| 1 1週間に1～2食程度 | 2 1週間に3～6食程度 | 3 1週間に7食以上 |
|--------------|--------------|------------|

(すべての方におたずねします。)

問 21 あなた(あて名のご本人)が肉や魚を食べるのは、週に何回程度ですか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 ほとんど食べない | 3 1週間に3～6食程度 |
| 2 1週間に1～2食程度 | 4 1週間に7食以上 |

問 22 あなた(あて名のご本人)が乳製品をとるのは、週に何回程度ですか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 ほとんどとらない | 3 1週間に3～6食程度 |
| 2 1週間に1～2食程度 | 4 1週間に7食以上 |

問 23 あなた(あて名のご本人)は、食事を主にどなたとられていますか。(○は1つ)

- | | |
|---------|----------|
| 1 主に家族と | 3 主にひとりで |
| 2 主に友人と | 4 その他() |

問 24 あなた(あて名のご本人)は、食事をするのが楽しいと感じますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1 とても楽しいと感じる | 3 楽しいと感じない |
| 2 楽しいと感じる | 4 食べる気力がない・つらい |

◆外出やおつきあいについてお聞きします。

問 25 あなた(あて名のご本人)は1日中家の外には出ず、家の中で過ごすことが多いですか。
(○は1つ)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 家の中で過ごすことが多い | 2 家の中で過ごすことは少ない |
|----------------|-----------------|

問 26 近所への買物、散歩、通院などを含め、あなた(あて名のご本人)の1週間の外出頻度を教えてください。(○は1つ)

- | | | |
|----------|----------|-------------|
| 1 ほとんど毎日 | 3 週に1回程度 | 5 ほとんど外出しない |
| 2 週に2～3回 | 4 月に1～2回 | |

問 27 あなた(あて名のご本人)が、友人や近所の人あるいは家族(別居)や親戚の方と会っておしゃべりする頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------|------------|----------|
| 1 ほぼ毎日 | 3 1週間に1回程度 | 5 ほとんどない |
| 2 2～3日に1回程度 | 4 1ヶ月に1回程度 | |

問 28 外出するときのあなた(あて名のご本人)の状況はいかがですか。(○は1つ)

- | |
|--|
| 1 交通機関を使って一人で外出できる |
| 2 補助具(つえ、シルバーカーなど)を使いながら、交通機関を利用して一人で外出できる |
| 3 バスや電車などの交通機関を使わない範囲内なら一人で外出できる |
| 4 介助者がいなければ外出できない |
| 5 寝たきりなので、外出できない |

問 29 あなた(あて名のご本人)は、この1年間(昨年11月以降)に転んだ(または転びそうになった)ことはありますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|------------------------------|
| 1 転んだことがある | 3 転んだことがない、もしくは転びそうになったことがない |
| 2 転びそうになったことがある | → 次ページ問30へ |

(問29で、転んだことがある、転びそうになったことがある方におたずねします。)

問 29-1 あなた(あて名のご本人)は、この1年間に何回くらい転んだ(転びそうになった)ことがありますか。(○は1つ)

- | | | | | |
|------|------|------|------|--------|
| 1 1回 | 2 2回 | 3 3回 | 4 4回 | 5 5回以上 |
|------|------|------|------|--------|

問 29-2 あなた(あて名のご本人)は、転んで(転びそうになって)ケガをしましたか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|---|
| 1 骨折して入院した (骨折か所: |) |
| 2 骨折して入院はしなかったが通院した (骨折か所: |) |
| 3 打撲・ねんざ・あざ | |
| 4 その他 (|) |
| 5 ケガはしなかった | |

問 29-3 あなた(あて名のご本人)が、転んだ(転びそうになった)場所はどこですか。

① 家の中(庭先などの敷地内を含む)の「具体的な場所」(あてはまるものすべてに○)

1 居室	4 トイレ	7 廊下
2 食堂・台所	5 階段	8 庭・外回り
3 浴室・洗面所	6 玄関	9 その他()

② 家の外の「具体的な場所」(あてはまるものすべてに○)

1 道路・歩道	3 バスの乗降	5 駅などの公共的建物内
2 公園・広場	4 商店・病院などの建物内	6 その他()

◆介護保険についてお聞きします。

(すべての方におたずねします。)

問 30 あなた(あて名のご本人)の介護保険料(年額)はいくらですか。(○は1つ)

1 第1段階(19,800円)	4 第4段階(49,500円)
2 第2段階(29,700円)	5 第5段階(59,400円)
3 第3段階(39,600円)	6 知らない

問 31 あなた(あて名のご本人)は、介護保険料についてどのように感じていますか。(○は1つ)

1 負担とは感じない	4 負担と感じる
2 それほど負担とは感じない	5 どちらともいえない
3 多少負担と感じる	6 わからない

問 32 ケアプランについておたずねします。

① あなた(あて名のご本人)は、ケアプランの内容をご存知ですか。(○は1つ)

1 知っている	2 あまり知らない	3 知らない
---------	-----------	--------

② ケアプランの作成にあたり、あなた(あて名のご本人)やご家族の意見や要望は反映されていますか。(○は1つ)

1 反映されている	3 あまり反映されていない
2 ほぼ反映されている	4 反映されていない

問 33 あなた(あて名のご本人)は、介護保険に関する相談・苦情をどこにしていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1 区の介護保険課または福祉事務所	7 民生委員
2 担当のケアマネジャー	8 保健福祉サービス苦情調整委員
3 サービス事業者	9 その他()
4 都の国保連合会	10 どこにしていいいかわからない
5 医師	11 相談・苦情は特にない
6 在宅介護支援センター	

問 34 あなた(あて名のご本人)が現在、利用されている介護サービスについて、苦情以外で何かご注文やご意見はありますか。ご自由にご記入ください。(主な利用サービス2つまで)

利用サービス名：
注文や意見：
利用サービス名：
注文や意見：

問 35 あなた(あて名のご本人)は、介護保険の制度・サービス事業者等に関する情報は、どこから得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

1 区の窓口・電話	7 民生委員
2 区が発行するパンフレット類	8 テレビ、ラジオ、新聞、雑誌
3 区の広報誌	9 インターネット
4 担当のケアマネジャー	10 その他
5 サービス事業者	()
6 在宅介護支援センター	11 特になし

問 36 介護サービスについておたずねします。あなた(あて名のご本人)が先月(平成16年10月)に受けていた介護サービスは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。
(あてはまるものすべてに○)

1 訪問介護	8 短期入所生活介護(ショートステイ)
2 訪問入浴介護	9 短期入所療養介護(医療型ショートステイ)
3 訪問リハビリテーション	10 福祉用具貸与
4 訪問看護	11 福祉用具購入
5 居宅療養管理指導	12 住宅改修
6 通所介護(デイサービス)	13 痴ほう対応型共同生活介護(グループホーム)
7 通所リハビリテーション(デイケア)	14 特定施設入所者生活介護(有料老人ホーム等)

問 37 あなた(あて名のご本人)は、介護サービスの利用料1割負担分についてどのように感じていますか。(○は1つ)

1 負担とは感じない	4 負担と感じる
2 それほど負担とは感じない	5 どちらともいえない
3 多少負担と感じる	6 わからない

問 38 寝たきりや痴ほうの改善のために、あなた（あて名のご本人）はどのような取り組みが必要と考えますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 塩分や動物性脂肪を控え、バランスのよい食事を心がける
- 2 カルシウムを十分にとる
- 3 散歩など、なるべく歩くようにする
- 4 積極的に外出をする
- 5 日光浴をする
- 6 十分に休養、睡眠をとる
- 7 深酒やたばこをやめて規則正しい生活をする
- 8 疾病の予防、早期発見、治療を心がける
- 9 歯みがきの励行等、口の中を清潔にしておくようにする
- 10 老人クラブやボランティア活動、趣味や学習活動などに積極的に取り組む
- 11 家族や近隣の人とのつきあいをたもつ
- 12 家の中の段差を解消するなど、動きやすい家の環境づくりを心がける
- 13 手先を使うように心がける
- 14 寝たきりや痴ほうの予防について自分にあった正確な情報や知識を蓄える
- 15 その他（ ）
- 16 わからない・特にない

問 39 あなた（あて名のご本人）は、ふだんの生活でどのような見守りが必要ですか。あてはまるものに○をつけてください。（あてはまるものすべてに○）

- 1 定期的に電話をもらう（安否の確認など）
- 2 定期的に訪問してもらう（2～3日に1回程度）
- 3 食事内容や栄養バランスのアドバイスを受ける
- 4 簡単な健康状態のチェックを受ける
- 5 金銭などの貴重品の管理状況の確認をしてもらう
- 6 回覧物や郵便物などのチェックをしてもらう
- 7 その他（ ）

◆医療についてお聞きします。

問 40 あなた（ご本人）は現在、通院や往診などで診療を受けていますか。
（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------|--------------------------|
| 1 通院している | 3 入院している |
| 2 往診を受けている | 4 いずれも行っていない →次ページ問 41 へ |

（問 40 で、通院や往診を受けている方におたずねします。）

問 40－1 医療機関（病院・医院・診療所など）にはどのくらいの頻度で、通院や往診を受けたりしていますか。（○は1つ）

- | | | |
|---------|---------|------------|
| 1 週2回以上 | 3 月2回程度 | 5 数か月に1回程度 |
| 2 週1回程度 | 4 月1回程度 | 6 定期的ではない |

(問 40 で、往診を受けている方におたずねします。)

問 40-2 往診を受けているのはどのような内容ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 点滴	6 経管栄養(胃ろう等)
2 酸素療法	7 じょくそう(床ずれ)の処置
3 人工呼吸器	8 導尿の管理(カテーテル、自己)
4 気管切開の処置	9 インスリンの自己注射
5 痛みに対する管理(注射、湿布、薬等)	10 その他()

(すべての方におたずねします。)

問 41 あなた(あて名のご本人)は、かかりつけ医(診療所)はいますか。(○は1つ)

1 かかりつけ医がいる	2 かかりつけ医はいない
-------------	--------------

問 42 医療費に対する負担感がありますか。(○は1つ)

1 負担感がある	2 負担感はない
----------	----------

◆介護についてお聞きします。

問 43 現在、あなた(あて名のご本人)を介護している家族はいますか。(○は1つ)

1 介護する家族がいる	→ 次の問 43-1 へお進みください
2 介護する家族はいない	→ 16 ページの問 58 へお進みください

(問 43 で、介護をしている家族が「1. いる」と答えた方におたずねします。)

問 43-1 あなた(あて名のご本人)を介護している家族は何人いますか。

人

問 43-2 あなた(あて名のご本人)を主に介護している方(おひとり)の性別・年齢・続柄について、あてはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。(○は1つずつ)

性別(○は1つ)	1 男性	2 女性	
年 齢 (○は1つ)	1 40 歳未満	3 50 歳代	5 70 歳代
	2 40 歳代	4 60 歳代	6 80 歳以上
続柄(○は1つ) *あて名ご本人から みた続柄でお答え ください。	1 妻	4 子の妻	7 孫
	2 夫	5 子の夫	8 兄弟姉妹
	3 子	6 親	9 その他()

ここからは介護者の方におたずねする質問です。介護者がいない方は、
16 ページの問 58 へお進みください。

問 44 あて名のご本人の介護をはじめて、どのくらいですか。(○は1つ)

1	1 年未満	3	3 ～ 5 年	5	8 ～ 10 年
2	1 ～ 2 年	4	6 ～ 8 年	6	10 年以上

問 45 あて名のご本人がお住まいの世帯の税込み年収(年金含む)をお答えください。

(○は1つ)

1	100 万円未満	5	400 ～ 500 万円未満	9	800 ～ 1,000 万円未満
2	100 ～ 200 万円未満	6	500 ～ 600 万円未満	10	1,000 ～ 1,500 万円未満
3	200 ～ 300 万円未満	7	600 ～ 700 万円未満	11	1,500 ～ 2,000 万円未満
4	300 ～ 400 万円未満	8	700 ～ 800 万円未満	12	2,000 万円以上

問 46 あて名のご本人が介護サービスを利用されているとき、介護者ご自身はどのようにお感じ
ですか。(あてはまるものすべてに○)

1	本人がうれしそうにしており、満足である
2	サービス利用中は介護者自身もリフレッシュでき、ありがたい
3	本人よりも介護者の方がサービス利用を増やしたい、と感じるときがある
4	本人と介護者とで、サービス利用について意見が一致しないときがある
5	サービス利用後、本人が気分を害したり、具合が悪くなったりすることがあり、サ ービス内容等に不安がある
6	本人がサービス利用を嫌がることがあり、介護者としてつらいときがある
7	異性のスタッフの対応に不安を感じる時がある
8	その他 ()

問 47 介護サービスを利用しているときのあて名のご本人の様子はいかがですか。

(あてはまるものすべてに○)

1	満足している様子である	4	何かを我慢している様子である
2	担当するスタッフの方により、異なる	5	いつも無表情である
3	不機嫌そうである	6	その他 ()

問 48 介護をしていて、よかったと感じることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1	本人と親しく接する機会が増えた	5	様々なサービスの制度・しくみを 知ることができた
2	介護することで本人の健康状態がよくなっ てきた	6	介護者のできる範囲ですべきこと がわかった
3	毎日の生活にはりができた	7	その他 ()
4	家族や親戚から手助けや協力をしてもらえる		

問 49 介護をしていて、困ったこと・困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 来客にも気を遣う	9 本人に受診を勧めても同意してもらえない
2 本人に正確な症状を伝えるのが難しい	10 サービスを思うように利用できない、サービスが足りない
3 現在の状況を理解してもらおうのが難しい	11 サービスを利用したら本人の状態が悪化した(ことがある)
4 適切な介護方法がわからない	12 サービス事業者との関係がうまくいかない
5 症状への対応がわからない	13 ケアマネジャーとの関係がうまくいかない
6 先の見通し・予定が立てられない	14 その他()
7 自分の用事・都合をすませることができない	15 特に困っていることはない
8 介護を協力してもらえない	

問 50 介護をしていて、介護者の方が負担に感じたことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 身体的につらい(腰痛や肩こりなど)	8 介護の方針などについて、家族・親戚との意見が合わない
2 精神的なストレスがたまり、何をどのように相談すればよいか、わからない	9 介護のことを誰に相談したらよいか、悩むことがある
3 睡眠時間が不規則になり、健康状態がおもわしくない	10 介護することに対して、周囲の理解が得られない
4 本人の言動が理解できないことがある	11 経済的につらいと感じたときがある
5 日中、家を空けるのを不安に感じる	12 先々のことを考える余裕がない
6 自分の自由になる時間が持てない	13 その他()
7 介護を家族等他の人に任せてよいか、悩むことがある	14 特に負担に感じたことはない

問 51 介護をしているときイライラして、高齢者にあたってしまうことがありますか。あてはまるもの1つに○をつけ、さしつかえなければ、そのときの様子をご記入ください。(○は1つ)

1 よくある	3 あまりない	5 わからない
2 ときどきある	4 まったくない	
<その時の様子>		

(問 51 で、高齢者にあたってしまうことがある方におたずねします。)

問 52 高齢者にあたってしまった後、後悔したり悩んだりしますか。あてはまるもの1つに○をつけ、さしつかえなければ、そのときの様子をご記入ください。(○は1つ)

1 よくある	3 あまりない	5 わからない
2 ときどきある	4 まったくない	
<その時の様子>		

(すべての介護者の方におたずねします。)

問 53 介護をしていてつらい時、どこ (だれ) に相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

1 家族・親族	8 ケアマネジャー
2 近所の人	(介護支援専門員。介護保険に関する相談に応じ、ケアプランを立てます。)
3 民生委員	9 在宅サービスを行っているホームヘルパー・訪問看護師など
4 ボランティア	10 医師・医療機関
5 区役所・福祉事務所の担当窓口	11 その他 ()
6 社会福祉協議会	12 どこにも (誰にも) 相談していない
7 在宅介護支援センターの相談員 (在宅介護の相談や申請の代行をします。)	

問 54 今後、もし介護者ご自身が介護を受けることになったら、どのようにしたいと思いますか。
(○は1つ)

1 自宅で家族介護を中心に介護保険などの公的サービスは利用しないで暮らしたい
2 自宅で介護保険などの公的サービスを利用しながら暮らしたい
3 特別養護老人ホームなどの施設に入所したい
4 介護してくれる病院に入院したい
5 有料老人ホームに入所したい
6 その他 ()
7 わからない

問 55 次に示す介護内容のうち、特に夜間 (深夜含む) に支援を受けたいものはどれですか。支援を受けたい項目と、希望する時間帯それぞれに○をつけてください。
(あてはまるものすべてに○)

1 排泄介助	⇒	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>1 午後11時台</td> <td>3 午前1時台</td> <td>5 午前3時台</td> <td>7 午前5時台</td> </tr> <tr> <td>2 午前0時台</td> <td>4 午前2時台</td> <td>6 午前4時台</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	1 午後11時台	3 午前1時台	5 午前3時台	7 午前5時台	2 午前0時台	4 午前2時台	6 午前4時台	
1 午後11時台	3 午前1時台	5 午前3時台	7 午前5時台							
2 午前0時台	4 午前2時台	6 午前4時台								
2 寝返り介助	⇒	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>1 午後11時台</td> <td>3 午前1時台</td> <td>5 午前3時台</td> <td>7 午前5時台</td> </tr> <tr> <td>2 午前0時台</td> <td>4 午前2時台</td> <td>6 午前4時台</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	1 午後11時台	3 午前1時台	5 午前3時台	7 午前5時台	2 午前0時台	4 午前2時台	6 午前4時台	
1 午後11時台	3 午前1時台	5 午前3時台	7 午前5時台							
2 午前0時台	4 午前2時台	6 午前4時台								
3 服薬介助	⇒	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>1 午後11時台</td> <td>3 午前1時台</td> <td>5 午前3時台</td> <td>7 午前5時台</td> </tr> <tr> <td>2 午前0時台</td> <td>4 午前2時台</td> <td>6 午前4時台</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	1 午後11時台	3 午前1時台	5 午前3時台	7 午前5時台	2 午前0時台	4 午前2時台	6 午前4時台	
1 午後11時台	3 午前1時台	5 午前3時台	7 午前5時台							
2 午前0時台	4 午前2時台	6 午前4時台								
4 徘徊等の 見守り	⇒	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>1 午後11時台</td> <td>3 午前1時台</td> <td>5 午前3時台</td> <td>7 午前5時台</td> </tr> <tr> <td>2 午前0時台</td> <td>4 午前2時台</td> <td>6 午前4時台</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	1 午後11時台	3 午前1時台	5 午前3時台	7 午前5時台	2 午前0時台	4 午前2時台	6 午前4時台	
1 午後11時台	3 午前1時台	5 午前3時台	7 午前5時台							
2 午前0時台	4 午前2時台	6 午前4時台								

◆ご本人のご様子についてお聞きします。

問 56 介護を受けている方は、次のような症状がみられますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|--------------|--------|-------|
| 1 物忘れ、記憶力の低下 | 4 尿便失禁 | 7 性行動 |
| 2 妄想 | 5 徘徊 | 8 その他 |
| 3 不眠（昼夜逆転） | 6 歩行障害 | （ ） |

問 57 介護を受けている方は、痴ほうの専門病院を受診しましたか。(○は1つ)

- 1 受診したことがある 2 受診したことはない

(すべての方におたずねします。)

問 58 高齢者保健福祉施策(介護保険を含む)について、ご意見やご要望がございましたら、下欄にご記入ください。

This image shows a blank sheet of white paper designed for handwriting practice. It features ten sets of horizontal ruling lines. Each set consists of three lines: a solid black line at the top, a dashed black line in the middle, and another solid black line at the bottom. These sets are repeated down the page, providing a guide for letter height and placement. The left edge of the paper has a vertical margin line.

● 上記の内容はどなたの意見ですか。

- 1 ご本人（あて名ご本人） 3 ご家族
2 代筆・代読された方 4 その他の方（ ）

ご協力ありがとうございました。12月9日（木）までに同封の返信用封筒でご返送ください。

練馬区高齢者基礎調査（要介護認定者調査）

◆ 調査へのご協力をお願い ◆

日頃から、練馬区政にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

区では、新たな「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定に着手しています。

この調査は、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画がより実りある計画となるよう、高齢者の方々から、日頃の生活状況や区の高齢者施策に対するご意見・ご希望等をお聞かせいただくため実施するものです。

調査の対象者として、区内にお住まいの要介護認定を受けた高齢者の方々から 1,500 人を無作為で選び、調査票を送付させていただきました。なお、調査票にはお名前を書く必要はありません。また、お答えいただいた内容については統計的に処理し、ご迷惑をおかけすることはありませんので、ご協力いただきますようお願いいたします。

平成 16 年 11 月 練馬区

◆ 調査票のご記入にあたって ◆

●この調査は、平成 16 年 11 月 1 日現在の状況でお答えください。

●回答は、あてはまる番号に○をつけてください。質問文にある「○は 1 つ」「あてはまるものすべてに○」などの指示にしたがってご回答ください。また、ご意見や数字などを直接ご記入いただく質問もあります。

●質問の回答が、「その他」にあてはまる場合は、（ ）内になるべく具体的にその内容をご記入ください。

●回答はできる限り、対象者ご本人がご記入ください。なお、対象者ご本人おひとりでの回答がむずかしい場合は、ご家族の方がお手伝いいただくか、対象者の意見を聞いた上でご家族の方が代わりにご記入ください。

（調査票上の「ご本人」とは、封筒に印刷されたあて名ご本人を指します。）

★対象のご本人が何らかの事情により不在で調査できない場合には、下の枠内のいずれかに○印をつけてご返送ください。

1 医療機関入院中（ 年 月より入院中）

2 福祉施設入所中（ 年 月より入所中）

3 転居（ 年 月ごろ転居）

4 その他（具体的に： ）

●ご記入いただいた調査票は、12 月 9 日（木）までに、同封の返信用封筒にてご返送ください。切手は不要ですので、そのままご投函ください。

●この調査についてのお問合せは、下記までお願いいたします。

練馬区 保健福祉部 介護保険課 事業計画担当
電話 3993-1111 (代表)

問1 この調査票を回答される方を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1 | あなた（あて名のご本人）がひとりで回答 |
| 2 | 代筆・代読してもらって、あなた（あて名のご本人）が回答 |
| 3 | ご家族が回答 |
| 4 | その他の方が回答（ ） |

◆あなた（あて名のご本人）のことについてお聞きします。

問2 あなた（あて名のご本人）の性別と、平成16年11月1日現在の満年齢はおいくつですか。
(○はそれぞれ1つずつ)

①性別 (○は1つ)	1 男性	2 女性
②年齢 (○は1つ)	1 65～69 歳	3 75～79 歳
	2 70～74 歳	4 80～84 歳
		5 85～89 歳
		6 90 歳以上

問3 あなた（あて名のご本人）のお住まいはどちらですか。

また、何丁目かもお答えください。(○は1つずつ)

町 名 (○は1つ)				丁目 (○は1つ)
あ行	1	旭丘	17 関町東	33 錦
	2	旭町	18 関町南	34 貫井
	3	大泉学園町	19 高野台	35 練馬
	4	大泉町	20 高松	36 羽沢
か行	5	春日町	21 田柄	37 早宮
	6	上石神井	22 立野町	38 光が丘
	7	上石神井南町	23 豊玉上	39 氷川台
	8	北町	24 豊玉北	40 東大泉
さ行	9	向山	25 豊玉中	41 富士見台
	10	小竹町	26 豊玉南	42 平和台
	11	栄町	27 土支田	43 南大泉
	12	桜台	28 中村	44 南田中
	13	下石神井	29 中村北	45 三原台
	14	石神井台	30 中村南	46 谷原
	15	石神井町	31 西大泉	
	16	関町北	32 西大泉町	

*丁目の無い地域の方は記入の必要はありません。

問4 あなた（あて名のご本人）の現在の世帯構成を次の中からお答えください。(○は1つ)

1 単身（ひとりぐらし）世帯	2 夫婦のみの世帯	3 その他の世帯
----------------	-----------	----------

次ページの問4-1へお進みください。

次ページの問4-2へお進みください。

(問4で、現在ひとりぐらしの方におたずねします。)

問4-1 現在ひとりぐらしをされていて、不安なことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1 健康面(要介護状態の悪化 など) | 6 親族との関係(行き来がない など) |
| 2 生計面(経済的に苦しくなること など) | 7 その他 |
| 3 防犯・防災(避難場所がわからない など) | () |
| 4 住居(老朽化、高齢者向きでない など) | 8 不安なことは特にない |
| 5 隣近所との関係(付き合いがあまりない など) | |

(問4で、2人以上でお暮らしの方におたずねします。)

問4-2 あなた(あて名のご本人)の世帯には65歳未満の方はいらっしゃいますか。(○は1つ)

- | |
|----------------------|
| 1 65歳未満の家族・同居人がいる |
| 2 家族・同居人は、全員65歳以上である |

(すべての方におたずねします。)

問5 あなた(あて名のご本人)と配偶者の税込みの年収(年金を含む)の合計は、年間どの位ですか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 100万円未満 | 4 500万円～700万円未満 |
| 2 100万円～300万円未満 | 5 700万円～1,000万円未満 |
| 3 300万円～500万円未満 | 6 1,000万円以上 |

問6 あなた(あて名のご本人)と配偶者の収入源についてお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|---------|
| 1 年金による収入 | 6 仕送り |
| 2 給与収入 | 7 生活保護 |
| 3 自営業などの収入 | 8 その他 |
| 4 地代・家賃などの不動産収入 | () |
| 5 株などの売却利益や配当、預貯金の利子 | 9 収入はない |

問7 あなた(あて名のご本人)の現在の要介護度は次のうち、どれですか。(○は1つ)

- | | | | |
|----------------|----------------|----------------|---------|
| 1 要支援 | 3 要介護 2 | 5 要介護 4 | 7 わからない |
| 2 要介護 1 | 4 要介護 3 | 6 要介護 5 | |

問7-1 1年前(平成15年11月ごろ)の要介護度は次のうち、どれですか。(○は1つ)

- | | | | |
|----------------|----------------|----------------|---------|
| 1 要支援 | 3 要介護 2 | 5 要介護 4 | 7 自立 |
| 2 要介護 1 | 4 要介護 3 | 6 要介護 5 | 8 わからない |

問8 あなた(あて名のご本人)が要介護状態になった主なきっかけは何ですか。(○は1つ)

1 高血圧症	8 肝疾患	15 ひざや腰などの関節の痛み
2 高脂血症	9 胃腸疾患	16 骨粗しょう症、骨折
3 糖尿病	10 泌尿器の疾患	17 アルツハイマー病
4 心疾患	11 神経痛	18 老 衰
5 脳血管疾患	12 パーキンソン病	19 痴ほう
6 呼吸器疾患	13 歯科・口腔疾患	20 その他
7 腎疾患	14 眼科疾患	()

◆住環境などについてお聞きします。

問9 あなた(あて名のご本人)のお住まいは、次のうちのどれにあてはまりますか。(○は1つ)

1 一戸建て持ち家(自己所有のビルを含む)	5 UR賃貸住宅(旧公団住宅)・公社賃貸住宅(都民住宅を含む)
2 分譲マンション(集合住宅)	6 社宅・官舎・寮
3 民間の賃貸アパート・マンション	7 有料老人ホーム
4 都営住宅・区営住宅	8 その他()

問10 あなた(あて名のご本人)は現在、主として住居(アパート、マンション等も含む)の何階で生活していますか。

	階
--	---

問11 あなた(あて名のご本人)の現在のお住まいにはエレベーターはありますか。(○は1つ)

1 ある	2 ない
------	------

問12 あなた(あて名のご本人)のお住まいは、現在次のような工夫をしていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1 手すりがついている	5 寝室とトイレが同じ階にある
2 トイレが洋式である	6 浴槽がまたぎやすい高さである
3 段差をなくしているところがある	7 その他
4 廊下等の通路の幅が十分にある	()

問 13 今後、あなた（あて名のご本人）のお住まいのなかで、改修をしたいところがありますか。
（あてはまるものすべてに○）

- | | | | |
|---|----------------------------------|----|-----------------------|
| 1 | 居室の段差をなくし、ところどころに手すりをつける | 6 | 階段・廊下に手すりをつけたり、段差をなくす |
| 2 | 居室の床をフローリングにする | 7 | 玄関の段差をなくす |
| 3 | 食堂・台所を車いすでも使いやすいように高さを調節できるようにする | 8 | 外回りの段差（通路等）をなくす |
| 4 | 浴室・トイレに手すりをつけたり、段差をなくす | 9 | その他 |
| 5 | 階段・廊下の幅を広げる | （ | ） |
| | | 10 | 特にない |

問 14 あなた(あて名のご本人)は、近いうちに住み替えを予定されていますか。次のうち、あてはまる住宅を選んでください。(○は1つ)

- | | | | |
|---|-------------------------------|----|------------------|
| 1 | 一戸建て持家（自己所有のビルを含む） | 6 | 社宅・官舎など |
| 2 | 分譲マンション（集合住宅） | 7 | ケアハウス |
| 3 | 民間の賃貸アパート・マンション | 8 | シルバーピアなどの高齢者向け住宅 |
| 4 | 都営住宅・区営住宅 | 9 | 有料老人ホーム |
| 5 | UR賃貸住宅（旧公団住宅）・公社賃貸住宅（都民住宅を含む） | 10 | その他（ ） |
| | | 11 | 住み替え予定はない |

◆介護保険制度についてお聞きします。

問 15 あなた(あて名のご本人)が、介護保険の要介護認定を申請した理由は何ですか。次のうち、あてはまるものに2つまで○をつけてください。(○は2つまで)

- | | | | |
|---|-------------------------|----|--------------------------|
| 1 | 家事・調理、洗濯、掃除等が負担になってきたから | 7 | 必要時にサービスを受けるため、事前に認定申請した |
| 2 | 身の回りの行為が困難になってきたから | 8 | とりあえず、自分の要介護度を知らたく、申請した |
| 3 | 買い物や外出が負担になってきたから | 9 | 医師、看護師から勧められた |
| 4 | 通院等に手助けがほしくなってきたから | 10 | 家族に勧められた |
| 5 | 介護保険の施設入所を希望しているから | 11 | 友人・知人などに勧められた |
| 6 | 住宅改修または福祉用具購入のみ利用するから | 12 | その他（ ） |

問 16 現在、介護サービスを利用されていない理由は何ですか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。(○は3つまで)

- 1 病院や診療所に入院中
- 2 家族等の介護がある
- 3 自分で身の回りのことをするように努力している
- 4 介護保険サービスを使うほど具合が悪くない
- 5 できるだけ他人の世話になりたくない
- 6 介護保険サービスの使い方がよくわからない
- 7 介護保険事業に不満があった
- 8 利用しようとしたが、事業者から断られた
- 9 使いたい介護保険サービスがない
- 10 近くに介護保険事業者がない
- 11 他人に家に入られるのに抵抗がある
- 12 介護保険サービスを使うのに料金が安い
- 13 介護保険外サービスを使っている
- 14 介護保険制度に不信感を持っている
- 15 その他 ()

問 17 あなた(あて名のご本人)は、次の施設に入所(入院)申し込みをしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 特別養護老人ホーム | 5 有料老人ホーム |
| 2 老人保健施設 | 6 一般の病院(医療保険での入院) |
| 3 療養病床 | 7 その他 () |
| 4 痴ほう性高齢者グループホーム | 8 施設への入所(入院)意向はない |

↓
次ページ問 17-2 へ

→ (問 17 で「1～4の介護保険施設に申し込みをしている」と答えた方におたずねします。)

問 17-1 申し込み理由はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 介護者がいない等の理由で、在宅で介護を受けられないから
- 2 家族が働いているため、在宅で介護を十分受けられないから
- 3 家族の健康状態がよくないため、在宅で介護を十分受けられないから
- 4 家族が精神的に疲れているため
- 5 家族が身体的に疲れているため
- 6 リハビリ等が必要であり、医師等に入所(入院)をすすめられたから
- 7 ひとりぐらしや高齢者世帯のため、在宅での生活に不安を感じるから
- 8 現在の住居が介護に適していないから
- 9 入所(入院)待ちの期間を見込んで、早めに入所(入院)を申し込む必要があるから
- 10 自己負担が少なくすむから
- 11 その他 ()

(問 17 で、「施設への入所（入院）意向はない」と答えた方におたずねします。)

問 17-2 施設への入所を希望されない主な理由は何ですか。次のうちから2つまで選んでください。(○は2つまで)

1 できるかぎり自宅で過ごしたいから	7 入院・入所で費用がかかるから
2 家族介護で十分生活できるから	8 家族とのつながりを保ちたいから
3 施設での生活は自由がきかないと思うから	9 自分の身の回りのことはできるだけ自分でしたいから
4 友人・知人とのつきあいを続けたいから	10 その他
5 隣近所とのつきあいを続けたいから	()
6 健康状態が良好だから	

◆あなた（ご本人）の健康状態についてお聞きします。

(すべての方におたずねします。)

問 18 あなた（あて名のご本人）は、健康だと思いますか。(○は1つ)

1 非常に健康	2 まあ健康	3 あまり健康でない	4 健康ではない
---------	--------	------------	----------



(問 18 で、「あまり健康でない」「健康でない」と答えた方におたずねします。)

問 18-1 その理由は何ですか。

--

(すべての方におたずねします。)

問 19 あなた（あて名のご本人）がご自分でできる項目すべてに○をつけてください。

(あてはまるものすべてに○)

1 日用品の買い物ができる	6 請求書の支払いができる
2 自分の食事が用意できる	7 年金などの書類が書ける
3 横断歩道を青信号の間に渡りることができる	8 できる項目はひとつもない
4 およそ 20 分間続けて歩くことができる	
5 自分でお金の管理（預貯金の出し入れ）ができる	

◆ふだんの食生活についてお聞きします。

問 20 あなた(あて名のご本人)はふだん毎日3食の食事をとっていますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|-----------|
| 1 毎日必ず3食とっている | 3 まちまちである |
| 2 ほとんど毎日2食である | 4 その他() |

問 21 あなた(あて名のご本人)はふだんの食事についてどのようにしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 いつも自分で調理する | 4 外食を利用する →問 21-1 へ |
| 2 時々自分で調理する | 5 配食を利用する →問 21-2 へ |
| 3 自分はしないが家族が調理してくれる | 6 その他() |

(問 21 で、外食を利用する方におたずねします。)

問 21-1 外食を利用されるのは、平均すると週に何回程度ですか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|--------------|------------|
| 1 1週間に1～2食程度 | 2 1週間に3～6食程度 | 3 1週間に7食以上 |
|--------------|--------------|------------|

(問 21 で、配食を利用する方におたずねします。)

問 21-2 配食を利用されるのは、平均すると週に何回程度ですか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|--------------|------------|
| 1 1週間に1～2食程度 | 2 1週間に3～6食程度 | 3 1週間に7食以上 |
|--------------|--------------|------------|

(すべての方におたずねします。)

問 22 あなた(あて名のご本人)が肉や魚を食べるのは、週に何回程度ですか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 ほとんど食べない | 3 1週間に3～6食程度 |
| 2 1週間に1～2食程度 | 4 1週間に7食以上 |

問 23 あなた(あて名のご本人)が乳製品をとるのは、週に何回程度ですか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 ほとんどとらない | 3 1週間に3～6食程度 |
| 2 1週間に1～2食程度 | 4 1週間に7食以上 |

問 24 あなた(あて名のご本人)は、食事を主にどなたとられていますか。(○は1つ)

- | | |
|---------|----------|
| 1 主に家族と | 3 主にひとりで |
| 2 主に友人と | 4 その他() |

問 25 あなた(あて名のご本人)は、食事をするのが楽しいと感じますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1 とても楽しいと感じる | 3 楽しいと感じない |
| 2 楽しいと感じる | 4 食べる気力がない・つらい |

◆外出やおつきあいについてお聞きします。

問 26 あなた（あて名のご本人）は1日中家の外には出ず、家の中で過ごすことが多いですか。
（○は1つ）

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 家の中で過ごすことが多い | 2 家の中で過ごすことは少ない |
|----------------|-----------------|

問 27 近所への買物、散歩、通院などを含め、あなた（あて名のご本人）の1週間の外出頻度を教えてください。（○は1つ）

- | | | |
|----------|----------|-------------|
| 1 ほとんど毎日 | 3 週に1回程度 | 5 ほとんど外出しない |
| 2 週に2～3回 | 4 月に1～2回 | |

問 28 あなた（あて名のご本人）が、友人や近所の人あるいは家族（別居）や親戚の方と会っておしゃべりする頻度はどれくらいですか。（○は1つ）

- | | | |
|-------------|------------|----------|
| 1 ほぼ毎日 | 3 1週間に1回程度 | 5 ほとんどない |
| 2 2～3日に1回程度 | 4 1ヶ月に1回程度 | |

問 29 外出するときのあなた（あて名のご本人）の状況はいかがですか。（○は1つ）

- | |
|--|
| 1 交通機関を使って一人で外出できる |
| 2 補助具（つえ、シルバーカーなど）を使いながら、交通機関を利用して一人で外出できる |
| 3 バスや電車などの交通機関を使わない範囲内なら一人で外出できる |
| 4 介助者がいなければ外出できない |
| 5 寝たきりなので、外出できない |

問 30 あなた（あて名のご本人）は、この1年間（昨年11月以降）に転んだ（または転びそうになった）ことはありますか。（○は1つ）

- | | |
|-----------------|------------------------------|
| 1 転んだことがある | 3 転んだことがない、もしくは転びそうになったことがない |
| 2 転びそうになったことがある | → 次ページ問 31へ |

（問 30 で、転んだことがある、転びそうになったことがある方におたずねします。）

問 30－1 あなた（あて名のご本人）は、この1年間に何回くらい転んだ（転びそうになった）ことがありますか。（○は1つ）

- | | | | | |
|------|------|------|------|--------|
| 1 1回 | 2 2回 | 3 3回 | 4 4回 | 5 5回以上 |
|------|------|------|------|--------|

問 30－2 あなた（あて名のご本人）は、転んで（転びそうになって）ケガをしましたか。
（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------------------|---|
| 1 骨折して入院した（骨折か所： | ） |
| 2 骨折して入院はしなかったが通院した（骨折か所： | ） |
| 3 打撲・ねんざ・あざ | |
| 4 その他（ | ） |
| 5 ケガはしなかった | |

問 30-3 あなた(あて名のご本人)が、転んだ(転びそうになった)場所はどこですか。

① 家の中(庭先などの敷地内を含む)の「具体的な場所」(あてはまるものすべてに○)

1 居室	4 トイレ	7 廊下
2 食堂・台所	5 階段	8 庭・外回り
3 浴室・洗面所	6 玄関	9 その他()

② 家の外の「具体的な場所」(あてはまるものすべてに○)

1 道路・歩道	3 バスの乗降	5 駅などの公共的建物内
2 公園・広場	4 商店・病院などの建物内	6 その他()

◆介護保険についてお聞きします。

(すべての方におたずねします。)

問 31 あなた(あて名のご本人)の介護保険料(年額)はいくらですか。(○は1つ)

1 第1段階(19,800円)	4 第4段階(49,500円)
2 第2段階(29,700円)	5 第5段階(59,400円)
3 第3段階(39,600円)	6 知らない

問 32 あなた(あて名のご本人)は、介護保険料についてどのように感じていますか。(○は1つ)

1 負担とは感じない	4 負担と感じる
2 それほど負担とは感じない	5 どちらともいえない
3 多少負担と感じる	6 わからない

問 33 あなた(あて名のご本人)は、介護保険に関する相談・苦情をどこにしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1 区の介護保険課または福祉事務所	7 民生委員
2 担当のケアマネジャー	8 保健福祉サービス苦情調整委員
3 サービス事業者	9 その他()
4 都の国保連合会	10 どこにしていいいかわからない
5 医師	11 相談・苦情は特にない
6 在宅介護支援センター	

問 34 あなた(あて名のご本人)は、介護保険の制度・サービス事業者等に関する情報は、どこから得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

1 区の窓口・電話	7 民生委員
2 区が発行するパンフレット類	8 テレビ、ラジオ、新聞、雑誌
3 区の広報誌	9 インターネット
4 担当のケアマネジャー	10 その他
5 サービス事業者	()
6 在宅介護支援センター	11 特にない

問 35 寝たきりや痴ほうの改善のために、あなた(あて名のご本人)はどのような取り組みが必要と考えますか。(あてはまるものすべてに○)

1 塩分や動物性脂肪を控え、バランスのよい食事を心がける
2 カルシウムを十分にとる
3 散歩など、なるべく歩くようにする
4 積極的に外出をする
5 日光浴をする
6 十分に休養、睡眠をとる
7 深酒やたばこをやめて規則正しい生活をする
8 疾病の予防、早期発見、治療を心がける
9 歯みがきの励行等、口の中を清潔にしておくようにする
10 老人クラブやボランティア活動、趣味や学習活動などに積極的に取り組む
11 家族や近隣の人とのつきあいをたもつ
12 家の中の段差を解消するなど、動きやすい家の環境づくりを心がける
13 手先を使うように心がける
14 寝たきりや痴ほうの予防について自分にあった正確な情報や知識を蓄える
15 その他 ()
16 わからない・特にない

問 36 あなた(あて名のご本人)は、ふだんの生活でどのような見守りが必要ですか。あてはまるものに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

1 定期的に電話をもらう(安否の確認など)
2 定期的に訪問してもらう(2～3日に1回程度)
3 食事内容や栄養バランスのアドバイスを受ける
4 簡単な健康状態のチェックを受ける
5 金銭などの貴重品の管理状況の確認をしてもらう
6 回覧物や郵便物などのチェックをしてもらう
7 その他 ()

◆医療についてお聞きします。

問 37 あなた（ご本人）は現在、通院や往診などで診療を受けていますか。

（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------|-----------------------------|
| 1 通院している | 3 入院している |
| 2 往診を受けている | 4 いずれも行っていない →問 38 へお進みください |

（問 37 で、通院や往診を受けている方におたずねします。）

問 37－1 医療機関（病院・医院・診療所など）にはどのくらいの頻度で、通院や往診を受けたりしていますか。（○は1つ）

- | | | |
|-----------|-----------|--------------|
| 1 週 2 回以上 | 3 月 2 回程度 | 5 数か月に 1 回程度 |
| 2 週 1 回程度 | 4 月 1 回程度 | 6 定期的ではない |

（問 37 で、往診を受けている方におたずねします。）

問 37－2 往診を受けているのはどのような内容ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1 点滴 | 6 経管栄養（胃ろう等） |
| 2 酸素療法 | 7 じょくそう（床ずれ）の処置 |
| 3 人工呼吸器 | 8 導尿の管理（カテーテル、自己） |
| 4 気管切開の処置 | 9 インスリンの自己注射 |
| 5 痛みに対する管理（注射、湿布、薬等） | 10 その他（ ） |

（すべての方におたずねします。）

問 38 あなた（あて名のご本人）は、かかりつけ医（診療所）はいますか。（○は1つ）

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 かかりつけ医がいる | 2 かかりつけ医はいない |
|-------------|--------------|

問 39 医療費に対する負担感がありますか。（○は1つ）

- | | |
|----------|----------|
| 1 負担感がある | 2 負担感はない |
|----------|----------|

◆介護についてお聞きします。

問 40 現在、あなた（あて名のご本人）を介護している家族はいますか。（○は1つ）

- | | |
|--------------|------------------------|
| 1 介護する家族がいる | → 次の問 40-1 へお進みください |
| 2 介護する家族はいない | → 16 ページの問 53 へお進みください |

（問 40 で、介護をしている家族が「1. いる」と答えた方におたずねします。）

問 40-1 あなた（あて名のご本人）を介護している家族は何人いますか。

人

問 40-2 あなた（あて名のご本人）を主に介護している方（おひとり）の性別・年齢・続柄について、あてはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。（○は1つずつ）

性別（○は1つ）	1 男性	2 女性	
年 齢 （○は1つ）	1 40 歳未満	3 50 歳代	5 70 歳代
	2 40 歳代	4 60 歳代	6 80 歳以上
続柄（○は1つ） *あて名ご本人から みた続柄でお答え ください。	1 妻	4 子の妻	7 孫
	2 夫	5 子の夫	8 兄弟姉妹
	3 子	6 親	9 その他（ ）

ここからは介護者の方におたずねする質問です。介護者がいない方は、16 ページの問 53 へお進みください。

問 41 あて名のご本人の介護をはじめて、どのくらいですか。（○は1つ）

- | | | |
|-----------|-----------|------------|
| 1 1 年未満 | 3 3 ～ 5 年 | 5 8 ～ 10 年 |
| 2 1 ～ 2 年 | 4 6 ～ 8 年 | 6 10 年以上 |

問 42 あて名のご本人がお住まいの世帯の税込み年収（年金含む）をお答えください。

（○は1つ）

1 100 万円未満	5 400 ～ 500 万円未満	9 800 ～ 1,000 万円未満
2 100 ～ 200 万円未満	6 500 ～ 600 万円未満	10 1,000 ～ 1,500 万円未満
3 200 ～ 300 万円未満	7 600 ～ 700 万円未満	11 1,500 ～ 2,000 万円未満
4 300 ～ 400 万円未満	8 700 ～ 800 万円未満	12 2,000 万円以上

問 43 介護をしていて、よかったと感じることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| 1 本人と親しく接する機会が増えた | 5 様々なサービスの制度・しくみを知ることができた |
| 2 介護することで本人の健康状態がよくなった | 6 介護者のできる範囲ですべきことがわかった |
| 3 毎日の生活にはりができた | 7 その他（ ） |
| 4 家族や親戚から手助けや協力をしてもらえる | |

問 44 介護をしていて、困ったこと・困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 来客にも気を遣う	8 介護を協力してもらえない
2 本人に正確な症状を伝えるのが難しい	9 本人に受診を勧めても同意してもらえない
3 現在の状況を理解してもらおうのが難しい	10 サービスを利用したら本人の状態が悪化した(ことがある)
4 適切な介護方法がわからない	11 その他()
5 症状への対応がわからない	12 特に困っていることはない
6 先の見通し・予定が立てられない	
7 自分の用事・都合をすませることができない	

問 45 介護をしていて、介護者の方が負担に感じたことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 身体的につらい(腰痛や肩こりなど)	8 介護の方針などについて、家族・親戚との意見が合わない
2 精神的なストレスがたまり、何をどのよう に相談すればよいか、わからない	9 介護のことを誰に相談したらよいか、 悩むことがある
3 睡眠時間が不規則になり、健康状態がお もわしくない	10 介護することに対して、周囲の理解が 得られない
4 本人の言動が理解できないことがある	11 経済的につらいと感じたときがある
5 日中、家を空けるのを不安に感じる	12 先々のことを考える余裕がない
6 自分の自由になる時間が持てない	13 その他()
7 介護を家族等他の人に任せてよいか、悩 むことがある	14 特に負担に感じたことはない

問 46 介護をしているときイライラして、高齢者にあたってしまうことがありますか。あてはまるもの1つに○をつけ、さしつかえなければ、そのときの様子をご記入ください。(○は1つ)

1 よくある	3 あまりない	5 わからない
2 ときどきある	4 まったくない	
<その時の様子>		

(問 46 で、高齢者にあたってしまうことがある方におたずねします。)

問 47 高齢者にあたってしまった後、後悔したり悩んだりしますか。あてはまるもの1つに○をつけ、さしつかえなければ、そのときの様子をご記入ください。(○は1つ)

1 よくある	3 あまりない	5 わからない
2 ときどきある	4 まったくない	
<その時の様子>		

(すべての介護者の方におたずねします。)

問 48 介護をしていてつらい時、どこ (だれ) に相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

1 家族・親族	8 ケアマネジャー
2 近所の人	(介護支援専門員。介護保険に関する相談に応じ、ケアプランを立てます。)
3 民生委員	9 在宅サービスを行っているホームヘルパー・訪問看護師など
4 ボランティア	10 医師・医療機関
5 区役所・福祉事務所の担当窓口	11 その他 ()
6 社会福祉協議会	12 どこにも (誰にも) 相談していない
7 在宅介護支援センターの相談員 (在宅介護の相談や申請の代行をします。)	

問 49 今後、もし介護者ご自身が介護を受けることになったら、どのようにしたいと思いますか。
(○は1つ)

1 自宅で家族介護を中心に介護保険などの公的サービスは利用しないで暮らしたい
2 自宅で介護保険などの公的サービスを利用しながら暮らしたい
3 特別養護老人ホームなどの施設に入所したい
4 介護してくれる病院に入院したい
5 有料老人ホームに入所したい
6 その他 ()
7 わからない

問 50 次を示す介護内容のうち、特に夜間 (深夜含む) に支援を受けたいものはどれですか。支援を受けたい項目と、希望する時間帯それぞれに○をつけてください。
(あてはまるものすべてに○)

1 排泄介助	⇒	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>1 午後11時台</td> <td>3 午前1時台</td> <td>5 午前3時台</td> <td>7 午前5時台</td> </tr> <tr> <td>2 午前0時台</td> <td>4 午前2時台</td> <td>6 午前4時台</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	1 午後11時台	3 午前1時台	5 午前3時台	7 午前5時台	2 午前0時台	4 午前2時台	6 午前4時台	
1 午後11時台	3 午前1時台	5 午前3時台	7 午前5時台							
2 午前0時台	4 午前2時台	6 午前4時台								
2 寝返り介助	⇒	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>1 午後11時台</td> <td>3 午前1時台</td> <td>5 午前3時台</td> <td>7 午前5時台</td> </tr> <tr> <td>2 午前0時台</td> <td>4 午前2時台</td> <td>6 午前4時台</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	1 午後11時台	3 午前1時台	5 午前3時台	7 午前5時台	2 午前0時台	4 午前2時台	6 午前4時台	
1 午後11時台	3 午前1時台	5 午前3時台	7 午前5時台							
2 午前0時台	4 午前2時台	6 午前4時台								
3 服薬介助	⇒	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>1 午後11時台</td> <td>3 午前1時台</td> <td>5 午前3時台</td> <td>7 午前5時台</td> </tr> <tr> <td>2 午前0時台</td> <td>4 午前2時台</td> <td>6 午前4時台</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	1 午後11時台	3 午前1時台	5 午前3時台	7 午前5時台	2 午前0時台	4 午前2時台	6 午前4時台	
1 午後11時台	3 午前1時台	5 午前3時台	7 午前5時台							
2 午前0時台	4 午前2時台	6 午前4時台								
4 徘徊等の 見守り	⇒	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>1 午後11時台</td> <td>3 午前1時台</td> <td>5 午前3時台</td> <td>7 午前5時台</td> </tr> <tr> <td>2 午前0時台</td> <td>4 午前2時台</td> <td>6 午前4時台</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	1 午後11時台	3 午前1時台	5 午前3時台	7 午前5時台	2 午前0時台	4 午前2時台	6 午前4時台	
1 午後11時台	3 午前1時台	5 午前3時台	7 午前5時台							
2 午前0時台	4 午前2時台	6 午前4時台								

◆ご本人のご様子についてお聞きします。

問 51 介護を受けている方は、次のような症状がみられますか。(あてはまるものすべてに○)

1 物忘れ、記憶力の低下	4 尿便失禁	7 性行動
2 妄想	5 徘徊	8 その他
3 不眠（昼夜逆転）	6 歩行障害	（ ）

問 52 介護を受けている方は、痴ほうの専門病院を受診しましたか。(○は1つ)

1 受診したことがある	2 受診したことはない
-------------	-------------

(すべての方におたずねします。)

問 53 高齢者保健福祉施策(介護保険を含む)について、ご意見やご要望がございましたら、下欄にご記入ください。

[illegible]

● 上記の内容はどなたの意見ですか。

1 ご本人（あて名ご本人）	3 ご家族
2 代筆・代読された方	4 その他の方（ ）

ご協力ありがとうございました。12月9日（木）までに同封の返信用封筒でご返送ください。

練馬区高齢者基礎調査（これから高齢期を迎える方の調査）

◆ 調査へのご協力をお願い ◆

日頃から、練馬区政にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

区では、新たな「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定に着手しています。

この調査は、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画がより実りある計画となるよう、これから高齢期を迎える方々から、日頃の生活状況や区の高齢者施策に対するご意見・ご希望等をお聞かせいただくため実施するものです。

調査の対象者として、区内にお住まいの 55～64 歳の方々から、①介護保険認定を受けていない 1,000 人の方、②介護保険認定を受けていて介護保険サービスを利用している 200 人の方、をそれぞれ無作為で選び、調査票を送付させていただきました。なお、調査票にはお名前を書く必要はありません。また、お答えいただいた内容については統計的に処理し、ご迷惑をおかけすることはありませんので、ご協力いただきますようお願いいたします。

平成 16 年 11 月 練馬区

◆ 調査票のご記入にあたって ◆

●この調査は、平成 16 年 11 月 1 日現在の状況でお答えください。

●回答は、あてはまる番号に○をつけてください。質問文にある「○は 1 つ」「あてはまるものすべてに○」などの指示にしたがってご回答ください。また、ご意見や数字などを直接ご記入いただく質問もあります。

●質問の回答が、「その他」にあてはまる場合は、（ ）内になるべく具体的にその内容をご記入ください。

●回答はできる限り、対象者ご本人がご記入ください。なお、対象者ご本人おひとりでの回答がむずかしい場合は、ご家族の方がお手伝いいただくか、対象者の意見を聞いた上でご家族の方が代わりにご記入ください。

（調査票上の「ご本人」とは、封筒に印刷されたあて名ご本人を指します。）

★対象のご本人が何らかの事情により不在で調査できない場合には、下の枠内のいずれかに○印をつけてご返送ください。

- | | | | |
|---|-----------|---|---------|
| 1 | 医療機関入院中（ | 年 | 月より入院中） |
| 2 | 福祉施設入所中（ | 年 | 月より入所中） |
| 3 | 転居（ | 年 | 月ごろ転居） |
| 4 | その他（具体的に： | | ） |

●ご記入いただいた調査票は、12 月 9 日（木）までに、同封の返信用封筒にてご返送ください。切手は不要ですので、そのままご投函ください。

●この調査についてのお問合せは、下記までお願いいたします。

練馬区 保健福祉部 高齢者課 事業計画担当
電話 3993-1111 (代表)

問1 この調査票を回答される方を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1 | あなた（あて名のご本人）がひとりで回答 |
| 2 | 代筆・代読してもらって、あなた（あて名のご本人）が回答 |
| 3 | ご家族が回答 |
| 4 | その他の方が回答（ ） |

◆あなた（あて名のご本人）のことについてお聞きします。

問2 あなた（あて名のご本人）の性別と、平成16年11月1日現在の満年齢はいくつですか。

①性別 (○は1つ)	1 男性	2 女性
②年齢	_____ 歳	

問3 あなた（あて名のご本人）のお住まいはどちらですか。

また、何丁目かもお答えください。(○は1つずつ)

町 名 (○は1つ)						丁目 (○は1つ)			
あ行	1	旭丘	17	関町東	33	錦	1	1丁目	
	2	旭町	18	関町南	34	貫井	2	2丁目	
	3	大泉学園町	た行	19	高野台	35	練馬	3	3丁目
	4	大泉町	20	高松	は行	36	羽沢	4	4丁目
か行	5	春日町	21	田柄	37	早宮	5	5丁目	
	6	上石神井	22	立野町	38	光が丘	6	6丁目	
	7	上石神井南町	23	豊玉上	39	氷川台	7	7丁目	
	8	北町	24	豊玉北	40	東大泉	8	8丁目	
さ行	9	向山	25	豊玉中	41	富士見台	9	9丁目	
	10	小竹町	26	豊玉南	42	平和台	＊丁目のない 地域の方は 記入の必要 はありません。		
	11	栄町	27	土支田	ま行	43			南大泉
	12	桜台	な行	28	中村	44			南田中
13	下石神井	29	中村北	45	三原台				
	14	石神井台	30	中村南	や行	46	谷原		
	15	石神井町	31	西大泉					
	16	関町北	32	西大泉町					

◆お住まいについてお聞きします。

問4 あなた（あて名のご本人）のお住まいは、次のうちのどれにあてはまりますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|---------------------|---|-------------------------------|
| 1 | 一戸建て持ち家（自己所有のビルを含む） | 5 | UR賃貸住宅（旧公団住宅）・公社賃貸住宅（都民住宅を含む） |
| 2 | 分譲マンション（集合住宅） | 6 | 社宅・官舎・寮 |
| 3 | 民間の賃貸アパート・マンション | 7 | 有料老人ホーム |
| 4 | 都営住宅・区営住宅 | 8 | その他（ ） |

問5 あなた(あて名のご本人)のお住まいは、現在次のような工夫をしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1 手すりがついている	5 寝室とトイレが同じ階にある
2 トイレが洋式である	6 浴槽がまたぎやすい高さである
3 段差をなくしているところがある	7 その他
4 廊下等の通路の幅が十分にある	()

問6 今後、あなた(あて名のご本人)のお住まいのなかで、改修をしたいところがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1 居室	4 階段・廊下	7 その他
2 食堂・台所	5 玄関	()
3 浴室・トイレ	6 外回り	8 特にない

問7 あなた(あて名のご本人)は、将来、住み替えを考えていますか。(○は1つ)

1 考えている	2 考えていない	3 わからない
---------	----------	---------

→ 次ページ問8へ

(問7で、住み替えを考えている方におたずねします。)

問7-1 住み替える理由は、次のうちどれにあてはまりますか。(あてはまるものすべてに○)

1 住宅が狭い	4 住宅の設備が悪い(階段が急である、手すりがな
2 家賃が高い	い、車いすが使えない、エレベーターがない、など)
3 立ち退きを迫られる心配がある	5 その他
	()

問7-2 住み替えるとしたら、どのような住宅をお考えですか。(○は1つ)

1 一戸建て持ち家	6 高齢者集合住宅などの高齢者向け住宅
2 分譲マンション(集合住宅)	
3 民間の賃貸アパート・マンション	7 有料老人ホーム
4 都営住宅・区営住宅	8 その他
5 UR賃貸住宅(旧公団住宅)・公社賃貸住宅(都民住宅を含む)	()

問7-3 住み替え先は、どのような場所にあればよいと考えますか。(○は3つまで)

1 子どもや親族が近くに住んでいること	6 職場に近いこと
2 友人や知人が近くに住んでいること	7 緑・公園・水辺などが近所にあること
3 慣れ親しんだ場所であること	
4 病院や福祉施設が近くにあること	8 自然が豊かであること
5 交通や買い物などに便利であること	9 その他()

◆健康や医療についてお聞きします。

(すべての方におたずねします。)

問8 あなた(あて名のご本人)の、現在の健康状態はいかがですか。(○は1つ)

- | | |
|------------|-----------------------------|
| 1 非常に健康である | 3 病気というほどではないが体調がすぐれないことが多い |
| 2 健康である | 4 病気療養中である |

問9 あなた(あて名のご本人)は、ふだん健康に気をつけていますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|--------------------|
| 1 気をつけている | 2 気をつけていない、意識していない |
|-----------|--------------------|



(問9で、ふだん健康に気をつけている方におたずねします。)

問9-1 特に健康に気をつけていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|----------------------------------|
| 1 食事や栄養に気をつけている |
| 2 適度な運動やスポーツをするよう心がけている |
| 3 規則正しい生活を心がけている |
| 4 ストレスをためないよう休養や気分転換を心がけている |
| 5 できるだけ外出するよう心がけている |
| 6 定期的に健康診断などを受けている |
| 7 禁煙・節煙を心がけている |
| 8 飲酒の量や回数に気をつけている |
| 9 体調のすぐれないときは、早めに医者に診てもらうようにしている |
| 10 趣味活動をしている |
| 11 町会・自治会や老人クラブなどで活動をしている |
| 12 ボランティアやNPO団体などで活動をしている |
| 13 その他 () |

(すべての方におたずねします。)

問10 あなた(あて名のご本人)が関心のある生活習慣病は、どのようなものですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------------------|------------|
| 1 高血圧、高脂血症、脳卒中(脳梗塞、脳出血)、
狭心症・心筋梗塞 | 5 胃・十二指腸潰瘍 |
| 2 がん | 6 歯周病 |
| 3 糖尿病 | 7 その他 () |
| 4 肝臓病(脂肪肝、アルコール性肝疾患など) | 8 特になし |

問11 あなた(あて名のご本人)が健康のために身体を動かす(体操や散歩など)頻度は、どのくらいですか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|----------------|
| 1 ほぼ毎日 | 4 週1日程度 |
| 2 週4日程度 | 5 月に1~2日程度 |
| 3 週2~3日程度 | 6 ほとんど身体を動かさない |

問 12 健康について知りたいことはありますか。(○は3つまで)

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1 がんや糖尿病などの生活習慣病の予防について | 7 むし菌や歯周病の予防について |
| 2 栄養・食生活について | 8 骨折などの予防について |
| 3 運動の方法について | 9 気分転換・ストレスの解消方法について |
| 4 寝たきりの予防について | 10 その他 () |
| 5 痴ほうの予防について | 11 特になし |
| 6 介護予防(要介護状態への移行予防)について | |

問 13 あなた(あて名のご本人)は、今年に入ってから健康診査を受けましたか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 職場で健康診査を受けた | 5 その他で受けた () |
| 2 健康保険の健康診査を受けた | 6 健康診査は受けていない |
| 3 区の健康診査を受けた | |
| 4 個人で医療機関の健康診査を受けた | ↳ 問 13-1、問 13-2 へ |

(問 13 で、健康診査を受けていない方におたずねします。)

問 13-1 あなた(あて名のご本人)が健康診査を受けていないのは、なぜですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1 健康だから受けていない | 5 面倒だから受けていない |
| 2 現在治療中だから受けていない | 6 その他の理由で受けていない () |
| 3 医療機関にかかりづらから受けていない | |
| 4 そういった健診は知らないから受けていない | |

問 13-2 あなた(あて名のご本人)が最後に健康診査を受けたのは、何年前のことですか。

およそ 年前

(すべての方におたずねします。)

問 14 あなた(あて名のご本人)は現在、次にあげた病気やケガなどがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---------------------|-------------|-------------|
| 1 循環器系疾患(心臓や血管等の病気) | 4 泌尿器の疾患 | 8 骨粗しょう症、骨折 |
| 2 呼吸器系疾患(肺等の病気) | 5 歯科・口腔疾患 | 9 その他 () |
| 3 消化器系疾患(胃や腸等の病気) | 6 眼科疾患 | |
| | 7 ひざや腰などの痛み | 10 特になし |

↳ 次ページ問 15 へ

(問 14 で、現在、病気やケガのある方におたずねします。)

問 14-1 治療のために病院や診療所、医院などに通院していますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1 週に3～5回通院している | 5 年に数回通院している |
| 2 週に1～2回通院している | 6 往診してもらっている |
| 3 月に2回くらい通院している | 7 通院はしていない |
| 4 月に1回くらい通院している | |

(すべての方におたずねします。)

問 15 あなた(あて名のご本人)には、かかりつけ医(診療所)、かかりつけ歯科医(診療所)がいますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1 かかりつけ医、かかりつけ歯科医ともにいる | 3 かかりつけ歯科医のみいる |
| 2 かかりつけ医のみいる | 4 どちらもいない |

問 16 あなた(あて名のご本人)は痴ほうについて、どの程度ご存知ですか。

(知っていることすべてに○)

- | |
|--|
| 1 痴ほうは病気である |
| 2 痴ほうの主たる症状として、記憶障害・見当識障害・判断力の低下などがある |
| 3 痴ほうの周辺症状として、妄想・幻覚・徘徊・異食・過食などがある |
| 4 痴ほうには、治療(投薬など)で症状が改善するものもある |
| 5 痴ほう予防には、バランスのよい食事、適度な運動・休養が有効といわれている |
| 6 痴ほう性高齢者のケアには、グループホームなどがある |
| 7 知っていることは特にない |

◆就労状況についてお聞きします。

問 17 あなた(あて名のご本人)は現在、収入のある仕事についていますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1 仕事についている | →問 17-1、問 17-2 へ |
| 2 以前は仕事をしていたが、現在はしていない | →問 17-3、問 17-4 へ |
| 3 仕事についたことがない | →次ページ問 18 へ |

(問 17 で、仕事についている方におたずねします。)

問 17-1 あなた(あて名のご本人)の就労形態は、次のうちのどれですか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1 自営業主(雇用人あり) | 6 非常勤(パート・アルバイトなど) |
| 2 自営業主(雇用人なし) | 7 シルバー人材センター登録 |
| 3 自営業の手伝い | 8 内職 |
| 4 会社・団体などの役員 | 9 その他 |
| 5 常勤 | () |

問 17-2 あなたは(あて名のご本人)は、退職後の生活等の準備をされていますか。

(○は1つ)

- | | |
|------------------------------------|------------|
| 1 準備をしている(歳ごろから) | 2 準備はしていない |
|------------------------------------|------------|

(問 17 で、以前は仕事をしていたが、現在はしていない方におたずねします。)

問 17-3 仕事をやめたのは何歳ごろですか。直近の仕事をやめた年齢をお答えください。

歳ごろ

問 17-4 あなたは(あて名のご本人)は、退職をする前から退職後の生活等の準備をしていましたか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------------------|------------|
| 1 準備をした (歳ごろから) | 2 準備をしなかった |
|-----------------------------------|------------|

(すべての方におたずねします。)

問 18 あなた(ご本人)は今後、適当な仕事があったら働きたいと思いますか。現在働いている方は、引き続き働きたいと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------|----------|--------|
| 1 働きたい | 2 働きたくない | 3 働けない |
|--------|----------|--------|

↓
問 18-4 へ

(問 18 で、働きたいとお答えの方におたずねします。)

問 18-1 働きたいのは、どのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|--|
| 1 生活費を得るため | 5 持っている技術や資格を生かすため |
| 2 小遣いを得るため | 6 健康のため |
| 3 将来への蓄え(預貯金)のため | 7 何もしないでいると退屈なので |
| 4 生きがいを得るため | 8 その他 () |

問 18-2 あなた(あて名のご本人)は、次のうちどのような就労形態で働きたいですか。現在のまま働きたい方は、現在の就労形態をお答えください。(○は2つまで)

- | | |
|------------------------------|---|
| 1 自営業で働きたい | 7 起業・創業して働きたい |
| 2 自営業の手伝いで働きたい | 8 シルバー人材センターの会員として働きたい |
| 3 会社・団体の役員で働きたい | 9 パソコンやインターネットなどを活用して自宅で働きたい |
| 4 会社などで常勤で働きたい | 10 内職したい |
| 5 会社などで非常勤(パート・アルバイトなど)で働きたい | 11 その他 () |
| 6 ボランティア・NPO団体の有償スタッフとして働きたい | |

問 18-3 あなた(あて名のご本人)は、何歳ぐらいまで働きたいですか。

歳ぐらいまで

(問 18 で「働きたくない」「働けない」とお答えの方におたずねします。)

問 18-4 あなた(ご本人)が働きたくない、あるいは働けない主な理由をお答えください。

(主な理由1つに○)

- | | |
|-----------------|--------------------------------------|
| 1 高齢だから | 5 家族・親族の看護(介護)等をしているから |
| 2 病弱だから | 6 その他 |
| 3 他にやりたいことがあるから | () |
| 4 経済的にゆとりがあるから | 7 特に理由はない |

◆生きがいや社会参加意識についてお聞きします。

(すべての方におたずねします。)

問 19 あなた(あて名のご本人)は現在の生活に満足していますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 とても満足している | 3 あまり満足していない |
| 2 満足している | 4 満足していない |

問 20 あなた(あて名のご本人)は、現在、地域とどのような関わりをしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------------|------------------------|
| 1 近所の人とはほとんど顔をあわさない・ほとんどつきあいはない | } →問 20－1 へ
→問 21 へ |
| 2 挨拶をする程度 | |
| 3 近所の方と行き来している | |
| 4 町会・自治会やお祭りなど地域の集まりに参加している | |
| 5 地域のグループに参加している | |
| 6 町会・自治会や地域のグループの役員をしている | |

(問 20 で、近所の人とほとんど顔をあわさない・ほとんどつきあいはない方におたずねします。)

問 20－1 近所の人とほとんど顔をあわさない・ほとんどつきあいはないのはなぜですか。

(○は1つ)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1 人と話すのはあまり好きではない | 4 病気やケガなどで家を出ることがない |
| 2 つきあうきっかけ(機会)がない | 5 必要がない |
| 3 仕事等が忙しくて時間がない | 6 その他() |

(すべての方におたずねします。)

問 21 あなた(あて名のご本人)は、今後、地域での活動と、自分の関心のある活動のどちらを重視して取り組みたいと考えますか。(○は1つ)

- | |
|--------------------------------|
| 1 地域での活動(町会・自治会・老人クラブなど)に関わりたい |
| 2 自分の関心のある活動(福祉・環境など)に関わりたい |
| 3 どちらの活動にも関わりたい |
| 4 どちらの活動にも関わりたくない |

問 22 あなた(あて名のご本人)は、現在、ボランティアやNPO活動を行っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1 ボランティア活動をしている | 3 いずれの活動もしていない |
| 2 NPO活動をしている | |

↓
次ページ問 22－1 へ

↓
次ページ問 22－2・問 22－3 へ

(問 22 で、現在、ボランティア・NPO活動を行っている方におたずねします。)

問 22-1 あなた(あて名のご本人)は、どのような分野で活動をしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1 保健・医療・福祉に関する活動	6 災害救援・地域安全に関する活動
2 生涯学習・文化・芸術に関する活動	7 子どもの育成に関する活動
3 まちづくりに関する活動	8 情報の受発信に関する活動
4 スポーツに関する活動	9 その他の分野に関する活動
5 環境の保全に関する活動	()

(問 22 で、現在、ボランティア・NPO活動を行っていない方におたずねします。)

問 22-2 あなた(あて名のご本人)は、どのようなきっかけがあれば、ボランティア・NPO活動に取り組むと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1 紹介があれば活動したい
2 時間に余裕があれば活動したい
3 知り合いがいれば活動したい
4 関心・興味のあるテーマがあれば活動したい
5 活動する場が身近なところがあれば活動したい
6 健康状態がよくなったら活動したい
7 その他 ()
8 活動したくない・関心がない

問 22-3 あなた(あて名のご本人)は、今後、ボランティア・NPO活動を行うとしたら、どのような分野で活動してみたいですか。(あてはまるものすべてに○)

1 保健・医療・福祉に関する活動	6 災害救援・地域安全に関する活動
2 生涯学習・文化・芸術に関する活動	7 子どもの育成に関する活動
3 まちづくりに関する活動	8 情報の受発信に関する活動
4 スポーツに関する活動	9 その他の分野に関する活動
5 環境の保全に関する活動	()

(すべての方におたずねします。)

問 23 あなた(あて名のご本人)にとっての生きがいについてお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

1 家族・親族とのふれあい	7 健康の保持・増進
2 近所づきあい	8 生涯学習
3 友人・仲間づくり	9 ボランティア・NPO活動
4 仕事を持つこと	10 町会・自治会・老人クラブ活動
5 趣味を持つこと	11 その他 ()
6 スポーツ活動	12 特にない

◆高齢者の介護の経験についてお聞きします。

問 24 あなた（あて名のご本人）は、高齢者の介護をした経験はありますか。（○は1つ）

- 1 現在介護をしている
- 2 以前は介護をしていたが現在はしていない
- 3 今まで介護をしたことはない →問 25 へ

（問 24 で、高齢者を介護した経験のある方におたずねします。）

問 24-1 介護をしていてどのようなことが困りましたか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 相談先がわからない
- 2 介護者本人に対し周囲の理解・協力が得られない
- 3 要介護者が医療機関などの受診に同意しない
- 4 要介護者の言動が気になり気が休まらない
- 5 自分の自由時間が確保できない
- 6 介護方法がわからない
- 7 先の見通しが立たない
- 8 その他（)
- 9 特にない

（すべての方におたずねします。）

問 25 家族等を介護する際に、あなた（あて名のご本人）はどのようにしたいと思いますか。（○は1つ）

- 1 自宅で家族介護を中心に介護したい
- 2 自宅で介護保険や在宅支援サービスなどを利用しながら介護したい
- 3 特別養護老人ホームなどの施設に入所させたい
- 4 病院などの医療機関に入院させたい
- 5 介護の対象となる家族等はいない
- 6 わからない

問 26 あなた（あて名のご本人）が日常生活をおくる上で介護が必要になった場合、どのようにしたいと思いますか。現在、介護を受けられている方も、今後の希望をお答えください。

（○は1つ）

- 1 自宅で家族介護を中心に暮らしたい
- 2 自宅で介護保険や在宅支援サービスなどを利用しながら暮らしたい
- 3 特別養護老人ホームなどの施設に入所したい
- 4 介護してくれる病院に入院したい
- 5 有料老人ホームに入所したい
- 6 その他（)
- 7 わからない

◆介護保険制度についてお聞きします。

問 27 あなた(あて名のご本人)は、介護保険制度についてどの程度ご存知ですか。
(知っていることすべてに○)

- | | |
|---|-----------------------------------|
| 1 | 介護保険制度は介護を社会全体で支えることをめざした制度である |
| 2 | 原則として 40 歳以上の方全員が加入し、保険料を納める |
| 3 | 保険料は区市町村ごとに、被保険者本人の所得に応じて決める |
| 4 | 介護保険を利用するときには、まず、区市町村に要介護認定の申請をする |
| 5 | 要介護度に応じて、利用できる介護サービスの利用限度額が異なる |
| 6 | 利用者が必要なサービスを選択することができる |
| 7 | 介護サービスを利用した時には、かかった費用の 1 割を直接負担する |
| 8 | 介護保険制度は、現在制度の見直しが検討されている |
| 9 | 知っていることはない |

問 28 介護保険制度は、原則として 40 歳以上の方全員が加入し、必要な保険料を負担していただいています。あなた(あて名のご本人)は、このことについてどう思いますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|---------------------|---|-------|
| 1 | 高齢者も相応の負担をするのは当然である | 4 | その他 |
| 2 | ある程度の負担はやむをえない | (|) |
| 3 | 高齢者が負担をすることには反対である | 5 | わからない |

◆日常生活についてお聞きします。

問 29 現在のあなた(あて名のご本人)は、次のような不安や悩みごことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|---|----------------------------|----|------------------|
| 1 | 世話をしてくれる人がいない | 7 | 家計のこと |
| 2 | 親しい友人がいない | 8 | 住宅のこと |
| 3 | 近所の人たちと交流がない・うまく
いっていない | 9 | 物忘れがひどくなった |
| 4 | 健康に自信がない | 10 | 防犯・防災のこと |
| 5 | 家族や親族との関係がよくない | 11 | その他 |
| 6 | 財産管理や相続のこと | (|) |
| | | 12 | 特にない →次ページ問 30 へ |

(問 29 で、不安や悩みごとがある方におたずねします。)

問 29-1 あなた(あて名のご本人)は、不安や悩みごとは誰に相談していますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|---|--------------|---|----------------------|
| 1 | 同居の家族 | 6 | 専門家(医師、弁護士、カウンセラーなど) |
| 2 | 別居している子どもや親族 | 7 | 区などの行政機関 |
| 3 | 友人・知人 | 8 | その他 |
| 4 | 近所の人 | (|) |
| 5 | 民生委員 | 9 | 相談相手はいない |

(すべての方におたずねします。)

問 30 あなた(あて名のご本人)は、将来に対してどのようなことに不安がありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1 経済面(生活費等)	7 ひとりで生活しなければならなくなる事
2 預貯金等の管理	8 自分が痴ほう等により判断能力を欠く状態になる事
3 自分の健康のこと	9 家族が痴ほう等により判断能力を欠く状態になる事
4 家族の健康のこと	10 その他
5 家族・親族との関係	()
6 近隣とのつきあい	11 不安なことはない

◆区の保健福祉施策についてお聞きします。

問 31 あなた(あて名のご本人)は、高齢者のための施策として、今後どのようなことに力を入れてほしいと思いますか。最も力を入れてほしいものを3つまで選んでください。(○は3つまで)

1 生きがい支援	9 特別養護老人ホームなどの介護保険施設の整備
2 就労支援	10 ホームヘルパーなど在宅支援サービスの充実
3 健康管理・健康づくりへの支援	11 地域におけるボランティア活動・組織の支援
4 高齢者が住みやすい住宅への支援	12 防犯・防災対策
5 公共的建物や道路、公園などのバリアフリー(障壁除去)化	13 その他()
6 要介護状態にならないようにする介護予防策の充実	14 特になし
7 寝たきり・要介護の高齢者に対する支援	15 わからない
8 痴ほう性高齢者の支援	

問 32 高齢者保健福祉施策について、ご意見やご要望がございましたら、下欄にご記入ください。

● 上記の内容はどなたの意見ですか。

1 ご本人(あて名のご本人)	3 ご家族
2 代筆・代読された方	4 その他の方()

問 33 あなた(あて名のご本人)は、要介護認定の申請をされていますか。(○は1つ)

1 申請を行った

2 申請していない →16 ページの間 46 にお進みください。

↓
問 34 へ

◆ここからは介護保険の要介護認定の申請をしている方のみにお聞きします。

(問 33 で、要介護認定の申請を行った方におたずねします。)

問 34 要介護認定の申請結果は、次のうちどれですか。(○は1つ)

1 非該当(自立)

3 要支援

5 要介護 2

7 要介護 4

2 申請中

4 要介護 1

6 要介護 3

8 要介護 5

↓
16 ページの間 46 にお進みください。

(問 34 で、要支援・要介護 1～5の方におたずねします。)

問 35 1年前(平成15年11月ごろ)の要介護度は次のうち、どれですか。(○は1つ)

1 要支援

3 要介護 2

5 要介護 4

7 申請していない

2 要介護 1

4 要介護 3

6 要介護 5

8 非該当(自立)

9 わからない

問 36 あなた(あて名のご本人)が要介護状態になった原因は、何ですか。(○は1つ)

1 筋萎縮性側索硬化症

9 糖尿病性神経障害、糖尿病性腎症及び
糖尿病性網膜症

2 後縦靱帯骨化症

10 脳血管疾患

3 骨折を伴う骨粗しょう症

11 パーキンソン病

4 シャイ・ドレーガー症候群

12 閉塞性動脈硬化症

5 初老期における痴ほう

13 慢性関節リウマチ

6 脊髄小脳変性症

14 慢性閉塞性肺疾患

7 脊柱管狭窄症

15 両側の膝関節又は股関節に著しい変形
を伴う変形性関節症

8 早老症

問 37 あなた(あて名のご本人)が、介護保険の要介護認定を申請した理由は何ですか。次のうち、あてはまるものに2つまで○をつけてください。(○は2つまで)

1 家事・調理、洗濯、掃除等が負担になってきたので

7 必要時にサービスを受けるため、
事前に認定申請した

2 身の回りの行為が困難になってきた

8 自分の要介護度を知りたく、申請
した

3 買い物や外出が負担になってきたので

9 医師、看護師から勧められた

4 通院等に手助けがほしくなってきたので

10 家族に勧められた

5 介護保険の施設入所を希望しているため

11 友人・知人などに勧められた

6 住宅改修または福祉用具購入のみ利用するため

12 その他()

問 38 あなた（あて名のご本人）は、次の施設に入所（入院）申し込みをしていますか。

（あてはまるものすべてに○）

1	特別養護老人ホーム	5	有料老人ホーム
2	老人保健施設	6	一般の病院（医療保険での入院）
3	療養病床	7	その他（
4	痴呆性高齢者グループホーム	8	施設への入所（入院）意向はない



問 38－2 へ

（問 38 で「1～4の介護保険施設に申し込みをしている」とお答えの方におたずねします。）

問 38－1 申し込み理由はどのようなものですか。（あてはまるものすべてに○）

1	介護者がいない等の理由で、在宅で介護を受けられないから
2	家族が働いているため、在宅で介護を十分受けられないから
3	家族の健康状態がよくないため、在宅で介護を十分受けられないから
4	家族が精神的に疲れているため
5	家族が身体的に疲れているため
6	リハビリ等が必要であり、医師等に入所（入院）をすすめられたから
7	ひとりぐらしや高齢者世帯のため、在宅での生活に不安を感じるから
8	現在の住居が介護に適していないから
9	入所（入院）待ちの期間を見込んで、早めに入所（入院）を申し込む必要があるから
10	自己負担が少なくてすむから
11	その他（

（問 38 で「施設への入所（入院）意向はない」とお答えの方におたずねします。）

問 38－2 施設への入所を希望されない主な理由に2つまで○をつけてください。

（○は2つまで）

1	できるかぎり自宅で過ごしたいから	7	入院・入所で費用がかかるから
2	家族介護で十分生活できるから	8	家族とのつながりを保ちたいから
3	施設での生活は自由がきかないと思うから	9	自分の身の回りのことはできるだけ自分でしたいから
4	友人・知人とのつきあいを続けたいから	10	その他
5	近所とのつきあいを続けたいから		（
6	健康状態が良好だから		）

（要支援・要介護1～5の方におたずねします。）

問 39 ケアプランについておたずねします。

① あなた（あて名のご本人）は、ケアプランの内容をご存知ですか。（○は1つ）

1	知っている	2	あまり知らない	3	知らない
---	-------	---	---------	---	------

- ② ケアプランの作成にあたり、あなた（あて名のご本人）やご家族の意見や要望は反映されていますか。（○は1つ）

1 反映されている	3 あまり反映されていない
2 ほぼ反映されている	4 反映されていない

- 問 40 あなた（あて名のご本人）は、介護保険に関する相談・苦情をどこにしていますか。（あてはまるものすべてに○）

1 区の介護保険課または福祉事務所	7 民生委員
2 担当のケアマネジャー	8 保健福祉サービス苦情調整委員
3 サービス事業者	9 その他（ ）
4 都の国保連合会	10 どこにしていいいかわからない
5 医 師	11 相談・苦情は特にない
6 在宅介護支援センター	

- 問 41 あなた（あて名のご本人）が現在、利用されている介護サービスについて、苦情以外で何かご注文やご意見はありますか。ご自由にご記入ください。（主な利用サービス2つまで）

利用サービス名：
注文や意見：
利用サービス名：
注文や意見：

- 問 42 あなた（あて名のご本人）は、介護保険の制度やサービス事業者等に関する情報は、どこから得ていますか。（あてはまるものすべてに○）

1 区の窓口・電話	7 民生委員
2 区が発行するパンフレット類	8 テレビ、ラジオ、新聞、雑誌
3 区の広報誌	9 インターネット
4 担当のケアマネジャー	10 その他
5 サービス事業者	()
6 在宅介護支援センター	11 特にない

問 43 介護サービスについておたずねします。あなた（あて名のご本人）が先月（平成16年10月）に受けていた介護サービスは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1 訪問介護	8 短期入所生活介護（ショートステイ）
2 訪問入浴介護	9 短期入所療養介護（医療型ショートステイ）
3 訪問リハビリテーション	10 福祉用具貸与
4 訪問看護	11 福祉用具購入
5 居宅療養管理指導	12 住宅改修
6 通所介護（デイサービス）	13 痴ほう対応型共同生活介護（グループホーム）
7 通所リハビリテーション（デイケア）	14 特定施設入所者生活介護（有料老人ホーム等）

問 44 あなた（あて名のご本人）は、現在の介護サービスに満足していますか。（○は1つ）

1 とても満足である	4 やや不満である
2 まあ満足である	5 とても不満である
3 どちらともいえない	

問 45 あなた（あて名のご本人）は、介護サービスの利用料1割負担分についてどのように感じていますか。（○は1つ）

1 負担とは感じない	4 負担と感じる
2 それほど負担とは感じない	5 どちらともいえない
3 多少負担と感じる	6 わからない

（すべての方におたずねします。）

問 46 介護保険について、ご意見やご要望がございましたら、下欄にご記入ください。

● 上記の内容はどなたの意見ですか。

- | | |
|----------------|---------------------------------|
| 1 ご本人（あて名のご本人） | 3 ご家族 |
| 2 代筆・代読された方 | 4 その他の方（ ） |

ご協力ありがとうございました。12月9日（木）までに同封の返信用封筒でご返送ください。

練馬区介護サービス事業所調査

◆ 調査へのご協力をお願い ◆

日頃から、練馬区政にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

区では、新たな「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定に着手しています。

この調査は、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画がより実りある計画となるよう、区内で介護サービスを提供されている事業所の皆様を対象に、事業展開の現状と今後、介護保険制度の見直し等に関するご意見・ご要望等をお聞かせいただくため実施するものです。

お答えいただいた内容については統計的に処理し、ご迷惑をおかけすることはありませんので、ご協力いただきますようお願いいたします。

平成 17 年 2 月 練 馬 区

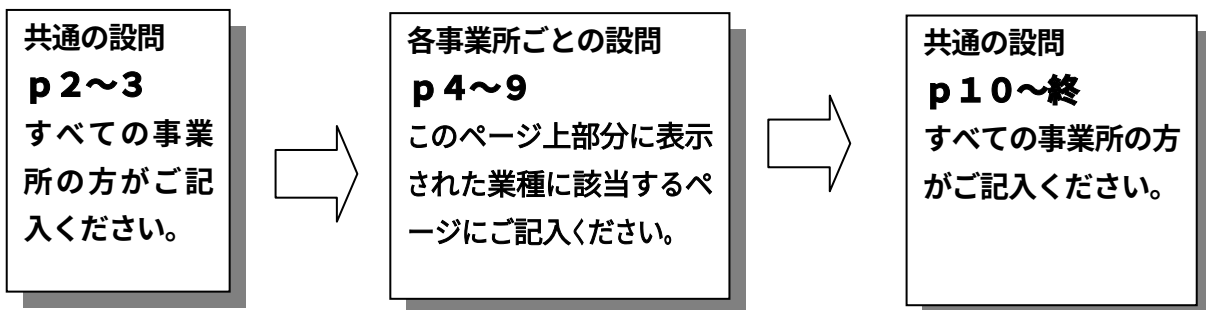
◆ この調査票のご記入にあたってのお願い ◆

- 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。質問文にある「1つに○」「あてはまるものに○」などの指示にしたがってご回答ください。また、ご意見や数字などを直接ご記入いただく質問もあります。
- 質問の回答が、「その他」にあてはまる場合は、() 内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
- ご記入いただいた調査票は、2月16日(水)までに、同封の返信用封筒にてご返送ください。切手は不要ですので、そのままご投函ください。
この調査についてのお問合せは、下記までお願いいたします。

練馬区役所 保健福祉部 介護保険課 事業計画担当
電話 3993-1111 (代表)

貴事業所の名称	様		
担当者名		職 責	

【この調査票は、次のような構成になっています。該当するページへのご記入をお願い致します。】



職員数やサービス提供量等の数値については、2月1日現在でお答えください。

【機関・組織についてうかがいます】

問1 運営主体は、次のどれですか。(1つに○)

1 株式会社	3 社会福祉法人	5 NPO
2 有限会社	4 医療法人	6 その他 ()

問2 貴事業所で併設されているものはありますか。(あてはまるものに○)

1 在宅介護支援センター	7 介護老人福祉施設
2 ヘルパーステーション	8 介護老人保健施設
3 訪問看護ステーション	9 介護療養型医療施設
4 居宅介護支援事業所	10 グループホーム
5 医療機関	11 その他
6 薬局	(具体的に)

問3 貴事業所の区内営業エリアをお答えください。(1つに○)

1 半径1 km 圏内	3 半径5 km 圏内
2 半径2 km 圏内	4 半径5 km 圏以上

問4 貴事業所の職員数をご記入ください。なお兼務の場合は、カッコ内に兼務者の人数をご記入ください。
(あてはまるものに人数) (単位：人)

区 分	現 在	
	常 勤	非常勤
(1)管理者	人(うち兼務 人)	人(うち兼務 人)
(2)サービス提供責任者	人(うち兼務 人)	人(うち兼務 人)
(3)介護支援専門員	人(うち兼務 人)	人(うち兼務 人)
(4)ヘルパー1 級	人(うち兼務 人)	人(うち兼務 人)
(5)ヘルパー2 級	人(うち兼務 人)	人(うち兼務 人)
(6)ヘルパー3 級	人(うち兼務 人)	人(うち兼務 人)
(7)保健師	人(うち兼務 人)	人(うち兼務 人)
(8)看護師	人(うち兼務 人)	人(うち兼務 人)
(9)准看護師	人(うち兼務 人)	人(うち兼務 人)
(10)社会福祉士	人(うち兼務 人)	人(うち兼務 人)
(11)介護福祉士	人(うち兼務 人)	人(うち兼務 人)
(12)理学療法士	人(うち兼務 人)	人(うち兼務 人)
(13)作業療法士	人(うち兼務 人)	人(うち兼務 人)
(14)管理栄養士	人(うち兼務 人)	人(うち兼務 人)
(15)事務職員	人(うち兼務 人)	人(うち兼務 人)
(16)相談員	人(うち兼務 人)	人(うち兼務 人)
(17)医師	人(うち兼務 人)	人(うち兼務 人)
(18)介護職	人(うち兼務 人)	人(うち兼務 人)
(19)栄養士	人(うち兼務 人)	人(うち兼務 人)
(20)機能訓練指導員	人(うち兼務 人)	人(うち兼務 人)
(21)薬剤師	人(うち兼務 人)	人(うち兼務 人)
(22)その他	人(うち兼務 人)	人(うち兼務 人)

問5 「現在実施しているサービス」「今後実施する予定(平成20年度末までに)のサービス」について、それぞれあてはまる番号に○をつけてください。また、今後実施する予定の事業については、その事業開始予定時期に○をつけてください。

(あてはまるものに○)

区 分	現在実施しているサービス	今後(新たに)実施予定のサービス	事業開始予定時期 (該当する年度の番号に○)			
			1	2	3	4
居宅介護支援事業	1	1	17年度	3	19年度	
		2	18年度	4	20年度	
訪問介護	2	1	17年度	3	19年度	
		2	18年度	4	20年度	
予防訪問介護	3	1	18年度	3	20年度	
		2	19年度			
訪問入浴介護	4	1	17年度	3	19年度	
		2	18年度	4	20年度	
訪問看護	5	1	17年度	3	19年度	
		2	18年度	4	20年度	
訪問リハビリテーション	6	1	17年度	3	19年度	
		2	18年度	4	20年度	
通所介護	7	1	17年度	3	19年度	
		2	18年度	4	20年度	
予防通所介護	8	1	18年度	3	20年度	
		2	19年度			
通所リハビリテーション	9	1	17年度	3	19年度	
		2	18年度	4	20年度	
予防通所リハビリテーション	10	1	18年度	3	20年度	
		2	19年度			
短期入所生活介護	11	1	17年度	3	19年度	
		2	18年度	4	20年度	
短期入所療養介護	12	1	17年度	3	19年度	
		2	18年度	4	20年度	
認知症(痴ほう)対応型 共同生活介護	13	1	17年度	3	19年度	
		2	18年度	4	20年度	
特定施設入所者生活介護	14	1	17年度	3	19年度	
		2	18年度	4	20年度	
介護老人福祉施設	15	1	17年度	3	19年度	
		2	18年度	4	20年度	
介護老人保健施設	16	1	17年度	3	19年度	
		2	18年度	4	20年度	
介護療養型医療施設	17	1	17年度	3	19年度	
		2	18年度	4	20年度	
小規模(定員30人未満) 介護老人福祉施設	18	1	17年度	3	19年度	
		2	18年度	4	20年度	
小規模(定員30人未満) 介護専用型の特定施設	19	1	17年度	3	19年度	
		2	18年度	4	20年度	
認知症(痴ほう)高齢者専用 デイサービス	20	1	17年度	3	19年度	
		2	18年度	4	20年度	
小規模多機能型居宅介護	21	1	18年度	3	20年度	
		2	19年度			
地域夜間訪問介護	22	1	18年度	3	20年度	
		2	19年度			

★次ページから 10 ページまでは、実施している介護保険事業についてうかがいます。この調査票表紙に表示されている事業について、ご記入ください。

【このページから 10 ページまでは、実施している介護保険事業についてうかがいます。この調査票表紙に表示されている事業について、ご記入ください。】

「居宅介護支援事業」の事業所の方にかがいます

問6 現在（平成 17 年 1 月現在）の貴事業所の練馬区内のサービス利用者数（定員と実人数）をそれぞれご記入ください。

区内定員	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
	人	人	人	人	人	人	人

区内利用 実人数	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
	人	人	人	人	人	人	人

問6-1 新たに創設が予定されている「予防居宅介護支援」については、どのようにお考えですか。（1つに○）

1 参入を予定している

2 検討中

3 参入の予定はない

→ 問6-2へ

問6-1① 現行の居宅介護支援利用者からの転換を勧める場合、練馬区内の利用者のうち、何割くらいの転換を想定されていますか。（1つに○）

1 1割以下

3 3～4割

5 7～8割

2 1～2割

4 5～6割

6 8割以上

問6-1② ケアプラン作成に際して、現在介護予防として具体的に取り組んでいることはありますか。貴事業所での取り組みについてご記入ください。

問6-2 居宅介護支援を実施するに際して、医療との連携をどのように行っていますか。貴事業所での取り組みについて、ご記入ください。

問6-3 貴事業所では、今後独立型の居宅介護支援事業所への移行をお考えですか。（1つに○）

1 （独立型への移行を）考えている

3 すでに独立型である

2 （独立型への移行は）考えていない

問6-4 居宅介護支援事業所の独立法人を設置するという考えが示されていますが、貴事業所のケアマネジャーは移行すると思われますか。（1つに○）

1 一部移行すると思う

2 移行はありえない

3 わからない

「訪問介護」の事業所の方にかがいます

問7 現在(平成17年1月現在)の貴事業所の練馬区内のサービス利用者数(定員と実人数)をそれぞれご記入ください。

区内定員	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
	人	人	人	人	人	人	人

区内利用 実人数	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
	人	人	人	人	人	人	人

問7-1 新たに創設が予定されている「予防訪問介護」については、どのようにお考えですか。(1つに○)

1 参入を予定している 2 検討中 3 参入の予定はない → 問7-2へ

問7-1① 現行の訪問介護利用者からの転換を勧める場合、練馬区内の利用者のうち、何割くらいの転換を想定されていますか。(1つに○)

1 1割以下	3 3～4割	5 7～8割
2 1～2割	4 5～6割	6 8割以上

問7-1② 予防訪問介護を実施するにあたって、貴事業所ではサービス内容で工夫できるものは何ですか。あてはまるものに○をつけてください。(あてはまるものに○)

1 掃除	3 調理	5 通院
2 洗濯	4 買い物	6 その他()

問7-1③ 現在介護予防という視点から具体的に取り組んでいることはありますか。また、これからはどのように工夫しようと考えていますか。貴事業所での取り組みについて、ご記入ください。

問7-2 新たな顧客を開拓する場合、具体的な方法について、あてはまるものに○をつけてください。

(あてはまるものに○)

1 広告、チラシの配布	6 施設からの紹介
2 ケアマネジャーからの紹介	7 戸別訪問
3 現在の利用者からの紹介	8 その他()
4 従業員からの紹介	9 新規の顧客開拓は考えていない
5 医療機関からの紹介	

問7-3 次に掲げる「地域密着型サービス」のうち、貴事業所で参入を検討している、あるいは参入を検討したいものはありますか。あてはまるものに○をつけてください。(あてはまるものに○)

1 小規模(定員30人未満)介護老人福祉施設
2 小規模(定員30人未満)で介護専用型の特定施設
3 認知症(痴ほう)高齢者グループホーム
4 認知症(痴ほう)高齢者専用デイサービス
5 小規模多機能型居宅介護
6 地域夜間訪問介護

「通所介護」の事業所の方にうかがいます

問8 貴事業所の種別をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|-------|-------|---------------|
| 1 単独型 | 2 併設型 | 3 認知症（痴ほう）専用型 |
|-------|-------|---------------|

問8-1 現在(平成17年1月現在)の貴事業所の練馬区内のサービス利用者数(定員と実人数)をそれぞれご記入ください。

区内定員	要支援	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
	人	人	人	人	人	人	人
区内利用 実人数	要支援	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
	人	人	人	人	人	人	人

問8—2 新たに創設が予定されている「予防通所介護」については、どのようにお考えですか。(1つに○)

- 1 参入を予定している 2 検討中 3 参入の予定はない → 問8-3へ



問8—2① 現行の通所介護利用者からの転換を勧める場合、練馬区内の利用者のうち、何割くらいの転換を想定されていますか。(1つに○)

- | | | | | | |
|---|------|---|------|---|------|
| 1 | 1割以下 | 3 | 3～4割 | 5 | 7～8割 |
| 2 | 1～2割 | 4 | 5～6割 | 6 | 8割以上 |

問8-2② 予防通所介護を実施するにあたり、新たな機器、設備の導入や整備をお考えですか。ご予定のものがあれば、下記欄に具体的にご記入ください。

--

問8-2③ 現在介護予防という視点から具体的に取り組んでいることはありますか。また、これからはどのようにサービス内容を工夫しようと考えていますか。貴事業所での取り組みについて、ご記入ください。

--

問8—3 新たな顧客を開拓する場合、具体的な方法について、あてはまるものに○をつけてください。

(あてはまるものに○)

- | | | | |
|---|--------------|---|----------------|
| 1 | 広告、チラシの配布 | 6 | 施設からの紹介 |
| 2 | ケアマネジャーからの紹介 | 7 | 戸別訪問 |
| 3 | 現在の利用者からの紹介 | 8 | その他（ |
| 4 | 従業員からの紹介 | 9 | 新規の顧客開拓は考えていない |
| 5 | 医療機関からの紹介 | | |

問8-4 次に掲げる「地域密着型サービス」のうち、貴事業所で参入を検討している、あるいは参入を検討したいものがありますか。あてはまるものに○をつけてください。(あてはまるものに○)

- | | |
|---|---------------------------|
| 1 | 小規模（定員 30 人未満）介護老人福祉施設 |
| 2 | 小規模（定員 30 人未満）で介護専用型の特定施設 |
| 3 | 認知症（痴ほう）高齢者グループホーム |
| 4 | 認知症（痴ほう）高齢者専用デイサービス |
| 5 | 小規模多機能型居宅介護 |
| 6 | 地域夜間訪問介護 |

「通所リハビリテーション」の事業所の方にうかがいます

問9 現在(平成17年1月現在)の貴事業所の練馬区内のサービス利用者数(定員と実人数)をそれぞれご記入ください。

区内定員	要支援	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
	人	人	人	人	人	人	人
区内利用 実人数	要支援	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
	人	人	人	人	人	人	人

問9—1 新たに創設が予定されている「予防通所リハビリテーション」については、どのようにお考えですか。
(1つに○)

1 参入を予定している	2 検討中	3 参入の予定はない	→ 問9-2へ
-------------	-------	------------	---------

問9－1① 現行の通所リハビリテーション利用者からの転換を勧める場合、練馬区内の利用者のうち、何割くらいの転換を想定されていますか。(1つに○)

1	1割以下	3	3～4割	5	7～8割
2	1～2割	4	5～6割	6	8割以上

問9－1② 予防通所リハビリテーションを実施するにあたり、新たな機器、設備の導入や整備をお考えですか。ご予定のものがあれば、下記欄に具体的にご記入ください。

問9-1③ 現在介護予防という視点から具体的に取り組んでいることはありますか。また、これからどのようにサービス内容を工夫しようと考えていますか。貴事業所での取り組みについて、ご記入ください。

--

問9-2 新たな顧客を開拓する場合、具体的な方法について、あてはまるものに○をつけてください。
(あてはまるものに○)

1	広告、チラシの配布	6	施設からの紹介
2	ケアマネジャーからの紹介	7	戸別訪問
3	現在の利用者からの紹介	8	その他（
4	従業員からの紹介	9	新規の顧客開拓は考えていない
5	医療機関からの紹介		

問9-3 次に掲げる「地域密着型サービス」のうち、貴事業所で参入を検討している、あるいは参入を検討したいものがありますか。あてはまるものに○をつけてください。(あてはまるものに○)

1	小規模（定員 30 人未満）介護老人福祉施設
2	小規模（定員 30 人未満）で介護専用型の特定施設
3	認知症（痴ほう）高齢者グループホーム
4	認知症（痴ほう）高齢者専用デイサービス
5	小規模多機能型居宅介護
6	地域夜間訪問介護

「介護老人福祉施設」「介護老人保健施設」「介護療養型医療施設」
「特定施設入所者生活介護」の事業所の方にうかがいます

問10 現在(平成17年1月現在)の貴施設の定員と、入所者中の練馬区に住所を有する方の実人数をそれぞれご記入ください。

(施設定員)

計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
人	人	人	人	人	人

(入所者中の区
民の実人数)

計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
① 人	② 人	③ 人	④ 人	⑤ 人	⑥ 人

問10-1 現在入所されている区民の方の入所期間はどのくらいですか。

区分	計	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
1 年未満	人	人	人	人	人	人
1～3 年未満	人	人	人	人	人	人
3～5 年未満	人	人	人	人	人	人
5 年以上	人	人	人	人	人	人
計	① 人	② 人	③ 人	④ 人	⑤ 人	⑥ 人

問10-2 現在入所されている区民の方のうち、この1年間で、介護度が悪化した人数はどのくらいですか。

計	要介護 1 から	要介護 2 から	要介護 3 から	要介護 4 から
人	人	人	人	人

問10-3 現在入所されている区民の方のうち、在宅生活への復帰が可能と思われる方はどのくらいいらっしゃいますか。施設側からみた状況でお答えください。

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人	人	人	人	人	人

問10-4 昨年1年間の貴施設の退所率はどのくらいですか。小数第一位までで表示してください。

		.	%
--	--	---	---

問10-5 貴施設では、居室のユニット化はどのようにお考えですか。あてはまるものに○と数字をご記入ください。

- | | | | | | | | |
|---|-------------|---|--|-----|--|---|-----------------|
| 1 | 一部ユニット化している | → | | 床中の | | 床 | 3 当面ユニット化の計画はない |
| 2 | ユニット化の計画がある | → | | 床中の | | 床 | |

問10-6 貴施設では、サテライト化はどのようにお考えですか。(1つに○)

1 具体的な計画がある 3 当面サテライト化の予定はない
2 検討段階である 4 その他（ ）

問10-7 貴施設では、ターミナルケアへの対応はどのようにお考えですか。(1つに○)

1 既に施設内で実施している	3 ターミナルケアの対応は考えていない
2 検討段階である	4 その他（ ）

「認知症（痴ほう）対応型共同生活介護」の事業所の方にかがいます

問11 現在（平成17年1月現在）の貴施設の定員と、入所者中の練馬区に住所を有する方の実人数をそれぞれご記入ください。

（施設定員）

計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
人	人	人	人	人	人

（入所者中の区民利用者数）

計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
人	人	人	人	人	人

問11-1 貴施設への入所のために、練馬区内に住所を異動された方は何人いますか。

（入所者中の区内への異動者数）

計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
人	人	人	人	人	人

問11-2 制度の見直しに伴い、貴グループホームへの入所は指定をした保険者の方しか入所できない仕組みとなります。現在、貴事業所で掌握している練馬区内に住所を有し入所を希望し、待機をしている方は何人いますか。

（練馬区内に住所を有し入所希望している待機者数）

計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
人	人	人	人	人	人

問11-3 次に掲げる「地域密着型サービス」のうち、貴事業所で参入を検討している、あるいは参入を検討したいものはありますか。あてはまるものに○をつけてください。（あてはまるものに○）

- 1 小規模（定員30人未満）介護老人福祉施設
- 2 小規模（定員30人未満）で介護専用型の特定施設
- 3 認知症（痴ほう）高齢者グループホーム
- 4 認知症（痴ほう）高齢者専用デイサービス
- 5 小規模多機能型居宅介護
- 6 地域夜間訪問介護

すべての事業所の方にかがいます

問12 サービス提供困難時は、どのように対応されていますか。あてはまるものに○をつけてください。

(あてはまるものに○)

- 1 利用者に係る居宅介護支援事業所に連絡をとり、適切な対応を図っている
- 2 行政等との連携をとり、適切な対応を図っている
- 3 適当な他の指定介護事業所を紹介している
- 4 申し込み時点で分かった場合、丁重にお断りしている
- 5 その他 ()

[苦情処理体制についてうかがいます]

問13 苦情処理窓口の存在を利用者に示していますか。(1つに○)

- | | |
|-------------------|-----------|
| 1 文書で明確に示している | 3 示していない |
| 2 口頭など何らかの形で示している | 4 その他 () |

問13-1 利用者からの苦情が平成16年4月以降ありましたか。(1つに○)

1 あった

2 なかった → 問14へ

問13-1① 寄せられた苦情を主にどのように処理されましたか。(1つに○)

- 1 事業所内でほぼ対応した
- 2 内部で解決できないものについては、関係機関へ連絡を取るなど、連携して対応した
- 3 その他 ()

問13-1② 利用者からの苦情に対しては素早く対応しましたか。(1つに○と内容の記入)

- 1 素早く対応した
主な内容と処理方法 ()
- 2 対応できていないケースもある
主な内容と処理方法 ()
- 3 まったく対応できていない
主な内容と処理方法 ()

問14 苦情対応のご担当はどなたですか。(1つに○)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 窓口責任者 | 4 管理者 |
| 2 苦情処理専任者 | 5 その他 () |
| 3 ケアマネジャー | |

問15 苦情内容について主なものをご記入ください。

【サービスの質の向上についてうかがいます】

問16 貴事業所では、サービス評価は受審されていますか。次のうち、受審された種類をお答えください。

(1つに○)

(あてはまるものに○)

- | | | |
|-----------|------------|-----------------|
| 1 受審していない | (受審した評価方式) | 1 東京都福祉サービス評価機構 |
| 2 受審している | | 2 その他 () |

問16-1 第三者評価のほか、質の向上に関して貴事業所独自で取り組んでいることがあれば、下記欄にご記入ください。

【地域とのかかわりについてうかがいます】

問17 貴事業所では、地域の各種団体や組織（民生委員、自治会・町会、地区社協 等）との関わりはありますか。（あてはまるものに○）

- | |
|--------------------------------|
| 1 事業所（施設も含む）の近隣の団体や組織とのかかわりがある |
| 2 利用者の居住地域の団体や組織とのかかわりがある |
| 3 特にない → 問18へ |

問17-1 それは、どのような団体・組織ですか。次のうち、あてはまるものをお選びください。

(あてはまるものに○)

- | | | |
|----------|-----------|-----------------|
| 1 民生委員 | 4 老人クラブ | 7 ボランティア・NPO団体 |
| 2 自治会・町会 | 5 社会福祉協議会 | 8 マンション・団地の管理組合 |
| 3 小・中学校 | 6 商店、商店街 | 9 その他 () |

問17-2 具体的な関わりの事例について、次のうちあてはまるものをお選びください。

(あてはまるものに○)

- | |
|-------------------------------|
| 1 介護や福祉についての専門知識や情報の提供 |
| 2 地域の集まりへの参加（事業所スタッフやサービス利用者） |
| 3 事業所側の催しへの招待（施設内の行事等） |
| 4 事業所（施設）内の機能の開放（会議室等） |
| 5 交流の場への参加 |
| 6 その他 () |

【個人情報の管理等についてうかがいます】

問18 貴事業所では、個人情報の保護・管理については、どのような取り組みをされていますか。次のうち、あてはまるものをお選びください。（あてはまるものに○）

- | |
|---------------------------------|
| 1 外部に情報を開示する際には、本人の同意を得て行っている |
| 2 本来の目的以外で利用するさいには、本人の同意を得ている |
| 3 情報が漏洩しないよう、従業員や業者に対して対策を講じている |
| 4 本人からの求めがあった場合、情報を開示している |
| 5 その他（具体的に) |

問19 貴事業所では、要医療、認知症（痴呆）、障害等を有する利用者に対して、どのような対応を図っていますか。次のうち、あてはまるものをお選びください。（あてはまるものに○）

- 1 専門スタッフを配置し、対応可能である
- 2 専門の関係機関と常に連携をとり、緊急時への対応ができるようにしている
- 3 人材の募集・確保を図っているところである
- 4 特段の対応は図っていない
- 5 その他（具体的に

問20 貴事業所では、利用者が在宅生活を継続するためにはどのような条件が必要と考えますか。
(あてはまるものに○)

- 1 専門的なサービスの開発と提供
- 2 現行のサービス供給量の拡大
- 3 利用者本人の自立生活志向を高める支援
- 4 介護者の身体的・肉体的負担軽減
- 5 地域保健福祉関係機関や人材などの地域資源との連携
- 6 その他（ ）

問21 現在、介護保険制度の見直しが進められていますが、制度全般についてご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。



ご協力ありがとうございました。